

甲府城下町遺跡 XIV

(甲府市相生2丁目226番地他)

—公共福祉施設建設に伴う旧相生小学校地点発掘調査報告書—

2015

甲府市
甲府市教育委員会
昭和測量株式会社

甲府城下町遺跡 XIV

(甲府市相生 2 丁目 226 番地他)

—公共福祉施設建設に伴う旧相生小学校地点発掘調査報告書—

2015

甲府市
甲府市教育委員会
昭和測量株式会社

序

山梨県の中央部に位置する甲府市は、長野県境の秩父山系の金峰山を北辺とし、御坂山塊を南辺とする、南北約 42km、東西約 10km の細長い市域です。周囲は世界遺産に指定された富士山、南アルプスの山脈と秩父山系の山並が望め、国史跡甲斐鮎子塚古墳、史跡武田氏館跡などの国史跡をはじめ、特別名勝御岳昇仙峡などが、歴史と自然豊かな山紫水明の土地です。

現在甲府には、旧石器時代から近世までの約 400 地点の遺跡が確認されています。特に永正 16 年（1519）武田信虎が相川扇状地の躑躅ヶ崎の地に築いた武田氏の居館は、武田氏三代の政治・文化・経済の中心として栄え、「甲斐府中」として都市甲府の発展の礎となりました。この都市の発展は江戸時代の甲府城下町、そして近代から現代まで山梨県の県都として発展し、平成 31 年（2019）には「開府 500 年」の節目の年を迎えます。

本報告書は、平成 25 年度に実施した甲府市街地南部に位置する旧相生小学校跡地の発掘調査報告書です。当地は甲府城下町の南辺に位置する代官町であり、二の堀外の武家屋敷地でした。城下町南辺の大規模な調査としては嚆矢であり、建物跡・井戸・埋桶などの武家屋敷に関連する遺構と、大量の陶磁器が出土しています。

今後この検出された遺構・遺物が、開府 500 年を迎える甲府の歴史解明の一助となるとともに、生涯学習や今後の街づくりを考える上で活用され、より地域の歴史文化を再認識し深めていただければ幸いです。

末筆ながら、ご協力を賜った関係機関各位並びに直接調査にあられた方々に厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 3 月

甲府市教育委員会
教育長 長谷川 義高

例 言

1. 本書は、山梨県甲府市相生2丁目226番地他に所在する甲府城下町遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査は、公共福祉施設建設に伴うものであり甲府市教育委員会が主体となり、業務委託を受けた昭和測量株式会社が実施した。
3. 試掘調査は甲府市教育委員会文化課志村憲一が担当した。
4. 発掘調査及び整理作業は甲府市教育委員会より委託を受けた昭和測量株式会社の泉英樹・高野高潔・小谷亮二が行った。整理作業にあたっては新津健の助言を受けた。
5. 試掘調査は平成25年8月21日から8月23日まで実施した。発掘調査は平成25年11月11日から平成26年3月20日まで実施し、整理・報告書刊行業務は平成26年6月2日から平成27年3月13日まで実施した。
6. 本書の執筆は、第1章第1節を志村憲一、第2章・第5章第1節を小谷亮二が担当し、第6章は株式会社パレオ・ラボに委託した。その他は泉英樹が担当した。
7. 発掘調査の基準点測量は昭和測量株式会社が行った。出土遺物の保存処理は公益財団法人山梨文化財研究所が行い、自然科学分析は株式会社パレオ・ラボが行った。
8. 遺跡におけるX・Y座標は世界測地系座標を使用している。
9. 発掘調査および報告書の作成にあたり次の方々にご教示とご協力を賜った。記して謝意を表する。
(順不同、敬称略)
鈴木稔・畑大介・藤澤明(公益財団法人山梨文化財研究所)、堀内秀樹(東京大学埋蔵文化財調査室)
10. 本調査における図面・写真・遺物はすべて甲府市教育委員会で保管している。

凡 例

本書における遺構・遺物の表示は以下の通りである。

1. 遺構・遺物の挿図の縮尺は、各図にスケールバーで表示した。
2. 遺構平面図の方位は原則的に図面上を座標北とした。
3. 遺物番号は、出土地点ごとに連番で付した。遺物分布図・観察表および本文中の番号はそれぞれ対応している。
4. 遺構及び遺物の色調は、『新版標準土色帖2010年版』(農林水産省農林水産技術会議事務局監修)に基づいた。
5. 断面図中の数値は、海拔高度(T.P.)を示す。
6. 発掘調査で検出した遺構については以下の遺構記号を使用し、遺構ごとに連番で番号を付した。本報告でも一部を除いては新たな番号を付与せず、発掘調査時点のものを使用した。そのため、井戸や埋桶についても略号はSKを使用している。報告文中では性格が判明した遺構についてはそれぞれ、「井戸」「埋桶」などと明記した。
SX：遺物集中地点　SB：建物跡　SK：土坑　SP：柱跡・杭跡　SD：溝状遺構
7. 遺物実測図に使用したスクリーントーンは以下の通りである。

 欠損部  煤・炭化物

目次

第1章 調査の経過	
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の経過	1
第2章 遺跡の位置と環境	
第1節 地理的環境	2
第2節 歴史的環境	2
第3章 調査の方法と基本層序	
第1節 調査の方法	6
第2節 基本層序	6
第4章 遺構と遺物	
第1節 旧校舎基礎	10
第2節 遺物集中地点 (S X 1)	10
第3節 建物跡 (S B)	10
第4節 土坑 (S K)	12
第5節 ピット列	19
第6節 溝状遺構 (S D)	22
第5章まとめ	
第1節 土地利用の変遷	154
第2節 遺構について	158
引用・参考文献	162
第6章自然科学分析	
第1節 土壌分析	163
第2節 微細物分析	169
第3節 元素マッピング分析	172

挿図目次

第1図 遺跡の位置・周辺の遺跡分布図	3	第14図 建物跡(4) SB1	33
第2図 調査地点位置図	4	第15図 建物跡(5) SB2	34
第3図 試掘トレンチ位置図・グリッド設定図	7	第16図 建物跡(6) SB2	35
第4図 基本層序	8	第17図 建物跡(7) SB3	36
第5図 遺構全体図	9	第18図 建物跡(8) SB4	37
第6図 旧校舎基礎(1)	25	第19図 建物跡(9) SB4	38
第7図 旧校舎基礎(2)	26	第20図 土坑(1) SK1・27、SP67・70	39
第8図 旧校舎基礎(3)	27	第21図 土坑(2) SK2・3(井戸)・4・5・ 17・20	40
第9図 遺物集中地点 SX1(1)	28	第22図 土坑(3) SK2・3(井戸)・4・5・ 17・20	41
第10図 遺物集中地点 SX1(2)	29	第23図 土坑(4) SK6～10	42
第11図 建物跡(1) SB1	30	第24図 土坑(5) SK11(井戸)～14	43
第12図 建物跡(2) SB1	31	第25図 土坑(6) SK16・18・19・21	44
第13図 建物跡(3) SB1	32		
第14図 建物跡(4) SB1	33		

第 26 図	土坑(7) SK16・18・19・21	45	第 59 図	遺構出土遺物(14) SX1	78
第 27 図	土坑(8) SK22(埋桶)～25・30	46	第 60 図	遺構出土遺物(15) SX1	79
第 28 図	土坑(9) SK26	47	第 61 図	遺構出土遺物(16) SX1	80
第 29 図	土坑(10) SK28・33(埋桶)・34・ 35(埋桶)・37・38	48	第 62 図	遺構出土遺物(17) SX1	81
第 30 図	土坑(11) SK36・50(井戸)	49	第 63 図	遺構出土遺物(18) SX1	82
第 31 図	土坑(12) SK36・50(井戸)	50	第 64 図	遺構出土遺物(19) SX1	83
第 32 図	土坑(13) SK39～41・44・ 45(埋桶)・SP35	51	第 65 図	遺構出土遺物(20) SX1	84
第 33 図	土坑(14) SK42・43(井戸)・46・47	52	第 66 図	遺構出土遺物(21) SX1	85
第 34 図	土坑(15) SK48・49・54	53	第 67 図	遺構出土遺物(22) SX1	86
第 35 図	土坑(16) SK51・53・55	54	第 68 図	遺構出土遺物(23) SB1・SB2・SK1	87
第 36 図	土坑(17) SK56(井戸)	55	第 69 図	遺構出土遺物(24) SK1	88
第 37 図	ピット列(1) ピット列1～5	56	第 70 図	遺構出土遺物(25) SK1・SK2	89
第 38 図	ピット列(2) ピット列6～14	57	第 71 図	遺構出土遺物(26) SK3(井戸)	90
第 39 図	ピット列(3) ピット列6～16	58	第 72 図	遺構出土遺物(27) SK3(井戸)	91
第 40 図	溝状遺構(1) 溝状遺構位置図	59	第 73 図	遺構出土遺物(28) SK4～6・ SK8・SK11(井戸)	92
第 41 図	溝状遺構(2) 溝状遺構位置図	60	第 74 図	遺構出土遺物(29) SK11(井戸)・SK12	93
第 42 図	溝状遺構(3) SD22	61	第 75 図	遺構出土遺物(30) SK13・SK17	94
第 43 図	溝状遺構(4) SD2	62	第 76 図	遺構出土遺物(31) SK18	95
第 44 図	溝状遺構(5) SD3・7～16	63	第 77 図	遺構出土遺物(32) SK18	96
第 45 図	溝状遺構(6) SD4～6・17・20～23	64	第 78 図	遺構出土遺物(33) SK18	97
第 46 図	遺構出土遺物(1) 旧校舎基礎・SX1	65	第 79 図	遺構出土遺物(34) SK18・SK19	98
第 47 図	遺構出土遺物(2) SX1	66	第 80 図	遺構出土遺物(35) SK19	99
第 48 図	遺構出土遺物(3) SX1	67	第 81 図	遺構出土遺物(36) SK19・SK20・SK22(埋桶)	100
第 49 図	遺構出土遺物(4) SX1	68	第 82 図	遺構出土遺物(37) SK22(埋桶)	101
第 50 図	遺構出土遺物(5) SX1	69	第 83 図	遺構出土遺物(38) SK23	102
第 51 図	遺構出土遺物(6) SX1	70	第 84 図	遺構出土遺物(39) SK23	103
第 52 図	遺構出土遺物(7) SX1	71	第 85 図	遺構出土遺物(40) SK23～25	104
第 53 図	遺構出土遺物(8) SX1	72	第 86 図	遺構出土遺物(41) SK26・SK31・SK33(埋桶)	105
第 54 図	遺構出土遺物(9) SX1	73	第 87 図	遺構出土遺物(42) SK35(埋桶)・SK36(井戸)・SK38・ SK40～SK42・SK43(井戸)・ SK44・SK45(埋桶)	106
第 55 図	遺構出土遺物(10) SX1	74	第 88 図	遺構出土遺物(43) SK46～48	107
第 56 図	遺構出土遺物(11) SX1	75	第 89 図	遺構出土遺物(44) SK48	108
第 57 図	遺構出土遺物(12) SX1	76	第 90 図	遺構出土遺物(45) SK48・ SK50(井戸)・SK51・SK52	109
第 58 図	遺構出土遺物(13) SX1	77			

第 91 図	遺構出土遺物 (46) SK52	110	第 116 図	木製品 (6) SK35 (埋桶)	135
第 92 図	遺構出土遺物 (47) SK52・SK55	111	第 117 図	木製品 (7) SK36 (井戸)・SK41・SK45 (埋桶)	136
第 93 図	遺構出土遺物 (48) SK55・ピット列 9・ピット	112	第 118 図	木製品 (8) SK45 (埋桶)	137
第 94 図	遺構出土遺物 (49) ピット・SD2	113	第 119 図	木製品 (9) SK49・SK50 (井戸)	138
第 95 図	遺構出土遺物 (50) SD2	114	第 120 図	木製品 (10) SK50 (井戸)	139
第 96 図	遺構出土遺物 (51) SD3・SD4	115	第 121 図	木製品 (11) SK50 (井戸)・SK53・SK56 (井戸)	140
第 97 図	遺構出土遺物 (52) SD4	116	第 122 図	木製品 (12) SP97・SP275・SP276・SD4・SD5・SD11	141
第 98 図	遺構出土遺物 (53) SD4	117	第 123 図	「甲斐府中(『諸国当城之図』)トレース図	142
第 99 図	遺構出土遺物 (54) SD5	118	第 124 図	「柳沢期ノ甲府ノ郭内郭外図」トレース図	142
第 100 図	遺構出土遺物 (55) SD5・SD6	119	第 125 図	「甲府城下絵図」トレース図	143
第 101 図	遺構出土遺物 (56) SD10	120	第 126 図	「元文三年甲府城下町絵図」トレース図	143
第 102 図	遺構出土遺物 (57) SD10・SD11・SD19・SD20・SD21・SD23	121	第 127 図	『改正新刻甲府市街全図』(明治 29 年)トレース図	143
第 103 図	遺構外出土遺物 (1)	122	第 128 図	「相生尋常小学校落成記念」絵はがき	144
第 104 図	遺構外出土遺物 (2)	123	第 129 図	「相生尋常小学校校舎地六百分ノ一平面図(其一)」	144
第 105 図	遺構外出土遺物 (3)	124	第 130 図	「相生子守学校 遊戯風景」(写真)(大正貳年)	145
第 106 図	遺構外出土遺物 (4)	125	第 131 図	「商都甲府市家屋図」と調査区合成図	145
第 107 図	遺構外出土遺物 (5)	126	第 132 図	遺構間接合遺物・蓮月焼・碗形容器出土位置	160
第 108 図	遺構外出土遺物 (6)	127	第 133 図	遺構の時期変遷	161
第 109 図	遺構外出土遺物 (7)	128			
第 110 図	遺構外出土遺物 (8)	129			
第 111 図	木製品 (1) SX1・SK3 (井戸)・SK18	130			
第 112 図	木製品 (2) SK19・SK21・SK22 (埋桶)	131			
第 113 図	木製品 (3) SK22 (埋桶)・SK26・SK30	132			
第 114 図	木製品 (4) SK30・SK33 (埋桶)	133			
第 115 図	木製品 (5) SK35 (埋桶)	134			

表目次

第 1 表	周辺の遺跡	5	第 8 表	遺物観察表 (7)	148
第 2 表	遺物観察表 (1)	142	第 9 表	遺物観察表 (8)	149
第 3 表	遺物観察表 (2)	143	第 10 表	遺物観察表 (9)	150
第 4 表	遺物観察表 (3)	144	第 11 表	遺物観察表 (10)	151
第 5 表	遺物観察表 (4)	145	第 12 表	遺物観察表 (11)	152
第 6 表	遺物観察表 (5)	146	第 13 表	遺物観察表 (12)	153
第 7 表	遺物観察表 (6)	147			

写真図版

- 図版 1 調査区全景
図版 2 調査区全景
調査区近景
基本層序
図版 3 旧校舎基礎検出
旧校舎基礎セクション面
旧校舎基礎 杭検出
旧校舎基礎杭セクション面
図版 4 SX1 遺物出土状況
SX1 遺物・貝層出土状況
図版 5 SB1 SB1 地鎮具
SB1 SP22
図版 6 SB1 SP29 SB1 SP23
SB1 SP30 SB1 SP27
図版 7 SB2 SP19 SB2 SP20
図版 8 SB2 SP218 遺物出土状況
SB3 SB3 SP136
SB3 SP138 SB3 SP248
SB3 SP250 SB3 SP251
図版 9 SB4 SB4 SP146
SB4 SP154 SB4 SP156
SB4 SP178 SB4 SP179
SK2 SK3
図版 10 SK3 (井戸) SK4 SK5 SK7
SK8 SK9 SK10
図版 11 SK10 SK11 (井戸) SK12 SK13
図版 12 SK13 SK16 SK17 SK18
図版 13 SK18 SK19 SK22
図版 14 SK22 SK23 SK24
図版 15 SK25 SK26 SK27
図版 16 SK28 SK30 SK33
図版 17 SK33 SK35 (埋桶) SK36 (井戸)
図版 18 SK36 SK37 SK38
図版 19 SK39 SK40・41 SK43 (井戸)
図版 20 SK43 SK45 (埋桶) SK46 SK47
図版 21 SK48 SK49 SK50 (井戸)
図版 22 SK50 (井戸) SK51 SK53 SK54
図版 23 SK55 SK56
ピット列 1・2
ピット列 4・5
図版 24 ピット列 4・5
ピット列 6・7
ピット列 8・9
ピット列 10・11・12
ピット列 13・14・15
ピット列 16 SP52
図版 25 SD2 SD3 SD4
図版 26 SD4 SD5 SD6
図版 27 SD6 SD9 SD10 SD11
図版 28 SD15 SD16 SD17
SD21 SD22 SD23
図版 29 調査前風景
調査風景
調査後風景
図版 30 遺物写真 旧校舎基礎・SX1
図版 31 遺物写真 SX1
図版 32 遺物写真 SX1
図版 33 遺物写真 SX1
図版 34 遺物写真 SX1
図版 35 遺物写真 SX1
図版 36 遺物写真 SX1
図版 37 遺物写真 SX1
図版 38 遺物写真 SX1
図版 39 遺物写真 SX1
図版 40 遺物写真 SX1
図版 41 遺物写真 SX1
図版 42 遺物写真 SX1
図版 43 遺物写真 SX1
図版 44 遺物写真 SX1 SB1 SB2 SK1
図版 45 遺物写真 SK1・SK2
図版 46 遺物写真 SK3 (井戸) SK4 SK5
図版 47 遺物写真 SK6 SK8 SK11 (井戸) SK12
図版 48 遺物写真 SK13 SK17 SK18
図版 49 遺物写真 SK18 SK19
図版 50 遺物写真 SK19 SK20 SK22 (埋桶)

図版 51 遺物写真 SK23
図版 52 遺物写真 SK24 ~ 26 SK31 SK33
SK35 (埋桶) SK36 (井戸) SK38
SK40 ~ 42 SK43 (井戸)
SK45 (埋桶) SK46
図版 53 遺物写真 SK47 SK48
図版 54 遺物写真 SK50 (井戸) ~ 52
図版 55 遺物写真 SK55 ピット列 9 SP49
SP67 SP76 SP97 SP160
SP173 SP199 SP227
SP306 SP364
図版 56 遺物写真 SD2 SD3 SD4
図版 57 遺物写真 SD4
図版 58 遺物写真 SD4 SD5 SD6
図版 59 遺物写真 SD6 SD10
図版 60 遺物写真 SD11 SD19 SD20 SD21
SD23 遺構外
図版 61 遺物写真 遺構外
図版 62 遺物写真 遺構外
図版 63 遺物写真 遺構外
図版 64 遺物写真 遺構外
図版 65 遺物写真 木製品 SX1 SK3 SK18
SK19 SK21 SK22
図版 66 遺物写真 木製品 SK22 (埋桶)
SK26 SK30
図版 67 遺物写真 木製品 SK33 SK35 (埋桶)
図版 68 遺物写真 木製品 SK35 (埋桶)
図版 69 遺物写真 木製品 SK36 (井戸)
SK41 SK45 (埋桶)
SK49 SK50 (井戸)
図版 70 遺物写真 木製品 SK50 (井戸)
図版 71 遺物写真 木製品 SK50 (井戸)
SK53 SK56
SP97 SP275
SP276 SD4
SD5 SD11

第1章 調査の経過

第1節 調査に至る経緯

平成17年3月、相生小学校は100年以上の歴史をとじ閉校となり、その後跡地は甲府市役所仮庁舎として使用されるなどしたが、跡地利用として公共福祉施設の建設が実施されることとなった。平成25年4月18日付け福発第359号で甲府市長宮島雅展より文化財保護法第94条第1項に基づく埋蔵文化財発掘通知が山梨県教育委員会宛に提出された。山梨県教育委員会から平成25年5月13日付け教学文第584号で周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等についての通知に基づき、甲府市教育委員会文化課と甲府市福祉部高齢者福祉課は、埋蔵文化財の調査に関して協議を行い調査を実施することとなった。

試掘調査は、平成25年8月21日から23日の3日間をかけて実施し、遺跡の時代・内容、遺構の残存状況などの把握を行った。試掘調査の結果、近世を中心とする遺構・遺物が確認されたため、関係部局と協議を行い開発により遺跡に重大な影響を与える建物建設範囲及び基礎掘削範囲を含め1,760㎡を対象として本調査を実施することとなった。

本調査は、甲府市教育委員会が事業の執行委任を受け、発掘調査予算の執行にあたった。調査に関しては、甲府市教育委員会文化課が主体となって、昭和測量株式会社に業務委託し、平成25年11月11日から平成26年3月20日の期間実施した。また整理作業及び報告書作成業務に関しては、平成26年6月2日から平成27年3月13日まで上記業者に業務委託を行い実施した。

第2節 調査の経過

発掘調査は平成25年11月11日から平成26年3月20日まで実施した。11月18日に調査区の設定を行い、重機を搬入して表土掘削を開始した。表土掘削は27日までに終了し、人力による遺構の検出と掘削作業を開始した。遺構掘削は平成26年2月4日まで行い、5日に遺構面の清掃作業を行ってラジヘリによる空中写真撮影を行った。空撮終了後、9日に予定されていた現地説明会のための会場設営を行ったが、2月8日の大雪で場内は50cm近い積雪となり現地説明会は中止となった。その後、14日から15日未明にかけて甲府市内に再び100cmに及ぶ積雪があり、作業は中止を余儀なくされた。融雪を待って3月4日に作業を再開し、井戸の断割などの調査の後、19日まで埋め戻しを行って、ガードフェンスを撤去し機材を片付けて、20日に現場を明け渡した。

整理作業は、現場調査と並行して平成26年3月19日まで遺物の水洗・注記・接合等の基礎整理を行った。報告書刊行に向けた本格的な整理作業は、平成26年6月2日から開始した。遺物の写真撮影・実測・トレースなどから作業をはじめ、順次、遺構図の編集作業や図版・挿図の作成、報告書の本文執筆を進め、平成27年3月13日まで作業を行った。

【調査体制】

調査担当者 志村憲一（甲府市教育委員会）

泉 英樹・高野高潔・小谷亮二（昭和測量株式会社文化財調査課）

整理作業助言 新津 健（昭和測量株式会社文化財調査課）

発掘補助員 池谷千代子・伊藤津真子・大森透江・長田秋文・小澤美幸・北野礼子・小池幹子・小林としみ・齊藤里美・田中孝雄・千野富子・内藤敏夫・広瀬ありさ・松本榮一・宮原雄二・望月一正・望月敏子・米山孝子・渡辺麗子

整理補助員 上島光子・大森透江・小澤美幸・栗田かず子・齊藤里美・広瀬ありさ・藤原由香・三木一恵・渡辺麗子

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境（第1図）

甲府城下町遺跡は、16世紀末から造営された近世城下町である。甲府盆地の北部山地から注ぐ相川によって形成された扇状地の扇端部に位置し、西側に相川、南側に荒川、北東側に愛宕山の縁辺部を東へ走る藤川が流れ、それらの河川に囲まれた範囲に立地している。愛宕山（標高423 m）から西南方向には、甲府城が築かれた一条小山（標高304 m）が連なっている。

調査地点は、甲府城下町の南端部に位置し、甲府城の二の堀の外側の武家屋敷地に該当する。甲府城下町遺跡の扇状地斜面は、標高260 m～300 mを測るが、調査地点の標高は、遺構検出面で261.9～262.1 mである。

第2節 歴史的環境（第1・2図・第1表）

縄文時代～平安時代 甲府盆地および盆地の北から東に位置する丘陵には、縄文時代～近世に至るまで多くの遺跡が分布している。甲府城下町およびその周辺における調査では、縄文時代～平安時代の遺跡は部分的に確認されているものの数は多くない。ただし扇状地上の他の遺跡では、弥生時代から古墳時代あるいは平安時代までの複合遺跡があり、盆地の南側でも多くの古墳時代の遺跡が分布する。扇状地という立地条件や河川の流路の変動、中・近世における土地利用改革の影響を受けなければさらに多くの遺跡が分布していたと思われる。

中世 武田城下町遺跡（15）は、武田信虎が石和から躑躅ヶ崎へ本拠地を移したことにより開かれ整備された城下町である。武田城下町の南側は、近世の甲府城下町遺跡と重なっている。緑ヶ丘二丁目遺跡（11）からは平成6年の第3次調査で人骨が検出された。人骨は屈葬で中世の土坑墓と想定される。遺跡の北に位置する法泉寺に關係する墓地の一つの可能性もある。山梨大学遺跡（22）は武田城下町遺跡の中でも南北基軸街路の一つである鍛冶小路に面している。秋山氏館跡（49）からは墓坑23基、茶毘状遺構2基、区画溝、井戸跡、建物跡が検出されている。15世紀には墓域であったが、その後近世の屋敷地へ変化したと思われる。家之前遺跡（66）からは、平成15年の調査で15世紀後半の遺物が出土している。

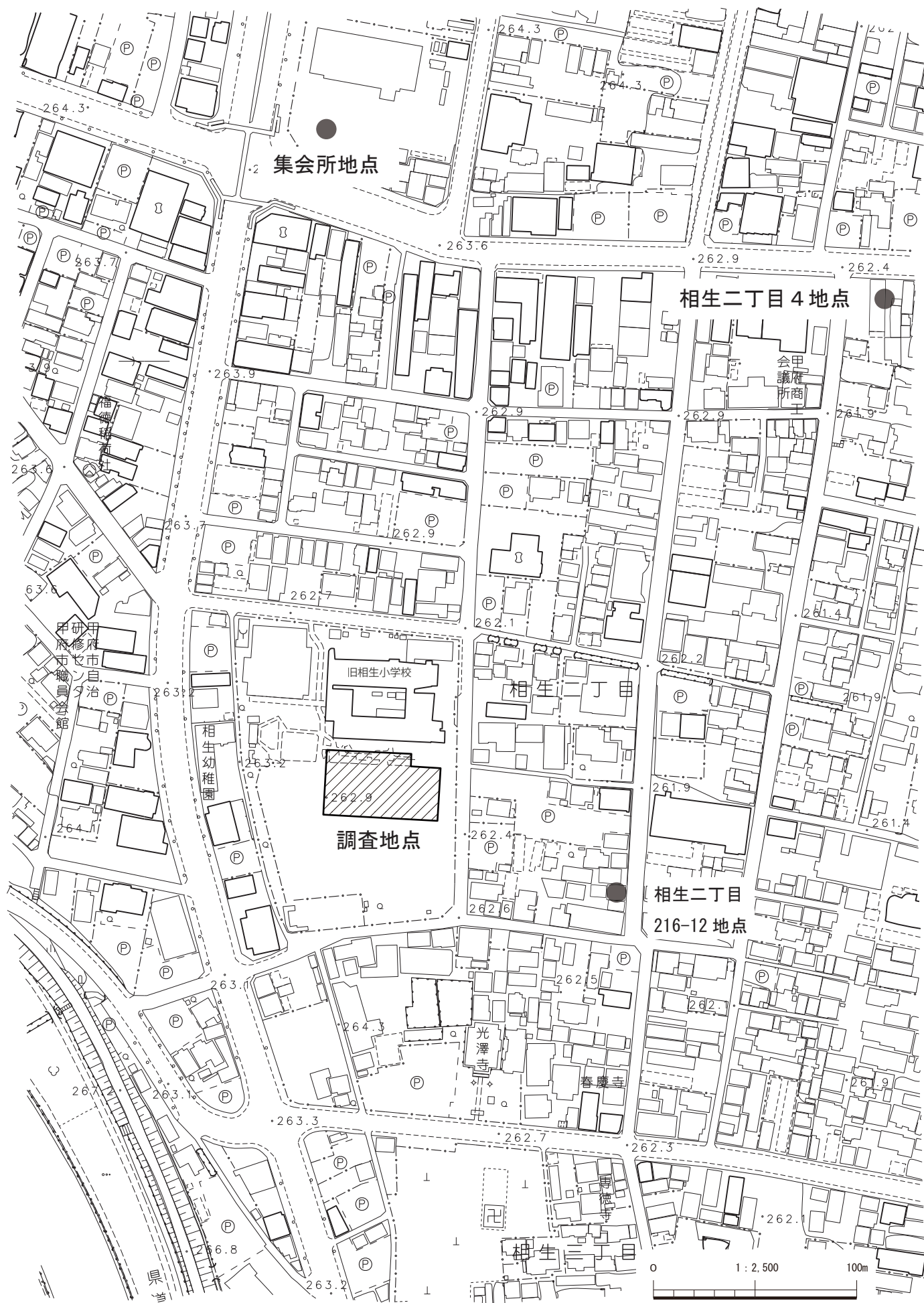
近世 甲府城下町遺跡（1）は、一条小山に総石垣の平山城として整備された甲府城（2）の周囲に、三重の堀を巡らせて区画された城下町である。二の堀内は武家屋敷地、その外側は町人地とされた。また荒川より取水した甲府上水が敷設されていた。17世紀代の幕府直轄領時代、18世紀初めの柳沢支配の時代を経て、再び幕府の治めるところとなり、幕末まで甲府勤番が設置された。永慶寺跡（17）は、柳沢吉保の菩提寺として建立された。寿町遺跡（33）は江戸時代には甲州街道が区域内を東西に貫通しており、街道沿いは飯田新町などの町屋が存在していた。昭和62年の試掘調査では江戸期以降の敷石と遺物が出土している。

今回の調査地点は、甲府城下町遺跡の南端に位置し、二の堀の外側の武家屋敷地に該当する。近隣では、集会所地点や相生二丁目4地点、相生二丁目216-12地点で発掘調査が行われている。旧相生小学校地点の北約300 mの位置にある集会所地点は、二の堀の南端部に該当する。上水跡や井戸、埋桶、埋甕、廃棄土坑、建物跡、二の堀など近世から近代を中心とした遺構が検出されている。



第1図 遺跡の位置・周辺の遺跡分布図

S=1/25000



第2図 調査地点位置図

第1表 周辺の遺跡

番号	遺跡名	時代	種別
1	甲府城下町遺跡	近世	集落跡
2	甲府城跡	近世	城館跡
3	八幡東遺跡	弥生・古墳	散布地
4	湯村山5号墳	古墳時代	古墳
5	湯村山4号墳	古墳時代	古墳
6	湯村山3号墳	古墳時代	古墳
7	湯村山2号墳	古墳時代	古墳
8	湯村山1号墳	古墳時代	古墳
9	万寿森古墳	古墳時代	古墳
10	和田無名墳	古墳時代	古墳
11	緑ヶ丘二丁目遺跡	古墳～平安	古墳
12	緑ヶ丘一丁目遺跡	古墳時代	散布地
13	向田B遺跡		散布地
14	長閑遺跡	中世	包蔵地
15	武田城下町遺跡	中世	集落跡
16	大手下遺跡	縄文時代	散布地
17	永慶寺跡	中世	寺院跡
18	岩窪C遺跡	古墳時代	散布地
19	中道東遺跡	近世	散布地
20	中道西遺跡	古墳時代	散布地
21	岩窪遺跡	奈良・平安・中世	包蔵地
22	山梨大学遺跡	奈良・平安	包蔵地
23	コツ塚古墳	古墳時代	古墳
24	八幡神社遺跡	縄文時代	散布地
25	二ッ塚2号墳	古墳時代	古墳
26	二ッ塚1号墳	古墳時代	古墳
27	二ッ塚3号墳	古墳時代	古墳
28	大笠山水の元遺跡	古墳時代～	散布地
29	新紺屋小学校遺跡	近世	散布地
30	塩部遺跡	弥生～平安	包蔵地
31	富士見遺跡	古墳・平安	散布地
32	宝町遺跡	縄文・平安	包蔵地
33	寿町遺跡	古墳時代～	包蔵地
34	御崎田遺跡	平安時代	散布地
35	亥ノ兎遺跡	平安時代～	散布地
36	地蔵北遺跡	古墳～平安	散布地
37	大六天遺跡	平安時代～	散布地
38	宮裏遺跡	平安時代～	散布地
39	銀杏之木遺跡	平安～近世	散布地
40	東光寺遺跡	平安時代～	散布地
41	宮の前遺跡	縄文時代	散布地
42	上石田B遺跡	平安時代	散布地
43	上石田遺跡	縄文時代	集落跡
44	上河原遺跡	平安時代～	散布地
45	渋沢遺跡	平安時代～	散布地
46	大北河原遺跡	平安時代	散布地

番号	遺跡名	時代	種別
47	久保北河原遺跡	平安時代	散布地
48	渋沢遺跡	平安時代～	散布地
49	秋山氏館跡	中世	城館跡
50	千松院遺跡	中世～	散布地
51	太田町遺跡	古墳時代～	散布地
52	青沼遺跡	古墳時代	包蔵地
53	青沼三丁目遺跡	中世～	散布地
54	湯田一丁目遺跡	古墳時代	散布地
55	朝気遺跡	縄文～平安	集落跡
56	伊勢町遺跡	古墳時代	包蔵地
57	食糧工場遺跡	縄文・弥生	包蔵地
58	幸町A遺跡	弥生時代	包蔵地
59	木俣遺跡	近世	散布地
60	般舟院跡	中世	寺院跡
61	幸町B遺跡	古墳時代	散布地
62	住吉天神遺跡	古墳～平安	散布地
63	南口町A遺跡	平安時代	散布地
64	南口町B遺跡	平安時代	散布地
65	里吉天神遺跡	古墳～平安	散布地
66	家之前遺跡	平安時代	散布地
67	字前A遺跡	古墳時代	散布地
68	十丁遺跡	古墳時代	散布地
69	十丁B遺跡	古墳時代	散布地
70	字前B遺跡	古墳時代	散布地
71	北桜遺跡	平安時代	散布地
72	野村遺跡	古墳～平安	散布地
73	青葉町遺跡	平安時代	散布地
74	二又遺跡	古墳時代	包蔵地
75	宮田遺跡	弥生・平安	散布地
76	上ノ木遺跡	古墳～平安	散布地
77	明石西河原遺跡	平安時代	散布地
78	上町天神遺跡	古墳～平安	散布地
79	大土井遺跡	平安時代	散布地
80	土尻遺跡	中世	散布地
81	小宮氏館跡	中世	城館跡

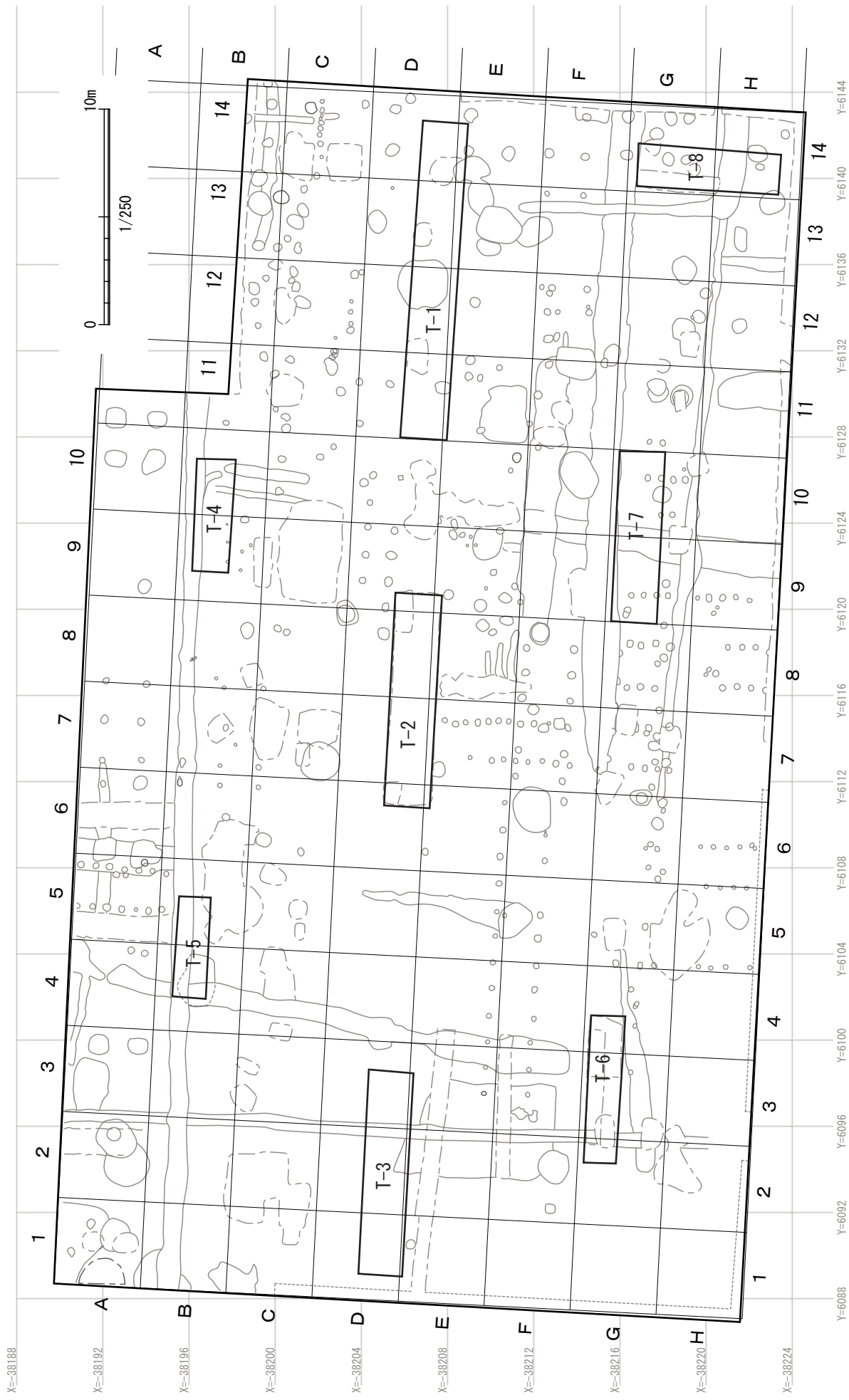
第3章 調査の方法と基本層序

第1節 調査の方法（第3図）

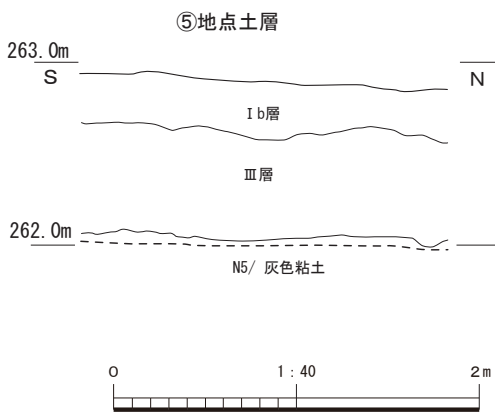
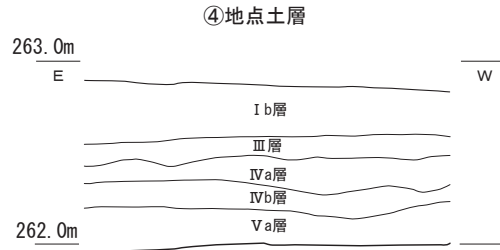
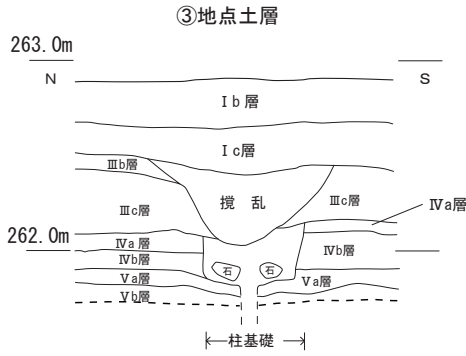
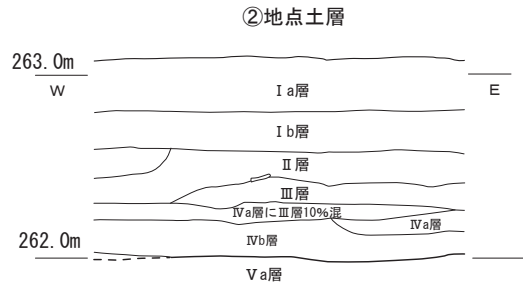
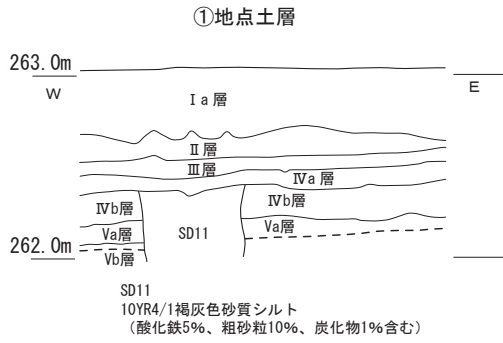
表土除去には重機を使用した。調査区は、旧相生小学校の校庭となっていた場所の北半部である。その整地層や昭和20年7月の甲府空襲による焼土層、明治時代の氾濫堆積層と考えられた砂層については、重機を使用して掘り下げ、試掘結果などから江戸時代の包含層とみられた層を10cmほど残して掘削を止めた。排土は、校庭の南半部を排土置き場とし、ダンプを使用して搬出した。排土置き場は、近隣住民に配慮してシート養生を施し、砂塵の飛散防止に努めた。重機掘削後、場内にグリッド杭を打設した。グリッドは調査区の形状に沿った形の任意グリッドで4mメッシュとした。調査区の形状は現状の街路の軸に沿っているため、グリッドの軸方向は現状の街路の軸方向とほぼ同一となる。グリッド設定後、調査区の壁際にサブトレンチを設定し土層観察を行いながら、人力で包含層を掘り下げて遺構検出面を決定した。グリッドは、この包含層の掘り下げの際に出土した遺構外の遺物の取上げに主に使用している。遺構検出面の精査を行った後は、それぞれの遺構の土層断面の記録をとりつつ調査をすすめた。遺構の測量は、土層断面は手実測にて行い、平面図はトータルステーションによる測量と手実測、写真実測を併用した。遺物はトータルステーションを使用して位置を記録して取上げ、小片や遺構外出土の遺物については各遺構又はグリッドごとの一括取上げ遺物とした。トータルステーションはSOKIA CX105を使用し、図化システムとしてCUBIC社「遺構くん」を用いた。また、遺構・遺物の写真撮影にはデジタル一眼レフカメラ（NikonD7000）を使用した。また、遺構完掘後には、ラジヘリによる空中写真撮影を実施し、その後、井戸や埋桶等の断割調査を行った。下層の層位については、調査区壁際に設定したサブトレンチや断割調査の際に確認した。

第2節 基本層序（第4図）

調査前の現況地盤の標高は262.9～263.1mで、遺構検出面の標高は261.9～262.1mを測る。基本層序は、調査区周りの壁を精査して観察した。東西南北の壁から5地点を図示した。現況地盤から30～50cmほどの厚さのⅠ層は、校庭又はアスファルト舗装下の整地層で、調査区北側では碎石層であった。Ⅱ層は、炭化物や瓦礫を多く含む焼土層で、昭和20年7月の甲府空襲によるものとみている。Ⅱ層は調査区の南側では確認されなかった。Ⅲ層は、にぶい黄褐色や暗灰黄色の細砂を基調とする砂層で、北側の①・②地点では10～20cmほどの層厚であるが、南西隅の⑤地点では約60cmの厚さで堆積する。調査区の西には明治39年7月の水害を期とした築堤を記念した石碑が建っているが、Ⅲ層は水害による氾濫堆積層と考えられる。Ⅳ層は褐灰色砂質シルトを基調とする層で、上層をⅣa層、下層をⅣb層とした。いずれも約10cmほどの層厚で、硬く締まり、江戸時代から近代の遺物を包含している。Ⅳ層は調査区南西側では確認されず、Ⅲ層下がⅤ層または灰色粘土層となる。Ⅴ層は、灰黄褐色の砂質シルトまたは粘土質シルトである。Ⅴ層からは遺物の出土がなく、遺構検出は、Ⅳ層を精査しながら、遺構が確認できない場合はⅤ層の上面まで掘り下げて行った。Ⅴ層の下層は井戸の断割調査時等に確認した（第22・24・31・36図）。概観すると、Ⅴ層下には30～40cmの層厚で黒褐色粘土層が堆積し、その下が灰白色粘土層となる。さらに検出面から3.5mほど下の砂礫層で湧水が確認でき、調査区内で検出した井戸は底面がこの深さに達している。



第3図 試掘トレンチ位置図・グリッド設定図



I a層：整地層（碎石層1）

I b層：整地層（碎石層2）

I c層：整地層

II層：10YR3/2 黒褐色砂質シルトに
2.5YR4/6 赤褐色砂質シルト（焼土）、
炭化物、瓦礫ゴミ多く含む

IIIa層：10YR4/2 灰黄褐色砂質シルトに
10YR5/3 にぶい黄褐色細砂 30%混じる（締り強い）

IIIb層：10YR5/3 にぶい黄褐色細砂と 10YR5/1 褐灰色細砂が
薄く互層状に混じる（締りゆるい）

IIIc層：2.5Y5/2 暗灰黄色細砂

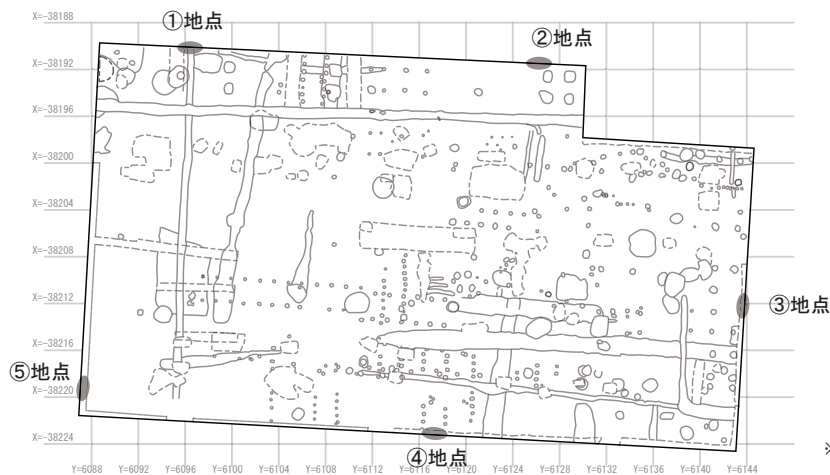
近代遺物包含層 — IVa層：10YR4/1 褐灰色砂質シルト（締り強い）

近世遺物包含層 — IVb層：10YR4/1 褐灰色砂質シルト

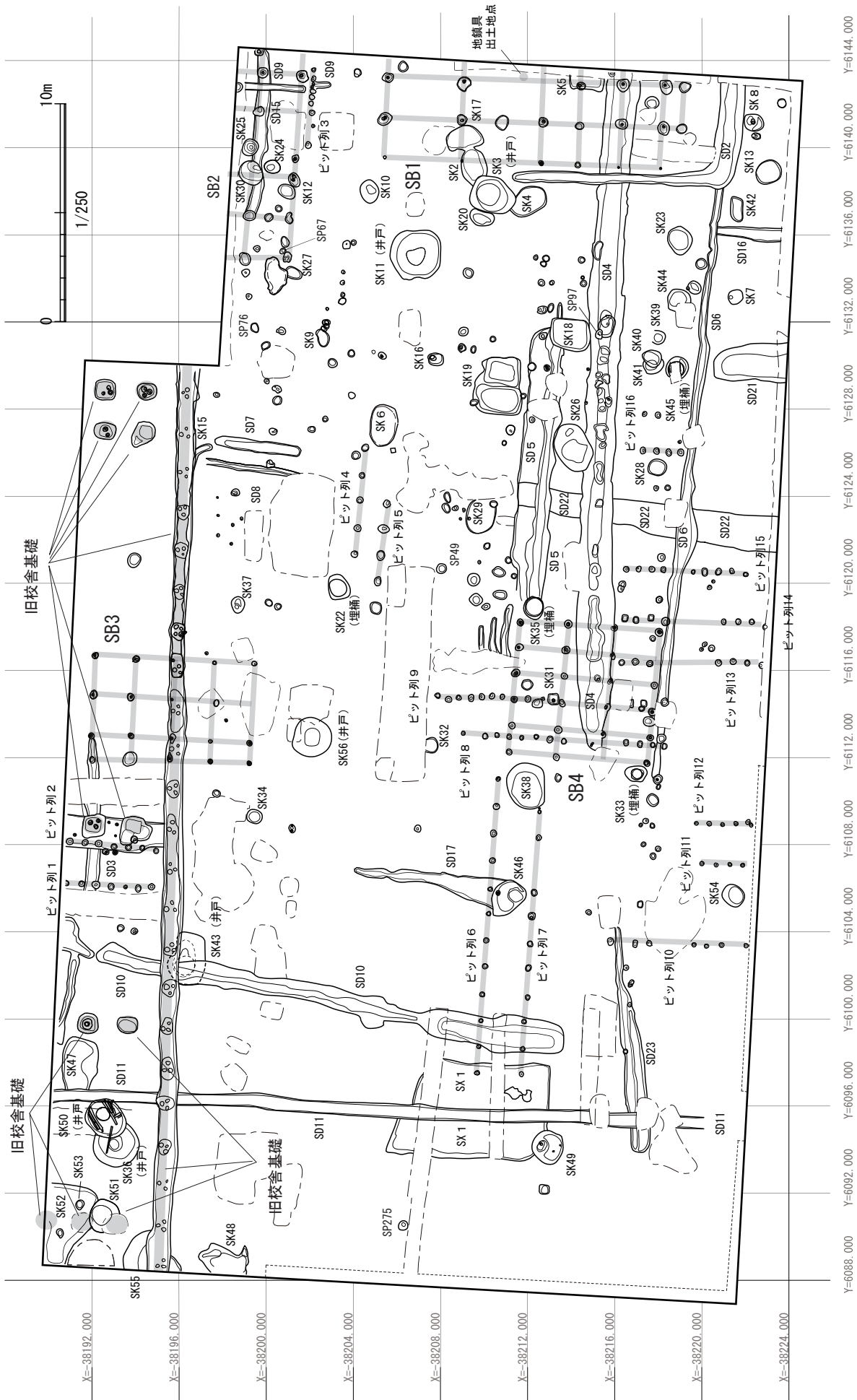
（IVa層より水分少なくかたく締まる、
炭化物3%、粗砂粒含む）

地山 — Va層：10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト（粗砂粒多く含む）

Vb層：10YR5/2 灰黄褐色粘土質シルト（酸化鉄5%含む）



第4図 基本層序



第5図 遺構全体図

第4章 遺構と遺物

第1節 旧校舎基礎（第6～8・46図）

調査区北側で検出した。SD1とSP1～11および3か所のコンクリート基礎からなる。SD1は調査区内を東西に走り、軸方向は現在の校舎の向きと同一である。10～20cmの栗石が敷き詰められており、栗石を除くと3本一組の木杭をおおむね一間（1.8m）の等間隔で検出した。断割確認したところ、一本の杭の長さは約1.8mであった。SP1～11も同様に10～20cmの栗石が込められていたが、栗石の下は木杭3本のもの、2本のもの、1本のもの、木杭がないものと様々であった。コンクリート基礎は、3か所で検出され、厚さ約10cmのコンクリートの下に栗石が込められている。木杭は確認されなかった。SD1とコンクリート基礎は、それぞれ布掘り構造の基礎、SP1～11は柱にあたる部分の基礎と推測する。調査区北壁の土層観察では、SP1とコンクリート基礎の上には、II層の戦災焼土層が堆積する。

当地には明治42年に相生小学校が移転してきている。これらの基礎の上に建っていた構造物は、コンクリートが使用されていることから移転当時のものとは考えにくい。昭和20年7月の甲府空襲で全焼した相生小学校の旧校舎に関わるものとする。出土遺物は混入遺物と思われるが、陶器の碗を2点図示した（1・2）。

第2節 遺物集中地点 SX1（第9～10・46～67・111図）

調査区西半部で検出した。平面形は不整形で、長軸7m、短軸4.4m、深さ26cmを測る。埋土は上層に暗灰黄色砂質シルト、下層に黄灰色砂質シルトが堆積する。遺構の立ち上がりは東肩が比較的明瞭であったのに対し西肩は不明瞭であった。また、SX1周辺は遺構が希薄で、特に南西方向に向かってはほとんど検出されなかった。これらの状況から調査時点では、南西の荒川方向に向かって、土地が低くなって湿地が広がり、その肩部から投棄された遺物が集中して検出された遺構と想定していたが、土壌分析の結果では池や湿地を示すような植生は確認されていない。

遺物の出土状況は、東半部に集中しており、磁器（1～135）、陶器（136～258）、土器（259～314）、土製品（315・316）、瓦（317～324）、石製品（325～333）、金属製品（334・335）、木製品（336～347）、シジミ貝が出土している。多様な日用雑器やシジミ貝が出土していること、瓦礫の出土は多くないことなどから、主に日常生活で使用したゴミが投棄された場所であったと考える。切り合いではSK49・SD11・ピット列5・ピット列6に先行する。時期は、出土遺物から江戸時代後半と考える。

第3節 建物跡（SB）

柱の基礎と見られる木杭やその痕跡が検出され、ピットの並びが複数列にわたって建物構成すると推定できるピット群を建物跡とした。調査区内で4軒検出している。ピットの並びが2列以下であったり、やや不規則なものはピット列として報告する。

SB1（第11～14・68図）

調査区東側で検出した。東側の調査区外へ延びていると推測するが、調査区内ではSP21～25・27～32・258・259・262～265・271の19基のピットで建物を構成する。東西2間、南北7間で検出しており、南半部は東西、南北軸ともに1間（1.8m）間隔の碁盤目状に並び、北半部では南北

軸の柱間が2間間隔となっている。主軸はN-2.5°-Eを指しており、現在の街路の軸方向と大きく変わらない。それぞれのピットには10~20cmの栗石が詰まっており、その下に杭痕が検出された。杭痕の深さは短いもので20cm、長いもので50cmである。これらのピットの栗石と杭痕は、柱の下部の基礎構造と考えられる。SB2の例などから、栗石の上に平らな石を置き、その上に柱を据えたものと推測するが、柱またはその痕跡の残る平石などは出土しなかった。

また、建物に伴うと考えられる遺構として、SP56と地鎮具、SD2があり、ここではSP56と地鎮具について記載する。

SP56は、SP27~30に囲まれた空間で検出したもので、方形の扁平な切石が据えられていた。石の下には薄い炭化物層が確認されたが、その下部に杭痕はなかった。SP56の南側のSP30・31でも、栗石は検出されたが杭痕は検出されなかった。SB1内で検出したピットの内、杭痕がみられなかったのはこの3基のみである。SP30・31は、SB1から半間ほど飛び出した位置で検出しており、位置関係や構造から比較的重量のかかからない玄関の庇などを支える柱部分で、SP56の切石は玄関の踏み石ではないかと想定している。

地鎮具とみられる遺物は、SB1の中央付近と推定される位置で出土している。掘り方は確認できず、IV層を掘り下げる過程で出土した。灯明受皿5枚が十字形に伏せられた状態で設置されており、皿を返すと4枚の中から水晶片が出土し(第68図2~6)、1枚の中からは木質遺物が出土した。木質遺物は腐食しており、何であったか不明である。

出土遺物は、SP24・27・28・30・31などで、磁器や陶器、土器などがあるが量は少なく、いずれも小片である。SP27で出土した磁器碗(1)を図示した。切り合いでは、SD4より新しく、SK2に先行する。建物の時期は、切り合いから近代と考える。

SB2 (第15・16・68図)

調査区北東隅で検出した。調査区外へ延びると考えられるが、調査区内ではSP12~17・218・19・20で建物を構成する。柱間は1間(1.8m)で、東西5間・南北1間で検出されている。主軸はN-84°-Wを差す。検出したピットは柱の下部の基礎構造と考えられ、柱は検出されなかった。SB1ではほとんどのピットで杭痕が検出されたが、SB2では杭痕がないものもあり、構造がさまざまである。SP12・15は栗石が検出されず、SP13・14・16・218では栗石があるが杭痕はない。SP19・20では、栗石の下に扁平な石が据えられ、さらに下に木杭とその根固めをするように石が込められている。また、SB2のピットの軸線上からは外れるが、SP52も同様な構造である。SP19・20で検出された扁平な石は柱の直下に据えられた礎石で、栗石とみえる部分が柱の根固め石であった可能性もあるが、上部構造が遺存していないため、詳細は不明である。

出土遺物は、SP16・17・19・20・218などで磁器や陶器、土器がある。SP218出土の磁器の碗(1)・皿(2)、土器の火鉢(3)を図示した。切り合いでは、SK30、SD15より新しい。時期は、出土遺物や切り合いから近代と考える。

SB3 (第17図)

調査区中央北側に位置する。SP247・136・251・137・248・252・250・138・249・254・255・256・178・180・(257)・185・179・183・189で建物を構成する。東西2.5間、南北4間で検出しており、西側の柱間のみ半間の間隔である。主軸はN-4°-Eを指す。ほとんどのピットに杭または杭痕が遺存する。杭の深さは、深いもので約60cmを測る。出土遺物が少なく、図示していないがSP137やSP248で陶器が出土している。切り合いでは、SD3より新しい。時期は建物の軸方向などからは近代の可能性はある。

S B 4 (第 18・19・122 図)

調査区中央南側に位置する。S P 153・154・146・268・267・276・274・156・273・272・269・266・280・281・282・283・284・322・323・338・343・277 で建物を構成する。東西 6 m、南北 6.4 m を測り、柱間は東西が 1.2 m、南北で 2.2 m である。主軸は N - 6.5° - E を指す。杭痕の深さは、深いもので約 60cm を測る。出土遺物は、加工木(1)が出土している。他に図示していないが、S P 281 ~ 284 で磁器、陶器、土器が出土している。切り合いでは S D 4 より新しく、S D 5・6 との位置関係や軸方向などから、時期は近代と推測する。

第 2 節 土坑 (S K)

S K 1 (第 20・68・69・70 図)

調査区北東部に位置する。平面形は不整形で、検出された長軸は 1.71 m、短軸 1.1 m、深さ 10cm を測る。出土遺物は陶器の播鉢(1)、土器の七輪(2・3・5)、火鉢(4)、丸瓦(6)、平瓦(7~11)、ガラス瓶(12)である。切り合いでは S K 27 より新しい。時期は近代である。

S K 2 (第 21・22・70 図)

調査区東側に位置する。平面形は楕円形で、長径 1.4 m、短径 1.2 m、深さ 84cm を測る。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂を主体とし、レンガや瓦などの瓦礫を含んでいる。

出土遺物は、磁器の碗(1)、陶器の煎茶器(2)・播鉢(3)、土器の火消壺蓋(5)、棧瓦(7)、平瓦(8)、砥石(9)、ガラス製品(10)がある。(2)の煎茶器は蓮月焼またはその模倣品とみられ、幕末から明治にかけて活躍した女流歌人・陶芸家の太田垣蓮月の歌が刻まれている。別の歌を刻んだ同型品が S D 6 から出土している。

切り合いでは S K 3 に先行する。S K 17 との前後関係は不明である。時期は近代で、埋土から明治後期の水害による氾濫で埋没した可能性がある。

S K 3 (井戸) (第 21・22・71・72・111 図)

調査区東側に位置する。平面形は不整形で、長軸 2.08 m、短軸 1.66 m、深さは図示していないが断割確認では、検出面より 3.5 m 下で湧水があり、井戸と考える。井戸側は遺存しておらず、構造は不明であるが、検出面より 1 m 付近でタガ状の竹の残欠を検出している。その下は、径約 80cm の円形の穴が湧水層まで掘られている。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂を主体とする。出土遺物は、磁器の碗(1)、土器の火鉢類(2・3)・不明製品(4)、瓦(5~16)、木製品(17)がある。切り合いでは S K 2・4 より新しい。時期は近代で、明治後期の水害による氾濫で埋没した可能性がある。

S K 4 (第 21・22・73 図)

調査区東側に位置する。平面形は楕円形で長径は 1.9 m、短径 1.2 m、深さ 12cm を測る。埋土は灰黄褐色砂質シルトで炭化物・焼土を含む。出土遺物は、磁器・陶器・瓦があり、瓦(1)を図示した。切り合いでは、S K 3 に先行する。時期は近代である。

S K 5 (第 21・22・73 図)

調査区の東壁沿いに位置する。平面形は方形で、長軸 1.6 m、短軸 1.0 m で深さは調査区東壁の土層観察では 1 m を測る。埋土は黒褐色砂質シルトを主体とし、下層に瓦礫を多く含む炭化物層が堆積する。磁器・陶器・土器・瓦が出土しており、土器の鉢(1)、火鉢類(2)、瓦(3・4)を図示した。時期は近代である。

S K 6 (第 23・73 図)

調査区中央部に位置する。平面形は楕円形で、長径 1.94 m、短径 1.24 m、深さ 6 cm を測る。出土遺物は、磁器、陶器、土器、瓦の他、瓦やレンガが出土しており、瓦 (1) と陶器の碁子 (2) を図示した。時期は、出土遺物から近代である。

S K 7 (第 23 図)

調査区南東部に位置する。平面形は楕円形で、長径 70cm、短径 64cm、深さ 60cm を測る。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂などが堆積する。図示していないが磁器の皿や棧瓦が出土している。時期は、出土遺物と埋土の特徴から近代と考える。

S K 8 (第 23・73 図)

調査区南東部に位置する。平面形は楕円形で、長径 96cm、短径 80cm、深さ 30cm を測る。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂が主体である。棒状の部材が出土したが、調査時の観察では原位置を保つものではないと考えられた。他の出土遺物は磁器、陶器、土器、瓦、ガラス瓶などがあり、磁器の碗 (1) を図示した。時期は、出土遺物と埋土の特徴から近代である。

S K 9 (第 23 図)

調査区北東部に位置する。平面形は不整形で、長軸 86cm、短軸 50cm、深さ 14cm を測る。出土遺物がなく、時期は不明である。

S K 10 (第 23 図)

調査区北東部に位置する。平面形は楕円形で、長径 1.1 m、短径 84cm、深さ 44cm を測る。埋土は黒褐色砂を主体とし、上層部分では杭の痕跡と考えられる腐食した木質部分が観察された。出土遺物は、図示していないが、磁器と陶器がある。時期は不明である。

S K 11 (井戸) (第 24・73・74 図)

調査区東側に位置する。平面形は円形で径 2.3 m、深さ 3.9 m を測る。断割確認したところ、底面は湧水層に達しており井戸と考えられるが、井戸側の構造は遺存しておらず不明である。検出面から 1 m ほど下からは、径約 60cm の穴となり、底面に達する。出土遺物は陶器の碗 (1～4)・皿 (8～10)、鉢 (11)、土器の皿 (12～20)、古銭 (5～7)、凹石 (21～23) などがある。(5) は「政和通寶」、(6) は不明だが、(7) は大正九年銘の五銭銅貨である。出土遺物から、埋没時期は近代である。

S K 12 (第 24・74 図)

調査区北東部に位置する。平面形は楕円形で、長径 84cm、短径 62cm、深さ 10cm を測る。埋土は黄灰色砂質シルトである。出土遺物は陶器の大甕 (1) と図示していないが棧瓦が出土している。時期は不明である。

S K 13 (第 24・75 図)

調査区南東隅に位置する。平面形は楕円形で、長径 1.22 m、短径 1.04 m、深さ 14cm を測る。埋土は黒褐色粗砂で炭化物を含む。出土遺物は、磁器の瓶 (1)、土製の人面 (2・3)・面摸 (4)・碁石 (5)、石筆 (6・7)、瓦 (8) などである。4 の面摸は、土を詰めて形をぬく玩具で江戸時代後半以降のものである。また、図示したのはヤマ文の刻印のある 1 点のみだが、棧瓦をはじめとして瓦が多く出土している。埋土に炭化物を含むことなどから、火災などで生じたゴミを投棄した土坑である可能性がある。出土遺物から時期は近代である。

S K 14 (第 24 図)

調査区東側の S B 1 の範囲内に位置する。平面形は楕円形で、長径 70cm、短径 56cm、深さ 8cm を測る。埋土は黄灰色砂質シルトである。遺物は図示していないが磁器の小片がある。時期は不明である。

S K 16 (第 25・26 図)

調査区東側の S K 19 の北側に位置する。平面形は不整形で、長軸 72cm、短軸 60cm、深さ 72cm を測る。埋土は灰黄褐色砂である。痕跡は確認できなかったが、掘り方の形状から杭などが据えられていた可能性がある。出土遺物は図示していないが、陶器と瓦の小片がある。時期は不明である。

S K 17 (第 21・22・75 図)

調査区東側の S K 2 に隣接する。平面形は不整形で長軸 1.4 m、短軸 80cm、深さ 60cm を測る。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂を主体とする。出土遺物は、陶器の土瓶(1)、磁器の徳利(2)、平瓦(3～5)があり、図示していないがガラス瓶も出土している。埋土から S K 3 などと同時期に埋没したと考えられ、近代の遺構である。

S K 18 (第 25・26・76～79・111 図)

調査区東側で検出した。平面形は隅丸方形で、長軸 1.84 m、短軸 1.44 m、深さ 56cm を測る。埋土は、上層は黒褐色砂質シルトで瓦や腐食した木質遺物、炭化物を多く含み、締りは非常にゆるい。下層は暗灰色砂である。

出土遺物は非常に多く、磁器の碗(1～8)・皿(9～11)・蓋(12)、陶器の碗形容器(13～16)・土鍋(17)、土器の焙烙(18)・火鉢類(19・20)・炉形土器(21)・風炉(22)、瓦(23～35)、土笛(36)、硯(37)、ガラス製品(38～41)、木製品(42～47)を図示した。他に石筆や水晶片も出土している。13～16の陶器の容器は、金属の熔融物が付着しており、蛍光X線による分析を試みている。高台部分が柱状を呈しており、金属加工用の専用容器として作られたものである可能性もある。24の瓦には、手書きで文字が刻まれている。全て解読できないが、瓦葺きの際などに必要となる瓦の種類や枚数などの覚書とみられる。

埋土に炭化物が多いことから火災などで生じたゴミを投棄した土坑であると考え。切り合いでは S D 4・5 よりも新しい。出土遺物から時期は近代である。

S K 19 (第 25・26・79～81・112 図)

調査区東側で検出した。平面形は不整形で、長軸 2.6 m、短軸 2.2 m を測る。埋土は褐灰色砂を主体とし、炭化物と瓦が非常に多く出土した。底面は二つに分かれており、S K 19 A とした土坑の深さは 66cm、S K 19 B では 60cm を測る。

出土遺物は非常に多く、磁器の碗(1～5)・皿(6)・蓋(7)、陶器の碗形容器(8)・蓋(9)・土瓶(10・11)、炉形土器(12)、瓦(13～16)、鎌の刃(17)、ガラス瓶(18・19)、木製品(20～22)などがあり、他に水晶片も出土している。

S K 18 とは遺構の形状が類似しており、接合関係にある出土遺物も多い。S K 18 と同時期に火災ゴミなどを片付けた土坑である可能性が高い。出土遺物から時期は近代である。

S K 20 (第 21・22・81 図)

調査区東側の S K 3 に隣接する。平面形は不整形で、長軸 1.12 m、短軸 68cm、深さ 36cm を測る。埋土はⅢ層のにぶい黄褐色細砂を主体とする。出土遺物は瓦の破片が数点出土しており、そのうちの 1 点の平瓦(1)を図示した。時期は近代で、埋土の特徴から隣接する S K 3 などと同時期に埋没した可能性がある。

S K 21 (第 25・26・112 図) 調査区東側の S K 18 の南に位置する。平面形は楕円形で、長径 1.06 m、短径 72cm、深さ 78cm を測る。埋土は黄灰色粘土を主体とする。出土遺物は木製品(1)がある。また図示していないが、磁器、陶器、土器、瓦の小片がそれぞれ出土している。切り合いでは S D 4 より新しい。遺構の時期は近代と考える。

S K 22 (埋桶) (第 27・81・82・112・113 図)

調査区中央部で検出した。平面形は楕円形で長径 1.16 m、短径 1.0 m、深さ 72cm を測る。最上層部分は攪乱されている。埋土は暗灰黄色砂・黒褐色粘土質シルト、暗灰色粗砂などが堆積する。底面に桶の底板が遺存しており、埋桶である。埋桶の径は 70cm を測る。側板は腐食して遺存しておらず、土層断面にその痕跡を確認した。出土遺物は磁器の皿 (1)、土器の鉢 (2)・焙烙 (3)、フイゴ羽口 (4)、瓦 (5～9)、硯 (10)、ガラス製品 (11～14)、木製品 (15～44) などである。出土遺物から時期は近代である。

S K 23 (第 27・83～85 図)

調査区南東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 1.32 m、短径 1.14 m、深さ 72cm を測る。埋土は黒褐色砂質シルトを主体とする。上層は瓦を多く含み、下層は腐食した植物遺体や炭化物が多量に含まれていた。出土遺物は、磁器の碗 (1～3)・皿 (4・5)・段重 (6)・急須 (7)、陶器の皿 (8)・播鉢 (9)、土器の火消壺蓋 (10)、火鉢類 (11～15)、竈 (16)、瓦 (17～22)、熔融物塊 (23)、ガラス瓶 (24) があり、図示していないが陶器の土瓶や砥石も出土している。(16) の竈の掛け口にあたる部分には「三ツクト」の刻印があり、大小、径の異なる掛け口が 3 つある。本体は大きく 4 つの部品に分かれる構造となっている。3 つの掛け口の中央に接合部を持っており、その接合部で 4 つの部品を組み合わせて 1 組の竈とする構造である。この竈は S K 19 から出土した破片と接合している。他の遺物も S K 18・26 などと接合関係が確認できたものがある。時期は近代である。

S K 24 (第 27・85 図)

調査区北東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 72cm、短径 60cm、深さ 24cm を測る。埋土は上層がにぶい黄褐色細砂、下層が褐灰色砂質シルトである。出土遺物は、磁器、陶器、土器、瓦があり、土器 (1) を図示した。時期は近代と考える。

S K 25 (埋甕) (第 27・85 図)

調査区北東部の S B 2 の範囲内で検出した。平面形は円形で、長径 82cm、短径 68cm、深さ 24cm を測る。埋土は黒褐色粘土質シルトで締まりはゆるい。底部を打ち欠いた土器の甕が、掘り方の中央に据えられた形で出土し、埋甕とした。口縁部側についても打ち欠いたものと推測するが、削平されている可能性もある。甕の内面に付着した土壤試料を分析したが、寄生虫卵等は検出されていない。出土遺物は、据えられていた土器の甕 (1) を図示した。切り合いでは、S D 15 より新しい。時期は、S B 2 に伴うものであれば近代、隣接する S K 30 に伴うものであれば江戸時代の可能性があるが、土壤試料の花粉分析の結果から推定される古植生は、S K 36・43・56 など江戸時代と考えられる遺構から採取した試料と類似する。

S K 26 (第 28・86・113 図)

調査区北東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 2.3 m、短径 1.54 m、深さ 96cm を測る。埋土は、暗褐色や黒褐色の砂層と粘土質シルトが入り混じり、底面は粘性の強い粘土層である。埋土の特徴から、滞水していた可能性があるが、湧水層には達していない。埋土の上層では、竹筒が垂直方向に刺さった状態で出土している。水溜井戸のような機能を想定している。出土遺物は、陶器の碗 (1)・土瓶 (2)、土器の火鉢類 (3・4)、戸車 (5)、瓦 (6・7)、木製品 (8～14) など、小片で図示していないが、磁器も出土している。切り合いでは S D 4 より新しく、S D 5 との新旧関係は不明である。S K 23 の遺物と接合関係が確認された。時期は近代である。

S K 27 (第 20 図)

調査区北東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 82cm、短径 54cm、深さ 12cm を測る。埋土は、褐灰色砂質シルトににぶい黄褐色細砂が混じる。出土遺物は、小片で図示していないが、磁器、土器、瓦がある。切り合いでは S K 1 に先行する。時期は、埋土や出土遺物から近代と考える。

S K 28 (第 29 図)

調査区中央部南側で検出した。平面形は円形で、径 76cm、深さ 14cm を測る。埋土は黄灰色砂を主体とする。出土遺物と切り合いはなく、時期は不明である。

S K 30 (第 15・27・113・114 図)

調査区北東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 1.18 m、短径 1.02 m、深さ 82cm を測る。埋土は、褐灰色砂を主体とし、暗褐色砂がブロック状に含まれる。底面は黒色砂と黒色粘土が堆積する。出土遺物は、木製品（1～7）などで下駄（1～4）が 4 足出土している他、図示していないが、磁器、陶器、土器、瓦も少量出土している。また、埋土中で腐食した網カゴ状の木質遺物の残欠を確認している。湧水層に達しておらず掘り抜き井戸ではないが、水溜井戸として機能していた可能性がある。切り合いでは S P 16 に先行し、時期は江戸時代と考える。

S K 33 (埋桶) (第 29・86・114 図)

調査区中央部の S B 4 の南西側で検出した。平面形は楕円形で、長径 1.04 m、短径 72cm、深さ 34cm を測る。桶の側板の一部と底板が遺存しており、埋桶とした。埋桶の径は 38cm を測る。埋土は埋桶内が暗灰黄色砂質シルト、埋桶の外側が黒褐色粘土である。出土遺物は、磁器の碗（1～2）、徳利（3）、卸金（4）、木製品（5～24）の他、磁器の仏飯器、瓦、レンガ、ガラス片なども出土している。出土遺物から時期は近代で、S B 4 と同時期に機能していた可能性がある。

S K 34 (第 29 図)

調査区中央部の S B 3 の南西側で検出した。平面形は円形で、径 72cm、深さ 22cm を測る。埋土は黄灰色砂質シルトである。出土遺物は、図示していないが磁器の破片が 1 点ある。切り合いはなく、時期は不明である。

S K 35 (埋桶) (第 29・87・115・116 図)

調査区中央部の S B 4 の北東側で検出した。平面形は楕円形で、長径 1.26 m、短径 96cm、深さ 80cm を測る。埋土は暗灰黄色砂質シルトや黄灰色砂質シルト、黒褐色砂などが堆積する。桶の側板と底板が遺存しており、埋桶とした。埋桶の径は 80cm である。出土遺物は、磁器の碗（1）、煉瓦（2）、ガラス瓶（3）、木製品（4～40）を図示した。他に土器の火鉢や瓦なども出土している。切り合いでは S D 5 より新しい。出土遺物より時期は近代であるが、S B 4 や S D 5 に位置的な制約を受けたような場所にあり、同時期に機能していた可能性がある。

S K 36 (井戸) (第 30・31・87・117 図)

調査区北西部で検出した。平面形は円形で、径 2.2 m、深さ 3.8 m を測る。埋土は上層部分では灰黄褐色砂質シルトや黒褐色粘土質シルトが堆積する。断割確認したところ、底面は砂層の湧水層に達しており井戸と考える。井戸側は遺存しないが、検出面から 1 m ほどの深さで、テラス状に段が設けられており、その段上でコの字状に仕口が切られた木材が出土した。段の中央では径 70cm ほどの穴が検出されており、ここから湧水層の砂層に達するまで、ほぼ垂直に穴が掘られている。出土遺物は、磁器の碗（1・2）、陶器の天目茶碗（3）、土器の皿（4）・焼塩壺（5）、木製品（6～8）などがある。（5）の焼塩壺は、輪積み成形とみられる。切り合いでは S K 50 に先行する。時期は江戸時代で、切り合いや出土遺物から調査区内でもっとも古い時期に属するの遺構である。土壌試料の花粉分析では、スギ属

やコナラ属コナラ亜属が優占する植生で、19世紀以前の時期であることが示唆されている。

S K 37 (第 29 図)

調査区中央部の S B 3 の東側で検出した。平面形は楕円形で、長径 76cm、短径 60cm、深さ 54cm を測る。埋土は黄灰色砂質シルトである。出土遺物がなく、切り合いなどからも時期は不明である。

S K 38 (第 29・87 図)

調査区中央部の S B 4 の西側で検出した。平面形は楕円形で、長径 2.12 m、短径 1.7 m、深さ 34cm である。埋土は上層に黒褐色砂質シルト、下層に暗灰黄色砂質シルトなどが堆積する。出土遺物は、磁器、陶器、土器の小片と丸瓦が出土しており、丸瓦 (1) を図示した。切り合いはないが、ピット列 7 のピットを攪乱していると考えられ、時期は近代と推測する。

S K 39 (第 32 図)

調査区南東部で検出した。S K 40 に隣接する。平面形は円形で、径 62cm、深さ 20cm を測る。北側は攪乱されて遺存しない。埋土は黄灰色砂質シルトに暗灰黄色砂質シルトが互層状に混じる堆積である。出土遺物は図示していないが、陶器と瓦が出土している。時期は不明である。

S K 40 (第 32・87 図)

調査区南東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 88cm、短径 78cm、深さ 30cm を測る。埋土は黄灰色砂質シルトを主体とし、締まりは弱い。出土遺物は、陶器の碗形容器 (1)・乗馬の人形 (2) の他、石筆も出土している。(1) の碗は、S K 18 で出土している金属の熔融物が付着した碗に類似する形状で、高台部分が柱状を呈す。切り合いでは S K 41 より新しい。時期は近代と考える。

S K 41 (第 32・87・117 図)

調査区南東部で検出した。平面形は楕円形で、長径 94cm、深さ 52cm を測る。S K 40 に切られるため、短径は不明である。埋土は黒褐色粘土質シルトを主体とする。出土遺物は、陶器の碗形容器 (1・2)、木製品 (3・4) の他、磁器、陶器の土瓶、瓦、板ガラス片なども出土している。碗形容器は、S K 18 や S K 40 出土のものと類似しており、2 には金属の熔融物が付着している。切り合いでは S K 40 に先行する。時期は近代である。

S K 42 (第 33・87 図)

調査区南東部で検出した。平面形は不整形で、長軸 1.1 m、短軸 58cm、深さ 8 cm を測る。出土遺物は、泥面子 (1) を図示した。ほかに磁器と陶器の小片がある。時期は不明である。

S K 43 (井戸) (第 33・87 図)

調査区北西部で検出した。平面形は不整形で、長軸 1.56 m、短軸 1.7 m を測る。断割確認では、底面は検出面から 3.4 m の深さで、湧水層に達しており、井戸とした。井戸側は遺存しておらず、構造は不明である。検出面から約 1 m の深さで、径 80cm の穴となり底面まで達する。埋土上層で東側より投棄されたと考えられる約 50cm の石が 3 個出土している。その少し下で木製の鞘状部分に挟まれた刃物 (1) が出土している。木製の鞘状部分には皮が巻かれている。他に出土遺物は少なく、土器の火鉢とみられる破片が 1 点出土した。切り合いでは、S D 10 に先行する。

時期は、切り合いから江戸時代と推測する。土壌試料の花粉分析では、19世紀以前とみられる植生が示唆されている。

S K 44 (第 32・87 図)

調査区南東部で検出した。平面形は円形で、径 1.14 m、深さ 16cm を測る。南東部分は攪乱されて遺存しない。埋土は上層は暗灰黄色粘土、下層は黒褐色粘土・シルトなどが堆積する。出土遺物は、磁器の碗 (1)、石板 (2) の他、七輪の目皿が出土している。時期は近代である。

S K 45 (埋桶) (第 32・87・117・118 図)

調査区南東部で検出した。S K 41 に隣接する。平面形は円形で、径 1.0 m、深さ 70cm を測る。桶の底板の一部と側板が遺存しており埋桶とした。桶の径は 68cm である。中央部分が西側から重機による攪乱を受けている。埋土は褐灰色粘土である。出土遺物は、磁器の碗 (1～3)・蓋 (4)、木製品 (5～27) の他、陶器の播鉢、土器の七輪の目皿、瓦などがあり、図示した碗はいずれも型紙摺りによるものである。時期は近代である。

S K 46 (第 33・88 図)

調査区中央部で検出した。平面形は不整形で、長軸 1.84 m、短軸 1.2 m、深さ 28cm を測る。出土遺物は、磁器の端反形の碗 (1)・コンニャク印判の碗 (2)、陶器の播鉢 (3)、土器の皿 (4)、煙管 (5) があり、他に瓦が出土している。切り合いでは、S D 17 より新しく S P 246 に先行するとみられる。出土遺物より時期は、江戸時代後半と考える。

S K 47 (第 33・88 図)

調査区北西部に位置する。平面形は不整形で、長軸 2.4 m、短軸 1.64 m、深さ 10cm を測る。埋土はオリブ黒色粘土である。出土遺物は磁器の碗 (1)、陶器の碗 (2・3)・土瓶 (4)・播鉢 (5・6) の他、土器の皿や焙烙が出土している。切り合いでは、S D 11 に先行する。時期は江戸時代後半と考える。

S K 48 (第 34・88～90 図)

調査区北西部に位置する。平面形は不整形で、長軸 2.2 m、短軸 1.44 m、深さ 70cm を測る。埋土は黒褐色砂質シルトと黄褐色砂質シルト、灰色砂質シルトなどが堆積する。出土遺物は、磁器の碗 (1・2)・皿 (3)、煎茶器の鉢 (4)、陶器の鉢 (5)・土瓶 (6)、土器の焼塩壺蓋 (7・8)・七輪の目皿 (9)、火鉢類 (10)、焜炉 (舟竈 11)、炉形土器 (12)、瓦 (13～20)、ガラス製品 (21・22) などがある。4 の煎茶器は蓮月焼またはその模倣品とみられ、S K 2 や S D 6 などでも出土している。時期は、出土遺物より近代である。

S K 49 (第 34・119 図)

調査区南西部で検出した。平面形は円形で、径 1.44 m、深さ 1.2 m である。出土遺物は、木製品 (1) の他に図示していないが、磁器、陶器、煉瓦などがあり、時期は近代である。

S K 50 (井戸) (第 30・31・90・119～121 図)

調査区北西部で検出した。平面形は楕円形で、長径 1.96 m、短径 1.6 m を測る。埋土は、上層部分では黒褐色粘土や灰色粘土質シルトが堆積する。断割確認では底面は、検出面から 3.4 m の深さまで掘られている。湧水層に達しており、井戸である。井戸側の上部構造は、転用した桶を据え、その直下に 40cm 大の石を円形に並べている。さらにその下には 3 本一組の丸太材を井桁状に組んで沈下を防いでいる。その下は、径 60cm の穴が底面まで続く。断割確認では、締りのゆるい砂層に、廃絶時に投棄されたとみられる 50cm 大の石が多く詰まっていた。出土遺物は、須恵器の蓋 (1)、磁器の碗 (2・3)、陶器の灯明受皿 (4・5)・土瓶 (6)、木製品 (7～38) を図示した。他に磁器の徳利、瓦なども出土している。切り合いでは、S K 36 より新しく、S D 11 に先行する。時期は出土遺物より、江戸時代後半と考える。

S K 51 (第 35・90 図)

調査区北西部で検出した。平面形は円形とみられ、径 1.50 m、深さ 68cm を測る。南側の一部は、旧校舎の基礎に攪乱されている。埋土は暗灰黄色砂に黒褐色粘土質シルトなどがブロック状に含まれる。出土遺物は、磁器の碗 (1・2)、土師器の坏 (3)、釘 (4) などが出土している。切り合いでは、S K 52 より新しい。時期は江戸時代後半と考える。

S K 52 (第 35・90～92 図)

調査区北西部で検出した。平面形は不整形で、長軸 3.8 m、短軸 2.36 m、深さ 35cm を測る。出土遺物は、磁器の碗 (1～9)・蕎麦猪口 (10)・皿 (11～13)・瓶 (14)、陶器の碗 (15～19)・灯明受皿 (20)・稜花皿 (21)・播鉢 (22)、土器の火鉢 (23・24)・土錘 (25)・土人形 (26・27)・土鈴 (28～31)、寛永通寶 (32～34)、煙管 (35)、不明金具 (36) がある。切り合いでは、S K 51 に先行する。時期は江戸時代後半と考える。

S K 53 (埋桶) (第 35・121 図)

調査区北西部で検出した。平面形は不整形で、長軸 44cm、短軸 36cm、深さ 22cm を測る。桶の底板が出土しており、埋桶とした。埋桶の径は 34cm である。切り合いでは、S K 52 と重複するが新旧関係は不明である。出土遺物は、桶の他に木製品 (1～3) がある。時期は不明である。

S K 55 (第 35・92・93 図)

調査区北東部で検出した。大部分が旧校舎の基礎に切られており、平面形の全容は不明である。長軸 2.7 m、短軸 1.62 m、深さ 18cm を測る。出土遺物は、磁器の碗 (1～7・9)・蓋 (8)、陶器の碗 (10)・土瓶? (11)・灯明受皿 (12)・播鉢 (13)、土器の焙烙 (14)・火鉢類 (15)、土製品の基石 (16) などがある。時期は、江戸時代後半と考える。

S K 56 (井戸) (第 36・121 図)

調査区中央部の S B 3 の南側で検出した。平面形は円形で、径 3.62 m を測る。断割確認では、底面の深さは、検出面から 3.6 m で、湧水層に達する井戸である。井戸の上部構造は、50cm 大の石を円形に 2～3 段詰んだ石積みで構築し、その下部に桶を転用した井戸側が 3 段に据えられている。下部の径は約 60cm である。出土遺物は木製品 (1～7) があり、他に図示していないが陶器や土器が出土している。土壌試料の花粉分析では、19 世紀以前の植生が示唆されている。時期は、江戸時代と推測する。

第 5 節 ピット列

4 基以上のピットが同じ軸線上に並ぶものの中で、並びがやや不規則であったり、建物を構成すると判断できなかったものをピット列とした。調査区内で 16 列検出している。

ピット列 1 (第 37 図)

調査区中央部の S B 3 の西側で検出した。北から S P 225・217・226・174・175・220 の 7 基のピットが並ぶ。北側は調査区外に延びていると推測する。軸方向は N-4°-E で、ピット列 2 とはほぼ平行に並ぶ。ピット間は 60～70cm を測り、それぞれのピットの深さは約 10cm である。平行に並ぶピット列 2 との間隔は、1 間 (約 1.8 m) である。出土遺物はない。切り合いでは S D 3 より新しい。時期は不明だが、軸方向は S B 3 などとほぼ同一である。

ピット列 2 (第 37 図)

調査区中央部の S B 3 の西側で検出した。北から S P 224・222・223・221・214・215・219 の 7 基のピットが並ぶ。軸方向はピット列 1 とほぼ同じである。ピット間は 60～70cm を測り、それぞれのピットの深さは約 10cm である。出土遺物が少なく図示していないが、S P 215 で磁器と陶器、S P 219 で陶器、S P 223 で磁器、S P 224 で陶器と土器が出土している。いずれも小片である。切り合いでは S D 20 より新しい。時期は不明である。

ピット列 3 (第 37 図)

調査区北東部の S B 2 の南側で検出した。S P 104～112 の 9 基のピットからなる。軸方向は N-84°-W を指す。ピット間は不規則で、狭い所で 10cm、広い所で 60cm を測る。深さは、残りの良いも

のでも検出面から 14cmしか遺存しておらず、上面が削平されているとみられる。出土遺物がなく、時期は不明だが、S B 2の主軸方向に沿って並んでおり、S B 2に伴う遺構の可能性はある。

ピット列 4 (第 37 図)

調査区中央部で検出した。西から S P 36・38・40・42・44 の 5 基のピットが並ぶ。軸方向は N - 84° - W で、ピット列 5 とはほぼ平行に並んでいる。ピット間は約 1.2 m を測り、それぞれのピットの深さは、深いもので 40cm を測るが、底面の深さはほぼ同じレベルである。平行に並ぶピット列 5 との間隔は、約 1.2 m である。出土遺物は図示していないが、S P 36 で磁器・陶器・土器・ガラス板・石筆、S P 38 で陶器、S P 42 で陶器、S P 44 で磁器・陶器・土器が出土している。また、軸方向は S D 5 や S D 6 などとほぼ同一である。時期は、出土遺物や軸方向から近代と考える。

ピット列 5 (第 37 図)

調査区中央部で検出した。西から S P 37・39・41・43・45 の 5 基が並び、S P 37 を除いては、礎石又は杭や柱の根固め石と考えられる石が据えられている。軸方向はピット列 4 とほぼ同じである。ピット間は 1.2 m を測り、それぞれのピットの深さは約 10cm である。出土遺物は図示していないが、S P 39 で土器、S P 41 で陶器、S P 43 で磁器と土器がある。時期はピット列 4 と同じ近代と考える。

ピット列 6 (第 38・39 図)

調査区中央部で検出した。西から S P 212・206・207・210・231・232・235・236・239・240・242・243 の 12 基のピットが並ぶ。軸方向は N - 86° - W を指し、ピット列 7 とほぼ平行である。ピット間は約 1.2 m で、それぞれのピットの深さは約 20cm である。平行に並ぶピット列 7 との間隔は約 2 m である。出土遺物が少なく図示していないが、S P 242 で陶器の小片が出土している。時期は不明だが、軸方向は S D 5・6 と同一で、近代の可能性はある。

ピット列 7 (第 38・39 図)

調査区中央部で検出した。西から S P 213・209・208・211・233・234・237・238・241・244 の 10 基のピットが並ぶ。ピット間は約 1.2 m で、それぞれのピットの深さは、深いもので 18cm、浅いもので 4cm である。遺物は図示していないが、S P 238 で陶器の破片が出土している。時期は不明だが、ピット列 6 と同じ時期に機能していたとみられ、近代の可能性はある。

ピット列 8 (第 38・39 図)

調査区中央部で検出した。南から S P 321・320・319・318・158・157・155・169・170・152・151・150 の 12 基のピットが並ぶ。軸方向は N - 4° - E を指し、ピット列 9 とおおむね平行に並ぶ。ピット間は約 60cm であるが、S P 318 と 158 の間は、間隔が離れており、攪乱されているとみられる。平行に並ぶピット列 9 との間隔は約 1 間である。深さは、遺存状況が良いもので 10cm ほどである。出土遺物はない。時期は不明だが、軸方向は S B 3 などとほぼ同じである。

ピット列 9 (第 38・93 図)

調査区中央部で検出した。南から S P 340・341・168・147・145・144・143・142・141・140・139 の 11 基のピットが並ぶ。ピット間は、約 50cm の間隔で規則性を持つが、軸の通りはまっすぐではなく、東西にぶれる。軸方向はピット列 8 とほぼ平行である。出土遺物は、S P 144 で磁器の碗 (1) が出土している。時期は不明だが、ピット列 8 と同じ時期に機能していたと考える。

ピット列 10 (第 38・39 図)

調査区西側で検出した。北から S P 329 ~ 331・302 ~ 305 の 7 基が並ぶ。軸方向は N - 2° - E を指す。ピット間は、規則的に並ぶところで約 60cm で、それぞれのピットの深さは約 10cm である。対となって並ぶピット列はない。出土遺物がなく、時期は不明である。

ピット列 11 (第 38・39 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 298～301 の 4 基が並ぶ。ピットの数少なく、軸方向は計測していないが、ピット列 8～10 などと同様と思われる。ピット間は 60～70cm である。ピット列 12 とは約 1 間の間隔で平行に並ぶ。それぞれのピットの深さは、深いもので 18cm である。出土遺物がなく、ピット列 12 とは同時期に機能していたとみられるが、時期は不明である。

ピット列 12 (第 38・39 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 292～296 の 5 基が並ぶ。軸方向はピットの数少なく計測できない。ピット間は約 60cm である。それぞれのピットの深さは、深いもので 30cm を測る。出土遺物がなく、時期は不明である。

ピット列 13 (第 38 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 344～346・307～310 の 7 基のピットが並ぶ。軸方向は N-4°-E を指し、ピット列 14 と平行に並ぶ。ピット間は 60～70cm であるが、S P 346 と S P 307 の間隔は離れている。それぞれのピットの深さは約 10cm である。ピット列 14 との間隔は 1 間である。出土遺物がなく、時期は不明であるがピット列 14 とは同時期に機能していたと考える。

ピット列 14 (第 38 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 348～351・313～316 の 8 基が並ぶ。軸方向は N-4°-E を指す。ピット間は 60～70cm を測るが、S P 351 と S P 313 の間隔は離れる。それぞれのピットの深さは、深いもので 30cm を測る。出土遺物は図示していないが、S P 315 で陶器が、S P 316 で磁器が出土している。時期は不明である。

ピット列 15 (第 39 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 355～363 の 9 基のピットが並ぶ。軸方向は N-4°-E を指す。ピット間は 60～70cm を測り、それぞれのピットの深さは、深いもので 40cm を測る。出土遺物は図示していないが、S P 360・362 で陶器、S P 363 で土器がある。時期は不明である。

ピット列 16 (第 39 図)

調査区中央部で検出した。北から S P 119・135・118・131 の 4 基が並ぶ。軸方向はピットの数少なく計測できない。ピット間は 60cm を測り、それぞれのピットの深さは約 20cm である。出土遺物はなく、時期は不明である。

以下、ピット列には含めていないが、出土遺物を図示した単独ピットである。

S P 49 (第 5・93 図)

調査区中央部で検出した。凹石 (1) が出土している。

S P 67 (第 20・93 図)

調査区北東部の S B 2 の南東隅付近で検出した。土器の火鉢類 (1) が出土した。

S P 76 (第 5・93 図)

調査区北東部で検出した。凹石 (1) が出土している。

S P 97 (第 5・93・122 図)

調査区東側の S K 18 に南側で検出した。切り合いでは S D 4 より新しい。磁器の碗 (1・2) と土師器高坏 (3)、板杭 (4) が出土している。

S P 275 (第 5・122 図)

調査区西側の S X 1 の西で検出した。木製品の部材 (1) が出土している。

第6節 溝状遺構

S D 2 (第43・94・95)

調査区東側で検出した。S B 1の南西隅を囲むように走り、東端は調査区外へ延びるが、北端部は途切れて終わる。幅1.2m、深さ21cmを測る。埋土は、上層に灰黄褐色細砂、下層に黄灰色砂質シルトが堆積する。上層部分に流水の痕跡がみられた。軸方向は、S B 1にほぼ沿っている。出土遺物は、磁器の碗(1～12)・皿(13～16)、陶器の碗(17)、七輪の目皿(18)、瓦(19～24)などがあり、他にガラス製品や石筆なども出土している。切り合いではS D 4・6より新しい。出土遺物は、型紙摺りの碗など近代のものが主体である。S B 1との位置関係から、S B 1と同時期に機能していた溝と考えられ、上層部分の流水の痕跡からは明治後期の氾濫によって埋没した可能性がある。

S D 3 (第40・44・96 図)

調査区中央部の北側で検出した。東西方向に走る溝で、西端部は調査区外へ延びる。幅50cm、深さ14cmを測る。埋土は上層に黄灰色砂質シルト、下層に暗灰黄色砂質シルトが堆積する。出土遺物は、陶器の甕(1)、土器の鉢(2)、凹石(3)の他、瓦が出土している。切り合いではS D 20に先行しており、江戸時代の可能性がある。

S D 4 (第41・44・96～98・122 図)

調査区東側から中央部にかけて検出した。調査区内を東西方向に真っ直ぐに走り、東端部は調査区外に延びるが、西端部は調査区中央付近で途切れて終わる。幅1.5m、深さ44cmを測る。埋土は上層に暗灰黄色砂質シルト、下層に黄灰色砂質シルトが堆積する。軸方向はN-88°-Wを指す。出土遺物は、磁器の碗(1～10)・皿(11～16)・蓋(17～19)・仏飯器(20・21)瓶(22～25)、陶器の碗(26・27)・皿(28)・蓋(29～35)・土瓶(36～41)・乗燭(43)・鉢(42・44～46・48)・播鉢(47)、土器の焙烙(49)・火鉢類(50)・焜炉(51・52)、丸瓦(53)、土玉(54)、土人形(55)、古銭(56)、不明金具(57)、木製品(58～60)など多様な遺物がある。磁器では、広東碗が多く出土している。切りあいでは、S B 4・S D 2・S K 26などに先行する。S D 22との重複関係は、調査時点ではS D 22が先行するとみていたが、S D 4が先行する可能性もある。時期は江戸時代後半と考える。

S D 5 (第41・44・45・99・100・122 図)

調査区東側で検出した。調査区内を東西方向に走り、西端部はS K 35に切られて終わる。幅1.44m、深さ20cmを測る。埋土は褐色砂・黄褐色砂などが堆積する。軸方向はN-85°-Wである。出土遺物は、磁器の碗(1・2)・徳利(3)、陶器の碗形容器(4・5)・土瓶(6)・ミニチュアの碗(7)・土器の火鉢(8)、瓦(9～15)、木製品(16～19)の他、ガラス瓶などもある。(4)・(5)の碗形容器には、金属の熔融物が付着する。同様な遺物はS K 18・19・40・41でも出土しており、同じ時期に廃棄された可能性が高い。切り合いではS K 18・26・35に先行する。S D 22とも重複するが、前後関係は不明である。軸方向はS B 2・S D 6・ピット列4・5などとほぼ同一である。時期は近代である。

S D 6 (第41・44・45・100 図)

調査区東側で検出した。調査区内を東西方向に走り、西端部はS B 4の南西隅付近で途切れ、東端はS D 2に切られて終わる。幅54cm、深さ12cmを測る。埋土は褐色砂が堆積する。軸方向はN-84°-Wを指す。出土遺物は、磁器の碗(1～3)・皿(4・5)・徳利(6・7)、陶器の煎茶器(8)・皿(9)・乗燭(10)・甕(11・12)、土器の火鉢(13)、棧瓦(14・15)などである。(8)の煎茶器は蓮月焼又はその模倣品で、S K 2で同型品が出土している。軸方向や出土遺物からは、S D 5と同じ時期に機能していたとみられる。時期は近代である。

S D 7 (第 40・44 図)

調査区中央部で検出した。調査区内を南北方向に短く走る。幅 50cm、深さ 4 cmを測る。埋土には径 1～2 cmの礫が多く含まれ、硬く締まっていた。軸方向はN－10°－Eを指し、S D 22 と同一である。出土遺物がなく、時期は不明である。埋土の特徴や軸方向からはS D 22 とつながっていた可能性が高い。

S D 8 (第 40・44 図)

調査区中央部で検出した。調査区内を南北方向に短く走る。S D 7 と併走する。幅 24cm、深さ 12cmを測る。出土遺物はなく、時期は不明である。

S D 9 (第 40・44 図)

調査区北東部で検出した。南北方向に走り、北端は調査区外へ延びるが、南端は調査区内で途切れて終わる。幅 24cm、深さ 5 cmを測る。軸方向はN－2°－Eを指す。埋土は黒褐色砂質シルトである。出土遺物はない。切り合いではS D 15 より新しく、ピット列 3 に先行する。時期は不明である。

S D 10 (第 10・40・44・101・102 図)

調査区西側で検出した。調査区内を南北方向に走り、北端は一旦途切れて、調査区外へ延びる。幅 82cm、深さ 74cmを測る。埋土は黒褐色シルトや黒褐色粘土を主体とする。流水を示す堆積はほとんどみられない。軸方向はN－11°－Eを指す。出土遺物は、磁器の碗(1～3)・皿(4・5)、陶器の碗(6・7)・皿(8～12)・土瓶(13・14)・片口(15)・瓶(16)・蓋(17)・播鉢(18～20)・鉢(21)、土器の焙烙(22)・皿(23～26)、土人形(27)、丸瓦(28・29)などがあり、江戸時代後半を主体とする。切り合いでは、S K 43 より新しく、ピット列 6・7 に先行する。軸方向ではS D 22 とほぼ同一である。

S D 11 (第 10・40・44・102・122 図)

調査区西側で検出した。調査区内を南北方向に走り、北端は調査区外へ延び、南端は調査区内で途切れて終わる。幅 54cm、深さ 60cmを測る。埋土は上層に暗灰黄色砂質シルト、下層に黒褐色砂質シルトが堆積するが、流水を示すような堆積はあまりみられない。軸方向はN－3°－Eを指す。出土遺物は、陶器の灯明受皿(1)・播鉢(2)、土人形(3)、木製品(4・5)などがある。切り合いではS X 1・S K 47・50 より新しい。時期は、出土遺物や軸方向からは江戸時代後半の可能性はある。

S D 12～14 (第 40・44 図)

調査区中央部のS B 4の北側に位置する。調査区内を東西方向に3条平行して短く走る。西端は攪乱されて終わる。それぞれの幅は20～30cm、深さ4cmを測る。短く途切れるため、軸方向は計測できない。出土遺物は図示していないが、S D 12で瓦、S D 13で土器、S D 14で磁器・陶器・瓦などが出土している。時期は近代以降と推測する。

S D 15 (第 40・44 図)

調査区北東隅で検出した。調査区内を東西方向に走り、東端は調査区外に延びる。幅 56cm、深さ 14 cmを測る。埋土は上層に黄灰色砂質シルト、下層に褐灰色砂質シルトが堆積する。軸方向は、ゆるやかに屈曲しているため、不正確だが、N－86°－Wを指す。出土遺物はない。切り合いでは、S B 2のピット群やS D 9、S K 20・25 に先行する。時期は、切り合いから江戸時代の可能性はある。

S D 16 (第 40・44 図)

調査区南東隅で検出した。調査区内を南北方向に走り、南端は調査区外に延びるが、北端はS D 6に切られて終わる。幅 64cm、深さ 18cmを測る。埋土は黄灰色砂質シルトである。軸方向はN－4°－Eを指す。出土遺物はない。時期は不明だが、S D 6と同時期に機能していた可能性はある。

S D 17 (第 40・45 図)

調査区中央部で検出した。調査区内を南北方向に走り、南端は S K 46 に切られて終わる。幅 1.2 m、深さ 6 cm を測る。埋土は褐灰色砂である。軸方向は N - 10° - E を指す。出土遺物は図示していないが、磁器、陶器の破片がある。時期は、S K 46 との切り合いから江戸時代後半の可能性はある。

S D 20 (第 40・45・102 図)

調査区中央部の北側で検出した。調査区内を南北方向に走る。北端は調査区外に延びるが、南端は旧校舎基礎に切られて終わる。幅 1.5 m、深さ 12cm を測る。埋土は褐灰色砂質シルトで、硬く締まる。軸方向は、N - 2° - E を指す。出土遺物は、磁器の碗 (1・2) などがある。切り合いでは、S D 3 より新しく、ピット列 2 に先行する。時期は、出土遺物から江戸時代後半と考える。

S D 21 (第 41・45・102 図)

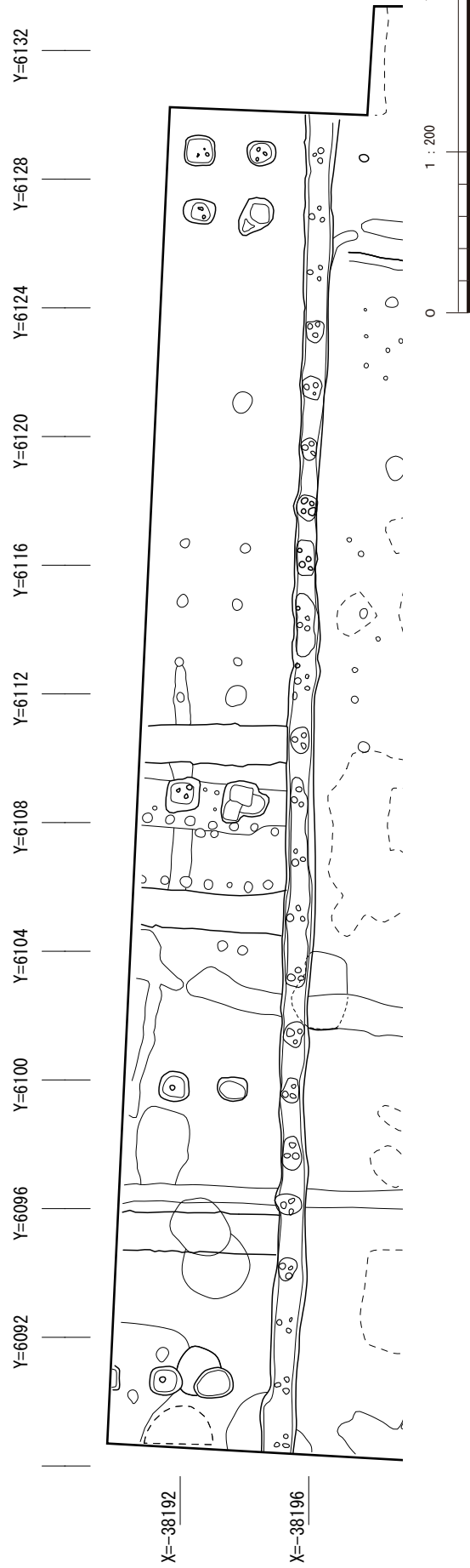
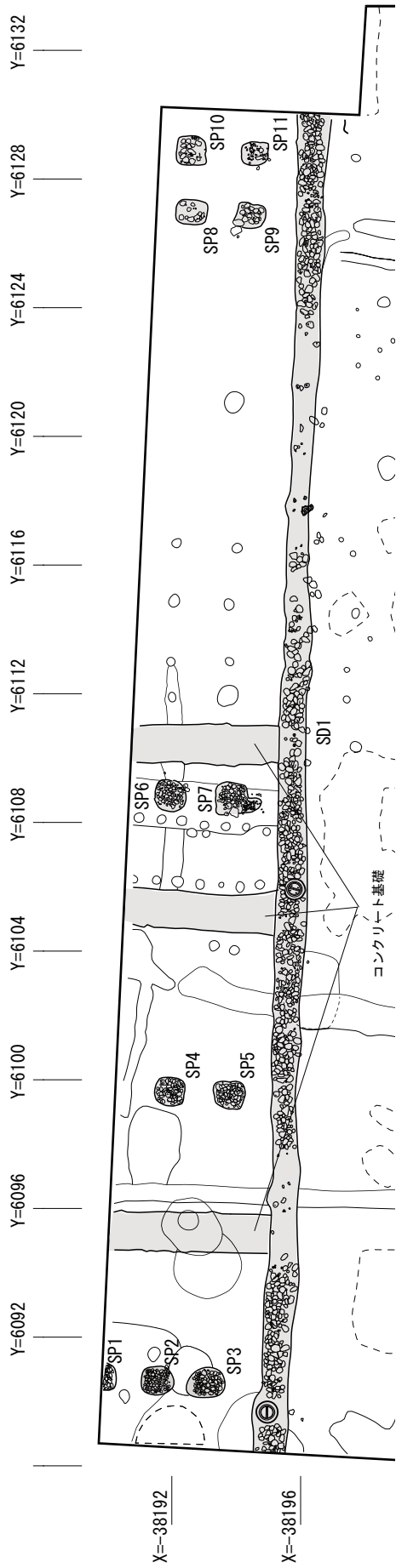
調査区東側で検出した。調査区内を南北方向に走る。南端は調査区外に延びる。幅 1.76 m、深さ 28 cm を測る。埋土は黒褐色粘土である。軸方向は短く終わるため、計測できない。出土遺物は、凹石 (1・2) がある。時期は不明である。

S D 22 (第 42・45 図)

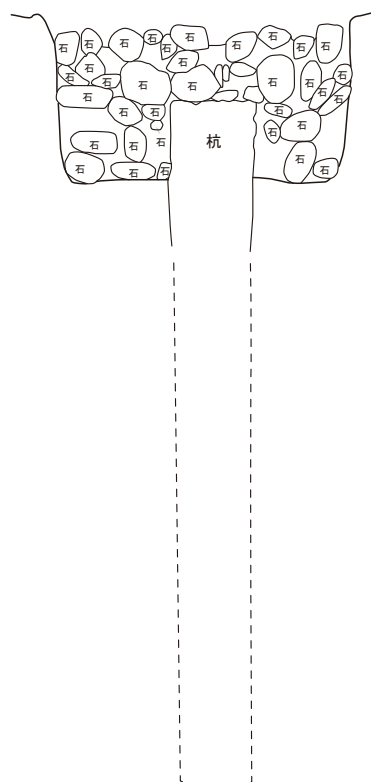
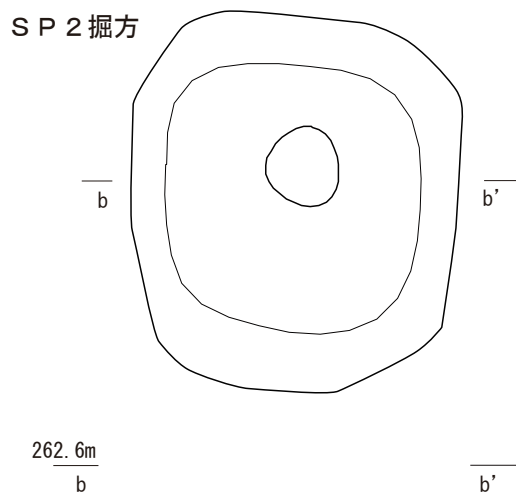
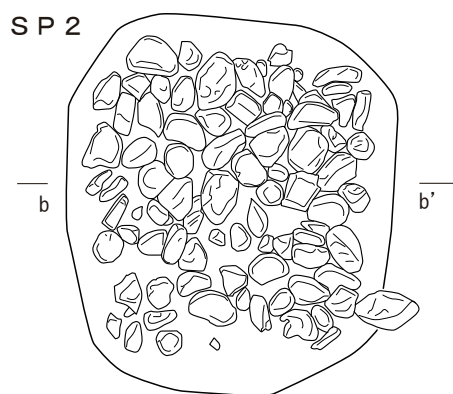
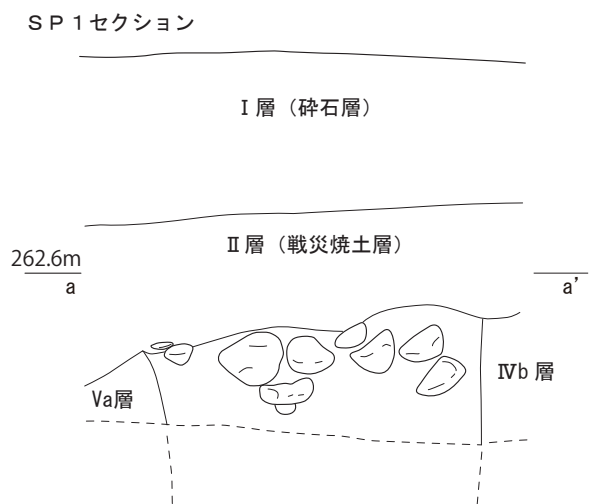
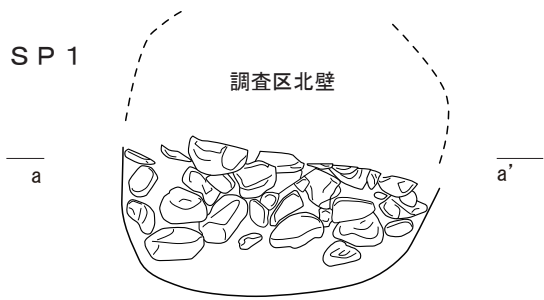
調査区中央部で検出した。調査区内を南北方向に走り、南端は調査区外に延びる。幅 2.5 m、深さ 20cm を測る。埋土はにぶい黄褐色粘土で、底面に径 1 ~ 5 cm の礫が敷き詰められており、非常に硬く締まる。軸方向は、N - 10° - E を指す。北側に位置する S D 7 は、S D 22 の軸線の延長線上にあり、同様な礫が検出されていたことから同一の遺構であった可能性が高い。道路又は堤などの構造物の基礎である可能性もあるが、現時点では遺構の性格は不明である。出土遺物は図示していないが、陶器の播鉢が 1 点ある。切り合いでは、S D 4 ~ 6 と重複するが、S D 22 は調査の最終段階で検出したため、埋土による切り合い関係は把握できなかった。時期は不明であるが、S D 10 と軸方向がほぼ同じであることから、同時期に機能していた可能性もある。

S D 23 (第 40・45・102 図)

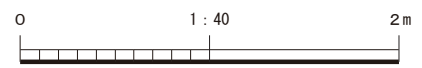
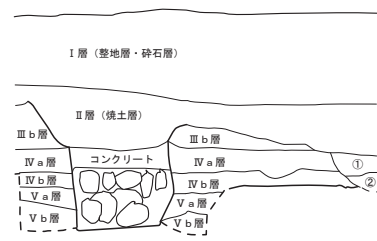
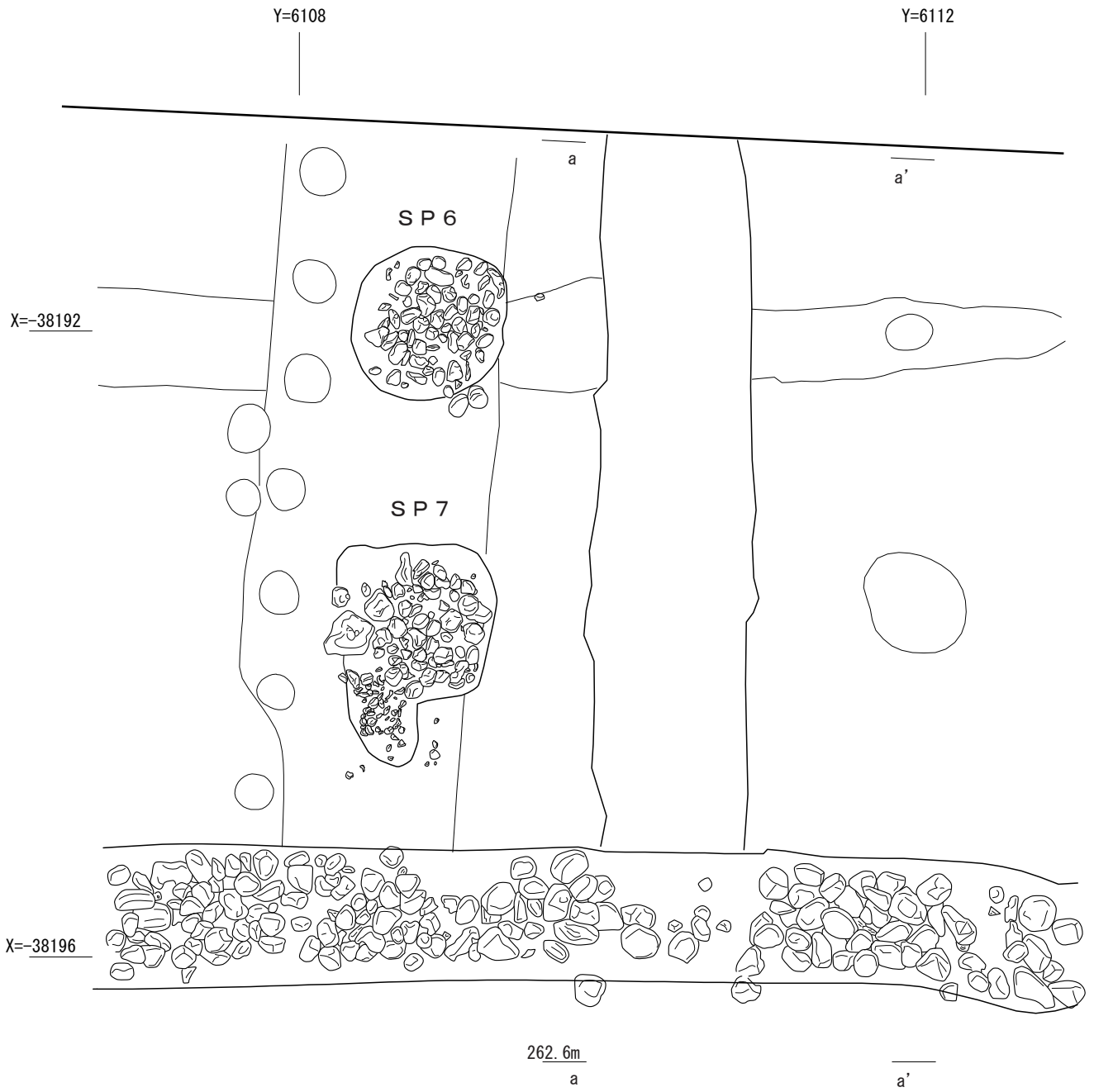
調査区西側で検出した。調査区内を東西方向に短く走る。幅 98cm、深さ 16cm を測り、埋土は灰黄褐色砂質シルトで粗砂粒が多く混じる。軸方向は、N - 83° - E を指す。出土遺物は、磁器の碗 (1・2) がある。切り合いでは SD11 に先行する。時期は、出土遺物と切り合いから江戸時代と考える。



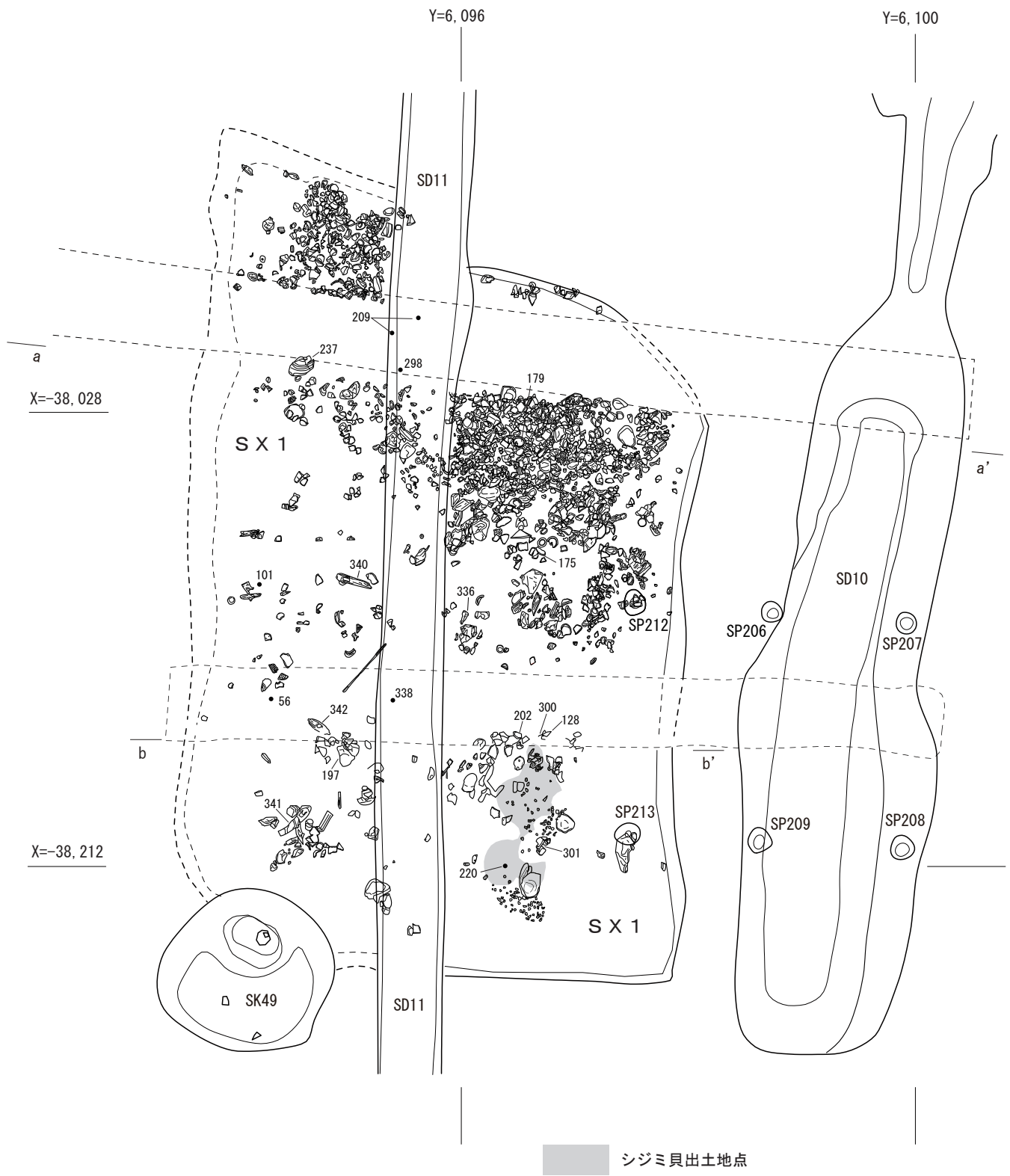
第6図 旧枝舎基礎 (1)



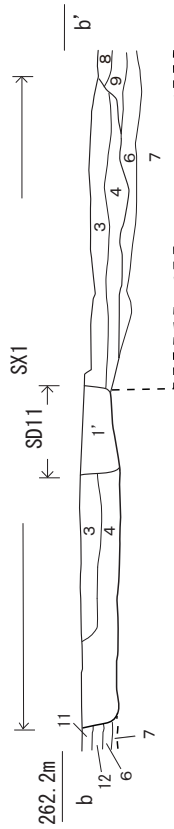
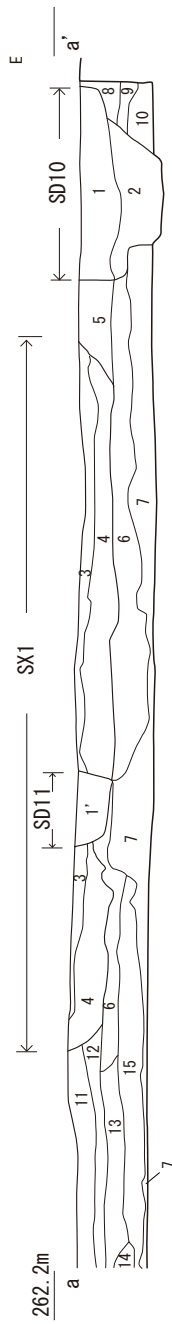
第7図 旧校舎基礎 (2)



第8図 旧校舎基礎 (3)



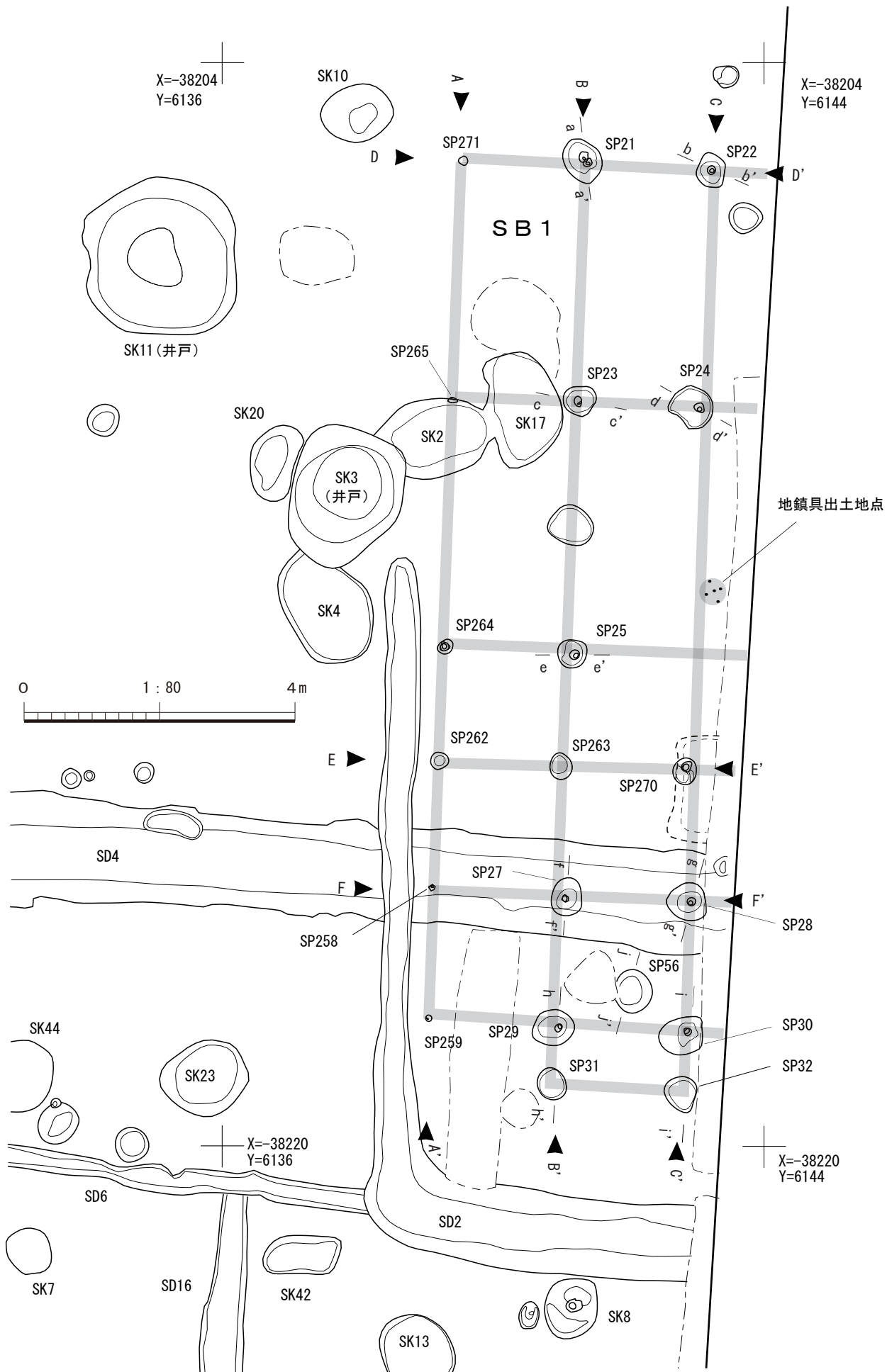
第9図 遺物集中地点 SX1 (1)



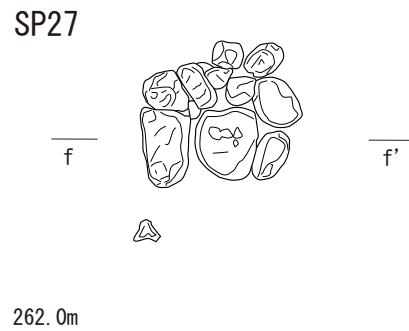
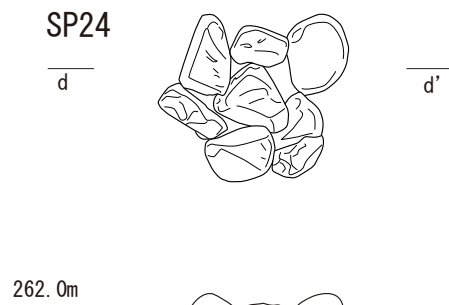
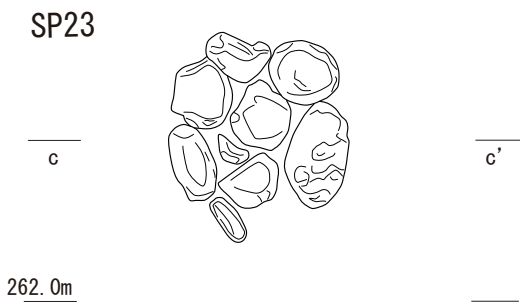
- SD10
1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト、粘性やや強
 2. 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト、締りやや弱、粘性強
- SD11
- 1' . 2.5Y4/1黄灰色粘土質シルト
- SX1
3. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト、締り強、粘性やや弱
 4. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト、締り強、粘性やや弱
5. 10YR4/2 褐灰色砂質シルト、締り強、粘性弱
 6. 2.5Y4/2 暗灰黄色粘土、締りやや弱、粘性やや強
 7. 5Y4/1 灰色粘土、締りやや強、粘性強
 8. 2.5Y3/1 黒褐色粘土、締り強、粘性強
 9. 2.5Y5/1 黄灰色粘土、締り強、粘性強
 10. 2.5Y2/1 黒色粘土、締り強、粘性強
 11. 2.5Y4/2 暗灰黄色シルト、締り強、粘性やや弱
 12. 7.5Y3/1 オリーブ黒色粘土、締りやや弱、粘性強
 13. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂、締りやや強、粘性なし
 14. 2.5Y3/1 黒褐色粘土、締りやや強、粘性なし
 15. 5Y3/2 オリーブ黒色粘土質シルト、締り強、粘性強



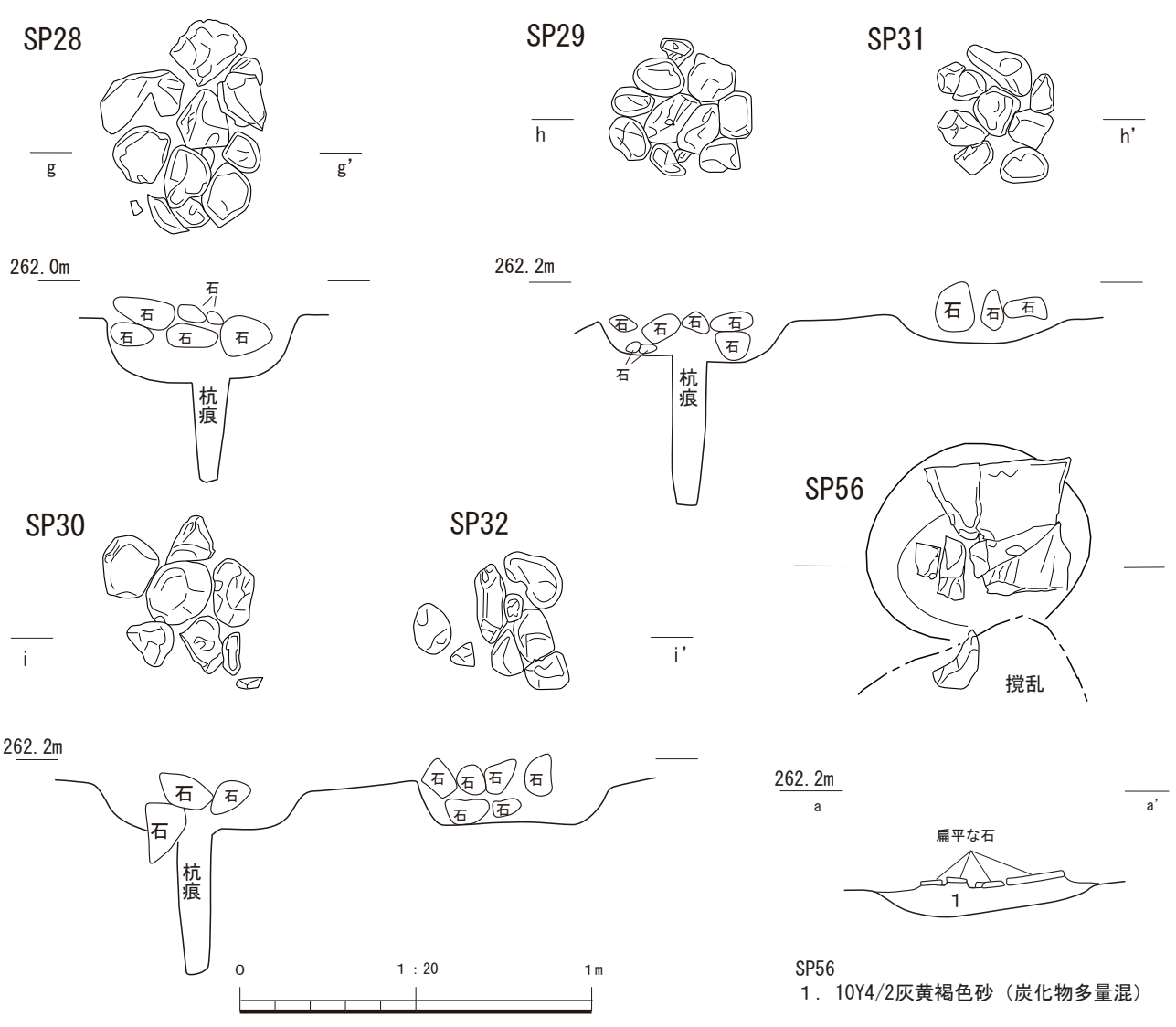
第10図 遺物集中地点 SX1 (2)



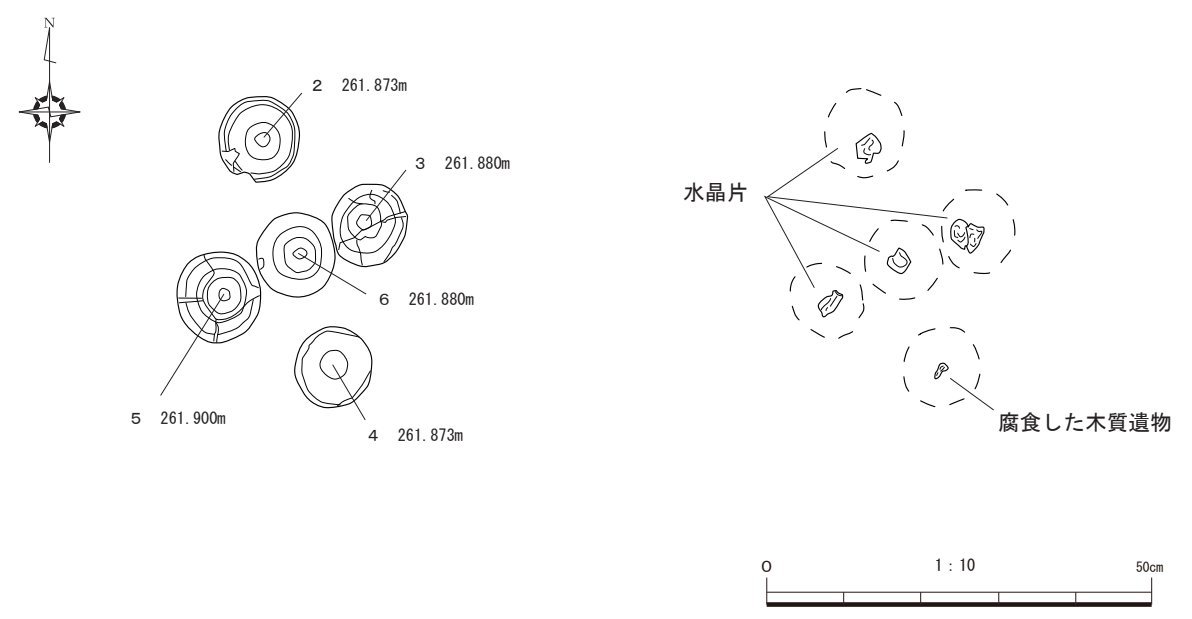
第11図 建物跡(1) SB1



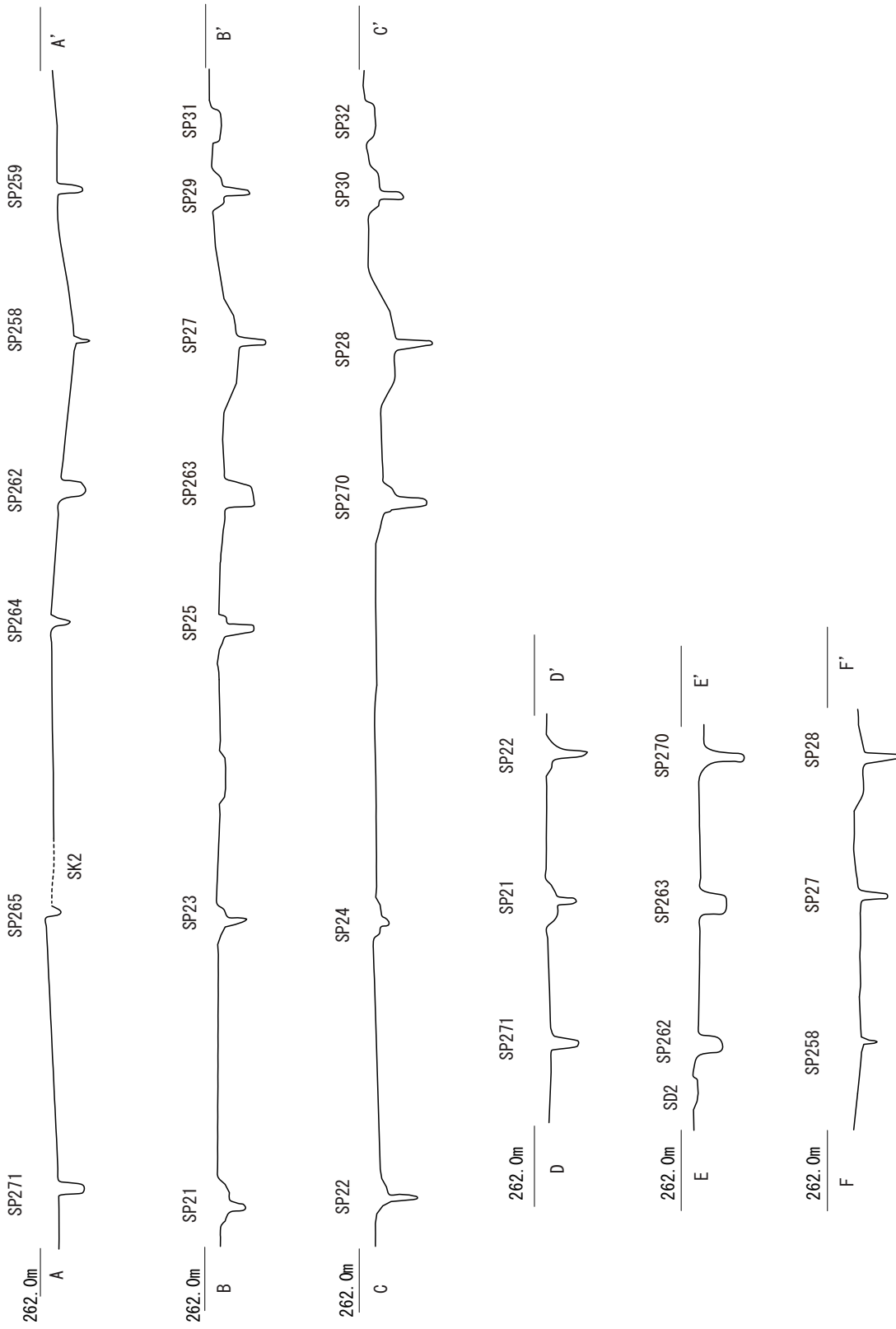
第 12 图 建物跡 (2) SB1



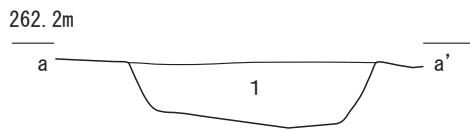
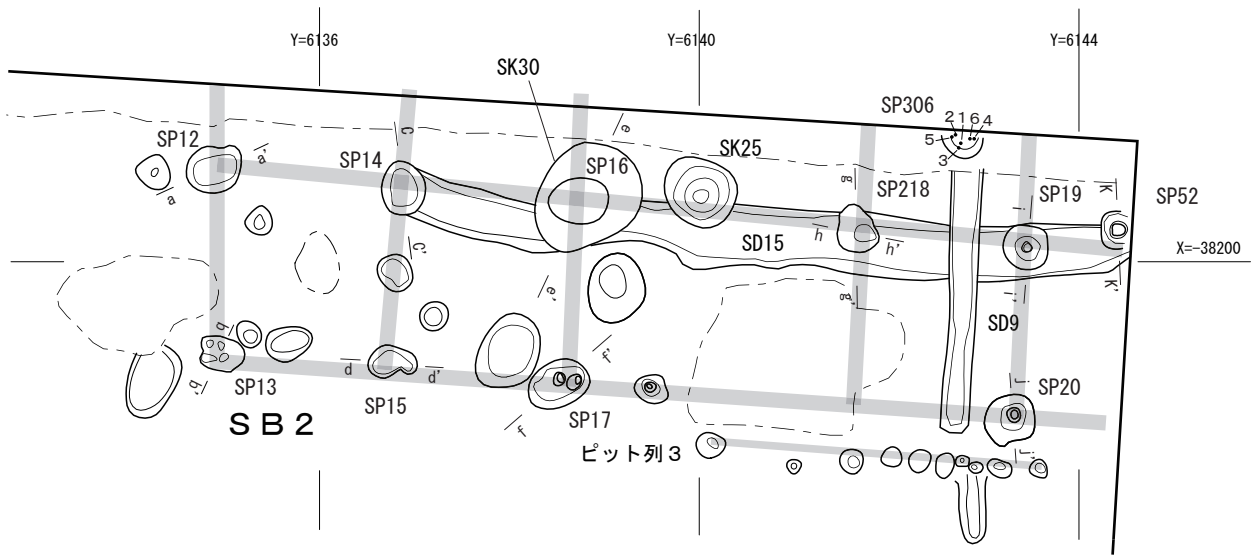
地鎮具出土状況



第13図 建物跡(3) SB1



第14図 建物跡(4) SB1

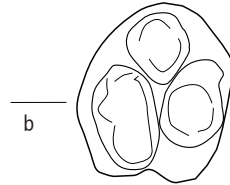


SP12
1. 2. 5Y5/1 黄灰色砂質シルト
(炭化物少量含む)



SP15
1. 2. 5Y5/1 黄灰色砂質シルト

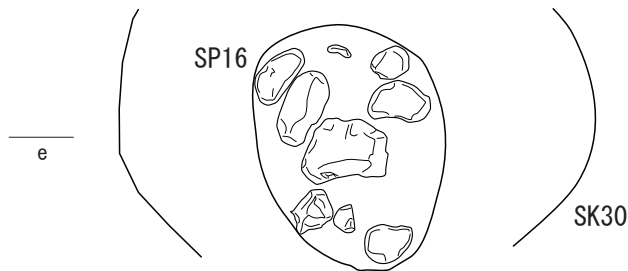
SP13



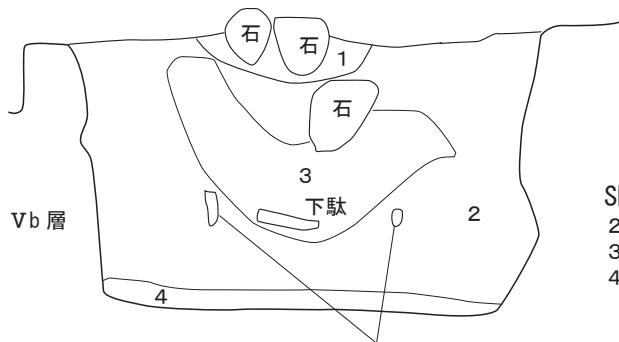
262.0m



1. 2. 5YR4/1 黄灰色砂質シルト
2. 1に 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂が 10%混



262.2m



SP16
1. 2. 5Y5/1 黄灰色砂質シルト

木質遺物の残欠 (編みカゴ状)

SP14

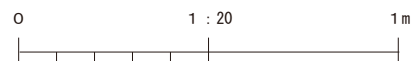


262.0m

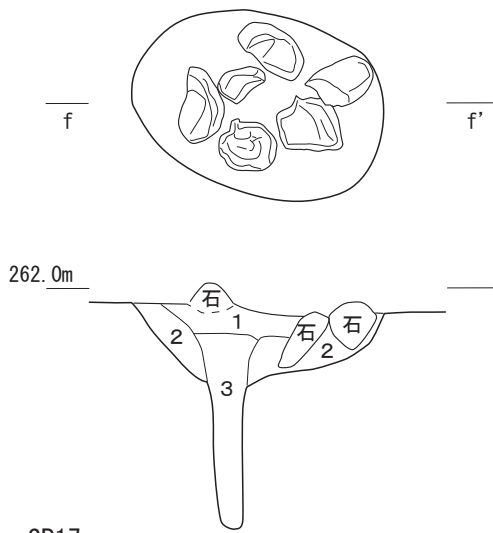


SK30

2. 10YR4/1 褐灰色砂
3. N3/ 暗褐色砂
4. 7.5Y3/1 オリーブ黒色砂に
7.5YR3/2 オリーブ黒色粘土ブロック状に 30%混

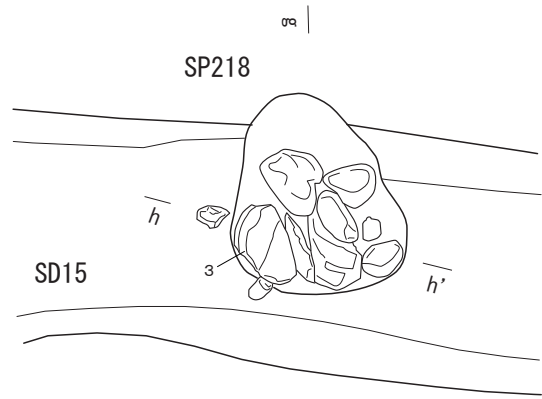


第15図 建物跡(5) SB2

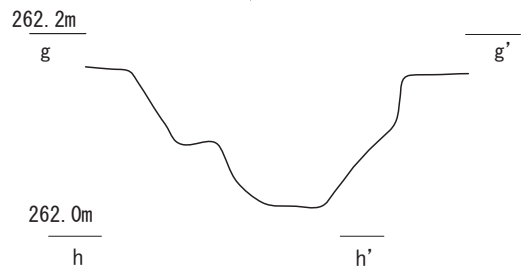


SP17

1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト
2. 10YR4/3 黄褐色粗砂に1. が30%混じる
3. 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト（締めゆるい、杭痕）



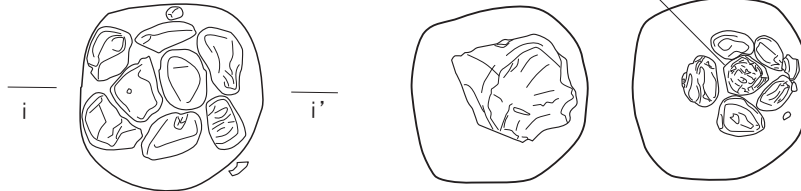
SP218・SD15



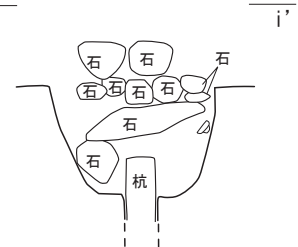
SP218

1. 2.5Y5/1 黄灰色砂、締め弱い、粘性なし
2. 2.5Y4/1 黄灰砂質シルト、締めやや強い、粘性弱い

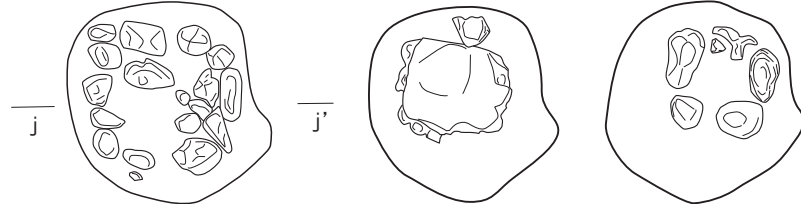
SP19



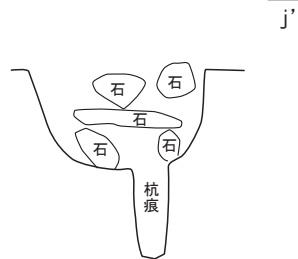
262.2m



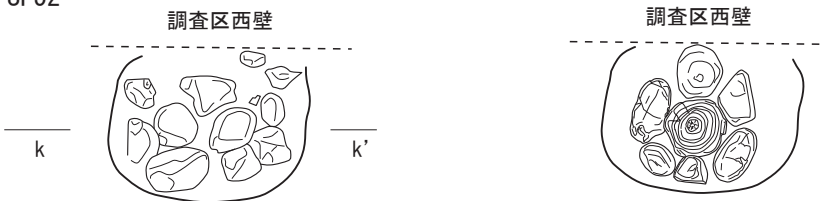
SP20



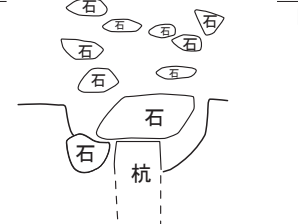
262.2m



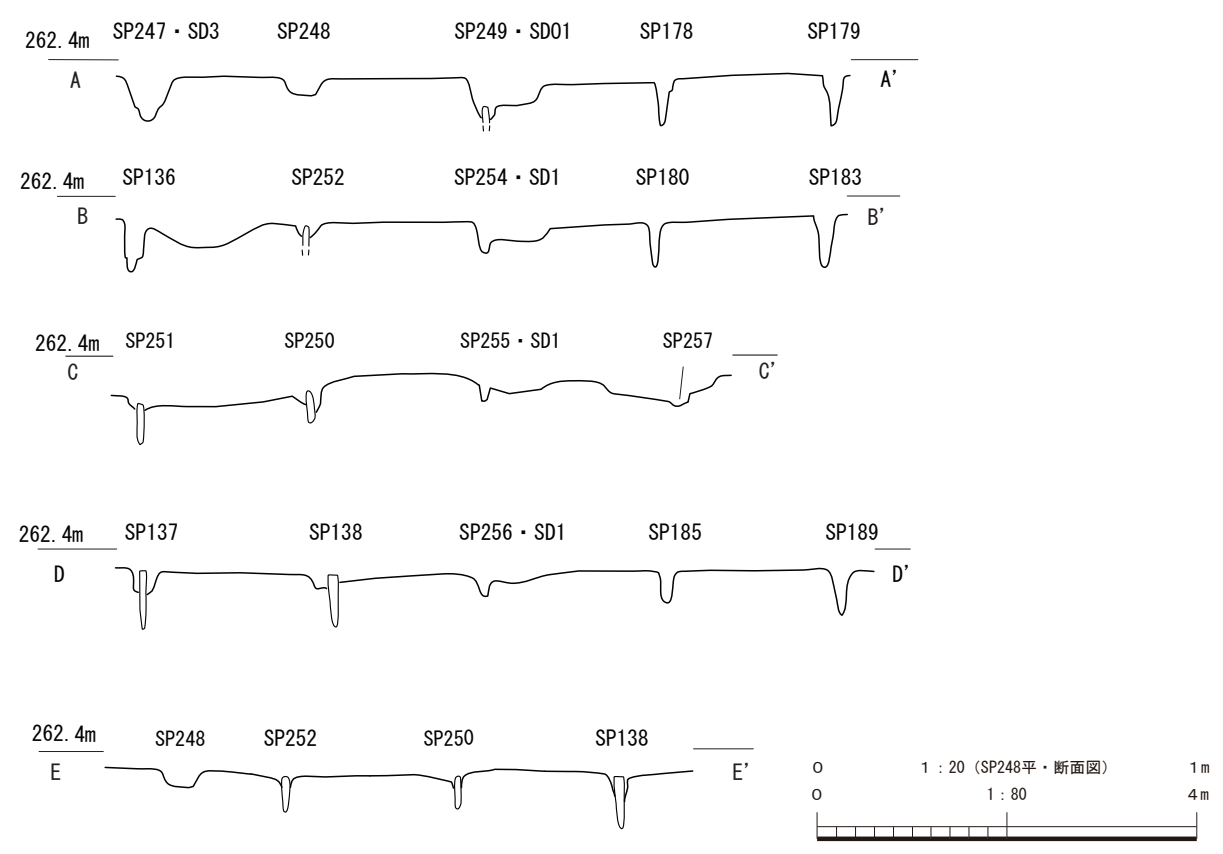
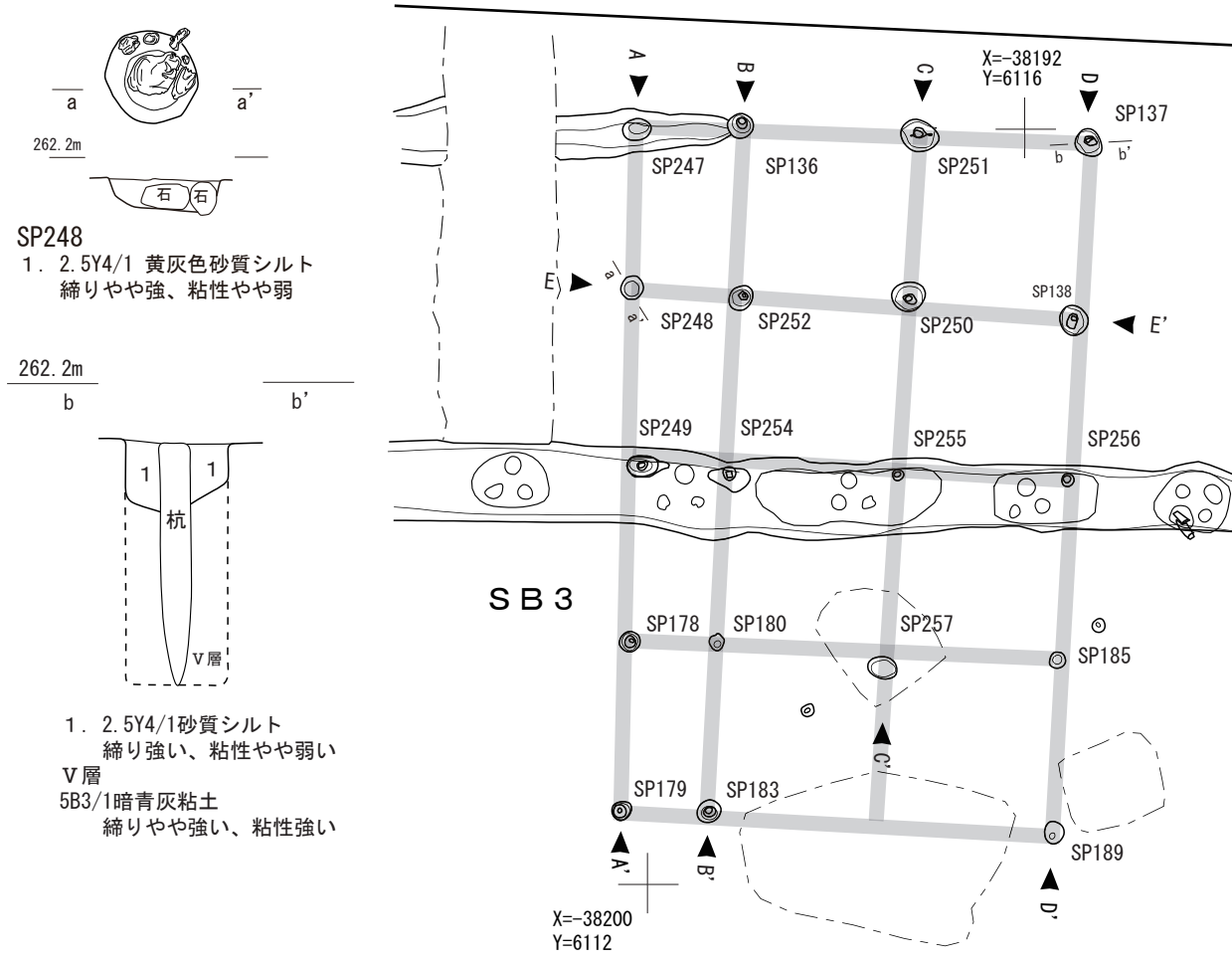
SP52



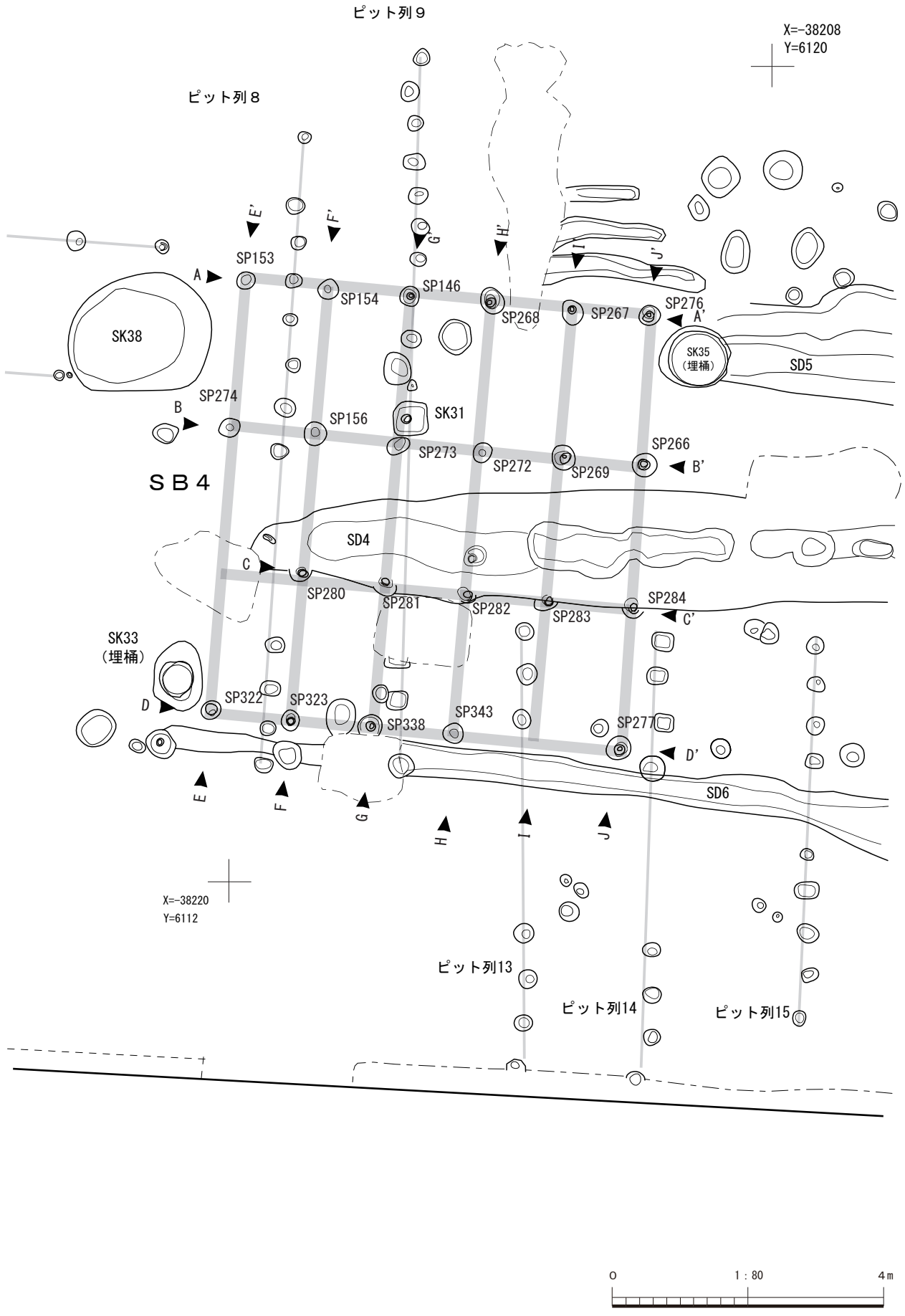
262.2m



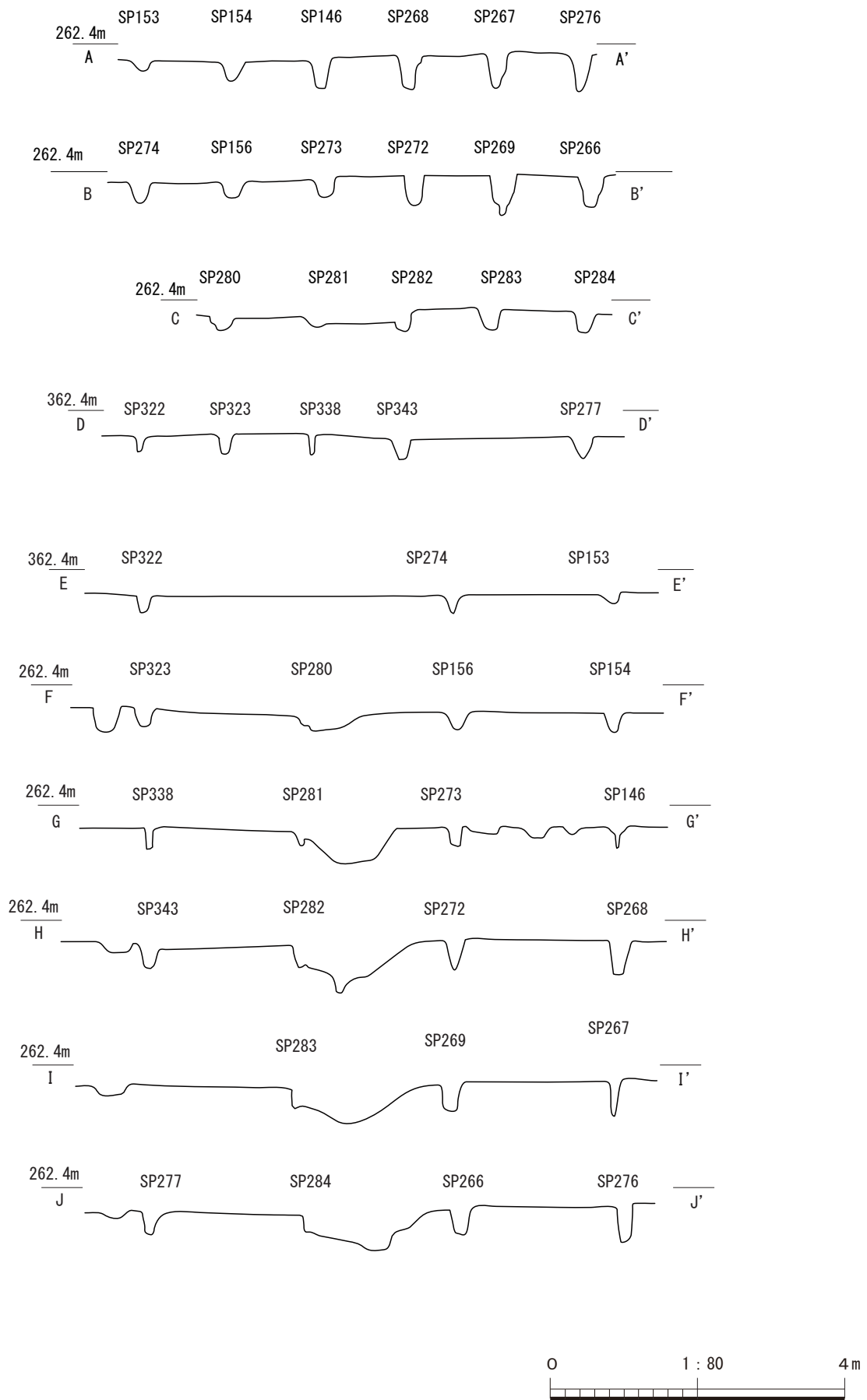
第16図 建物跡(6) SB2



第17図 建物跡(7) SB3

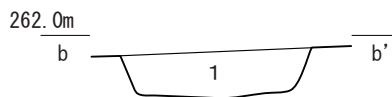
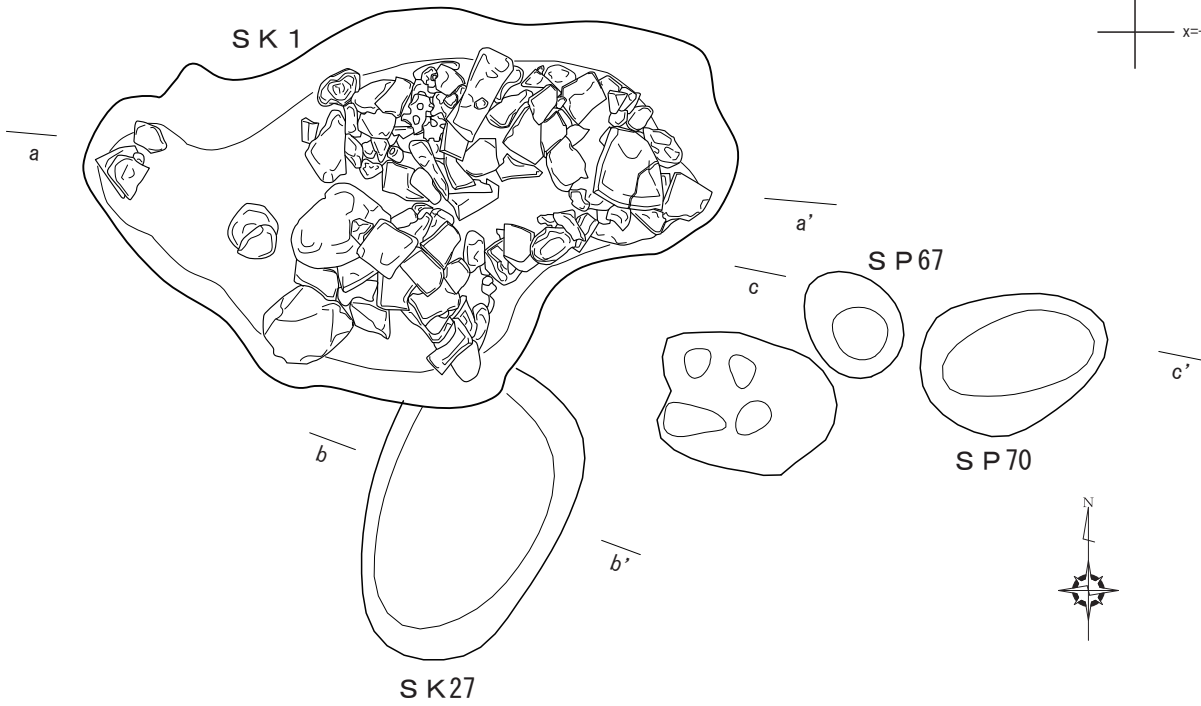


第18図 建物跡(8) SB4



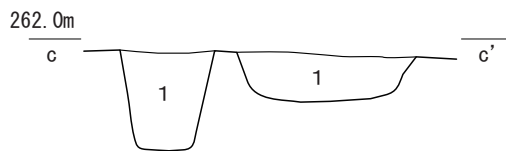
第 19 図 建物跡 (9) SB4

Y=6,136
x=-38,200



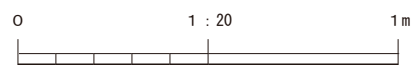
SK27

- 10YR4/1 褐灰色砂質シルト (IV層) ベースに
10YR5/3 にぶい黄褐色細砂 (III層) が30%混じる

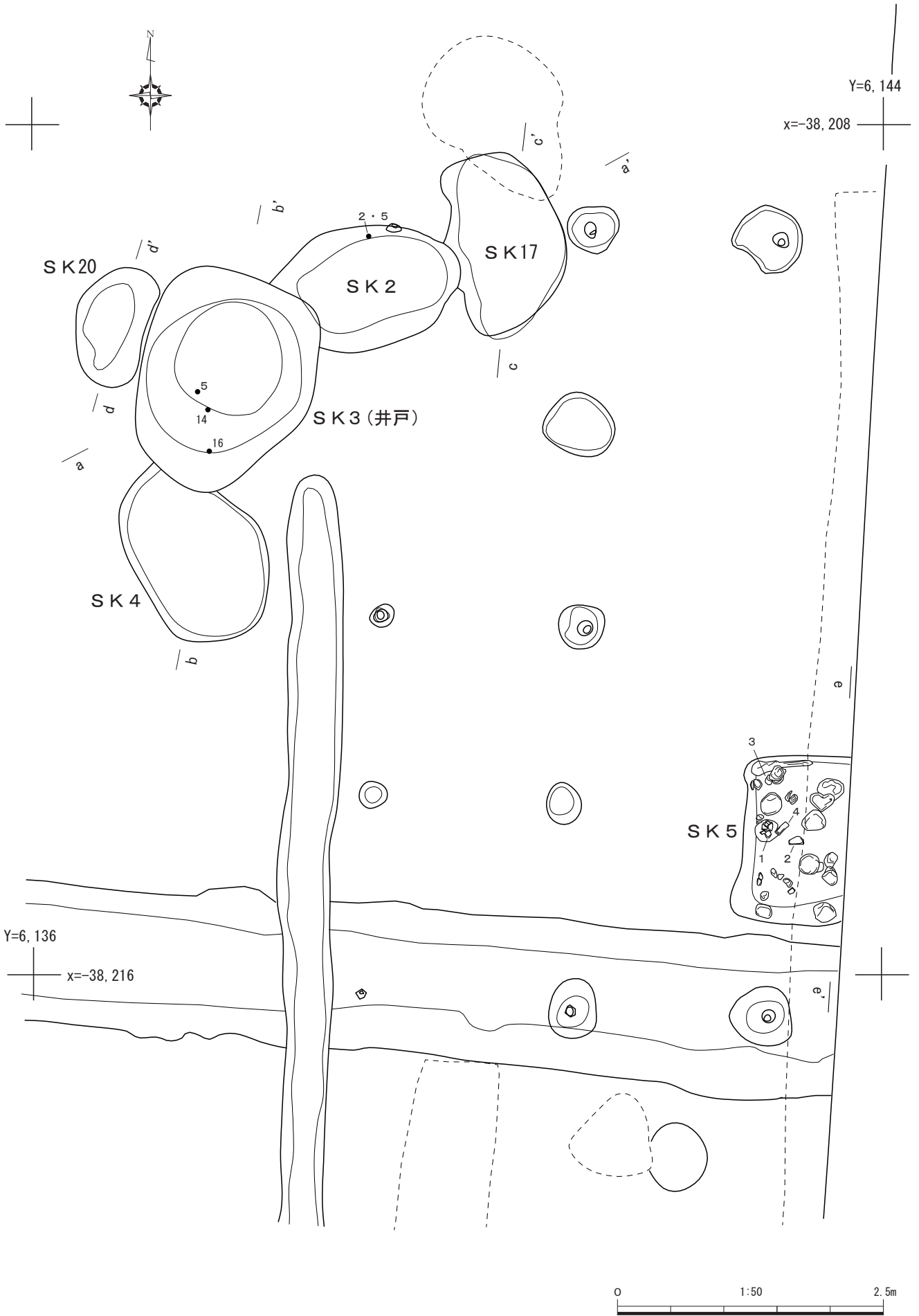


SP67・70

- 10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト

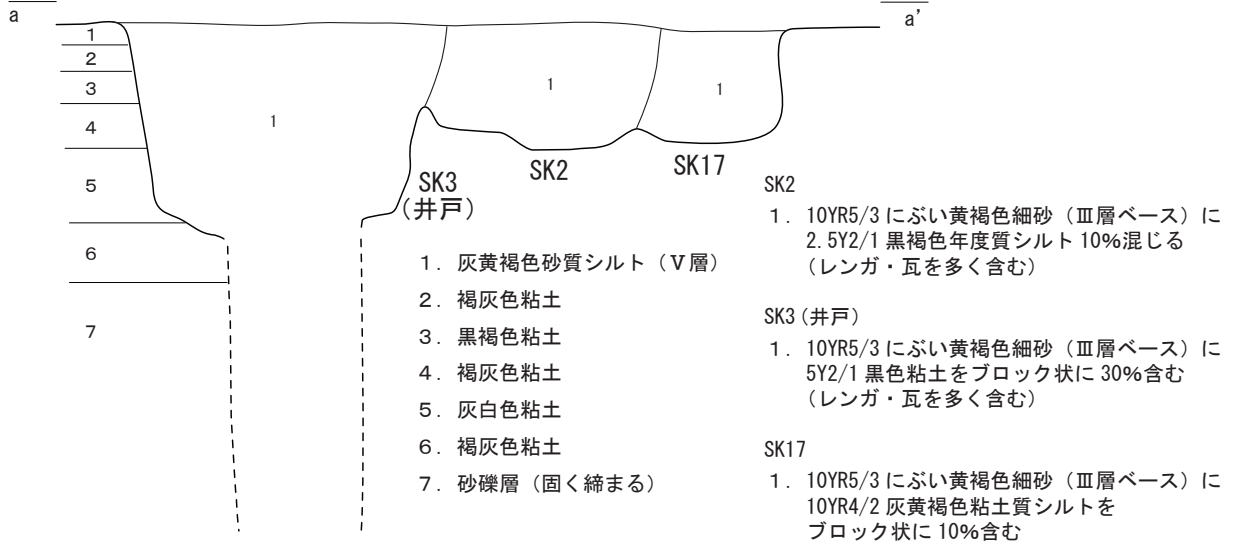


第20図 土坑(1) SK1・27、SP67・70

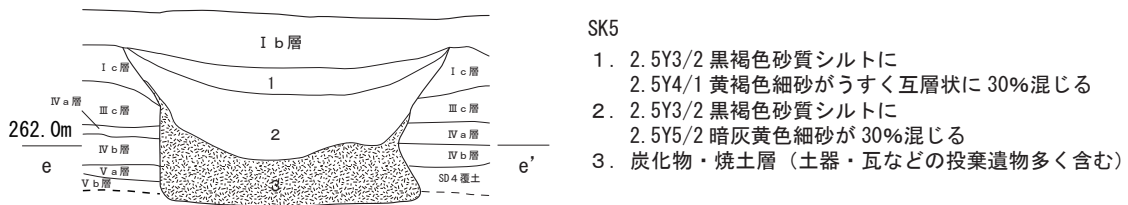
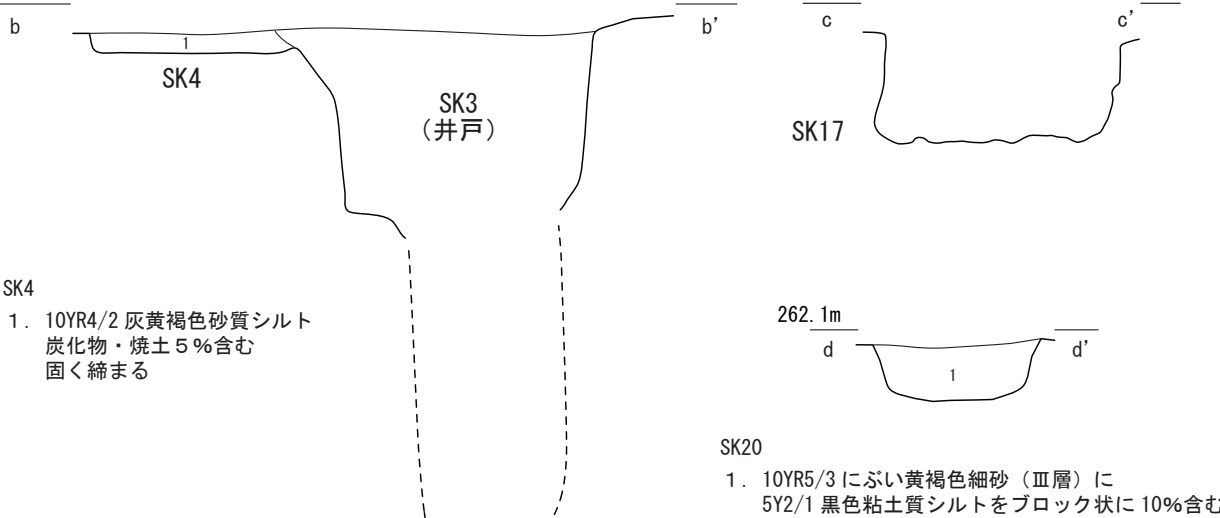


第 21 図 土坑 (2) SK 2・3 (井戸)・4・5・17・20

262.1m



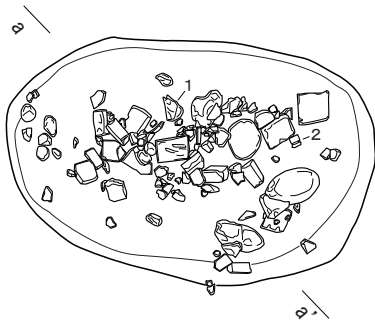
262.1m



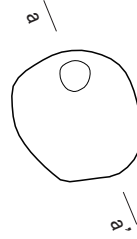
第 22 図 土坑（3） SK 2・3（井戸）・4・5・17・20

Y=6, 128
X=-38, 204

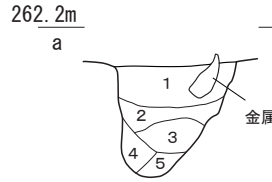
SK 6



262.1m
a a'



Y=6, 134
X=-38, 222

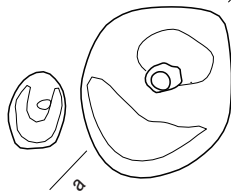


SK7

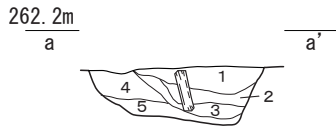
1. 10YR5/3 にぶい黄褐色細砂 (酸化鉄分 5%、炭化物 3%混じる)
2. 10YR4/1 褐灰色粗砂
3. 10YR4/1 褐灰色細砂
4. 10YR5/1 褐灰色砂
5. 10YR5/1 砂 (酸化鉄分 30%混じる)

Y=6, 142
X=-38, 222

SP59



SK 8

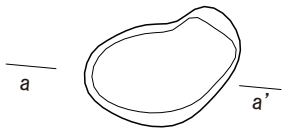


SK8

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色粗砂 (炭化物含む)
2. 1. に 10YR4/1 褐灰色細砂 10%混じる
3. 10YR 4/3 にぶい黄褐色細砂
4. 10YR3/2 黒褐色粗砂
5. 10YR4/2 灰黄褐色砂

Y=6, 132
X=-38, 202

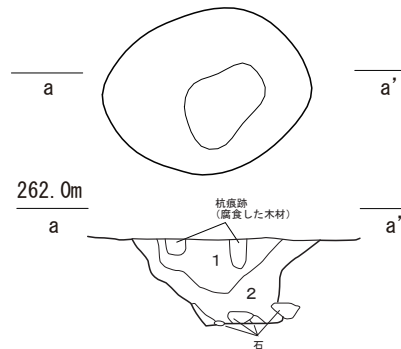
SK 9



262.0m
a a'

Y=6, 138
X=-38, 204

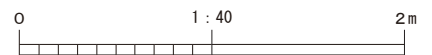
SK10



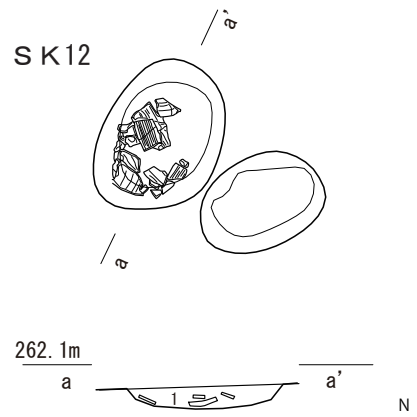
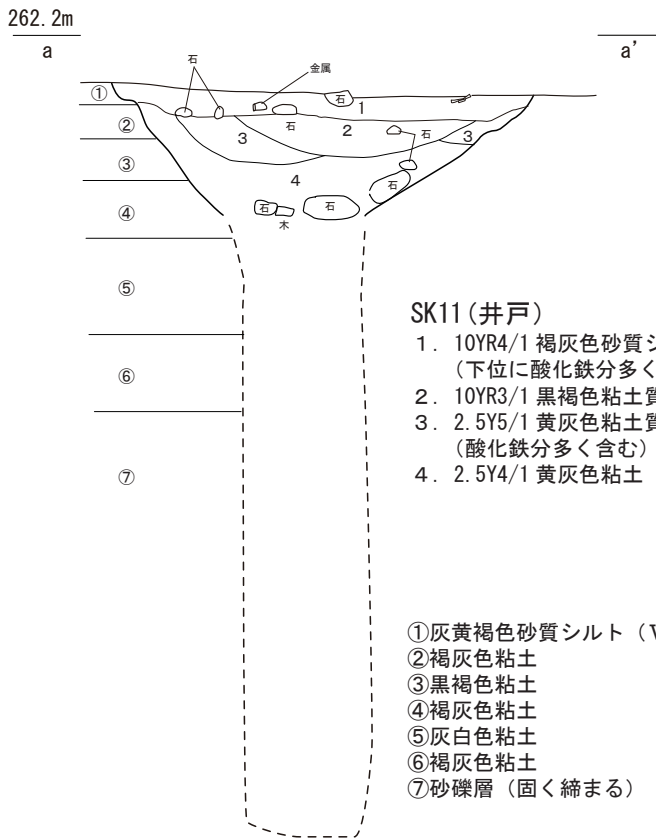
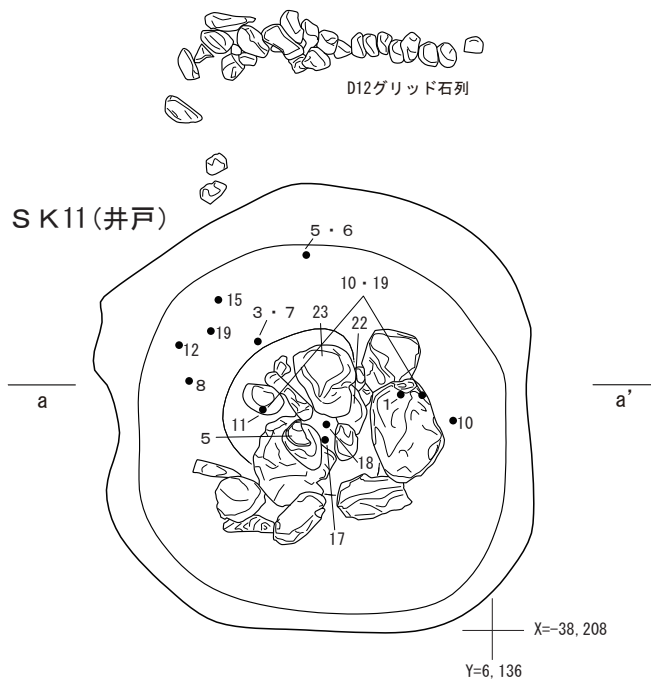
262.0m
a a'

SK10

1. 杭痕跡 (腐食した植物遺体)
2. 10YR3/2 黒褐色砂に 5Y2/1 黒色粘土ブロック状に 30%含
3. 10YR3/2 黒褐色砂

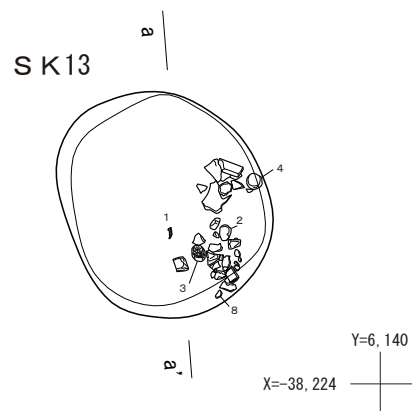


第 23 図 土坑 (4) SK 6 ~ 10



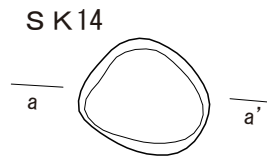
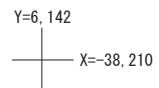
SK12

1. 2.5Y5/1 黄灰色砂質シルト (酸化鉄分3%含む)



SK13

1. 10YR3/2 黒褐色粗砂 (炭化物少量含む)



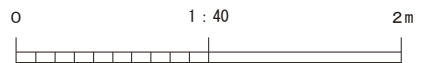
261.9m

a

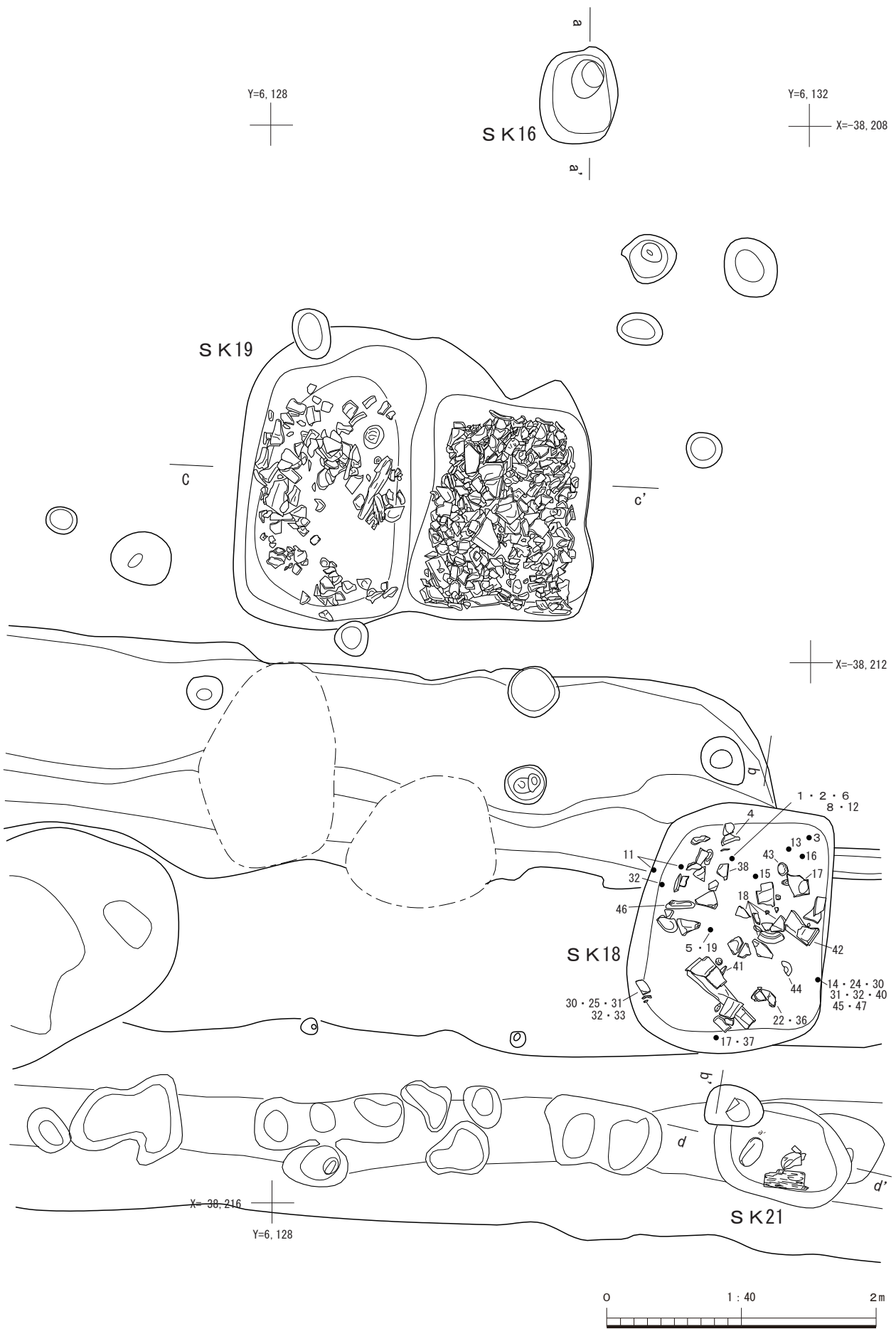
a'

SK14

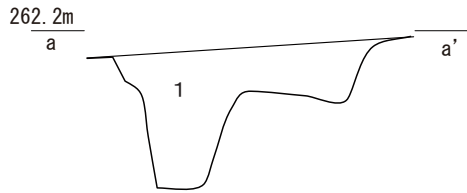
1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト (炭化物少量含む)



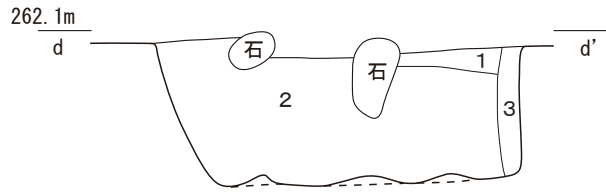
第24図 土坑(5) SK11(井戸)~14



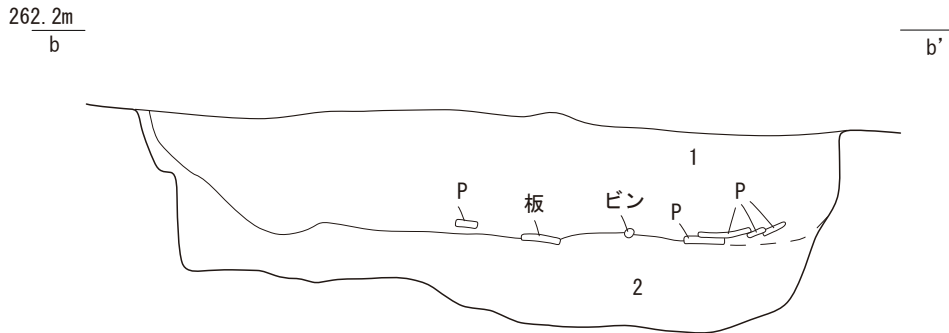
第25図 土坑(6) SK16・18・19・21



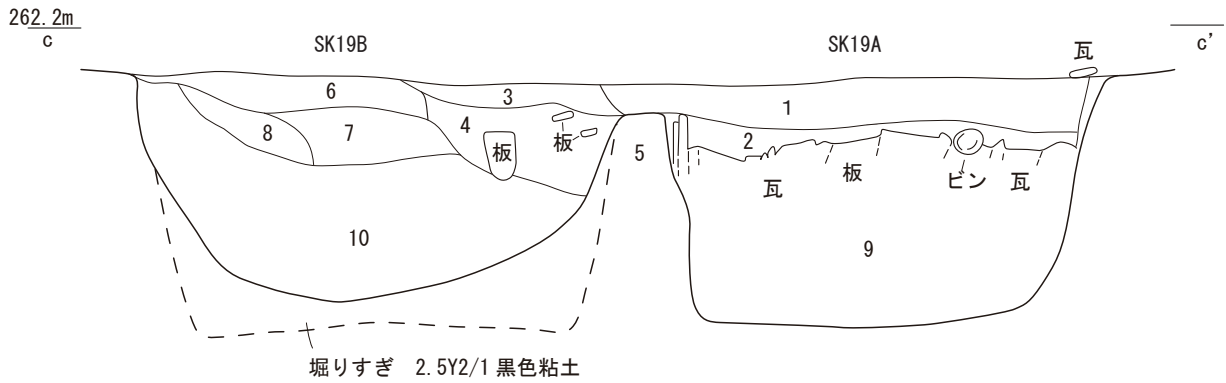
SK16
1. 10YR4/2 灰黄褐色砂



SK21
1. 2.5Y5/1黄灰色粘土質シルト、締り強い、粘性弱い
2. 2.5Y4/1黄灰色粘土
締り強い、粘性弱い、5mm炭化物1%含む
3. 2.5Y4/2暗黄灰色粘土質シルト
締り強い、粘性弱い

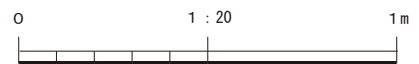


SK18
1. 2.5Y3/1黒褐色砂質シルト（瓦、腐食した植物遺体炭化物多く含む、締りゆるい）
2. N3/ 暗灰色砂



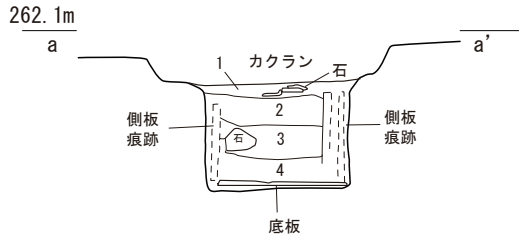
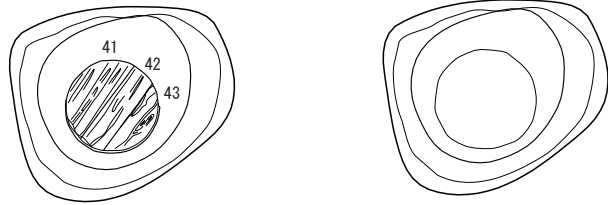
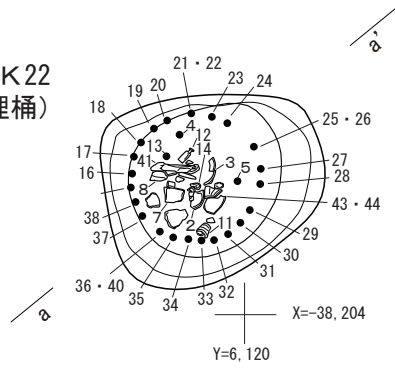
SK19B
3. 10YR5/2褐灰色細砂（酸化鉄分多く含む）
4. 10YR4/1褐灰色細砂
5. 10YR6/2灰黄褐色砂
6. 10YR4/1褐灰色砂質シルト
7. 10YR4/1褐灰色細砂
8. 10YR6/2灰黄褐色砂
10. 10YR4/1褐灰色粗砂（炭化物・植物遺体多く含む）

SK19A
1. 10YR4/1褐灰色砂質シルト（炭化物10%含む）
2. 10YR5/1褐灰色細砂（瓦多く含む）
9. 10YR3/1黒褐色粗（瓦・炭化物多量含む）



第26図 土坑（7） SK16・18・19・21

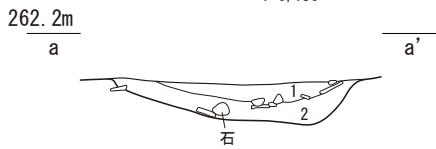
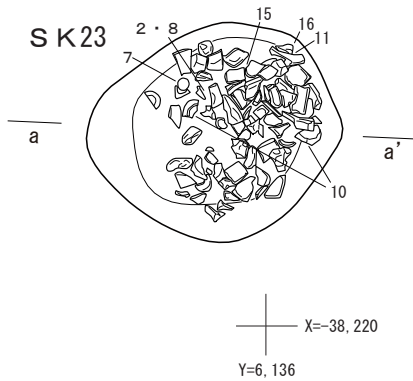
SK22
(埋桶)



SK22 (埋桶)

1. 2. 5YR4/1黄灰色砂質シルト (粗砂含むIV層ベース)
2. 2. 5Y5/2暗灰黄色砂
3. 2. 5Y3/1黒褐色粘土質シルト
4. N3/1暗灰色粗砂

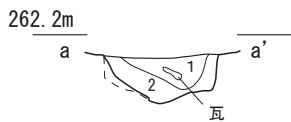
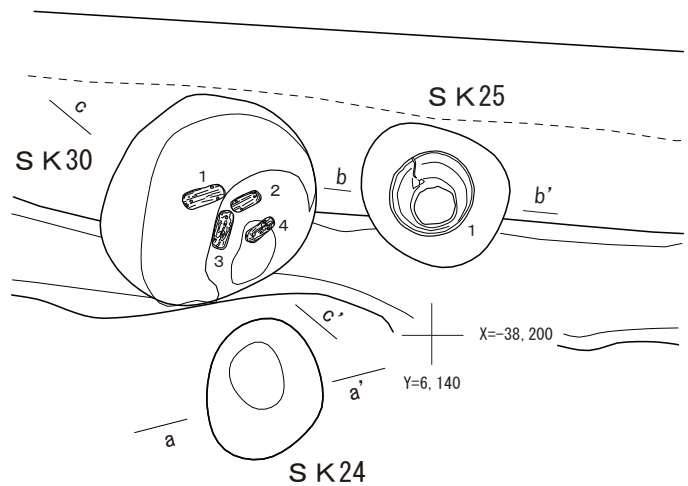
SK23



SK23

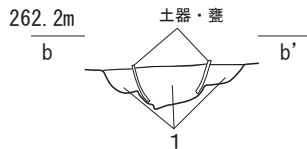
1. 7. 5Y3/1黒褐色砂質シルト (瓦多量に含む、しまりゆるい)
2. 10YR3/1黒褐色砂質シルト (腐食した植物遺体・炭化物多量に含む)

SK24・25・30



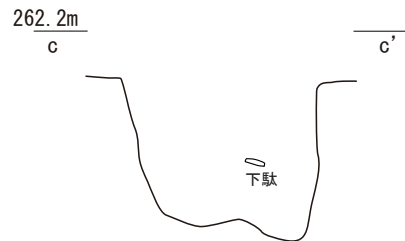
SK24

1. 10YR5/3にぶい黄褐色細砂
2. 10YR4/1褐灰色砂質シルト

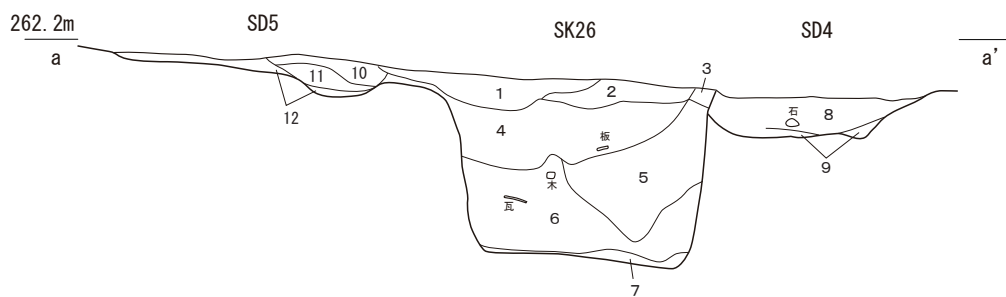
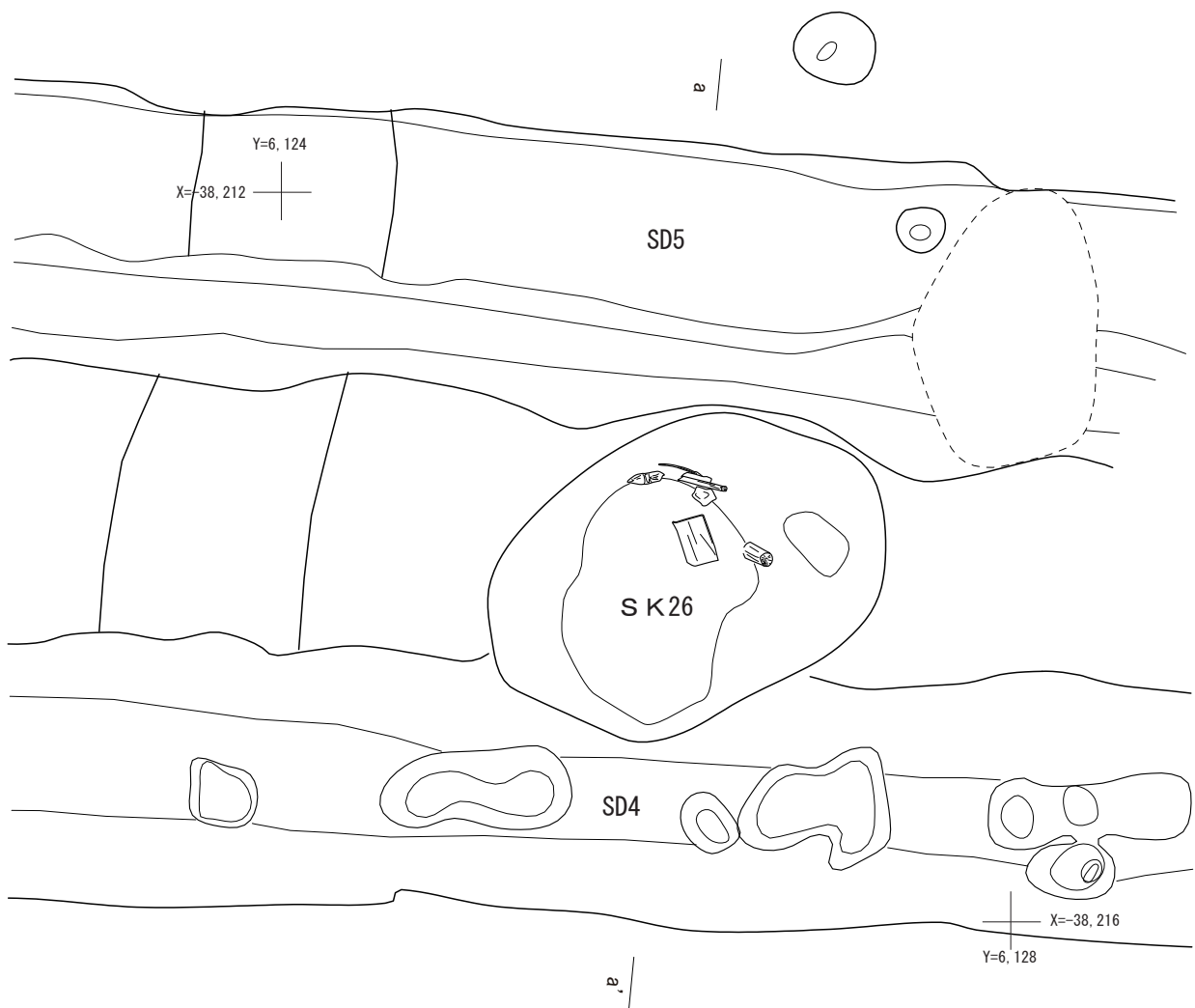


SK25 (埋壺)

1. 2. 5Y3/2黒褐色粘土質シルト 締めゆるい、粘性やや強い



第27図 土坑(8) SK22(埋桶) ~ 25・30



SK26

1. 10YR3/3暗褐色砂、締りやや弱い、粘性弱い
2. 10YR3/2黒褐色砂質シルト、締りやや弱い、粘性強い
3. 10YR4/4褐色砂質シルト、締りやや強い、粘性弱い、鉄分集積
4. 10YR3/4暗褐色砂質シルト、締りやや強い、粘性弱い
5. 10YR3/3黒褐色粘土、締りやや強い、粘性強い
6. 10YR3/3暗褐色砂、締りやや弱い、粘性弱い、粘土混、木・瓦含む
7. 10YR2/2黒褐色粘土、締りやや強い、粘性強い、木杭

SD4

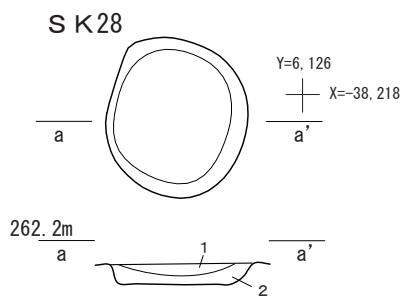
8. 10YR4/4褐色砂質シルト、締り強い、粘性弱い
9. 10YR3/4 暗褐粘土、締り強い、粘性強い

SD5

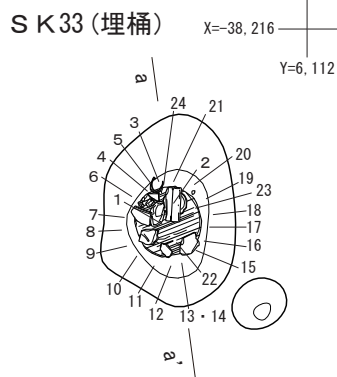
10. 10YR4/4褐色砂質シルト、締り弱い、粘性弱い
11. 10YR3/3暗褐色砂、締まりやや弱い
12. 10YR5/6黄褐色砂、締り弱い、粘性弱い



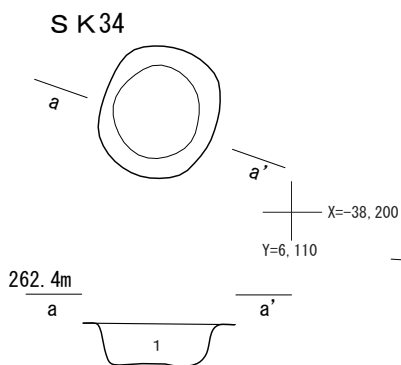
第 28 図 土坑 (9) SK26



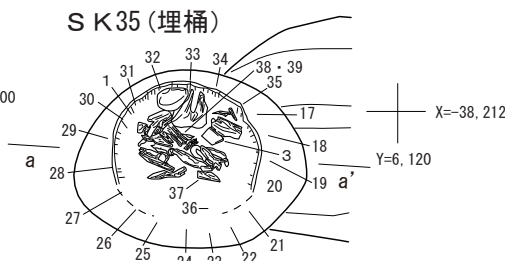
- SK28**
 1. 2.5Y5/1 黄灰色砂 (炭化物多量に含む)
 2. 2.5Y5/2 細砂



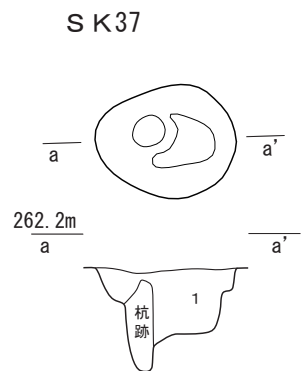
- SK33 (埋桶)**
 1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト 締りやや強い、粘性弱い
 2. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト 締りやや強い、粘性弱い
 3. 2.5YR3/2 黒褐色粘土 締りやや弱い、粘性強い



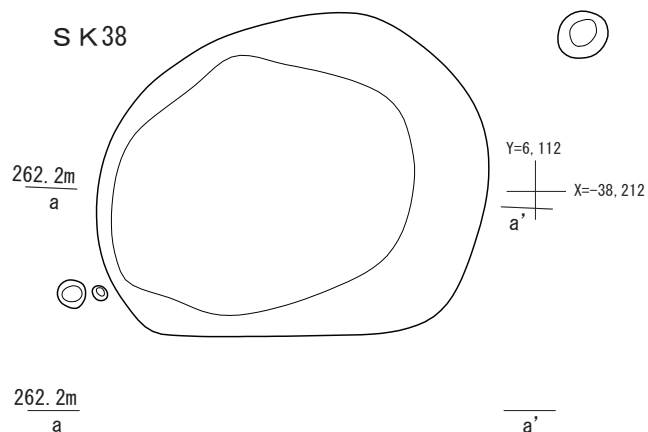
- SK34**
 1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト (酸化鉄分3%含む)



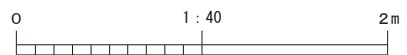
- SK35 (埋桶)**
 1. 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂質シルト 締り強い、粘性弱い
 2. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト 締り強い、粘性弱い
 3. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト 締り強い、粘性弱い、5mm炭化物1%
 4. 2.5Y2/1 黒色粘土 締りやや弱い、粘性強い
 5. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂 締り強い、粘性弱い
 6. 2.5Y3/1 黒褐色砂 締り弱い、粘性弱い



- SK37**
 1. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト 締り強い、粘性弱い

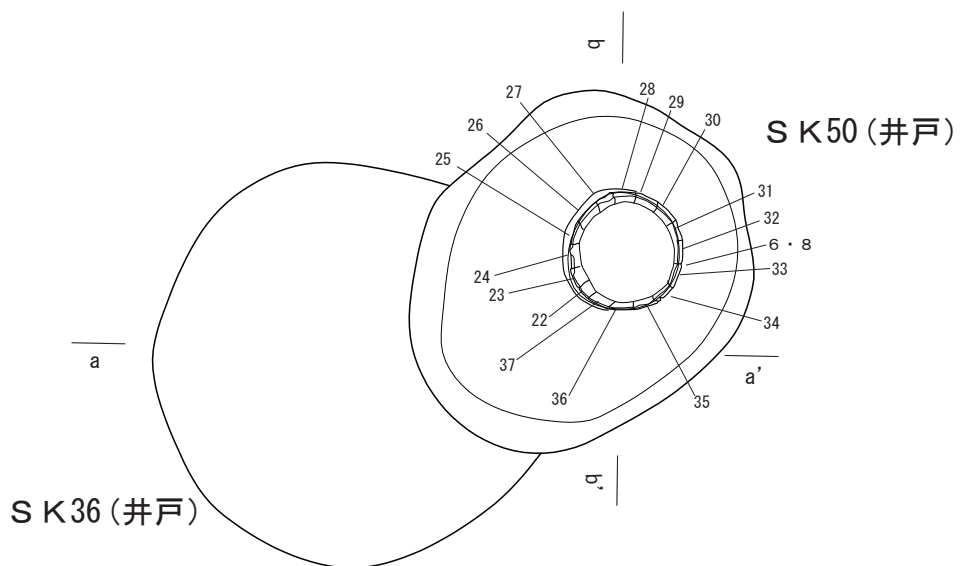


- SK38**
 1. 2.5Y3/2 黒褐色砂質シルト 締り強、粘性弱、5mm炭化粒1%
 2. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト 締り強、粘性弱
 3. 2.5Y4/1 黄灰色砂質シルト 締りやや弱、粘性やや弱、1cm炭化粒1%

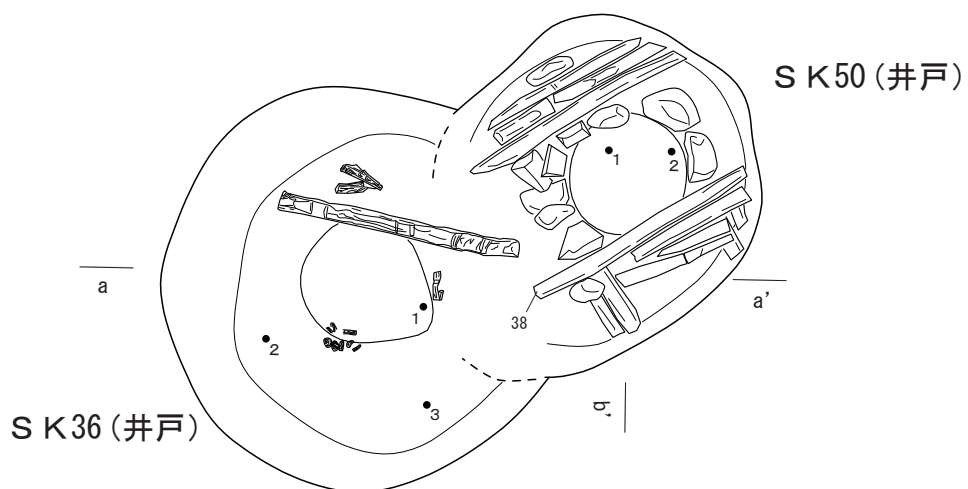


第 29 図 土坑 (10) SK28・33(埋桶)・34・35(埋桶)・37・38

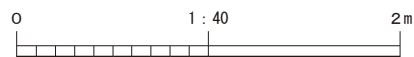
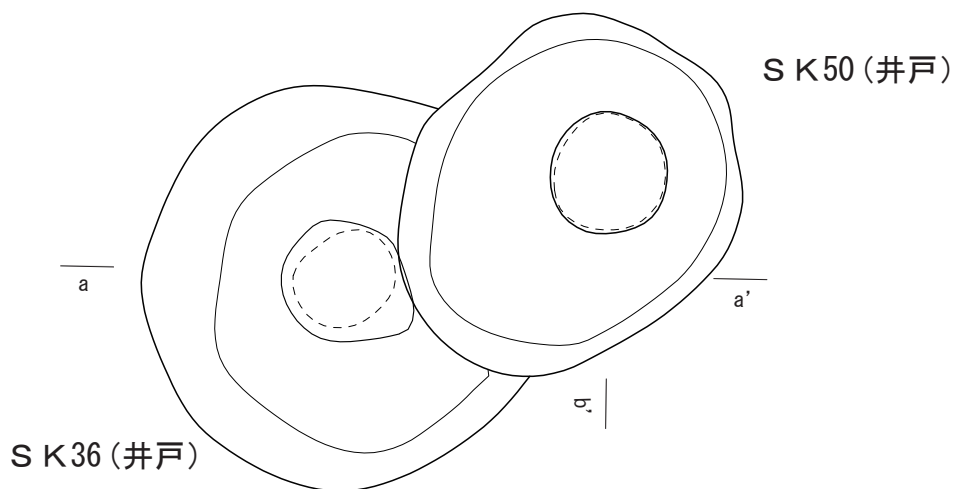
Y=6, 092
X=-38, 192



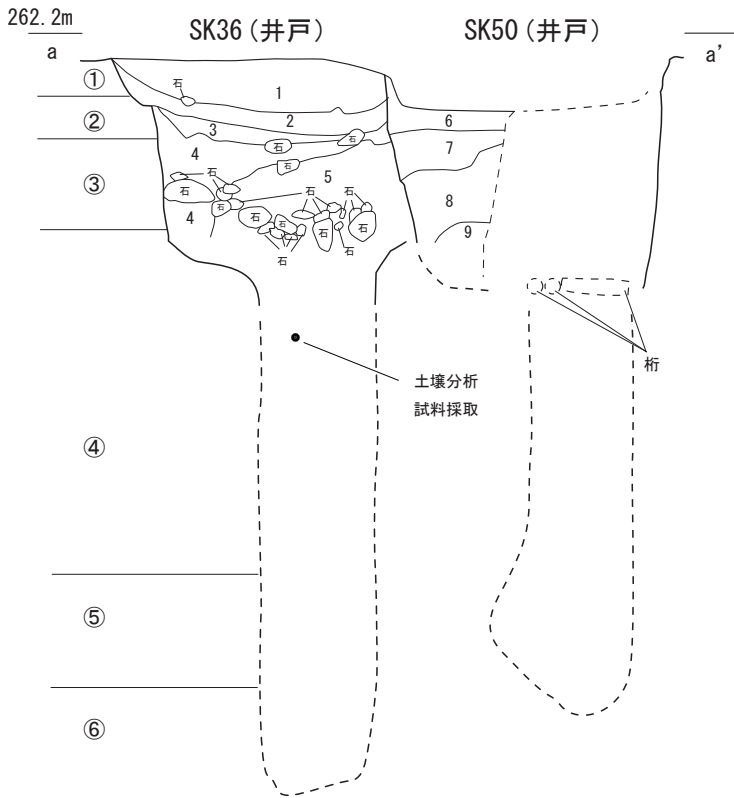
Y=6, 092
X=-38, 192



Y=6, 092
X=-38, 192



第 30 図 土坑 (11) S K 36・50 (井戸)



SK36 (井戸)

1. 10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト (固く締る)
2. 10YR3/2 黒褐色粘土 (腐食した植物遺体含)
3. 10YR5/3 にぶい黄褐色粗砂に
10YR4/1 褐灰色砂質シルトが薄く互層状に混じる
4. 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト
5. N3/暗灰色粘土質シルト

SK50 (井戸)

6. 10YR3/2 黒褐色粘土に
10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト10%混
7. 10YR3/2 黒褐色粘土
8. N4/灰色粘土質シルト、締め弱、粘性強
9. 2.5Y2/1 黒色粘土、締め強、粘性強

① 灰黄褐色砂質シルト (V層)

② 灰白色粘土

③ 黒褐色粘土

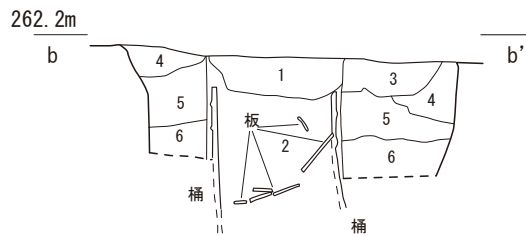
④ 褐灰色粘土

⑤ 黒褐色粘土

⑥ 灰白色粘土に

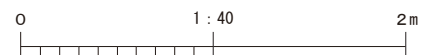
砂層が互層状に混じる

(湧水層)

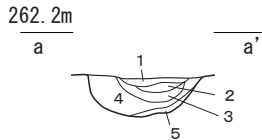
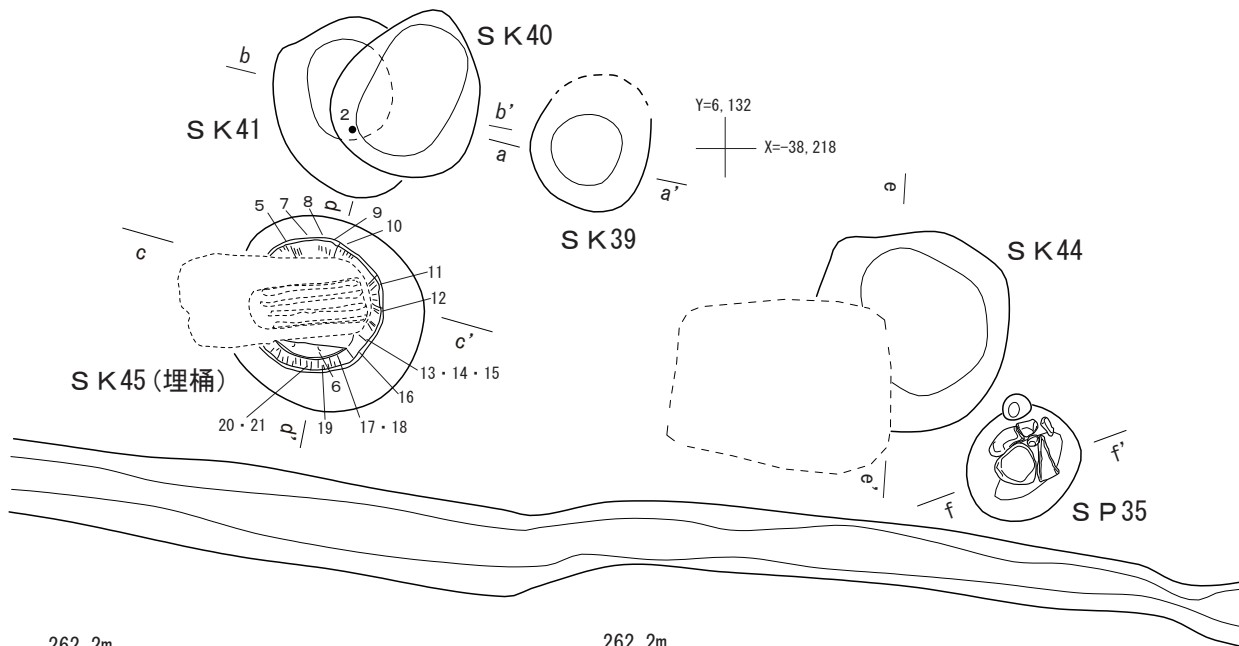


SK50 (井戸)

1. 2.5Y4/2 暗灰黄色砂質シルト
締め強い、粘性やや弱い、炭化物1%混じる
2. 10YR3/2 黒褐色粘土
締め弱い、粘性強い、炭化物2%混じる
3. 10YR4/2 灰黄褐色粘土に
10YR3/2 黒褐色粘土5%混じる
締め強い、粘性強い
4. 10YR3/2 黒褐色粘土に
10YR4/2 灰黄褐色砂質シルト10%混じる
締め強い、粘性強い
5. 10YR3/2 黒褐色粘土、締め強い、粘性強い
6. N4/ 灰色粘土質シルト、締め強い、粘性強い

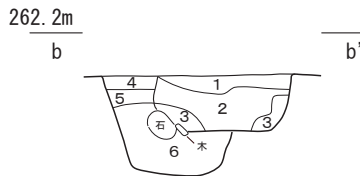


第31図 土坑(12) SK36・50(井戸)



SK39

1. 2. 5Y6/1黄灰色砂
縮り弱い、粘性なし
2. 2. 5Y5/2暗灰黄色砂質シルト
縮りやや弱い、粘性やや弱い
3. 2. 5Y5/1黄灰色砂質シルト
縮りやや弱い、粘性やや弱い、5mm炭化物1%含む
4. 2. 5Y4/1黄灰色砂質シルト
縮りやや強い、粘性やや弱い、5mm炭化物5%含む
5. 2. 5Y4/2暗灰黄色砂質シルト
縮りやや強い、粘性やや弱い

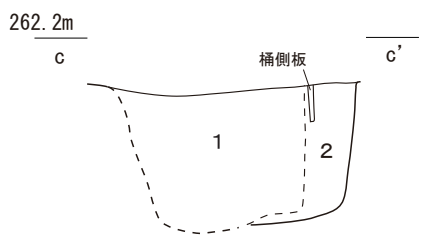


SK40

1. 2. 5Y4/1黄灰色砂質シルト、縮り弱い、粘性弱い、1mm炭化物1%含む
2. 2. 5Y5/1黄灰色砂質シルト、縮り弱い、粘性なし
3. 2. 5Y4/1黄灰色砂質シルト 縮りやや強い、粘性やや強い

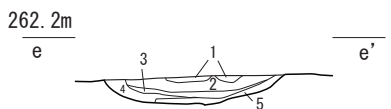
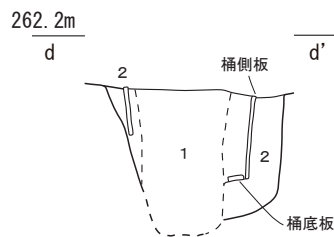
SK41

4. 2. 5Y4/1黄灰色砂質シルト 縮りやや強い、粘性やや強い
5. 2. 5Y3/2黒褐色粘土質シルト、縮りやや強い、粘性やや強い
6. 2. 5Y3/1黒褐色粘土質シルト、縮り弱い、粘性やや強い



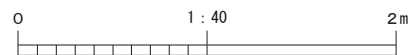
SK45 (埋桶)

1. 重機による攪乱 (径3mmほどの碎石が50%混じる)
2. 10YR4/1褐灰色粘土、縮り弱い、粘性強い

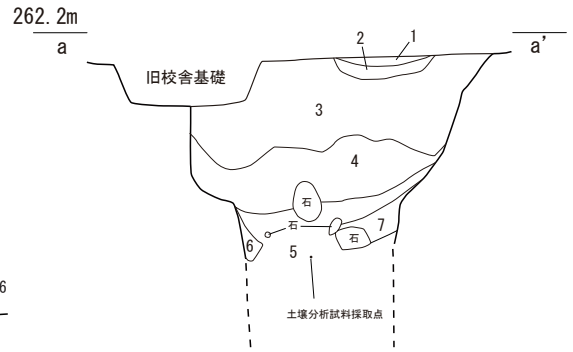
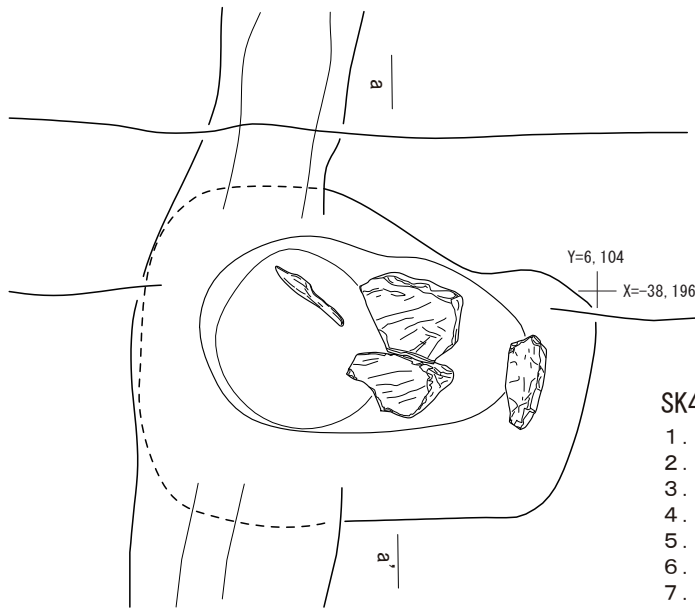


SK44

1. 攪乱
2. 2. 5Y4/1黄灰色砂質シルト、縮り強い、粘性弱い
3. 2. 5Y4/2暗灰黄色粘土、縮り弱い、粘性強い
4. 2. 5Y3/2黒褐色粘土、縮りやや強い、粘性やや強い
5. 2. 5Y3/1黒褐色シルト、縮り強い、粘性やや強い



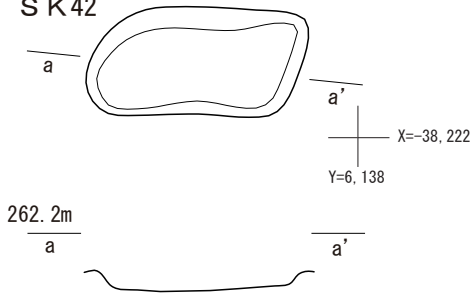
第32図 土坑 (13) SK39 ~ 41・44・45 (埋桶)・SP35



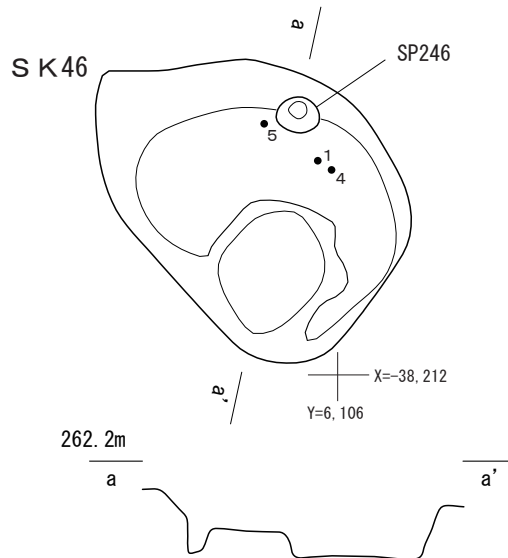
SK43 (井戸)

1. 2.5Y4/1黄灰色砂質シルト、締り強い、粘性弱い
2. 2.5Y5/2暗灰黄砂質シルト、締り強い、粘性弱い
3. 2.5Y3/1黒褐色粘土、締り強い、粘性強い
4. 2.5Y3/2黒褐色粘土、締り強い、粘性強い
5. 2.5Y4/1黄灰色砂質シルト、締り強い、粘性やや強い
6. 10YR2/1黒色粘土、締り弱い、粘性強い
7. 10YR2/2黒褐色粘土、締り弱い、粘性強い

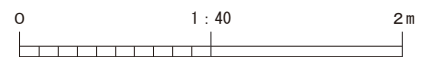
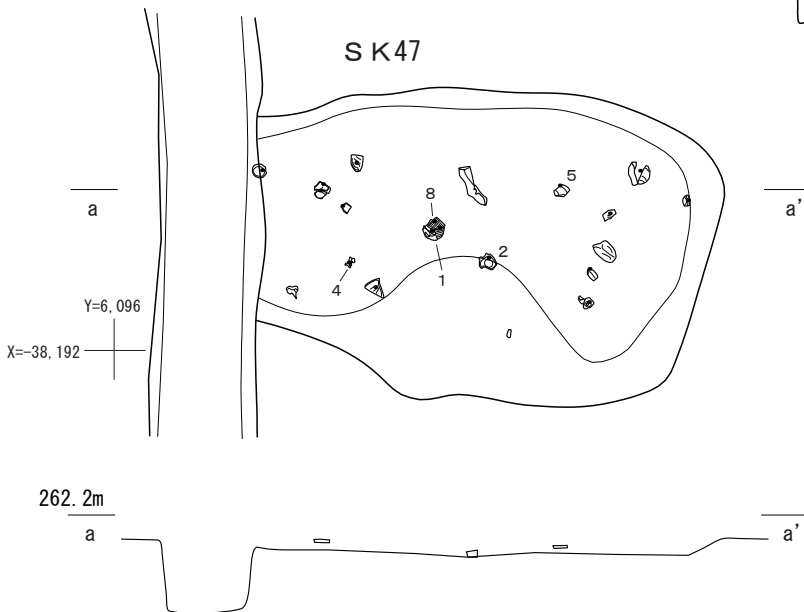
SK42



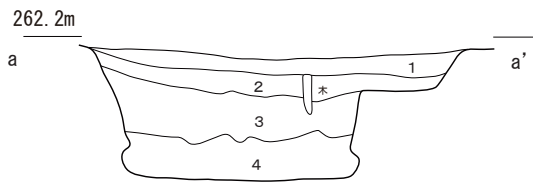
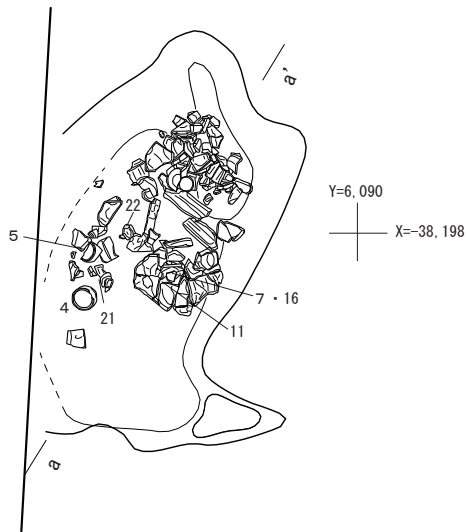
SK46



SK47

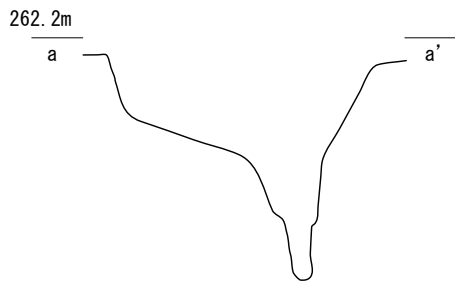
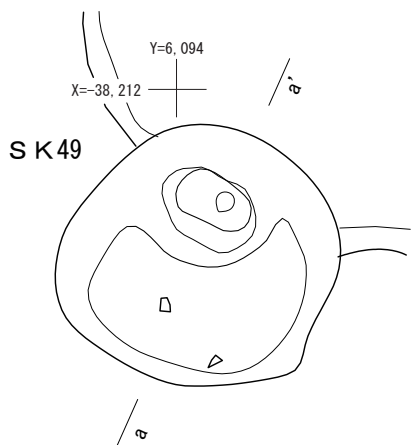


第33図 土坑 (14) SK42・43(井戸)・46・47

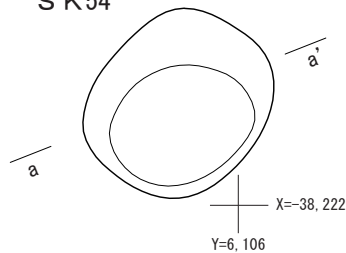


SK48

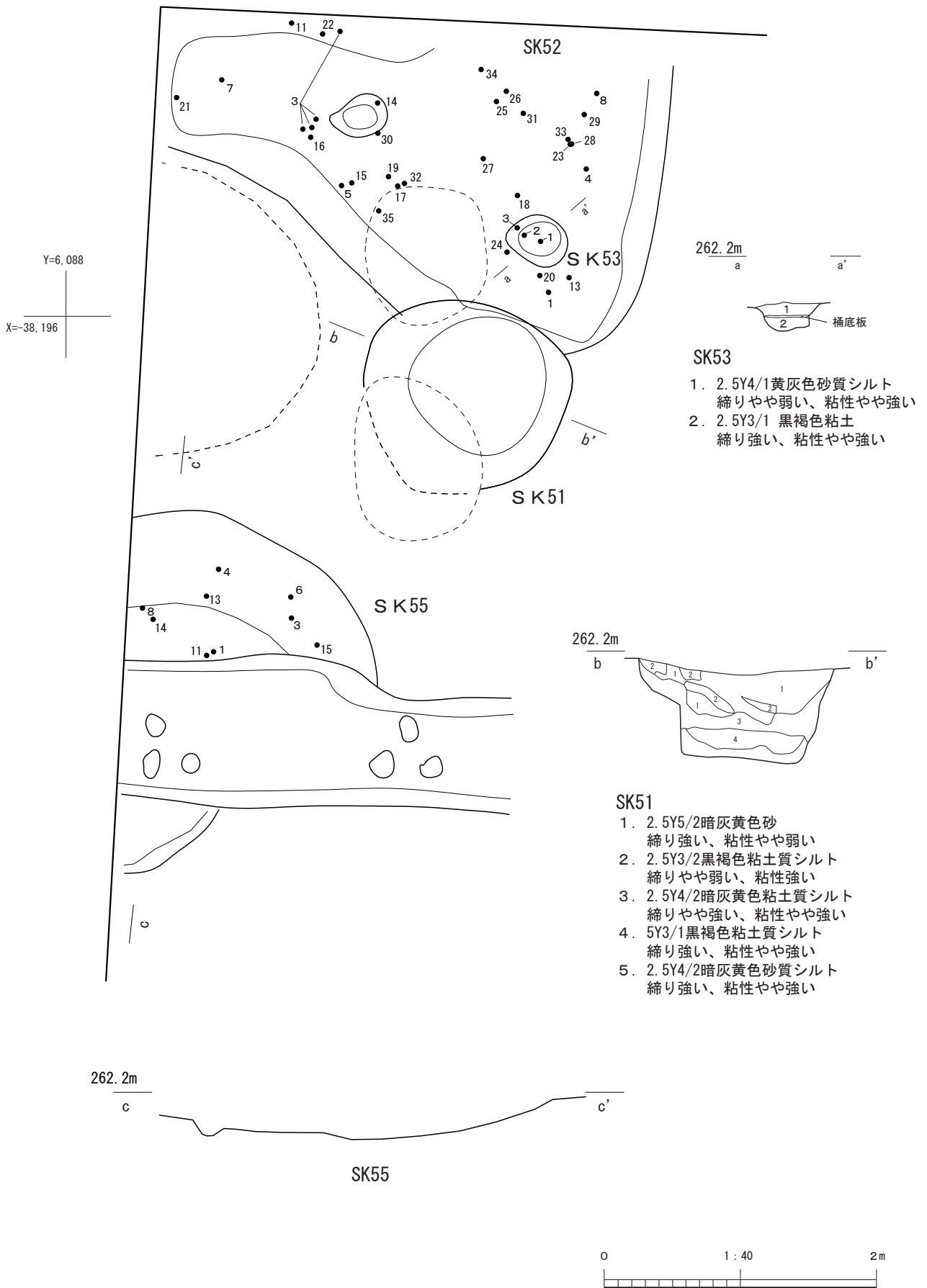
1. 2.5Y3/2黒褐色砂質シルト、締りやや弱い、粘性やや弱い
2. 2.5Y4/1黄灰色砂質シルト、締りやや強い、粘性やや弱い
3. 2.5Y3/2黒褐色砂質シルト、締り強い、粘性弱い
4. 7.5Y4/1灰色砂質シルト、締り強い、粘性弱い



SK54

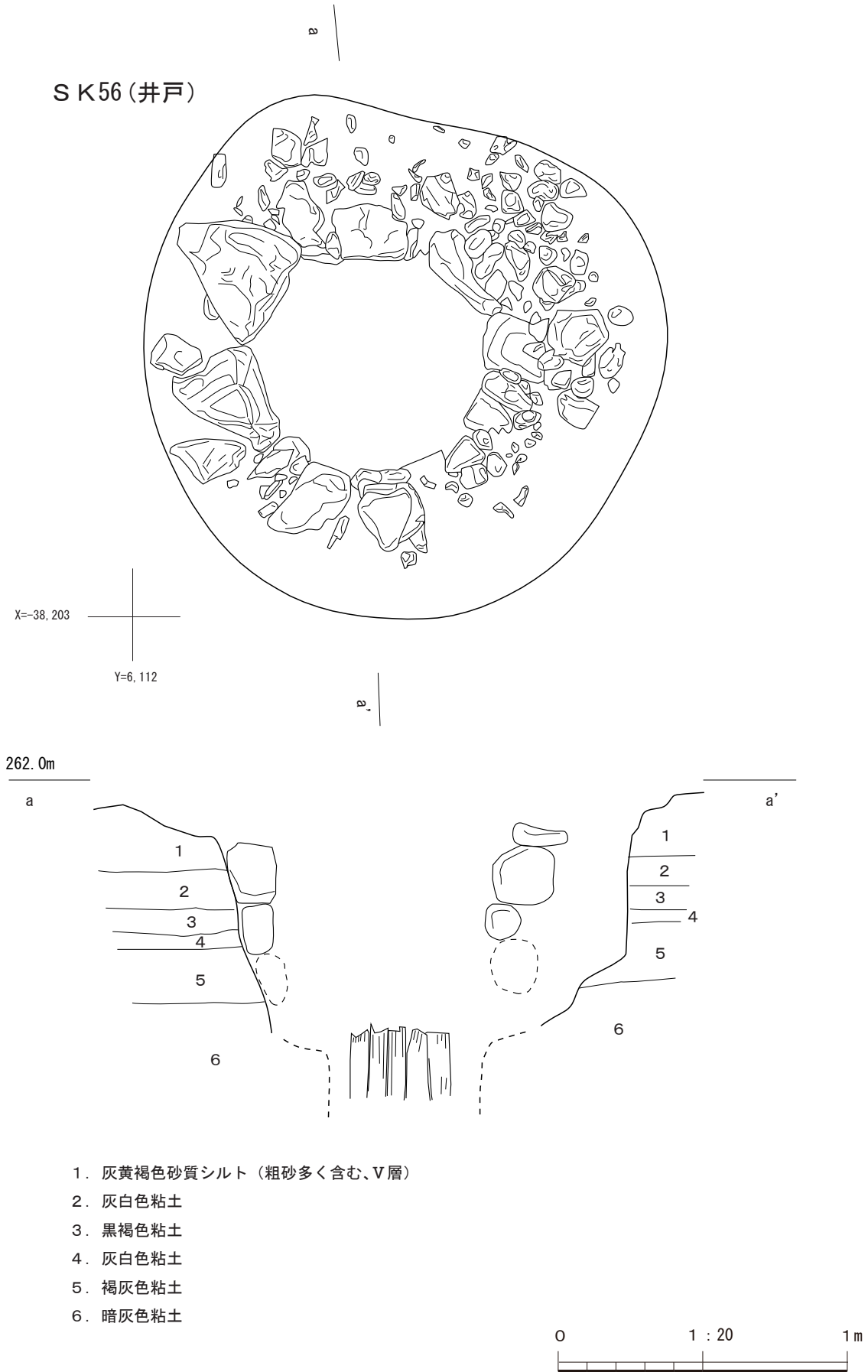


第34図 土坑(15) SK48・49・54



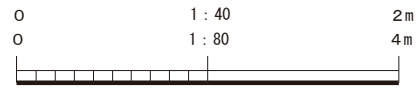
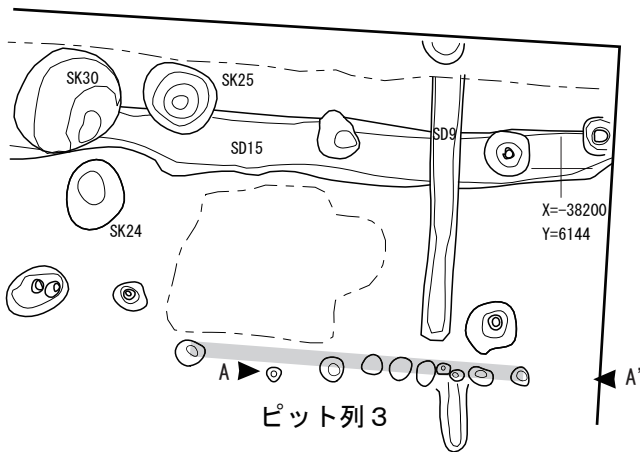
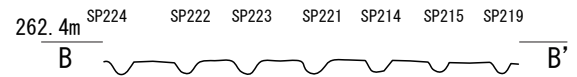
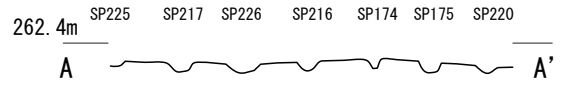
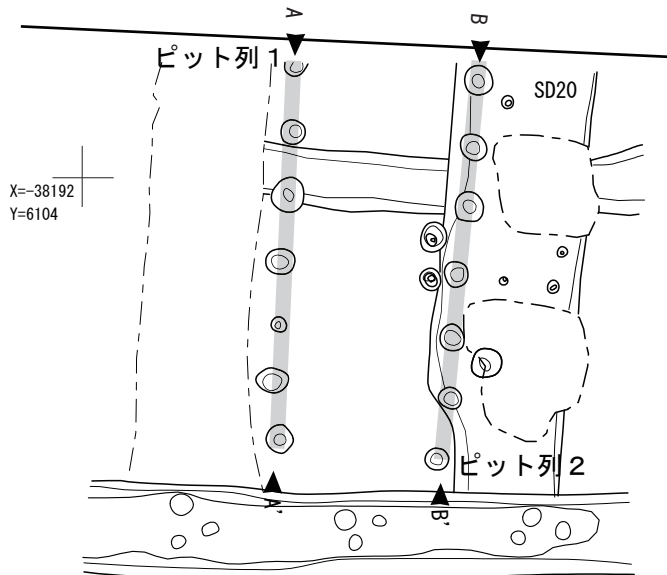
第 35 図 土坑 (16) SK51・53・55

S K56 (井戸)

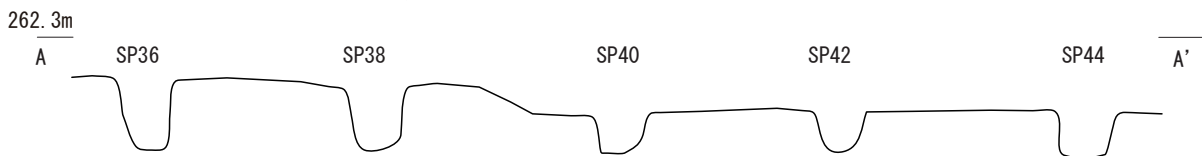
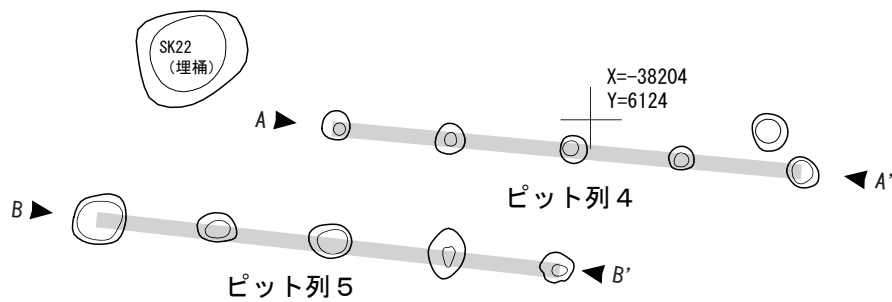


1. 灰黄褐色砂質シルト（粗砂多く含む、V層）
2. 灰白色粘土
3. 黒褐色粘土
4. 灰白色粘土
5. 褐灰色粘土
6. 暗灰色粘土

第36図 土坑(17) SK56(井戸)

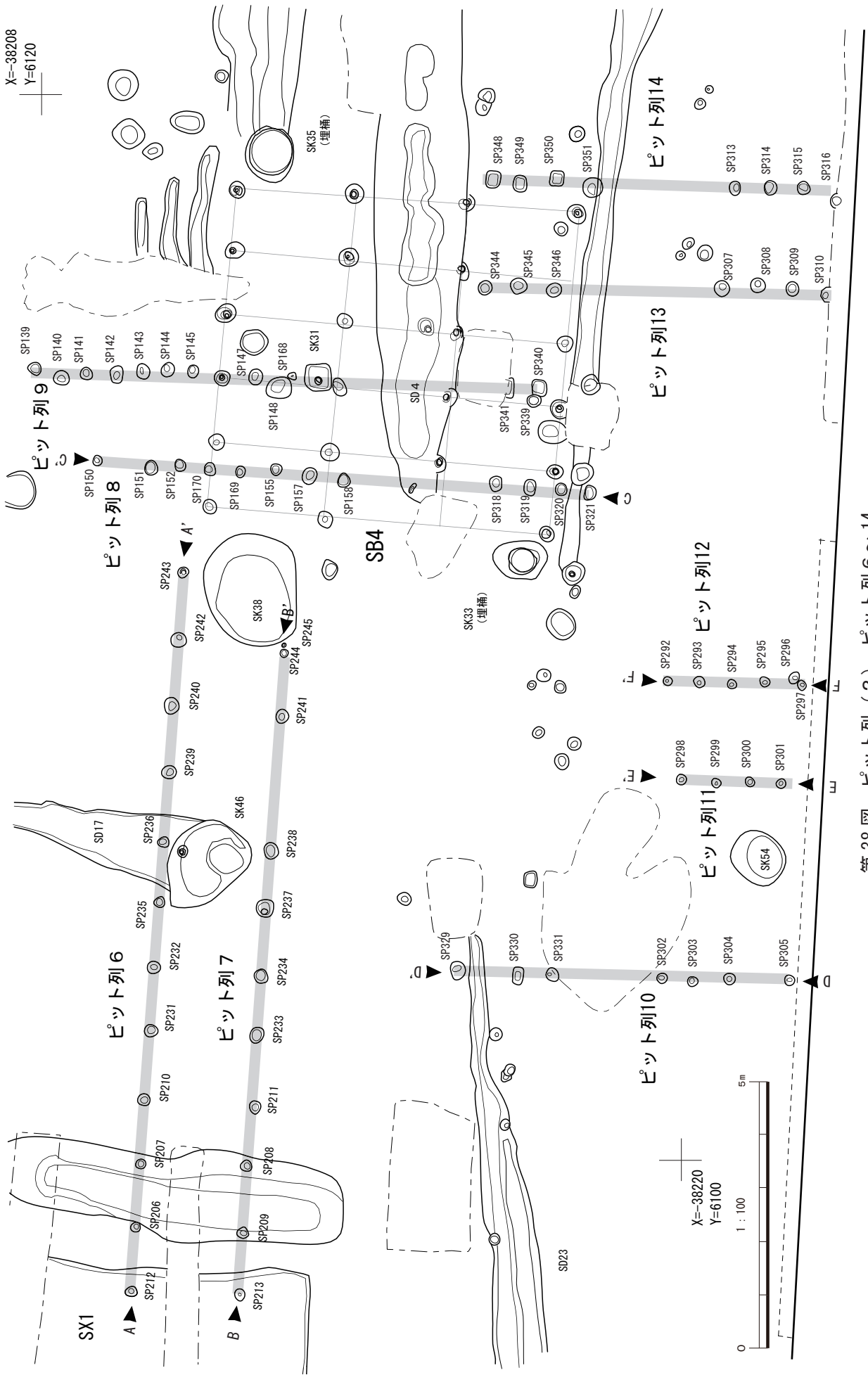


※ピット列3～5のエレベーション図は1:40
他は1:80

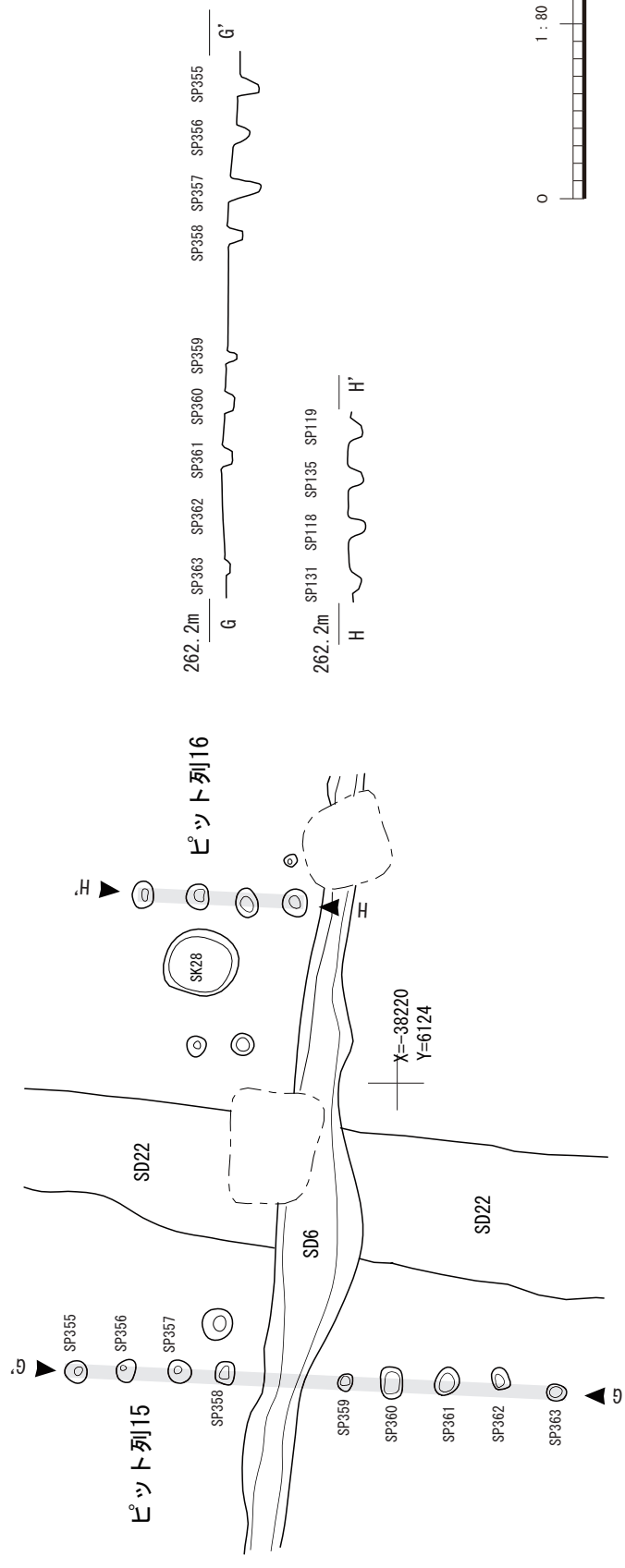
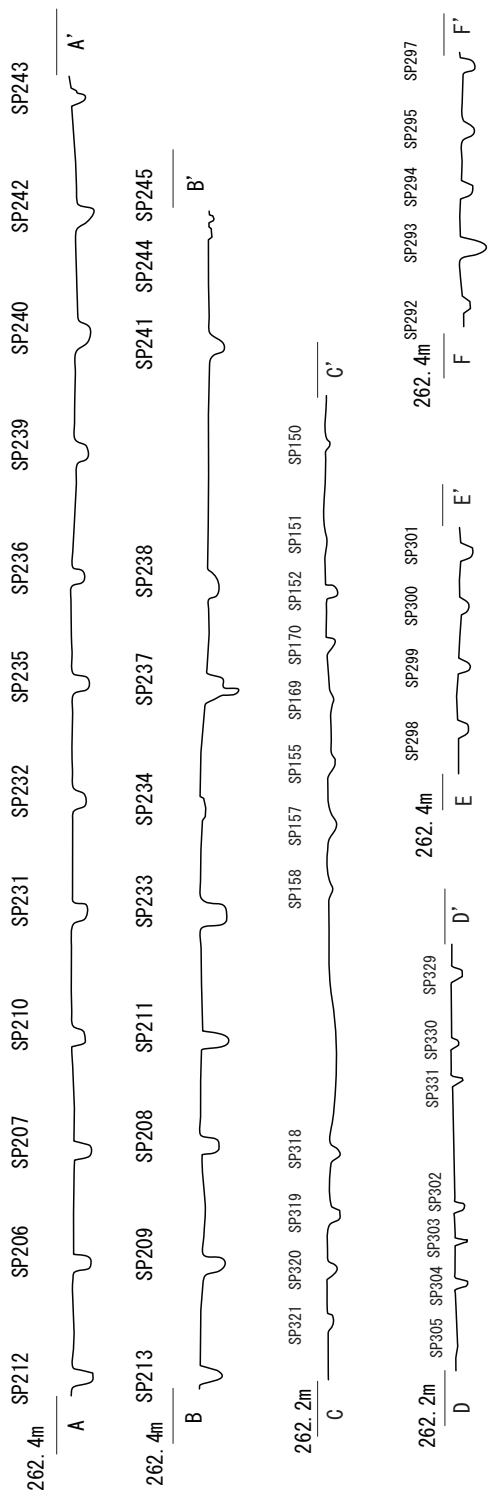


第37図 ピット列(1) ピット列1～5

X=-38208
Y=6120



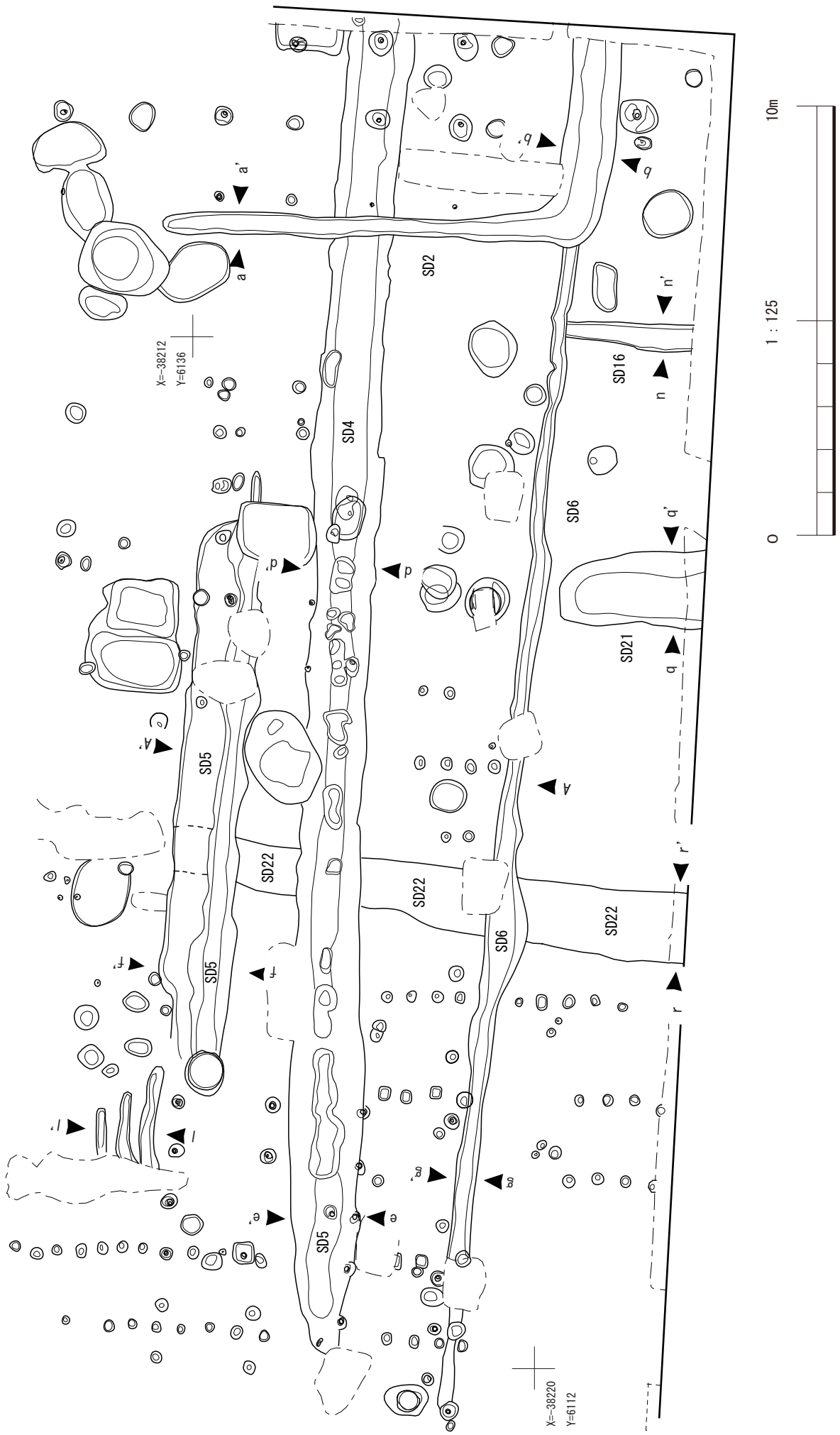
第38図 ピット列(2) ピット列6~14



第39図 ピット列(3) ピット列6~16



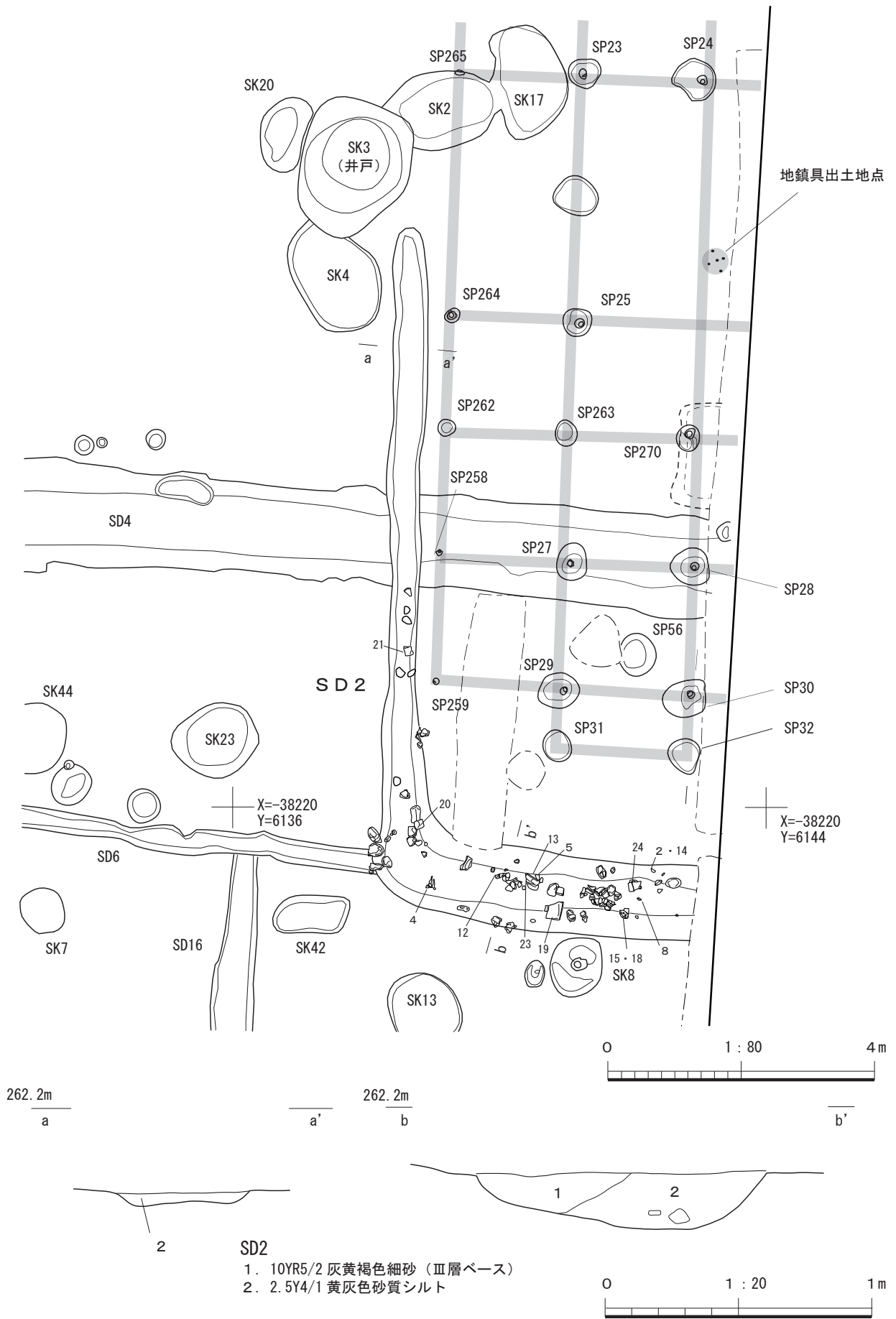
第40图 溝状遺構(1) 溝状遺構位置図



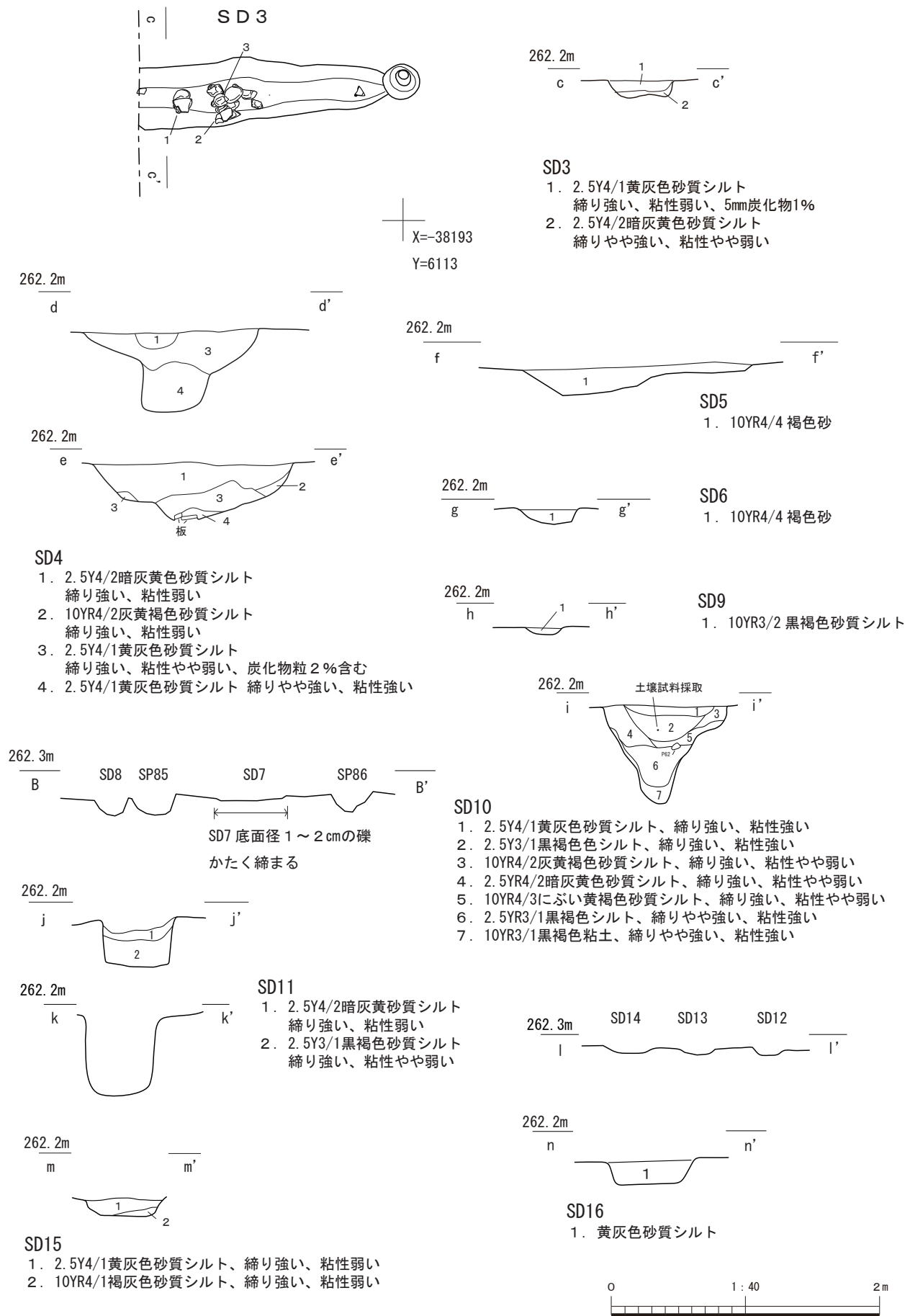
第41図 溝状遺構(2) 溝状遺構位置図



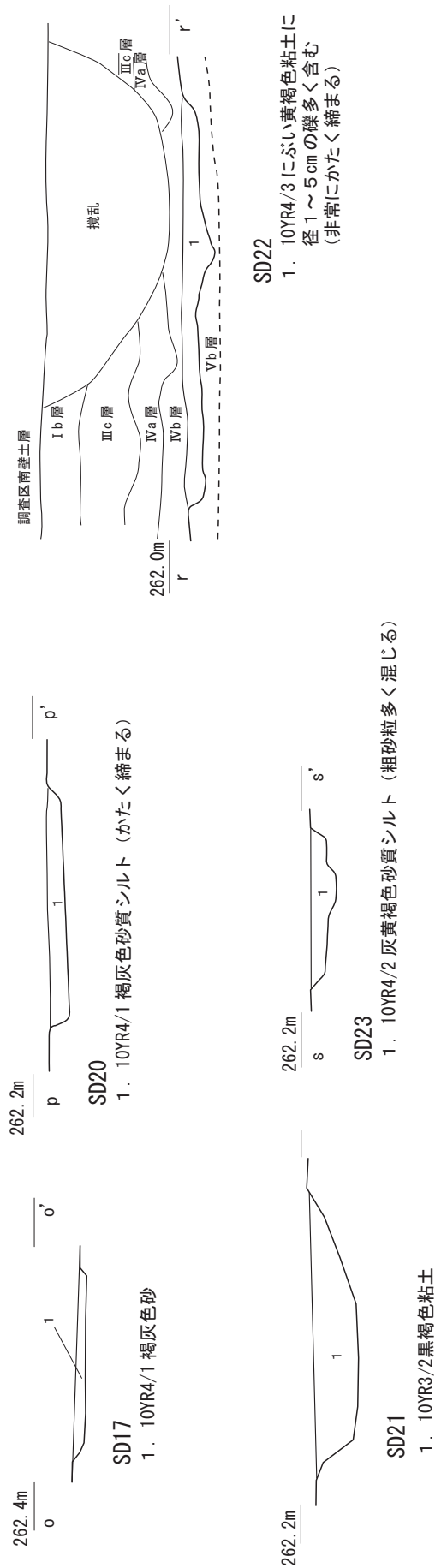
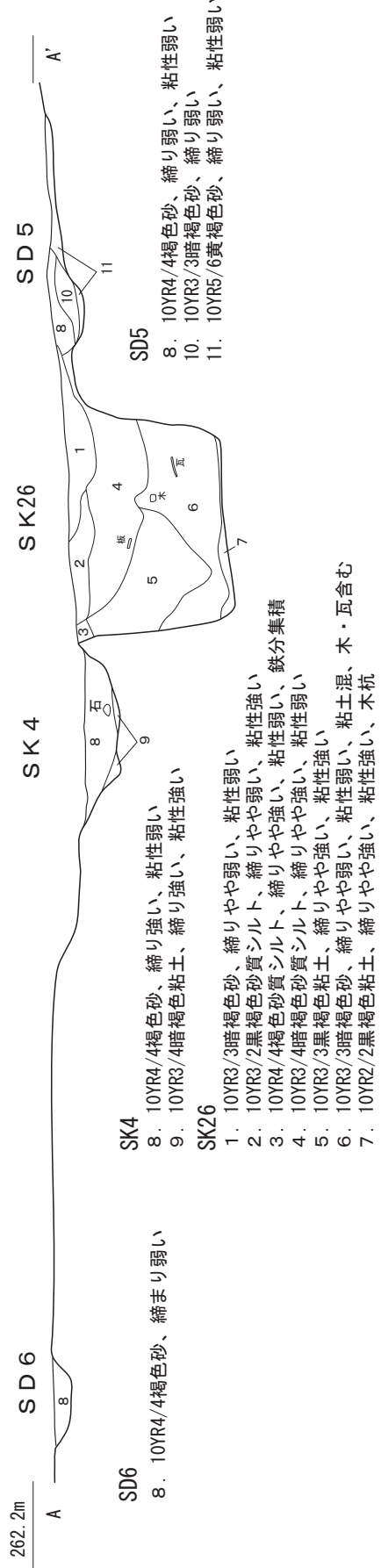
第 42 図 溝状遺構 (3) SD22



第43図 溝状遺構(4) SD2

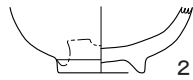
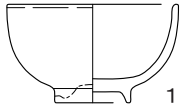


第44図 溝状遺構(5) SD3・7~16

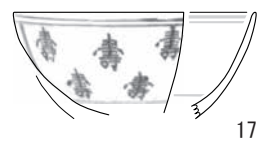
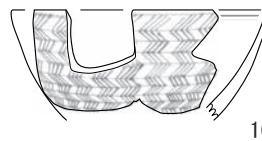
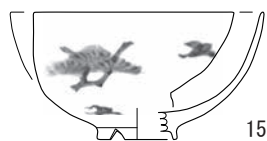
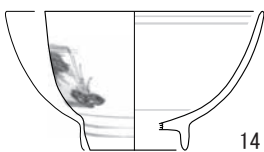
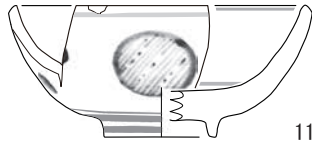
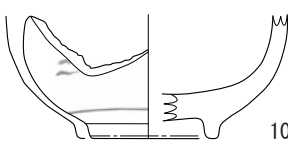
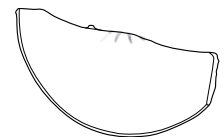
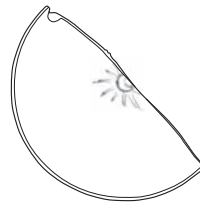
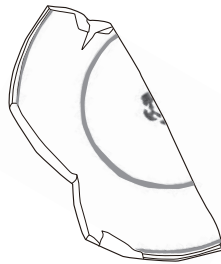
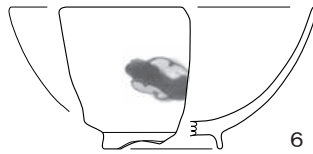
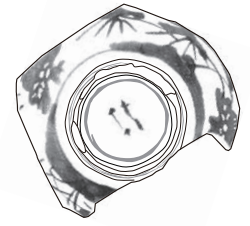
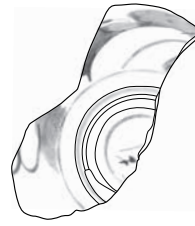
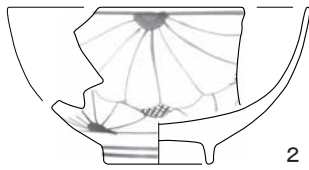
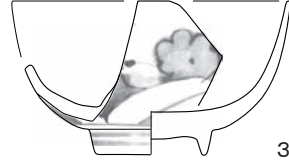
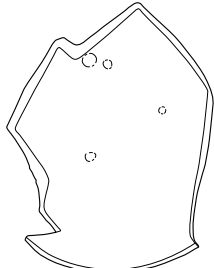
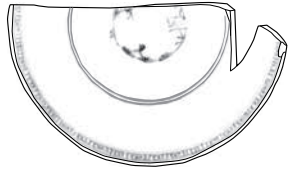


第 45 図 溝状遺構 (6) S D 4 ~ 6 ・ 17 ・ 20 ~ 23

旧校舍基礎



S X 1



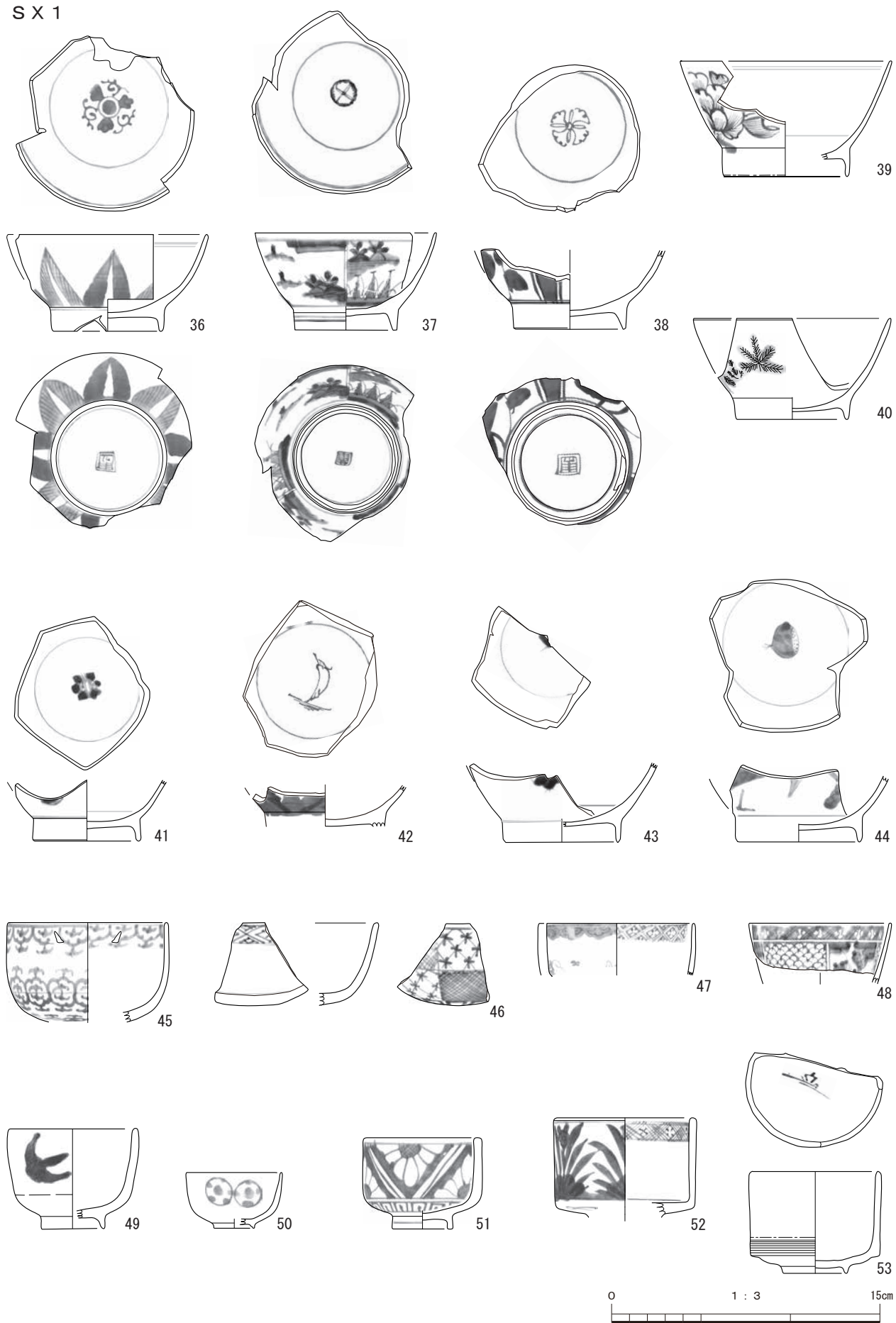
第 46 図 遺構出土遺物 (1) 旧校舍基礎・S X 1

S X 1



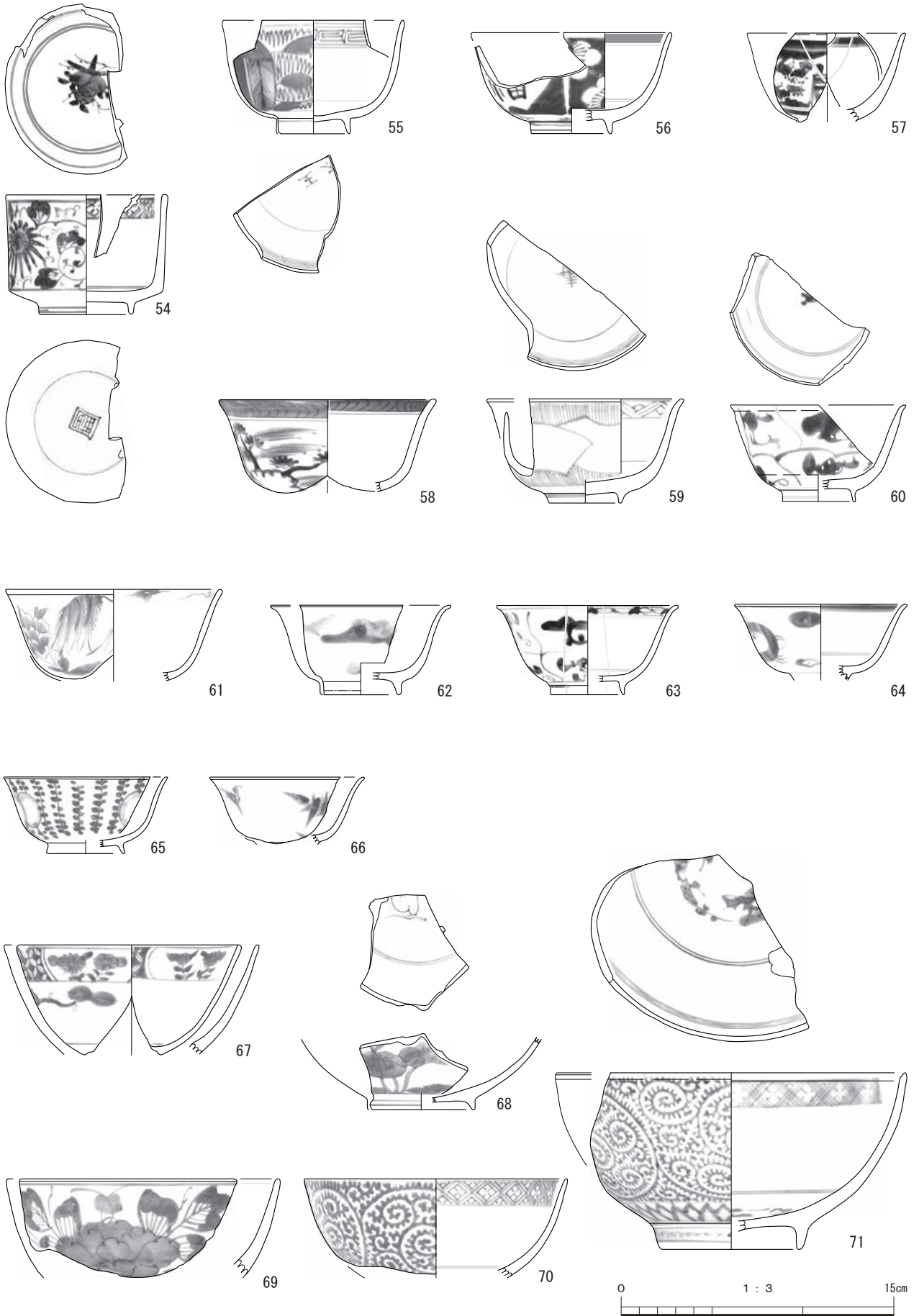
第 47 図 遺構出土遺物 (2) S X 1

S X 1



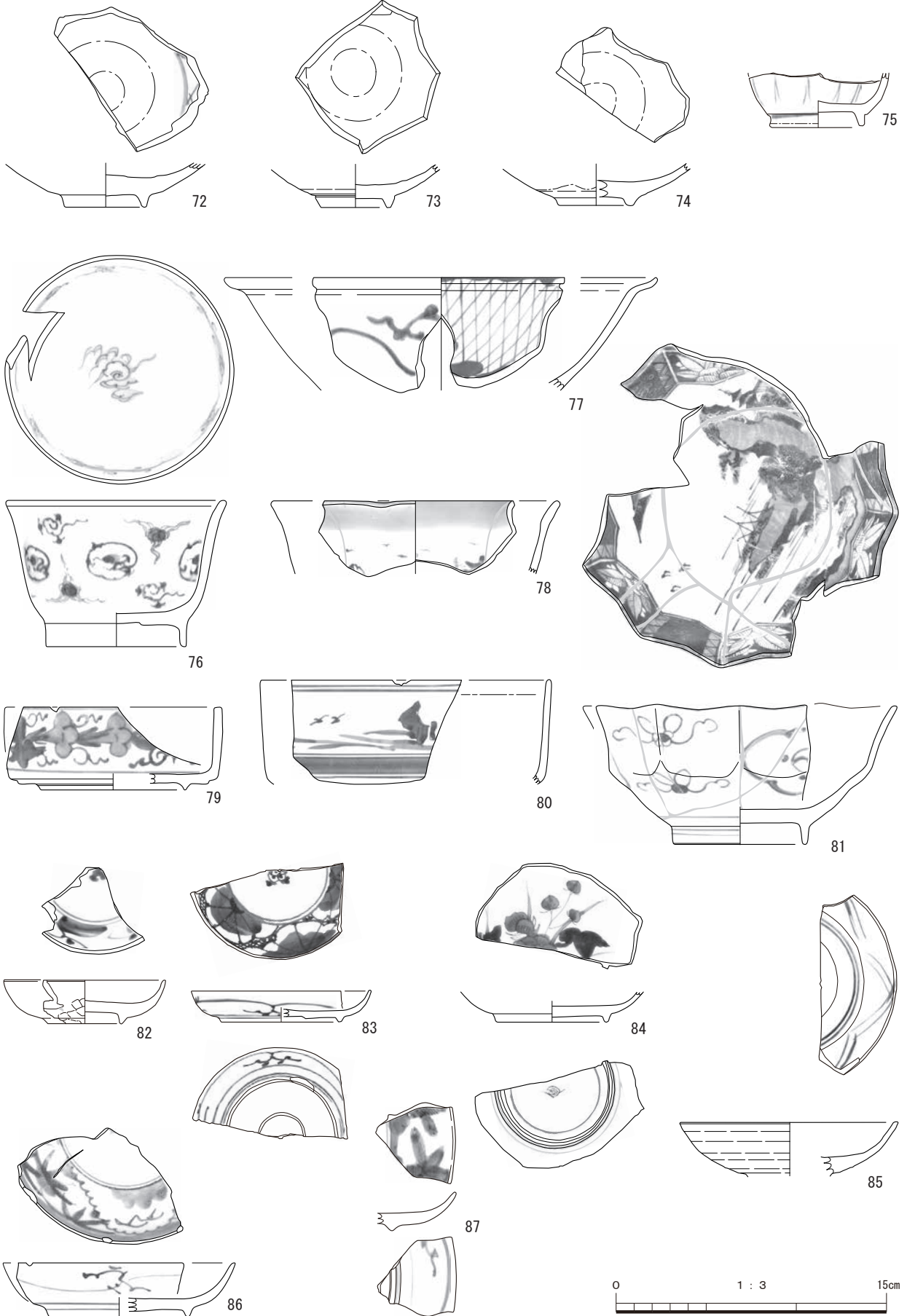
第48図 遺構出土遺物(3) S X 1

S X 1



第 49 図 遺構出土遺物 (4) S X 1

SX 1



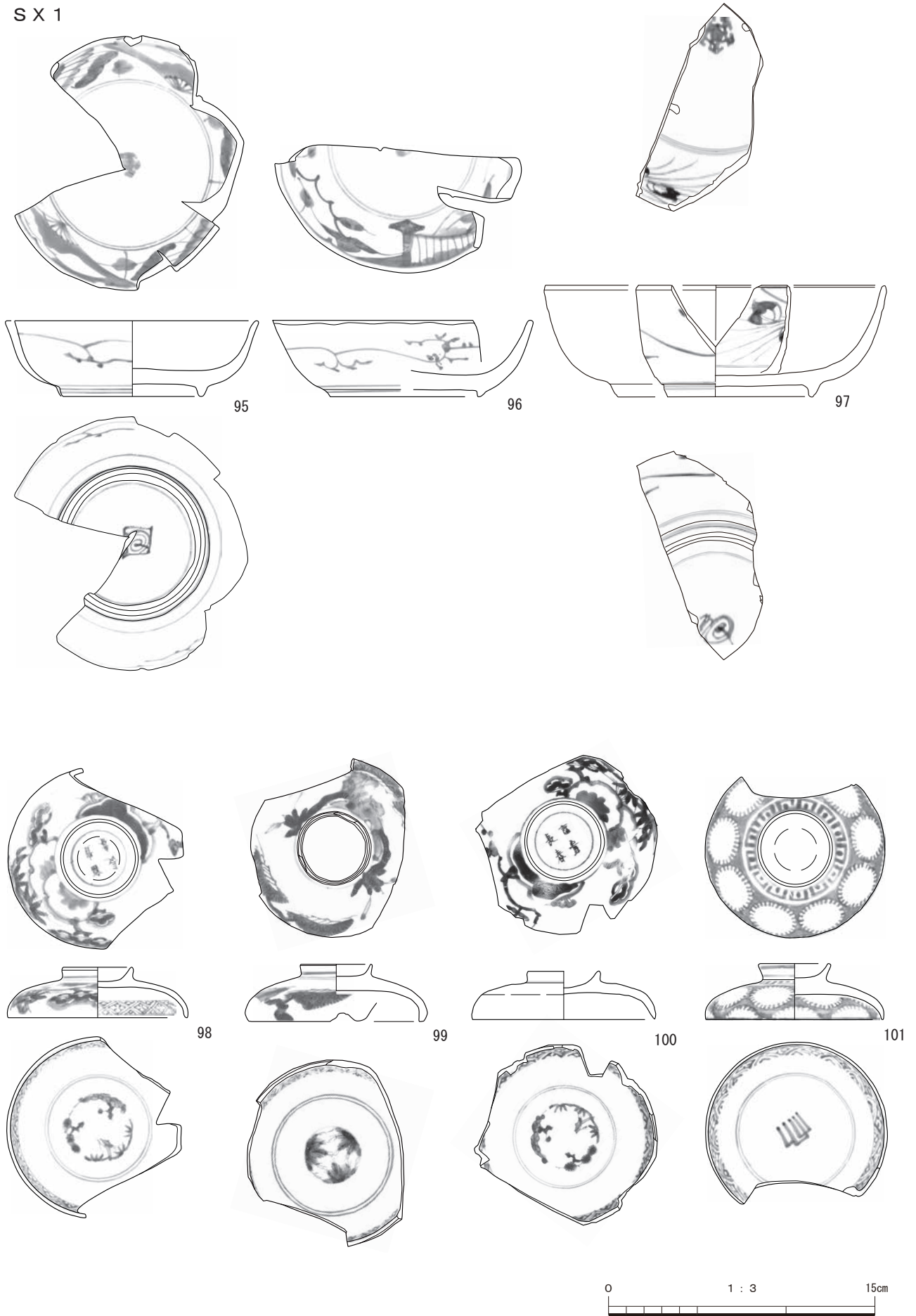
第 50 図 遺構出土遺物 (5) SX 1

S X 1



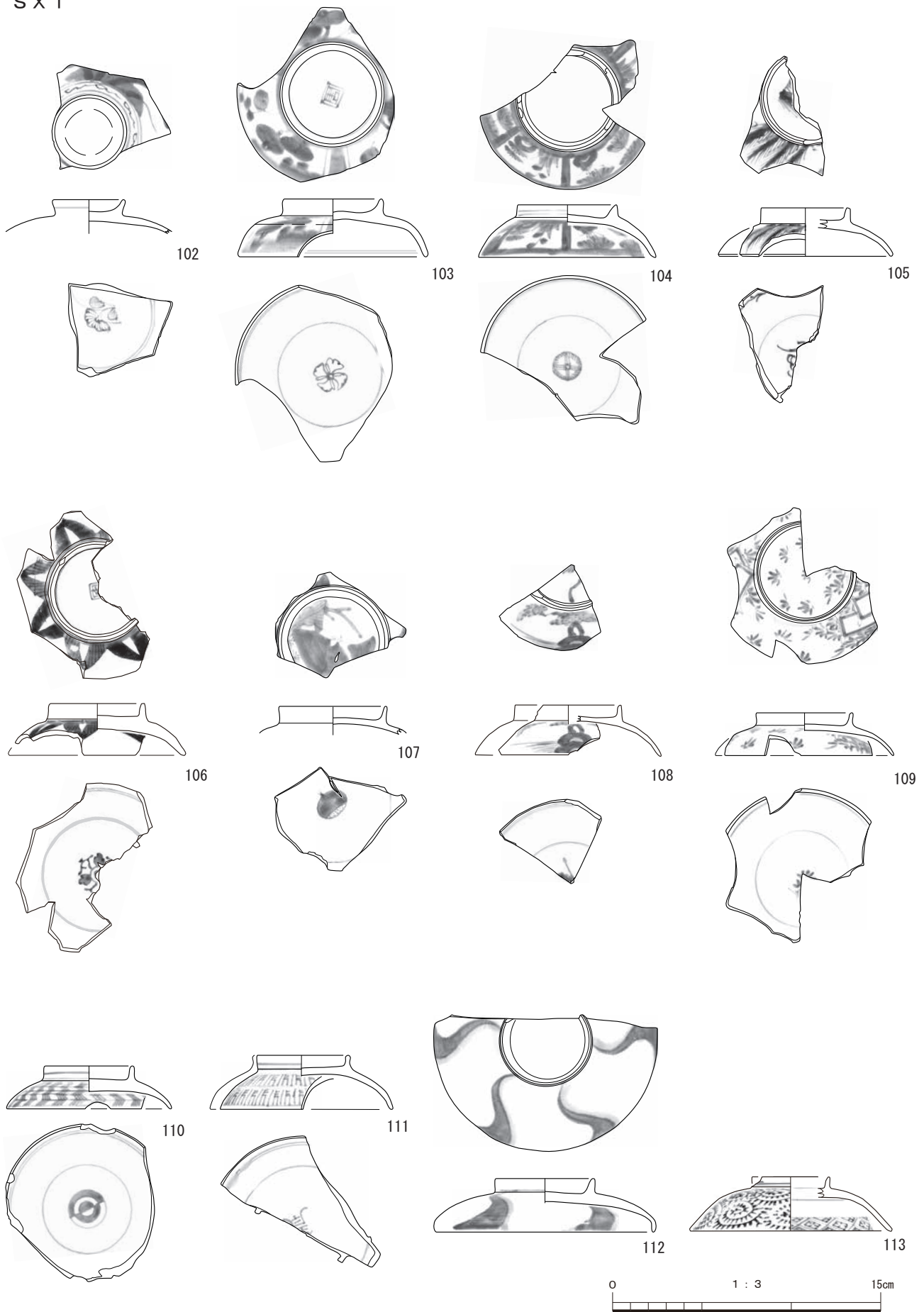
第51図 遺構出土遺物(6) SX1

S X 1



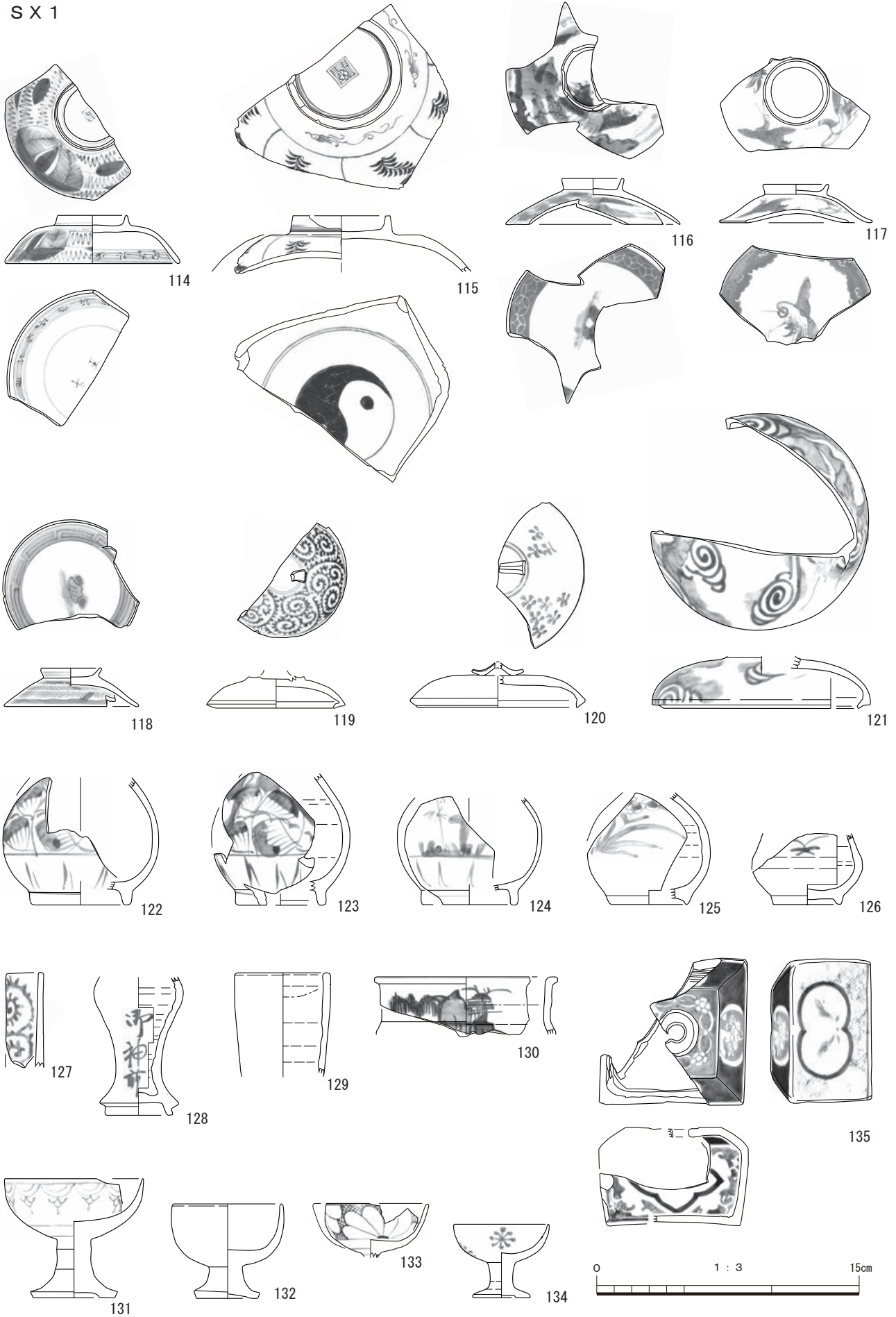
第 52 図 遺構出土遺物 (7) S X 1

SX 1



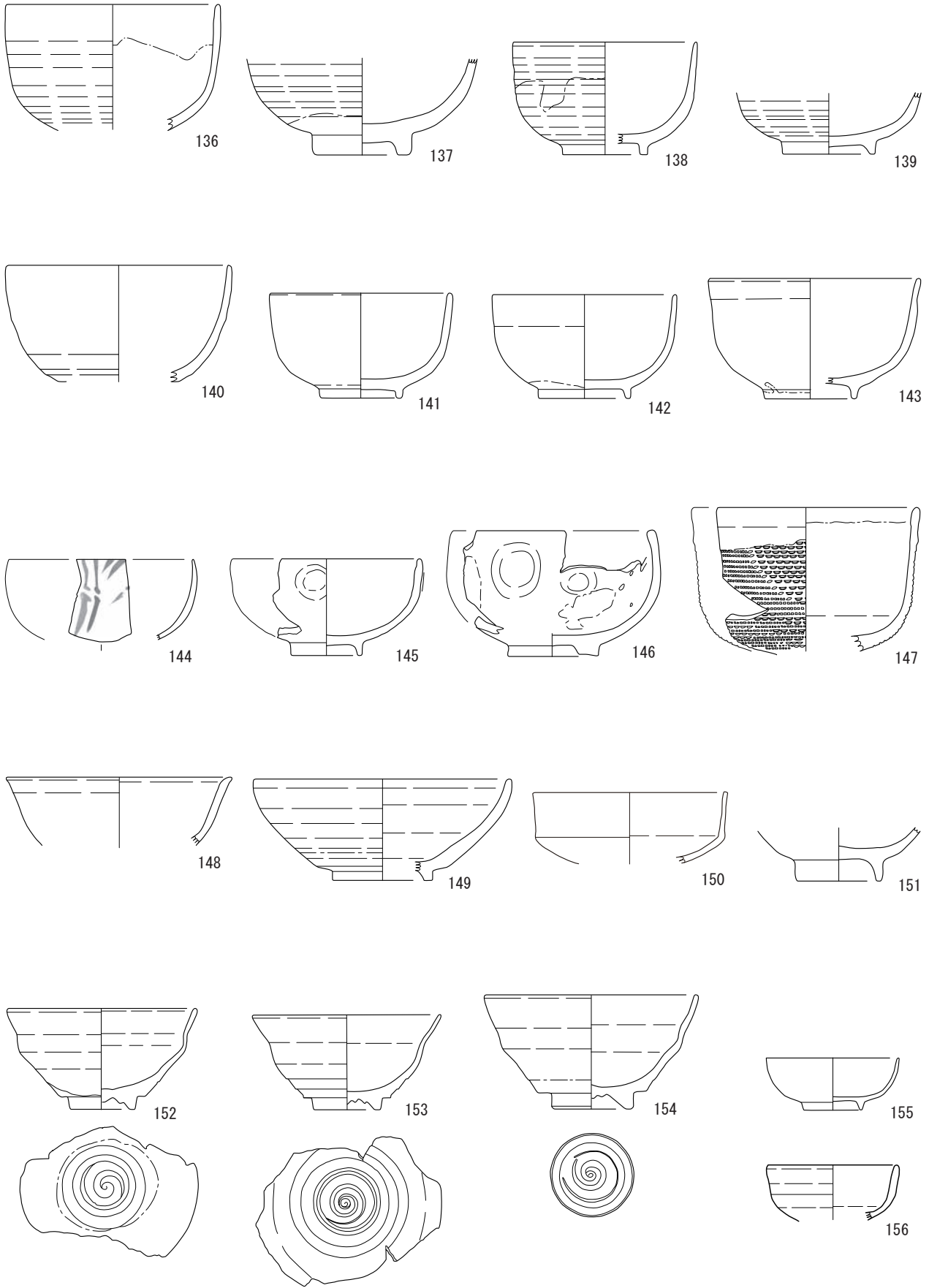
第 53 図 遺構出土遺物 (8) SX 1

S X 1



第 54 図 遺構出土遺物 (9) S X 1

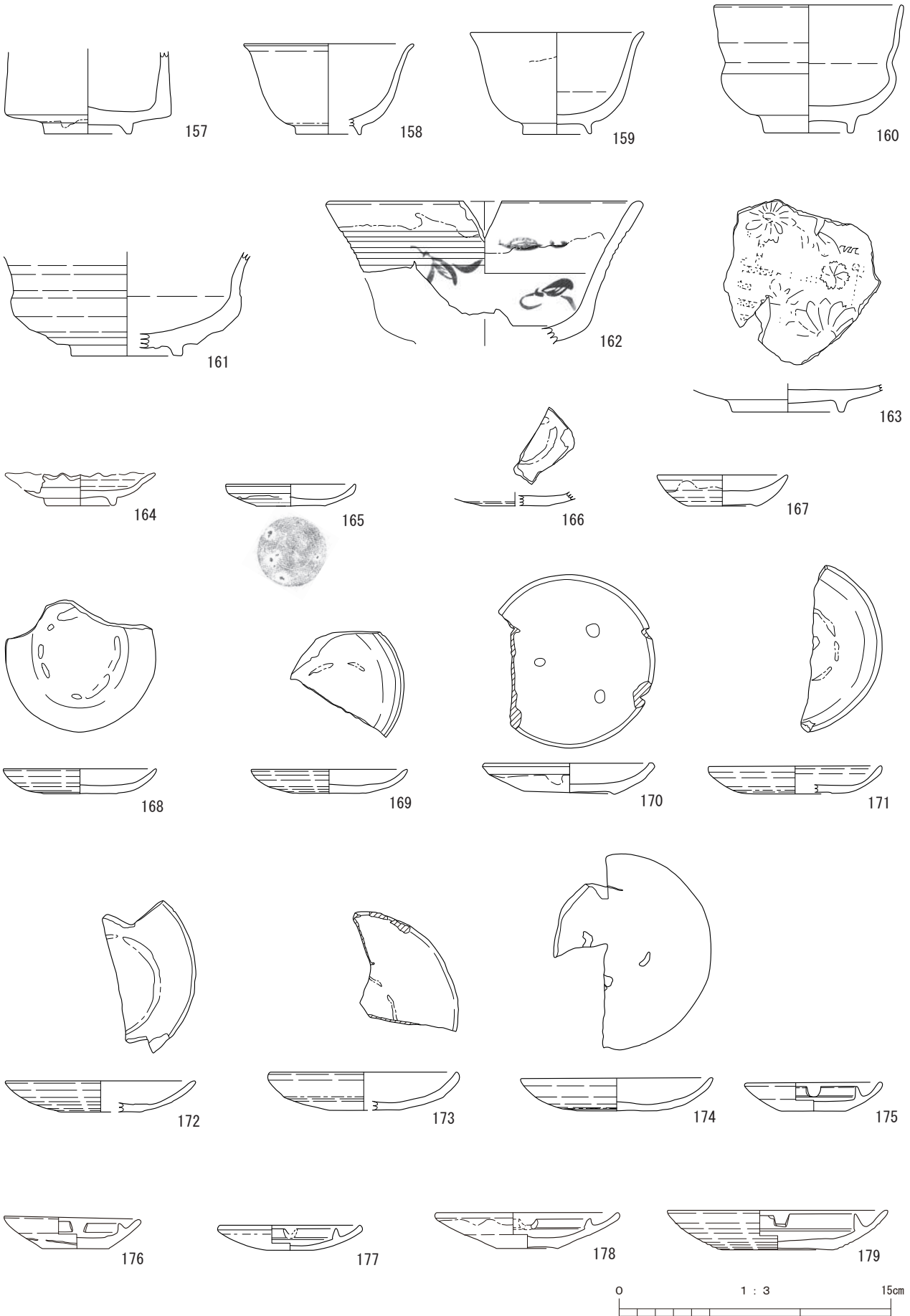
S X 1



0 1 : 3 15cm

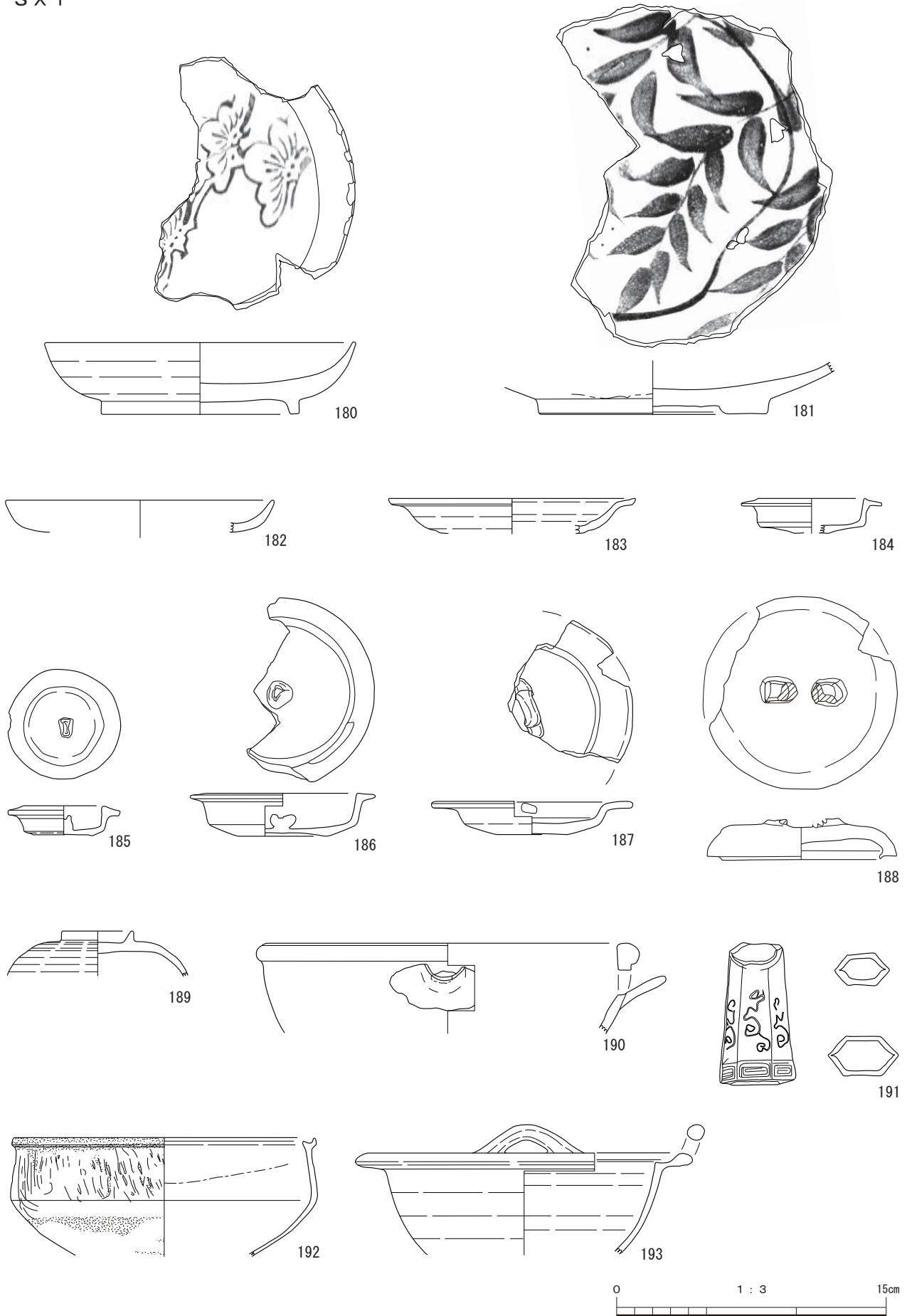
第 55 図 遺構出土遺物 (10) S X 1

S X 1



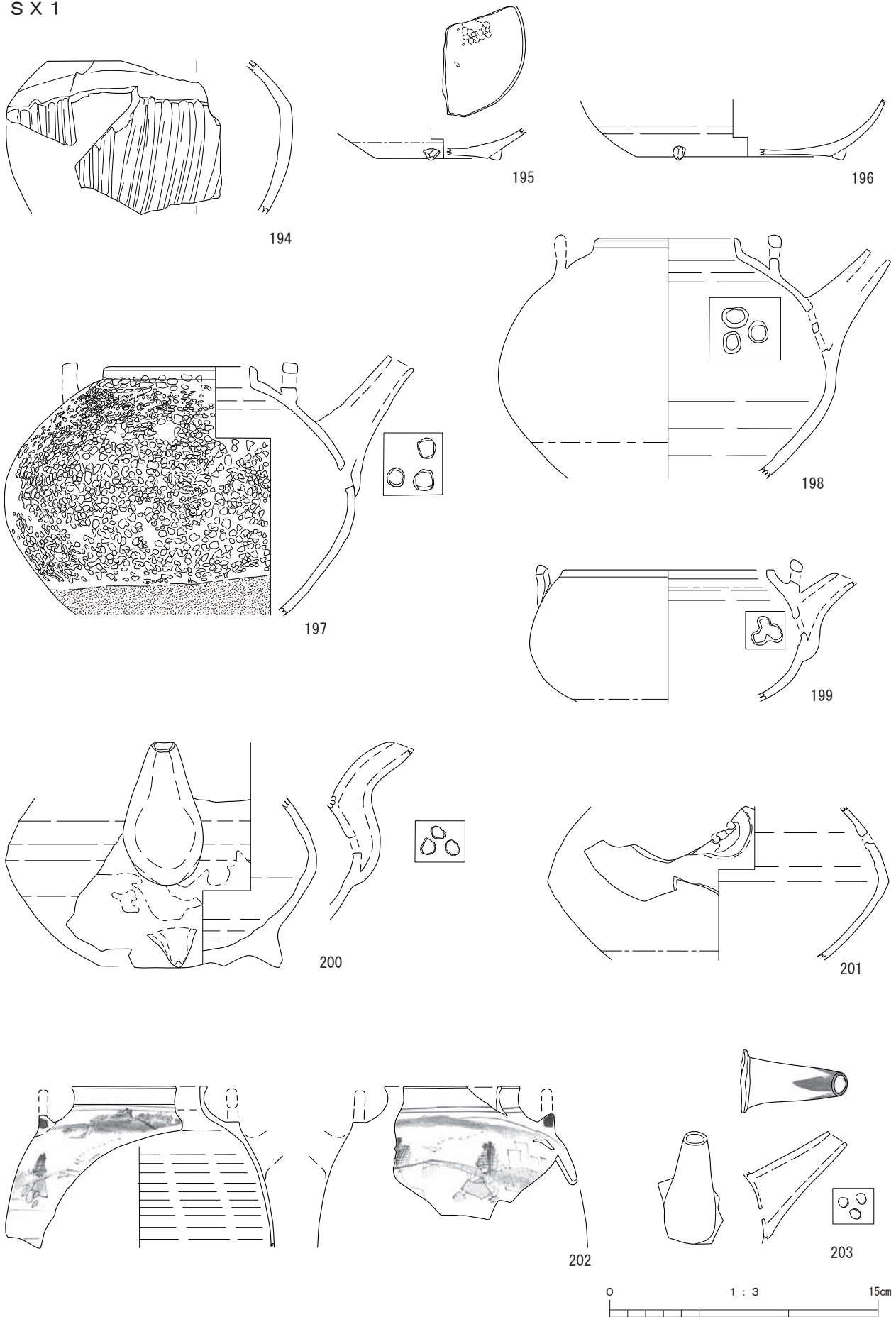
第 56 図 遺構出土遺物 (11) S X 1

S X 1



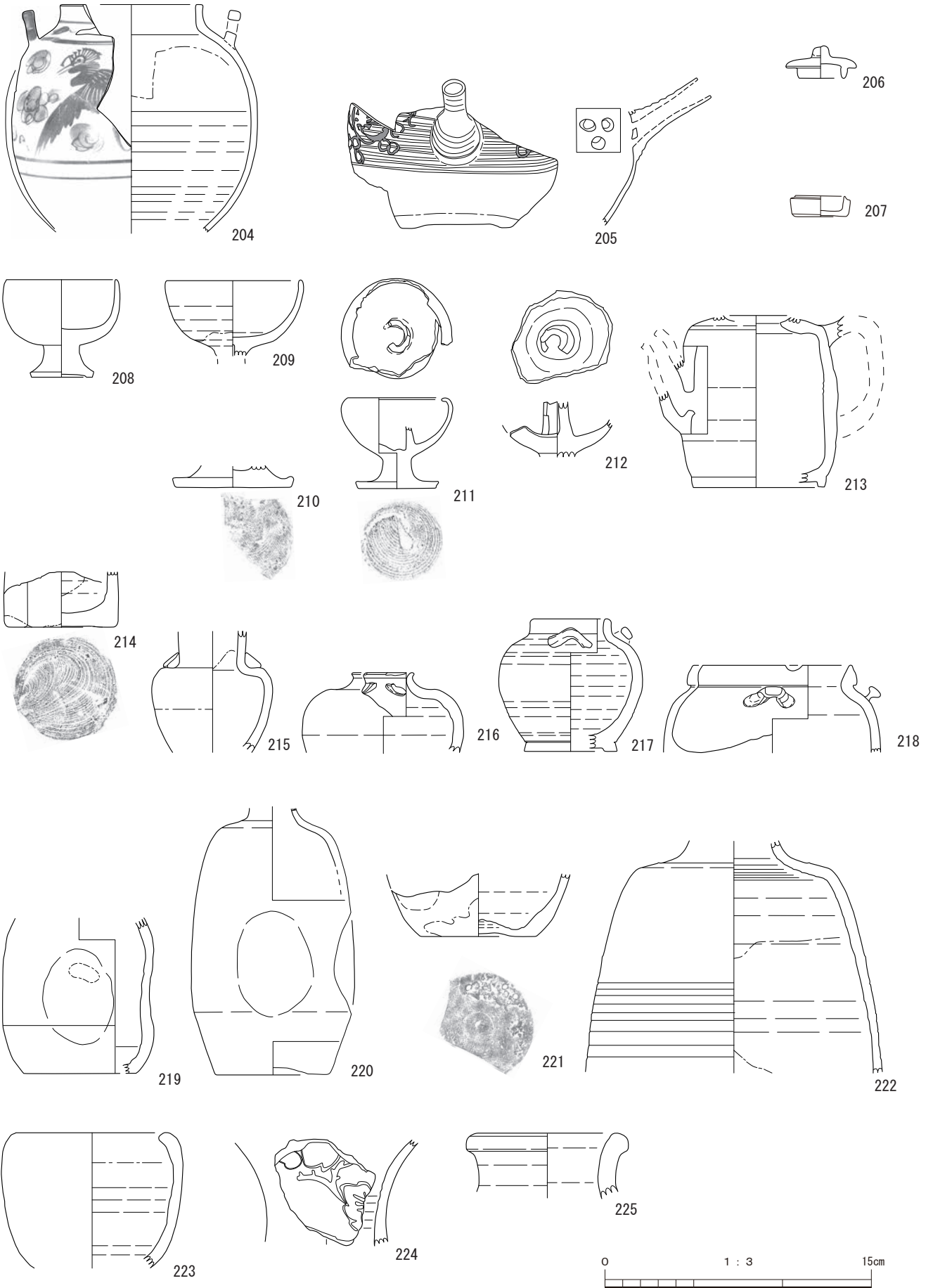
第 57 図 遺構出土遺物 (12) S X 1

S X 1



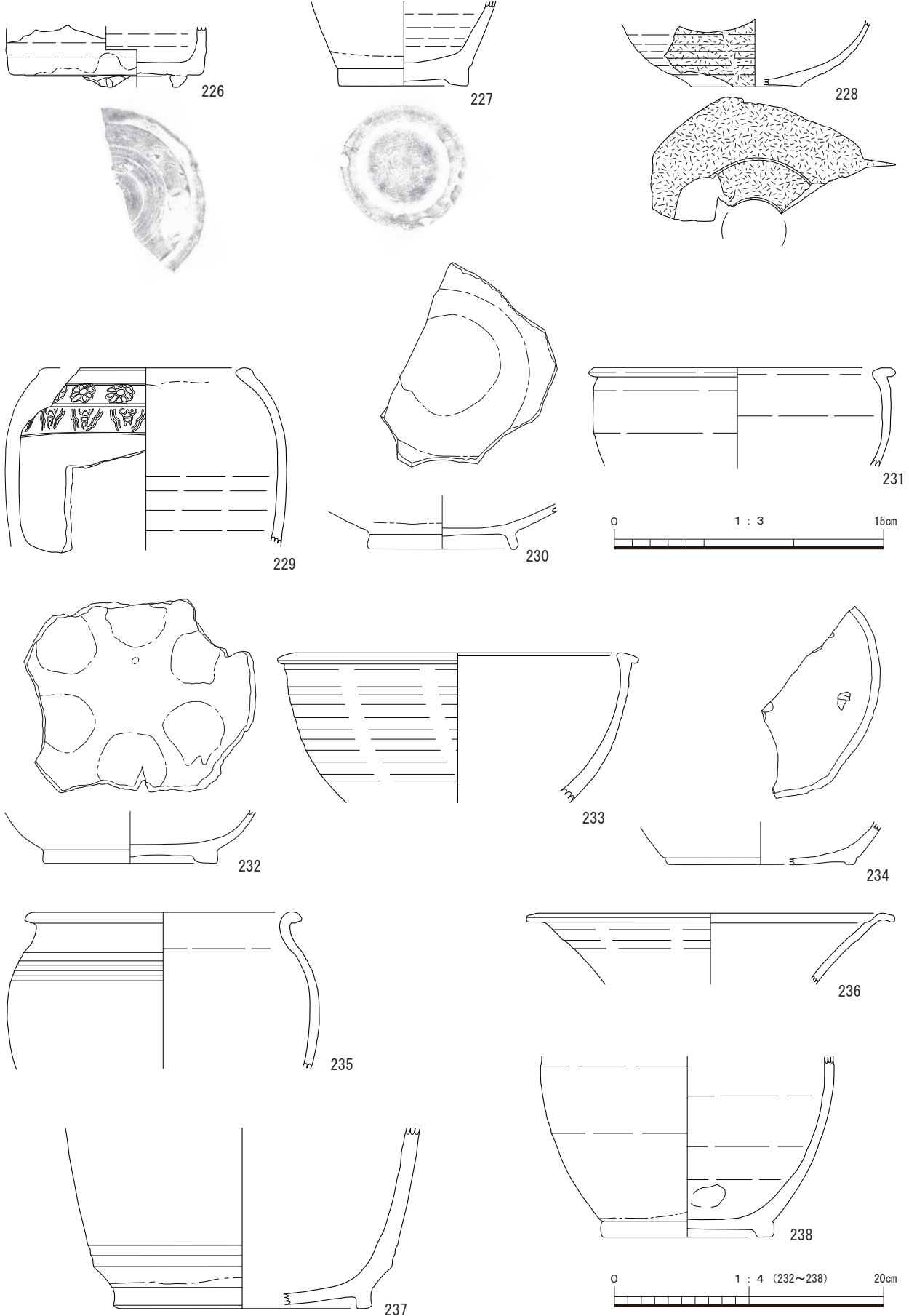
第 58 図 遺構出土遺物 (13) S X 1

S X 1



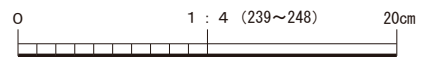
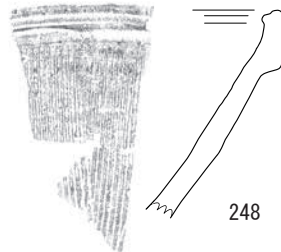
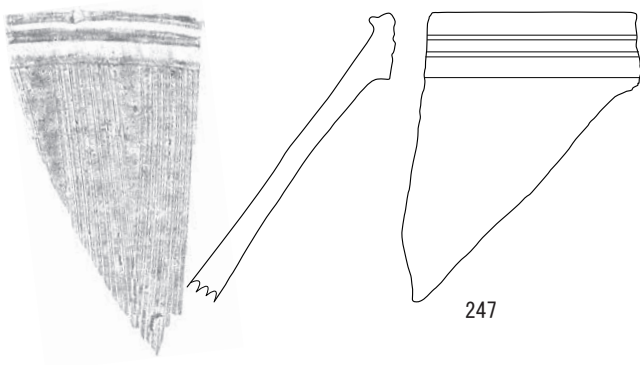
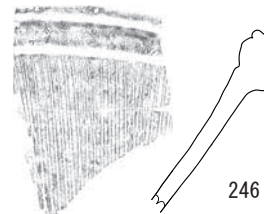
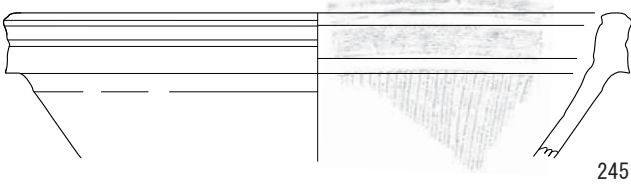
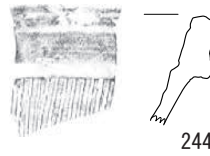
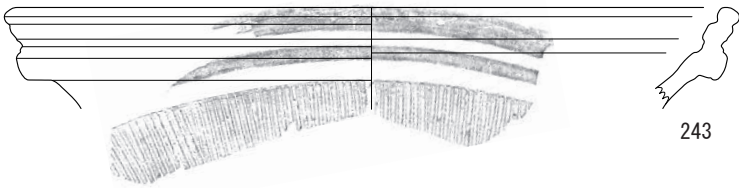
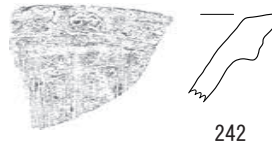
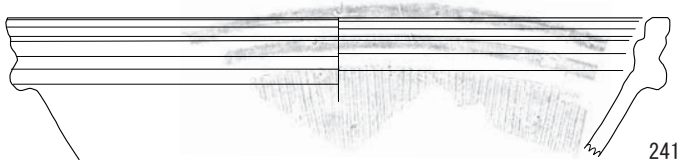
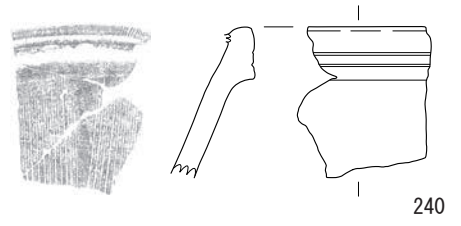
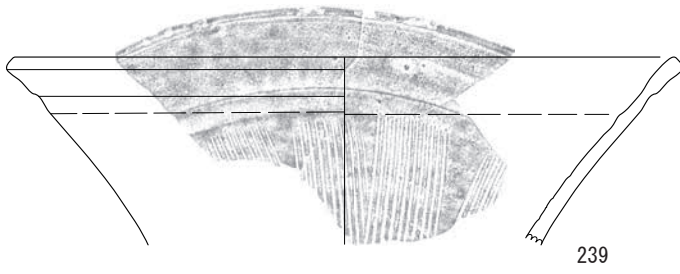
第 59 図 遺構出土遺物 (14) S X 1

S X 1



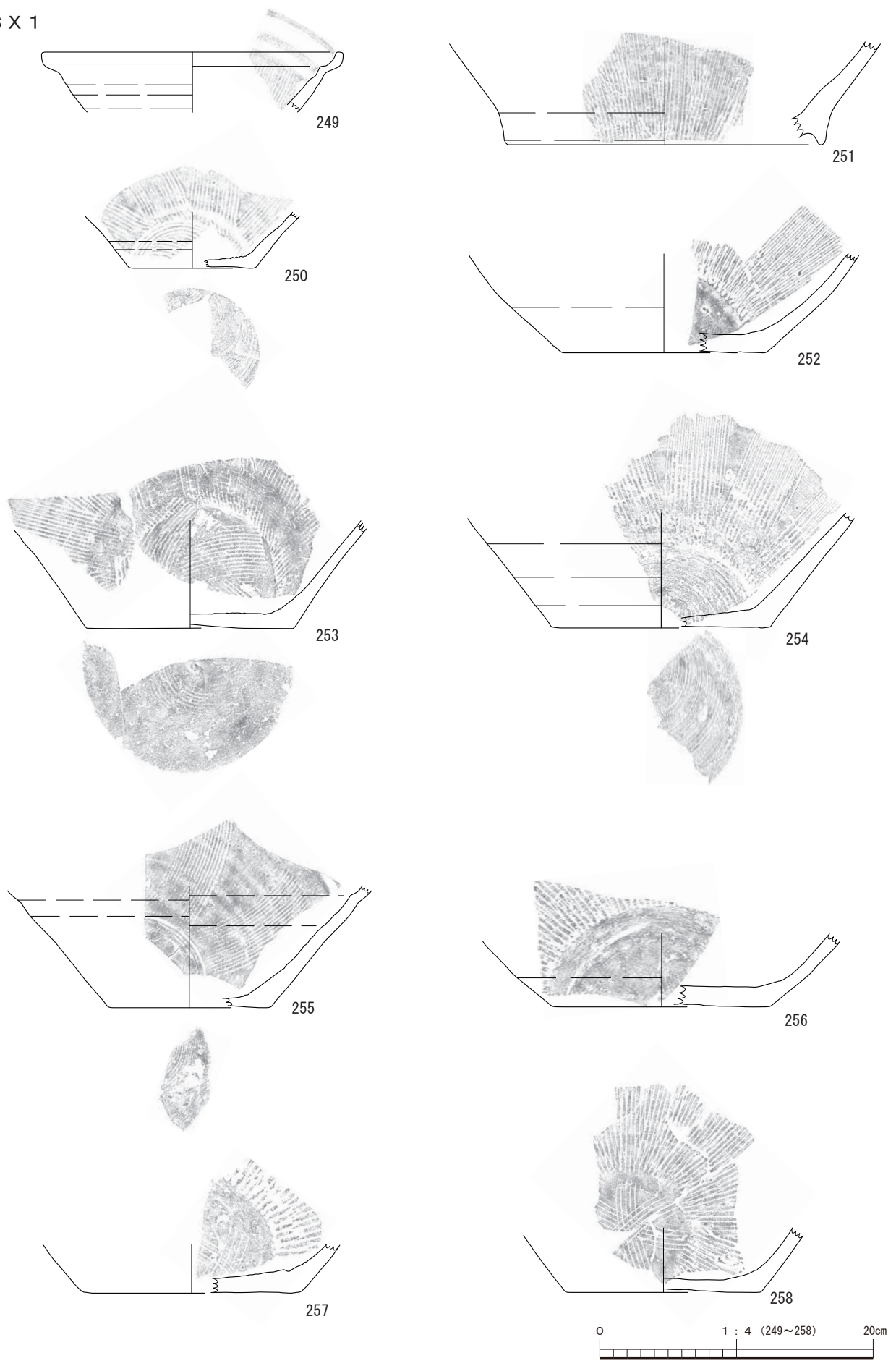
第 60 図 遺構出土遺物 (15) S X 1

S X 1



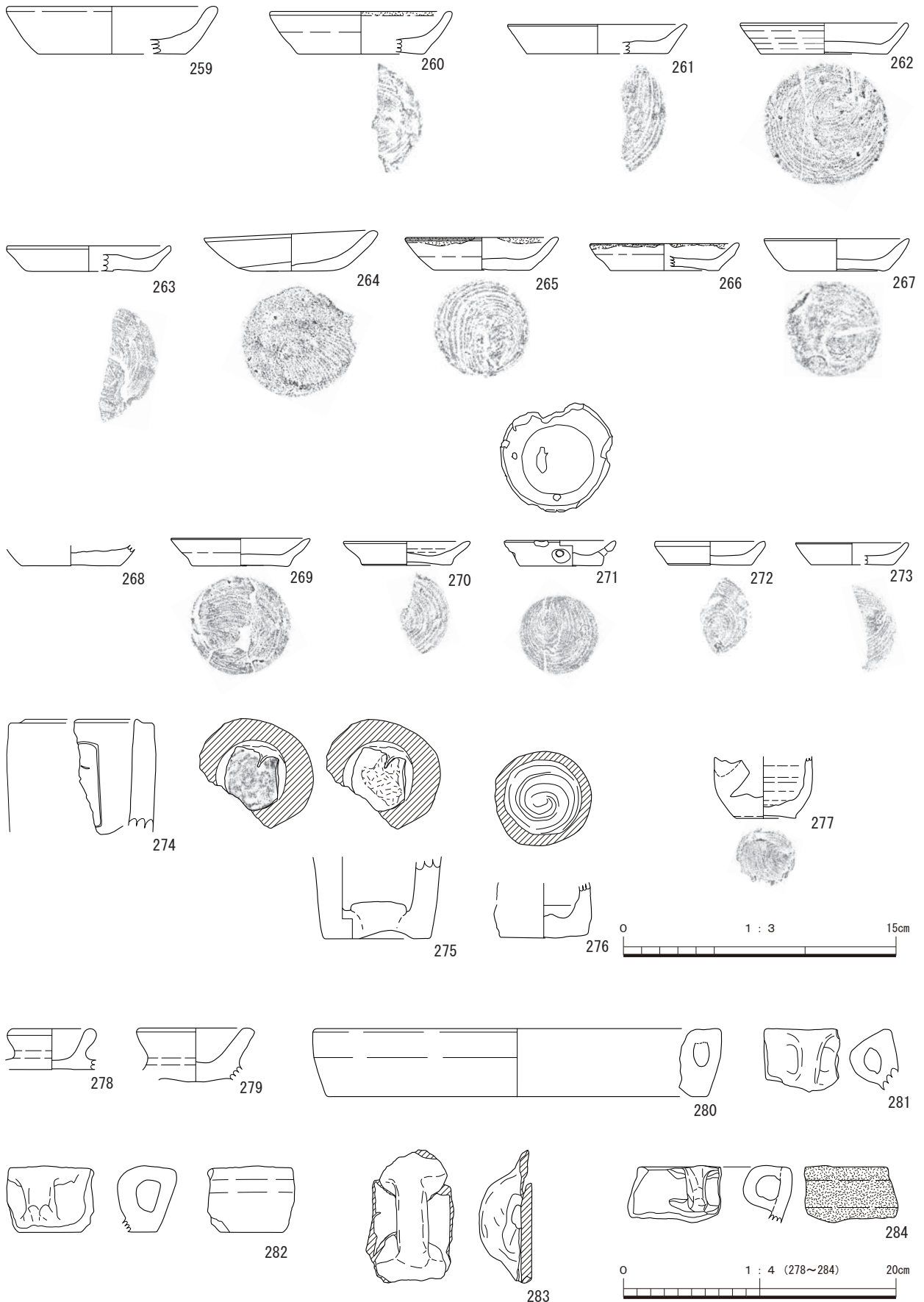
第 61 図 遺構出土遺物 (16) S X 1

S X 1



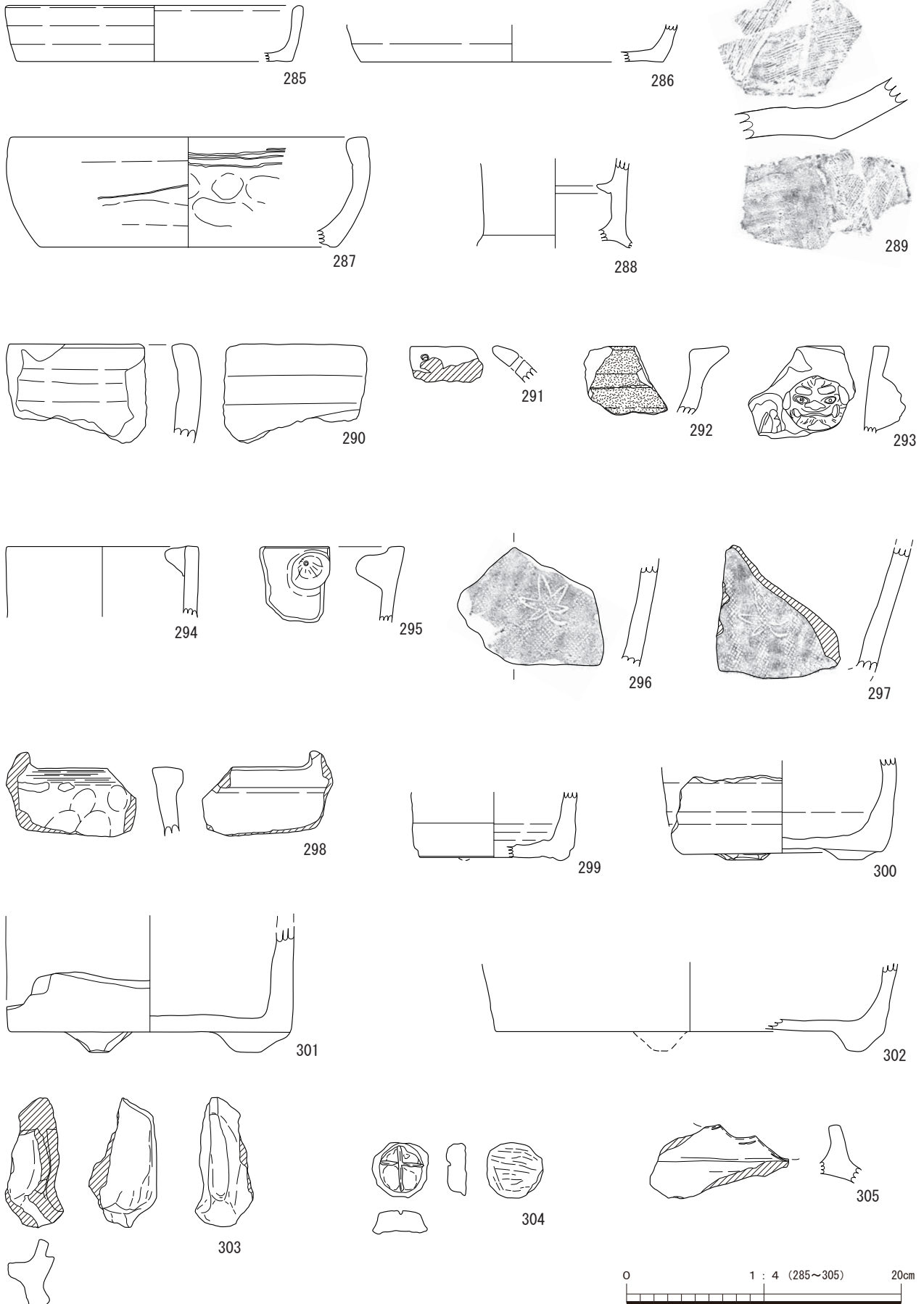
第 62 図 遺構出土遺物 (17) S X 1

S X 1



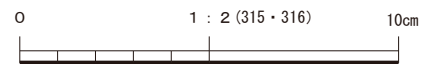
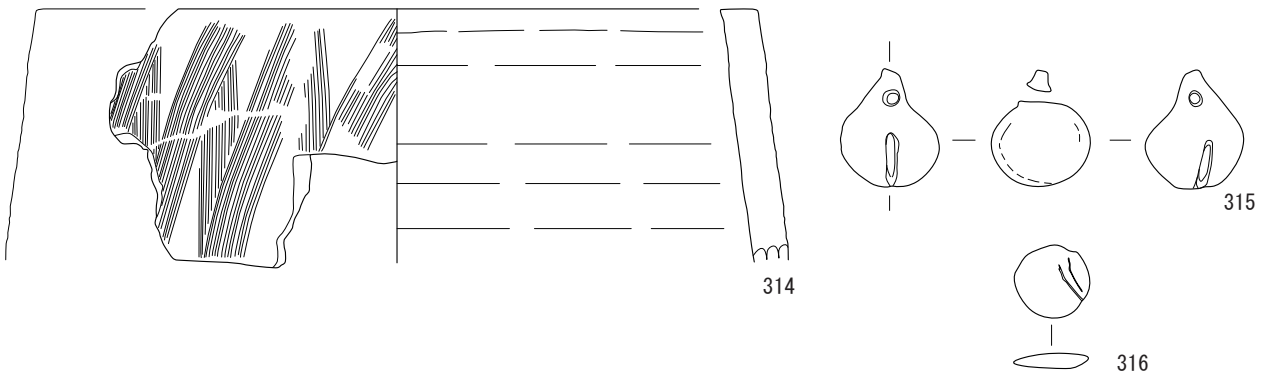
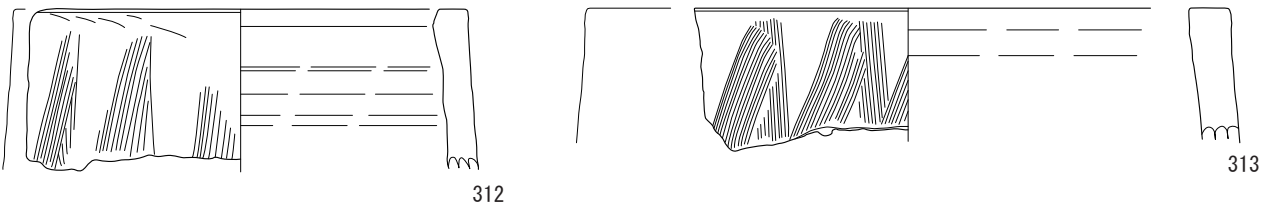
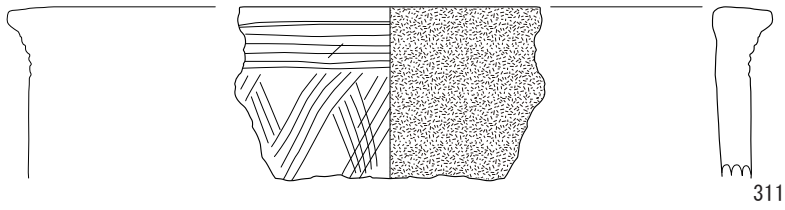
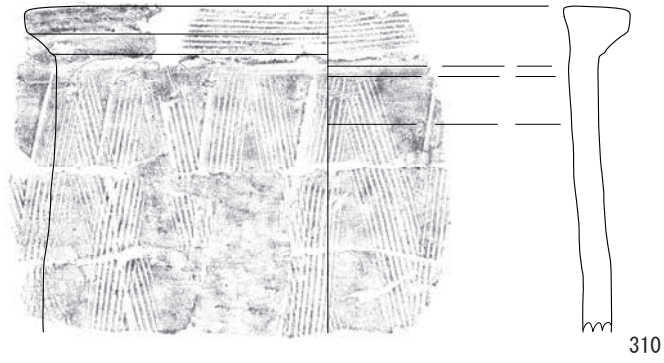
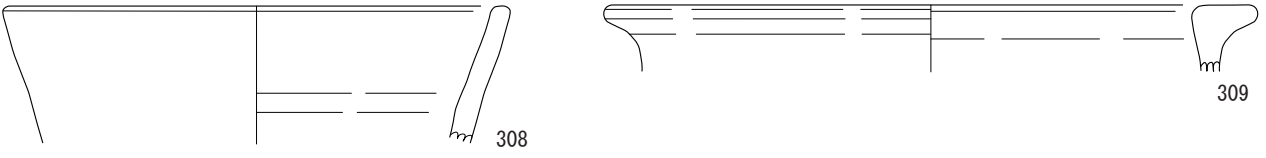
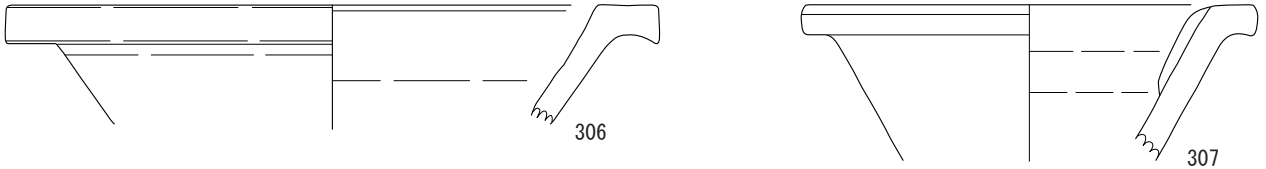
第 63 図 遺構出土遺物 (18) S X 1

S X 1



第 64 図 遺構出土遺物 (19) S X 1

S X 1



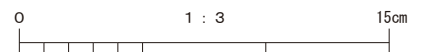
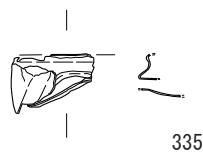
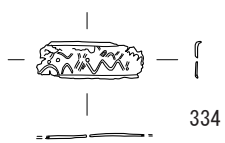
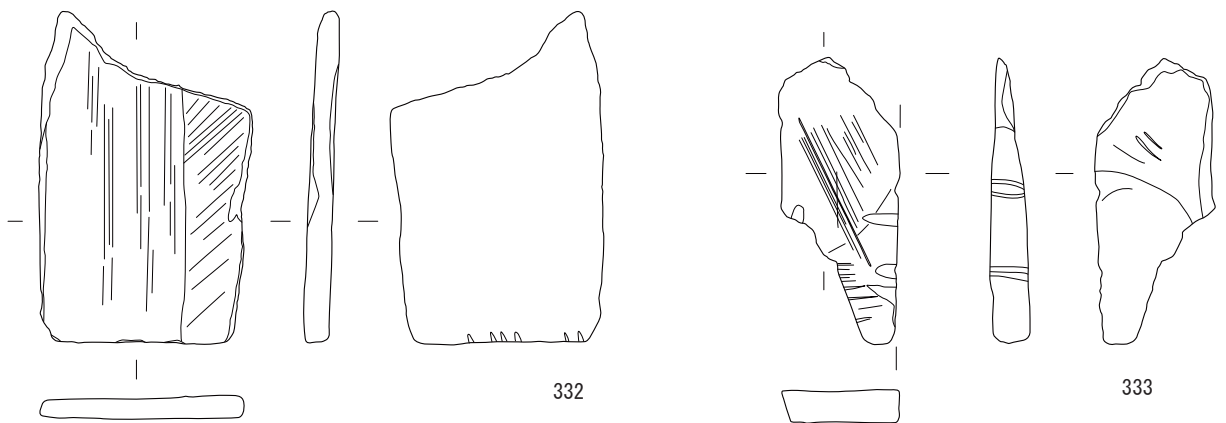
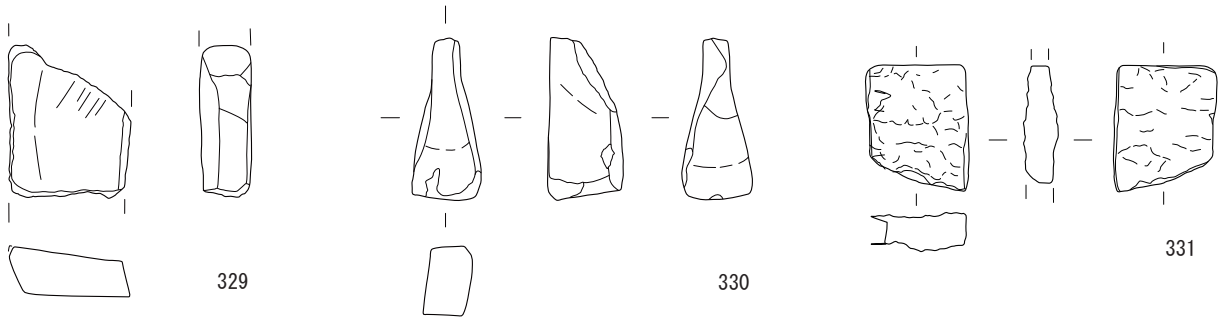
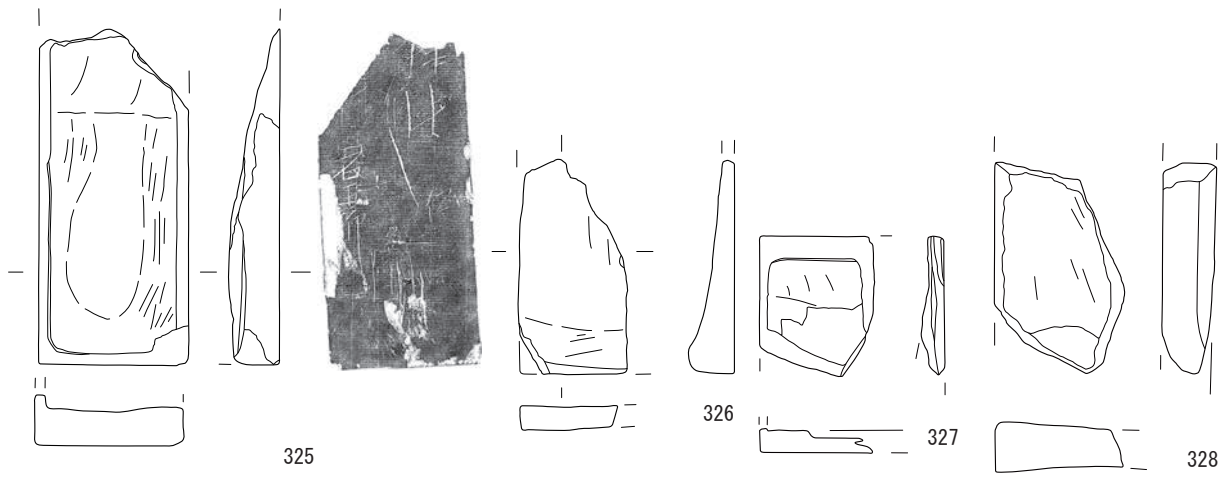
第 65 図 遺構出土遺物 (20) S X 1

S X 1



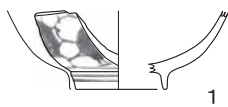
第 66 図 遺構出土遺物 (21) S X 1

S X 1

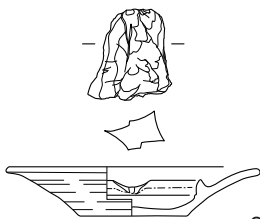


第 67 図 遺構出土遺物 (22) S X 1

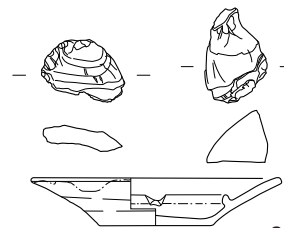
SB 1



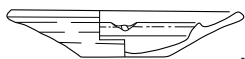
1



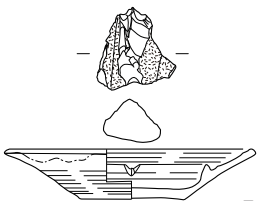
2



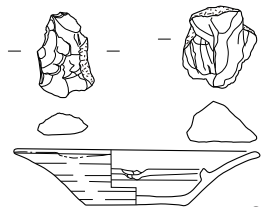
3



4

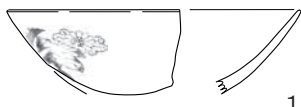


5

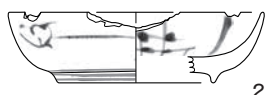


6

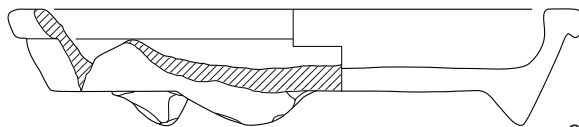
SB 2



1

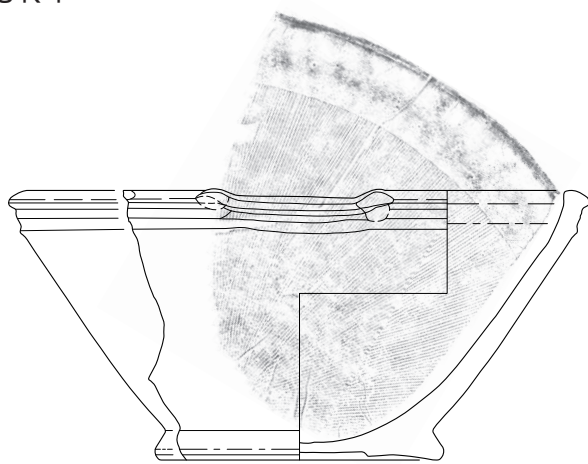


2

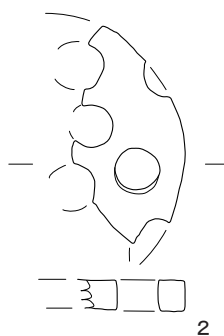


3

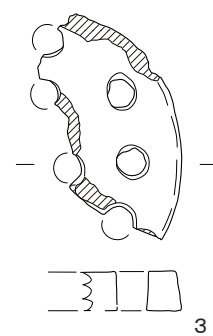
SK 1



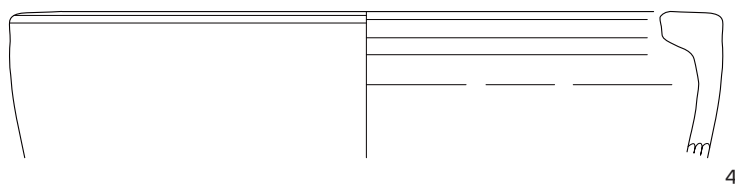
1



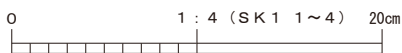
2



3

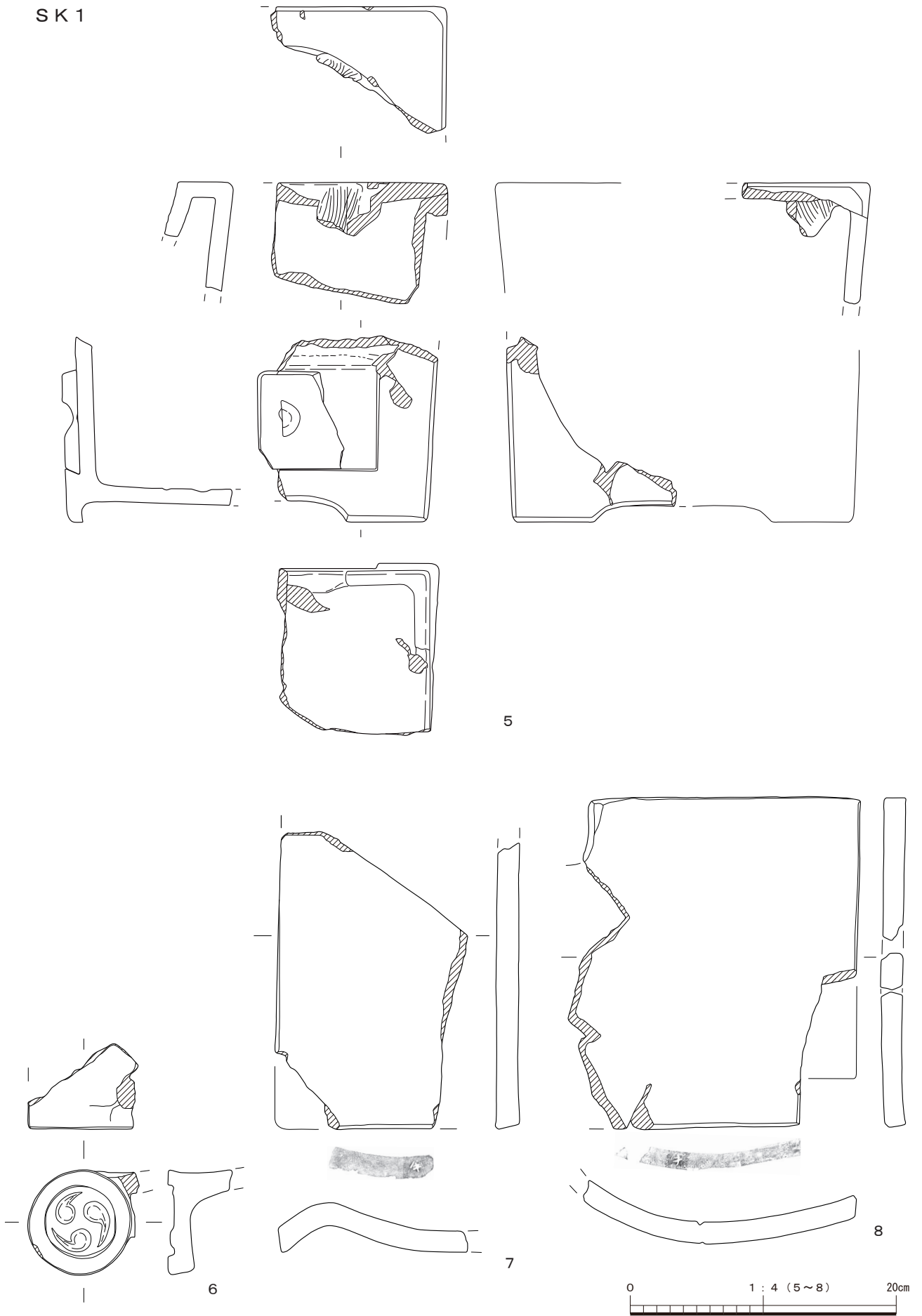


4



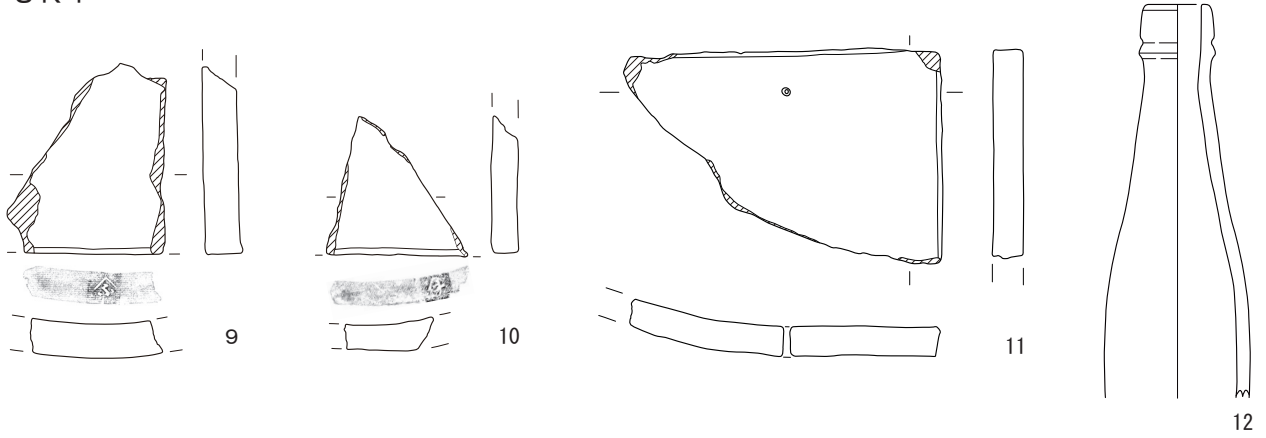
第 68 図 遺構出土遺物 (23) SB 1・SB 2・SK 1

SK 1

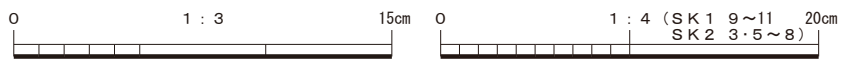
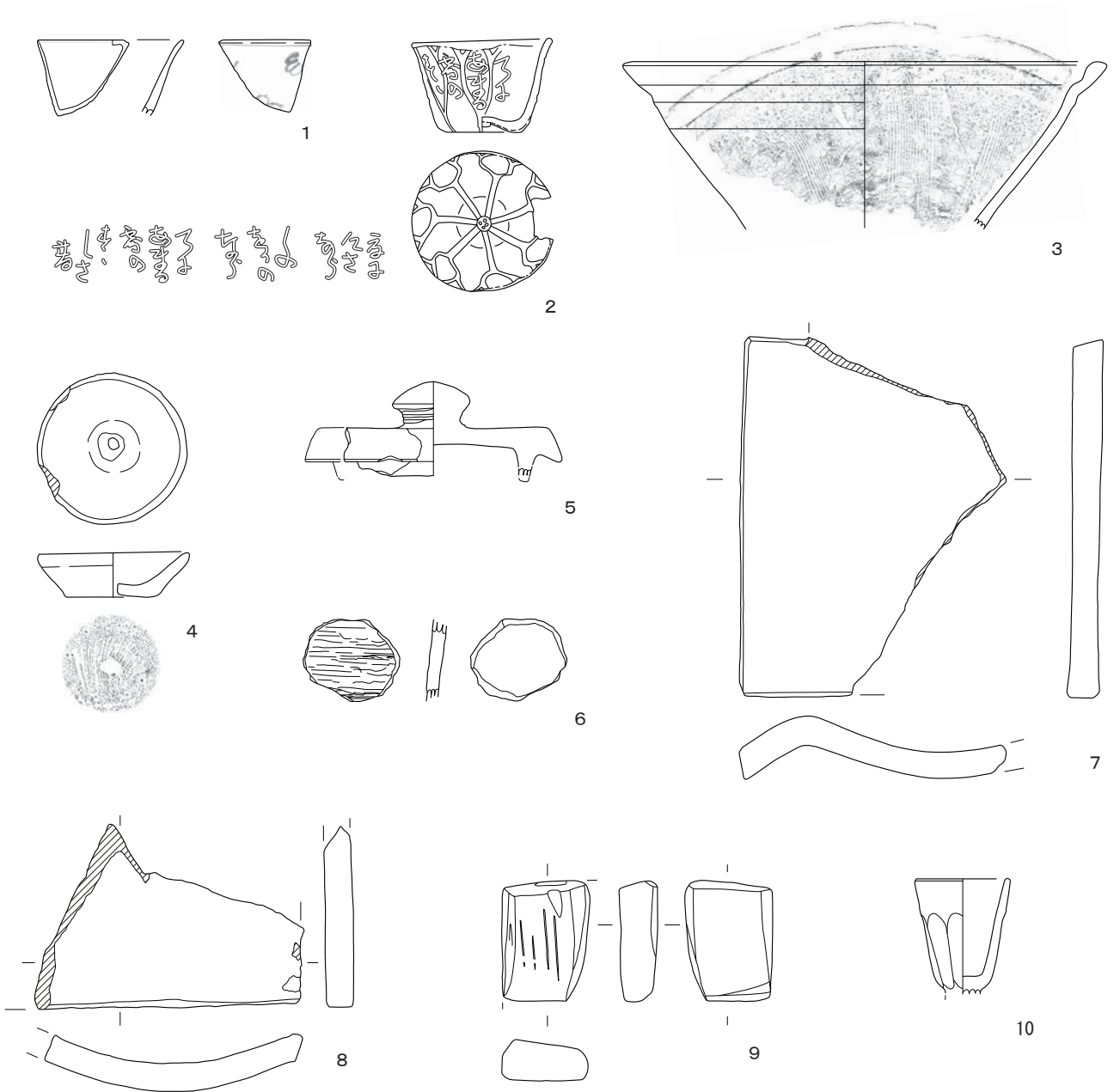


第 69 図 遺構出土遺物 (24) SK 1

SK 1

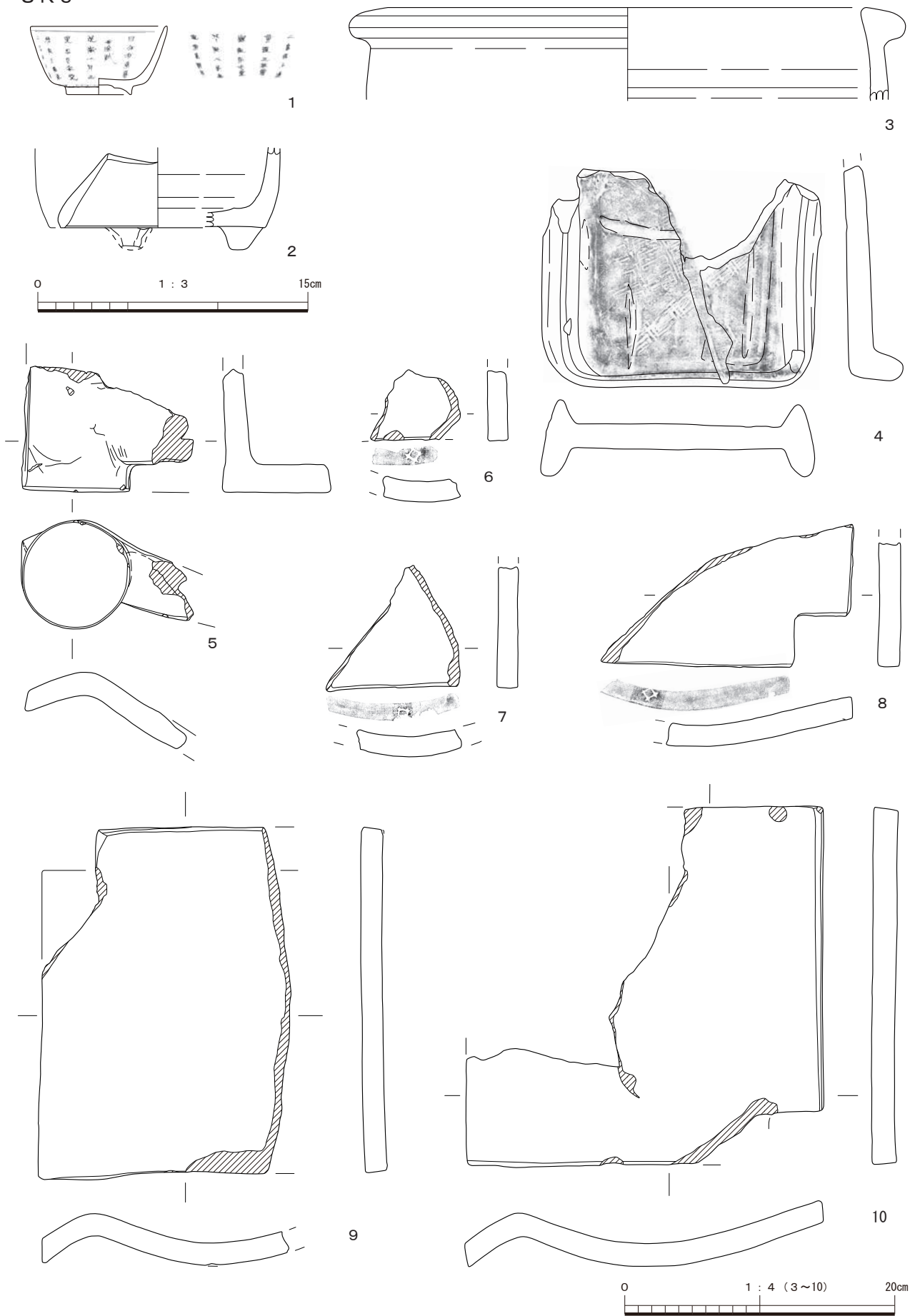


SK 2



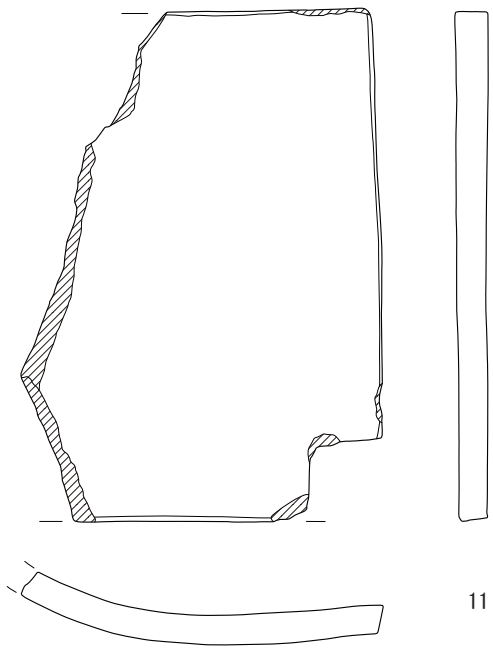
第 70 図 遺構出土遺物 (25) SK 1・SK 2

SK3

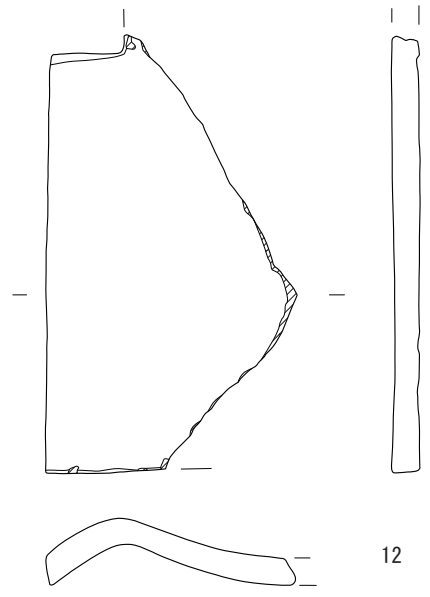


第71図 遺構出土遺物(26) SK3(井戸)

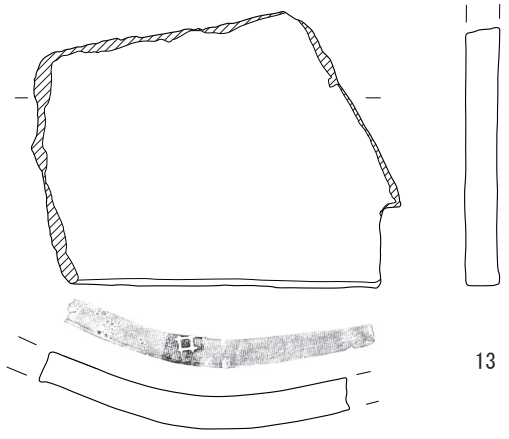
SK 3



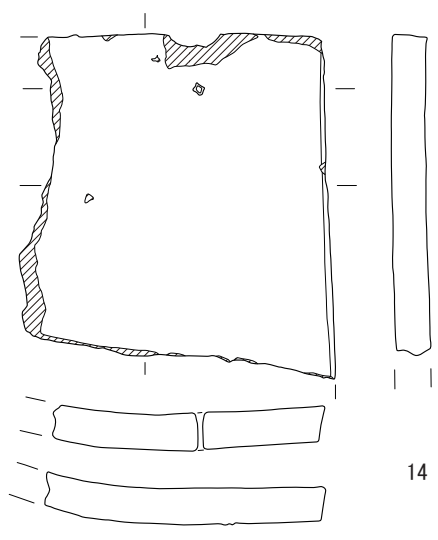
11



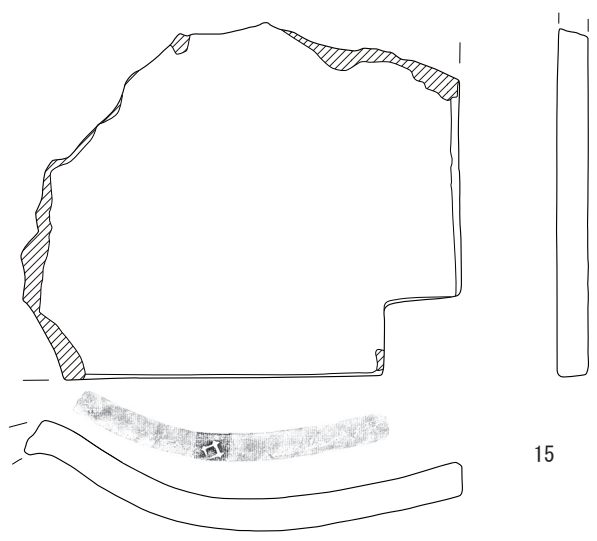
12



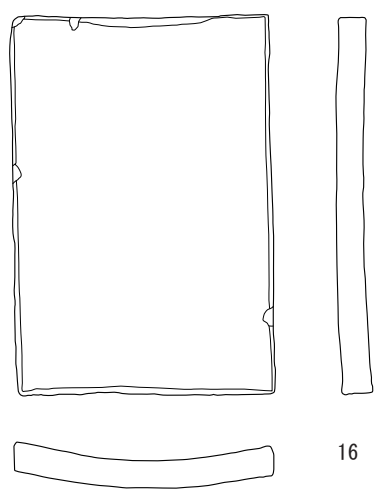
13



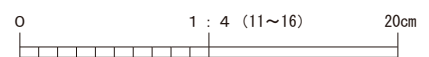
14



15

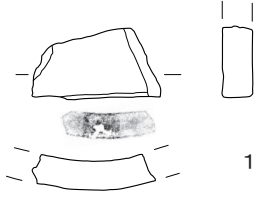


16

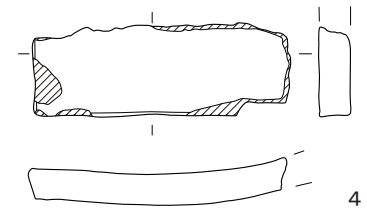
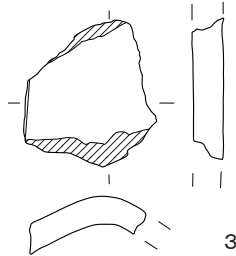
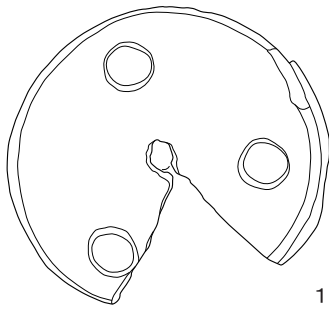
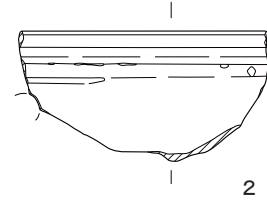
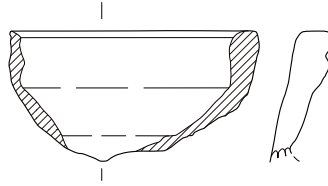
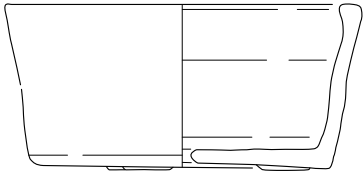


第 72 図 遺構出土遺物 (27) SK 3 (井戸)

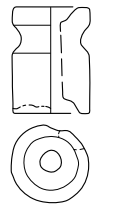
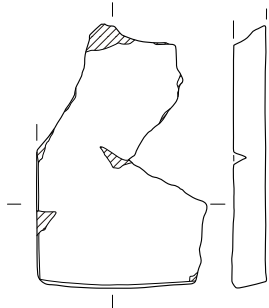
SK 4



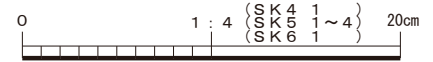
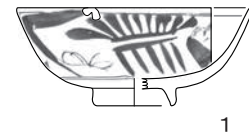
SK 5



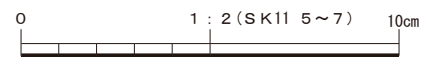
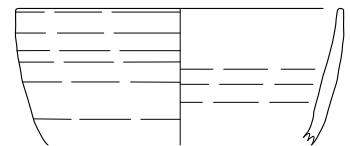
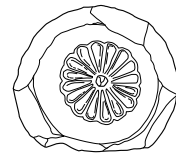
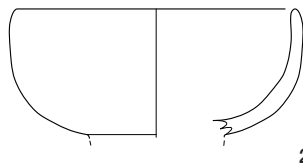
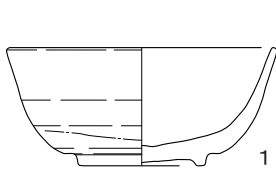
SK 6



SK 8

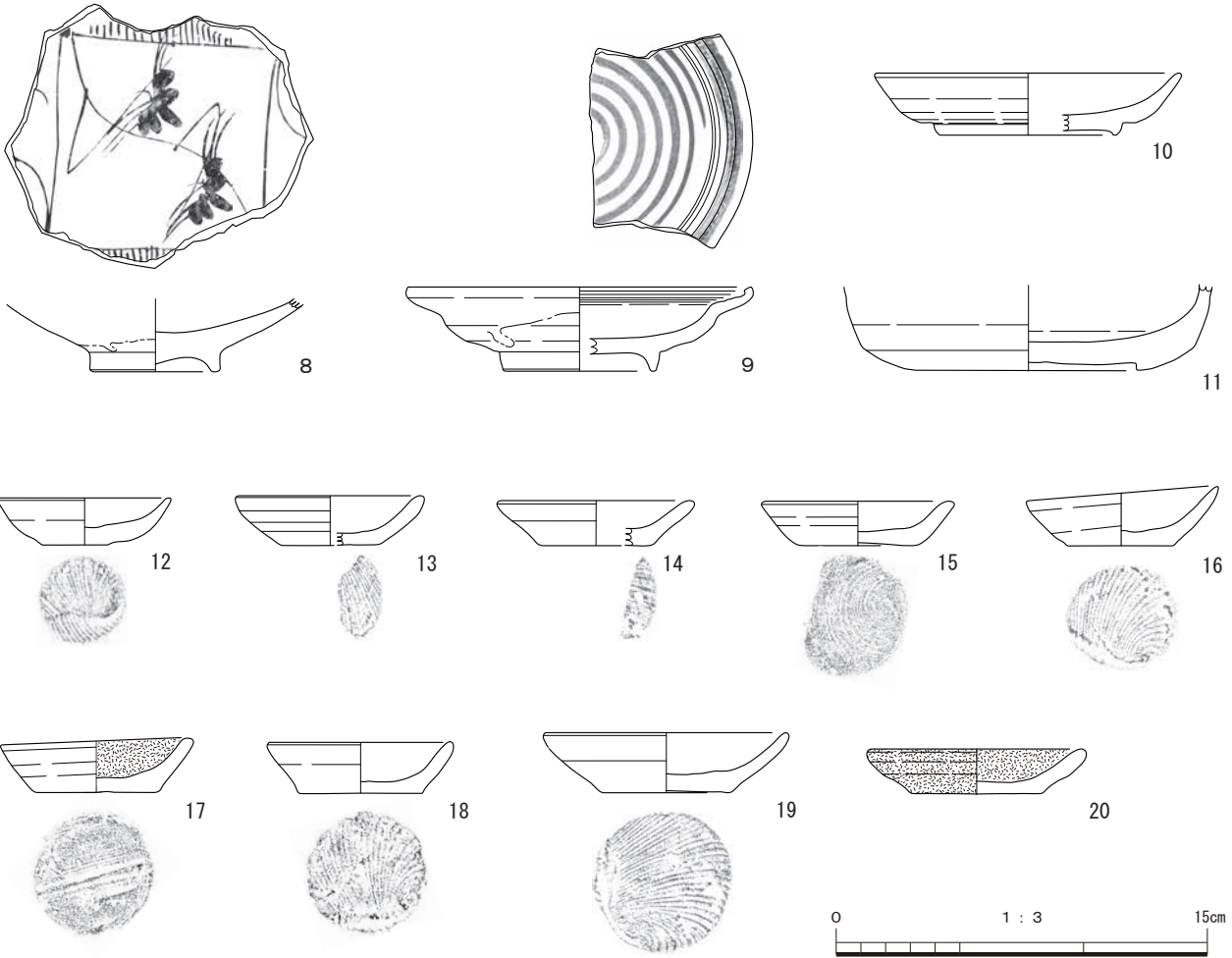


SK11(井戸)

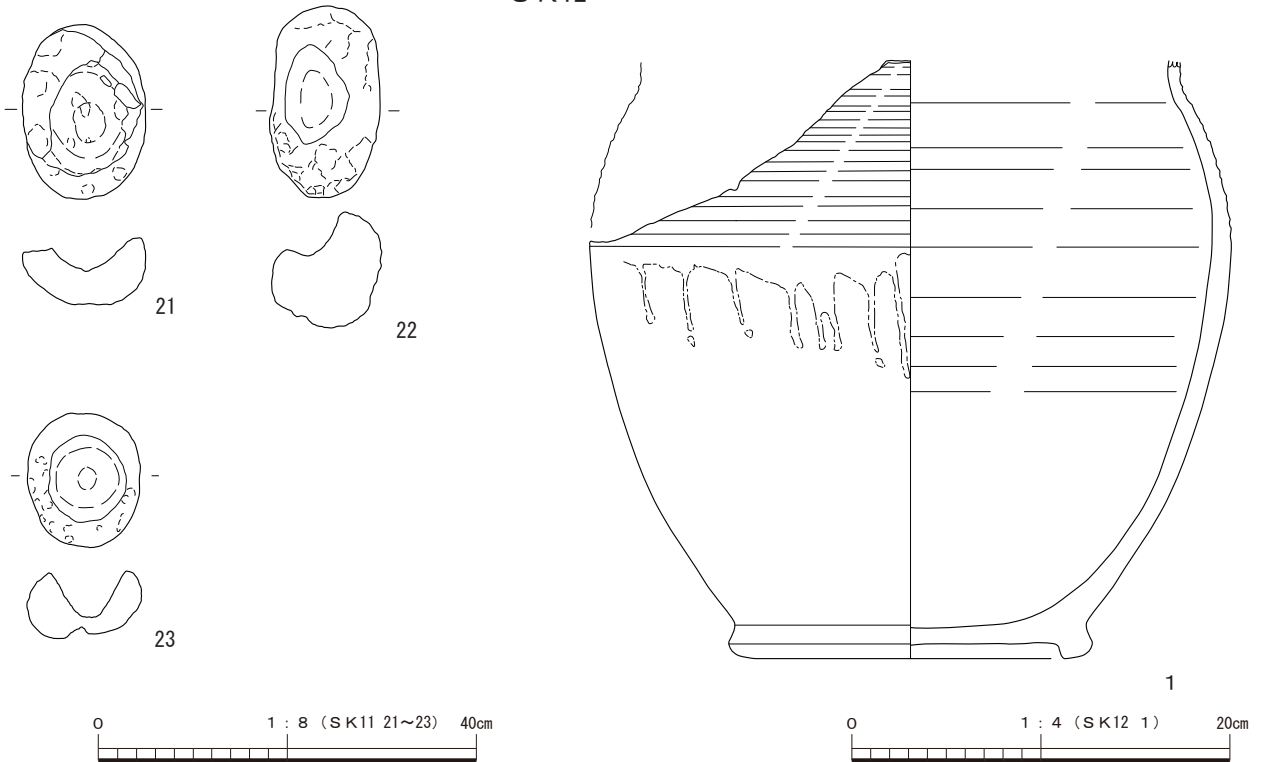


第 73 図 遺構出土遺物 (28) SK 4・SK 5・SK 6・SK 8・SK11(井戸)

SK11(井戸)

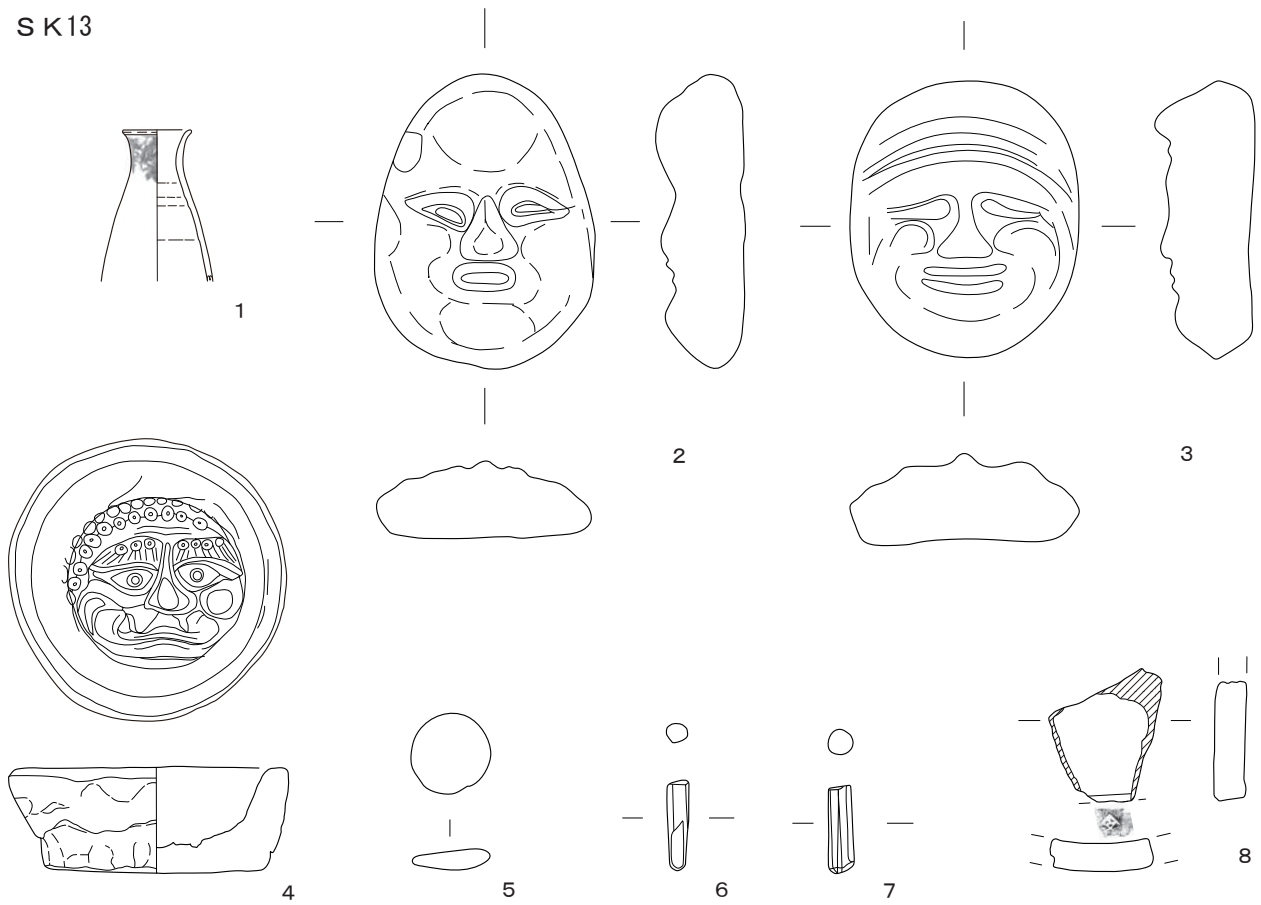


SK12

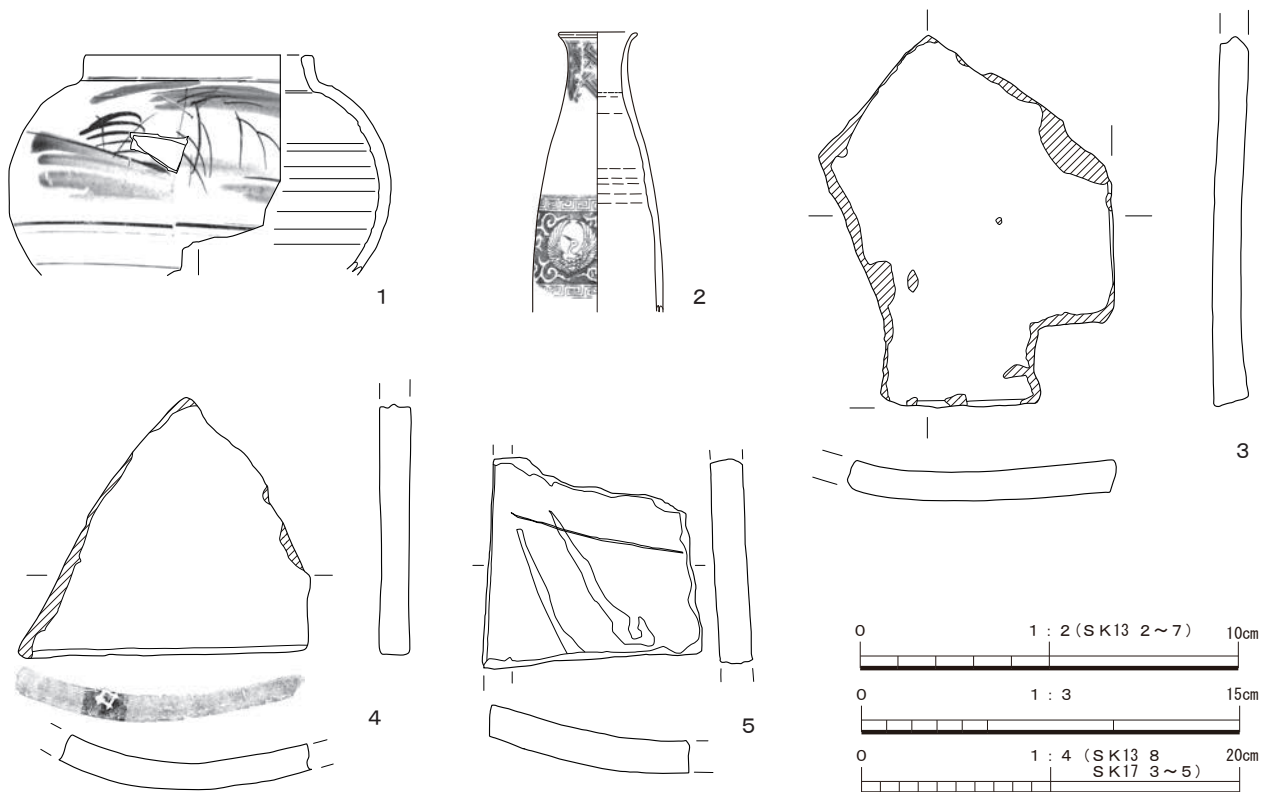


第74図 遺構出土遺物 (29) SK11(井戸)・SK12

SK13

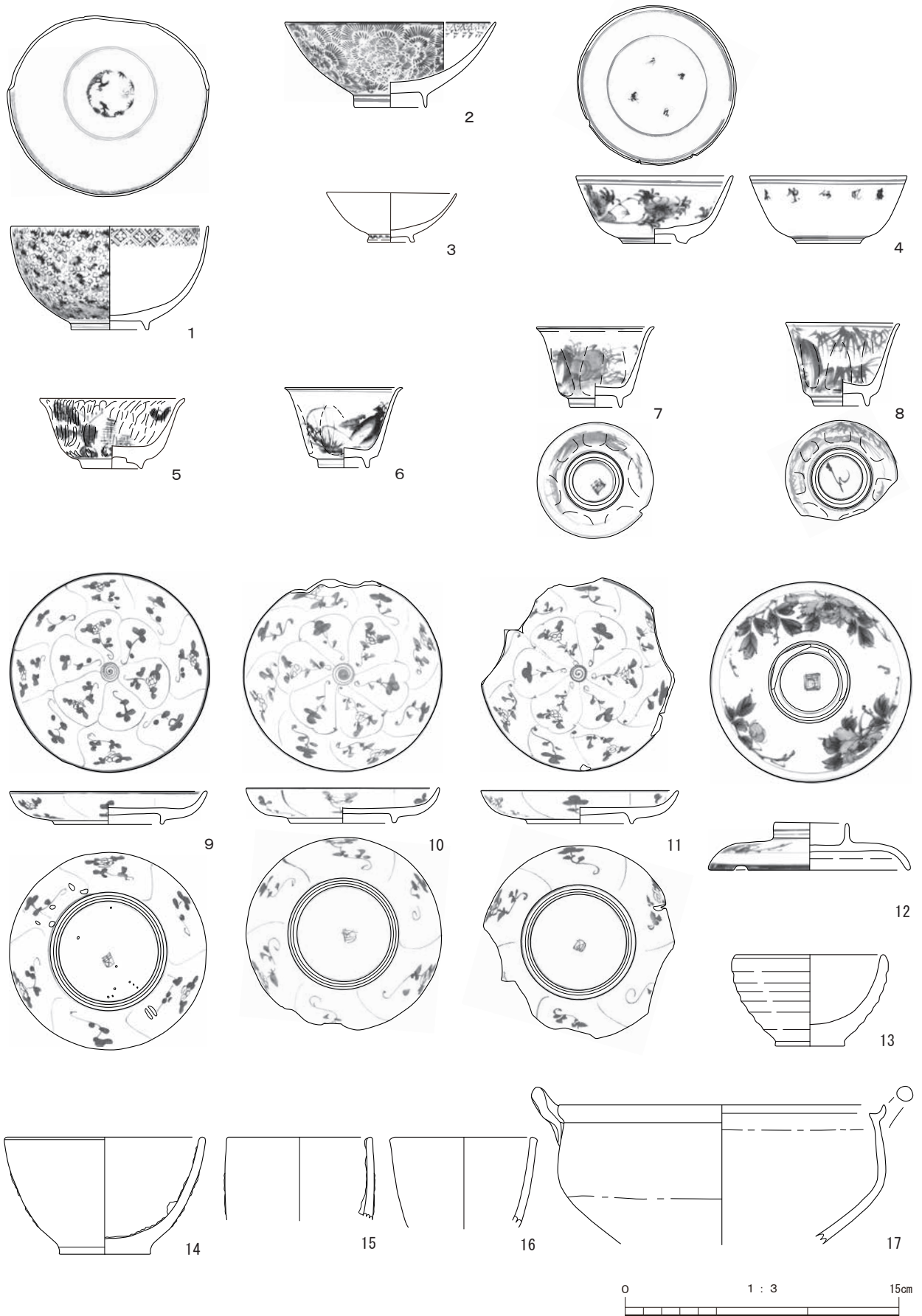


SK17



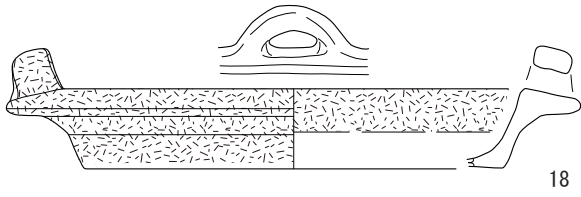
第75図 遺構出土遺物 (30) SK13・SK17

SK18

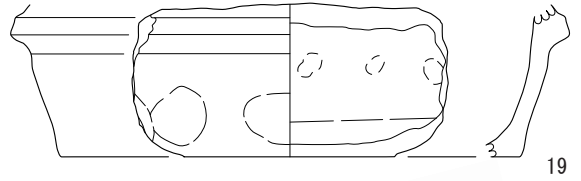


第 76 図 遺構出土遺物 (31) SK18

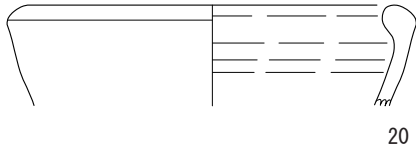
SK18



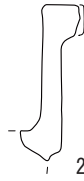
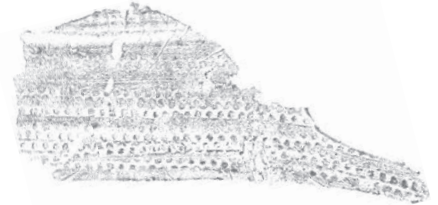
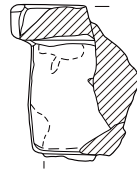
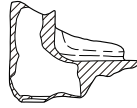
18



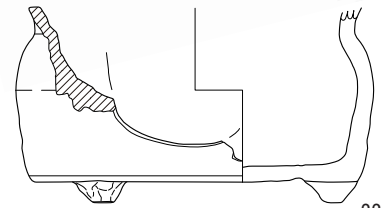
19



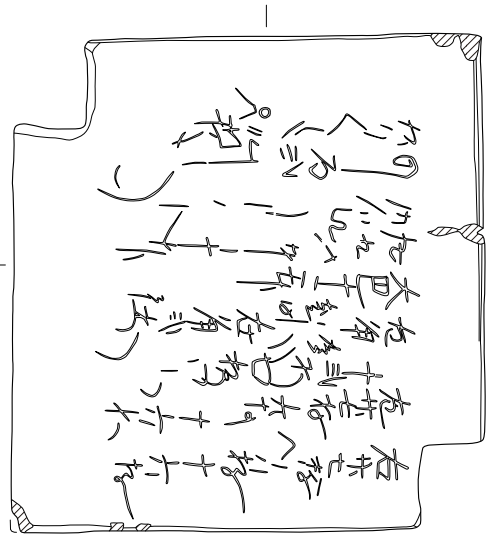
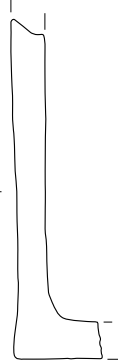
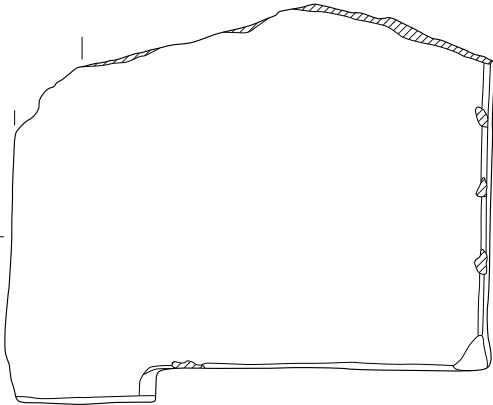
20



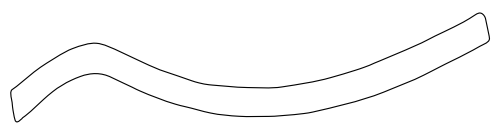
21



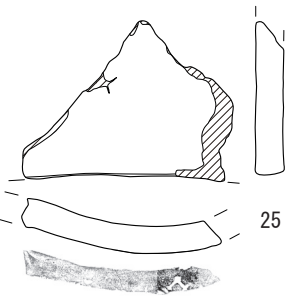
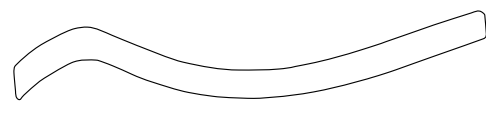
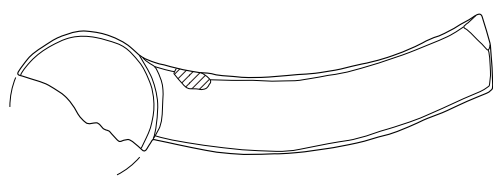
22



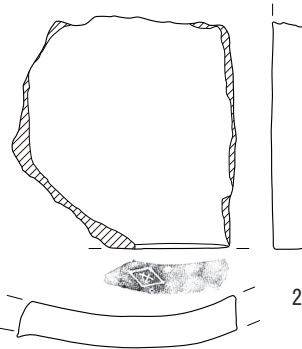
24



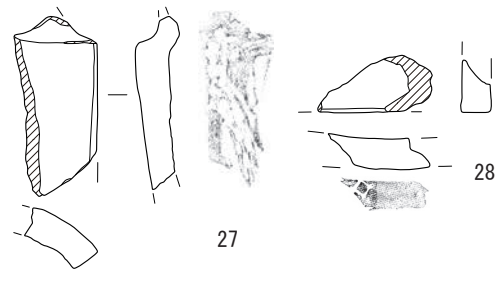
23



25

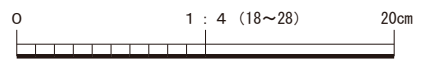


26



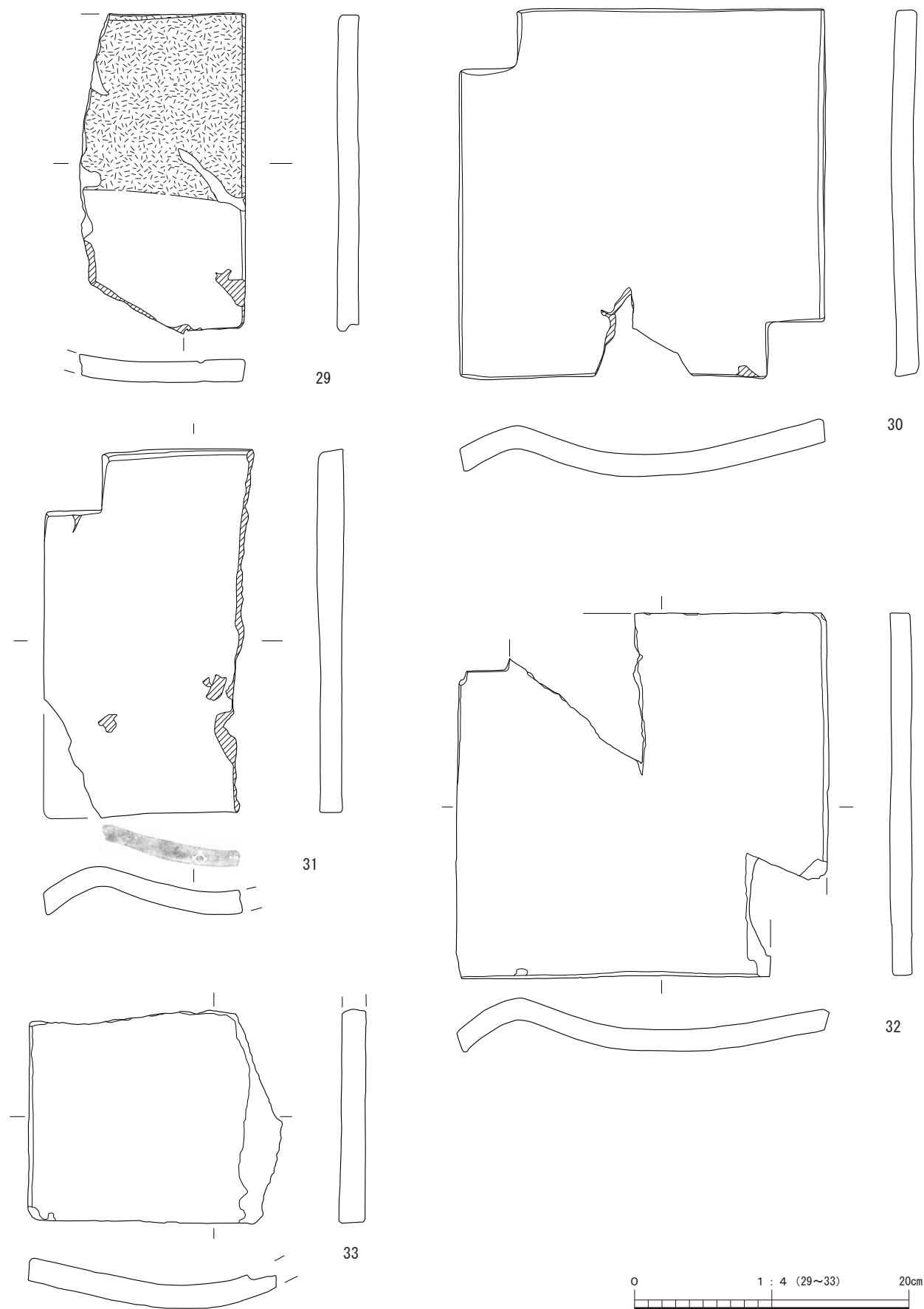
28

27



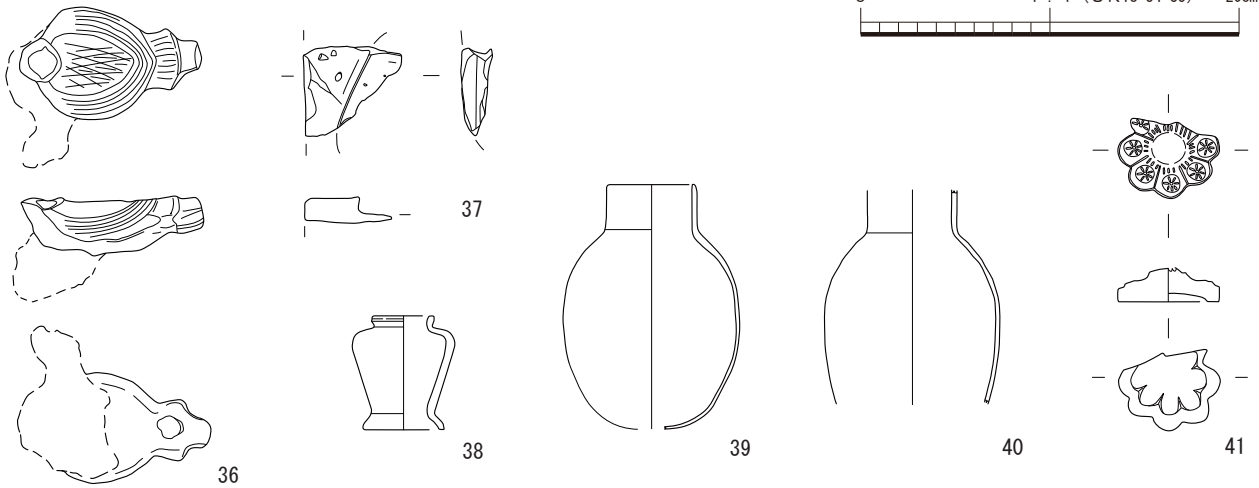
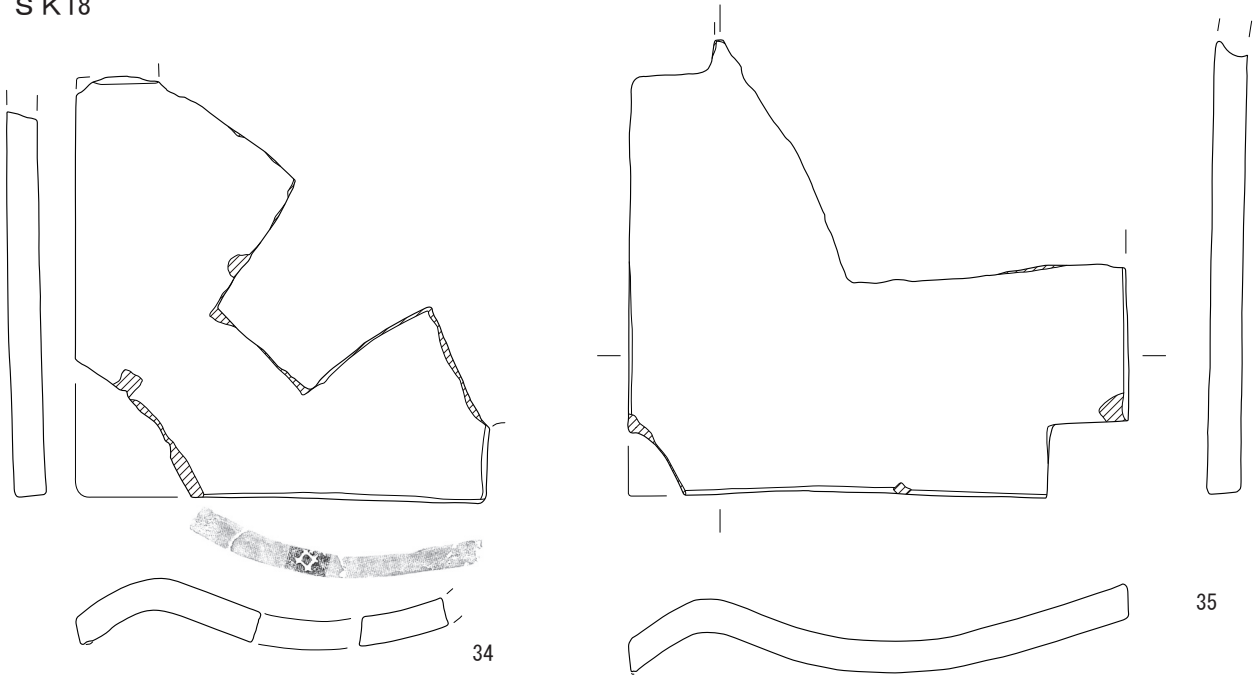
第 77 図 遺構出土遺物 (32) SK18

S K18

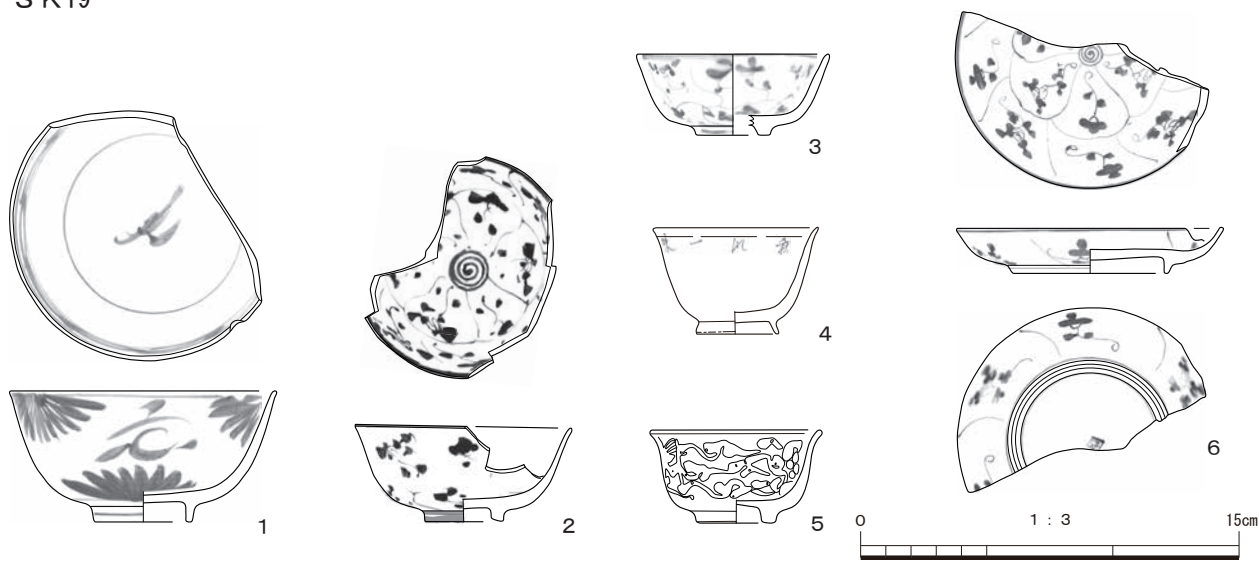


第 78 図 遺構出土遺物 (33) S K18

SK18

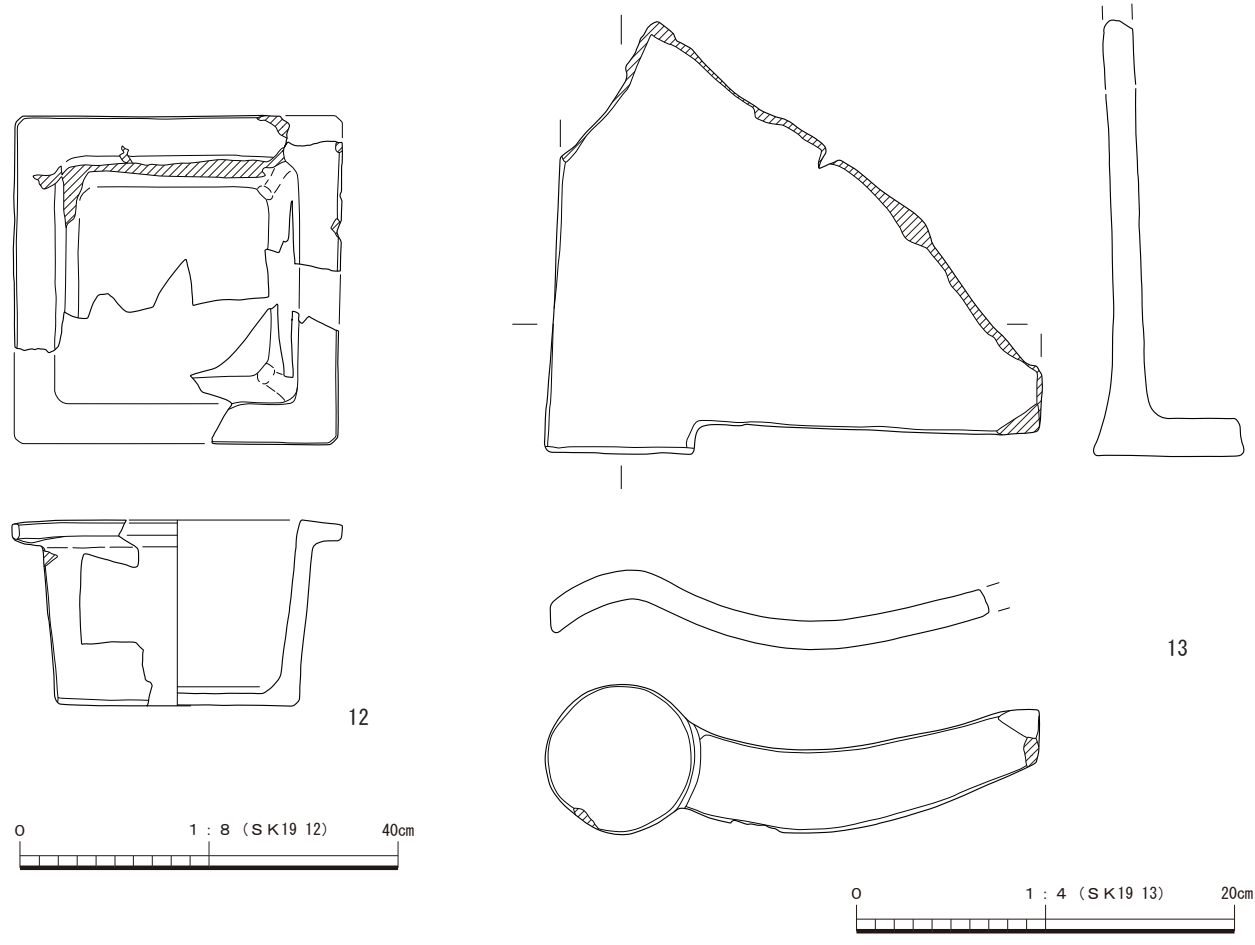
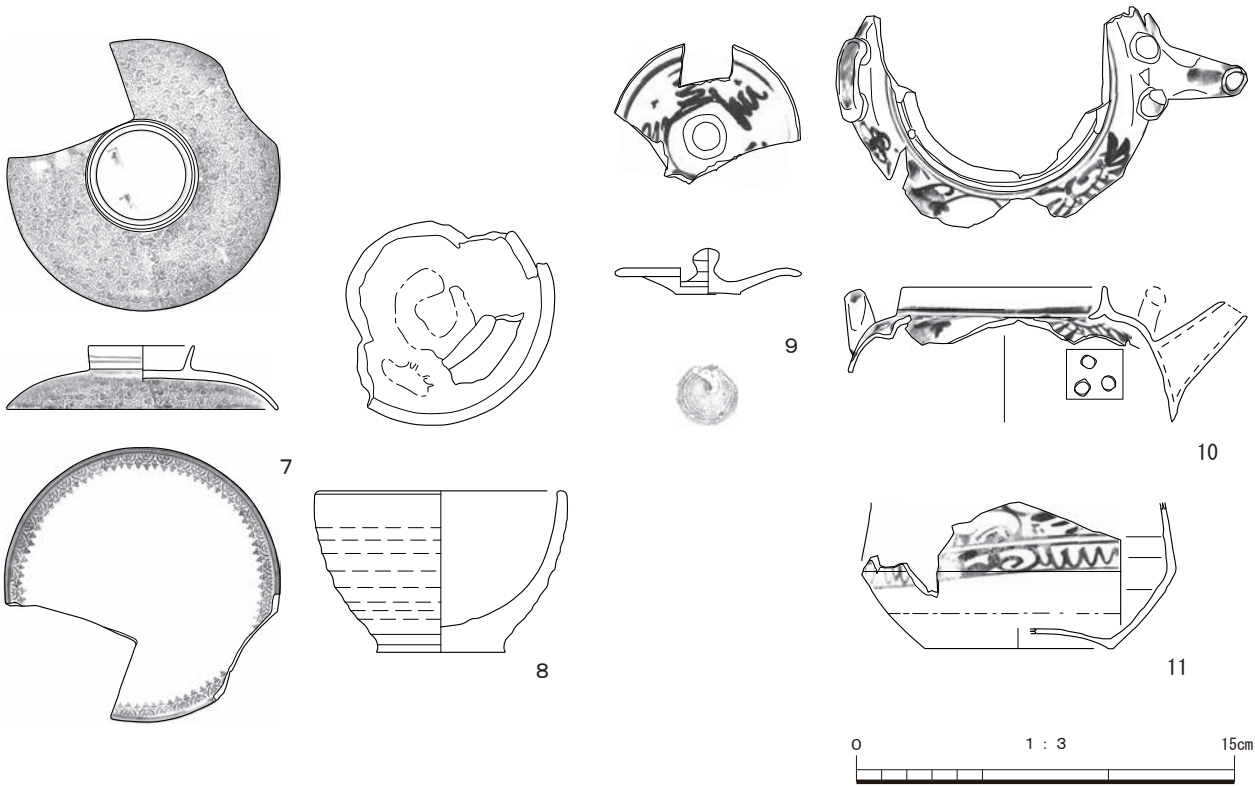


SK19



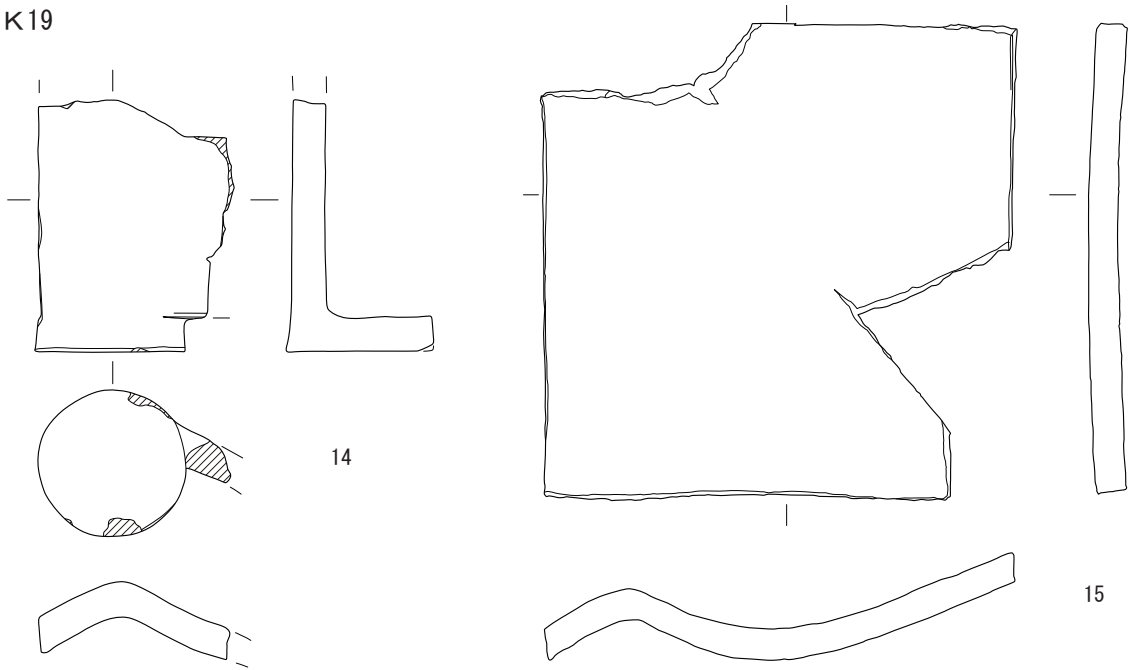
第 79 図 遺構出土遺物 (34) SK18・SK19

S K19



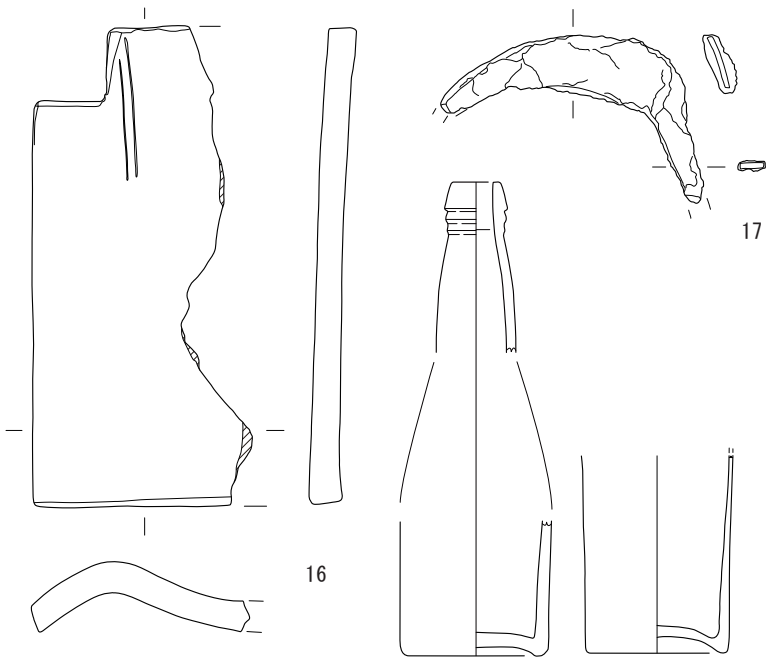
第 80 図 遺構出土遺物 (35) S K19

S K19



14

15



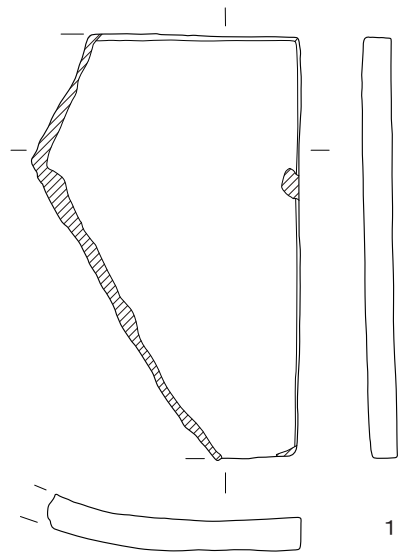
S K20

17

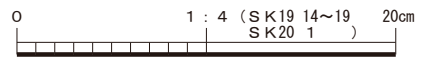
16

18

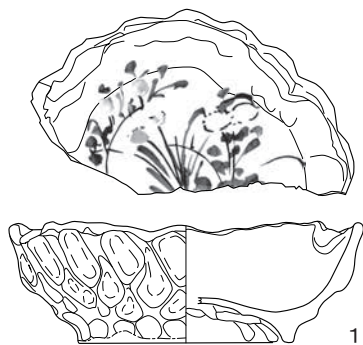
19



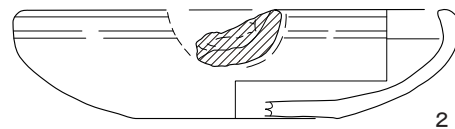
1



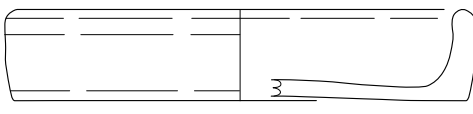
S K22 (埋桶)



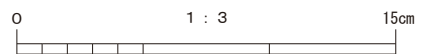
1



2

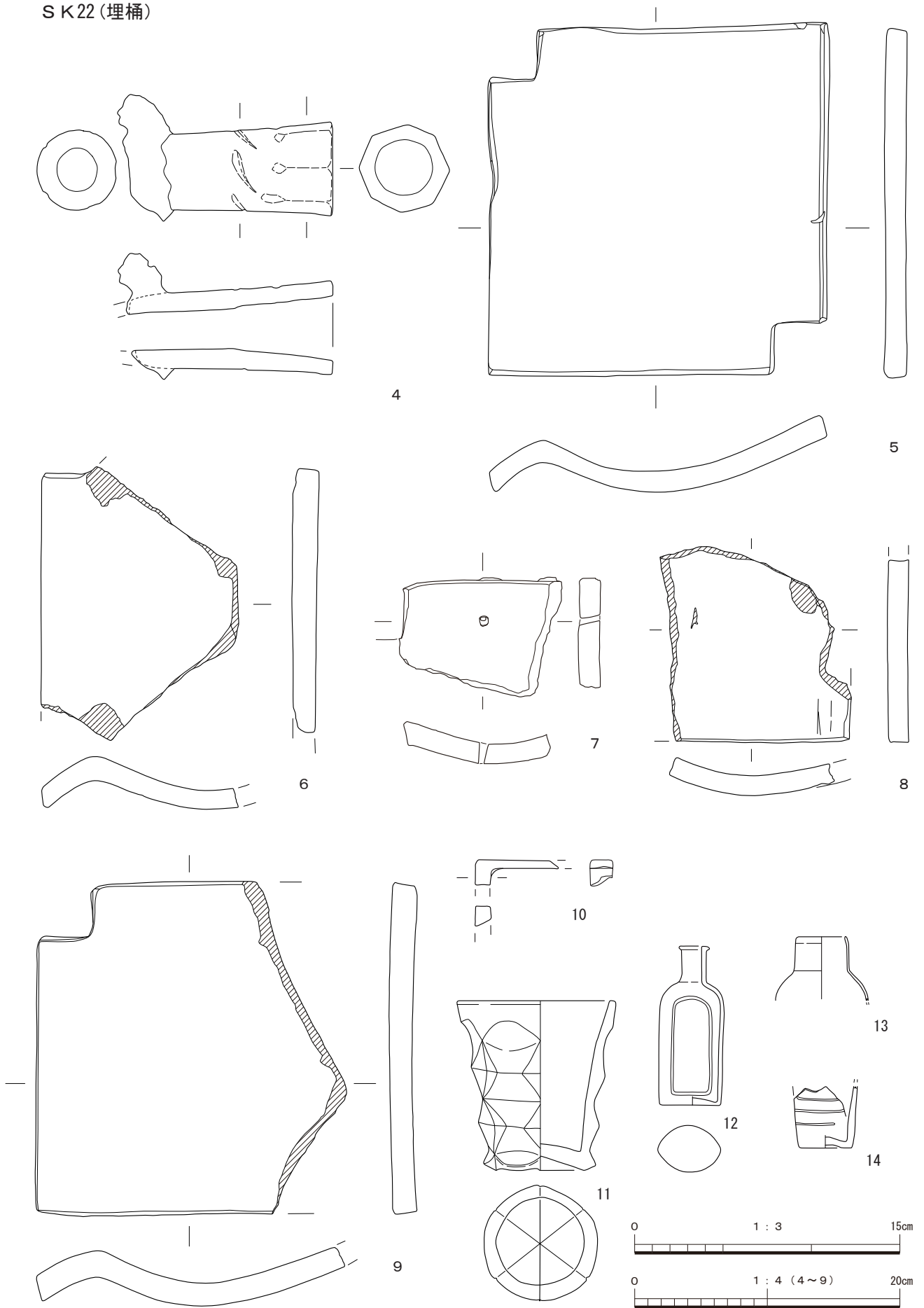


3



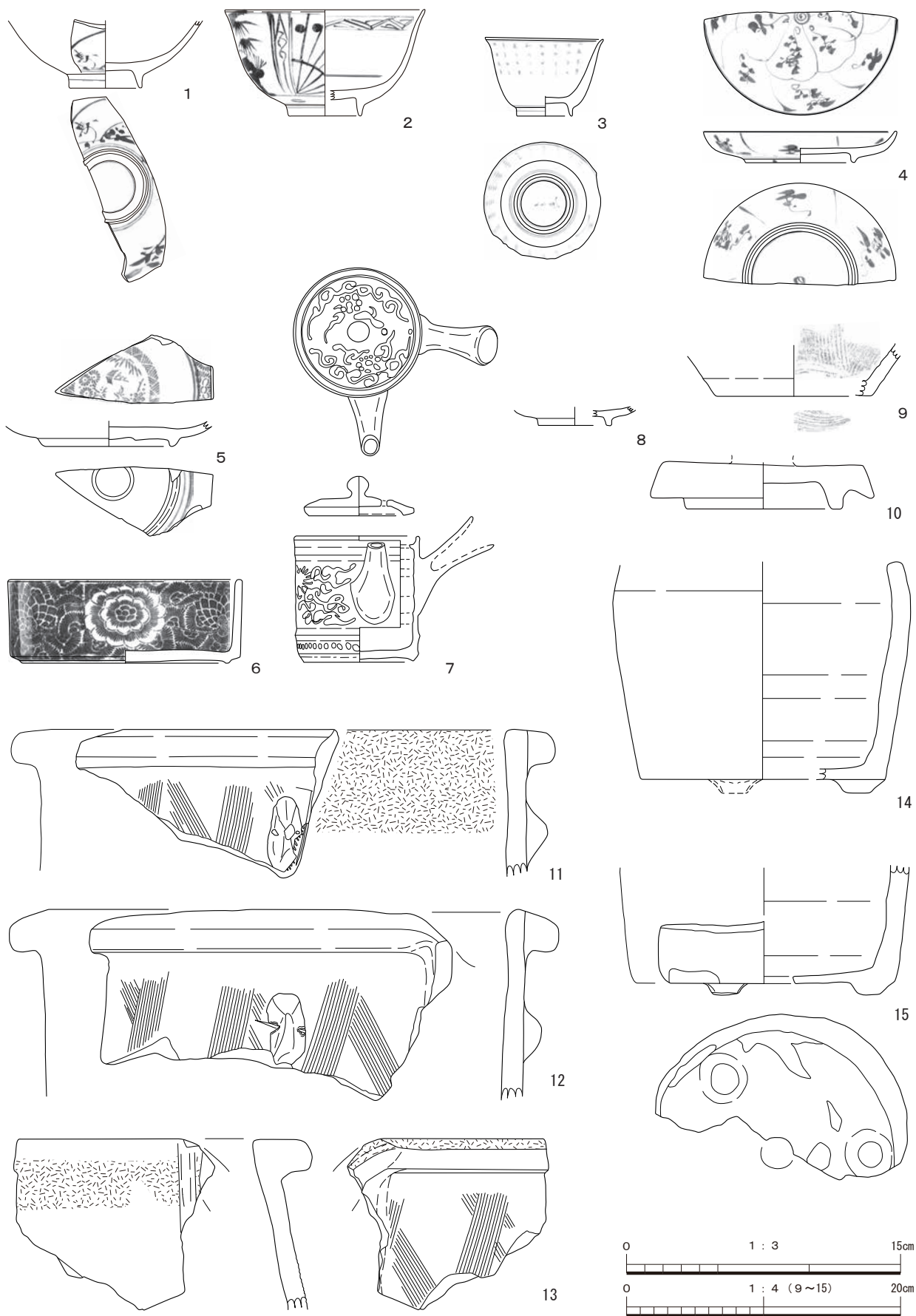
第 81 図 遺構出土遺物 (36) S K19・S K20・S K22 (埋桶)

S K22 (埋桶)



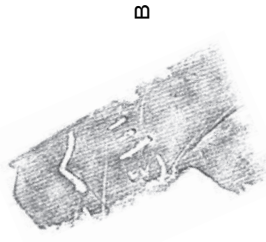
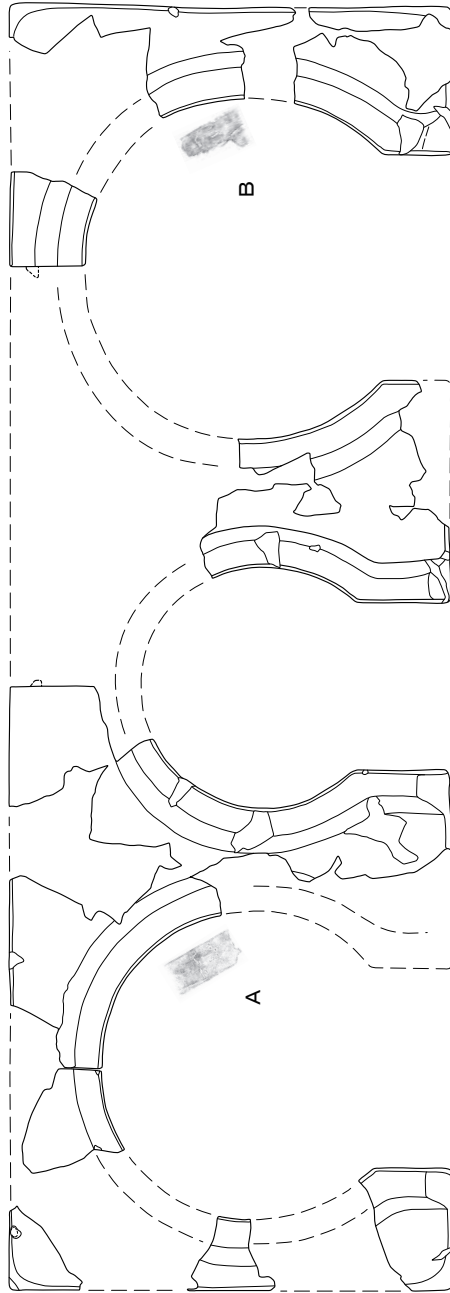
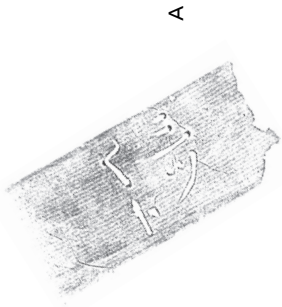
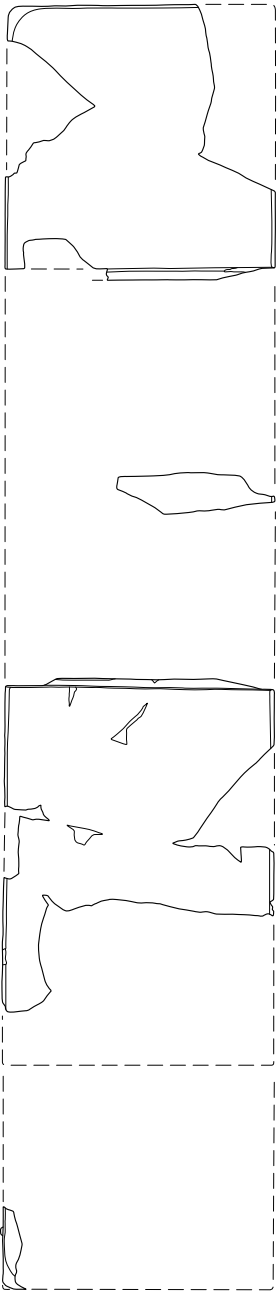
第 82 図 遺構出土遺物 (37) S K22 (埋桶)

SK23

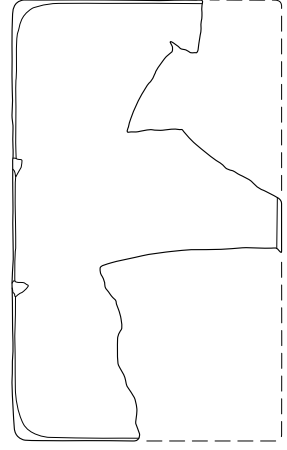
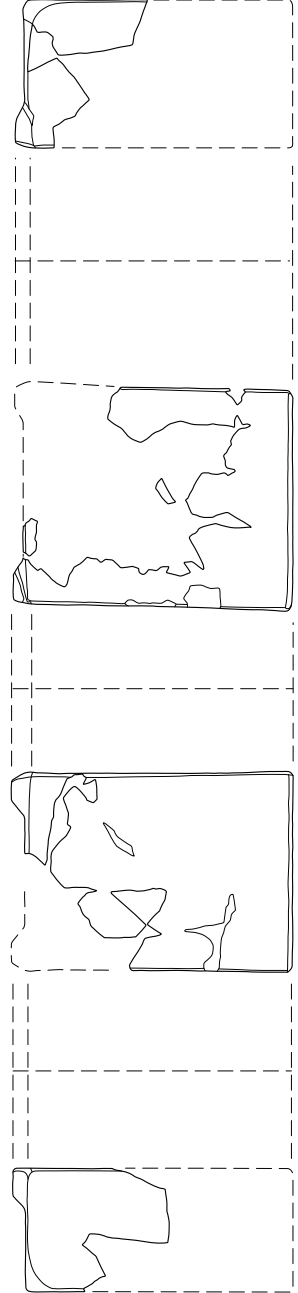


第 83 図 遺構出土遺物 (38) SK23

S K 23

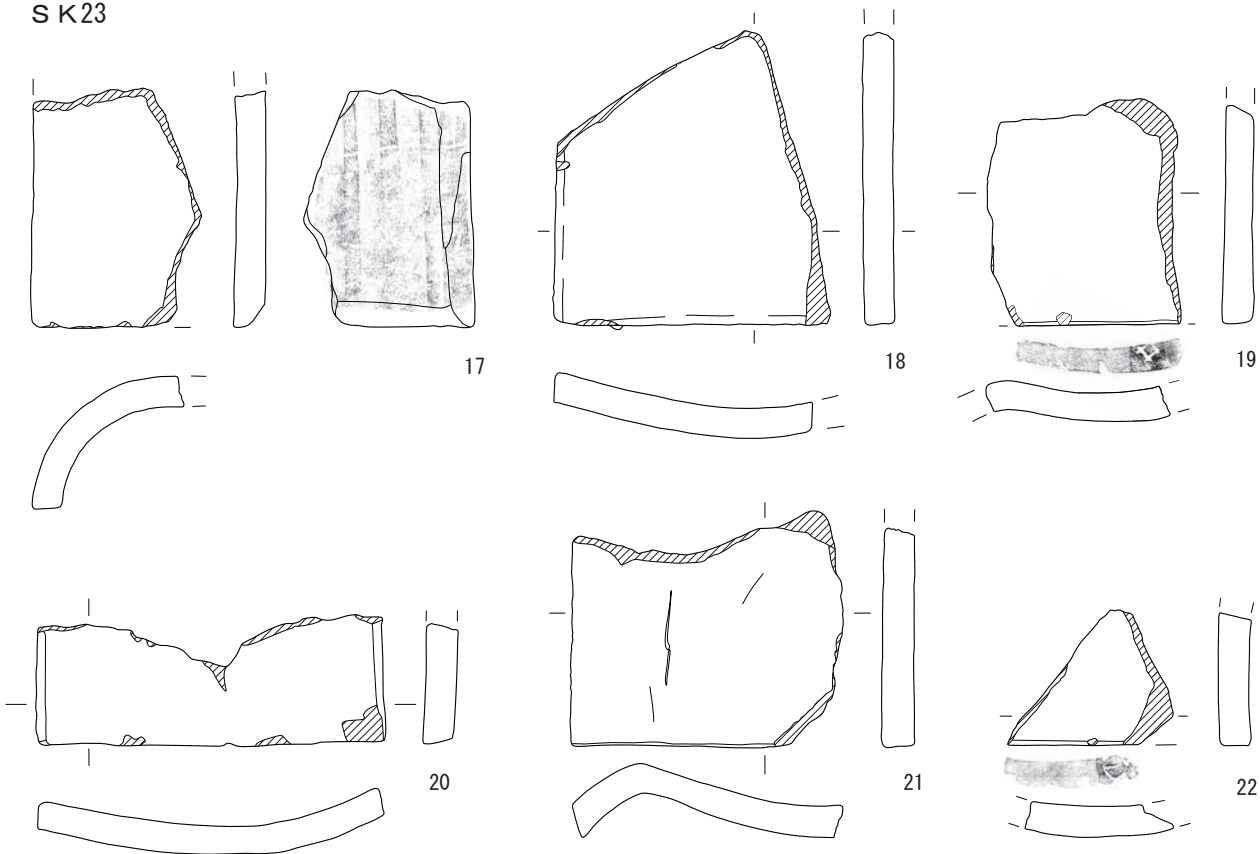


16

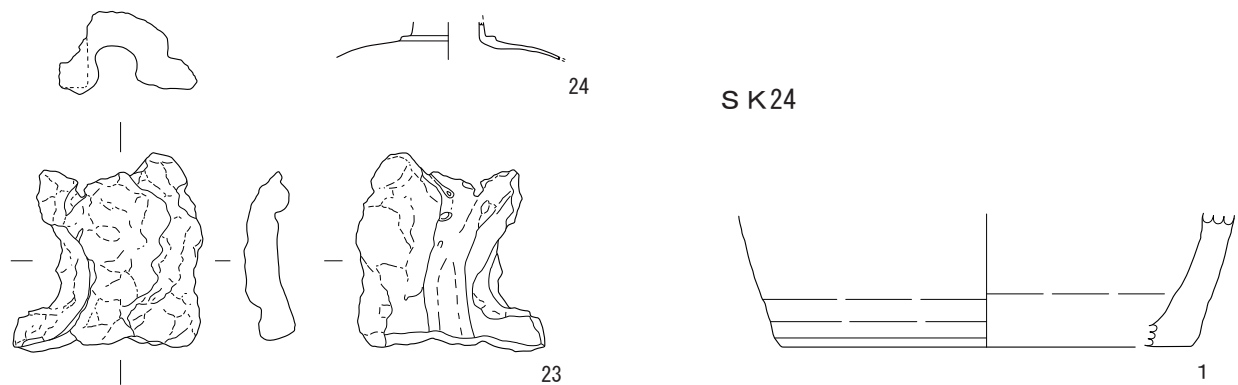


第 84 図 遺構出土遺物 (39) S K 23

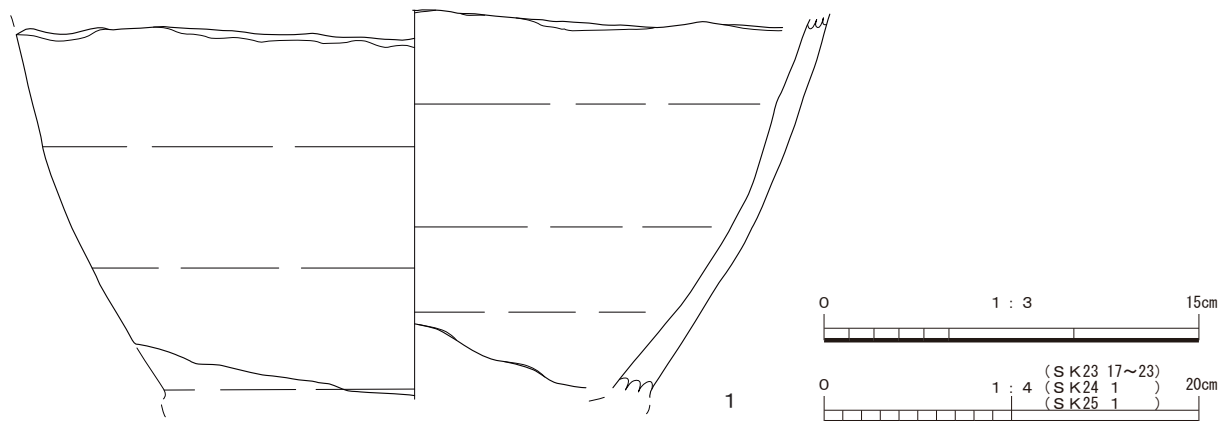
S K 23



S K 24

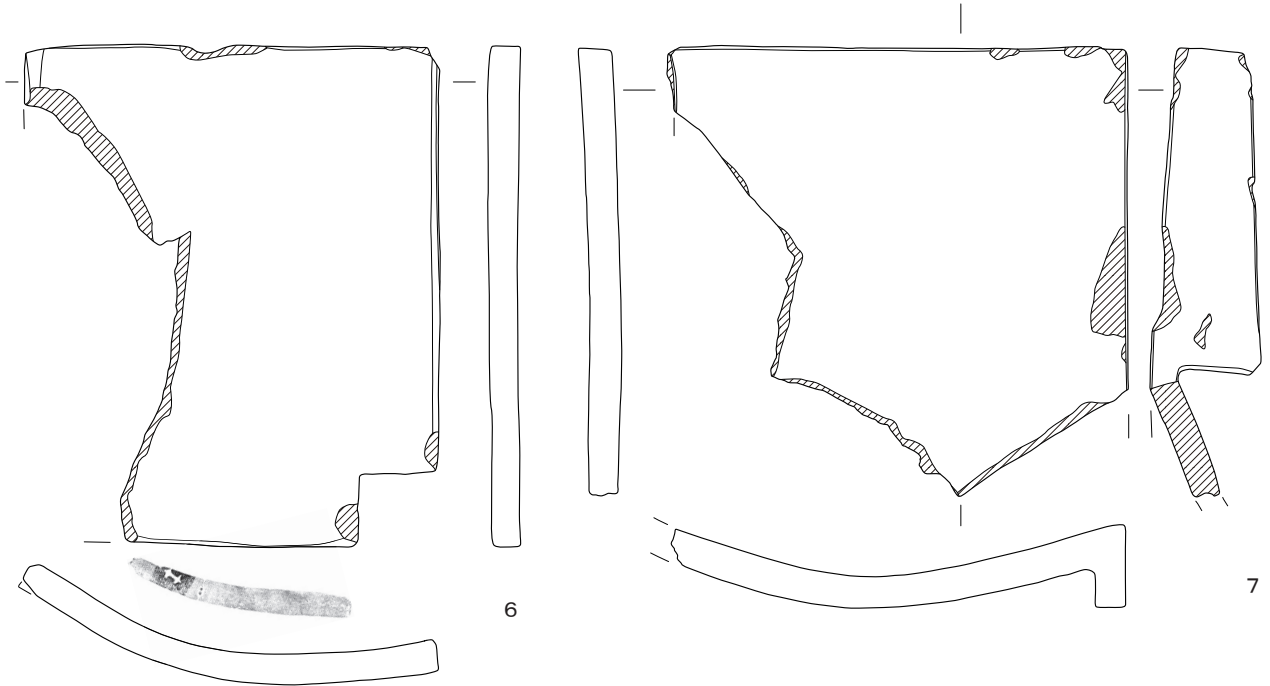
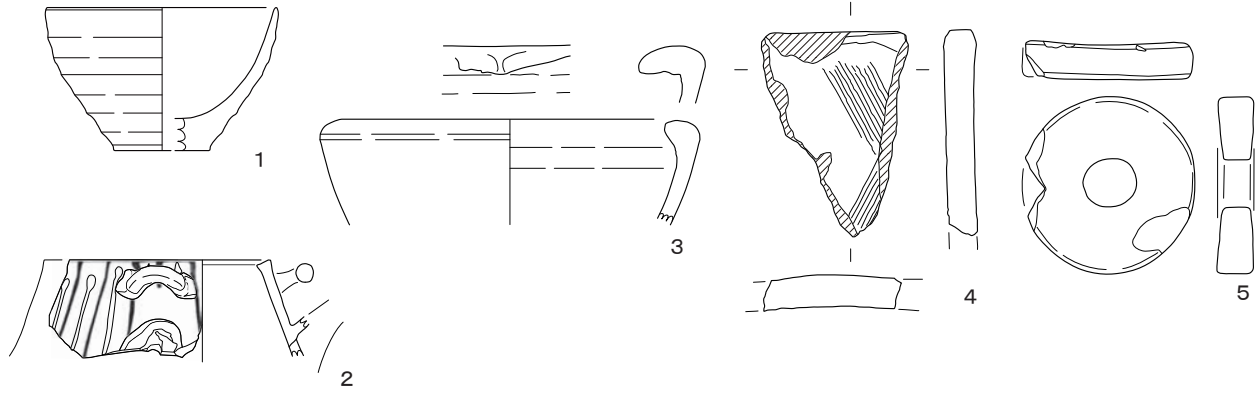


S K 25



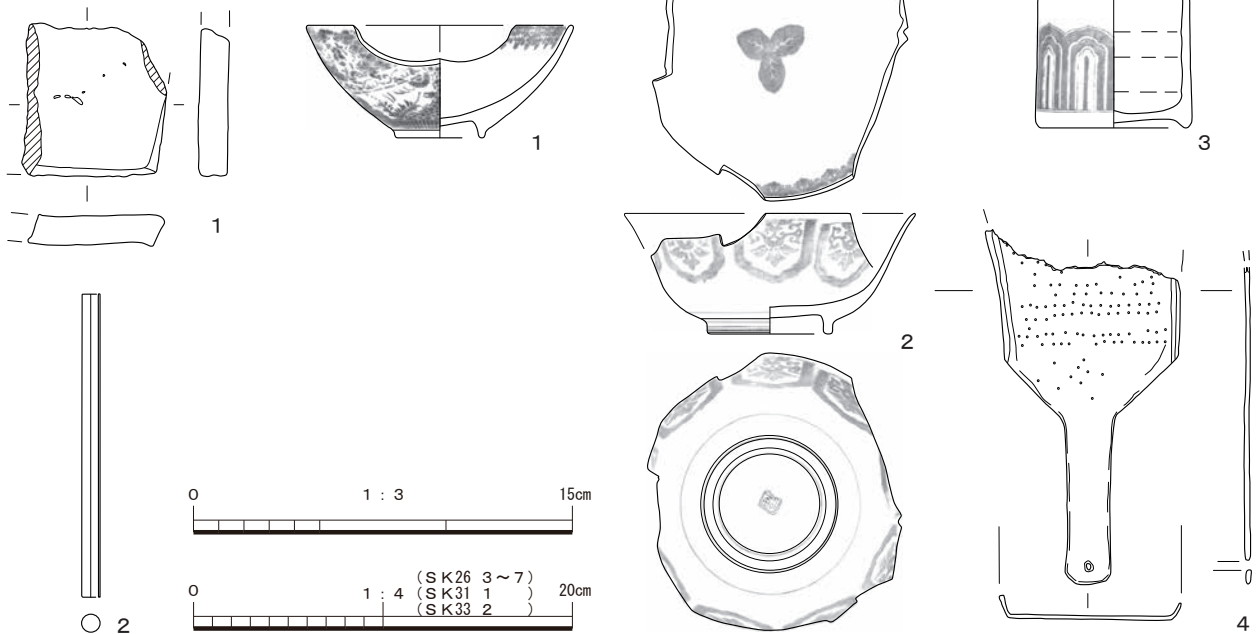
第 85 図 遺構出土遺物 (40) S K 23 ~ S K 25

S K 26



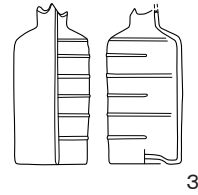
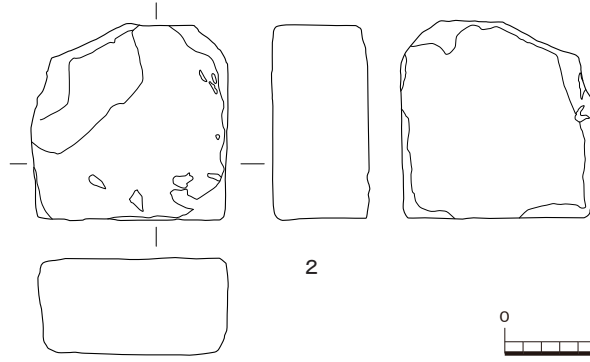
S K 31

S K 33 (埋桶)



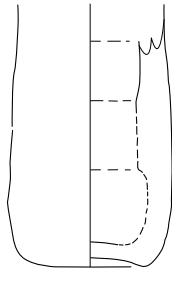
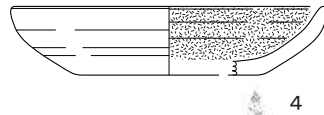
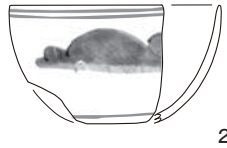
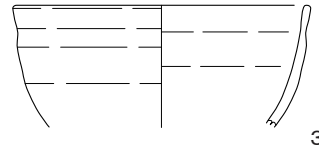
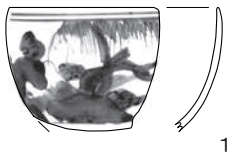
第 86 图 遺構出土遺物 (41) S K 26 · S K 31 · S K 33 (埋桶)

SK35 (埋桶)

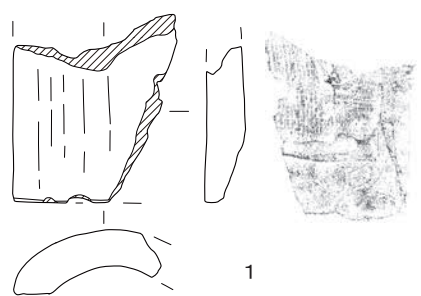


(SK35 2 · SK38 1 · SK43 1)

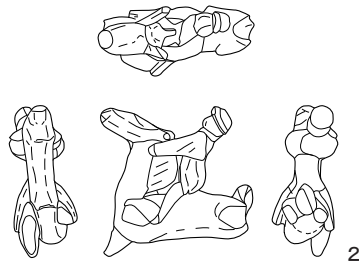
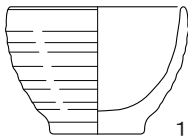
SK36 (井戸)



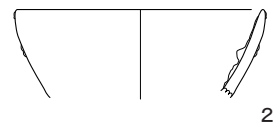
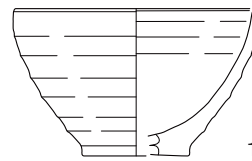
SK38



SK40

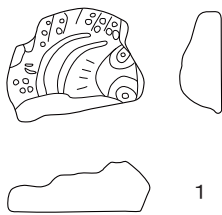


SK41

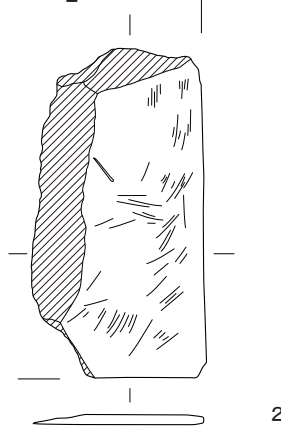
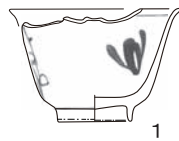


SK45 (埋桶)

SK42



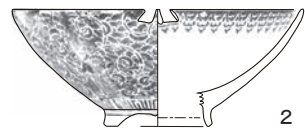
SK44



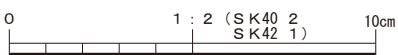
2

SK43

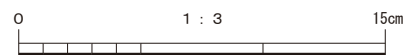
(井戸)



4



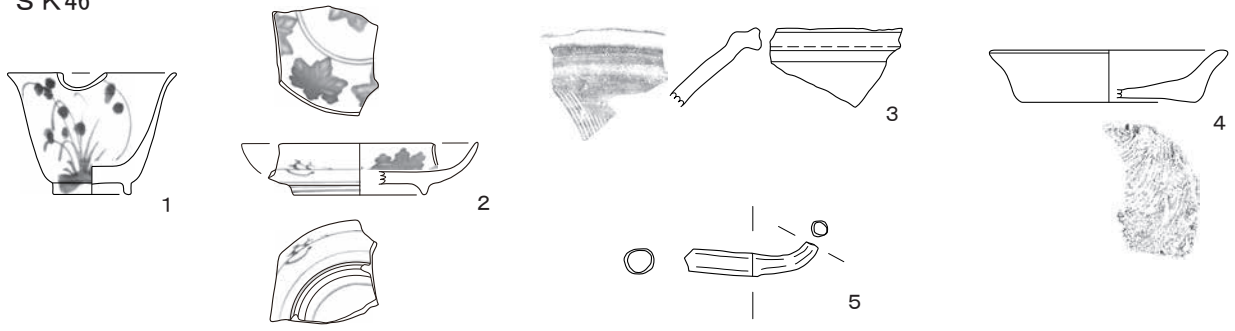
1 : 2 (SK40 2 · SK42 1)



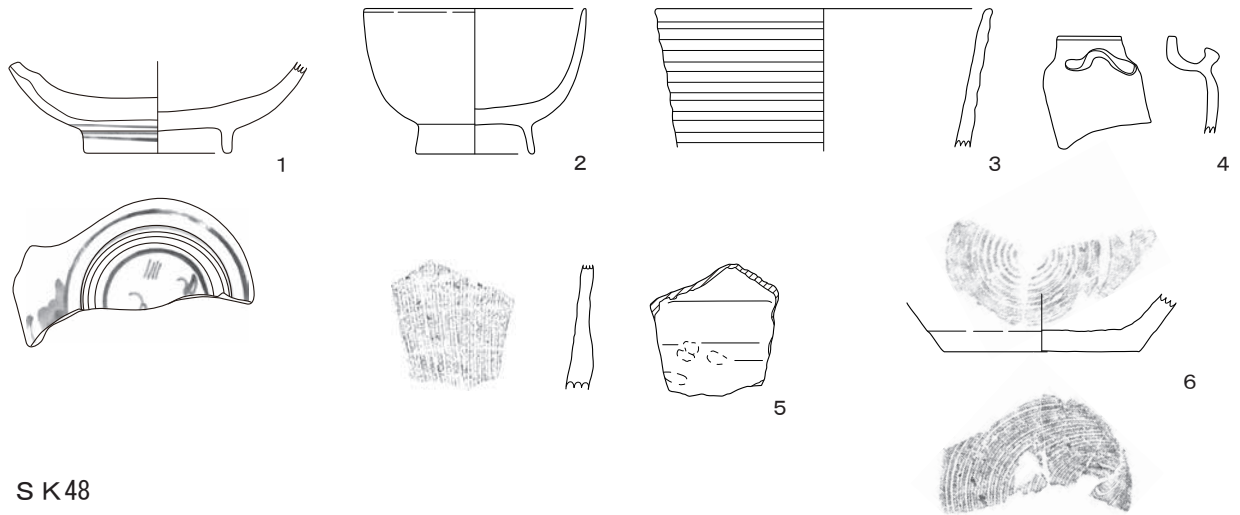
1 : 3

第 87 図 遺構出土遺物 (42) SK35 (埋桶) · SK36 (井戸) · SK38 · SK40 ~ SK42 · SK43 (井戸) · SK44 · SK45 (埋桶)

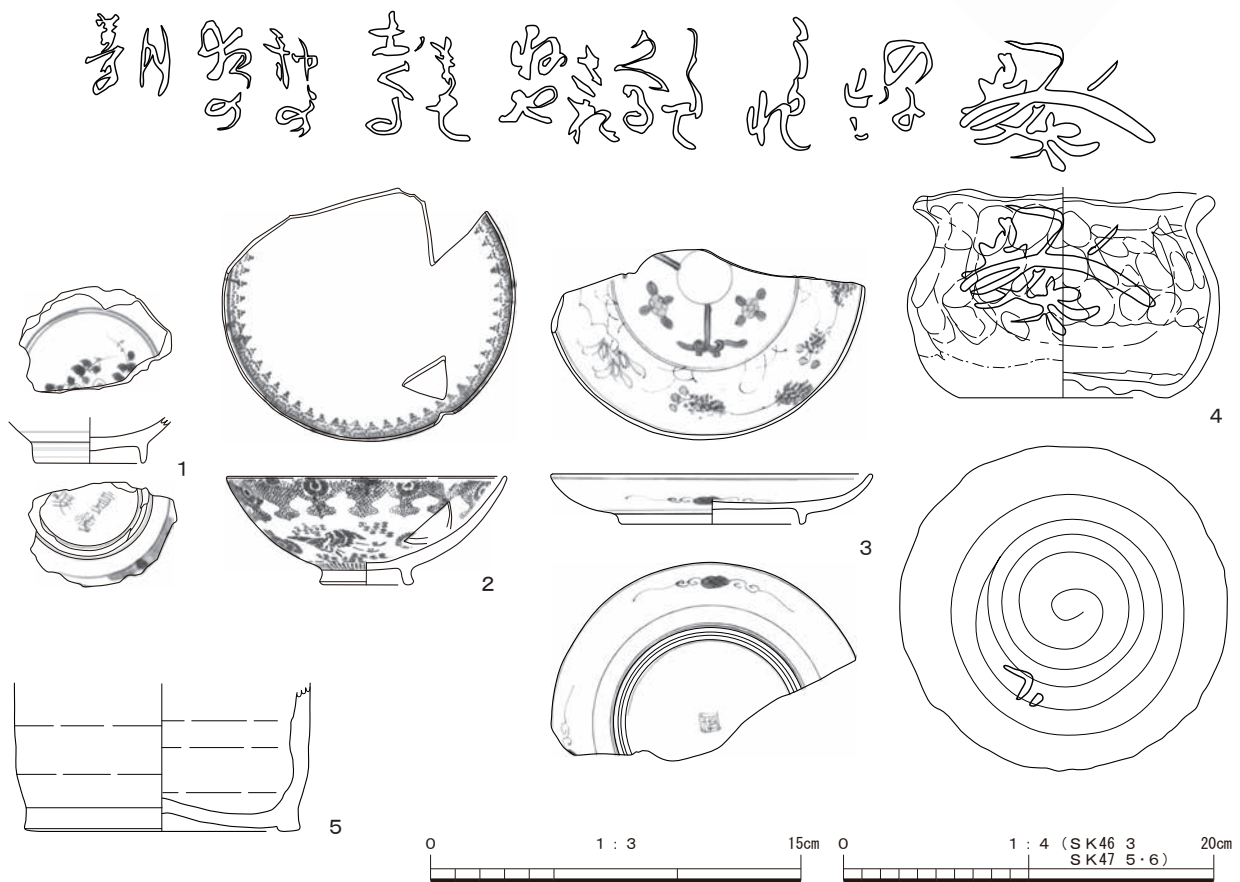
S K 46



S K 47

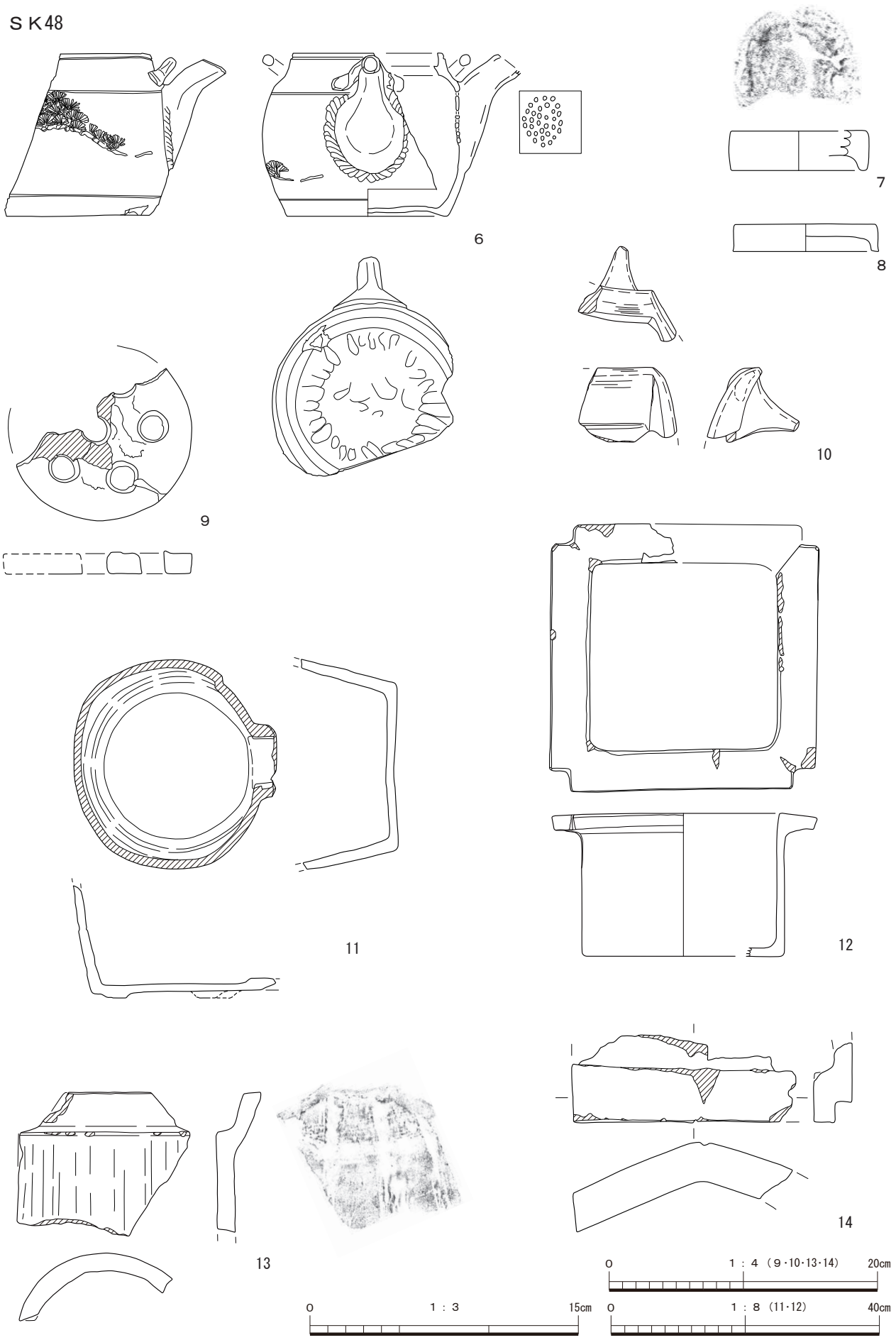


S K 48



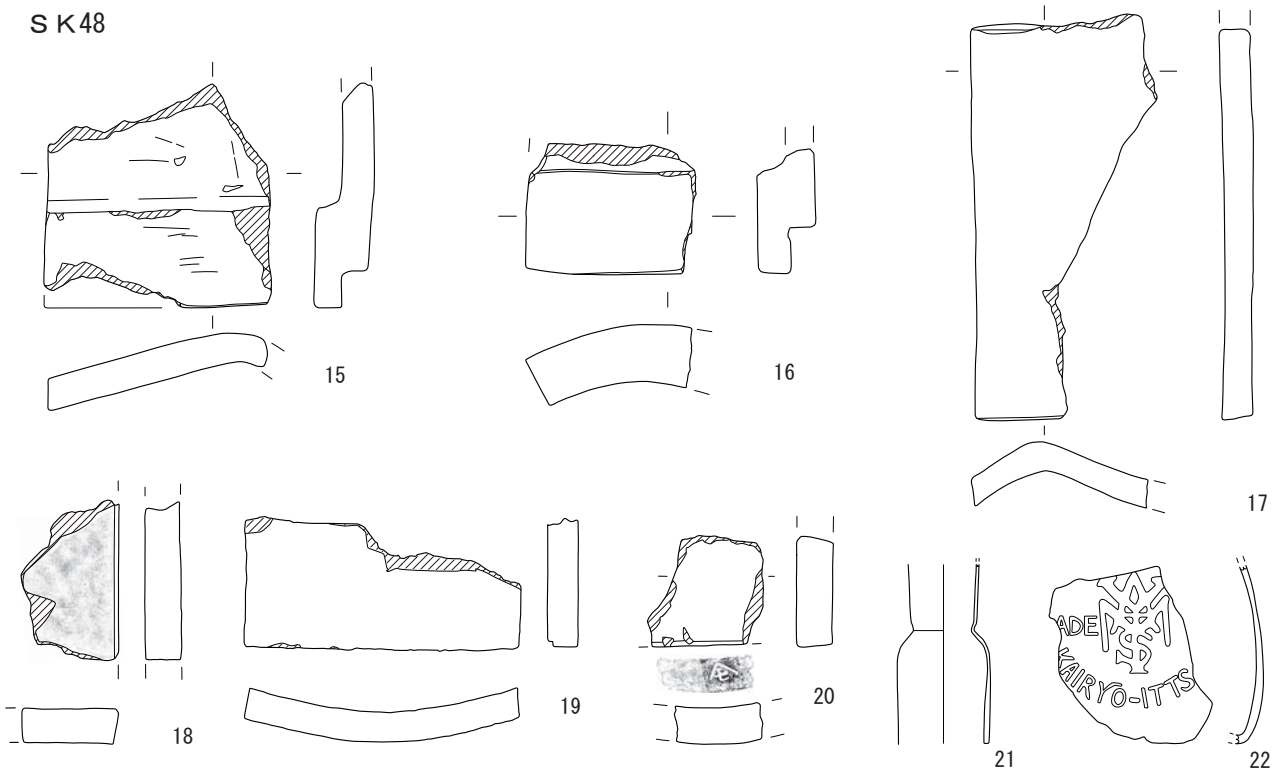
第 88 図 遺構出土遺物 (43) S K 46 ~ S K 48

S K48

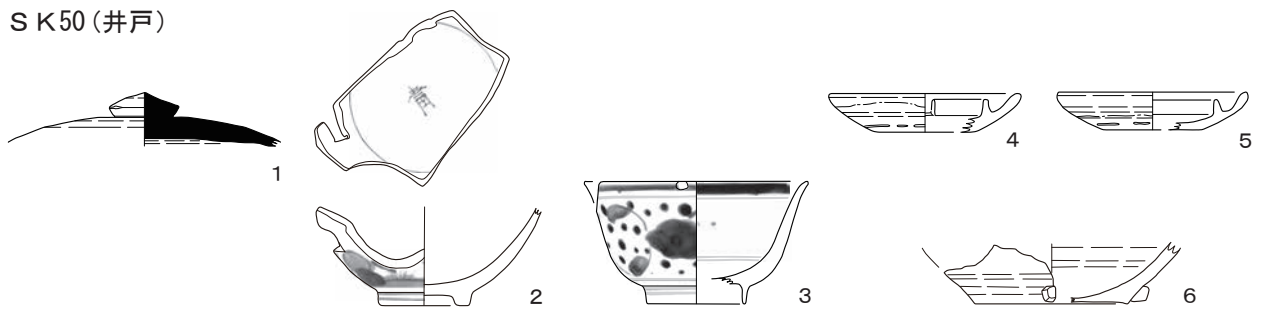


第 89 図 遺構出土遺物 (44) S K48

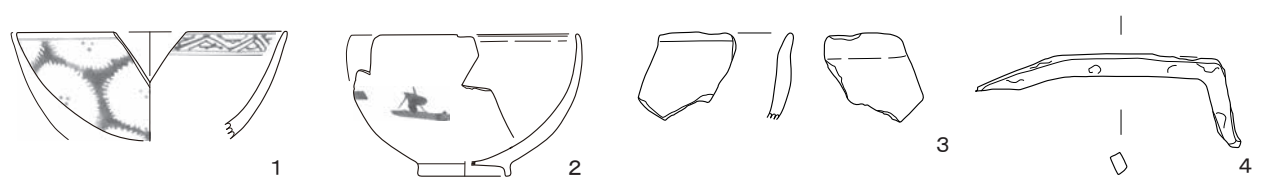
S K 48



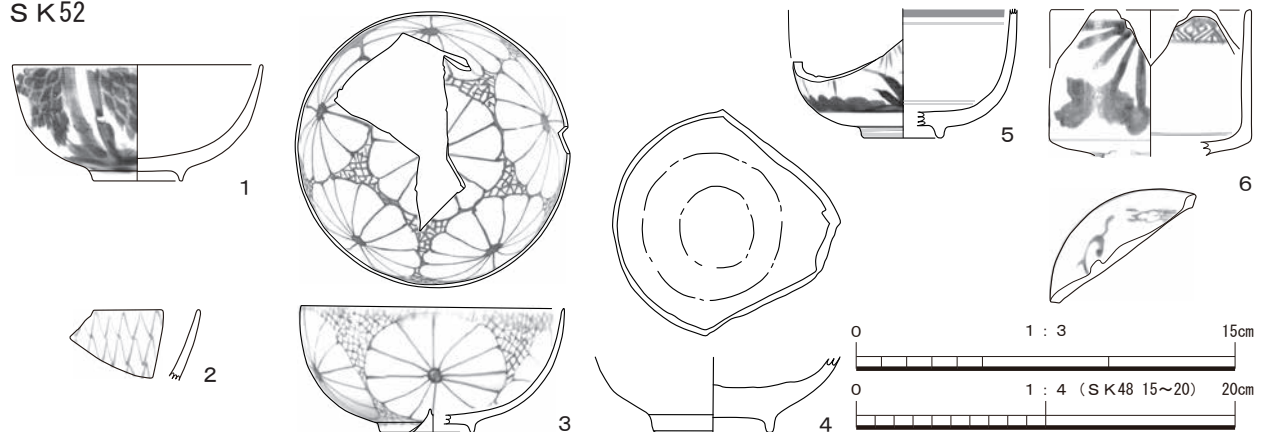
S K 50 (井戸)



S K 51

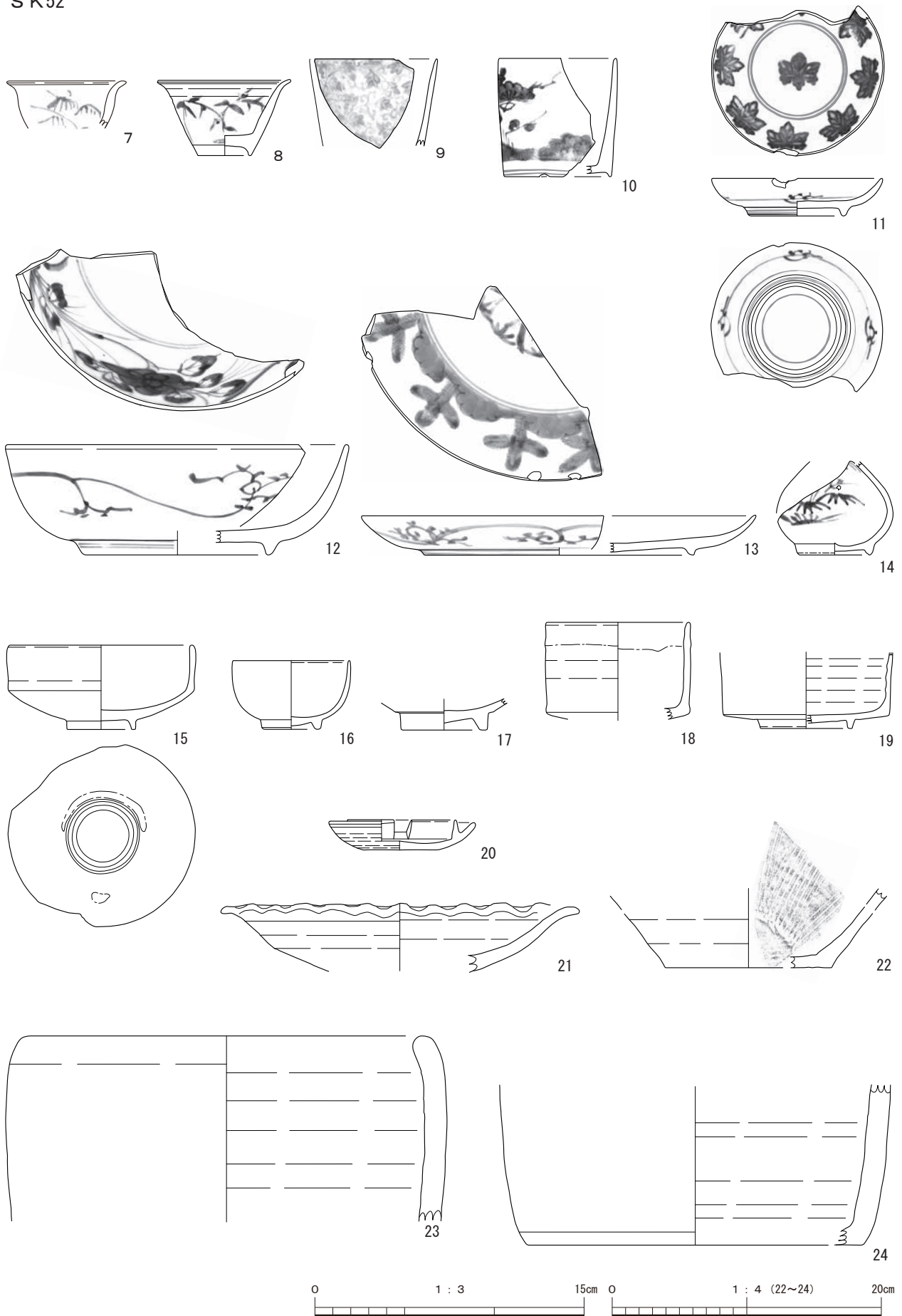


S K 52



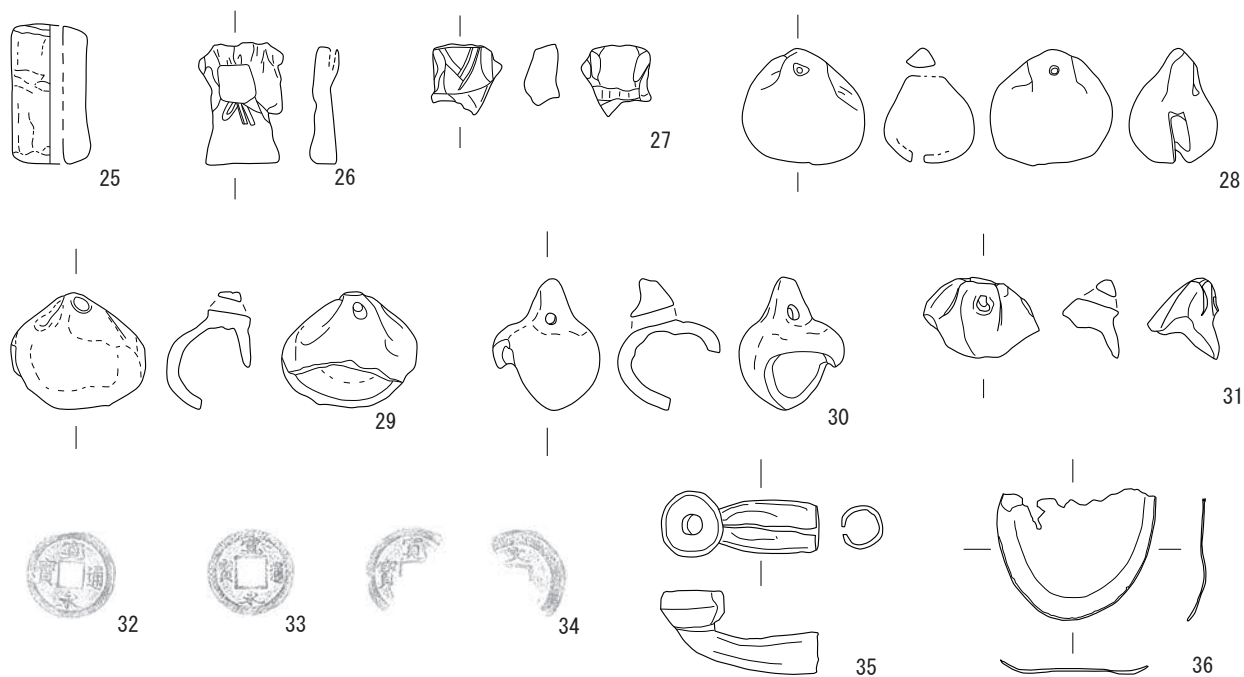
第 90 図 遺構出土遺物 (45) S K 48 ・ S K 50 (井戸) ・ S K 51 ・ S K 52

S K52

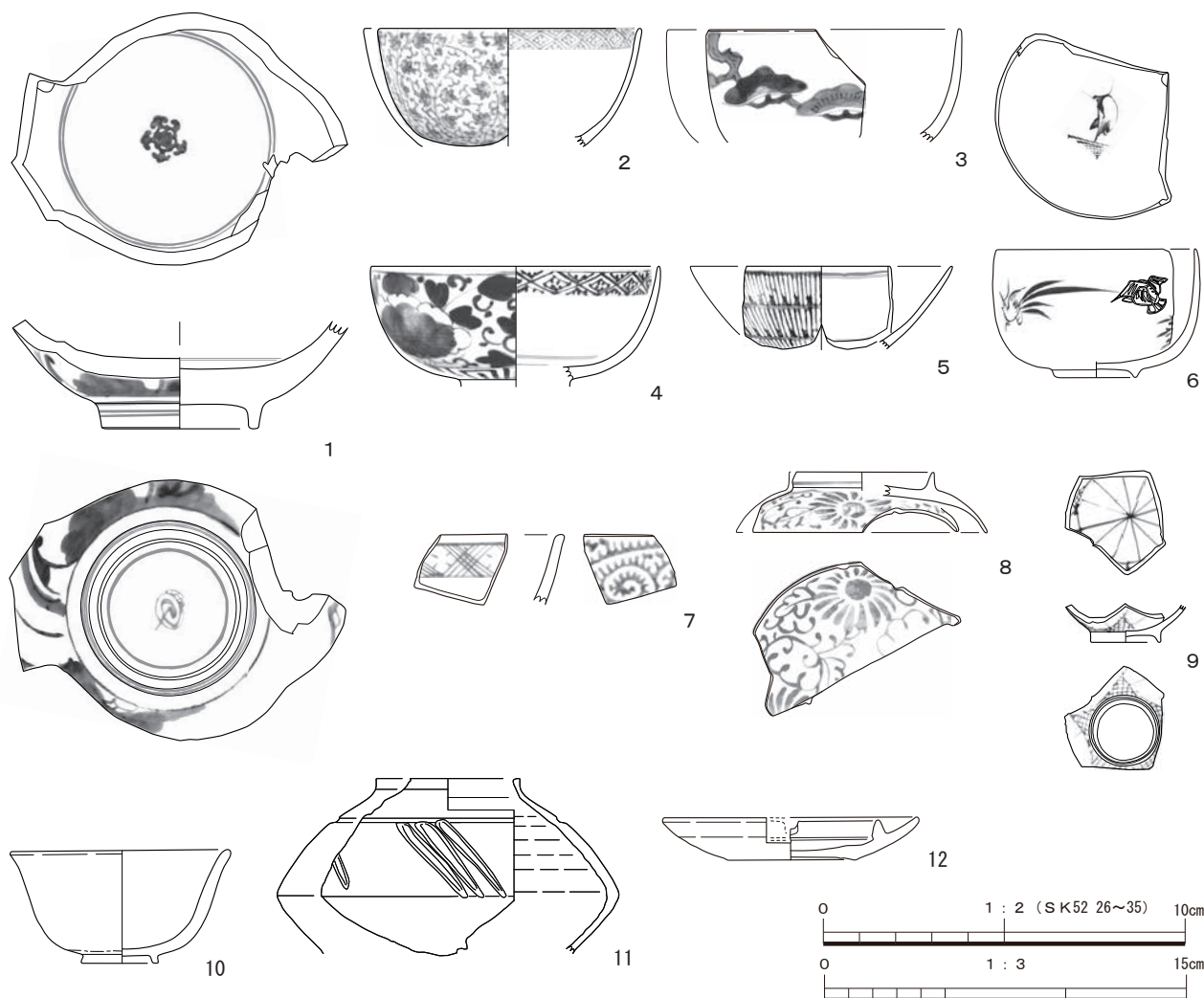


第 91 図 遺構出土遺物 (46) S K52

S K52

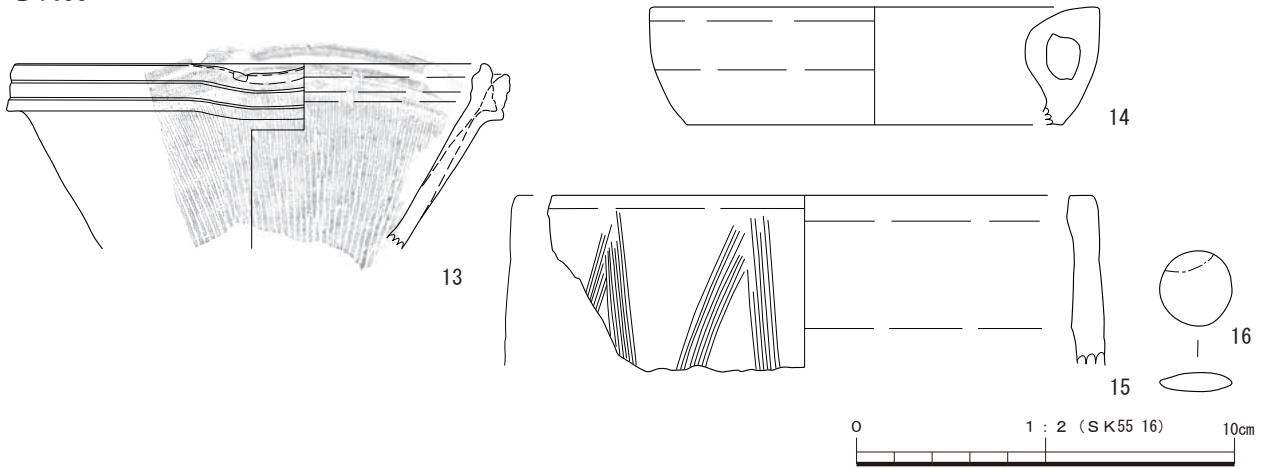


S K55



第 92 図 遺構出土遺物 (47) SK52・SK55

S K55



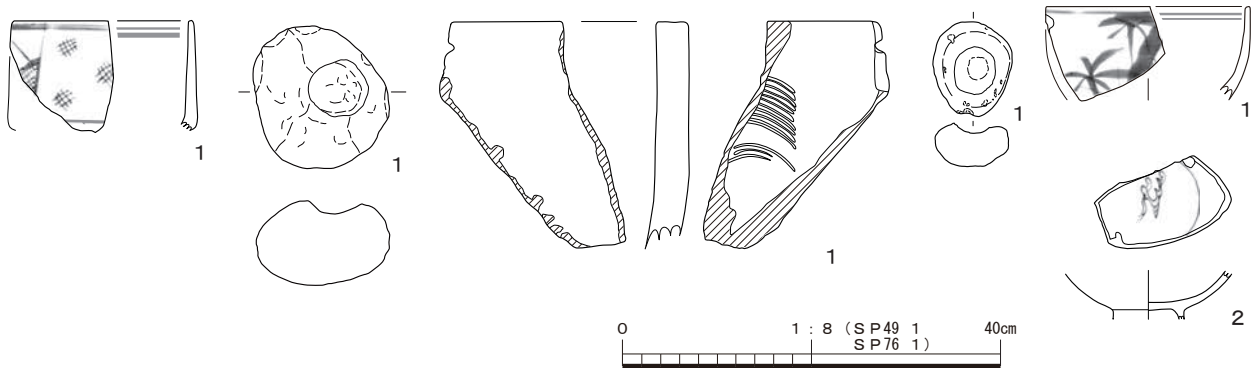
ピット列9

SP49

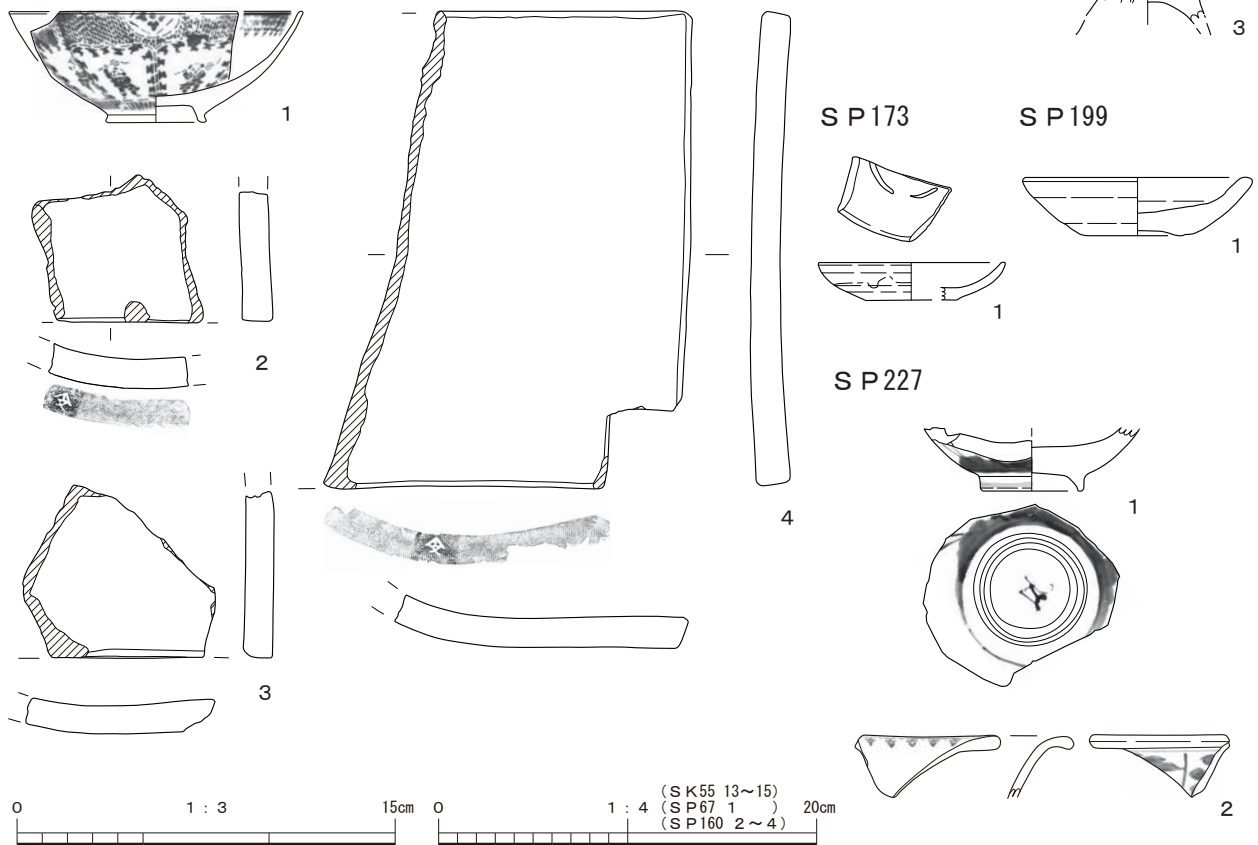
SP67

SP76

SP97

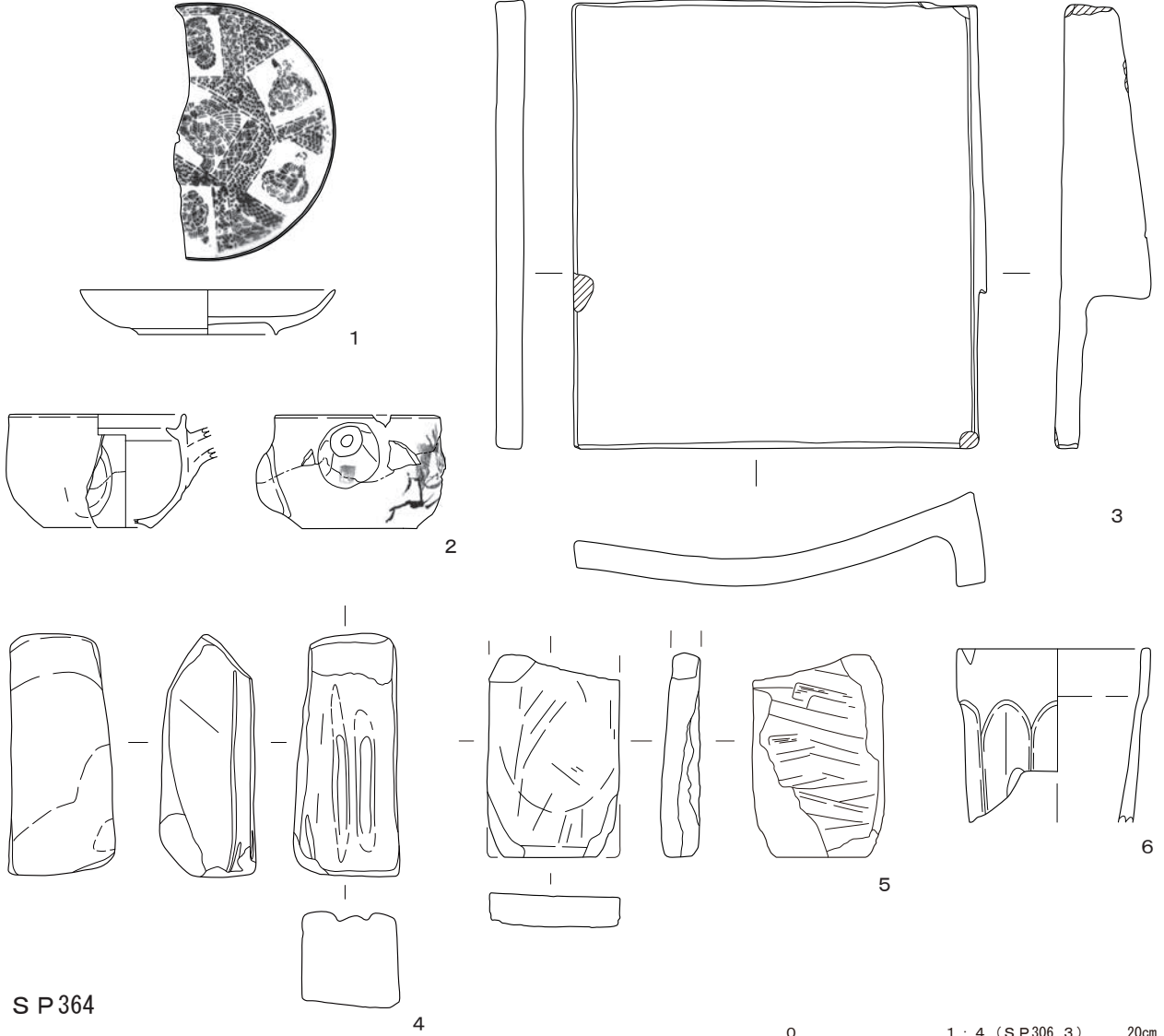


SP160

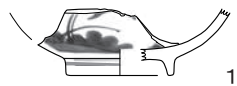


第93図 遺構出土遺物(48) SK55・ピット列9・ピット

SP306

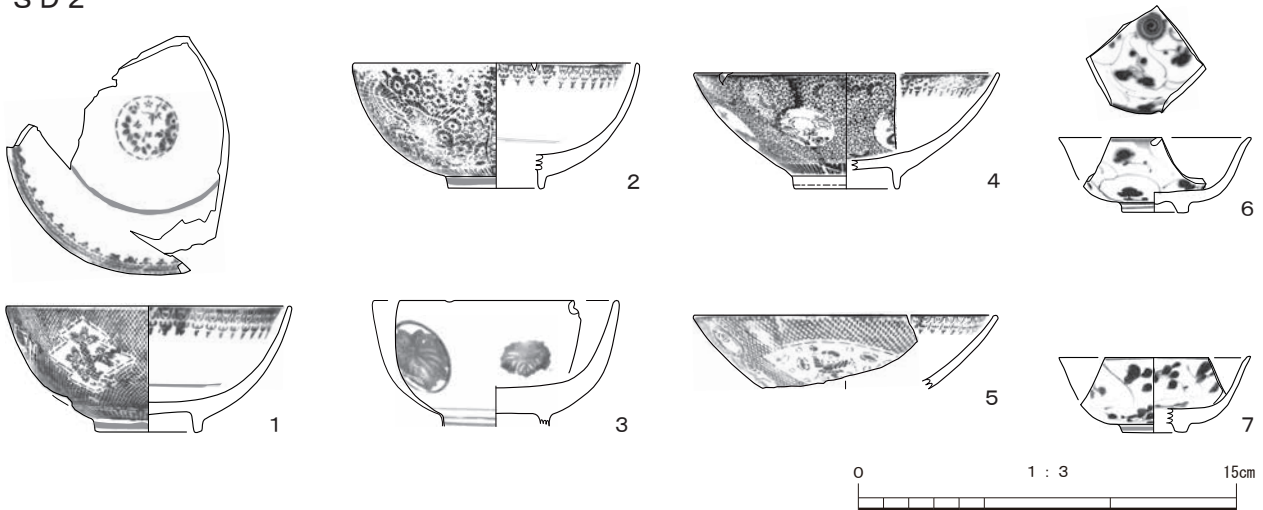


SP364



0 1 : 4 (SP306 3) 20cm

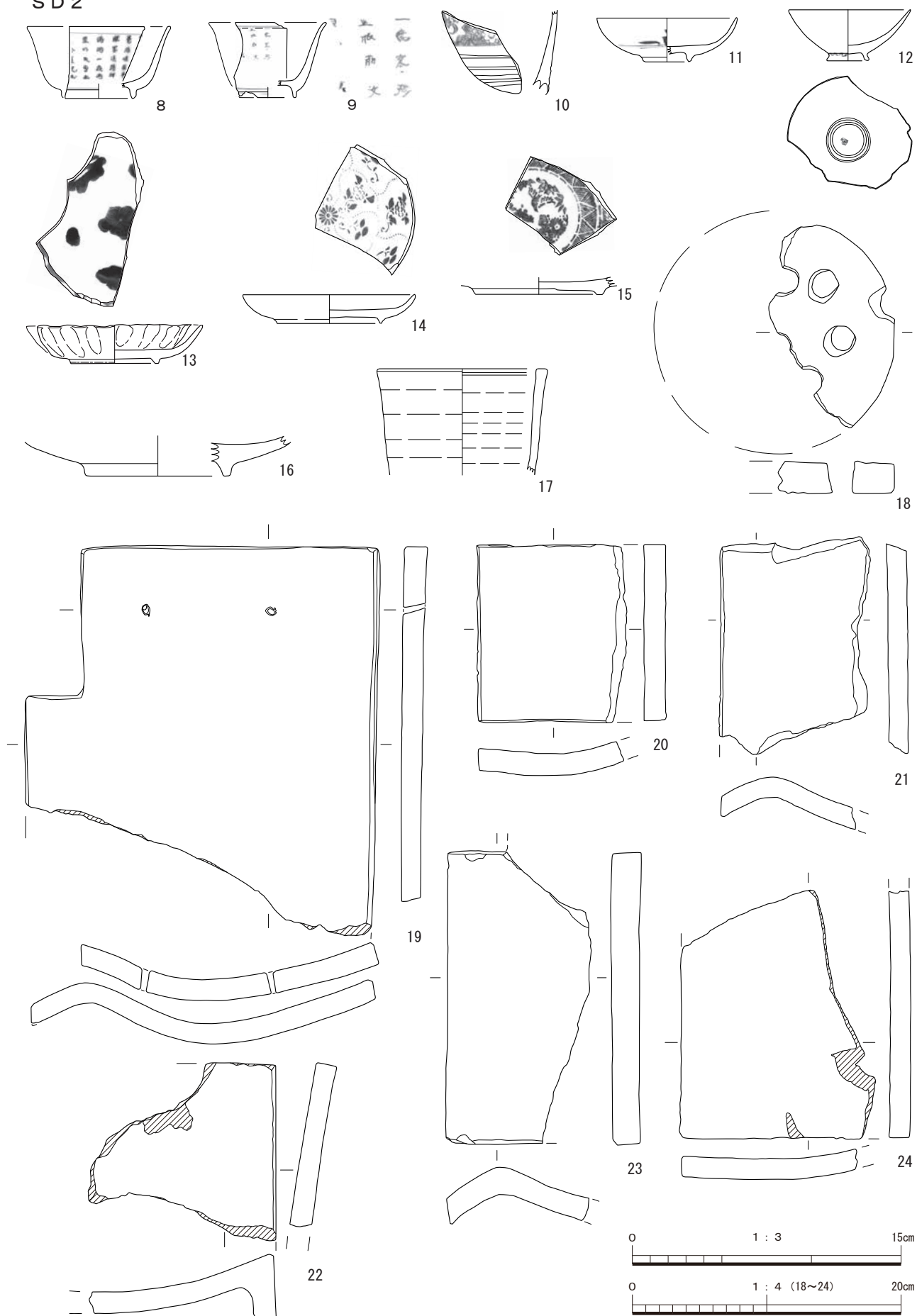
SD2



0 1 : 3 15cm

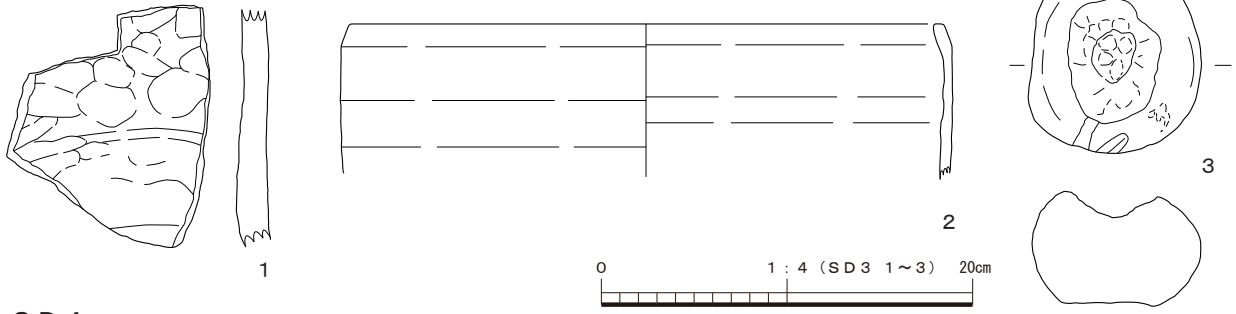
第94図 遺構出土遺物(49) ピット・SD2

SD 2

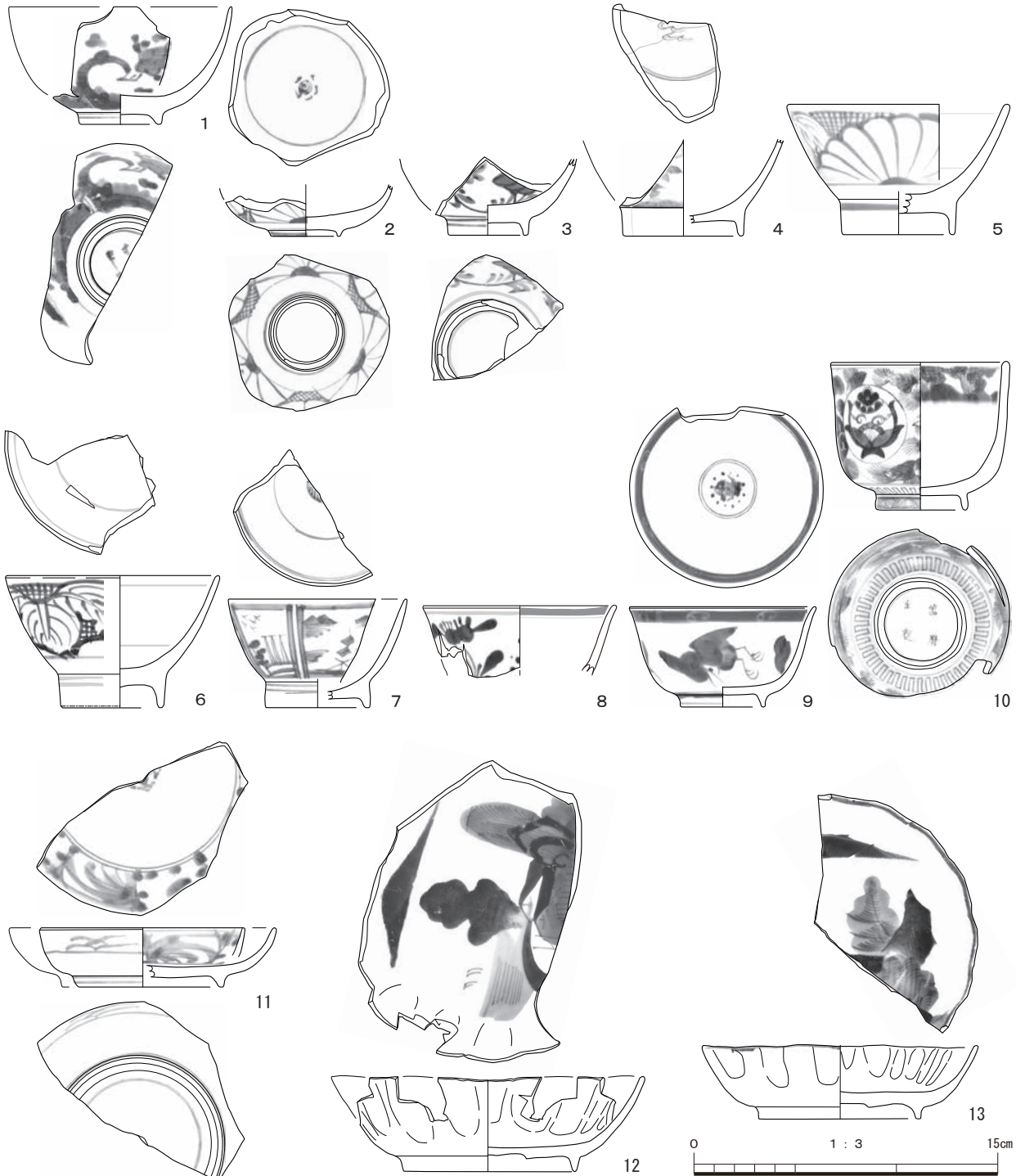


第 95 図 遺構出土遺物 (50) SD 2

SD 3

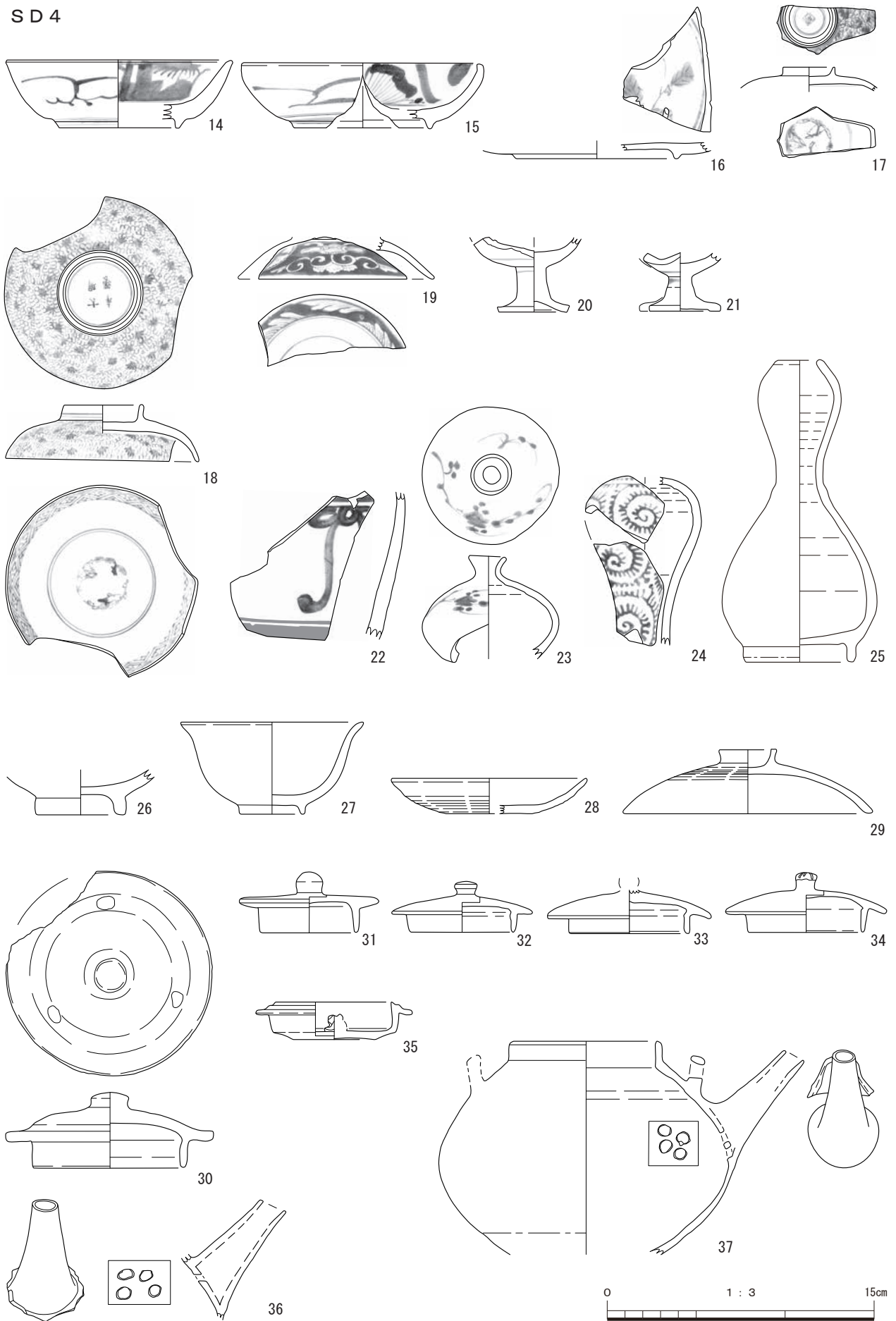


SD 4



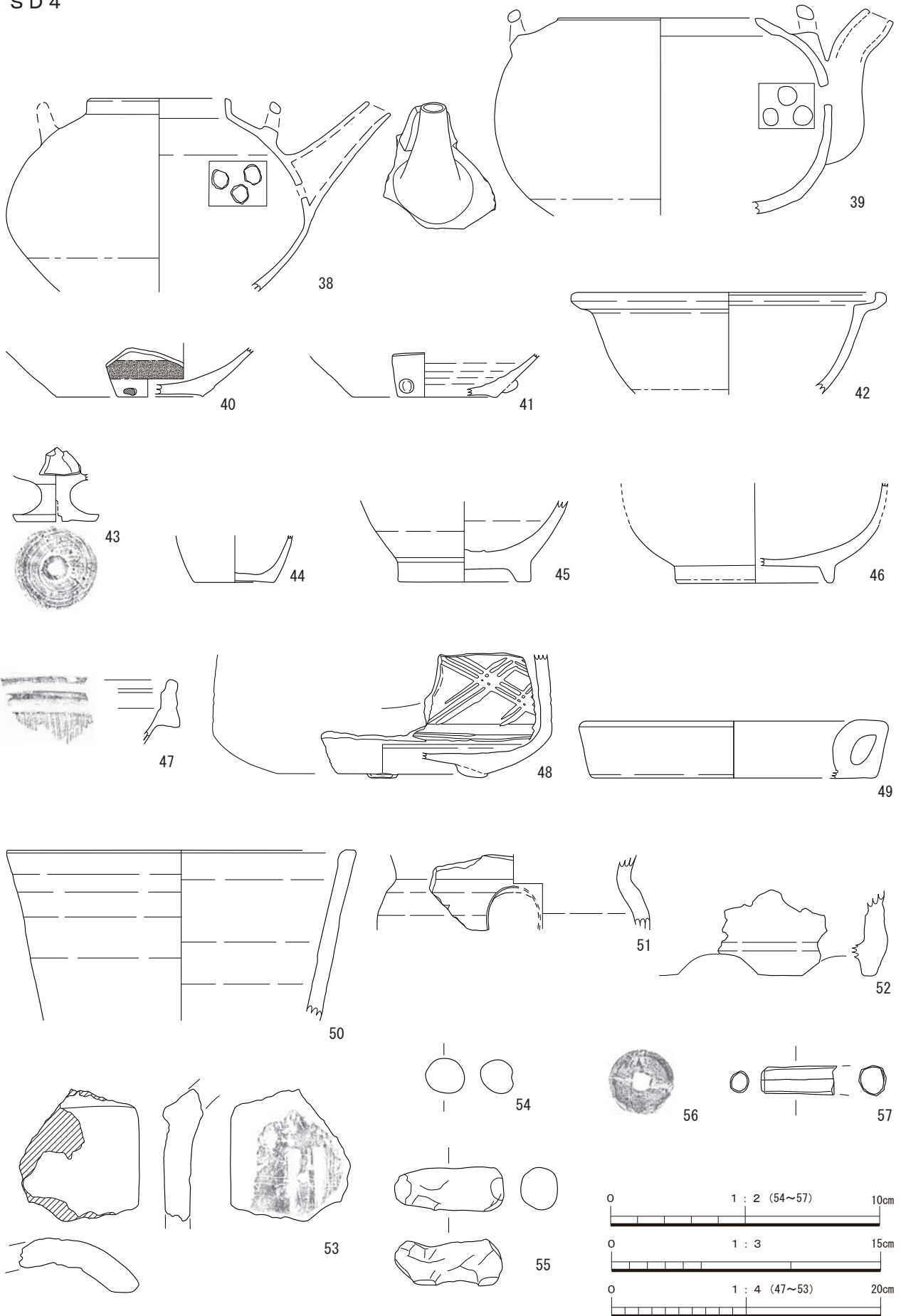
第 96 図 遺構出土遺物 (51) SD 3・SD 4

SD 4



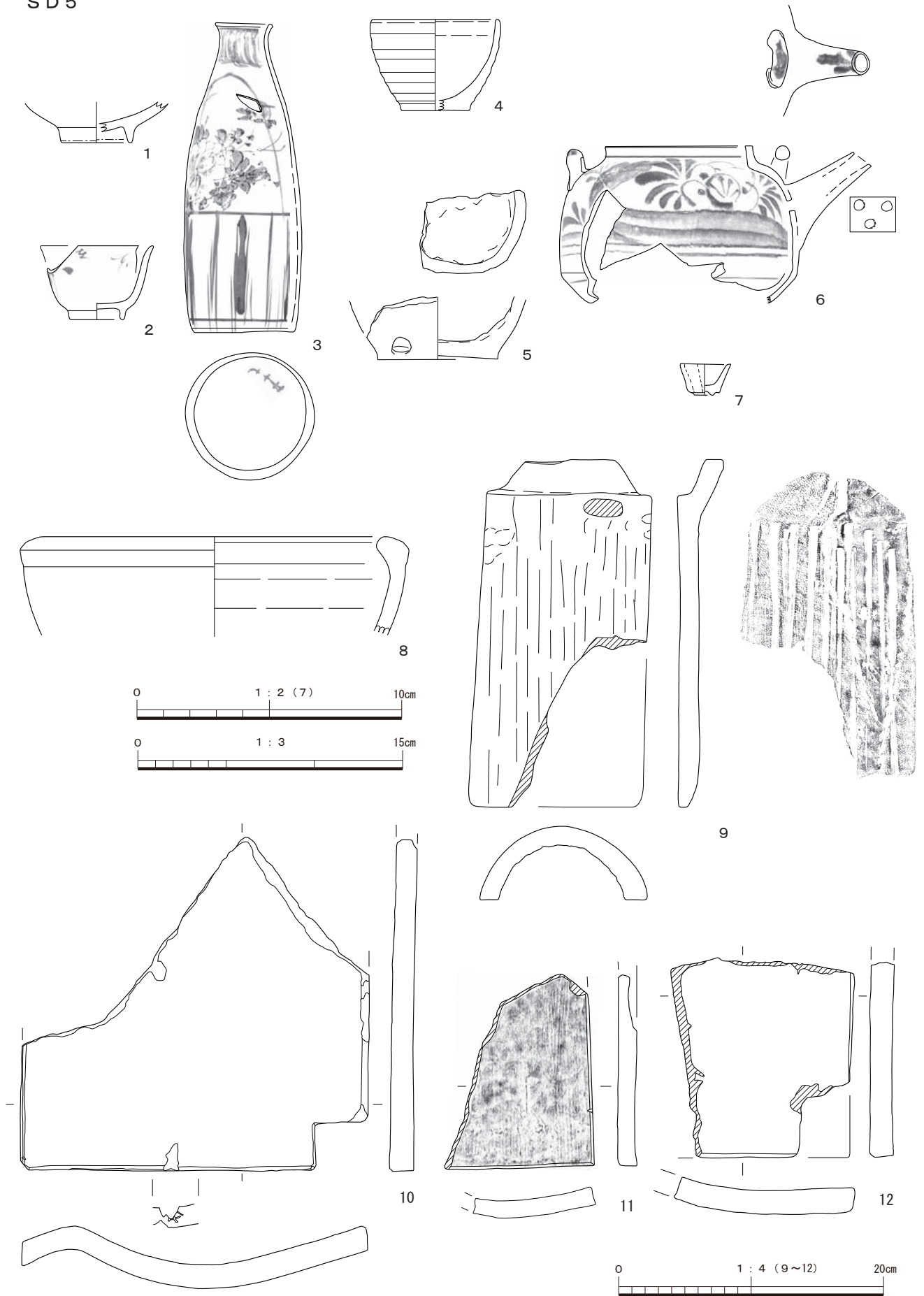
第 97 図 遺構出土遺物 (52) SD 4

SD 4



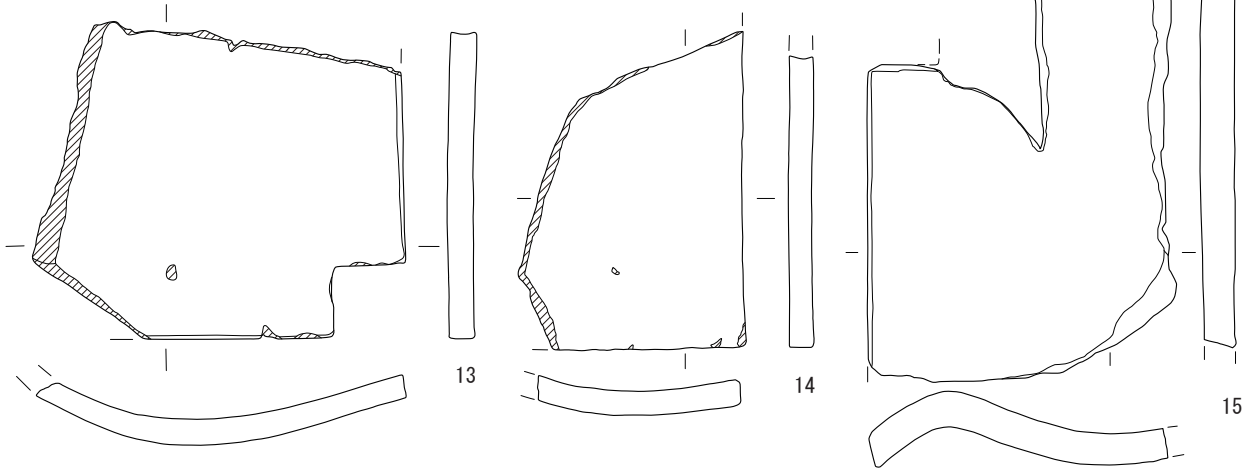
第 98 図 遺構出土遺物 (53) SD 4

SD 5

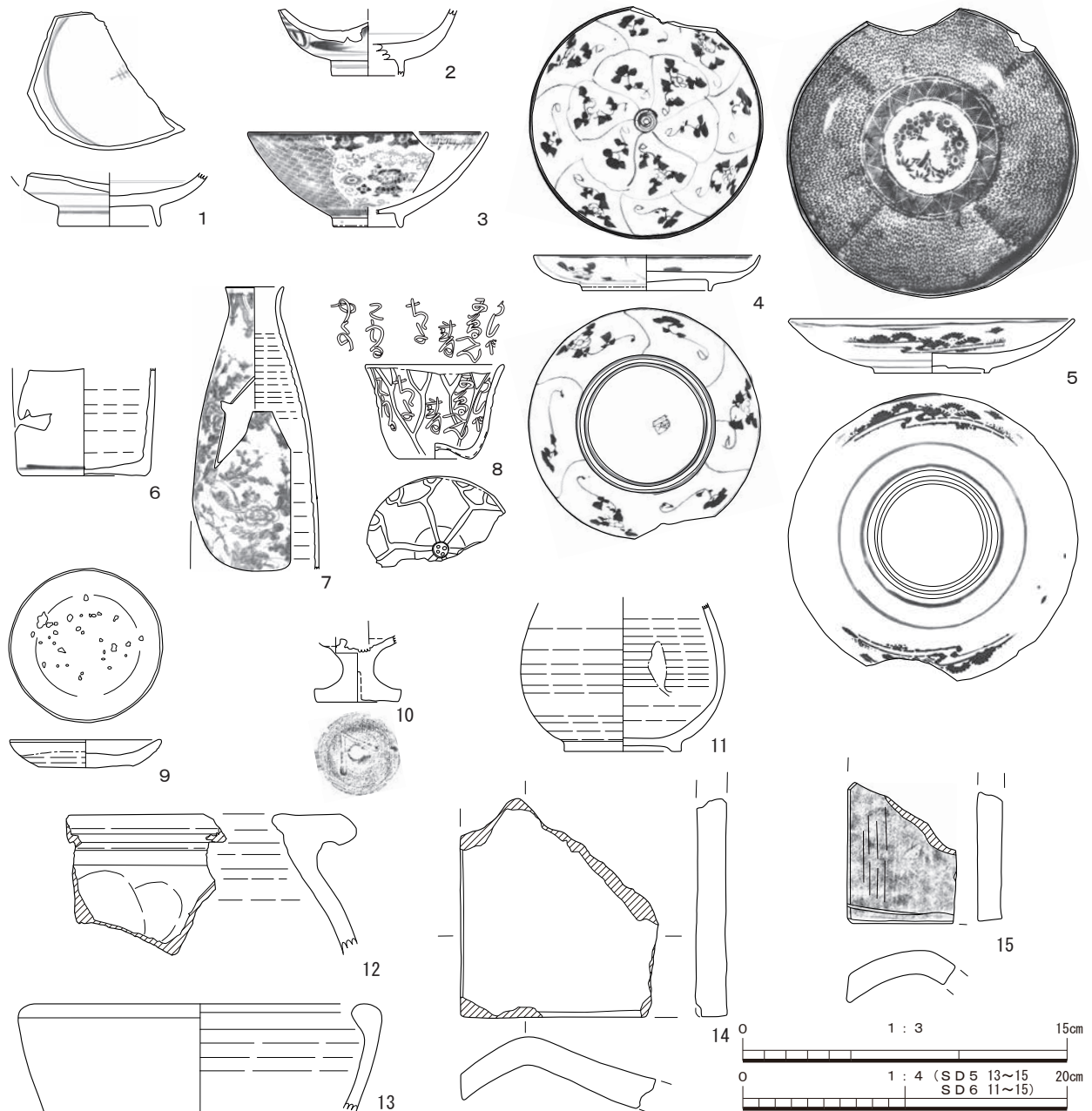


第 99 図 遺構出土遺物 (54) SD 5

SD 5

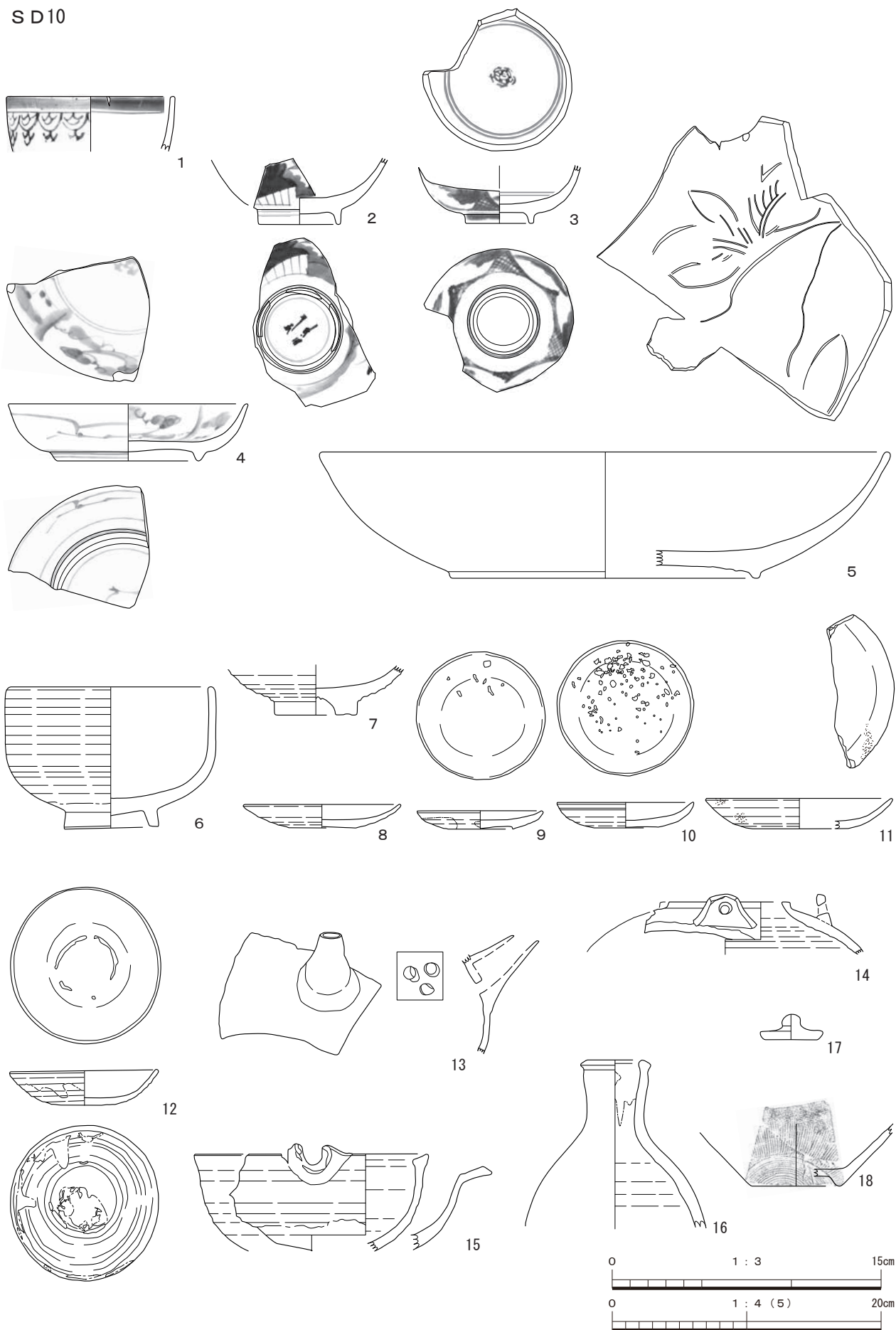


SD 6



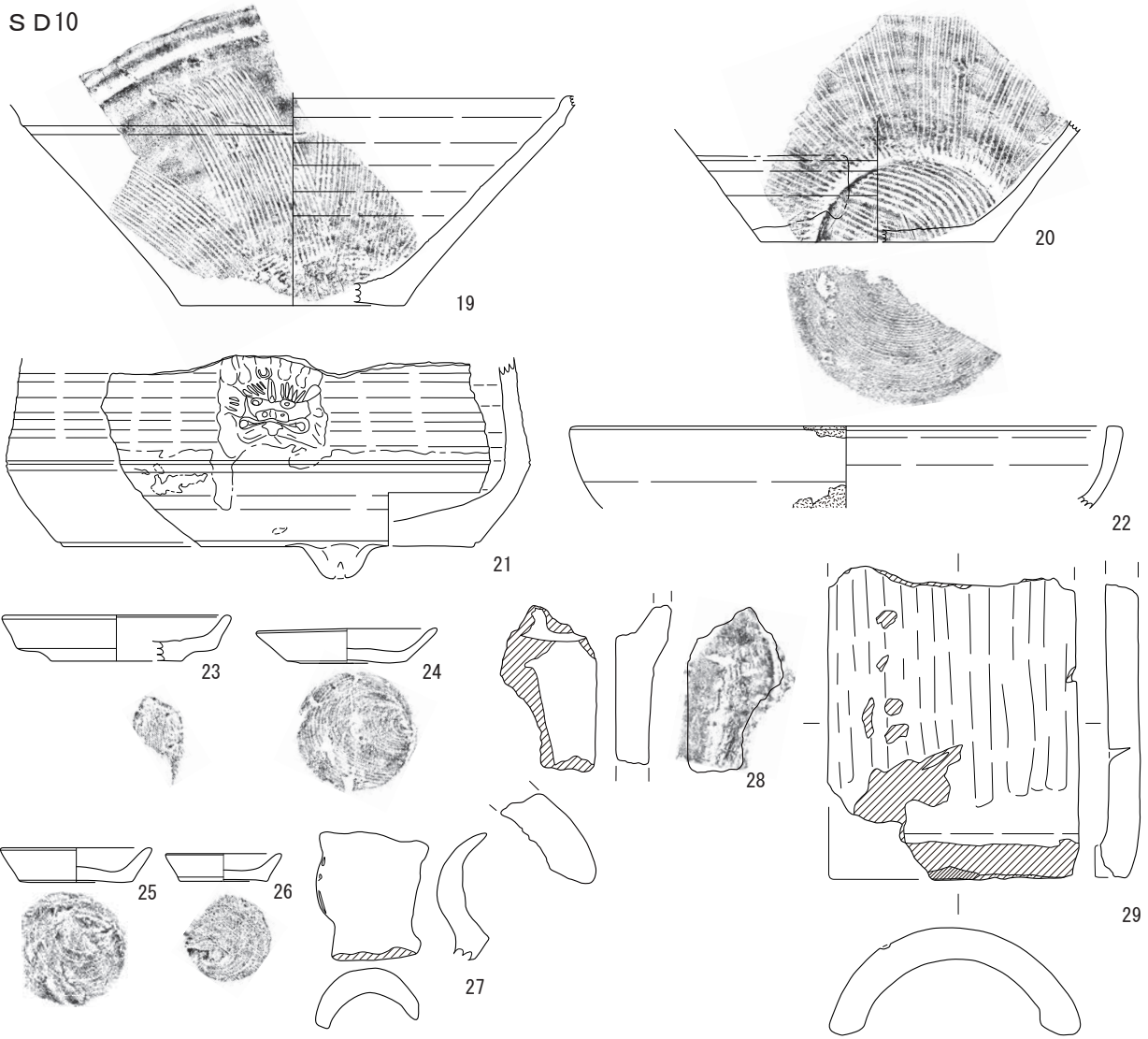
第 100 図 遺構出土遺物 (55) SD 5・SD 6

SD10

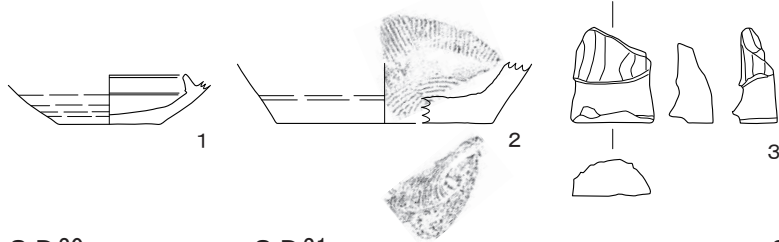


第 101 図 遺構出土遺物 (56) SD10

SD10



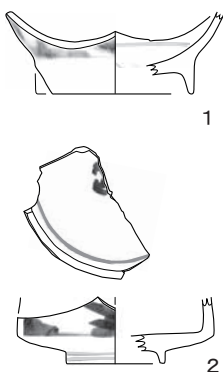
SD11



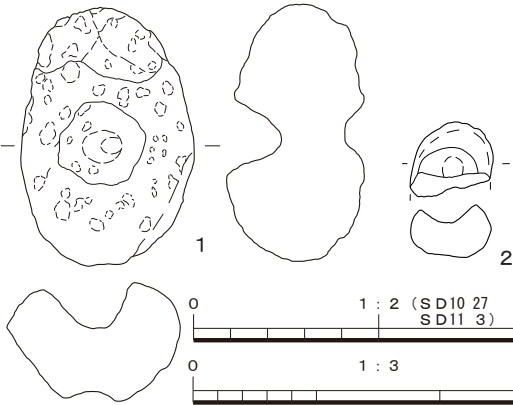
SD19



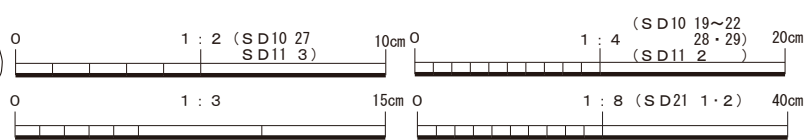
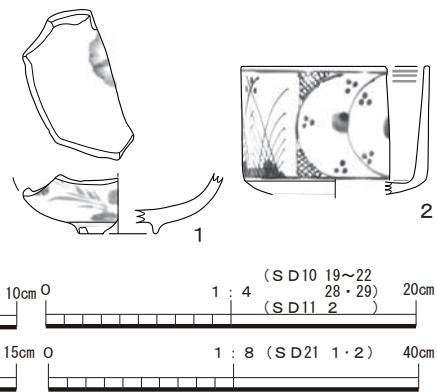
SD20



SD21

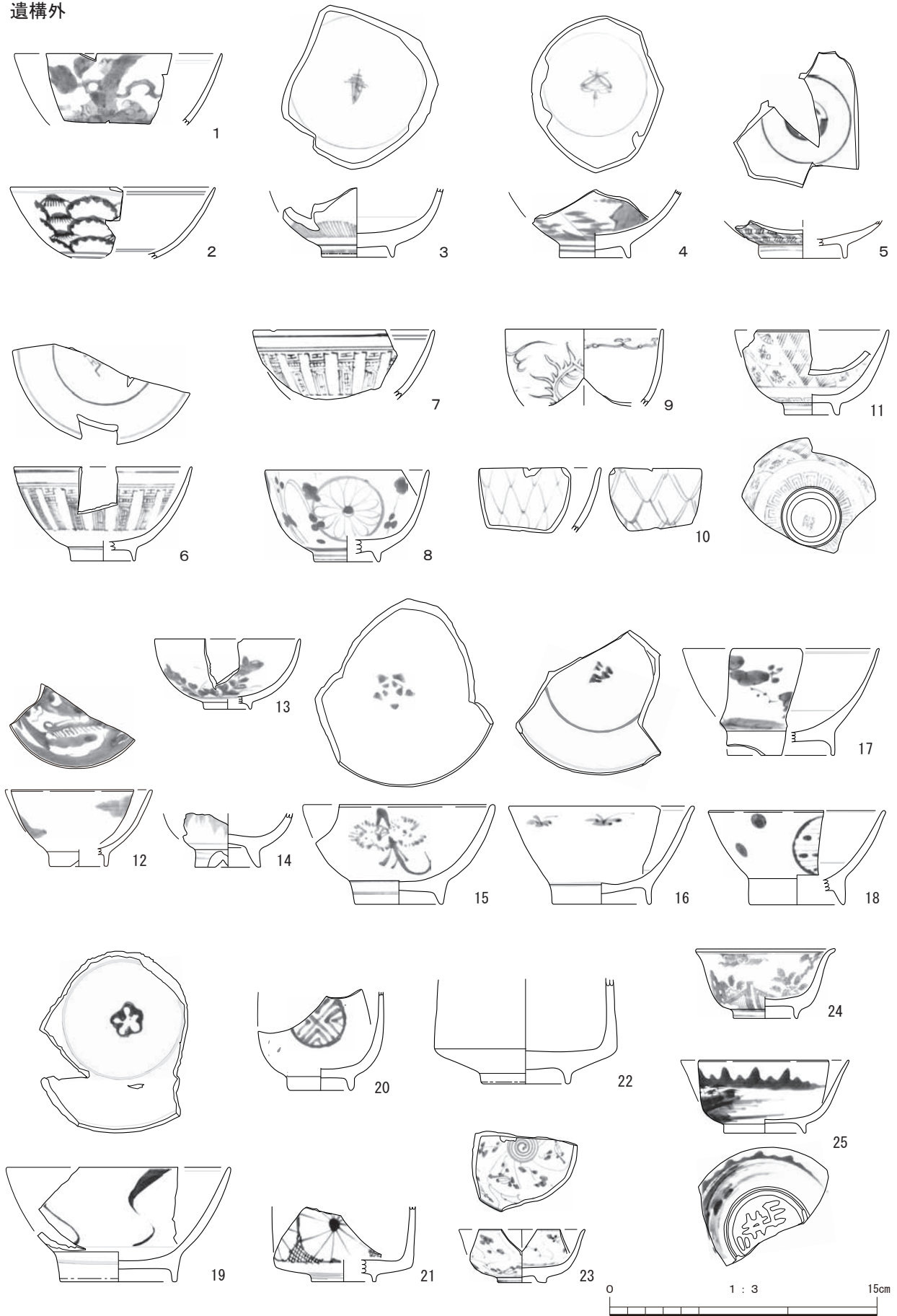


SD23



第102図 遺構出土遺物 (57) SD10・SD11・SD19・SD20・SD21・SD23

遺構外



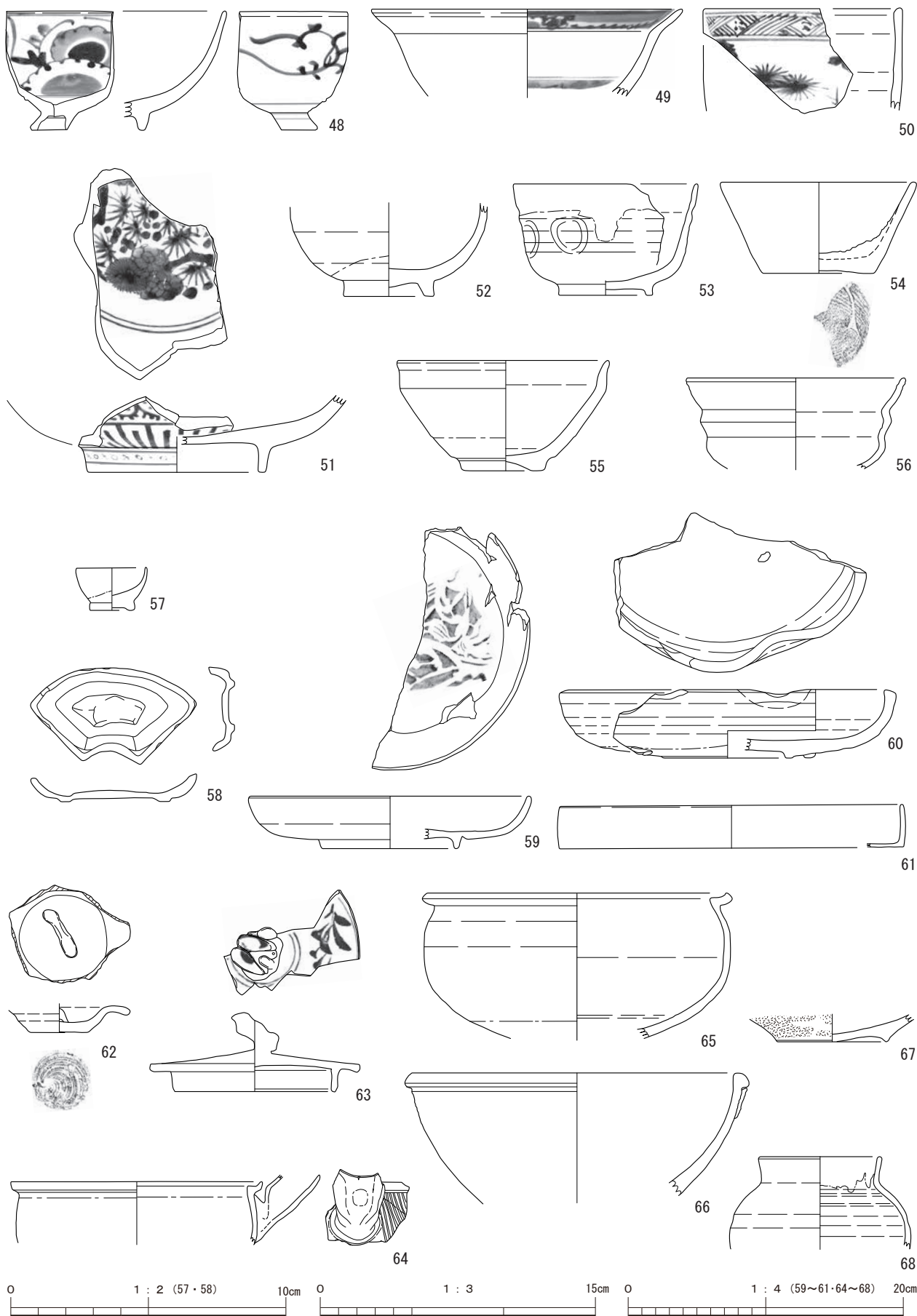
第 103 図 遺構外出土遺物 (1)

遺構外



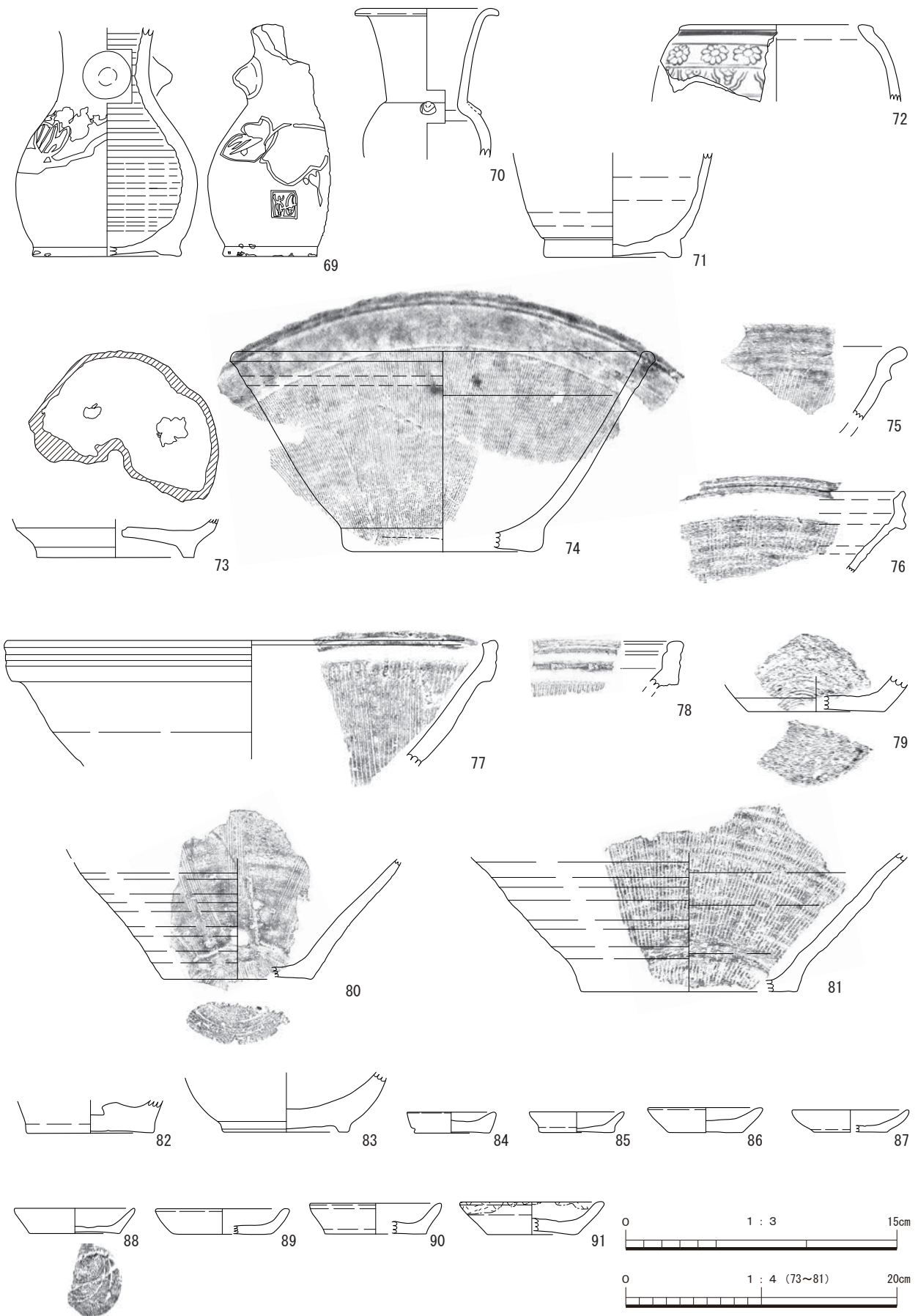
第 104 図 遺構外出土遺物 (2)

遺構外



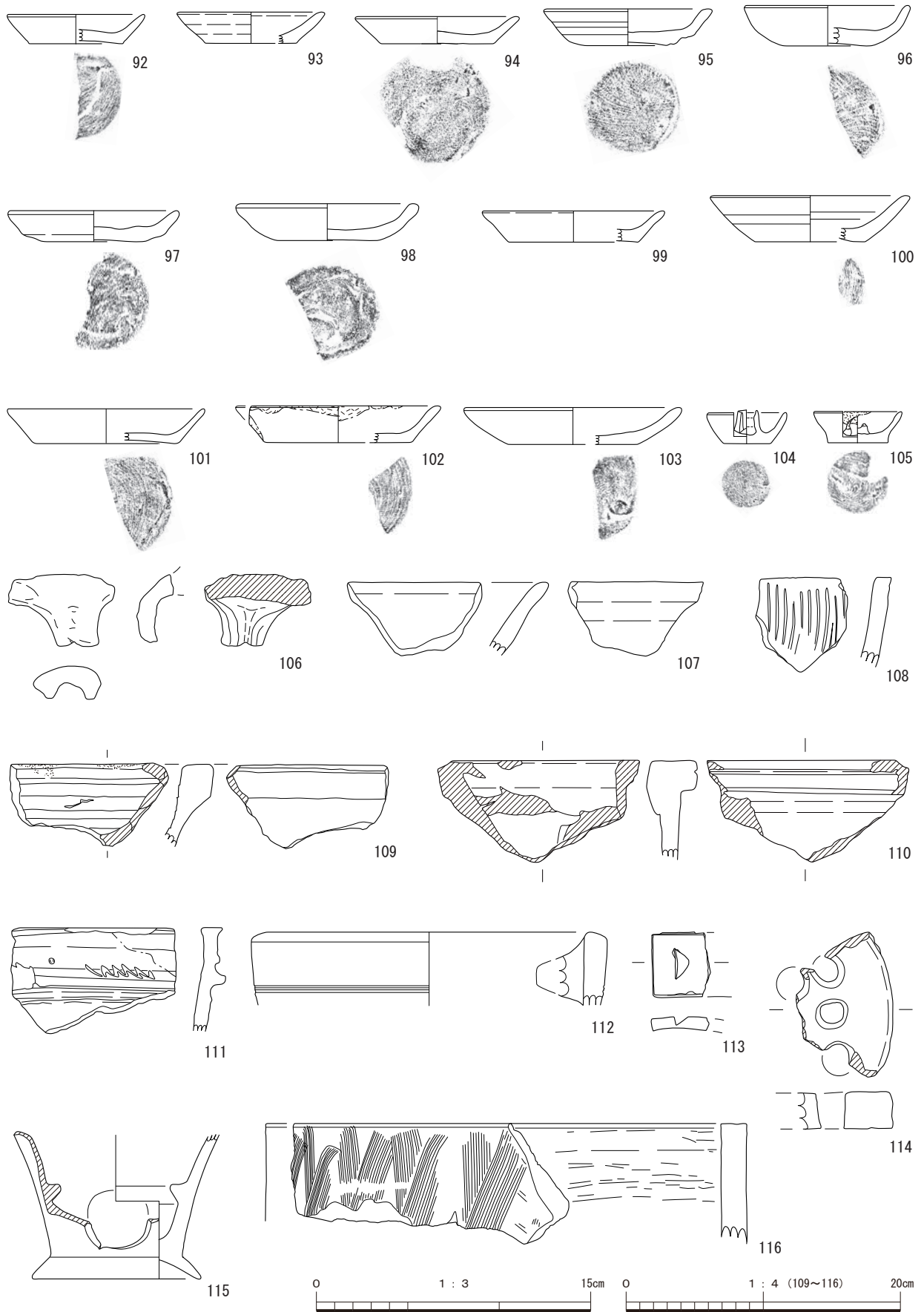
第 105 図 遺構外出土遺物 (3)

遺構外



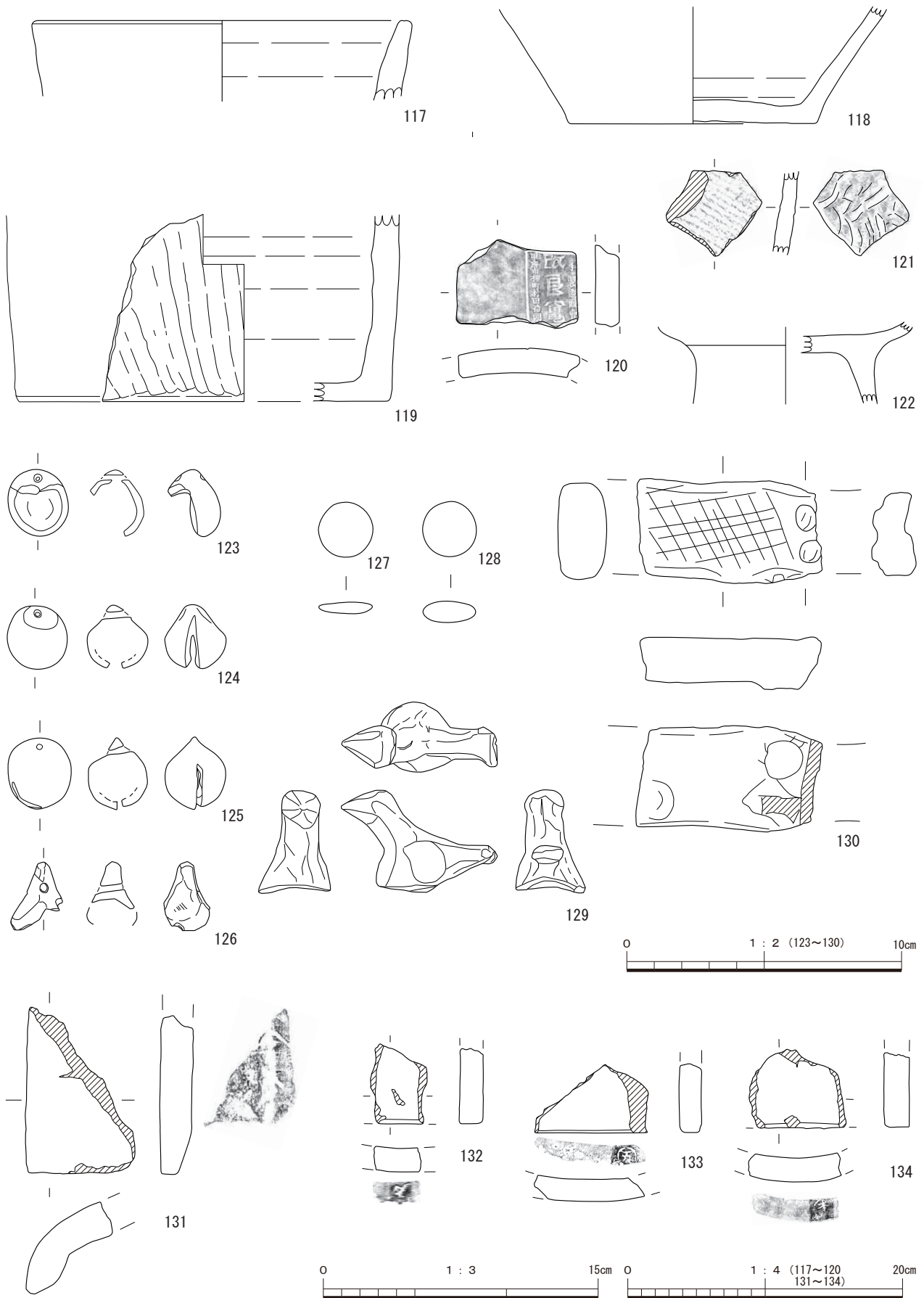
第106図 遺構外出土遺物(4)

遺構外



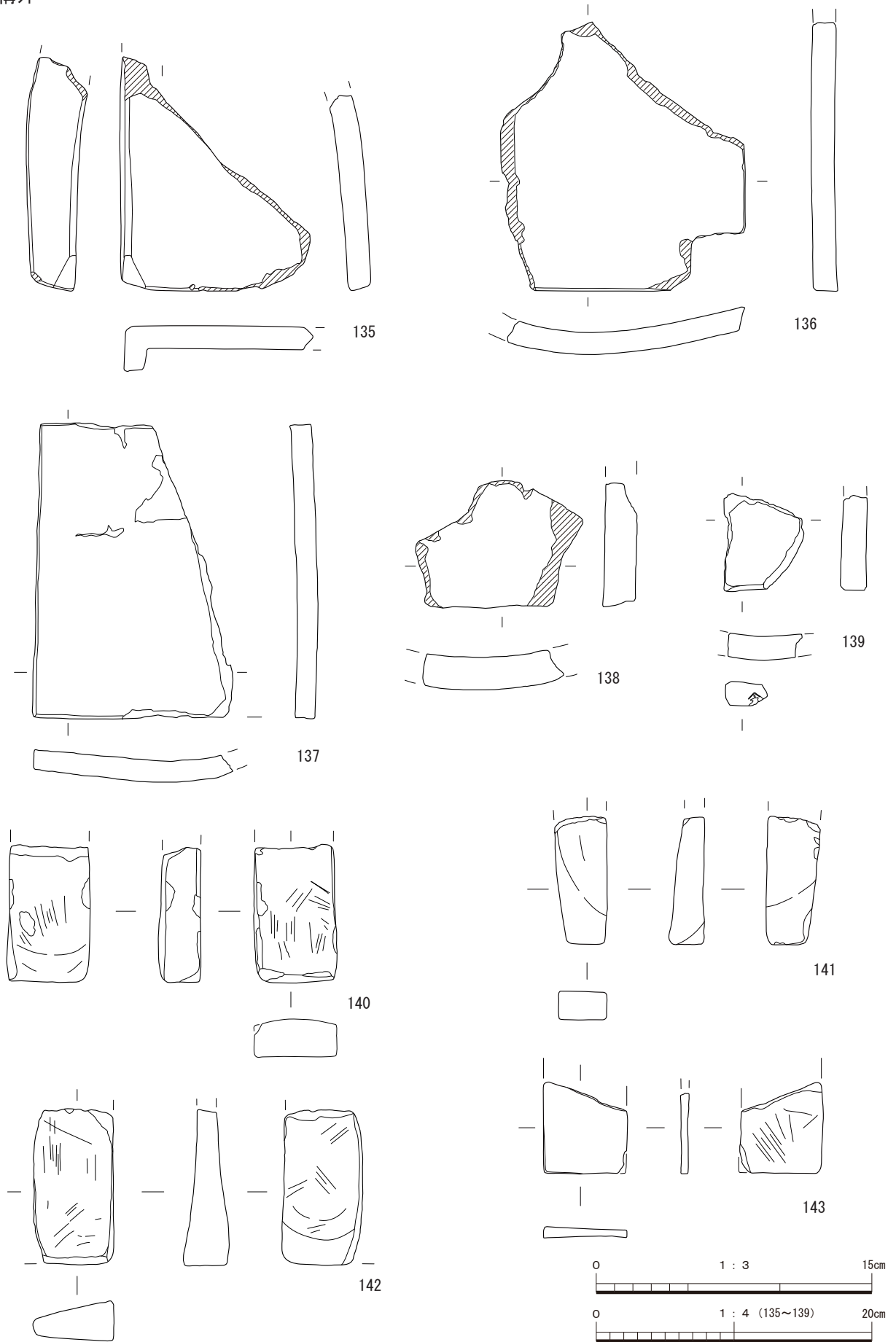
第 107 図 遺構外出土遺物 (5)

遺構外



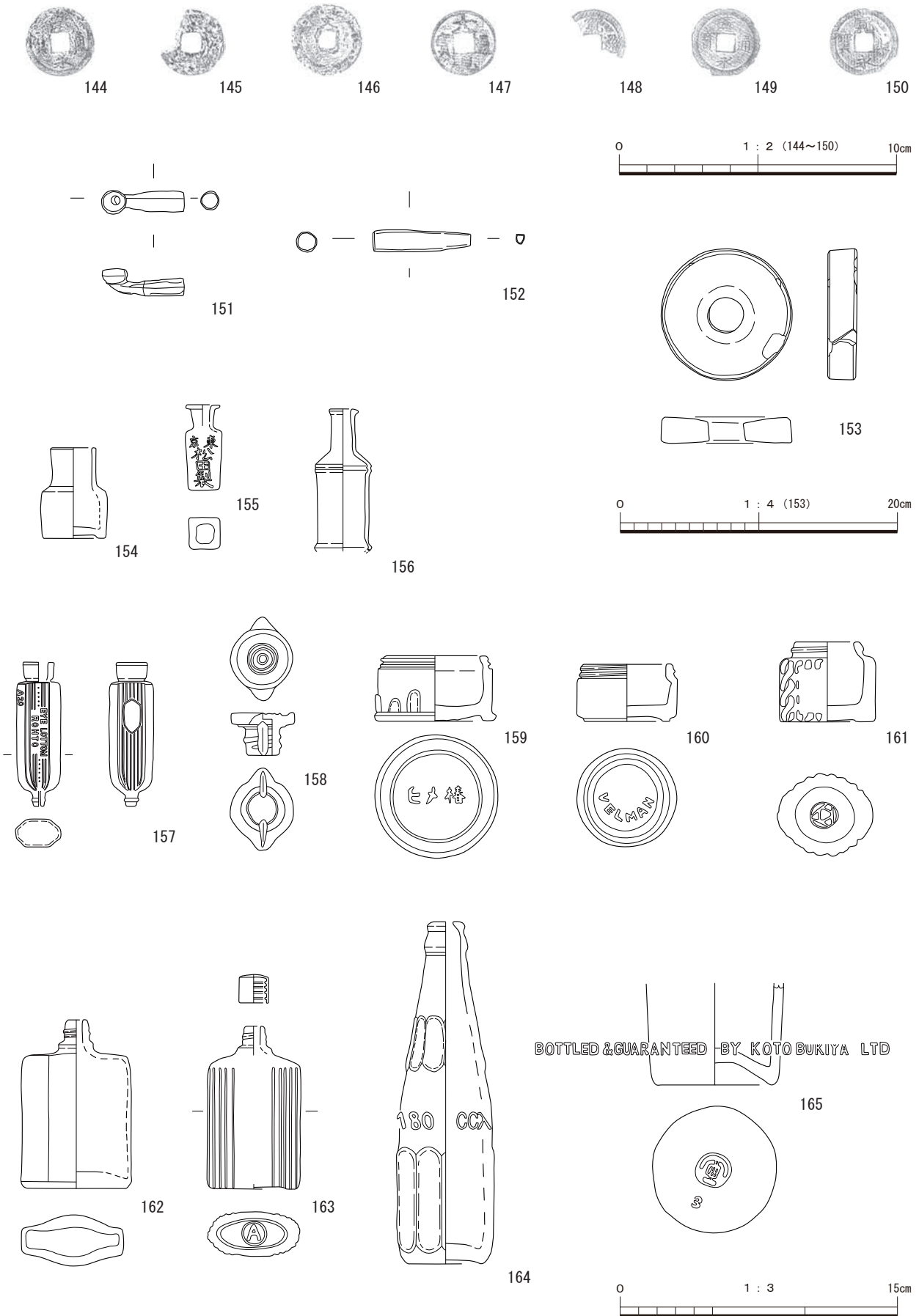
第 108 図 遺構外出土遺物 (6)

遺構外



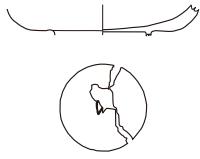
第 109 図 遺構外出土遺物 (7)

遺構外

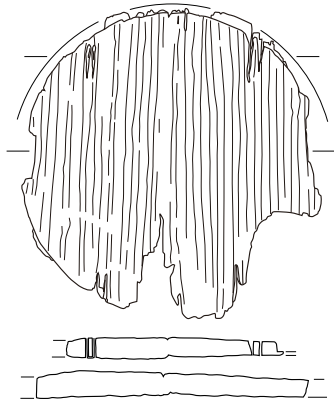


第 110 図 遺構外出土遺物 (8)

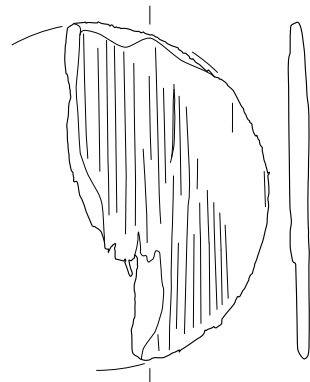
SX 1



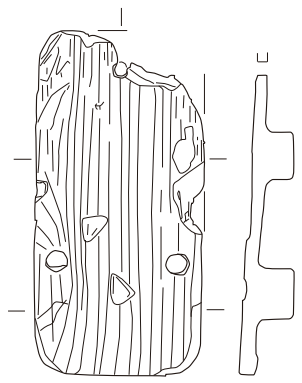
336



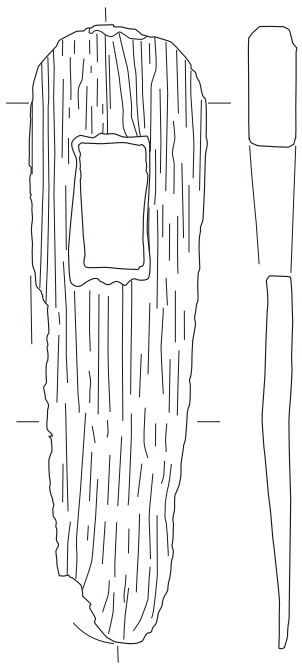
337



338



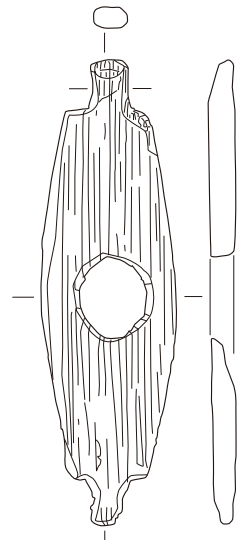
339



340



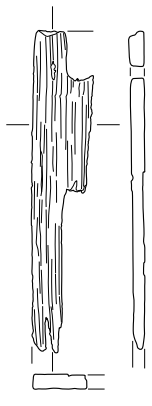
341



342



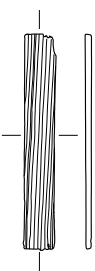
343



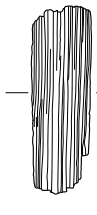
344



345

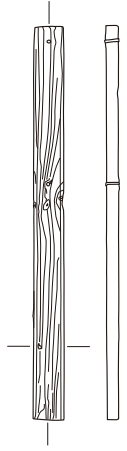


346



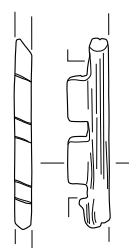
347

SK 3 (井戸)

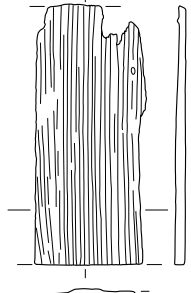


17

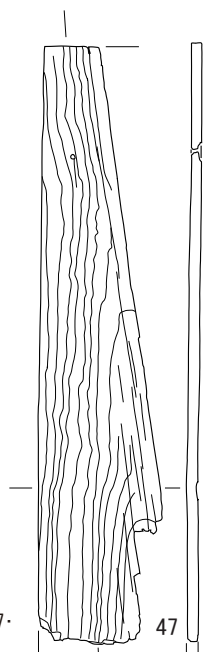
SK 18



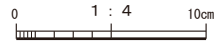
45



46



47

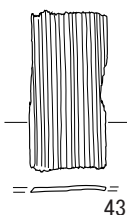


※SK18No.45は1/2、SX1No.343~347、SK18No.17・42・43・46・No.47は1/8

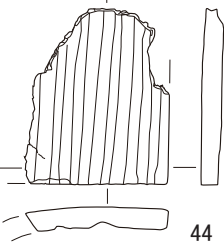
SK 18



42

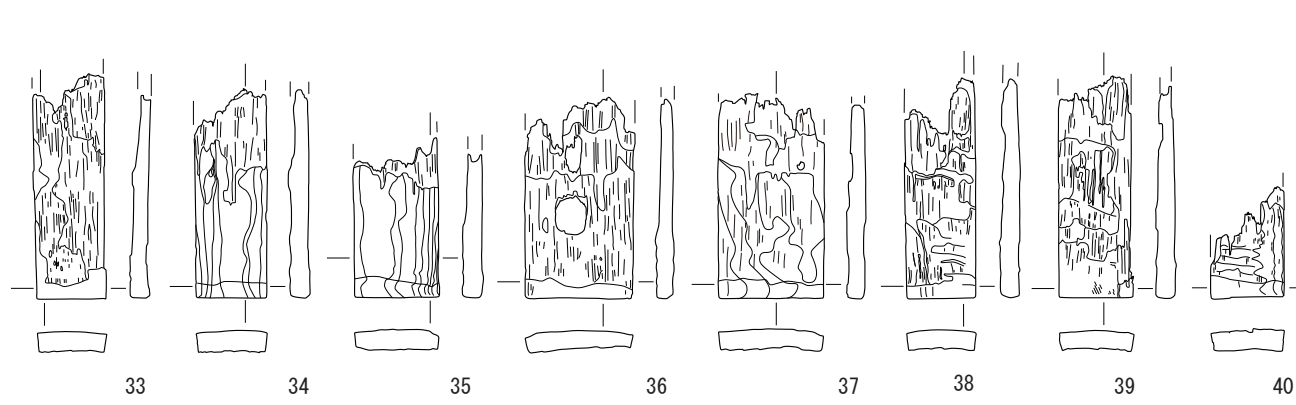
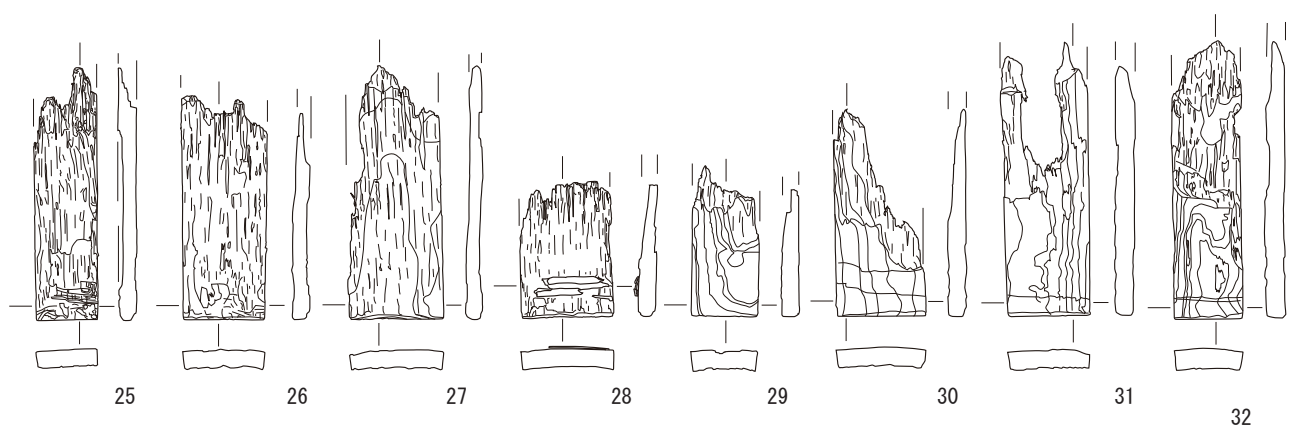
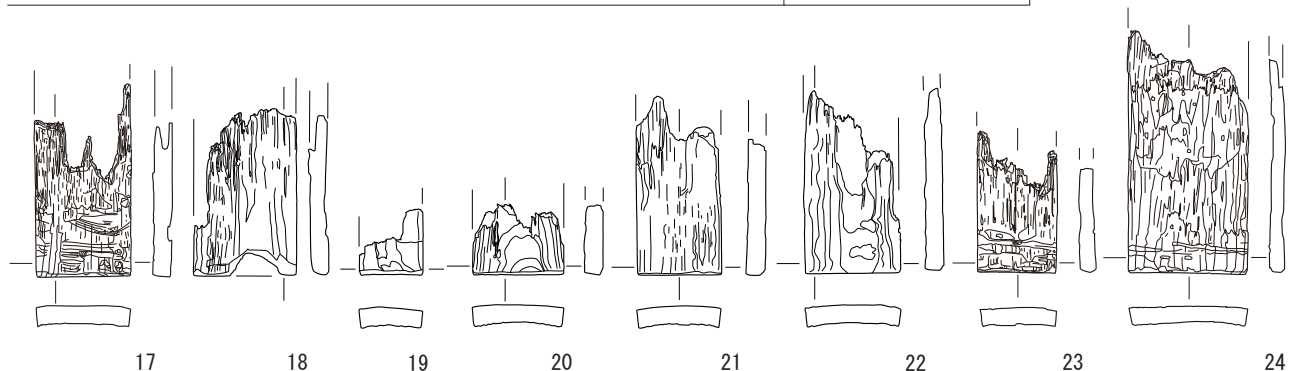
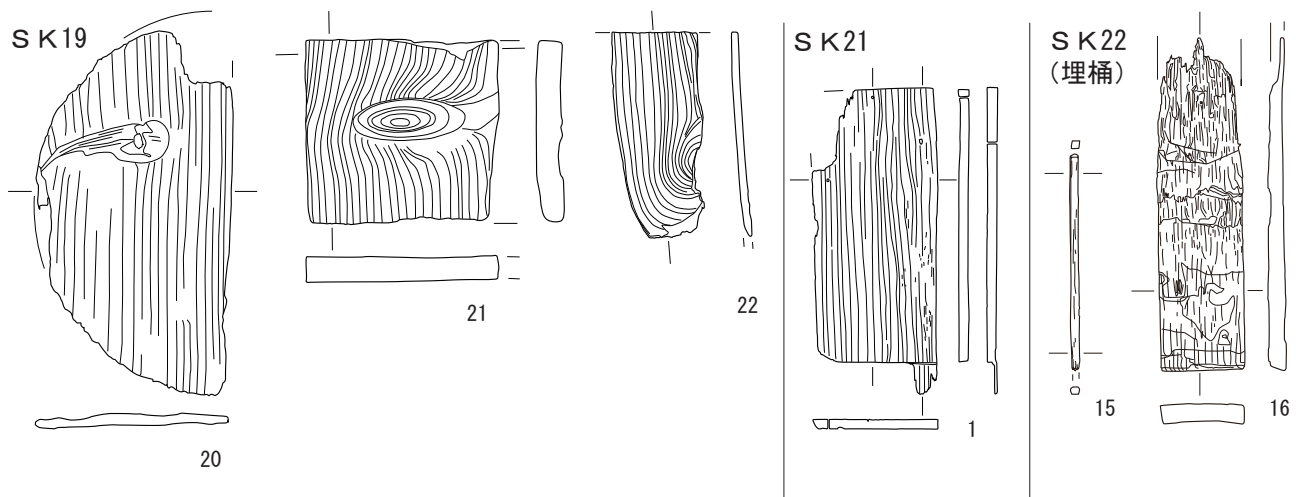


43



44

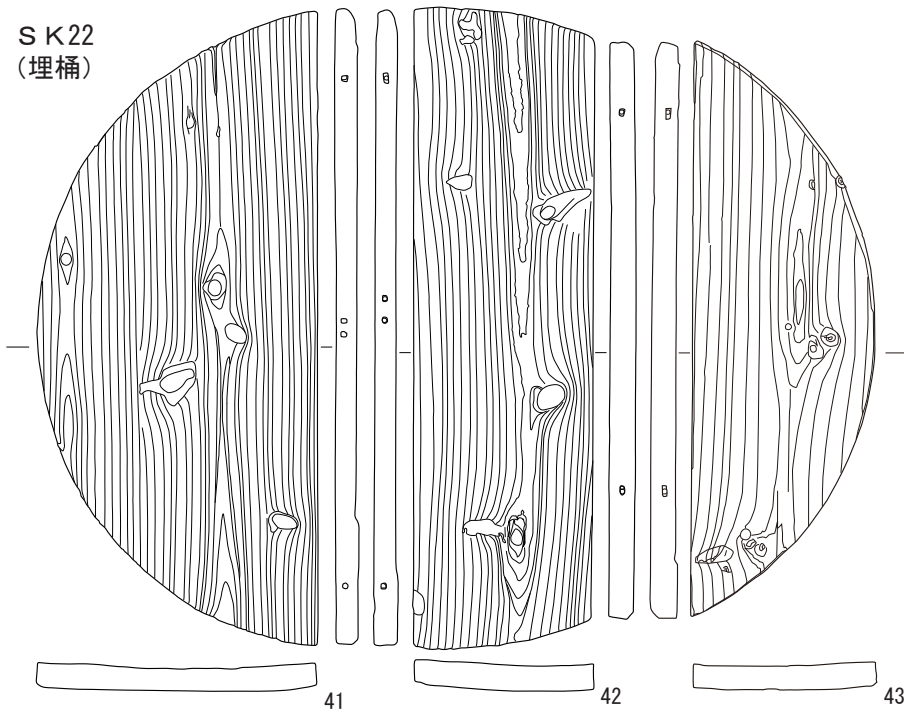
第111図 木製品 (1) SX 1・SK 3 (井戸) ・SK 18



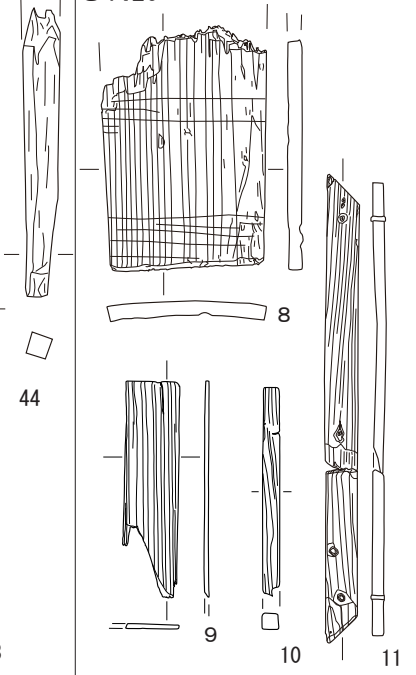
0 1 : 8 20cm
 ※SK19No.20・21、
 SK22No.15は1/4

第112図 木製品(2) SK19・SK21・SK22(埋桶)

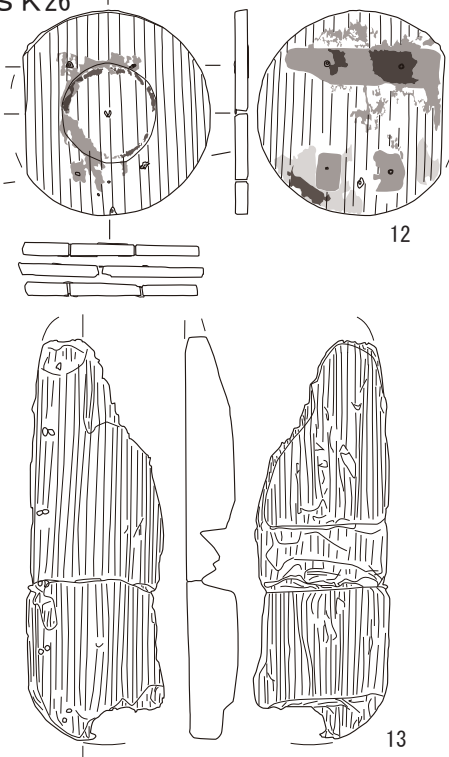
S K22
(埋桶)



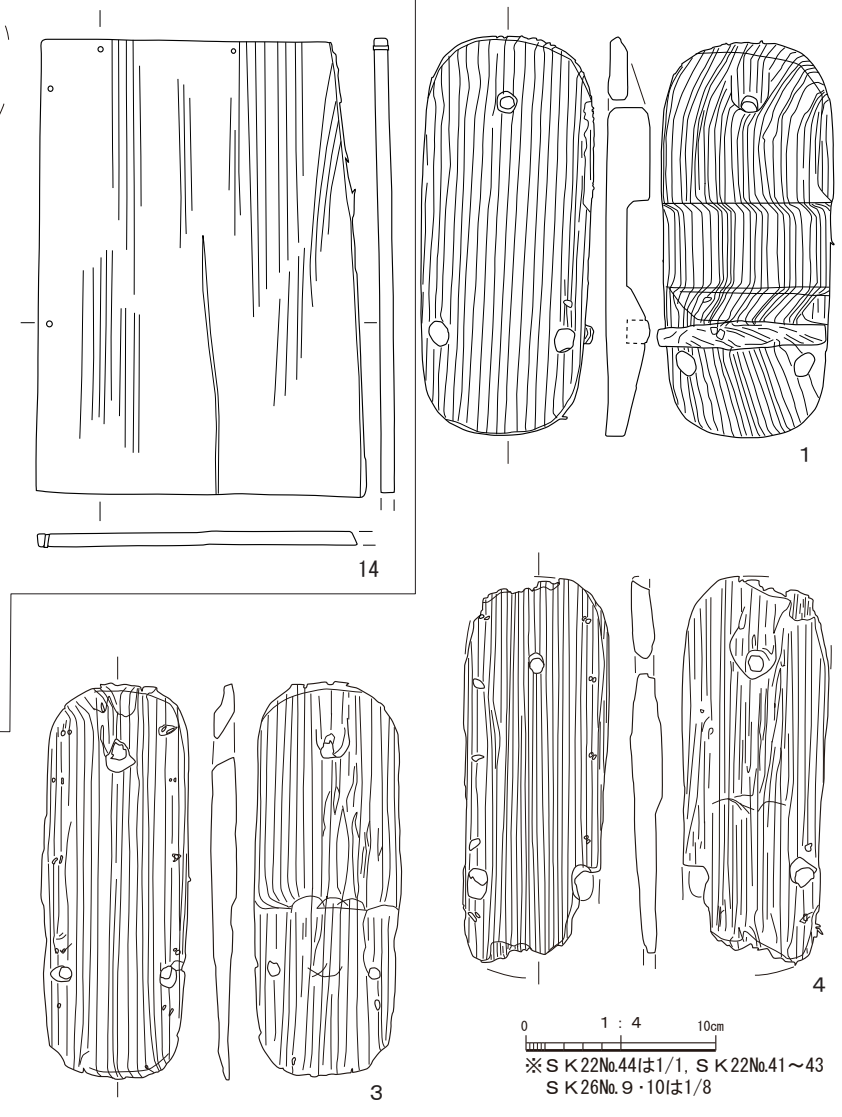
S K26



S K26



S K30

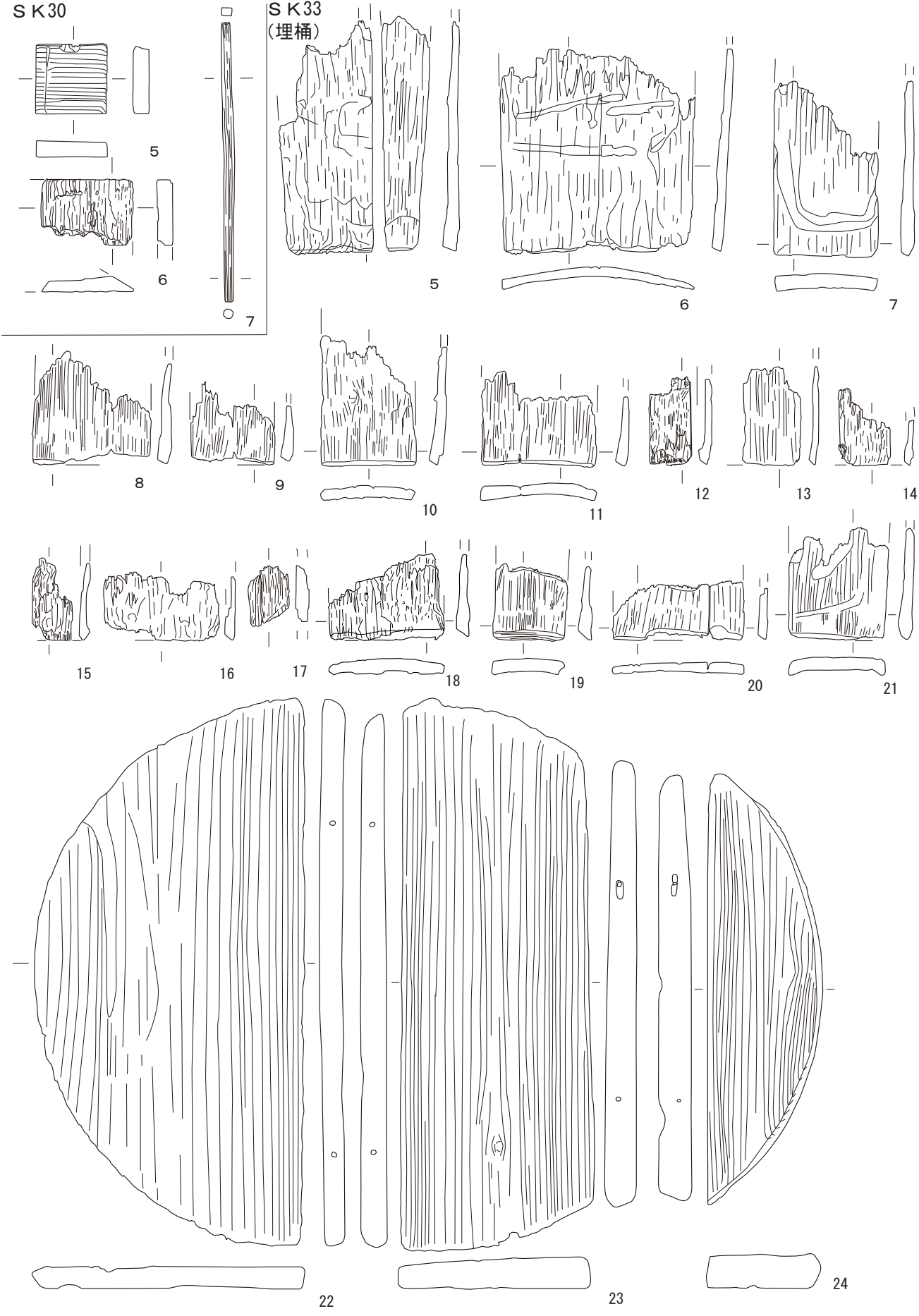


0 1 : 4 10cm
※ S K22No.44は1/1, S K22No.41~43
S K26No.9・10は1/8

第 113 図 木製品 (3) S K22(埋桶)・S K26・S K30

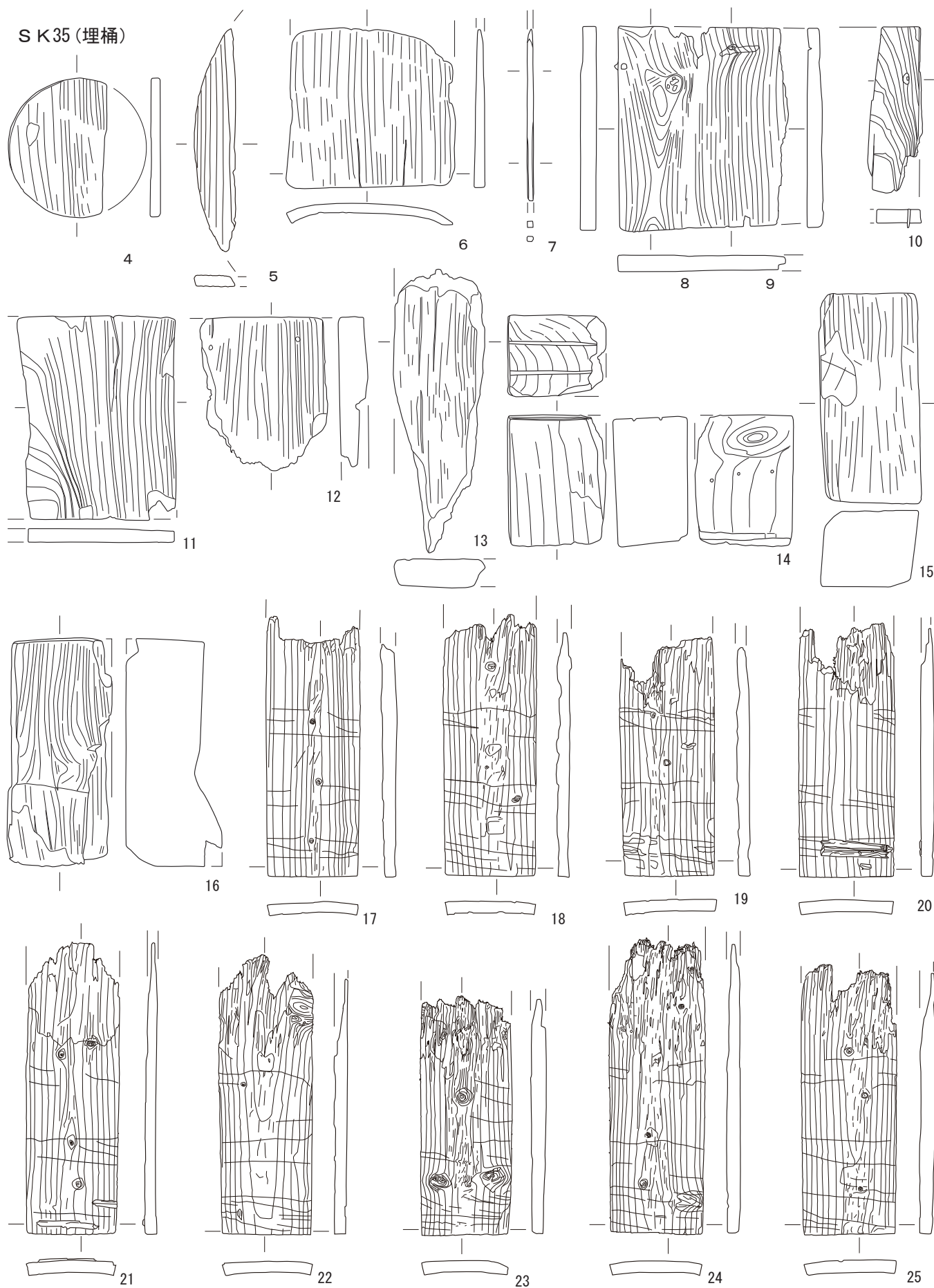
S K 30

S K 33
(埋桶)



第 114 図 木製品 (4) S K 30・S K 33 (埋桶)

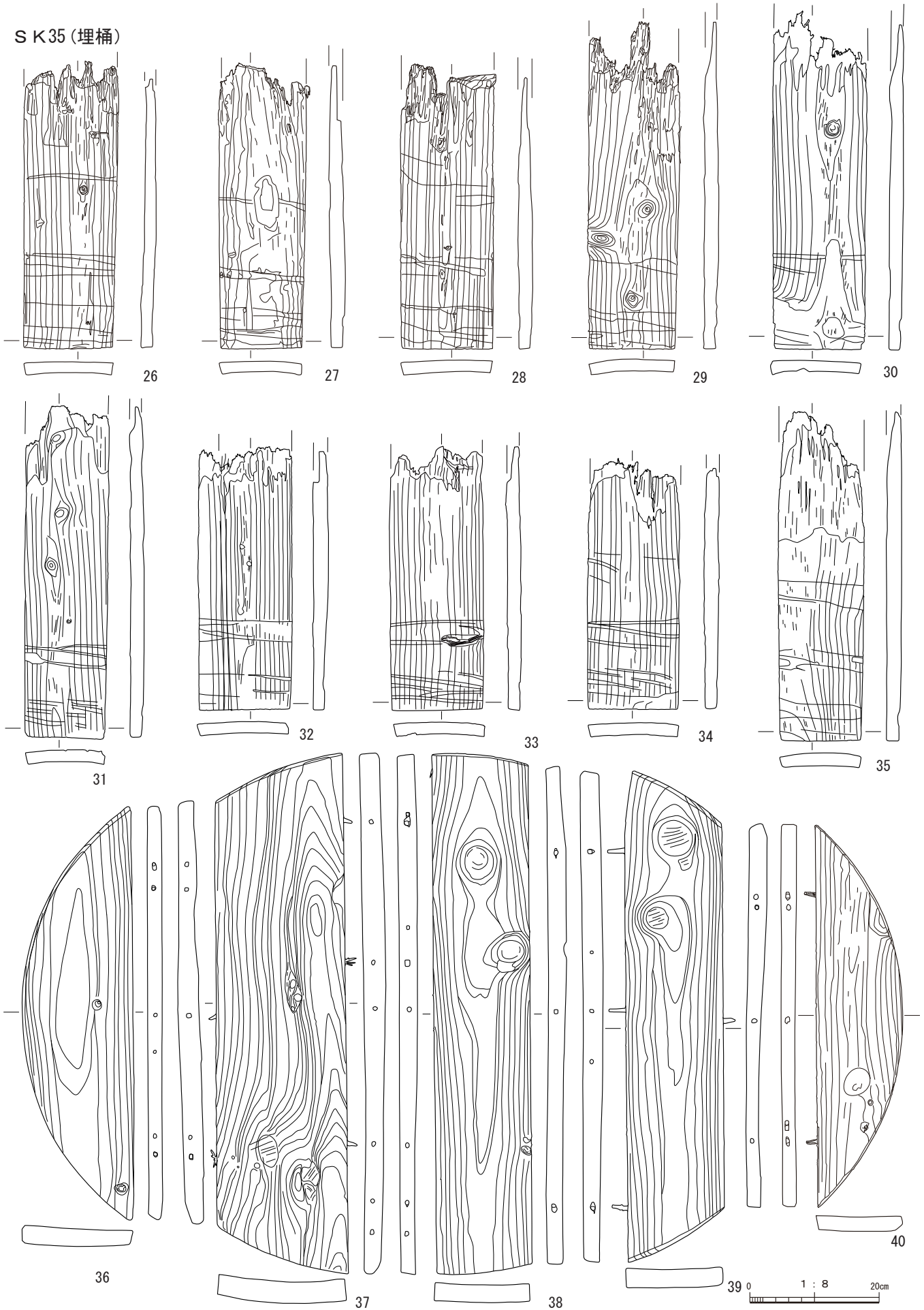
S K 35 (埋桶)



0 1 : 8 20cm
 ※ S K 35 No. 4 ~ 7 · 14 ~ 16 は 1/4

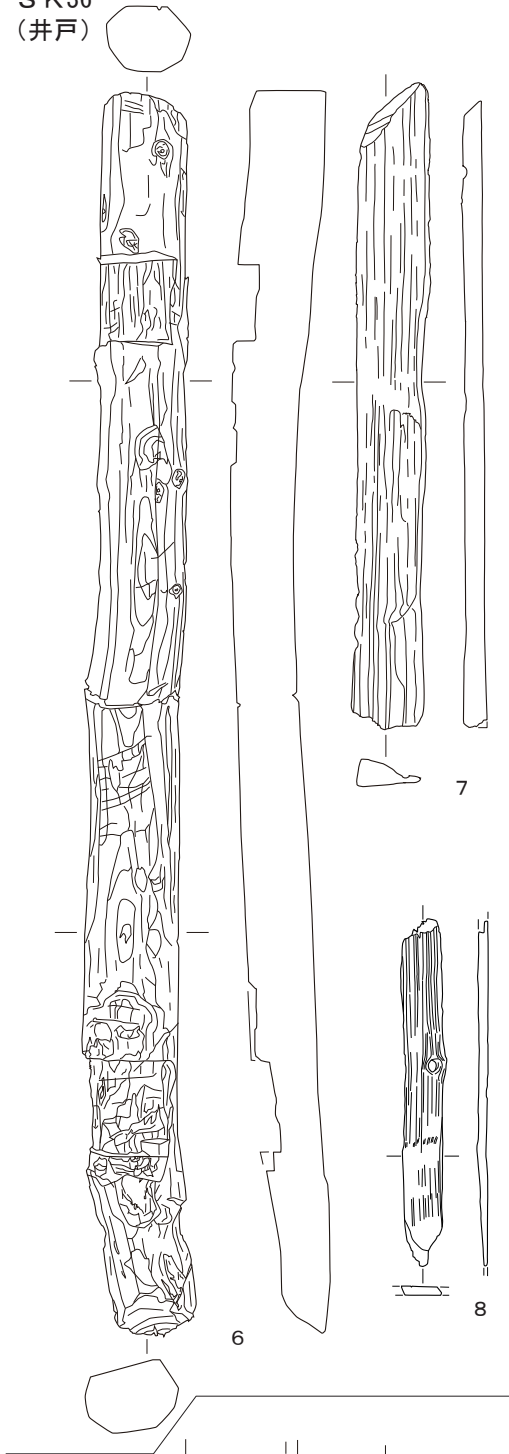
第 115 図 木製品 (5) S K 35 (埋桶)

S K35 (埋桶)

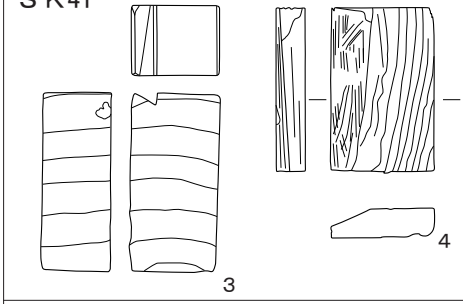


第116図 木製品(6) SK35(埋桶)

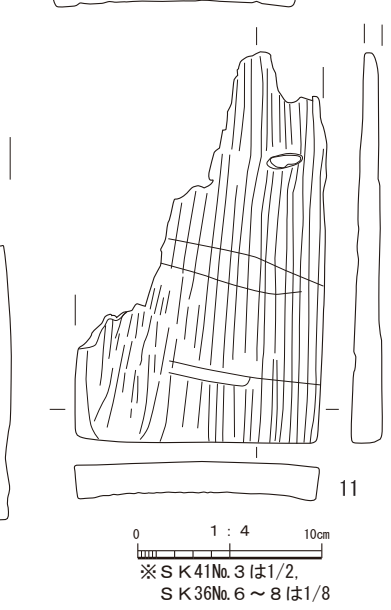
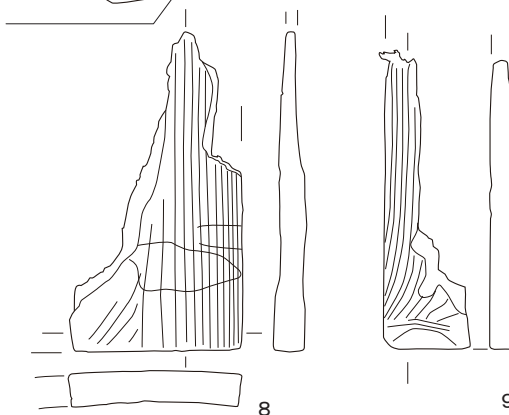
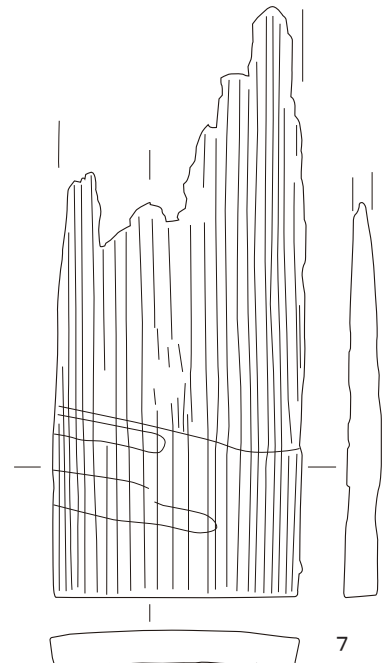
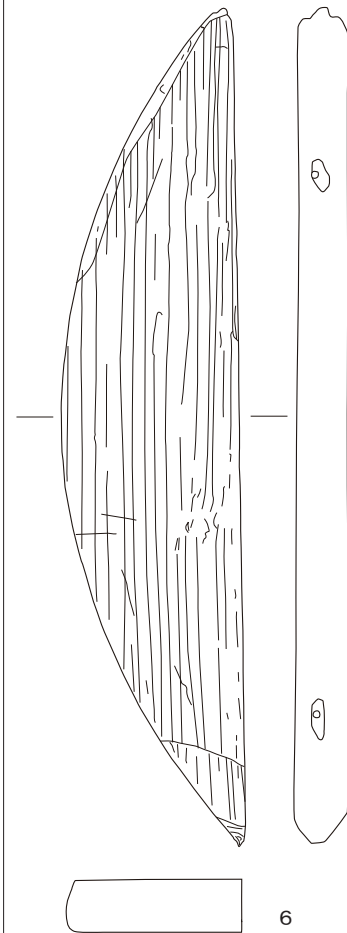
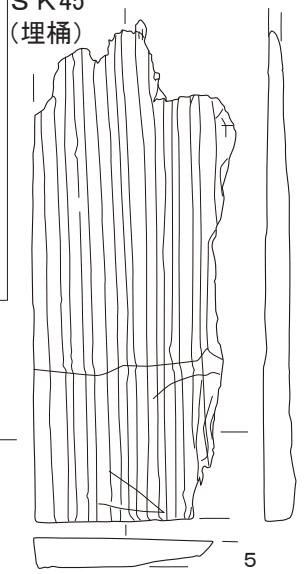
S K 36
(井戸)



S K 41



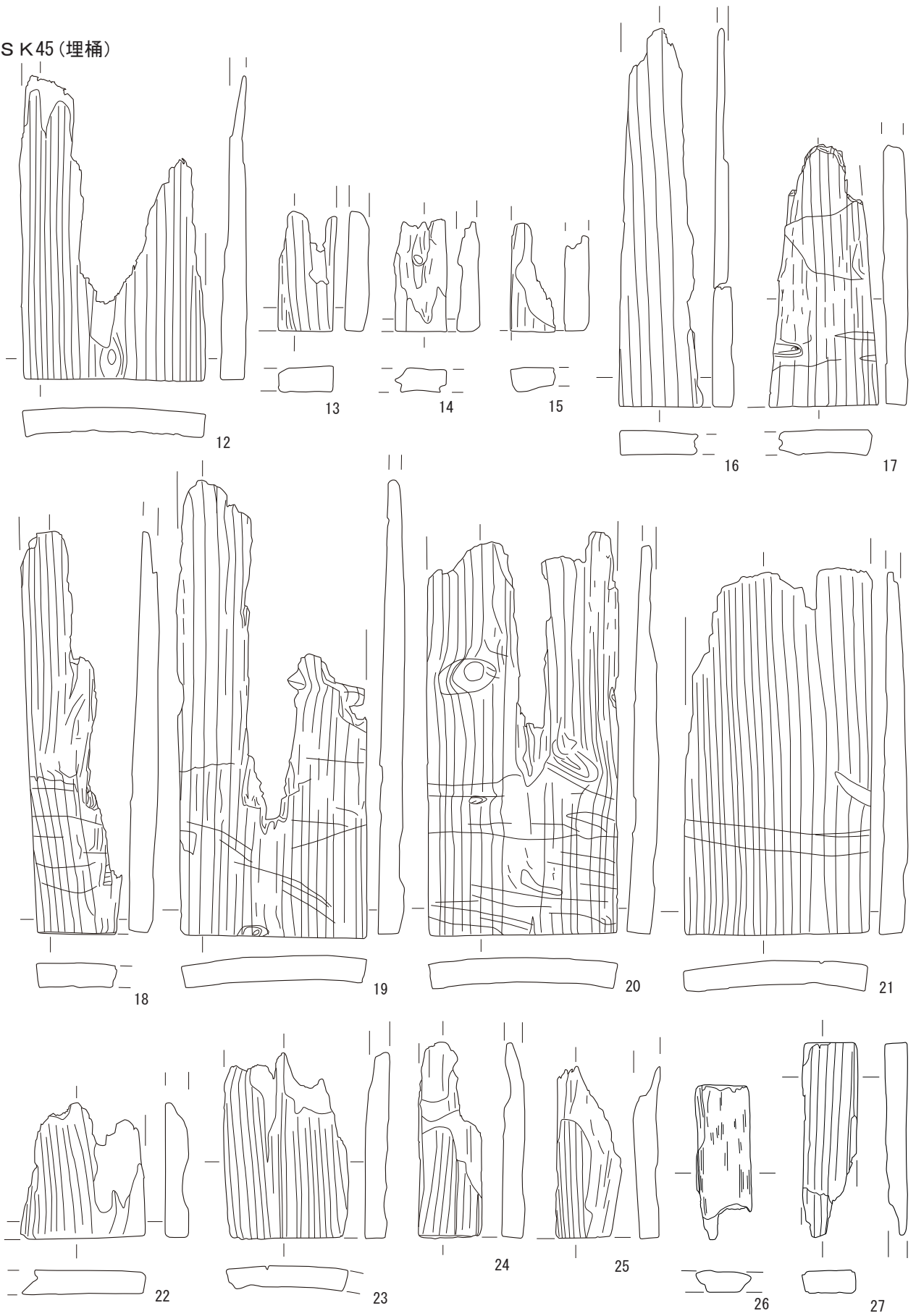
S K 45
(埋桶)



0 1 : 4 10cm
※SK41No.3は1/2,
SK36No.6~8は1/8

第117図 木製品(7) SK36(井戸)・SK41・SK45(埋桶)

S K45 (埋桶)

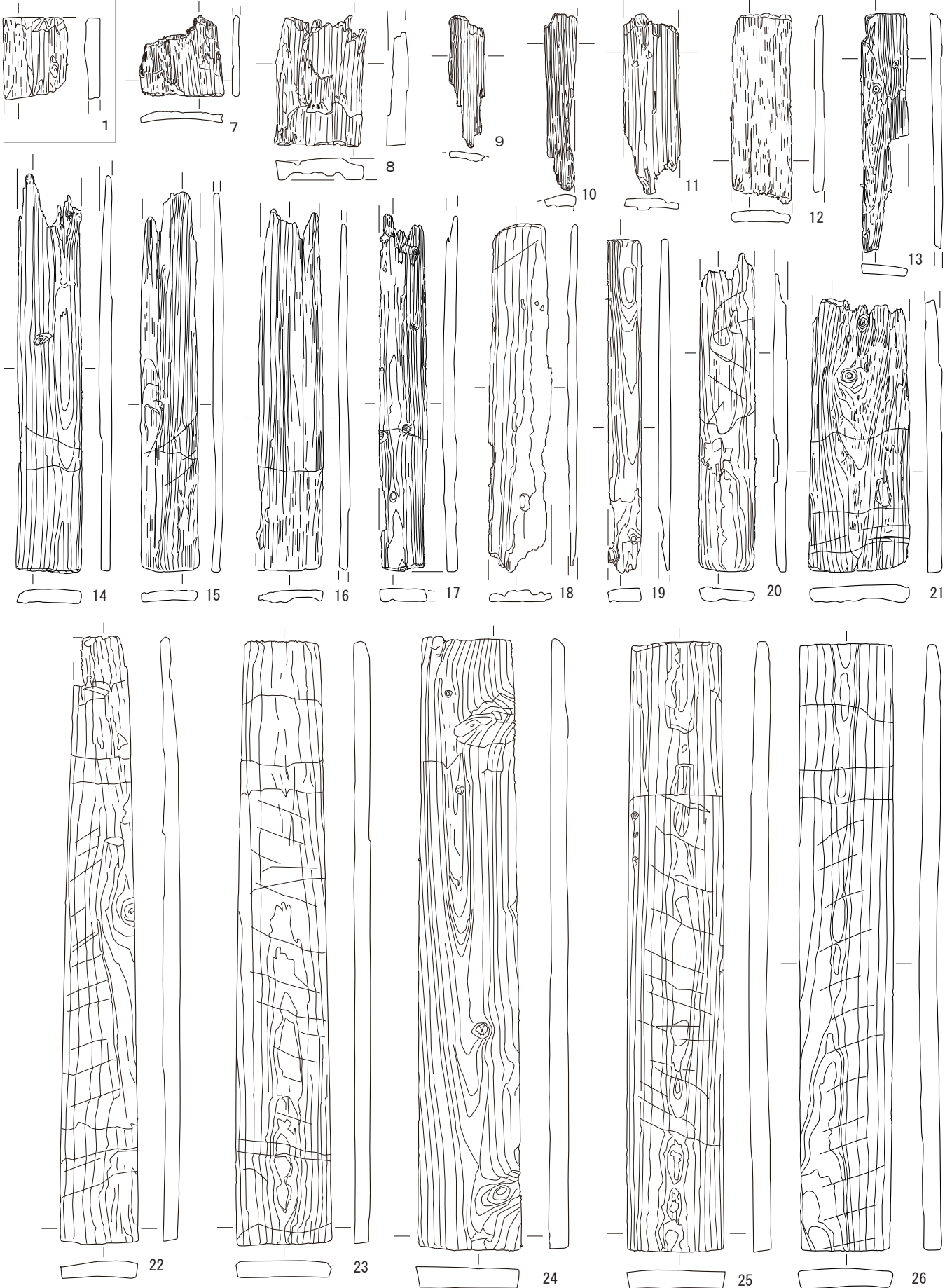


0 1 : 4 10cm

第118図 木製品(8) S K45(埋桶)

SK49

SK50 (井戸)

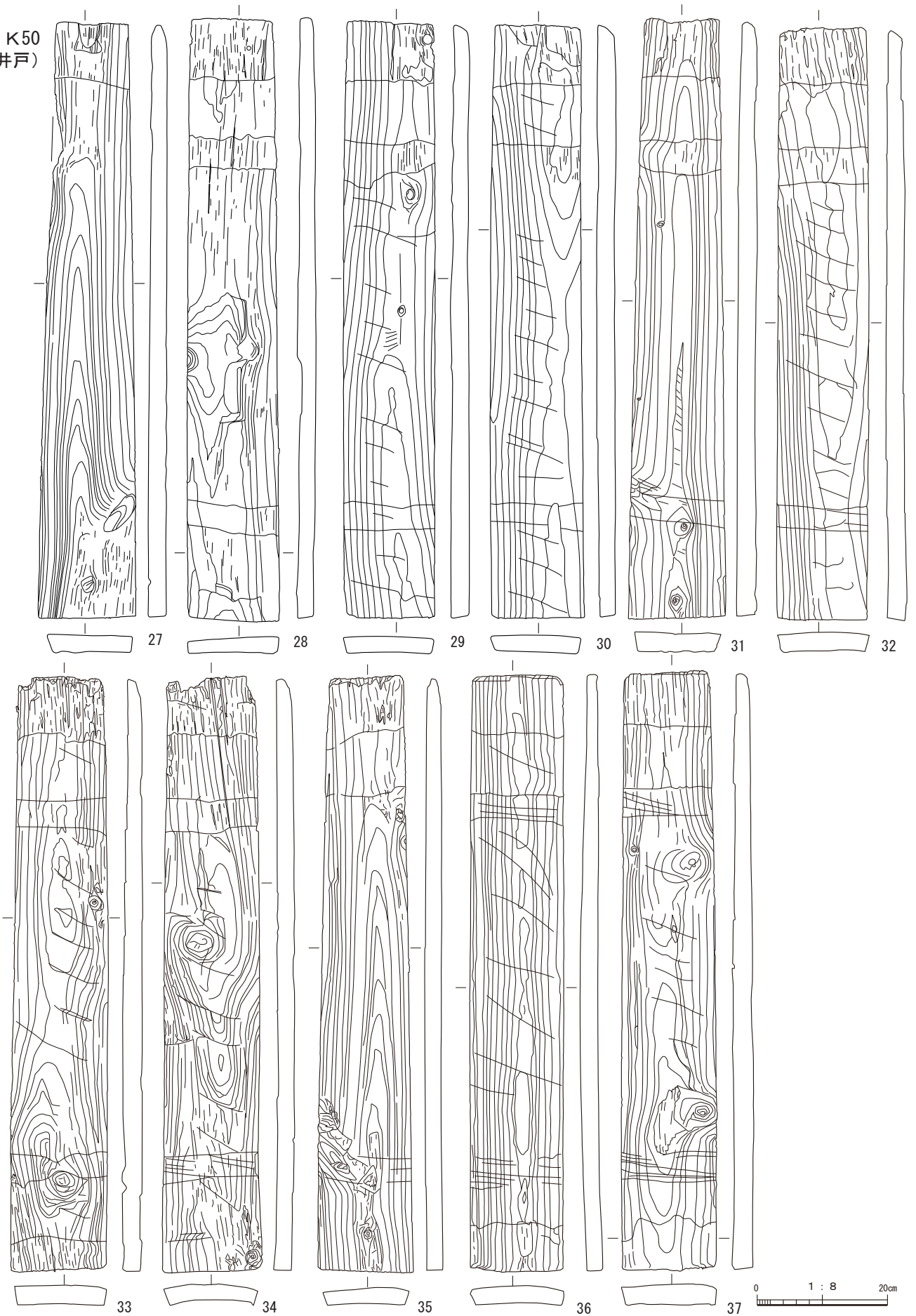


第119図 木製品(9) SK49・SK50(井戸)

0 1 : 8 20cm

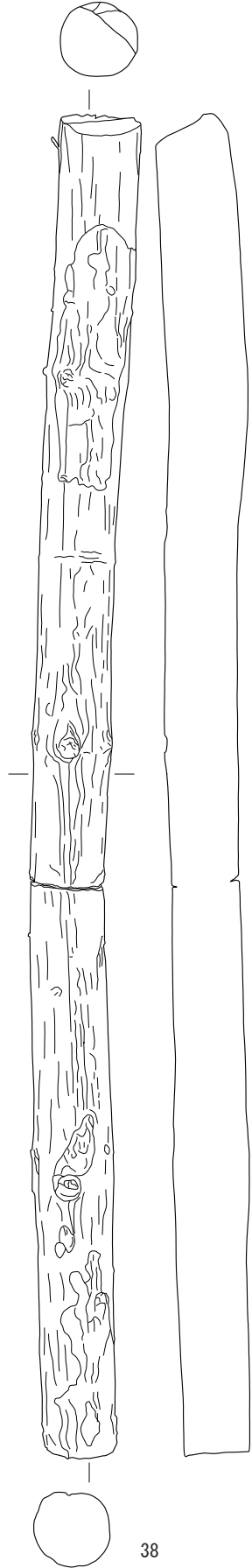
※SK49No.1, SK50No.8は1/4

S K50
(井戸)



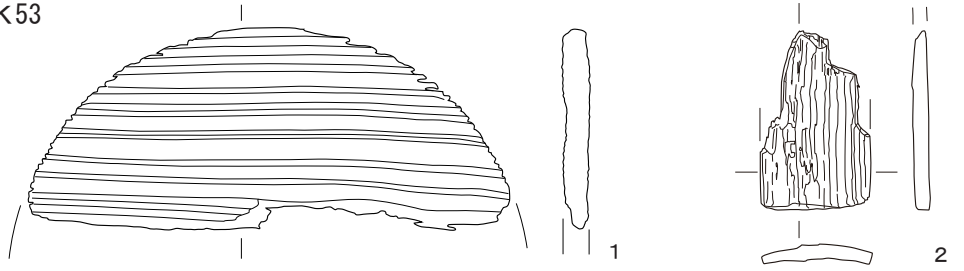
第120図 木製品 (10) S K50 (井戸)

S K50 (井戸)

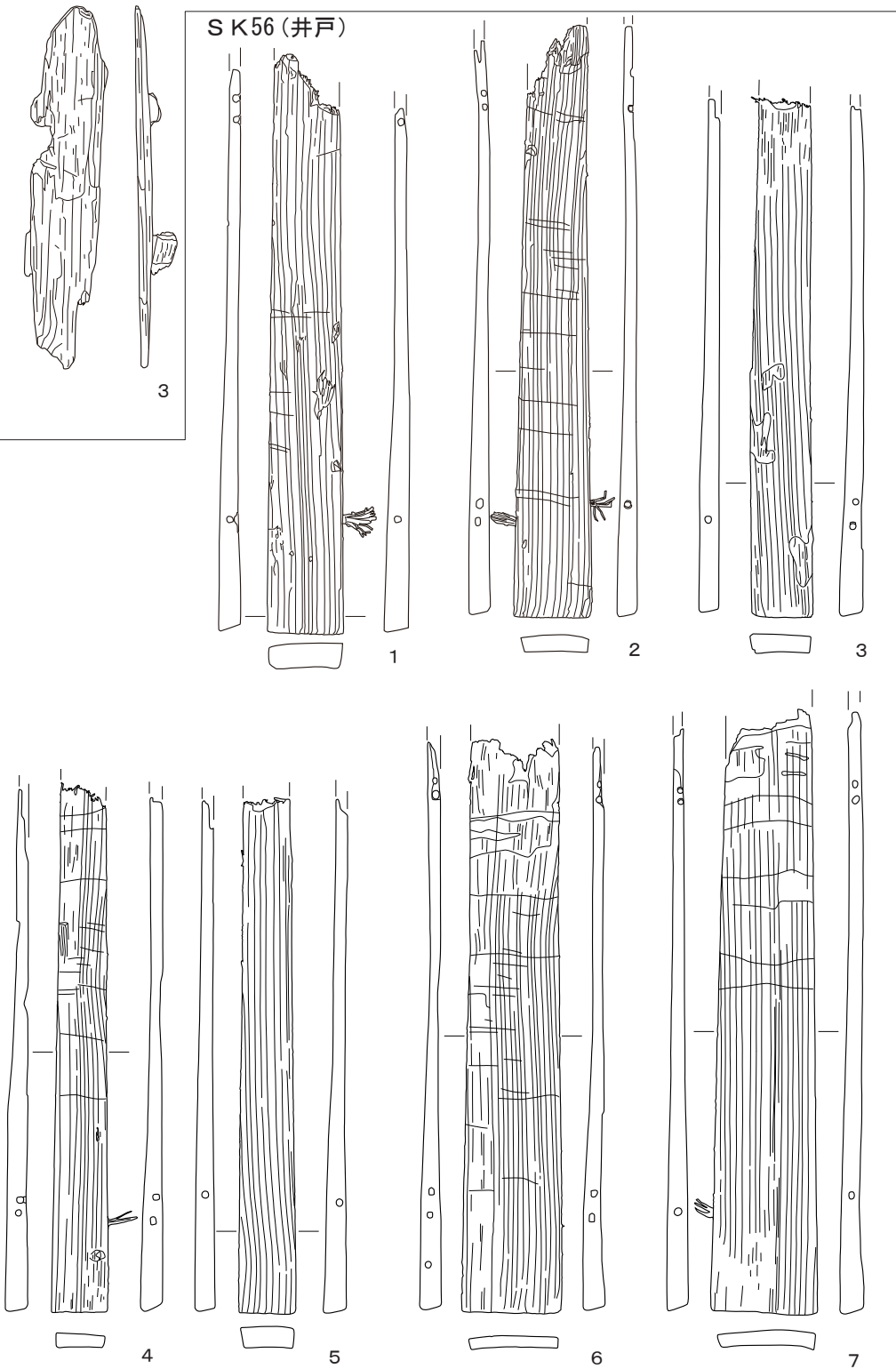


38

S K53



S K56 (井戸)

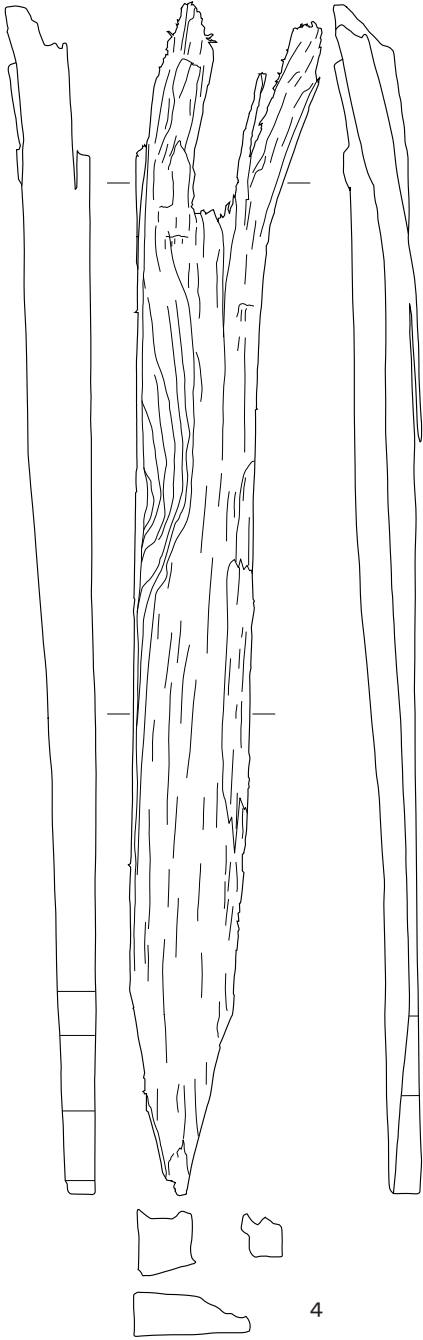


0 1 : 8 20cm

※ S K53No. 1 ~ 3は1/4

第121図 木製品 (11) S K50 (井戸)・S K53・S K56 (井戸)

SP97



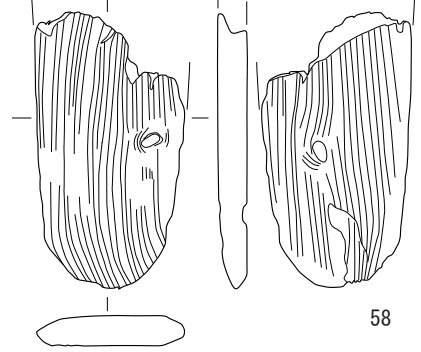
SP275



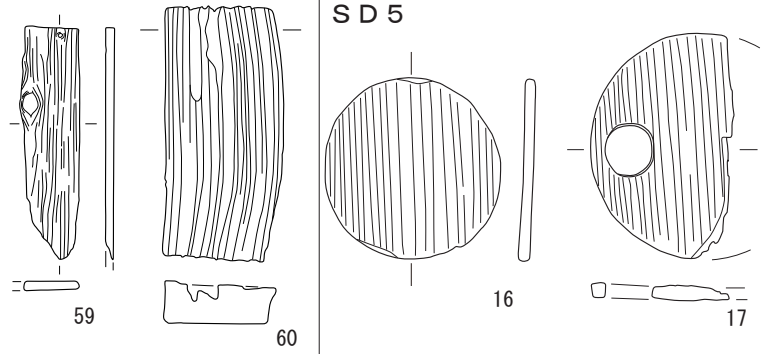
SP276



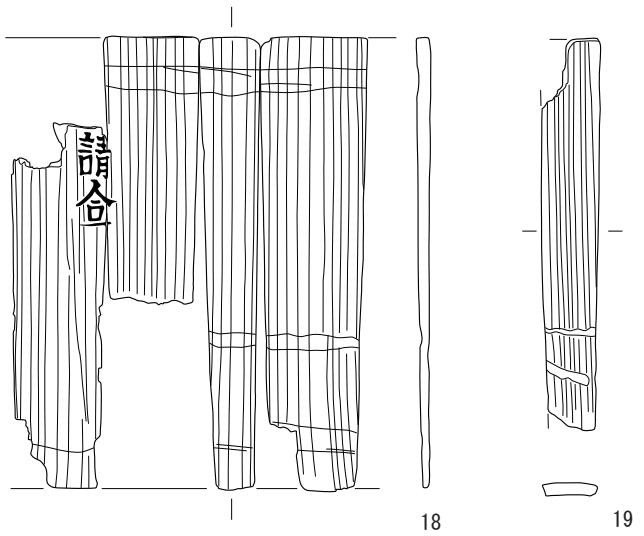
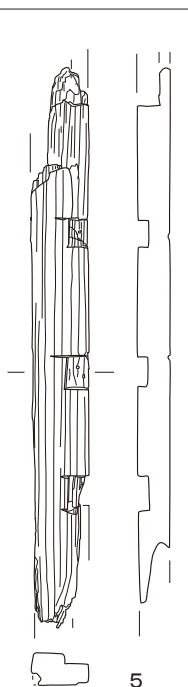
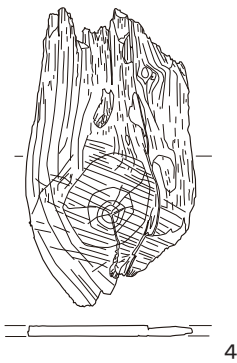
SD 4



SD 5



SD11



0 1 : 4 10cm
 ※ SP97No. 4, SD 4 No.59
 SD11No. 4 は1/8

第122図 木製品 (12) SP97・SP275・SP276・SD 4・SD 5・SD11

第2表 遺物観察表 (1)

出土地点	遺物番号	押印	写真 図版	種別	器種	部位	量測			調整・特徴	裝飾(釉薬)	胎土・色調	焼成
							口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)				
旧校舎基礎	1	46	30	陶器	碗	ほぼ完形	6.8	3.0	3.9		透明釉	胎土: 10Y8/2 灰白	良好
旧校舎基礎	2	46	30	陶器	碗	体部小~底部	—	3.4	< 2.6 >		灰釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白 釉調: 7.5Y7/2 灰白	良好
SX1	1	46	30	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(10.6)	(3.6)	5.3		染付・透明釉		良好
SX1	2	46	30	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 底部	(11.9)	4.0	6.2	見込: 目跡有り	染付・透明釉		良好
SX1	3	46	30	磁器	碗	口縁小~底部 1/4	(12.0)	(4.4)	6.1		染付・透明釉 高台置付無釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白 釉調: 7.5Y7/1 灰白	良好
SX1	4	46	30	磁器	碗	体部小~底部	—	(4.0)	< 3.2 >		染付・透明釉 高台置付無釉		良好
SX1	5	46	30	磁器	碗	口縁 1/8 ~ 底部なし	(12.0)	—	< 4.7 >		染付・透明釉 高台置付無釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	6	46	30	磁器	碗	口縁 1/8 ~ 底部小	(12.0)	(4.6)	5.6		染付・透明釉		良好
SX1	7	46	30	磁器	碗	口縁小~底部 1/2	—	(4.0)	< 4.8 >		染付・透明釉		良好
SX1	8	46	30	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部 1/3	(10.0)	—	< 3.8 >		染付・透明釉		良好
SX1	9	46	30	磁器	碗	口縁 1/6 ~ 体部 1/6	(9.4)	—	3.7		染付・透明釉		良好
SX1	10	46	30	磁器	碗	体部 1/4 ~ 底部 1/2	—	(5.6)	< 4.9 >		染付・透明釉	胎土: 7.5Y6/1 灰	良好
SX1	11	46	30	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 底部 1/2	(10.0)	(4.4)	5.2		染付・透明釉 高台置付無釉		良好
SX1	12	46	30	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(9.2)	(3.4)	4.2		染付・透明釉		良好
SX1	13	46	30	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 底部 1/4	(9.0)	(3.2)	4.3		染付・透明釉		良好
SX1	14	46	30	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(10.2)	(4.0)	5.5		染付		良好
SX1	15	46	30	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/6	(5.0)	(1.6)	5.05		染付・透明釉		良好
SX1	16	46	30	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 体部 1/5	(10.0)	—	< 4.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	17	46	30	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(9.6)	—	< 4.2 >		染付・透明釉		良好
SX1	18	47	30	磁器	碗	口縁小~底部	(9.2)	3.4	4.45		染付・透明釉		良好
SX1	19	47	30	磁器	碗	体部小~底部	—	3.2	< 2.5 >		染付・透明釉		良好
SX1	20	47	30	磁器	碗	体部小~底部	—	(3.8)	< 5.2 >		染付・透明釉		良好
SX1	21	47	30	磁器	碗	体部小~底部	—	3.6	< 1.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	22	47	30	磁器	碗	体部小~底部	—	4.0	< 2.5 >		染付・透明釉		良好
SX1	23	47	30	磁器	碗	底部 1/2	—	5.4	2.0	高台砂付着	染付・透明釉		良好
SX1	24	47	30	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 体部	(10.0)	—	< 4.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	25	47	31	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 体部 1/2	10.6	—	—		染付・透明釉		良好
SX1	26	47	31	磁器	碗	口縁小~底部 1/6	(7.4)	(3.2)	4.1		染付・透明釉		良好
SX1	27	47	31	磁器	碗	口縁 1/8 ~ 体部小	—	—	(4.0)		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	28	47	31	磁器	皿	口縁小	—	—	(4.0)		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	29	47	31	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 体部	(9.7)	—	< 4.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	30	47	31	磁器	碗	体部 1/2 ~ 底部 1/2	—	(4.2)	< 4.3 >		染付・透明釉		良好
SX1	31	47	31	磁器	皿	体部小~底部	—	(5.6)	< 3.3 >		染付・透明釉		良好
SX1	32	47	31	磁器	碗	口縁小~底部	(11.4)	6.0	5.8	広東碗	染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	33	47	31	磁器	碗	口縁小~底部	(11.0)	6.3	6.2	広東碗	染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	34	47	31	磁器	碗	体部 1/4 ~ 底部 3/4	—	(6.6)	< 4.0 >		染付・透明釉		良好
SX1	35	47	31	磁器	碗	体部小~底部 3/4	—	6.6	< 4.7 >	広東碗	染付・透明釉		良好
SX1	36	48	31	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部	(11.0)	6.0	5.4	広東碗	染付・透明釉		良好
SX1	37	48	31	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 底部	(10.2)	5.8	< 5.4 >	広東碗	染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	38	48	31	磁器	碗	体部 1/8 ~ 底部	—	6.2	< 4.4 >	広東碗	染付・透明釉		良好
SX1	39	48	31	磁器	碗	口縁小~底部 1/3	(11.8)	(7.0)	6.45	広東碗	染付・透明釉		良好
SX1	40	48	31	磁器	碗	口縁小~底部	(11.0)	6.2	5.1	広東碗、上給付け	透明釉、口縁・高台置付無釉		良好
SX1	41	48	31	磁器	碗	体部小~底部	—	6	< 3.4 >	広東碗	染付・透明釉		良好
SX1	42	48	31	磁器	碗	体部小~底部	—	—	< 2.2 >		染付・透明釉		良好
SX1	43	48	31	磁器	碗	体部 1/5 ~ 底部 1/2	—	(6.2)	< 4.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	44	48	31	磁器	碗	体部 1/4 ~ 底部	—	6.2	< 3.6 >		染付・透明釉		良好
SX1	45	48	31	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部なし	(9.0)	—	< 5.5 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	46	48	31	磁器	碗	口縁 1/8	(6.8)	—	< 4.6 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	47	48	31	磁器	碗	口縁小~体部	(8.6)	—	< 2.9 >		染付・透明釉、色絵		良好
SX1	48	48	31	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 体部 1/4	(9.8)	—	< 3.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	49	48	31	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(7.2)	(3.6)	< 5.6 >		染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	50	48	31	磁器	杯	口縁~底部 1/2	(5.4)	(2.2)	3.1		染付・透明釉		良好
SX1	51	48	32	磁器	碗	口縁~底部 1/2	(6.6)	(3.4)	3.1		染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	52	48	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部小	(8.0)	—	< 5.6 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	53	48	32	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 底部 3/4	(9.4)	(1.8)	5.2	鉄軸部分に文様	染付・透明釉・下部鉄軸	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	54	49	32	磁器	碗	口縁~底部	8.8	5.0	6.6		染付・透明釉		
SX1	55	49	32	磁器	碗	口縁小~底部 1/4	(10.0)	(4.0)	5.2		染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	56	49	32	磁器	碗	口縁小~底部 1/2	(9.0)	(4.4)	5.45		染付・透明釉		良好
SX1	57	49	32	磁器	碗	口縁小~底部	(7.2)	(1.6)	4.9		染付・透明釉		良好
SX1	58	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部なし	(12.0)	—	< 5.1 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	59	49	32	磁器	碗	口縁 1/5 ~ 底部 1/2	(10.8)	(4.0)	5.7		染付・透明釉		良好
SX1	60	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/2	(9.6)	(6.0)	5.3		染付・透明釉		良好
SX1	61	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部なし	(12.0)	—	< 5.0 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	62	49	32	磁器	碗	口縁 1/8 ~ 底部 1/4	(10.0)	(4.4)	< 4.9 >		染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	63	49	32	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部小	(10.0)	(4.0)	4.9	焼き継ぎ痕	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	64	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部小	(9.6)	—	< 4.2 >		染付・透明釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SX1	65	49	32	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 底部 1/4	(9.0)	(4.2)	4.2		染付・透明釉		良好
SX1	66	49	32	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部 1/3	(8.4)	—	< 3.7 >		染付・透明釉		良好
SX1	67	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部なし	(14.0)	—	< 6.1 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	68	49	32	磁器	碗	体部小~底部 1/4	—	(5.8)	< 4.0 >		染付・透明釉		良好
SX1	69	49	32	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部 1/4	(15.0)	—	—		染付・透明釉		良好
SX1	70	49	32	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 体部 1/2	(14.4)	—	< 5.4 >		染付・透明釉		良好
SX1	71	49	32	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(19.3)	(4.0)	9.8		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	72	50	33	磁器	皿	底部 1/2	—	(4.4)	—		染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	73	50	33	磁器	皿	体部 1/8 ~ 底部	—	3.8	< 2.4 >	蛇の目輪割ぎ	透明釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白、外面: 底部 10YR6/3 に近い黄橙	良好
SX1	74	50	33	磁器	皿	体部小~底部 1/2	—	< 4.2 >	—	蛇の目輪割ぎ	胎土: N8/ 灰白 釉調: 7.5GY8/1 明緑灰	良好	
SX1	75	50	33	磁器	瓶	体部小~底部	—	5.3	< 2.9 >		染付・透明釉	胎土: 7.5Y8/2 灰白	良好
SX1	76	50	33	磁器	碗	ほぼ完形	(12.2)	(7.8)	8.1	広東大碗	染付・透明釉		良好
SX1	77	50	33	磁器	鉢	口縁 1/8 ~ 底部なし	(24.0)	—	< 6.3 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	78	50	33	磁器	鉢	口縁 1/5 ~ 体部小	(16.0)	—	< 4.0 >		染付・透明釉		良好
SX1	79	50	33	磁器	段重	口縁 1/5 ~ 底部 1/3	(12.0)	(8.2)	4.7		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	80	50	33	磁器	鉢	口縁 1/5 ~ 体部小	(16.0)	—	< 5.8 >		染付・透明釉		良好
SX1	81	50	33	磁器	鉢	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(17.6)	(7.4)	6.2	鱗状に指頭痕	染付・透明釉, 高台置付無釉		良好
SX1	82	50	33	磁器	皿	口縁 1/5 ~ 底部 1/8	(9.0)	(6.0)	2.4		染付・透明釉		良好
SX1	83	50	33	磁器	皿	口縁 1/3 ~ 底部 1/2	(10.0)	(6.6)	1.7	蛇の目凹型高台	染付・透明釉		良好
SX1	84	50	33	磁器	皿	口縁小~底部 1/2	—	(6.2)	< 1.7 >		染付・透明釉		良好
SX1	85	50	33	磁器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(12.0)	—	(3.0)	内外面: 叩打 見込み: 輪割ぎ	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	86	50	33	磁器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(13.0)	(7.6)	3.0		染付・透明釉		良好
SX1	87	50	33	磁器	皿	口縁 1/5 ~ 底部 1/6	—	—	< 2.0 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SX1	88	51	33	磁器	皿	口縁 1/2 ~ 底部	(10.8)	6.4	2.4		染付・透明釉		良好
SX1	89	51	33	磁器	皿	口縁 1/4 ~ 底部	(10.8)	6.4	2.4	焼き継ぎ痕	染付・透明釉		良好
SX1	90	51	33	磁器	皿	口縁 1/2 ~ 底部	(1						

第3表 遺物観察表(2)

出土地点	遺物番号	押印	写真図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(輪案)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SX1	102	53	34	磁器	蓋	つまみ部~体部小	—	つまみ 4.0	1.9		染付・透明釉	良好	
SX1	103	53	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 1/4	(10.6)	つまみ 5.6	3.2		染付・透明釉 高台量付無軸	良好	
SX1	104	53	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 3/4	(10.0)	つまみ (5.6)	< 2.9 >		染付・透明釉 高台量付無軸	良好	
SX1	105	53	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 1/2	(9.8)	つまみ (5.0)	2.7		染付・透明釉 胎土：N8/ 灰白	良好	
SX1	106	53	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 1/2	(10.0)	つまみ (5.4)	2.9		染付・透明釉	良好	
SX1	107	53	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 体部小	—	つまみ (6.0)	< 1.6 >		染付・透明釉	良好	
SX1	108	53	34	磁器	蓋	つまみ部 1/5 ~ 口縁 1/8	(10.4)	つまみ (6.0)	2.8		染付・透明釉	良好	
SX1	109	53	34	磁器	蓋	つまみ部 3/4 ~ 口縁 1/3	(10.0)	つまみ (5.4)	2.4		染付・透明釉	良好	
SX1	110	53	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 1/2	(9.2)	つまみ 5.1	2.4		染付・透明釉	良好	
SX1	111	53	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 口縁 1/3	(10.4)	つまみ (5.6)	3.5		染付・透明釉	良好	
SX1	112	53	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 口縁 1/2	12.4	つまみ 5.4	3.0		染付・透明釉 胎土：N8/ 灰白	良好	
SX1	113	53	34	磁器	蓋	つまみ部小~口縁 1/3	(11.2)	つまみ (4.4)	3.05		染付・透明釉	良好	
SX1	114	54	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 口縁 1/4	(10.0)	つまみ (4.0)	2.8		染付・透明釉 胎土：N8/ 灰白	良好	
SX1	115	54	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 体部 1/4	—	つまみ (5.6)	< 3.2 >		染付・透明釉	良好	
SX1	116	54	34	磁器	蓋	つまみ部 1/2 ~ 口縁 1/4	(10.0)	つまみ (3.6)	2.65		染付・透明釉	良好	
SX1	117	54	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 1/4	(8.8)	つまみ (3.8)	2.2		染付・透明釉	良好	
SX1	118	54	34	磁器	蓋	つまみ部~口縁 3/4	7.7	つまみ (3.4)	2.2		染付・透明釉	良好	
SX1	119	54	34	磁器	蓋	体部 1/2 ~ 口縁 1/2	(8.0)	—	1.8		染付・透明釉	良好	
SX1	120	54	34	磁器	蓋	体部~口縁 1/4	(10.0)	—	2.7		染付・透明釉案	胎土：N8/ 灰白	
SX1	121	54	34	磁器	蓋	体部 2/3 ~ 口縁 3/4	12.4	—	< 3.0 >		染付・透明釉	良好	
SX1	122	54	35	磁器	瓶	体部 1/4 ~ 底部 1/6	—	(5.6)	—		染付・透明釉 高台量付無軸	良好	
SX1	123	54	35	磁器	瓶	体部~底部	—	(5.0)	< 7.5 >		染付・透明釉	良好	
SX1	124	54	35	磁器	瓶	体部 1/6 ~ 底部 1/6	—	5.4	—		染付・透明釉	良好	
SX1	125	54	35	磁器	瓶	体部 1/4 ~ 底部 1/4	—	(4.4)	—		染付・透明釉	良好	
SX1	126	54	35	磁器	瓶	体部 1/2 ~ 底部 3/4	—	(3.8)	< 3.9 >		染付・透明釉	良好	
SX1	127	54	35	磁器	瓶	口縁部	2.1	—	4.2		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	
SX1	128	54	35	磁器	御神酒徳利	体部小~底部	—	3.8	7.9	「ご神前」の文字	染付・透明釉	良好	
SX1	129	54	35	磁器	灰吹き	口縁 1/3 ~ 体部小	5.4	—	5.9	口縁端部に敲打痕	青磁釉	胎土：10Y8/1 灰白, 10G7/1 明緑灰	
SX1	130	54	35	磁器	香炉	口縁 3/1 ~ 体部小	(10.4)	—	< 3.3 >		染付・透明釉	良好	
SX1	131	54	35	磁器	仏飯器	口縁 1/4 ~ 底部	8.0	4.7	6.8		染付・透明釉	良好	
SX1	132	54	35	磁器	仏飯器	口縁小~底部	(6.4)	3.2	5.4			胎土：N8/ 灰白 釉調：2.5G7/1 明抄ノ灰	
SX1	133	54	35	磁器	仏飯器	口縁 1/6 ~ 体部 1/4	3.6	—	—		染付・透明釉	良好	
SX1	134	54	35	磁器	仏飯器	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	5.4	(3.2)	4.2		染付・透明釉 高台量付無軸	良好	
SX1	135	54	35	磁器	水滴	上部 1/2 ~ 底部 1/2	(8.5)	8.0	5.6		染付・透明釉 上給付	良好	
SX1	136	55	35	陶器	碗	口縁 1/5 ~ 体部 1/6	(11.6)	—	< 6.8 >			胎土：2.5Y8/1 灰白 釉調：2.5Y6/8 明黄褐	
SX1	137	55	35	陶器	碗	体部 1/5 ~ 底部	—	5.0	< 5.2 >		透明釉	胎土：2.5Y8/1 灰白	
SX1	138	55	35	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	< 10.0 >	< 4.6 >	< 6.1 >			胎土：2.5Y8/2 灰白 釉調：5YR2/4 極暗赤褐	
SX1	139	55	35	陶器	碗	体部小~底部	—	5.0	< 3.3 >		透明釉	胎土：5Y8/3 淡黄 釉調：10YR3/1 黒褐	
SX1	140	55	35	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(13.0)	—	< 6.3 >			胎土：2.5Y7.2 灰白 外面：7.5YR4/3 褐	
SX1	141	55	35	陶器	碗	口縁 1/8 ~ 底部	(9.8)	4.4	5.7			胎土：5Y8/ 灰白	
SX1	142	55	35	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 底部	(10.0)	5.0	5.6		透明釉	胎土：2.5Y8/3 淡黄	
SX1	143	55	35	陶器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 2/3	11.3	5.0	6.5			胎土：7.5YR8/4 浅黄褐	
SX1	144	55	35	陶器	碗	口縁小	10.0	—	—		上給付	胎土：5G6/1 緑灰	
SX1	145	55	35	陶器	碗	口縁 1/8 ~ 底部 1/3	(10.2)	(3.8)	5.2	拳骨形	鉄釉		
SX1	146	55	35	陶器	碗	口縁小~底部	11.1	(4.9)	6.8	拳骨形。外面に白釉の模様有り。凹型高台		胎土：2.5Y8/2 灰白 釉調：7.5YR3/1 黒褐	
SX1	147	55	35	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/2	(12.4)	—	< 7.8 >	外面にくぼみの模様有り		胎土：10YR6/6 明黄褐 口縁：5YR3/1 黒褐	
SX1	148	55	36	陶器	碗	口縁 1/2 ~ 体部 1/3	(12.4)	—	< 3.8 >	外面：0.7凹	透明釉	胎土：N8/ 灰白	
SX1	149	55	36	陶器	碗	口縁 1/2 ~ 体部小	(14.0)	(5.4)	< 5.5 >			胎土：10YR7/6 明黄褐 釉調：5Y5/3 灰抄ノ7	
SX1	150	55	36	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(10.6)	—	< 3.9 >		鉄釉	胎土：5Y7/1 灰白	
SX1	151	55	36	陶器	碗	体部小~底部	—	< 4.6 >	—		透明釉	胎土：2.5Y8/6 黄	
SX1	152	55	36	陶器	碗	口縁 1/6 ~ 底部	(5.4)	3.4	5.4			胎土：5Y7/1 灰白	
SX1	153	55	36	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/2 ~ 底部	(10.2)	3.8	5.1			胎土：5G8/1	
SX1	154	55	36	陶器	碗	口縁~底部	(11.6)	4.3	6.15			胎土：7.5Y8/1 灰白 釉調：7.5Y7/2 灰白	
SX1	155	55	36	陶器	坏	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(7.2)	(3.2)	2.8	薄手酒杯	透明釉	胎土：2.5Y7/6 明黄褐 外面：7.5YR5/4 にふい褐	
SX1	156	55	36	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(7.0)	—	< 3.0 >				
SX1	157	56	36	陶器	碗	体部小~底部 2/3	—	4.8	< 4.5 >			胎土及び底部：7.5YR8/4 浅黄 釉調：7.5Y5/3 灰抄ノ7	
SX1	158	56	36	陶器	碗	口縁 1/6 ~ 底部 1/4	(9.4)	(3.6)	5.0			胎土：7.5YR8/1 灰白 釉調：5G7/1 明抄ノ7 灰	
SX1	159	56	36	陶器	碗	口縁小~底部 2/3	(9.6)	3.8	5.6		透明釉	胎土：5Y8/1 灰白	
SX1	160	56	36	陶器	碗	口縁 1/3 ~ 底部	10.4	4.8	7.1		透明釉 高台量付無軸	胎土：2.5Y4/1 黄灰	
SX1	161	56	36	陶器	鉢	体部 1/2 ~ 底部 1/3	—	(6.2)	(5.7)	外面：0.7凹ナ	透明釉	胎土：粗砂粒含む 10Y8/1 灰白	
SX1	162	56	36	陶器	鉢	口縁 1/4 ~ 体部小	(17.6)	—	—	内面：文様有り	透明釉	胎土：10YR8/1 灰白	
SX1	163	56	36	陶器	皿	底部 1/2	—	< 6.2 >	—		透明釉	胎土：5Y8/2 灰白	
SX1	164	56	36	陶器	皿	口縁小~底部	8.4	3.8	1.8		鉄釉	良好	
SX1	165	56	36	陶器	灯明皿	口縁 2/3 ~ 底部	< 7.2 >	< 3.8 >	< 1.2 >	底部0.7凹		胎土：7.5Y8/2 灰白 釉調：10YR3/4 暗褐	
SX1	166	56	36	陶器	碗	体部小~底部 1/2	—	(3.6)	0.8		鉄釉	良好	
SX1	167	56	36	陶器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 2/3	< 7.2 >	< 4.0 >	< 1.7 >		透明釉	胎土：10YR8/2 灰白	
SX1	168	56	36	陶器	灯明皿	口縁 2/3 ~ 底部	< 8.4 >	< 3.87 >	< 1.4 >	内面：重ね焼き痕	鉄釉	胎土：7.5YR8/1 灰白 釉調：7.5YR4/4 褐	
SX1	169	56	36	陶器	灯明皿	口縁 1/4 ~ 底部 2/3	(8.6)	(4.0)	1.3		鉄釉	胎土：10YR8/1 灰白 釉調：10YR4/6 褐	
SX1	170	56	36	陶器	皿	口縁~底部	9.3	5.0	1.6	内面：重ね焼き痕	透明釉	胎土：10YR8/3 浅黄褐	
SX1	171	56	36	陶器	灯明皿	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(9.6)	(4.0)	1.5	内面：重ね焼き痕	鉄釉	胎土：7.5Y6/1 灰 釉調：7.5YR4/4 褐	
SX1	172	56	36	陶器	灯明皿	口縁 2/3 ~ 底部 1/2	(10.6)	(4.4)	1.7	内面：重ね焼き痕	鉄釉	胎土：10YR6/1 褐灰 釉調：7.5YR2/2 黒褐	
SX1	173	56	36	陶器	灯明皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(10.6)	(4.0)	2.1	内面：重ね焼き痕	鉄釉	胎土：7.5YR8/3 浅黄褐 釉調：7.5YR4/4 褐	
SX1	174	56	36	陶器	皿	口縁 1/2 ~ 底部 2/3	< 10.6 >	< 4.2 >	< 1.8 >	内面：重ね焼き痕	透明釉	胎土：10YR8/1 灰白	
SX1	175	56	36	陶器	灯明受皿	兜形	7.5	3.6	1.55	底部：回転糸切	鉄釉	良好	
SX1	176	56	36	陶器	灯明受皿	ほぼ兜形	7.6	6.0	1.8	内面：重ね焼き痕	鉄釉	釉調：7.5YR4/4 褐	
SX1	177	56	36	陶器	灯明受皿	口縁 1/8 ~ 底部 1/6	(8.0)	(2.6)	1.9		鉄釉	胎土：5YR6/1 暗褐 釉調：7.5YR3/4 暗褐	
SX1	178	56	36	陶器	灯明受皿	口縁 1/6 ~ 底部 2/3	(10.2)	(3.4)	1.95		鉄釉	良好	
SX1	179	56	36	陶器	灯明受皿	口縁 2/3 ~ 底部	< 12.2 >	6.0	2.2		鉄釉	釉調：5YR4/3 にふい赤褐	
SX1	180	57	37	陶器	皿	口縁 1/5 ~ 底部 1/2	< 17.4 >	< 11.0 >	< 4.0 >		透明釉	胎土：7.5Y7/1 灰白 釉調：7.5Y6/3 抄ノ7 黄	
SX1	181	57	37	陶器	皿	体部~底部	—	12.5	< 2.9 >		透明釉・高台量付無軸	良好	
SX1	182	57	37	陶器	皿	口縁小	(7.0)	—	—		透明釉	胎土：5Y7/2 灰白	
SX1	183	57	37	陶器	皿	口縁小~体部 1/4	(13.6)	—	1.95	内面：0.7凹		胎土：7.5YR7/6 褐	
SX1	184	57	37	陶器	蓋	口縁 1/2 ~ 体部 1/2	(7.8)	—	1.95		内面：灰釉 外面：無釉	胎土：5Y6/2 灰抄ノ7	
SX1	185	57	37	陶器	蓋	ほぼ兜形	6.3	3.2	1.6		内面：施釉 外面：無釉	胎土：10YR2/3 黒褐	
SX1	186	57	37	陶器	蓋	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(13.0)	(4.8)	2.4	内面：0.7凹ナ		胎土：5Y1/7 灰白 釉調：7.5Y6/1 灰	
SX1	187	57	37	陶器	蓋	底部 1/4 ~ 口縁 1/4	(11.2)	(4.0)	1.8	底面回転0.7凹ナ	鉄釉	良好	
SX1	188	57	37	陶器	蓋	底部 3/4 ~ 口縁 3/4	(10.6)	つまみ 2.1	—		透明釉	胎土：N8/ 灰白	
SX1	189	57	37	陶器	蓋	体部小~口縁	—	4.0	—			胎土：5Y6/1 灰 釉調：10YR4/6 褐	
SX1	190	57	37	陶器	片口	口縁~体部	(20.0)	—	< 5.0 >			良好	
SX1	191	57	37	陶器	土瓶把手	把手	7.9	4.2	2.3	模様有り		良好	
SX1	192	5											

第4表 遺物観察表(3)

出土地点	遺物番号	押印	写真図版	種別	器種	部位	量測			調整・特徴	装飾(釉薬)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SX1	205	59	38	陶器	土瓶	体部	—	—	< 8.2 >		透明釉・繪付		良好
SX1	206	59	38	陶器	蓋(三ツ子)	完形	4.0	つまみ 1.0	1.8		緑釉・灰白釉	胎土: 5YR5/4 にふいね 釉調: 7.5YR/2 灰白	良好
SX1	207	59	38	磁器	合子	ほぼ完形(蓋なし本体)	2.8	2.8	1.2		灰釉	胎土: 5YR/2 灰白	良好
SX1	208	59	38	陶器	仏飯器	口縁 1/2 ~ 底部	(6.4)	3.4	5.5		灰釉		良好
SX1	209	59	38	陶器	仏飯器	口縁 2/3 ~ 体部 2/3	(8.0)	—	< 4.3 >		灰釉	胎土: 7/1 灰白	良好
SX1	210	59	38	陶器	仏飯器	底部 2/3	—	< 6.4 >	—		灰釉	胎土: 5YR/1 灰白 釉調: 7.5YR/2 黒褐	良好
SX1	211	59	38	陶器	乗覆	口縁 1/2 ~ 体部 3/4 ~ 底部	—	4.4	5.1		鉄釉	胎土: 7.5YR/2 黒褐	良好
SX1	212	59	38	陶器	乗覆	体部	—	—	< 3.0 >	台付	鉄釉		良好
SX1	213	59	38	陶器	水注	口縁 1/5 ~ 底部 1/4	(4.0)	7.5	9.7		鉄釉	胎土: 細砂粒含む 2.5YR/2	良好
SX1	214	59	38	陶器	瓶	体部小~底部	—	6.4	< 3.2 >	底部回転系切	灰釉	胎土: 5Y7/2 灰白	良好
SX1	215	59	38	陶器	仏花瓶	体部	—	—	< 6.8 >		鉄釉・灰釉	胎土: 2.5Y7/1 灰白 灰白	良好
SX1	216	59	38	陶器	壺	口縁 1/2 ~ 体部 1/6	(3.6)	—	< 4.5 >		鉄釉	胎土: 細砂粒含む 黒粒子	良好
SX1	217	59	38	陶器	壺	口縁 3/4 ~ 底部 3/4	4.6	(5.2)	7.5		灰釉	胎土: 5Y6/3 粉-7 黄	良好
SX1	218	59	38	陶器	壺	口縁 1/4 ~ 体部小	(9.0)	—	< 4.9 >		灰釉	胎土: 2.5Y7/1 灰白 釉調: 5Y5/3 灰白-7	良好
SX1	219	59	38	陶器	徳利	体部 1/2 ~ 底部小	—	(6.4)	< 13.7 >	ペコカン	一部鉄釉		良好
SX1	220	59	38	陶器	徳利	ほぼ完形	—	6.4	< 15.0 >	ペコカン、底部砂付着	鉄釉		良好
SX1	221	59	39	陶器	徳利	体部小~底部 2/3	—	6.4	3.55	ペコカン、内面: 叩け打 底部回転系切	鉄釉	胎土: 2.5YR/3 淡黄	良好
SX1	222	59	39	陶器	徳利	体部 1/4	—	—	< 13.1 >	ペコカン	鉄釉	胎土: 2.5Y7/1 灰白 鉄釉: 5YR3/4 明赤褐	良好
SX1	223	59	39	陶器	灰吹き	口縁~体部	(8.8)	—	< 7.6 >	貫入有り、口縁端部に敲打痕	透明釉	胎土: 5YR/1 灰白	良好
SX1	224	59	39	陶器	瓶	体部	—	—	—	貫入有り	上絵付		良好
SX1	225	59	39	陶器	壺	口縁~体部	(8.4)	—	< 3.3 >		灰釉	胎土: 粗砂含む 10Y8/ 灰白	良好
SX1	226	60	39	陶器	香炉	体部小~底部 1/2	—	(10.8)	< 3.4 >	内外面: 叩け打	鉄釉	胎土: N 7/1 灰白 釉調: 10 Y R 3/2 黒褐	良好
SX1	227	60	39	陶器	瓶	体部小~底部	—	< 7.2 >	—		鉄釉	胎土: 7.5YR8/1 灰白 釉調: 7.5Y4/3 暗粉-7	良好
SX1	228	60	39	陶器	鉢	体部小~底部小	—	(7.0)	—	内外面: 叩け打		胎土: 2.5 Y 1/2 黒	良好
SX1	229	60	39	陶器	壺	口縁~体部	(11.8)	—	< 9.8 >		透明釉・繪付		良好
SX1	230	60	39	陶器	皿	体部~底部	—	(8.2)	< 2.5 >	蛇の目刺割ぎ	灰釉		良好
SX1	231	60	39	陶器	鉢	口縁 1/3 ~ 体部小	17.6	—	< 5.6 >		灰釉	胎土: 細砂粒含む 5 Y 8/2 灰白	やや不良
SX1	232	60	39	陶器	皿	底部	—	13.0	< 3.9 >	内面: 裏ね焼き痕			良好
SX1	233	60	39	陶器	鉢	口縁 1/4 ~ 体部 1/6	(26.8)	—	< 11.1 >		灰釉	胎土: 2.5 Y 8/1 灰白	良好
SX1	234	60	39	陶器	皿	底部 1/4	—	14.0	—			5Y6/2 灰粉-7	良好
SX1	235	60	39	陶器	壺	口縁 1/6 ~ 体部小	(20.6)	—	< 11.7 >		鉄釉	胎土: 細砂粒含む	やや不良
SX1	236	60	39	陶器	鉢	口縁 1/3 ~ 体部小	(27.4)	—	< 5.3 >	内外面: 叩け打		胎土: 10 Y 6/1 灰 釉調: 5 Y 6/2 灰粉-7	良好
SX1	237	60	39	陶器	鉢	体部~底部	—	(19.2)	< 13.5 >	内面: 裏ね焼き痕	鉄釉	胎土: 2.5 Y 8/2 灰白	良好
SX1	238	60	39	陶器	壺	体部 1/6 ~ 底部 1/4	—	(12.8)	< 13.4 >	内面: 裏ね焼き痕	鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	良好
SX1	239	61	39	陶器	播鉢	口縁 1/6 ~ 体部小	(34.8)	—	< 9.9 >		鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	やや不良
SX1	240	61	39	陶器	播鉢	口縁~体部	—	—	7.5		鉄釉		良好
SX1	241	61	39	陶器	播鉢	口縁 1/4 ~ 体部小	< 35.0 >	—	—		鉄釉	胎土: 10R5/8 赤	良好
SX1	242	61	39	陶器	播鉢	口縁小	—	—	(4.6)		鉄釉	胎土: 2.5YR4/2 灰赤	良好
SX1	243	61	40	陶器	播鉢	口縁 1/6 ~ 体部小	(19.5)	—	< 5.4 >		鉄釉		良好
SX1	244	61	40	陶器	播鉢	口縁小	—	—	(6.2)		鉄釉	胎土: 10R4/2 灰赤	良好
SX1	245	61	40	陶器	播鉢	口縁~体部	(32.4)	—	< 7.7 >		鉄釉	胎土: 10R4/6 赤	良好
SX1	246	61	40	陶器	播鉢	口縁小	—	—	—		鉄釉	胎土: 2.5YR5/6 明赤褐	良好
SX1	247	61	40	陶器	播鉢	口縁~体部	—	—	14.5		鉄釉		良好
SX1	248	61	40	陶器	播鉢	口縁小~体部小	—	—	< 11.0 >		口縁部鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	良好
SX1	249	62	40	陶器	播鉢	口縁小~体部小	(22.0)	—	< 4.4 >		鉄釉	胎土: 2.5YR/1 灰白	
SX1	250	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 3/1	—	(9.2)	< 4.1 >	底部回転系切 外面: 叩け打	鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	
SX1	251	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/6	—	(23.0)	7.5			胎土: 細砂粒含む・長石 2.5YR4/2 灰赤	
SX1	252	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/6	—	(15.5)	< 7.2 >			胎土: 細砂粒含む・長石 2.5YR5/6 明赤褐	
SX1	253	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/2	—	(15.0)	< 7.9 >	底部回転系切	鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	やや不良
SX1	254	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/4	—	(16.0)	< 8.4 >	底部回転系切	鉄釉	胎土: 2.5Y7/2 灰黄	
SX1	255	62	40	陶器	播鉢	体部 1/4 ~ 底部 1/4	—	(12.0)	< 8.9 >		鉄釉	胎土: 細砂粒含む・長石	やや不良
SX1	256	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/4	—	(15.8)	< 3.6 >	底部くぼみ有り		胎土: 細砂粒含む・長石 10R4/8 赤	
SX1	257	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/6	—	(16.0)	< 5.4 >		無釉	胎土: 細砂粒含む・長石 10R5/6 赤	良好
SX1	258	62	40	陶器	播鉢	体部小~底部 1/4	—	(14.4)	< 4.7 >		無釉		
SX1	259	63	40	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(11.6)	(8.0)	< 2.6 >			胎土: 7.5YR7/4 にふいね	良好
SX1	260	63	40	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/3	< 10.0 >	< 7.0 >	< 1.3 >			胎土: 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	261	63	40	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/6	< 9.8 >	< 7.8 >	< 2.6 >			胎土: 7.5YR7/8 黄褐	
SX1	262	63	40	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部	(9.2)	< 7.0 >	< 1.7 >			胎土: 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	263	63	40	土器	皿	口縁小~底部 1/2	(9.0)	< 7.0 >	1.4	底部回転系切		胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR/1 黒褐 外面: 7.5YR5/2 灰褐	
SX1	264	63	41	土器	皿	口縁 3/4 ~ 底部	(9.6)	< 6.0 >	< 2.2 >			胎土: 5YR7/4 にふいね	
SX1	265	63	41	土器	灯明皿	口縁 1/6 ~ 底部	(8.4)	< 5.4 >	< 1.8 >	底部回転系切 口縁部隈付着		胎土: 5YR6/6 橙	
SX1	266	63	41	土器	灯明皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(8.2)	(6.0)	1.5	口縁部隈付着		胎土: 細砂粒含む 7.5YR7/8 黄褐	
SX1	267	63	41	土器	皿	口縁 1/2 ~ 底部	(8.0)	< 5.2 >	< 1.8 >			胎土: 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	268	63	41	土器	皿	底部	—	(5.4)	—			胎土: 7.5YR5/6 明褐	
SX1	269	63	41	土器	皿	口縁~底部	7.6	5.4	1.55	外面: 叩け打 底部回転系切		胎土: 長石・雲母含む 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	270	63	41	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/2	< 7.0 >	< 4.8 >	< 1.3 >			胎土: 10YR7/4 にふいね黄褐	
SX1	271	63	41	土器	皿	口縁 1/2 ~ 底部	6.2	4.4	1.4	底部回転系切 4面所に孔有り		胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR5/3 にふいね	
SX1	272	63	41	土器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(6.0)	(4.6)	1.3	底部回転系切		胎土: 10YR7/4 にふいね黄褐	
SX1	273	63	41	土器	灯明皿	口縁 2/3 ~ 底部 1/4	(6.2)	(4.6)	< 1.2 >	底部回転系切		胎土: 5YR7/6 橙	
SX1	274	63	41	土器	焼塩釜	口縁~体部	(6.0)	—	< 6.2 >	板作り成形		胎土: やや粗・長石・赤色粒含む 5YR6/6 橙	
SX1	275	63	41	土器	焼塩釜	体部小~底部 2/3	—	6.0	—	板作り成形		胎土: 5YR7/6 橙	
SX1	276	63	41	土器	焼塩釜	体部~底部	—	4.8	< 3.0 >	叩け成形		胎土: 赤色粒微量含む 7.5YR7/6 橙	
SX1	277	63	41	陶器	瓶	体部 1/4 ~ 底部	—	3.4	3.4	底部回転系切		胎土: 6/6 橙 釉調: 2.5YR4/6 赤褐	
SX1	278	63	41	土器	瓦灯か	天井部	6.5	—	< 3.0 >	内面: 煤付着		胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	279	63	41	土器	瓦灯か	天井部	8.6	—	< 3.9 >			胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR5/4 にふいね	
SX1	280	63	41	土器	焙烙	口縁部~底部小	—	(28.0)	—			胎土: 7.5YR7/3 にふいね	
SX1	281	63	41	土器	焙烙	内耳部	< 5.5 >	< 3.5 >	< 4.5 >			胎土: 7.5YR5/4 にふいね	
SX1	282	63	41	土器	焙烙	内耳部	—	—	< 4.8 >			胎土: 細砂粒含む 7.5YR6/6 橙	
SX1	283	63	41	土器	焙烙	内耳部	< 9.5 >	< 6.4 >	3.4			胎土: 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	284	63	41	土器	焙烙	内耳部	—	—	< 4.1 >	外面: 煤付着		胎土: 雲母含む 2.5Y5/1 黄白 外面: 2.5Y3/1 黒褐	
SX1	285	64	41	土器	焙烙	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(21.6)	(20.0)	4.1			胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR6/4 にふいね	
SX1	286	64	41	土器	焙烙	体部小~底部	—	(22.0)	< 2.7 >			胎土: 7.5YR7/4 にふいね	
SX1	287	64	41	土器	火鉢	口縁小~底部小	(26.0)	(21.6)	(8.0)			胎土: 細砂粒含む 5YR6/6 橙	
SX1	288	64	41	土器	灰炉(涼炉)	体部	—	—	< 6.5 >			胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR6/6 橙	
SX1	289	64	41	土器	不明	体部	—	—	—			胎土: 長石含む 10YR6/4 にふいね黄褐	
SX1	290	64	41	土器	火鉢	口縁~体部	—	—	< 7.2 >			胎土: 7.5YR6/3 にふいね	

第5表 遺物観察表(4)

出土地点	遺物番号	押回	写真図版	種別	器種	部位	流量			調整・特徴	装飾(輪葉)	胎土・色調	焼成
							口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)				
SX1	307	65	42	土器	火鉢類	口縁1/4～体部小	(24.0)	—	< 8.2 >	内面: 煤付着	胎土: 長石・雲母・赤色粒含む 10YR6/4 に近い黄褐色	良好	
SX1	308	65	42	土器	火鉢類	口縁～体部	(26.0)	—	< 7.3 >	外面: 0707 打	胎土: 長石・雲母含む 10YR6/3 に近い黄褐色 外面: 10YR7/2 に近い黄褐色	良好	
SX1	309	65	42	土器	火鉢類	口縁小	(34.0)	—	—	—	胎土: 5YR7/6 橙	良好	
SX1	310	65	42	土器	火鉢類	口縁～体部	(32.0)	—	< 17.2 >	外面: 0707 打 文様有り	胎土: 長石・雲母含む 7.5YR6/4 に近い橙	良好	
SX1	311	65	42	土器	火鉢類	口縁小	(42.0)	—	< 8.8 >	外面: 文様有り	胎土: 7.5YR5/4 に近い黄褐色	良好	
SX1	312	65	42	土器	火鉢類	口縁～体部	(24.0)	—	< 8.5 >	外面: 0707 打 文様有り	胎土: 長石・雲母含む 10YR6/4 に近い黄褐色	良好	
SX1	313	65	42	土器	火鉢類	口縁小～体部小	(34.0)	—	< 7.1 >	外面: 文様有り 内面: 0707 打	胎土: 長石・雲母・赤色粒含む 7.5YR6/4 に近い橙	良好	
SX1	314	65	43	土器	火鉢類	口縁1/8～体部小	(38.0)	—	< 13.3 >	外面: 文様有り 内面: 0707 打・指痕	胎土: 長石・雲母・赤色粒含む 7.5YR5/4 に近い橙	良好	
SX1	315	65	43	土製品	土鈴	ほぼ完形	3.0	2.6	2.6	—	胎土: 10YR8/3 浅黄	良好	
SX1	316	65	43	土製品	礫石	完形	1.9	2.0	0.4	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好	
SX1	317	66	43	瓦	軒丸瓦	—	—	—	—	—	胎土: N5/ 灰	良好	
SX1	318	66	43	瓦	丸瓦	—	< 9.7 >	< 16.1 >	1.8	—	胎土: N5/ 灰	良好	
SX1	319	66	43	瓦	丸瓦	—	< 16.7 >	< 10.9 >	1.8	—	胎土: N4/ 灰白	良好	
SX1	320	66	43	瓦	丸瓦	—	< 19.8 >	< 12.2 >	3.0	—	胎土: 細砂粒含む 5Y6/1 灰	良好	
SX1	321	66	43	瓦	丸瓦	—	< 12.4 >	< 7.1 >	2.0	内面: 布目	胎土: N4/ 灰白	良好	
SX1	322	66	43	瓦	丸瓦	—	< 6.9 >	< 5.3 >	2.0	—	胎土: 細砂粒含む N5/0 灰	良好	
SX1	323	66	43	瓦	平瓦	—	< 20.9 >	< 16.9 >	2.2	—	胎土: 粗砂粒含む 7.5Y6/1 灰	良好	
SX1	324	66	43	瓦	棧瓦	—	< 13.6 >	< 13.2 >	1.7	井 刻印有り	胎土: N4/ 灰白	良好	
SX1	325	67	43	石製品	硯	—	< 13.7 >	6.1	1.4	—	胎土: N7/ 灰	良好	
SX1	326	67	43	石製品	砥石	—	< 8.7 >	< 4.5 >	1.0	—	胎土: 2.5Y6/ 黄灰	良好	
SX1	327	67	43	石製品	硯	—	< 5.7 >	< 4.6 >	0.9	—	胎土: N7/ 灰白	良好	
SX1	328	67	43	石製品	砥石	—	< 8.5 >	< 5.3 >	1.8	—	胎土: 2.5GY/1 打-7 灰	良好	
SX1	329	67	43	石製品	砥石	—	< 6.2 >	5.0	1.9	—	胎土: 2.5GY/1 打-7 灰	良好	
SX1	330	67	44	石製品	砥石	—	6.5	2.9	2.3	—	胎土: 5YR8/4 淡橙	良好	
SX1	331	67	44	石製品	砥石	—	< 5.1 >	4.0	1.3	—	胎土: 5Y8/1 灰白	良好	
SX1	332	67	44	石製品	砥石	—	< 13.5 >	< 8.7 >	0.8	—	胎土: 5B6/1 明青灰	良好	
SX1	333	67	44	石製品	砥石	—	< 11.6 >	< 4.9 >	1.3	—	胎土: 5Y7/2 灰白	良好	
SX1	334	67	44	金属	飾り金具	—	< 4.3 >	1.5	0.1	さび付着 模様有り	—	—	
SX1	335	67	44	金属	金具	口縁～体部	3.3	2.4	—	さび付着	—	—	
SB1	1	68	44	磁器	碗	体部小～底部 1/4	—	(3.8)	< 3.0 >	—	染付・透明釉	良好	
SB1	2	68	44	陶器	灯明受皿	ほぼ完形	10.1	4.4	2.0	—	—	胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 5Y8/2 灰白	良好
SB1	2	68	44	石	水晶	—	3.4	3.4	1.6	重さ 15.4 g 単割離面打面の剥片	—	—	
SB1	3	68	44	陶器	灯明受皿	完形	10.0	4.5	2.0	—	—	胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 5Y8/2 灰白	良好
SB1	3	68	44	石	水晶	—	2.4	3.3	0.8	重さ 6.8 g 自然面打面の剥片	—	—	
SB1	3	68	44	石	水晶	—	3.8	2.5	2.1	重さ 14.1 g 打面欠損の剥片	—	—	
SB1	4	68	44	陶器	灯明受皿	完形	9.2	3.5	1.9	—	—	胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 5Y8/2 灰白	良好
SB1	5	68	44	陶器	灯明受皿	ほぼ完形	9.9	4.2	2.0	—	—	胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 5Y8/2 灰白	良好
SB1	5	68	44	石	水晶	—	3.0	3.3	1.7	重さ 10.6 g 背面に自然面が残存する剥片	—	—	
SB1	6	68	44	陶器	灯明受皿	完形	9.8	4.1	2.2	—	—	胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 5Y8/2 灰白	良好
SB1	6	68	44	石	水晶	—	3.5	2.0	0.8	重さ 6.7 g 単割離面打面 背面に自然面が残存	—	—	
SB1	6	68	44	石	水晶	—	3.3	2.9	1.7	重さ 13.7 g 自然面打面 背面に自然面が残存	—	—	
SB2	1	68	44	磁器	碗	口縁1/4～体部 1/6	(12.0)	—	3.4	—	染付・透明釉	良好	
SB2	2	68	44	磁器	皿	口縁小～底部 1/4	(10.2)	(6.2)	2.8	—	染付・透明釉	良好	
SB2	3	68	44	土器	鉢	口縁1/2～底部 4/5	23.3	19.8	4.7	—	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK1	1	68	44	陶器	播鉢	口縁1/2～底部 1/2	(31.4)	(15.6)	14.6	—	鉄釉	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK1	2	68	44	土器	目皿	底部～口縁 1/4	(18.0)	(18.0)	1.7	—	—	雲母・長石含む 胎土: 7.5YR7/4 に近い橙	良好
SK1	3	68	44	土器	目皿	口縁～底部 1/4	(18.4)	(22.0)	2.1	—	—	胎土: 5YR6/4 に近い橙	良好
SK1	4	68	44	土器	火鉢	口縁1/4～体部小	(28.6)	—	< 7.9 >	—	—	雲母・長石・赤褐色粒子含む 胎土: 4/2 灰褐	良好
SK1	5	69	45	土器	七厘	—	< 13.9 >	< 12.0 >	< 12.4 >	—	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK1	6	69	45	瓦	軒瓦	—	< 6.4 >	< 8.2 >	< 7.9 >	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK1	7	69	45	瓦	棧瓦	—	—	—	—	刻印有り	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK1	8	69	45	瓦	棧瓦	—	24.7	< 21.9 >	1.6	刻印有り	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK1	9	70	45	瓦	棧瓦	—	< 9.9 >	< 6.3 >	1.8	刻印有り	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK1	10	70	45	瓦	棧瓦	—	< 7.1 >	< 4.6 >	1.5	刻印有り	—	胎土: N5/ 灰	良好
SK1	11	70	45	瓦	棧瓦	—	< 11.0 >	< 19.0 >	1.6	—	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK1	12	70	45	硝子	瓶	口縁～体部小	2.4	—	< 15.6 >	—	—	胎土: 7.5YR4/4 橙	良好
SK2	1	70	45	磁器	碗	口縁小	(9.2)	—	—	—	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	良好
SK2	2	70	45	陶器	碗	ほぼ完形	6.5	3.4	4.3	鎌月焼の前茶碗。器面に手描きの和歌。SD6-8と同型。	—	胎土: 7.5YR5/3 に近い橙 釉調: 2.5YR6/2 灰黄	良好
SK2	3	70	45	陶器	播鉢	口縁1/4	29.0	—	10.2	—	鉄釉	胎土: 2.5Y8/2 灰白	良好
SK2	4	70	45	土器	皿	口縁3/4～底部	7.0	4.4	2.1	底部回転糸切 穴有り	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK2	5	70	45	土器	火消壺の蓋	つまみ部	(11.8)	—	< 5.8 >	内面: 打 外面: 打	—	雲母・長石含む 胎土: 7.5YR5/3 に近い橙 外面: 10YR2/1 黒	良好
SK2	6	70	45	土器	不明	体部	—	—	< 4.65 >	内外面: 打	—	雲母・長石・赤色粒含む 胎土: 7.5YR6/4 に近い橙	良好
SK2	7	70	45	瓦	棧瓦	—	< 22.5 >	< 16.3 >	< 17.5 >	—	—	胎土: N3/0 暗灰	良好
SK2	8	70	45	瓦	棧瓦	—	< 9.6 >	< 15.4 >	1.6	—	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK2	9	70	45	石	砥石	—	< 5.5 >	4.1	1.7	—	—	胎土: N8/ 灰白	良好
SK2	10	70	45	硝子	樽	口縁1/2～体部 1/3	4.4	—	5.3	—	透明釉	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	1	71	46	磁器	碗	口縁1/2～底部 1/2	7.6	3.6	3.8	—	染付・透明釉	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	2	71	46	土器	火鉢	体部～底部 (足付)	—	(12.0)	< 5.7 >	—	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK3	3	71	46	土器	火鉢	口縁1/6	(41.0)	—	< 6.9 >	内面煤付着	—	雲母・長石・赤褐色粒含む 胎土: 7.5YR5/3 に近い橙	良好
SK3	4	71	46	土器	竈	—	< 15.9 >	20.7	4.0	—	—	胎土: 7.5YR6/4 に近い橙 上面: 7.5Y2/1 黒	良好
SK3	5	71	46	瓦	軒瓦	—	< 9.2 >	< 12.7 >	8.1	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	6	71	46	瓦	棧瓦	—	< 5.1 >	< 4.8 >	1.5	刻印有り	—	胎土: N5/ 灰	良好
SK3	7	71	46	瓦	棧瓦	—	< 8.9 >	< 7.2 >	1.5	刻印有り	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK3	8	71	46	瓦	棧瓦	—	< 9.0 >	< 13.6 >	1.6	刻印有り	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK3	9	71	46	瓦	棧瓦	—	26.1	< 18.4 >	1.65	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	10	71	46	瓦	棧瓦	—	26.6	26.6	1.7	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	11	72	46	瓦	棧瓦	—	—	—	—	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	12	72	46	瓦	棧瓦	—	—	—	—	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	13	72	46	瓦	棧瓦	—	< 13.3 >	< 14.0 >	1.7	刻印有り	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK3	14	72	46	瓦	棧瓦	—	< 16.6 >	< 16.7 >	1.9	—	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK3	15	72	46	瓦	棧瓦	—	< 18.7 >	< 23.3 >	1.7	—	—	胎土: N4/0 灰	良好
SK3	16	72	46	瓦	平瓦	—	< 20.0 >	< 13.5 >	1.5	—	—	胎土: N3/ 暗灰	良好
SK4	1	73	46	瓦	棧瓦	—	< 3.7 >	< 5.4 >	1.6	刻印有り	—	胎土: N4/ 灰	良好
SK5	1	73	46	土器	火鉢	口縁～底部 (足3付)	(19.0)	(15.6)	8.8	底面中央に穴有り・榫木鉢取用か 外面煤付着	—	胎土: 10YR5/3 に近い黄褐色	良好
SK5	2	73	46	土器	火鉢	—	—	—	6.9	外面: 煤付着	—	胎土: 5YR6/6 橙	良好
SK5	3	73	46	瓦	棧瓦	—	< 5.8 >	< 6.8 >	1.6	—	—	胎土: N6/ 灰	良好
SK5	4	73	46	瓦	平瓦	—	< 4.7 >	< 13.5 >	1.6	—	—	胎土: 7.5YR8/4 浅黄	良好
SK6	1	73	47	瓦	棧瓦	—	< 13.9 >	< 9.0 >	1.7	—	—	胎土: 7.5YR6/4 に近い橙	良好
SK6	2	73	47	陶器	罎子	—	3.0	3.0	4.2	絶縁器具	—	胎土: 白	良好
SK8	1	73											

第6表 遺物観察表(5)

出土地点	遺物番号	押図	写真図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸葉)	胎土・色調	焼成	
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)					
SK11	12	74	47	土器	皿	口縁1/2～底部	< 7.0 >	< 3.6 >	< 1.9 >	底部回転糸切	細砂粒含む 胎土：5YR7/8 橙	良好		
SK11	13	74	47	土器	皿	口縁1/4～底部1/4	< 7.6 >	< 4.0 >	< 2.0 >	底部回転糸切	細砂粒含む 胎土：7.5YR5/4 にぶい橙	良好		
SK11	14	74	47	土器	皿	口縁～底部	< 8.0 >	< 4.6 >	< 1.8 >	底部回転糸切	細砂粒含む 胎土：5YR6/6 橙	良好		
SK11	15	74	47	土器	皿	口縁1/2～底部1/2	(7.8)	< 4.8 >	< 1.8 >	底部回転糸切	細砂粒含む 胎土：5YR6/8 橙	良好		
SK11	16	74	47	土器	皿	口縁1/2～底部	< 7.8 >	< 4.2 >	< 2.4 >	底部回転糸切	細砂粒含む	良好		
SK11	17	74	47	土器	皿	口縁3/4～底部	(7.8)	< 5.0 >	(2.2)	内外面：煤付着	胎土：10YR7/3 にぶい黄橙	良好		
SK11	18	74	47	土器	皿	口縁3/4～底部	< 7.4 >	< 5.0 >	< 2.1 >	底部回転糸切	細砂粒含む	良好		
SK11	19	74	47	土器	皿	口縁～底部	(9.65)	5.4	2.4	内外面：070f	長石・石英・雲母含む 胎土：5YR7/6 橙	良好		
SK11	20	74	47	土器	皿	口縁1/4～底部1/4	(8.8)	(5.2)	1.8	内外面・破断面：煤付着	細砂粒含む 胎土：7.5YR7/4 にぶい橙	良好		
SK11	21	74	47	石	凹石		18.5	13.0	—		10YR7/1 灰白			
SK11	22	74	47	石	凹石		19.2	12.7	11.2		N7/ 灰白			
SK11	23	74	47	石	凹石		13.5	11.8	6.9		5GY7/1 明オレンジ			
SK12	1	74	47	陶器	壺	底部～体部～頸部	—	—	(31.6)	内外面：070f	胎土：2.5 Y R 5/4 にぶい赤橙	良好		
SK13	1	75	48	磁器	徳利	口縁3/4～体部小	(2.8)	—	< 6.0 >	内面：070f	染付・透明釉	良好		
SK13	2	75	48	土製品	人面	完形	7.8	5.6	—	人面	長石・石英含む 胎土：7.5YR6/6 橙	良好		
SK13	3	75	48	土製品	人面	完形	7.3	6.0	—	人面	長石・石英含む 胎土：7.5YR6/6 橙	良好		
SK13	4	75	48	土師器	面提	完形	7.4	6.0	3.8	内面：獅子の人面、外面：輪つみ痕	胎土：5YR5/6 明赤橙	良好		
SK13	5	75	48	土製品	碁石	完形	2.0	2.1	0.5		胎土：5YR7/6 橙	良好		
SK13	6	75	48	石製品	石筆		2.4	0.7	0.5					
SK13	7	75	48	石製品	石筆		2.3	0.7	0.7					
SK13	8	75	48	瓦	棧瓦		< 5.4 >	< 4.8 >	1.5	刻印有り	胎土：N4/ 灰	良好		
SK17	1	75	48	陶器	土瓶	口縁1/4～体部	(9.0)	—	8.7	染付 内面：070f	胎土：7.5YR8/3	良好		
SK17	2	75	48	磁器	瓶(徳利)		3.0	—	< 11.1 >	内面：070f		良好		
SK17	3	75	48	瓦	棧瓦		< 19.2 >	< 13.6 >	1.5		胎土：N4/ 灰	良好		
SK17	4	75	48	瓦	棧瓦		< 13.2 >	< 12.6 >	1.6	刻印有り	胎土：N4/ 灰	良好		
SK17	5	75	48	瓦	平瓦		< 10.5 >	< 10.5 >	1.7		胎土：N3/ 灰暗	良好		
SK18	1	76	48	磁器	碗	口縁1/2～底部	< 10.8 >	< 4.2 >	< 5.7 >		染付・透明釉	良好		
SK18	2	76	48	磁器	碗	口縁1/2～底部	< 11.6 >	< 4.0 >	< 4.7 >	型紙摺り	染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好	
SK18	3	76	48	磁器	杯	口縁1/4～底部	7.2	2.6	3.1		透明釉		良好	
SK18	4	76	48	磁器	杯	完形	< 8.6 >	< 3.4 >	< 3.7 >		染付・透明釉		良好	
SK18	5	76	48	磁器	碗	口縁5/6～底部	8.0	3.4	—		染付・透明釉		良好	
SK18	6	76	48	磁器	杯	口縁1/2～底部1/2	(6.4)	(2.8)	4.4		染付・透明釉		良好	
SK18	7	76	48	磁器	杯	ほぼ完形	6.4	2.8	4.4		染付・透明釉		良好	
SK18	8	76	48	磁器	杯	口縁1/2～底部	(6.2)	3.0	4.6		染付・透明釉		良好	
SK18	9	76	48	磁器	皿	完形	< 10.8 >	< 6.0 >	< 1.8 >		染付・透明釉		良好	
SK18	10	76	48	磁器	皿	口縁3/4～底部	< 10.6 >	< 5.8 >	< 1.9 >		染付・透明釉		良好	
SK18	11	76	48	磁器	皿	口縁1/2～底部	< 10.8 >	< 5.8 >	< 1.8 >		染付・透明釉		良好	
SK18	12	76	48	磁器	蓋	口縁～底部1/2	11.0	4.0	2.6		染付・透明釉		良好	
SK18	13	76	48	陶器	碗	口縁1/3～底部	8.6	3.8	5.0	捺染物付着			良好	
SK18	14	76	48	陶器	天目茶碗	口縁1/2～底部	(10.0)	5.0	6.4				良好	
SK18	15	76	48	陶器	碗	口縁1/4	(8.0)	—	—	捺染物付着			良好	
SK18	16	76	48	陶器	碗	口縁1/4～体部小	(8.0)	—	—	捺染物付着			良好	
SK18	17	76	48	陶器	碗	口縁1/2～体部1/2	(18.0)	—	8.6			胎土：10YR7/2 軸調：緑軸(外)、灰軸(内)	良好	
SK18	18	77	49	土器	焙烙	口縁～底部	30.6	22.4	6.5	外面：煤付着			良好	
SK18	19	77	49	土器	不明	口縁1/8～体部1/8	—	(24.4)	< 8.1 >	内外面：指汗	細砂粒含む(雲母・長石・赤色粒) 胎土：7.5YR6/4 にぶい橙		良好	
SK18	20	77	49	土器	火鉢	口縁1/6	(19.6)	—	< 5.3 >	捺染物付着			良好	
SK18	21	77	49	土器	炉型土器	口縁～体部	< 8.2 >	< 6.9 >	—			胎土：10YR7/3 にぶい黄橙	良好	
SK18	22	77	49	土器	燈炉	体部1/4～底部1/4	—	(19.0)	< 10.4 >	外面：模様有り	細砂粒含む(雲母・長石) 胎土：5Y5/1 灰 内外面：10Y3/1 初ノ黒		良好	
SK18	23	77	49	瓦	軒棧瓦		< 21.2 >	25.6	1.5				良好	
SK18	24	77	49	瓦	棧瓦		27.1	25.0	1.5	刻書有り	細砂粒含む 胎土：N4/ 灰		良好	
SK18	25	77	49	瓦	棧瓦		< 8.0 >	< 9.5 >	1.5	刻印有り	胎土：N4/ 灰		良好	
SK18	26	77	49	瓦	平瓦		< 12.0 >	< 10.7 >	1.7	刻印有り	胎土：N4/ 灰		良好	
SK18	27	77	49	瓦	丸瓦		< 9.1 >	4.4	1.9		細砂粒含む 胎土：N4/0 灰		良好	
SK18	28	77	49	瓦	平瓦		< 2.7 >	< 4.3 >	1.6	刻印有り	胎土：N4/ 灰		良好	
SK18	29	78	49	瓦	棧瓦		< 23.0 >	< 12.1 >	1.5		細砂粒含む 胎土：N3/0 暗灰		良好	
SK18	30	78	49	瓦	棧瓦		—	—	—		細砂粒含む 胎土：N4/0 灰		良好	
SK18	31	78	49	瓦	棧瓦		< 26.6 >	< 14.6 >	1.95	刻印有り	細砂粒含む 胎土：N4/0 灰		良好	
SK18	32	78	49	瓦	棧瓦		26.4	27.1	1.6		細砂粒含む 胎土：10Y4/1 灰		良好	
SK18	33	78	49	瓦	棧瓦		< 15.3 >	< 15.7 >	1.7		胎土：5Y4/1 灰		良好	
SK18	34	79	49	瓦	棧瓦		< 22.3 >	< 21.8 >	1.7	刻印有り	細砂粒含む 胎土：N5/0 灰		良好	
SK18	35	79	49	瓦	棧瓦		< 23.9 >	< 26.3 >	1.7		細砂粒含む 胎土：N4/0 灰		良好	
SK18	36	79	49	土製品	埴笛		4.5	7.0	< 2.1 >		胎土：2.5YR6/8 橙		良好	
SK18	37	79	49	石製品	硯		< 3.5 >	< 3.9 >	< 0.9 >		胎土：5Y6/1 灰			
SK18	38	79	49	硝子		口縁～体部	2.4	3.2	4.5		透明釉			
SK18	39	79	49	硝子	瓶	口縁～体部1/3	3.4	—	< 9.7 >		透明釉			
SK18	40	79	49	硝子	瓶	体部1/2	(3.5)	—	< 8.5 >		透明釉			
SK18	41	79	49	硝子	不明		—	4.0	< 1.3 >		透明釉			
SK19	1	79	49	磁器	碗	口縁1/2～底部	< 10.6 >	< 3.8 >	< 5.2 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好	
SK19	2	79	49	磁器	碗	口縁1/4～底部	8.5	2.9	3.8		染付・透明釉		良好	
SK19	3	79	49	磁器	碗	口縁2/3～底部1/2	< 7.6 >	< 3.0 >	< 3.2 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好	
SK19	4	79	49	磁器	碗	ほぼ完形	6.4	3.2	4.2	上絵付 金文字	色絵 透明釉		良好	
SK19	5	79	49	磁器	碗	口縁3/4～底部	6.5	3.0	3.7		透明釉(上絵付)	胎土：N1.5/ 黒 絵付：7.5YR4/4 褐		良好
SK19	6	79	49	磁器	皿	口縁1/2～底部1/2	< 10.6 >	< 6.2 >	< 1.8 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好	
SK19	7	80	50	陶器	蓋	つまみ～口縁1/2	(10.8)	つまみ4.2	2.55	型紙摺り	染付・透明釉		良好	
SK19	8	80	50	陶器	碗形容器	口縁1/3～底部	(10.0)	5.0	6.4	内面：捺染物付着 底部回転糸切			良好	
SK19	9	80	50	陶器	蓋	口縁1/2～底部	(7.4)	—	2.8	底部回転糸切	染付・透明釉		良好	
SK19	10	80	50	陶器	土瓶	口縁1/2～体部(注ぎ口)	(8.2)	—	< 5.4 >		染付・透明釉		良好	
SK19	11	80	50	陶器	土瓶	体部1/4～底部1/3	—	—	—		染付・透明釉		良好	
SK19	12	80	50	土器	炉形土器		(35.0)	1.8	19.6			粗砂粒含む 胎土：5Y7/1 灰白 外面：N3/ 暗灰	良好	
SK19	13	80	50	瓦	軒棧瓦		< 22.8 >	26.2	1.5			細砂粒含む 胎土：N6/ 灰	良好	
SK19	14	81	50	瓦	軒瓦		< 13.55 >	< 10.4 >	7.8			細砂粒含む 胎土：N4/0 灰	良好	
SK19	15	81	50	瓦	棧瓦		25.2	24.7	1.5			胎土：N4/ 灰白	良好	
SK19	16	81	50	瓦	棧瓦		25.3	< 11.7 >	1.6			細砂粒含む 胎土：5Y6/1 灰 外面：N4/ 灰	良好	
SK19	17	81	50	金属	鎌		13.9	—	1.2					
SK19	18	81	50	硝子	瓶	口縁～体部小～底部	2.6	7.1	—			胎土：7.5YR4/4 褐		
SK19	19	81	50	硝子	瓶	体部1/3～底部	—	7.4	< 10.4 >			胎土：7.5Y4/3 暗初ノ		
SK20	1	81	50	瓦	平瓦		< 22.2 >	< 13.4 >	1.7			胎土：N3/ 灰	良好	
SK22	1	81	50	磁器	皿	口縁1/2～底部1/2	(13.6)	(8.4)	4.2			胎土：N8/ 灰 軸調：白色釉に黒・ヒツクの絵付	良好	
SK22	2	81	50	土器	不明	口縁～底部	(17.0)	—	(4.4)	捺染物付着		胎土：2.5Y2/1 黒	良好	
SK22	3	81	50	土器	焙烙	口縁1/3～底部1/4	(18.6)	(18.0)	3.6			細砂粒含む(雲母・長石)	良好	
SK22	4	82	50	土器	轆の羽口	口の部分が破損	< 15.0 >	6.0	5.9	捺染物付着 外面：模様あり有り		細砂粒含む(長石・赤色粒) 胎土：5YR7/4 にぶい橙	やや良好	
SK22	5	82	50	瓦	棧瓦	完形	26.5	25.5	1.6			細砂粒含む 胎土：N5/ 灰	良好	
SK22	6	82	50	瓦	棧瓦		< 19.9 >	< 14.9 >	1.9			胎土：N3/ 暗灰	良好	
SK22	7	82	50	瓦	棧瓦		< 9.0 >	< 12.2 >	1.6	穴有り		細砂粒含む 胎土：N4/0 灰	良好	
SK22	8	82	50	瓦	棧瓦		< 14.7 >	< 14.5 >	1.5			細砂粒含む 胎土：N3/0 暗灰	良好	
SK22	9	82	50	瓦	棧瓦		25.1	< 23.5 >	2.0			細砂粒含む	良好	
SK22	10	82	50	石製品	硯		< 1.4 >	< 4.8 >	0.9			胎土：N5/ 灰	良好	
SK22	11	82	50	硝子	かたがひ	口縁3/4～底部	8.6	5.0	9.6		透明			
SK22	12	82	50	硝子	瓶	完形	1.7	3.5	9.0	完形	透明			
SK22	13	82	50	硝子	瓶	口縁～体部小	2.8	—	< 3.5 >		透明			
SK22	14	82	50	硝子	瓶	体部2/3～底部	—	3.0	< 3.5 >		透明			
SK23	1	83	51	磁器	碗	体部1/6～底部2/3	—	(4.0)	< 3.7 >		染付・透明釉		良好	

() 復元値 < > 残存値

第7表 遺物観察表(6)

出土地点	遺物番号	押印	写真図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(輪索)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SK23	2	83	51	磁器	碗	口縁1/3～底部1/3	<11.0>	<4.0>	<5.8>		染付・透明釉	良好	
SK23	3	83	51	磁器	碗	口縁1/2～底部	6.5	3.1	4.3		透明釉 外面:染付	良好	
SK23	4	83	51	磁器	皿	口縁1/2～底部1/2	10.6	6.0	1.7		染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白 良好	
SK23	5	83	51	磁器	皿	体部小～底部1/6	—	(6.2)	<1.4>		染付・透明釉	良好	
SK23	6	83	51	磁器	段重	ほぼ完形	11.8	11.4	4.6		染付・透明釉	良好	
SK23	7	83	51	磁器	急須蓋	完形	6.9	6.0	7.9	内外面:0707	黒釉	良好	
SK23	8	83	51	陶器	碗	体部小～底部小	—	(4.0)	<1.0>			胎土:7.5Y8/2 灰白 釉調:10Y7/1 灰白 (灰釉) 良好	
SK23	9	83	51	陶器	钵鉢	体部小～底部小	—	(11.6)	<3.7>			胎土:7.5Y8/2 灰白 釉調:10Y7/1 灰白 (灰釉) 良好	
SK23	10	83	51	土器	火消蓋(蓋)	つまみ部分なし(80%)	16.2	11.3	<3.4>			胎土:5Y8/2 灰白 良好	
SK23	11	83	51	土器	火鉢類	口縁部1/8～体部小	(40.0)	—	(10.8)			胎土:5Y8/2 灰白 良好	
SK23	12	83	51	土器	火鉢類	口縁部1/5～体部	(40.0)	—	(11.2)			胎土:10YR6/4 にぶい黄緑 良好	
SK23	13	83	51	土器	火鉢類	口縁小～体部小(口付)	—	—	13.4	外面:模様有り 内外面:煤付者		胎土:2.5Y5/2 暗灰黄 良好	
SK23	14	83	51	土器	火鉢	口縁小～体部小1/6	(20.6)	(18.0)	<15.9>			雲母・長石・赤色粒含む 胎土:5YR5/6 暗赤褐 良好	
SK23	15	83	51	土器	火鉢(足付)	口縁小～体部小1/2	—	(19.0)	<9.4>	底部中央に孔有り(植木鉢転用か)		胎土:5YR5/4 にぶい赤褐 良好	
SK23	16	84	51	土製品	置き籠		(135.5)	47	29.6	刻印有り		胎土:5YR6/6 橙 外面:7.5Y2/1 黒 良好	
SK23	17	85	51	瓦	丸瓦		<12.3>	<11.7>	1.6			胎土:N5/ 灰 良好	
SK23	18	85	51	瓦	平瓦		<15.4>	<13.7>	1.6			胎土:5Y6/1 灰 良好	
SK23	19	85	51	瓦	棧瓦		<11.6>	<9.2>	1.6	刻印有り		胎土:N4/ 灰 良好	
SK23	20	85	51	瓦	平瓦		<6.3>	<18.2>	1.6			胎土:N3/ 暗灰 良好	
SK23	21	85	51	瓦	棧瓦		<11.5>	<15.3>	1.6			胎土:N4/ 灰 良好	
SK23	22	85	51	瓦	棧瓦		<7.2>	<8.8>	1.65	刻印有り		胎土:N4/0 灰 良好	
SK23	23	85	51	陶器物						土器片付着(フイゴか)			
SK23	24	85	51	硝子	瓶	口縁～体部小	2.8	—	<1.5>		透明		
SK24	1	85	52	土器	火鉢	体部小～底部1/6	—	(21.8)	<7.1>			細砂粒含む(雲母・長石・石英) 外面:2.5Y4/1 黄灰 良好	
SK25	1	85	52	土器	壺	体部	—	—	<20.8>	底部を打ち欠く		胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK26	1	86	52	陶器	碗形容器	口縁1/4～底部1/2	(9.2)	(3.8)	5.7	胎土:5YR6/6 橙	染付・透明釉	良好	
SK26	2	86	52	陶器	土瓶	口縁1/6	(9.0)	—	<3.8>		染付・透明釉	良好	
SK26	3	86	52	土器	火鉢類	口縁小	(20.0)	—	<5.5>	瓦質		胎土:10YR6/3 にぶい黄緑 外面:5Y4/1 灰 良好	
SK26	4	86	52	土器	火鉢類	不明	<10.7>	<7.3>	1.7			胎土:10YR6/4 にぶい黄緑 外面:N3/ 暗灰 良好	
SK26	5	86	52	磁器	戸車	ほぼ完形	(9.4)	—	1.9			胎土:N8/ 灰白 良好	
SK26	6	86	52	瓦	棧瓦		<26.4>	<21.3>	1.6	片切平瓦、刻印有り		胎土:N4/ 灰 良好	
SK26	7	86	52	瓦	袖瓦		<23.7>	<24.4>	4.4			胎土:細砂粒含む N4/ 灰 良好	
SK31	1	86	52	瓦	平瓦		<7.8>	<6.5>	1.5			胎土:10 Y R 8/4 浅黄緑 良好	
SK31	2	86	52	硝子	硝子管		<12.0>	径 0.7			透明	良好	
SK33	1	86	52	磁器	碗	口縁小～底部1/2	(10.6)	<3.6>	<4.5>	型紙摺り		胎土:N8/ 灰白 良好	
SK33	2	86	52	磁器	碗	口縁小～体部1/2～底部	(15.4)	6.5	6.4		染付・透明釉、高台臺付無釉	良好	
SK33	3	86	52	磁器	徳利	体部1/4～底部	—	6.2	<8.8>		染付・透明釉、内面無釉	良好	
SK33	4	86	52	金属	おろし金		<16.0>	7.6	0.2			7.5 Y 6/1 緑灰 良好	
SK35	1	87	52	磁器	碗	口縁2/3～底部	<7.4>	<3.4>	<3.6>	型紙摺り		胎土:N8/ 灰白 良好	
SK35	2	87	52	土製品	煉瓦		<10.7>	<10.2>	5.2			胎土:5 Y R 7/8 橙 良好	
SK35	3	87	52	硝子	薬瓶		—	3.2	6.3	目盛有り	透明釉	良好	
SK36	1	87	52	磁器	碗	口縁1/4～体部1/4	(8.6)	—	5.1		染付・透明釉	良好	
SK36	2	87	52	磁器	碗	口縁1/4～体部1/4	(8.6)	—	<4.8>		染付・透明釉	良好	
SK36	3	87	52	陶器	碗	口縁1/6	<12.2>	—	—		染付・透明釉	胎土:7.5 Y 8/1 灰白 釉調:7.5YR3/4 暗褐 良好	
SK36	4	87	52	土器	皿	口縁1/4～底部1/5	<13.0>	(7.6)	<2.8>			胎土:細砂粒含む 7.5YR7/1 明灰 良好	
SK36	5	87	52	土器	煨塩壺	体部1/2～底部	—	4.2	<10.8>			胎土:5YR6/6 橙 やや不良	
SK38	1	87	52	瓦	丸瓦		<10.2>	<9.0>	2.0	内面:欠り有り		胎土:細砂粒含む N5/ 灰 良好	
SK40	1	87	52	陶器	碗形容器	口縁小～底部	(7.4)	3.8	5.2	内外面:0707 胎土:5YR6/6 橙	胎土:5YR6/6 橙	良好	
SK40	2	87	52	陶器	玩具(駒り)	脚破損有り	—	4.2	4.1		透明釉	良好	
SK41	1	87	52	陶器	碗形容器	口縁～底部1/4	(10.0)	(4.4)	6.0	内外面:0707 胎土:5YR6/6 橙	胎土:5B7/1 明青灰	良好	
SK41	2	87	52	陶器	碗形容器	口縁1/4	(10.2)	—	3.6	胎土:5YR6/6 橙	胎土:5YR6/6 橙	良好	
SK42	1	87	52	土製品	泥面子		1.9	(1.6)	0.7			胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK43	1	87	52	金属	刃物		<45.9>	<7.9>	<2.1>	鞘付き		良好	
SK44	1	87	52	磁器	碗	口縁小～底部	(7.0)	(2.8)	4.6		染付・透明釉	良好	
SK44	2	87	52	石製品	石板		13.4	7	0.4			胎土:5P8.1/1 青黒 良好	
SK45	1	87	52	磁器	碗	口縁1/4～体部1/4	(9.6)	—	<3.7>	型紙摺り		胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK45	2	87	52	磁器	碗	口縁1/2～底部小	(11.8)	(4.2)	4.8	型紙摺り		胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK45	3	87	52	磁器	碗	口縁1/8～底部1/8	(12.0)	(4.8)	5.0	型紙摺り		胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK45	4	87	52	磁器	蓋	ほぼ完形	6.8	つまみ1.1	2.7		透明釉	胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK46	1	88	52	磁器	碗	ほぼ完形	6.8	3.2	5.0		染付・透明釉	胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK46	2	88	52	磁器	皿	口縁1/5～底部1/5	<9.6>	<5.4>	<2.1>	コンニャク印判		胎土:N8/ 灰白 良好	
SK46	3	88	52	陶器	襖鉢	口縁小～体部小	—	—	4.3		鉄釉	胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK46	4	88	52	土器	皿	口縁1/4～底部1/4	(9.6)	<7.2>	(2.1)			胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK46	5	88	52	金属	煙管	吸口	<5.5>	径1 1.2	径2 0.7			胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK47	1	88	53	磁器	碗	体部小～底部1/2	—	<6.0>	—		染付・透明釉	胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK47	2	88	53	陶器	碗	口縁1/8～底部1/2	(9.0)	4.8	5.9		白色釉	胎土:5YR7/8 橙 良好	
SK47	3	88	53	陶器	碗	口縁小	(13.6)	—	<5.6>		透明釉	胎土:2.5Y5/3 黄褐 良好	
SK47	4	88	53	陶器	壺	口縁～体部	—	—	<4.6>		鉄釉	胎土:5Y8/1 灰白 良好	
SK47	5	88	53	陶器	襖鉢	体部小～底部1/2	—	—	—		鉄釉	胎土:5Y8/1 灰白 良好	
SK47	6	88	53	陶器	襖鉢	体部小～底部1/2	—	10.5	—	底部回転糸切		胎土:細砂粒含む・長石 良好	
SK48	1	88	53	磁器	皿	体部小～底部1/3	—	(4.4)	1.9		染付・透明釉	胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK48	2	88	53	磁器	碗	口縁1/2～底部	<1.4>	<3.8>	<4.4>		染付・透明釉	胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK48	3	88	53	磁器	皿	口縁1/2～底部1/2	<13.0>	<7.4>	<2.0>	型紙摺り		胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK48	4	88	53	陶器	鉢	ほぼ完形	11.6	8.5	8.2	蓮月焼の煎茶器。手握ね成形。外面に和歌、底面に墨書。	染付・施釉(下半無釉)・繪付	胎土:粗砂粒含む 10YR6/2 灰黄褐 外面:7.5Y6/2 灰 7-1 良好	
SK48	5	88	53	陶器	壺	体部小～底部1/2	—	(11.2)	6.0			胎土:10YR6/1 褐灰 釉調:5Y6/1 灰 良好	
SK48	6	89	53	陶器	土瓶	口縁1/4～底部3/4	(8.4)	9.0	9.1		鉄釉	胎土:5YR7/6 橙 良好	
SK48	7	89	53	土器	塩釜蓋	1/4部分欠損	(7.6)	(7.6)	<2.2>			胎土:5YR7/6 橙 良好	
SK48	8	89	53	土器	蓋	底部1/4～口縁1/4	(8.2)	(8.0)	1.6			胎土:10YR8/8 黄緑 良好	
SK48	9	89	53	土器	目皿	口縁1/2～底部1/2	(14.0)	(13.8)	1.7	七輪部品		胎土:長石・雲母含む 5YR7/6 橙 良好	
SK48	10	89	53	土器	不明	不明	<5.4>	<7.4>	6.9			胎土:5YR6/6 橙 良好	
SK48	11	89	53	土器	焔炉	上部破損	<17.5>	<30.1>	31.0			胎土:細砂粒・長石・雲母・赤褐色粒含む 5YR6/6 橙 良好	
SK48	12	89	53	土器	炉形土器	口縁～底部	39.8	(30.0)	21.3	瓦質		胎土:細砂粒・長石含む 10YR6/3 にぶい黄緑 外面:N3/ 暗灰 良好	
SK48	13	89	53	瓦	丸瓦		<12.8>	<10.7>	1.5	内面:欠り・布目有り		胎土:細砂粒含む N4/ 灰 良好	
SK48	14	89	53	瓦	棟瓦		<6.45>	<16.35>	2.9			胎土:細砂粒含む N4/ 灰 良好	
SK48	15	90	53	瓦	棟瓦		<11.7>	<11.8>	2.9			胎土:細砂粒含む N4/ 灰 良好	
SK48	16	90	53	瓦	棟瓦		<6.8>	<8.7>	3.1			胎土:細砂粒含む 5Y6/1 灰 良好	
SK48	17	90	53	瓦	棧瓦		<20.5>	<10.0>	1.6			胎土:N4/ 灰 良好	
SK48	18	90	53	瓦	平瓦		(8.4)	(5.2)	1.8			胎土:N4/ 灰 良好	
SK48	19	90	53	瓦	平瓦		<6.4>	<16.7>	1.6			胎土:N5/ 灰 良好	
SK48	20	90	53	瓦	棧瓦		<5.5>	<4.4>	1.9			胎土:N3/ 暗灰 良好	
SK48	21	90	53	硝子	瓶	一部欠損	—	3.6	<7.1>		透明	良好	
SK48	22	90	53	硝子	瓶	体部小	—	—	<7.0>		透明	良好	
SK50	1	90	54	須恵器	蓋	つまみ部～体部1/6	—	つまみ2.8	2.1	内外面:0707 胎土:5YR6/6 橙	胎土:5YR6/6 橙	胎土:細砂粒・長石含む N7/ 灰白 良好	
SK50	2	90	54	磁器	碗	体部小～底部	—	3.6	<3.9>	凹型高台		胎土:N8/ 灰白 良好	
SK50	3	90	5										

第8表 遺物観察表(7)

出土地点	遺物番号	押図	写真図版	種別	器種	部位	度量			調整・特徴	装飾(軸案)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SK52	1	90	54	磁器	碗	口縁1/4～底部1/2	(10.0)	3.6	4.6		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SK52	2	90	54	磁器	碗	口縁小～体部小	—	—	< 3.8 >		染付・透明釉		良好
SK52	3	90	54	磁器	碗	口縁～底部1/2	10.4	(3.7)	5.0		染付・透明釉		良好
SK52	4	90	54	磁器	碗	底部	—	5.4	—			胎土：5Y8/1 灰白	良好
SK52	5	90	54	磁器	碗	体部小～底部1/4	—	(3.0)	< 5.1 >		染付・透明釉		良好
SK52	6	90	54	磁器	碗	口縁小～体部1/4	(7.9)	—	< 5.7 >		染付・透明釉		良好
SK52	7	91	54	磁器	碗	口縁～体部小	6.6	—	< 2.5 >		染付・透明釉		良好
SK52	8	91	54	陶器	碗	口縁～底部1/2	< 7.4 >	< 3.0 >	< 4.2 >			胎土：N8/ 灰白	良好
SK52	9	91	54	磁器	碗	口縁1/4～体部小	(7.0)	—	< 4.9 >		染付・透明釉		良好
SK52	10	91	54	磁器	膳差猪口	口縁1/4～底部1/4	(6.4)	(6.0)	6.6		染付・透明釉		良好
SK52	11	91	54	磁器	皿	口縁3/4～底部	9.6	5.4	2.1	コンニャク印判 桐葉文	染付・透明釉・高台置付無軸		良好
SK52	12	91	54	磁器	皿	口縁1/3～底部1/5	(19.0)	(10.4)	6.1		染付・透明釉		良好
SK52	13	91	54	磁器	皿	口縁1/3～底部1/3	< 22.0 >	< 15.0 >	< 2.2 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SK52	14	91	54	磁器	瓶	体部小～底部	—	4.0	—		染付・透明釉		良好
SK52	15	91	54	陶器	碗	口縁1/4～底部	(10.2)	3.8	4.7	釉 掛け分け 内部：重ね焼き痕	染付・透明釉	胎土：N7/1 灰白 釉調：5GY7/1 明灰-7 灰	良好
SK52	16	91	54	陶器	碗	口縁小～底部	(6.4)	3.2	3.8		灰釉		良好
SK52	17	91	54	陶器	碗	体部小～底部	—	(4.8)	< 1.75 >		鉄釉	胎土：10YR8/3 淡黄緑 釉調：2.5Y4/2 暗灰黄	良好
SK52	18	91	54	陶器	碗	口縁～体部	(8.0)	—	< 5.4 >		鉄釉	胎土：2.5Y7/1 灰白	良好
SK52	19	91	54	陶器	碗	体部～底部	—	(5.2)	< 4.2 >		外面施釉・内面、下部無釉	胎土：2.5Y8/3 淡黄 内側：白 外側：7Y-7 灰	良好
SK52	20	91	54	陶器	灯明受皿	ほぼ完形	8.0	4.1	1.7			胎土：7.5Y7/1 灰白	良好
SK52	21	91	54	陶器	皿	口縁1/4～体部小	(20.0)	—	< 3.8 >	波状口縁		胎土：5Y8/1 灰白	良好
SK52	22	91	54	陶器	撞鉢	体部小～底部小	—	< 12.4 >	—		鉄釉	胎土：10YR8/1 灰白	良好
SK52	23	91	54	土器	火鉢	口縁小	30.0	—	< 13.7 >	内面：煤付着		胎土：5YR6/6 橙	良好
SK52	24	91	54	土器	火鉢	体部小～底部小	—	25.0	< 11.9 >	内面：煤付着		胎土：細砂粒含む 7.5YR6/3 にふい橙	良好
SK52	25	92	54	土製品	土鉢	完形	5.6	3.1	—			胎土：7.5YR6/4 にふい橙	良好
SK52	26	92	54	土製品	人形		3.2	2.2	0.7			胎土：10YR7/3 にふい黄橙	良好
SK52	27	92	54	土製品	人形		1.9	1.9	1.9			胎土：10YR7/2 にふい黄橙	良好
SK52	28	92	54	土製品	土鈴	完形	3	3.2	2.3			胎土：7.5YR7/3 にふい橙	良好
SK52	29	92	54	土製品	土鈴	ほぼ完形	3.1	3.6	2.1			胎土：7.5YR8/2 灰白	良好
SK52	30	92	54	土製品	土鈴	片面1/2破壊	3.5	2.8	2.6			胎土：7.5YR8/3 浅黄橙	良好
SK52	31	92	54	土製品	土鈴	上部2/1	2.1	2.8	1.3			胎土：7.5YR8/3 浅黄橙	良好
SK52	32	92	54	金属	古銭	完形	径 2.3	—	0.1	寛永通寶			
SK52	33	92	54	金属	古銭	完形	径 2.3	—	0.1	寛永通寶			
SK52	34	92	54	金属	古銭	完形	—	—	0.1	寛永通寶、文銭			
SK52	35	92	54	金属	煙管(雁首)		4.2	径 1 1.7	径 2 1.1			7.5GY6/1 緑灰	
SK52	36	92	54	金属	不明		5.3	< 4.8 >	0.1			7.5GY8/1 明緑灰	
SK55	1	92	55	磁器	碗	底部	—	6.4	—	高台置付に砂付着 見込：コンニャク印判の五弁花	染付・透明釉・高台置付無軸		良好
SK55	2	92	55	磁器	碗	口縁1/4～底部なし	(12.0)	—	< 4.9 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SK55	3	92	55	磁器	鉢	口縁1/8～体部小	(12.0)	—	< 4.7 >		染付・透明釉		良好
SK55	4	92	55	磁器	碗	口縁1/4～体部1/4	(12.0)	—	< 5.0 >		染付・透明釉		良好
SK55	5	92	55	磁器	碗	口縁小～体部	(10.8)	—	< 3.4 >		染付・透明釉		良好
SK55	6	92	55	磁器	碗	口縁1/2～底部	(8.4)	3.3	5.3		上絵付け・透明釉		良好
SK55	7	92	55	磁器	不明	口縁小～体部小	—	< 2.9 >	—		染付・透明釉		良好
SK55	8	92	55	磁器	蓋	口縁1/6～底部1/6	(10.4)	(6.0)	2.5		上絵付け・透明釉		良好
SK55	9	92	55	磁器	碗	体部小～底部	(8.4)	3.3	5.3		染付・透明釉		良好
SK55	10	92	55	陶器	碗	口縁～底部	9.0	3.2	4.65	貫入有り		胎土：5Y8/1 灰白 釉調：7.5Y7/1 灰白	良好
SK55	11	92	55	陶器	瓶	口縁1/4～体部小	(6.0)	—	7.2		鉄釉		良好
SK55	12	92	55	陶器	灯明受皿	口縁1/6～底部1/2	(10.6)	5.4	1.8	外面：ハツアリ		胎土：暗緑7.5YR3/4	良好
SK55	13	93	55	陶器	撞鉢	口縁1/4	(25.0)	—	(9.8)		鉄釉	10R4/2 灰赤	良好
SK55	14	93	55	土器	内耳鍋	口縁小～底部	(23.8)	(10.0)	6.2	指節痕 煤付着		胎土：長石・雲母・石英含む 5YR6/6	良好
SK55	15	93	55	土器	火鉢	口縁1/6～体部小	(15.5)	—	< 9.0 >	外面：文様有り		胎土：細砂粒・長石・雲母含む	良好
SK55	16	93	55	土製品	礫石	ほぼ完形	2	2.1	0.5			胎土：5YR7/6 橙	良好
ピット列9	1	93	55	磁器	碗	口縁1/6～体部小	(7.0)	—	< 4.4 >	半筒形	染付・透明釉		良好
SP49	1	93	55	石製品	凹石		(15.0)	(14.4)	-9			5Y8/1 灰白	良好
SP67	1	93	55	土器	不明	口縁部破壊	—	—	< 12.0 >	火鉢、焔炉の類か? 器形不明 孔有り		胎土：細砂粒含む 2.5YR7/3 浅黄	
SP76	1	93	55	石製品	凹石		9.9	8.5	4.0				
SP97	1	93	55	磁器	碗	口縁1/4～体部1/6	(8.0)	—	< 3.7 >		染付・透明釉		良好
SP97	2	93	55	磁器	坏	体部小～底部小	—	—	< 1.9 >		染付・透明釉		良好
SP97	3	93	55	土師器	高坏	底部小～高台部	—	—	2.8	外面：ハツアリ		胎土：長石・赤色粒含む 外面：5YR6/4 にふい橙	良好
SP160	1	93	55	磁器	碗	口縁1/4～底部	(11.6)	4.0	4.4	型紙摺り	染付・透明釉		良好
SP160	2	93	55	瓦	平瓦		< 6.7 >	< 7.0 >	1.6	刻印「ヤ文」		胎土：N4/ 暗灰	良好
SP160	3	93	55	瓦	棧瓦	口縁1/4～底部	< 9.1 >	< 10.2 >	1.5	刻印「ヤ和」	染付・透明釉	胎土：N4/ 灰	良好
SP160	4	93	55	瓦	棧瓦		25.3	< 19.5 >	1.6	刻印「ヤ文」	染付・透明釉、高台置付無軸	胎土：N4/ 灰	良好
SP173	1	93	55	陶器	碗	口縁1/5～底部1/3	(7.4)	(3.6)	< 1.5 >	内面：重ね焼き痕		胎土：7.5YR8/2 灰白	良好
SP199	1	93	55	土器	皿	口縁～底部	(9.2)	(5.0)	2.3			胎土：細砂粒含む 10YR7/4 にふい黄橙	良好
SP227	1	93	55	磁器	碗	体部小～底部	—	< 4.0 >	—		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SP227	2	93	55	磁器	鉢	口縁小～体部小	—	—	—		染付・透明釉		良好
SP306	1	94	55	磁器	皿	口縁小～体部小	11.0	6.0	1.9	型紙摺り			良好
SP306	2	94	55	陶器	急須	口縁1/2～底部1/3	(7.6)	(4.6)	4.9	外面：文様有り	灰釉・絵付け	胎土：2.5Y7/2 灰黄 釉調：N7/1 灰白	良好
SP306	3	94	55	瓦	袖瓦	ほぼ完形	25.7	23.7	1.6			胎土：7.5Y5/1 灰	良好
SP306	4	94	55	石製品	礫石		< 10.4 >	4.0	4			胎土：5Y8/1 灰白	良好
SP306	5	94	55	石製品	礫石		< 8.7 >	5.7	1.3			胎土：5Y7/2 灰白	良好
SP306	6	94	55	硝子	ガラス	口縁～体部1/4	4.0	—	< 7.5 >		透明		
SP364	1	94	55	磁器	碗	体部小～底部1/3	—	(4.0)	< 2.6 >	高台内圈線有り	染付・透明釉		良好
SD2	1	94	56	磁器	碗	口縁1/3～底部3/4	(11.2)	3.9	5.0	型紙摺り	染付加ハシ・透明釉		良好
SD2	2	94	56	磁器	碗	口縁1/3～底部小	(11.2)	(3.6)	5.0	型紙摺り	染付加ハシ・透明釉		良好
SD2	3	94	56	磁器	碗	口縁1/4～体部1/4	(9.9)	—	< 5.0 >	コンニャク印判	染付・透明釉		良好
SD2	4	94	56	磁器	碗	口縁1/4～底部1/2	(12.0)	(4.0)	4.6	型紙摺り	染付加ハシ・透明釉		良好
SD2	5	94	56	磁器	碗	口縁1/3～体部1/4	(12.0)	—	< 2.9 >	型紙摺り	染付加ハシ・透明釉		良好
SD2	6	94	56	磁器	碗	口縁小～底部1/2	(7.6)	(2.6)	3.0		染付・透明釉		良好
SD2	7	94	56	磁器	碗	口縁小～底部1/4	(7.1)	(2.1)	3.0		染付・透明釉		良好
SD2	8	95	56	磁器	碗	口縁1/6～底部1/6	(8.0)	(3.8)	4.0		染付・透明釉		良好
SD2	9	95	56	磁器	碗	口縁～底部	< 6.6 >	< 3.2 >	< 4.2 >		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SD2	10	95	56	磁器	碗	体部(下側小)	—	—	< 4.1 >		染付・透明釉	胎土：5G7/1 明緑灰	良好
SD2	11	95	56	磁器	碗	口縁1/4～底部1/2	(7.8)	(2.6)	2.4		染付・透明釉		良好
SD2	12	95	56	磁器	碗	口縁1/3～底部	6.8	(2.2)	2.8		染付・透明釉		良好
SD2	13	95	56	磁器	皿	口縁1/4～底部2/3	(9.7)	(4.8)	2.1	波状口縁	染付・透明釉		良好
SD2	14	95	56	磁器	皿	口縁1/3～底部1/3	(9.6)	(5.8)	1.6		染付・透明釉		良好
SD2	15	95	56	磁器	皿	体部小～底部小	—	7.2	0.9	型紙摺り	染付・透明釉		良好
SD2	16	95	56	陶器	皿	体部小～底部1/5	—	(8.0)	2.2		透明釉	胎土：7.5YR8/1 灰白	良好
SD2	17	95	56	土器	鉢	口縁1/4	(9.4)	—	< 5.9 >	瓦質 内外面：炭化 凹凸		胎土：7.5YR6/4 にふい橙 外面：5Y2/1 黒	良好
SD2	18	95	56	土器	皿	自皿	(18.0)	—	2.3			胎土：細砂粒含む	良好
SD2	19	95	56	瓦	棧瓦		< 28.9 >	26.2	1.6	孔2ヶ所有		胎土：細砂粒含む N4/ 灰	良好
SD2	20	95	56	瓦	平瓦		13.2	< 10.3 >	1.6			胎土：7.5Y3/1 灰-7 黒	良好
SD2	21	95	56	瓦	棧瓦		< 14.9 >	< 10.7 >	1.5			胎土：N5/ 灰	良好
SD2	22	95	56	瓦	袖瓦		< 13.1 >	< 14.0 >	4.8			胎土：細砂粒含む N4/0 灰	良好
SD2	23	95	56	瓦	棧瓦		< 21.8 >	< 10.6 >	2.1			胎土：細砂粒・長石・石英含む 7.5Y7/1 灰白	良好
SD2	24	95	56	瓦	平瓦		< 18.3 >	< 13.0 >	1.5			胎土：5Y4/1 灰	良好
SD3	1	96	56	陶器	壺	体部小	13.0	11.0	1.7				良好
SD3	2	96	56	土器	鉢	口縁小	(32.0)	—	< 8.2 >	外面：凹凸		胎土：5YR6/6 橙	良好
SD3	3	96	56	石製品	凹石		10.3	9.3	6.0			胎土：7.5Y7/2 灰白	良好
SD4	1	96	56	磁器	碗	口縁部小～底部1/2	(11.0)	(4.0)	5.2		染付・透明釉		良好
SD4	2	96	56	磁器	皿	体部～底部底部1/2	—	(3.4)	2.0		染付・透明釉	胎土：N8/ 灰白	良好
SD4	3	96	56	磁器	碗	体部小～底部1/3	—	(3.6)	< 3.3 >		染付・透明釉		良好

() 復元値 > 残存値

第9表 遺物観察表(8)

出土地点	遺物 番号	押印	写真 図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸葉)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・(cm)	器高・厚(cm)				
SD4	4	96	56	磁器	碗	体部小~底部1/3	—	(6.0)	4.7	広東碗、焼き継ぎ痕	染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	5	96	56	磁器	碗	口縁3/4~底部3/4	(21.2)	(5.6)	6.6	広東碗	染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	6	96	56	磁器	碗	口縁1/4~底部1/4	(9.8)	(4.4)	6.3	広東碗	染付・透明釉		良好
SD4	7	96	56	磁器	碗	口縁1/4~底部1/4	(8.8)	(5.0)	5.4	広東碗	染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	8	96	56	磁器	碗	口縁1/4~底部	9.6	—	3.4		染付・透明釉		良好
SD4	9	96	56	磁器	碗	口縁3/5~底部	11.2	4.2	5.05		染付・透明釉		良好
SD4	10	96	57	磁器	碗	口縁1/2~底部	8.9	4.4	7.8		染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	11	96	57	磁器	皿	口縁1/8~底部1/2	(13.2)	(8.0)	2.9	見込に五弁花		胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	12	96	57	磁器	皿	口縁1/4~底部4/5	(25.2)	(8.7)	4.7	蛇の目凹型高台	染付・透明釉		良好
SD4	13	96	57	磁器	皿	口縁3/8~底部8/3	(13.6)	(8.0)	3.7	高台内煤付着、蛇の目凹型高台、波状口縁	染付・透明釉		良好
SD4	14	97	57	磁器	皿	口縁1/4~底部	(13.0)	(6.6)	4.8		染付・透明釉		良好
SD4	15	97	57	磁器	皿	口縁1/4~底部1/4	(13.6)	(7.2)	3.65		染付・透明釉		良好
SD4	16	97	57	磁器	皿	体部~底部1/4	—	(9.0)	0.9	重ね焼き痕	透明釉・上絵付け		良好
SD4	17	97	57	磁器	蓋	つまみ部1/3~体部小	—	つまみ(2.8)	(1.8)			胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	18	97	57	磁器	蓋	つまみ部~口縁部3/4	20.7	つまみ4.6	3.1		染付・透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	19	97	57	磁器	蓋	つまみ部小~口縁1/4	(11.0)	つまみ	2.4		染付・透明釉		良好
SD4	20	97	57	磁器	仏飯器	体部~底部	—	3.8	4.2		透明釉		良好
SD4	21	97	57	磁器	仏飯器	体部~底部3/4	—	(4.6)	3.3		透明釉	胎土:N8/ 灰白	良好
SD4	22	97	57	磁器	瓶	体部小	—	—	(7.9)		染付・透明釉		良好
SD4	23	97	57	磁器	瓶(髪油壺)	口縁~体部1/3	2.1	—	5.8		染付・透明釉・内面無釉		良好
SD4	24	97	57	磁器	瓶	体部	—	—	(20.0)	内面: 0707	染付・透明釉・内面無釉		良好
SD4	25	97	57	磁器	瓶	口縁~底部1/2	2.6	6.0	17.0		染付・透明釉・内面無釉	胎土:N8/ 灰白 軸調: 5PB	良好
SD4	26	97	57	陶器	碗	体部小~底部	—	< 5.0 >	—		灰釉	7.5YR8/4 浅黄緑	良好
SD4	27	97	57	陶器	碗	口縁1/6~底部1/2	(10.2)	(3.6)	5.2	端反形	灰釉	10YR8/4 浅黄緑	良好
SD4	28	97	57	陶器	皿	口縁1/4~底部1/8	(11.0)	(4.6)	2.0		鉄釉	5YR3/3 鉄釉	良好
SD4	29	97	57	陶器	蓋	つまみ部~底部1/4	(14.0)	つまみ3.2	3.6			胎土: 7.5Y7/1 灰白 軸調: 7.5Y4/2 灰判-7	良好
SD4	30	97	57	陶器	蓋	ほぼ完形(一部欠損)	(11.6)	8.5	4.2		鉄釉	7.5YR5/3 にぶい褐	良好
SD4	31	97	57	陶器	蓋	完形	7.9	5.4	3.4		青磁釉		良好
SD4	32	97	57	陶器	蓋	完形	7.9	5.8	2.4		青磁釉		良好
SD4	33	97	57	陶器	蓋	ほぼ完形	9.2	6.8	—		青磁釉		良好
SD4	34	97	57	陶器	蓋	完形	9.1	6.6	3.4		青磁釉		良好
SD4	35	97	57	陶器	蓋	受部小~体部	< 7.8 >	—	2.1		鉄釉		良好
SD4	36	97	57	陶器	土瓶(注口)		—	—	< 6.8 >		青磁釉	胎土: 5Y8/1 灰白	良好
SD4	37	97	57	陶器	土瓶	口縁2/3~体部2/3	(8.6)	—	< 12.0 >		青磁釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SD4	38	98	57	陶器	土瓶	口縁1/2~体部	(8.0)	—	10.7		青磁釉・外面下部、内面無釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SD4	39	98	57	陶器	土瓶	口縁~体部	10.4	—	21.7		鉄釉		良好
SD4	40	98	57	陶器	土瓶	底部1/4	—	8.2	—			7.5YR6/4 にぶい褐	良好
SD4	41	98	57	陶器	土瓶	底部1/3	—	8.2	—			10YR6/2 灰黄緑	良好
SD4	42	98	57	陶器	鉢	口縁1/6~体部小	(17.6)	—	5.65		鉄釉		良好
SD4	43	98	57	陶器	兼焼	体部小~底部	—	4.4	—		鉄釉	5YR3/3 暗赤褐	良好
SD4	44	98	57	陶器	瓶	体部小~底部	—	4.45	< 2.6 >	内面底部: 070底	鉄釉		良好
SD4	45	98	57	陶器	碗	体部小~底部	—	7.4	< 4.5 >		鉄釉		良好
SD4	46	98	57	陶器	碗	体部1/4~底部1/3	—	(8.6)	< 5.6 >	外面: 軸剥離有り		胎土: 10YR8/4 浅黄緑	良好
SD4	47	98	57	陶器	擂鉢	口縁小~体部小	—	—	2.8			胎土: 10YR8/3 浅黄緑 軸調: 7.5Y8/2 灰白	良好
SD4	48	98	58	陶器	鉢	体部小~底部1/6	—	(16.4)	9.15	内面: 0707 外面: 文様有り		胎土: 細砂粒・長石含む 10R4/4 赤褐	良好
SD4	49	98	58	土器	焙烙	口縁(内耳)~底部	(22.7)	(21.2)	4.3	内耳縁、下位から底部にかけて煤付着、070底		胎土: 長石・雲母含む 7.5YR6/3 にぶい褐	良好
SD4	50	98	58	土器	鉢	口縁小	(26.0)	—	< 12.7 >			10YR6/3 にぶい黄緑	良好
SD4	51	98	58	土器	火鉢	体部	—	—	5.6			5Y3/1 判-7 黒	良好
SD4	52	98	58	土器	鉢	口縁部	—	—	—			胎土: 10YR7/2 にぶい黄緑	良好
SD4	53	98	58	瓦	丸瓦		9.8	8.9	2.1			胎土:N3/ 暗灰	良好
SD4	54	98	58	土製品	土玉		1.3	1.4	高 1.2			胎土: 5YR7/6 橙	良好
SD4	55	98	58	土製品	扇形か		4.0	1.6	高 1.5			胎土: 2.5YR5/6 明赤褐	良好
SD4	56	98	58	金属	古銭	不明	径 2.4	—	—				
SD4	57	98	58	金属	煙管		< 2.9 >	径 1.0	径 2.0	0.7		7.5GY7/1 明緑灰	良好
SD5	1	99	58	磁器	碗	体部小~底部1/4	—	(4.0)	< 2.3 >			胎土: 5PB7/1 明青灰 軸調: 10GY7/1 明緑灰	良好
SD5	2	99	58	磁器	碗	口縁1/5~底部	< 6.4 >	< 3.0 >	< 4.2 >			胎土: 10GY8/1 明緑灰	良好
SD5	3	99	58	磁器	徳利	口縁~底部	3.1	5.6	17.5				良好
SD5	4	99	58	陶器	碗形容器	口縁1/4~底部1/2	(7.4)	(3.8)	5.2	熔融物付着		胎土: やや粗い 軸調: 2.5Y7/1 明赤灰	良好
SD5	5	99	58	陶器	碗形容器	体部小~底部1/4	—	< 6.8 >	—	熔融物付着	透明釉	胎土: 10Y6/1 灰	良好
SD5	6	99	58	陶器	急須	口縁~体部	8.3	—	< 8.6 >	貫入有り	染付・透明釉	胎土: 2.5Y8/2 灰白	良好
SD5	7	99	58	陶器	ミニチュア	完形	1.9	8.0	1.2	碗形玩具		胎土: 2.5Y8/2 灰白 軸調: 7.5R6/2 灰赤	良好
SD5	8	99	58	土器	火鉢	口縁小	(20.0)	—	< 5.6 >			胎土: 7.5YR7/3 にぶい褐	良好
SD5	9	99	58	瓦	丸瓦		26.3	12.7	5.6	内面: 布目		細砂粒含む 胎土: 10Y1/4 灰	良好
SD5	10	99	58	瓦	模瓦		< 25.0 >	26.2	1.8	刻印有り		粗砂粒含む(長石・石英) 胎土: 5Y7/1 灰白	良好
SD5	11	99	58	瓦	平瓦		(16.8)	(11.3)	(1.4)			胎土: 10Y6/1 灰 /	良好
SD5	12	99	58	瓦	棧瓦		< 14.4 >	< 12.5 >	1.6			胎土: N4/ 灰	良好
SD5	13	100	58	瓦	棧瓦		< 16.45 >	< 19.9 >	1.45			胎土: N5/ 灰~N3/ 暗灰	良好
SD5	14	100	58	瓦	平瓦		< 15.6 >	< 10.7 >	1.3			胎土: 10YR3/1 黒褐	良好
SD5	15	100	58	瓦	棧瓦		< 21.7 >	< 16.6 >	1.7			胎土: 7.5Y7/1 灰白	良好
SD6	1	100	58	磁器	碗		—	(4.6)	< 2.5 >	体部1/4~底部1/2	染付・透明釉		良好
SD6	2	100	58	磁器	碗		—	(13.2)	< 3.1 >	体部1/4~底部小	染付・透明釉		良好
SD6	3	100	58	磁器	碗		(11.0)	(3.1)	4.4	口縁1/2~底部1/3	染付・透明釉 311 針		良好
SD6	4	100	58	磁器	皿	ほぼ完形	10.5	5.9	1.6				
SD6	5	100	58	磁器	皿	ほぼ完形	13.1	5.2	2.5		染付・透明釉		良好
SD6	6	100	58	磁器	徳利		底径 6.0	—	—	底部1/2	染付・透明釉 底部、内面無		良好
SD6	7	100	58	磁器	徳利	口縁~体部1/2	—	—	—		染付・透明釉		良好
SD6	8	100	58	陶器	碗	口縁1/2~底部1/2	(6.5)	3.3	4.3	蓮月形の煎茶器。外面に手描きの和歌が刻まれる。		胎土: 7.5YR5/3 にぶい褐 軸調: 2.5YR6/2 灰黄	良好
SD6	9	100	58	陶器	皿	完形	< 7.0 >	< 4.4 >	< 1.3 >			胎土: 2.5Y8/2 灰白 軸調: 2.5Y6/6 明黄緑	良好
SD6	10	100	59	陶器	兼焼	体部小~底部	—	3.8	< 3.1 >		鉄釉(底部輪なし)		良好
SD6	11	100	59	陶器	蓋	体部~底部	—	7.2	< 9.1 >			胎土: 2.5YR6/6 橙 軸調: 判-7 軸	良好
SD6	12	100	59	陶器	鉢	口縁小	—	—	< 8.5 >			胎土: 2.5YR3/3 暗赤褐	良好
SD6	13	100	59	土器	火鉢	口縁小	(20.6)	—	—			胎土: 5YR6/6 橙	良好
SD6	14	100	59	瓦	棧瓦		< 6.5 >	< 12.2 >	1.8				良好
SD6	15	100	59	瓦	棧瓦		< 8.7 >	6.7	1.2			細砂粒含む 胎土: N4/0 灰	良好
SD10	1	101	59	磁器	碗	口縁1/4~体部小	9.4	—	3.05		染付・透明釉		良好
SD10	2	101	59	磁器	碗	体部1/3~底部	—	4.4	< 3.7 >		染付・透明釉		良好
SD10	3	101	59	磁器	碗	体部~底部	—	3.6	< 3.2 >	見込に五弁花	染付・透明釉		良好
SD10	4	101	59	磁器	皿	口縁1/3~底部1/3	< 13.4 >	< 8.0 >	< 3.2 >		染付・透明釉	黒色粒含む 胎土: N8/ 灰白	良好
SD10	5	101	59	陶器	皿	口縁小~底部1/4	—	(23.0)	< 9.4 >	高台内蛇の目軸剥ぎ	青磁釉		良好
SD10	6	101	59	陶器	碗	口縁~底部	(11.3)	5.2	7.9			胎土: 5Y7/1 灰白 軸調: 浅黄の軸(灰釉)	良好
SD10	7	101	59	陶器	碗	底部	—	4.6	—			胎土: 6/6 明黄緑	良好
SD10	8	101	59	陶器	皿	口縁1/4~底部1/4	(8.8)	(3.6)	1.3		鉄釉	胎土: 5YR4/3 にぶい赤褐	良好
SD10	9	101	59	陶器	皿	完形	< 7.0 >	< 3.6 >	< 1.0 >			胎土: 5YR8/1 灰白 軸調: 5YR3 淡黄	良好
SD10	10	101	59	陶器	皿	完形	< 7.6 >	< 3.6 >	< 1.4 >		鉄釉	胎土: 5YR4/6 赤褐	良好
SD10	11	101	59	陶器	灯明皿	口縁1/4~底部1/4	(10.4)	—	< 1.7 >				良好
SD10	12	101	59	陶器	皿	完形	8.3	3.6	2.0	歪み有り 重ね焼き痕有り	鉄釉	胎土: 10YR4/4 褐	良好
SD10	13	101	59	磁器	土瓶	注口	—	—	—			胎土・内面: 5Y7/1 灰白 軸調: 灰白釉	良好
SD10	14	101	59	磁器	土瓶	口縁1/4~体部小	—	—	< 3.3 >	内面: 0707		胎土: 7.5Y7/1 灰白	良好
SD10	15	101	59	陶器	片口	口縁1/2~体部1/2	13.0	—	5.4		灰釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SD10	16	101	59	陶器	瓶	口縁~体部	3.9	—	< 9.4 >			胎土: 5Y7/1 灰白 軸調: 2.5Y4/6 判-7 褐	良好
SD10	17	101	59	陶器	蓋	完形	3.6	—	1.3		鉄釉	胎土: 黒褐	良好
SD10	18	101	59	陶器	擂鉢	体部小~底部1/3	—	< 5.0 >	—		鉄釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SD10	19	102	59	陶器	擂鉢	体部~底部	—	< 13.0 >	—		鉄釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	良好
SD10	20	102	59	陶器	擂鉢	体部小~底部2/3	—	< 13.6 >	—		鉄釉	胎土: 5YR8/2 灰白	良好

第10表 遺物観察表(9)

出土地点	遺物番号	挿図	写真版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸葉)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SD10	21	102	59	陶器	火鉢	体部 1/4 ~ 底部 1/4	—	(23.8)	(12.8)	外面に獅子、底面に脚あり	緑色釉	良好	
SD10	22	102	59	土器	短珪	口縁 1/8 ~ 体部 1/8	(16.0)	—	< 4.7 >	外面:炭化物付着		良好	
SD10	23	102	59	土器	皿	口縁~底部	(9.6)	(5.7)	(1.95)	内外面:0.07mm 底部回転糸切		良好	
SD10	24	102	59	土器	皿	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	< 7.8 >	< 5.2 >	< 1.5 >	底部回転糸切		良好	
SD10	25	102	59	土器	皿	口縁 1/2 ~ 底部	< 6.6 >	< 5.0 >	< 1.5 >	底部回転糸切		良好	
SD10	26	102	59	土器	皿	口縁 2/3 ~ 底部 1/4	< 5.0 >	< 3.8 >	< 1.2 >	底部回転糸切		良好	
SD10	27	102	59	土製品	土人形		3.7	3.2	0.8			良好	
SD10	28	102	59	瓦	丸瓦		(9.6)	(5.5)	2.8			良好	
SD10	29	102	59	瓦	棟瓦		< 18.1 >	< 14.4 >	1.8			良好	
SD11	1	102	60	陶器	灯明受皿	体部小~底部 1/4	—	(4.0)	2.0		鉄釉	良好	
SD11	2	102	60	陶器	播鉢	体部小~底部 1/5	—	< 11.6 >	—	底部回転糸切		良好	
SD11	3	102	60	土製品	人形	下側	—	—	—			良好	
SD19	1	102	60	磁器	皿	口縁小~体部小	—	—	3.0		染付・透明釉	良好	
SD20	1	102	60	磁器	碗	体部小~底部小	—	(6.4)	< 2.5 >		染付・透明釉	良好	
SD20	2	102	60	磁器	碗	体部小~底部 1/4	—	(4.0)	< 2.65 >		染付・透明釉	良好	
SD21	1	102	60	石製品	凹石		27.5	18.6	14.6			良好	
SD21	2	102	60	石製品	凹石		< 8.1 >	8.9	5.6			良好	
SD23	1	102	60	磁器	碗	体部 1/3 ~ 底部 1/2	—	< 3.2 >	—		染付・透明釉	良好	
SD23	2	102	60	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 体部 1/2	7.6	—	5.2		染付・透明釉	良好	
遺構外	1	103	60	磁器	皿	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(11.6)	—	< 4.0 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	2	103	60	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(12.0)	—	< 4.1 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	3	103	60	磁器	碗	体部 1/4 ~ 底部	—	6.0	< 3.9 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	4	103	60	磁器	碗	体部~底部	—	4.0	< 3.8 >			良好	
遺構外	5	103	60	磁器	皿	底部 1/4	—	(4.8)	—		染付・透明釉, 高台畳付無釉	良好	
遺構外	6	103	60	磁器	碗	口縁~底部	(10.0)	(3.6)	5.3			良好	
遺構外	7	103	60	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部 1/4	(10.2)	—	< 3.9 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	8	103	60	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 1/3	(9.1)	(3.6)	5.1		染付・透明釉	良好	
遺構外	9	103	60	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部 1/3	(8.8)	—	< 4.3 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	10	103	60	磁器	碗	口縁小~体部	—	—	(3.6)			胎土: N8/	
遺構外	11	103	60	磁器	碗	体部~底部	(8.6)	(3.2)	4.8			胎土: N8/	
遺構外	12	103	60	磁器	杯	口縁 1/3 ~ 底部小	(8.2)	—	< 4.3 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	13	103	60	磁器	杯	口縁 1/2 ~ 底部 1/3	(8.1)	(2.4)	3.9		染付・透明釉	良好	
遺構外	14	103	60	磁器	碗	体部小~底部 2/3	—	3.6	< 3.0 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	15	103	60	磁器	碗	口縁~底部	(10.6)	4.9	5.55	貫入有り	畳付無釉	良好	
遺構外	16	103	60	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 2/3	< 10.4 >	< 5.6 >	< 5.5 >	広東碗	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	17	103	60	磁器	碗	口縁小~底部小	< 11.0 >	(6.0)	< 6.0 >	広東碗	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	18	103	60	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	< 10.0 >	(5.4)	< 5.3 >	広東碗	染付・透明釉	胎土: 2.5GY/1 明赤~7 灰	
遺構外	19	103	60	陶器	碗	口縁 1/5 ~ 底部	(12.6)	6.6	6.4		染付・透明釉 陶胎染付か	胎土: 2.5Y8/1 灰白	
遺構外	20	103	60	磁器	碗	体部~底部 3/4	—	(3.8)	5.6	外面: 染付有り		胎土: N8/	
遺構外	21	103	60	磁器	碗	体部小~底部 2/小	—	(3.6)	—		染付・透明釉	胎土: N8/	
遺構外	22	103	60	磁器	碗	体部 1/4 ~ 底部	—	5.0	5.9			青磁釉	
遺構外	23	103	61	磁器	碗	口縁小~底部 1/2	(7.0)	(2.8)	3.0		染付・透明釉	内面: 透明釉 外面: 5G7/1 明緑灰釉	
遺構外	24	103	61	磁器	碗	ほろ完全形	7.8	3.6	3.9		染付・透明釉	良好	
遺構外	25	103	61	磁器	碗	口縁 2/3 ~ 体部 1/2	(9.4)	4.6	4.1	高台内に文字痕跡	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	26	104	61	磁器	碗	口縁~底部	9.75	4.0	5.55	焼き継ぎ痕		良好	
遺構外	27	104	61	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 体部 1/4	(11.4)	—	< 4.5 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	28	104	61	磁器	杯	口縁 1/3 ~ 底部 1/2	(6.2)	(2.8)	2.85		染付・透明釉	良好	
遺構外	29	104	61	磁器	杯	口縁 1/3 ~ 底部 2/3	(6.0)	2.6	3.0		染付・透明釉	良好	
遺構外	30	104	61	陶器	杯	口縁 1/2 ~ 底部	6.6	2.6	2.4		染付・白色釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	31	104	61	磁器	碗	口縁~底部	(11.8)	(3.6)	4.3	型紙摺り		良好	
遺構外	32	104	61	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部小	(11.0)	(3.6)	5.0	型紙摺り	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	33	104	61	磁器	碗	口縁 1/2 ~ 底部	< 9.2 >	< 3.0 >	< 4.3 >		透明釉 上給付	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	34	104	61	磁器	碗	ほろ完全形	8.4	3.2	4.7	見込に「甲府市 竹上 芦澤製粉所」		胎土: N8/	
遺構外	35	104	61	磁器	碗	口縁 2/3 ~ 底部	8.2	3.0	4.7	見込に「米穀肥料 秋山 電一七〇」	染付・透明釉	良好	
遺構外	36	104	61	陶器	碗	口縁 4/5 ~ 底部	(8.0)	< 4.0 >	< 7.2 >	外面に「金茂園茶店 電 2 6 1 2」	染付・透明釉	胎土: 7.5Y8/1 灰白	
遺構外	37	104	61	磁器	碗	口縁 1/4 ~ 底部	< 6.2 >	< 2.6 >	< 4.6 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	38	104	61	磁器	杯	口縁 1/2 ~ 底部	6.4	2.5	2.8		透明釉 内面: 上給付	良好	
遺構外	39	104	61	磁器	養麦猪口	口縁 1/3 ~ 底部 1/6	(8.2)	(7.0)	5.6	焼き継ぎ痕有り(2ヶ所)	染付・透明釉	良好	
遺構外	40	104	61	磁器	皿	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(13.0)	(4.6)	3.7	見込蛇の目輪割き	染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	41	104	61	磁器	皿	口縁 2/3 ~ 底部	10.2	5.4	2.8		染付・透明釉	良好	
遺構外	42	104	61	磁器	皿	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	13.0	7.4	2.0		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	43	104	61	磁器	蓋	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(9.0)	(5.0)	2.7			胎土: N8/	
遺構外	44	104	61	陶器	瓶	体部~底部 1/3	—	(4.0)	< 3.9 >		外面: 染付 内外面: 透明釉	良好	
遺構外	45	104	61	磁器	仏飯器		(8.2)	(4.4)	(6.1)		染付・透明釉 高台畳付無釉	良好	
遺構外	46	104	61	磁器	仏飯器		6.8	4.4	5.5		染付・透明釉 高台畳付無釉	良好	
遺構外	47	104	61	磁器	仏飯器	体部 2/3 ~ 底部	—	4.5	< 5.05 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	48	105	61	磁器	碗	口縁小~底部小	< 20.0 >	(11.0)	< 6.5 >		染付・透明釉	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	49	105	61	磁器	皿	口縁 1/4 ~ 体部	(8.5)	—	5.0			胎土: N8/	
遺構外	50	105	61	磁器	碗	口縁 1/3 ~ 体部	(10.8)	—	< 5.6 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	51	105	61	磁器	皿	体部小~底部 1/4	—	(9.6)	< 4.2 >		染付・透明釉	良好	
遺構外	52	105	61	陶器	碗	体部 1/4 ~ 底部	—	4.8	< 5.1 >			胎土: 10YR8/2 灰白 釉調: 2.5Y4/2 暗灰黄	
遺構外	53	105	61	陶器	碗	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(10.2)	(5.1)	6.55	外面: 窪み有り		胎土: N7/0 灰白 外面: 7.5Y4/3 褐	
遺構外	54	105	61	陶器	碗	口縁 1/5 ~ 底部 1/4	< 8.0 >	< 6.0 >	< 4.9 >	底部回転糸切	透明釉	胎土: 10Y5/1 灰	
遺構外	55	105	62	陶器	天目茶碗	口縁 1/2 ~ 底部	(11.6)	(4.5)	6.0		鉄釉	良好	
遺構外	56	105	62	陶器	碗	口縁 1/4 ~ 体部小	(12.0)	—	4.9		較釉	釉調: 7.5YR3/4 暗褐	
遺構外	57	105	62	陶器	ミニチュア	ほろ完全形	2.5	1.6	1.55	碗形玩具		胎土: 5Y8/1 灰白	
遺構外	58	105	62	陶器	皿	完全形	3.0	6.0	1.0			胎土: 2.5Y8/1 灰白 釉調: 7.5Y6/1 灰	
遺構外	59	105	62	陶器	皿	口縁 1/2 ~ 底部 1/2	(15.8)	(5.0)	3.8			胎土: 7/1 灰白	
遺構外	60	105	62	陶器	皿	口縁 1/4 ~ 底部 1/4	(24.4)	9.4	5.0	重ね焼き痕有り 脚有り		胎土: 5Y8/2 灰白 釉調: 灰釉 7.5Y8/3 淡黄	
遺構外	61	105	62	陶器	皿	口縁小~底部小	(24.6)	(25.0)	3.1			胎土: 5Y6/2 灰 釉調: 灰釉	
遺構外	62	105	62	陶器	蓋	口縁 3/4 ~ 底部完全形	—	3.2	1.45	貫入有り 底部回転糸切		胎土: 5Y8/1 灰白 釉調: 灰白	
遺構外	63	105	62	磁器	蓋	つまみ部~口縁	(11.4)	(8.8)	4.3			胎土: 2.5Y7/1 灰白(断面), 2.5Y7/3 淡黄	
遺構外	64	105	62	陶器	行平	口縁小~体部小(持ち手)	(18.2)	—	< 5.6 >			胎土: 5YR6/4 にふいね 外面: 2.5Y5/4 黄褐	
遺構外	65	105	62	陶器	鉢	口縁小~体部 1/4	(11.2)	—	< 10.6 >			胎土: 5Y8/1 灰白 釉調: 灰釉 5Y8/3 淡黄	
遺構外	66	105	62	陶器	鉢	口縁 1/8 ~ 体部小	(24.0)	—	9.5	波状文様有り		良好	
遺構外	67	105	62	陶器	皿	底部 1/4	—	(8.2)	< 2.1 >	底部: 煤付着	鉄釉	胎土: 2.5Y2/1 黒	
遺構外	68	105	62	陶器	壺	口縁小~体部 1/4	(9.0)	—	< 6.7 >			胎土: 7.5YR2/3 暗暗褐	
遺構外	69	106	62	陶器	瓶	体部~底部	—	(8.2)	< 12.7 >	内面: 凹切	上給付	胎土: N8/ 灰白	
遺構外	70	106	62	陶器	花生	口縁 1/2 ~ 体部小	(4.0)	—	< 8.2 >		灰釉	良好	
遺構外	71	106	62	陶器	瓶	体部小~底部 1/2	—	(7.6)	< 5.8 >			胎土: 10YR8/1 灰白 外面: 10YR4/4 褐	
遺構外	72	106	62	陶器	壺	口縁 1/6 ~ 体部小	(5.4)	—	< 4.2 >	外面: 花模様(写真)		内面: 灰釉 5Y8/3 淡黄 外面: 綠釉	
遺構外	73	106	62	陶器	柿木鉢	体部小~底部 1/2	—	11.6	< 2.8 >	底部: 孔 底部内面: 重ね焼き痕	鉄釉	良好	
遺構外	74	106	62	陶器	播鉢	口縁~底部	(34.0)	(14.0)	14.7		鉄釉	胎土: 5Y8/1 灰白	
遺構外	75	106	62	陶器	播鉢	口縁小~底部	—	—	—			胎土: 2.5YR3/2 暗赤褐	
遺構外	76	106	62	陶器	播鉢	口縁小	—	—	—			胎土: 7.5YR5/4 にふいね	
遺構外	77	106	62	陶器	播鉢	口縁小~体部小	(36.4)	—	< 9.3 >			細砂粒含む(長石) 胎土: 2.5YR6/8 明赤褐	
遺構外	78	106	62	陶器	播鉢	口縁小~体部小	—	—	< 3.5 >			細砂粒含む(長石) 胎土: 10R5/6 赤 釉調: 2.5YR3/3 明赤褐	
遺構外	79	106	62	陶器	播鉢	体部小~底部 1/4	—	< 10.0 >	—		鉄釉	胎土: 7.5YR8/3 淡黄褐	
遺構外	80	106	62	陶器	播鉢	体部小~底部 1/4	—	11.0	—			良好	
遺構外	81	106	62	陶器	播鉢	体部小~底部小	—	(16.0)	< 10.3 >	内面: 鉄釉		粗砂粒有り(長石・石英・黒色粒) 胎土: 2.5YR5/4 にふい赤褐	
遺構外	82	106	62	土器	焼塩壺	底部 1/2	—	(7.0)	< 1.8 >			細砂粒含む(雲母・長石・赤色粒) 胎土: 5YR6/6 褐	
遺構外	83	106	62	土器	碗	体部~底部	—	6.9	< 3.4 >	施釉土器(白色釉)		雲母・長石・石英含む 胎土: 5YR6/6 褐	

() 復元値 < > 残存値

第11表 遺物観察表(10)

出土地点	遺物番号	押図	写真図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸葉)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
遺構外	84	106	62	土器	皿	口縁~底部	4.9	4.1	1.1	内外面: 070 底部回転糸切の上を9ヶズリカ	雲母・長石・石英含む 胎土: 7.5YR7/4 にふい橙	良好	
遺構外	85	106	62	土器	皿	口縁1/4~底部1/4	(5.2)	(4.2)	1.15	底部回転糸切	細砂粒含む(雲母・長石) 胎土: 7.5YR6/3 にふい橙	良好	
遺構外	86	106	62	土器	皿	口縁1/2~底部	(6.4)	(4.0)	1.4		胎土: 5YR7/6 橙	良好	
遺構外	87	106	62	土器	皿	口縁1/4~底部1/4	(6.4)	(4.0)	1.2	底部回転糸切	胎土: 5YR6/6 橙	良好	
遺構外	88	106	62	土器	皿	口縁1/3~底部1/2	(6.6)	(5.0)	1.4	底部回転糸切	細砂粒含む(雲母・長石) 胎土: 7.5YR6/4 にふい橙	良好	
遺構外	89	106	62	土器	皿	口縁1/2~底部1/3	7.4	5.2	1.4		細砂粒含む 胎土: 5YR6/8 橙	良好	
遺構外	90	106	62	土器	皿	口縁1/6~底部	< 7.2 >	< 5.6 >	< 1.7 >	底部糸切		良好	
遺構外	91	106	62	土器	灯明皿	口縁1/4~底部1/3	(8.0)	(5.0)	1.8	口縁部: 煤付着	胎土: 7.5YR6/6 橙	良好	
遺構外	92	107	62	土器	皿	口縁1/3~底部1/2	(7.6)	(5.2)	1.6	底部回転糸切	胎土: 長石・雲母含む 7.5YR6/3 灰褐	良好	
遺構外	93	107	62	土器	皿	口縁1/4~底部1/4	(8.0)	(5.0)	1.7		胎土: 5YR7/6 橙	良好	
遺構外	94	107	62	土器	皿	口縁1/4~底部	(9.0)	< 6.2 >	< 1.5 >		胎土: 7.5YR7/4 にふい橙	良好	
遺構外	95	107	62	土器	皿	口縁1/3~底部	< 9.2 >	(4.8)	< 2.0 >		胎土: 7.5YR7/8 黄橙	良好	
遺構外	96	107	62	土器	皿	口縁~底部1/4	(9.0)	(5.0)	< 2.2 >		胎土: 細砂粒含む 10YR7/4 にふい黄橙	良好	
遺構外	97	107	62	土器	皿	口縁1/2~底部1/2	(9.4)	(5.4)	1.7	底部回転糸切	胎土: 細砂粒・長石・雲母・赤色粒含む 7.5YR6/3 にふい橙	良好	
遺構外	98	107	63	土器	皿	口縁1/2~底部1/2	(10.0)	(5.4)	2.0	底部回転糸切	胎土: 細砂粒・長石・雲母・赤色粒含む 7.5YR6/6 橙	良好	
遺構外	99	107	63	土器	灯明皿	口縁小~底部1/4	(10.0)	(7.0)	1.7	底部回転糸切 口縁部煤付着	胎土: 5YR6/4 にふい橙	良好	
遺構外	100	107	63	土器	皿	口縁1/6~底部小	(11.0)	(6.0)	< 2.5 >	底部回転糸切	胎土: 7.5YR7/6 橙	良好	
遺構外	101	107	63	土器	皿	口縁小~底部1/4	(10.8)	(8.0)	1.9	底部回転糸切	胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 7.5YR6/4 にふい橙	良好	
遺構外	102	107	63	土器	灯明皿	口縁1/6~底部1/6	< 11.2 >	< 8.0 >	< 2.0 >	口縁部煤付着		良好	
遺構外	103	107	63	土器	皿	口縁~底部1/5	(12.0)	< 7.0 >	< 2.0 >		胎土: 7.5YR7/6 橙	良好	
遺構外	104	107	63	土器	壺	完形	2.6	4.4	1.8	底部回転糸切	胎土: 雲母含む 10YR7/3 にふい黄橙	良好	
遺構外	105	107	63	土器	壺	体部1/3~底部	(4.8)	3.3	1.7	底部回転糸切	胎土: 長石・雲母含む 7.5YR6/4 にふい橙	良好	
遺構外	106	107	63	土器	不明		5.8	< 3.9 >	1.8		胎土: 長石・雲母・石英・赤色粒 7.5YR6/6 にふい橙	良好	
遺構外	107	107	63	土器	鉢	口縁部	—	—	< 4.0 >		胎土: 7.5YR7/6 橙	良好	
遺構外	108	107	63	土器	鉢	口縁小~体部小	—	—	< 4.9 >		胎土: 細砂粒・雲母・赤色粒含む	良好	
遺構外	109	107	63	土器	火鉢類	口縁部	(27.0)	—	< 6.0 >	瓦質 9ヶ付着	胎土: 粗砂粒・長石・雲母・赤色粒含む 7.5YR6/6 橙 外面: N4/ 灰	良好	
遺構外	110	107	63	土器	火鉢類	上部	—	—	< 7.25 >	外面煤付着	胎土: 粗砂粒・長石・雲母含む 5YR4/3 にふい赤褐	良好	
遺構外	111	107	63	土器	焙烙か	口縁小	(34.0)	—	< 7.5 >		胎土: 細砂粒含む 7.5YR7/6 橙	良好	
遺構外	112	107	63	土器	焙烙	口縁小~体部小	(26.0)	—	< 5.3 >		胎土: 粗砂粒・長石・雲母含む 10YR6/2 灰黄褐 外面: 2.5Y4/1 黄灰	良好	
遺構外	113	107	63	土器	七輪部品	胴部分	4.2	4.7	0.9		胎土: 5YR5/4 にふい赤褐 外面: N3/ 暗灰	良好	
遺構外	114	107	63	土器	七輪目皿	口縁~底部1/5	(32.0)	(40.0)	2.7		胎土: 7.5YR6/4 にふい橙	良好	
遺構外	115	107	63	土器	燈罩(涼炉)	体部(口有り)	—	(12.4)	< 10.5 >		胎土: 細砂粒・長石・雲母含む 5YR6/6 橙	良好	
遺構外	116	107	63	土器	火鉢類	口縁~体部	(35.2)	—	< 7.1 >	外面: 070底 内面: 070	胎土: 長石・雲母・石英含む 7.5YR7/4 にふい橙	良好	
遺構外	117	108	63	土器	鉢	口縁部	(26.9)	—	< 5.9 >	内外面: 070付	胎土: 長石含む 5YR6/6 橙~7.5YR6/6 橙	良好	
遺構外	118	108	63	土器	壺	体部小~底部	—	18.0	< 8.5 >		胎土: 細砂粒含む 5YR7/6 橙	良好	
遺構外	119	108	63	土器	火鉢類	体部小~底部1/8	—	(27.0)	< 13.6 >	外面: 070付 煤付着 内面: 070付	胎土: 細砂粒含む 5YR5/4 にふい赤褐色 外面: 10YR1/3 黒褐	良好	
遺構外	120	108	63	土器	壺		—	—	—	外面に「手製造販売 改良 甲府市柳町村田治郎」の刻印、内面煤付着	胎土: 7.5YR5/3 にふい橙 外面: 10Y2/1 黒	良好	
遺構外	121	108	63	須恵器	壺		—	—	—		胎土: N5/ 灰	良好	
遺構外	122	108	63	土師器	不明	高台部1/2	—	—	< 4.4 >		胎土: 細砂粒・長石・雲母・赤色粒含む 5YR6/6 橙	良好	
遺構外	123	108	63	土製品	土鈴		2.4	2.1	< 1.8 >		胎土: 7.5YR7/4 にふい橙	良好	
遺構外	124	108	63	土製品	土鈴	完形	2.3	2.2	2.3		胎土: 5YR7/6 橙	良好	
遺構外	125	108	63	土製品	土鈴	完形	2.6	2.2	2.1		胎土: 5YR5/6 明赤褐	良好	
遺構外	126	108	63	土製品	土鈴	1/2	< 2.5 >	< 1.9 >	< 1.6 >		胎土: N8/ 灰白	良好	
遺構外	127	108	63	石製品	碁石	完形	2.0	2.0	0.4		N2/ 黒		
遺構外	128	108	63	土製品	碁石	完形	2.0	2.0	0.8		5YR6/6 橙	良好	
遺構外	129	108	63	土製品	土人形(鳥)	完形	3.7	5.7	—		5YR6/6 橙	良好	
遺構外	130	108	63	土製品	不明		—	—	—		2.5YR5/8 橙	良好	
遺構外	131	108	63	瓦	丸瓦		(9.1)	(6.0)	1.9		N6/ 灰	良好	
遺構外	132	108	63	瓦	平瓦		< 5.5 >	< 3.1 >	1.7	刻印「行文」	N4/ 灰	良好	
遺構外	133	108	63	瓦	棧瓦		< 5.0 >	< 8.2 >	1.6	刻印	N3/ 灰	良好	
遺構外	134	108	63	瓦	平瓦		< 5.3 >	< 6.1 >	1.7	刻印「行本」	5YR7/6 橙	良好	
遺構外	135	109	63	瓦	袖瓦		17.0	13.7	4.2		N4/ 灰	良好	
遺構外	136	109	63	瓦	棧瓦		< 19.5 >	< 17.2 >	1.7		N3/ 暗灰	良好	
遺構外	137	109	63	瓦	平瓦		21.4	< 13.6 >	1.5		N5/ 灰	良好	
遺構外	138	109	63	瓦	平瓦		< 8.9 >	< 8.8 >	2.3		5B5/1 青灰	良好	
遺構外	139	109	63	瓦	平瓦		< 6.8 >	< 5.35 >	1.9	刻印「行文」	10YR7/4 にふい黄橙	良好	
遺構外	140	109	64	石製品	碁石		< 7.4 >	2.4	2.0		7.5YR2/2 灰白	良好	
遺構外	141	109	64	石製品	碁石		< 7.0 >	2.8	1.5		2.5YR3/3 淡黄	良好	
遺構外	142	109	64	石製品	碁石		< 8.5 >	5.3	2.6		2.5GY7/1 明州ノ灰	良好	
遺構外	143	109	64	石製品	碁石		< 5.0 >	4.5	0.5	17ヶ付着	2.5Y7/6 明黄褐	良好	
遺構外	144	110	64	金属	古銭		径 2.5		0.1	寛永通寶			
遺構外	145	110	64	金属	古銭		径 2.4		0.1				
遺構外	146	110	64	金属	古銭		径 2.5		0.1	寛永通寶			
遺構外	147	110	64	金属	古銭		径 2.4		0.1	大観通寶			
遺構外	148	110	64	金属	古銭		—		0.1	寛永通寶			
遺構外	149	110	64	金属	古銭		径 2.4		0.1	寛永通寶			
遺構外	150	110	64	金属	古銭		径 2.4		0.1	寛永通寶			
遺構外	151	110	64	金属	煙管		4.5	径 1.3	径 2.0		2.5GY7/1 明州ノ灰		
遺構外	152	110	64	金属	煙管		5.3	径 1.1	径 2.0		7.5GY6/1 緑灰		
遺構外	153	110	64	磁器	戸車	ほぼ完形	9.5	9.4	1.9		N8/ 灰白	良好	
遺構外	154	110	64	硝子	瓶	口縁1/2~底部	2.4	3.4	4.9		緑色透明		
遺構外	155	110	64	硝子	瓶	完形	1.8	1.7	4.6	「東京松田製」の文字	透明		
遺構外	156	110	64	硝子	瓶	口縁~体部1/2	1.5	—	< 7.7 >		透明		
遺構外	157	110	64	硝子	瓶(目薬)		0.6	1.6	7.8	「EYE LOTTON ROHTO A20」の文字(昭和6年以降に販売)	青色透明	良好	
遺構外	158	110	64	硝子	蓋		3.4	1.6	2.3		緑色透明	良好	
遺構外	159	110	64	硝子	瓶	完形	5.5	6.5	3.5	底部: 「ヒメ椿」の文字	白色透明	良好	
遺構外	160	110	64	硝子	瓶		4.8	4.6	3.1	底部: 「VELMAN」の文字	N8/ 灰白	良好	
遺構外	161	110	64	硝子	瓶	完形	3.5	5.0	4.3		透明	良好	
遺構外	162	110	64	硝子	瓶		1.0	5.6	9.1		透明	良好	
遺構外	163	110	64	硝子	瓶	完形	1.0	4.5	8.8		透明	良好	
遺構外	164	110	64	硝子	瓶	口縁小~底部1/4	1.6	4.0	18.5	「180 c c 入」の文字	緑色透明	良好	
遺構外	165	110	64	硝子	瓶	底部	—	6.1	< 5.5 >	底部: 「マ-7」と「3」 側面: 「BOTTLED&GUARANTEED BY KOTOBUKIYA LTD.」	緑色透明	良好	
SX1	336	111	65	木製品	漆器碗		10.5	9.5	0.4		方形の孔あり		
SX1	337	111	65	木製品	曲物底板		径 16.0	—	1.2	2片接合			
SX1	338	111	65	木製品	円形板		18.0	10.5	0.9				
SX1	339	111	65	木製品	下駄		17.8	8.6	3.6		内面: 赤漆 外面: 黒漆 他小破片3点		
SX1	340	111	65	木製品	鎌か	方形の孔	31.7	9.3	2.0		円形の孔 両端部に突起あり		
SX1	341	111	65	木製品	鎌か	方形の孔	30.0	8.3	2.8				
SX1	342	111	65	木製品	部材	円形の孔。両端に突起。	24.5	7.0	1.2		方形の孔あり		
SX1	343	111	65	木製品	板材		52.0	8.5	3.0				
SX1	344	111	65	木製品	板材		33.5	6.0	1.5				
SX1	345	111	65	木製品	板材		24.5	5.2	2.5				
SX1	346	111	65	木製品	板材		22.5	3.1	0.6				
SX1	347	111	65	木製品	板材		19.8	6.2	0.5				
SK3	17	111	65	木製品	板材		41						

第12表 遺物観察表(11)

出土地点	遺物番号	押図	写真版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸案)	胎土・色調	焼成
							口径・長(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚(cm)				
SK18	44	111	65	木製品	桶側板か		9.0	7.5	1.1				
SK18	45	111	65	木製品	部材		5.0	1.1	0.4				
SK18	46	111	65	木製品	板材		27.0	11.0	1.0				
SK18	47	111	65	木製品	板材		62.7	12.8	1.1				
SK19	20	112	65	木製品	円形板		19.0	10.2	0.5				
SK19	21	112	65	木製品	板材		10.0	9.6	1.4				
SK19	22	112	65	木製品	板材		21.7	9.0	0.7				
SK21	1	112	65	木製品	板材		32.3	12.6	1.0				
SK22	15	112	65	木製品	箸		11.2	0.5	0.4				
SK22	16	112	65	木製品	桶側板		35.0	8.9	1.9	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	17	112	65	木製品	桶側板		19.9	10.0	1.9	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	18	112	65	木製品	桶側板		17.0	10.7	1.7	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	19	112	65	木製品	桶側板		6.8	6.7	1.7	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	20	112	65	木製品	桶側板		7.6	9.5	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	21	112	65	木製品	桶側板		18.5	8.8	1.9	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	22	112	65	木製品	桶側板		19.0	10.0	1.9	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	23	112	65	木製品	桶側板		15.0	8.0	1.7	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	24	112	65	木製品	桶側板		14.8	12.5	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	25	112	65	木製品	桶側板		26.2	6.5	1.7	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	26	112	65	木製品	桶側板		23.2	8.7	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	27	112	65	木製品	桶側板		26.5	9.8	1.7	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	28	112	66	木製品	桶側板		14.2	9.5	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	29	112	66	木製品	桶側板		15.7	7.0	2.0	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	30	112	66	木製品	桶側板		21.6	9.0	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	31	112	66	木製品	桶側板		28.5	8.9	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	32	112	66	木製品	桶側板		29.0	7.0	2.0	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	33	112	66	木製品	桶側板		23.5	7.3	2.0	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	34	112	66	木製品	桶側板		22.0	7.4	2.1	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	35	112	66	木製品	桶側板		16.7	8.9	2.0	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	36	112	66	木製品	桶側板		20.5	11.4	2.0	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	37	112	66	木製品	桶側板		22.0	11.3	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	38	112	66	木製品	桶側板		22.8	7.2	1.9	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	39	112	66	木製品	桶側板		22.8	7.5	1.8	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	40	112	66	木製品	桶側板		11.0	7.5	2.1	16-40まで同一の桶の側板			
SK22	41	113	66	木製品	桶底板		65.2	29.0	2.6	41-43で一組の底板			
SK22	42	113	66	木製品	桶底板		65.9	18.5	2.6	41-43で一組の底板			
SK22	43	113	66	木製品	桶底板		59.3	18.3	2.6	41-43で一組の底板			
SK22	44	113	66	木製品	箸か		3.7	0.4	0.4				
SK26	8	113	66	木製品	桶側板		12.5	8.2	0.7				
SK26	9	113	66	木製品	板材		22.5	5.5	0.4				
SK26	10	113	66	木製品	部材		42.5	4.0	3.5	接合時の寸法 釘あり			
SK26	11	113	66	木製品	部材		31.8	3.5	1.0	釘2ヶ所あり			
SK26	12	113	66	木製品	円形板		径10.6	—	0.6	金具の痕跡あり			
SK26	13	113	66	木製品	下駄		20.5	6.4	2.4	接合時の寸法			
SK26	14	113	66	木製品	折敷		23.7	17.3	0.7				
SK30	1	113	66	木製品	下駄		20.6	8.7	2.5				
SK30	2	113	66	木製品	下駄		17.7	7.7	2.5				
SK30	3	113	66	木製品	下駄		20.4	7.5	2.5				
SK30	4	113	66	木製品	下駄		19.8	7.5	1.5				
SK30	5	114	66	木製品	板材		5.3	5.2	1.4	片面炭化			
SK30	6	114	66	木製品	板材		4.8	6.8	1.2				
SK30	7	114	66	木製品	棒材		21.0	0.8	0.7	箸か 一端部断面方形、他方端断面八角形			
SK33	5	114	67	木製品	桶側板		17.0	6.8	1.0	残欠			
SK33	6	114	67	木製品	桶側板		15.1	14.0	0.9	残欠2片			
SK33	7	114	67	木製品	桶側板		13.2	7.6	1.0	残欠			
SK33	8	114	67	木製品	桶側板		8.2	8.7	1.1	残欠			
SK33	9	114	67	木製品	桶側板		5.8	3.0	0.8	残欠			
SK33	10	114	67	木製品	桶側板		9.8	7.0	0.9	残欠2片			
SK33	11	114	67	木製品	桶側板		7.0	8.4	0.9	残欠2片			
SK33	12	114	67	木製品	板材		6.5	3.1	0.8				
SK33	13	114	67	木製品	桶側板		7.4	4.5	0.6				
SK33	14	114	67	木製品	桶側板		6.0	3.2	0.6				
SK33	15	114	67	木製品	桶側板		6.2	3.0	0.8				
SK33	16	114	67	木製品	桶側板		5.0	8.4	0.6				
SK33	17	114	67	木製品	桶側板		4.0	3.0	0.6				
SK33	18	114	67	木製品	桶側板		6.2	8.4	1.0				
SK33	19	114	67	木製品	桶側板		5.5	5.5	1.1				
SK33	20	114	67	木製品	桶側板		4.5	9.8	0.8	残欠2片			
SK33	21	114	67	木製品	桶側板		8.3	7.4	1.1				
SK33	22	114	67	木製品	桶底板		40.0	20.0	1.7	M20~22底板1枚ト			
SK33	23	114	67	木製品	桶底板		40.0	14.0	1.7+				
SK33	24	114	67	木製品	桶底板		31.0	8.5	2.6				
SK35	4	115	67	木製品	円形板		10.5	7.3	0.6				
SK35	5	115	67	木製品	円形板		17.0	3.0	0.8	桶底板か			
SK35	6	115	67	木製品	桶側板		12.7	12.0	0.9				
SK35	7	115	67	木製品	箸		13.0	0.5	0.4				
SK35	8	115	67	木製品	板材		30.8	12.2	2.2	一側面に釘あり			
SK35	9	115	67	木製品	板材		30.4	15.6	2.0				
SK35	10	115	67	木製品	板材		24.8	7.5	2.0	釘あり			
SK35	11	115	67	木製品	板材		30.5	22.5	2.0				
SK35	12	115	67	木製品	板材		22.3	18.0	4.2	釘あり			
SK35	13	115	67	木製品	板材		43.0	13.0	4.0				
SK35	14	115	67	木製品	部材		8.8	6.9	5.5	角柱状 一面に細い溝2本あり			
SK35	15	115	67	木製品	部材		15.2	7.1	6.0	角柱状			
SK35	16	115	67	木製品	部材		16.3	7.3	5.6	角柱状			
SK35	17	115	68	木製品	桶側板		39.0	14.0	2.4				
SK35	18	115	68	木製品	桶側板		39.3	14.0	2.2				
SK35	19	115	68	木製品	桶側板		36.0	14.1	2.0				
SK35	20	115	68	木製品	桶側板		38.0	14.5	2.0				
SK35	21	115	68	木製品	桶側板		44.0	14.0	2.2				
SK35	22	115	68	木製品	桶側板		42.5	14.2	1.9				
SK35	23	115	68	木製品	桶側板		36.0	14.0	2.0				
SK35	24	115	68	木製品	桶側板		44.3	14.5	1.9				
SK35	25	115	68	木製品	桶側板		40.9	14.3	2.0				
SK35	26	116	68	木製品	桶側板		43.3	14.0	2.2				
SK35	27	116	68	木製品	桶側板		43.6	13.4	2.0				
SK35	28	116	68	木製品	桶側板		43.3	14.0	2.1				
SK35	29	116	68	木製品	桶側板		50.5	14.0	2.2				
SK35	30	116	68	木製品	桶側板		50.7	14.1	1.9				
SK35	31	116	68	木製品	桶側板		50.6	12.5	2.1				
SK35	32	116	68	木製品	桶側板		40.0	14.3	2.2				
SK35	33	116	68	木製品	桶側板		40.5	14.3	1.9				
SK35	34	116	68	木製品	桶側板		37.8	14.1	2.0				
SK35	35	116	68	木製品	桶側板		51.0	13.3	2.1				

() 復元値 < > 残存値

第13表 遺物観察表 (12)

出土地点	遺物番号	押図	写真 図版	種別	器種	部位	法量			調整・特徴	装飾(軸策)	胎土・色調	焼成
							口径・長 (cm)	底径・幅 (cm)	器高・厚 (cm)				
SK35	36	116	68	木製品	桶底板		63.8	16.5	2.9				
SK35	37	116	68	木製品	桶底板		78.6	21.0	3.5	37~40で底板1組			
SK35	38	116	68	木製品	桶底板		78.2	14.5	3.0	37~40で底板1組			
SK35	39	116	68	木製品	桶底板		75.0	19.5	2.9	37~40で底板1組			
SK35	40	116	68	木製品	桶底板		58.5	15.2	2.0	37~40で底板1組			
SK36	6	117	69	木製品	加工木		129.0	8.5	8.0	断面コの字状の挟りあり 接合可			
SK36	7	117	69	木製品	板材		69.2	7.0	3.5	一側面に切れ込みが5条あり			
SK36	8	117	69	木製品	板材		37.6	4.2	1.1				
SK41	3	117	69	木製品	部材		4.8	2.4	1.8				
SK41	4	117	69	木製品	板材		9.0	5.5	1.5	釘あり			
SK45	5	117	69	木製品	桶側板		27.0	11.0	1.6	残欠2片			
SK45	6	117	69	木製品	桶側板		44.8	9.7	2.5	他1片			
SK45	7	117	69	木製品	桶側板		32.0	13.5	1.8				
SK45	8	117	69	木製品	桶側板		17.2	9.0	1.7	他1片			
SK45	9	117	69	木製品	桶側板		16.0	4.2	1.8	他1片			
SK45	10	117	69	木製品	桶側板		22.5	13.8	1.6				
SK45	11	117	69	木製品	桶側板		21.5	12.5	1.6				
SK45	12	118	69	木製品	桶側板		22.2	12.5	1.8				
SK45	13	118	69	木製品	桶側板		8.7	4.0	1.9				
SK45	14	118	69	木製品	桶側板		8.4	3.5	1.6				
SK45	15	118	69	木製品	桶側板		7.9	3.2	1.8				
SK45	16	118	69	木製品	桶側板		28.2	6.2	1.8				
SK45	17	118	69	木製品	桶側板		18.8	7.7	1.6				
SK45	18	118	69	木製品	桶側板		29.7	6.0	1.5				
SK45	19	118	69	木製品	桶側板		33.6	13.2	1.6				
SK45	20	118	69	木製品	桶側板		29.5	13.8	1.7				
SK45	21	118	69	木製品	桶側板		26.5	13.5	2.0				
SK45	22	118	69	木製品	桶側板		9.9	9.0	1.6				
SK45	23	118	69	木製品	桶側板		13.5	9.0	1.5				
SK45	24	118	69	木製品	桶側板		14.2	4.7	1.5				
SK45	25	118	69	木製品	桶側板		12.7	4.8	1.5				
SK45	26	118	69	木製品	板材		11.5	4.0	1.6				
SK45	27	118	69	木製品	板材		14.4	3.9	1.6				
SK49	1	119	69	木製品	板材		6.2	5.0	1.0				
SK50	7	119	69	木製品	桶側板か		12.0	12.2	1.1				
SK50	8	119	69	木製品	桶側板か		9.8	6.2	1.4				
SK50	9	119	69	木製品	桶側板		19.8	5.5	1.8				
SK50	10	119	69	木製品	桶側板		26.0	4.5	1.5				
SK50	11	119	69	木製品	桶側板		27.2	8.4	1.4				
SK50	12	119	69	木製品	桶側板		27.8	8.5	1.6				
SK50	13	119	69	木製品	桶側板		35.3	6.8	1.2				
SK50	14	119	69	木製品	桶側板		60.0	9.5	1.9				
SK50	15	119	69	木製品	桶側板		56.2	8.5	1.4				
SK50	16	119	69	木製品	桶側板		53.8	9.7	1.4				
SK50	17	119	69	木製品	桶側板		54.5	7.0	1.7				
SK50	18	119	69	木製品	桶側板		51.9	9.0	1.3				
SK50	19	119	69	木製品	桶側板		50.0	5.0	1.8				
SK50	20	119	69	木製品	桶側板		47.5	8.0	1.9				
SK50	21	119	69	木製品	桶側板		41.2	14.8	2.4				
SK50	22	119	70	木製品	桶側板		90.3	11.5	2.2	井戸側転用材			
SK50	23	119	70	木製品	桶側板		90.2	14.2	2.3	井戸側転用材			
SK50	24	119	70	木製品	桶側板		90.5	15.2	3.0	井戸側転用材			
SK50	25	119	70	木製品	桶側板		91.2	14.3	2.6	井戸側転用材			
SK50	26	119	70	木製品	桶側板		90.7	13.3	2.8	井戸側転用材			
SK50	27	120	70	木製品	桶側板		90.5	14.7	2.8	井戸側転用材			
SK50	28	120	70	木製品	桶側板		90.5	13.0	2.8	井戸側転用材			
SK50	29	120	70	木製品	桶側板		90.0	13.5	2.3	井戸側転用材			
SK50	30	120	70	木製品	桶側板		90.5	13.7	2.8	井戸側転用材			
SK50	31	120	70	木製品	桶側板		91.0	14.0	3.0	井戸側転用材			
SK50	32	120	70	木製品	桶側板		90.3	13.8	2.5	井戸側転用材			
SK50	33	120	70	木製品	桶側板		90.5	14.5	2.8	井戸側転用材			
SK50	34	120	70	木製品	桶側板		90.1	14.8	2.5	井戸側転用材			
SK50	35	120	70	木製品	桶側板		89.5	14.0	2.6	井戸側転用材			
SK50	36	120	70	木製品	桶側板		90.8	14.0	2.5	井戸側転用材			
SK50	37	120	70	木製品	桶側板		90.5	14.4	2.9	井戸側転用材			
SK50	38	121	71	木製品	瓶か		152.0	径9.0	-	接合時の寸法			
SK53	1	121	71	木製品	円形板		24.8	10.5	1.0	桶側板か			
SK53	2	121	71	木製品	桶側板か		9.3	6.0	0.8				
SK53	3	121	71	木製品	下駄		21.2	4.0	2.5				
SK56	1	121	71	木製品	桶側板		68.0	8.5	2.8	木釘残存 井戸側転用材			
SK56	2	121	71	木製品	桶側板		70.0	9.0	2.7	木釘あり			
SK56	3	121	71	木製品	桶側板		60.7	7.3	2.8				
SK56	4	121	71	木製品	桶側板		62.8	6.6	2.6				
SK56	5	121	71	木製品	桶側板		60.5	6.5	2.6				
SK56	6	121	71	木製品	桶側板		67.3	11.5	2.6				
SK56	7	121	71	木製品	桶側板		70.0	12.0	2.7				
SP97	4	122	71	木製品	板杭		118.0	12.5	7.5	先端杭状			
SP275	1	122	71	木製品	柱(基礎か)		8.0	6.8	5.4	角柱状			
SP276	1	122	71	木製品	柱(基礎か)		11.2	5.3	3.0	残欠			
SD4	58	122	71	木製品	板材		14.5	7.8	1.3				
SD4	59	122	71	木製品	板材		48.0	12.2	2.0				
SD4	60	122	71	木製品	板材		12.9	6.1	2.2				
SD5	16	122	71	木製品	円形板		径9.2	-	0.7	接合可			
SD5	17	122	71	木製品	円形板		径11.5	-	0.6	蓋か 孔あり			
SD5	18	122	71	木製品	桶側板		23.8	18.6	0.6	刻印の痕跡あり			
SD5	19	122	71	木製品	桶側板		20.5	3.0	0.6				
SD11	4	122	71	木製品	板財		31.4	17.8	1.0				
SD11	5	122	71	木製品	部材		18.7	4.3	3.0		ホソ穴2ヶ所		

() 復元値 < > 残存値

第5章 まとめ

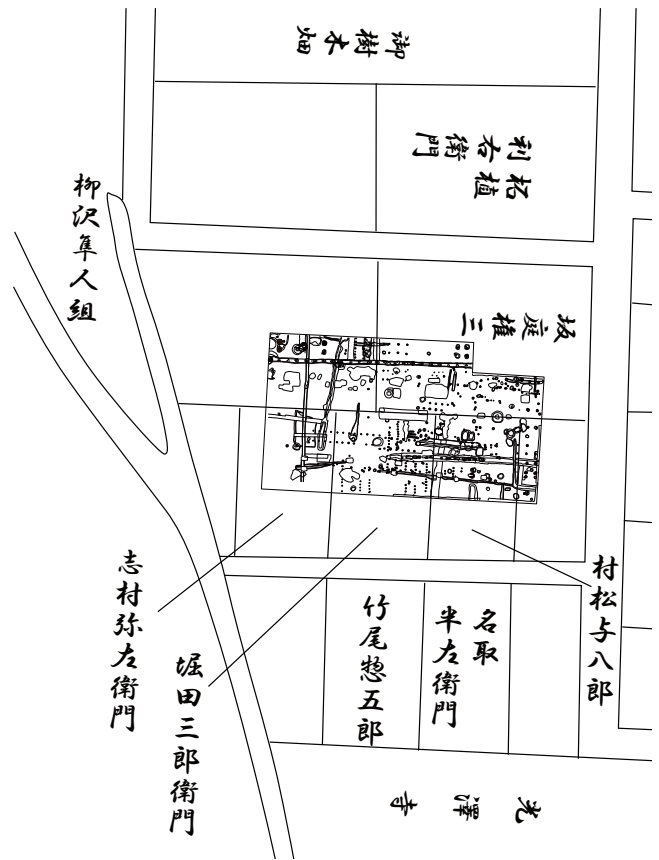
第1節 土地利用の変遷（第123～131図）

調査地点の土地利用の変遷を見てみる。調査地点は二の堀片羽町口の南に位置し、町方の四九町に属さない郭外の武家地の一つであるが、当時は武家屋敷が点在し空地も目立っていたという。甲府城下町期は代官町と呼ばれた。「…大久保石見守ノ時府城新築成就セシカバ代官町佐渡町ニ移應所後復發之カ…」(『甲斐国志』人物部第八、蔵前衆)とあり、「代官町 旧郭外武家屋敷地。慶長中大久保長安治所を置き、代官衆居住地たりしが故に名称となれり」(『甲州府中聞書』)(『甲府市史 通史編 第二巻近世』)と記述されている。その他調査地点周辺には、調査区の南に位置する光澤寺をはじめ多くの寺院が分布していた。

調査地点の状況は、甲府城下町の古絵図で確認する事が出来るが、その最も古い時期と思われる絵図は第123図(「甲斐府中(『諸国当城之図』)(浅野文庫 広島市立中央図書館)である。図中の「片場丁」は柳沢期の新城下町に伴い「片羽町」改められた。調査地点を絵図で確認してみると、調査区の東側を通る道路はあるが、調査地点に区画された状況を見ることは出来ない。南には「長延寺」の名称が確認出来る。第124図は甲府城下町の柳沢期の絵図をトレースし、今回の調査区を合成した図である。合成するにあたっては区画の距離等を参考にしたが、必ずしも正確な位置ではない。図中北西角、川に分岐点に城代柳沢隼人の名前を冠する名称や、調査区付近では4名の氏名が確認できる。さらに、図の北端には御樹木畑があり、この時期、すべての区画が屋敷地として利用されていた訳ではない。南には光澤寺が確認できる。調査地点は、武家屋敷地として東西3～4区画に分かれている。



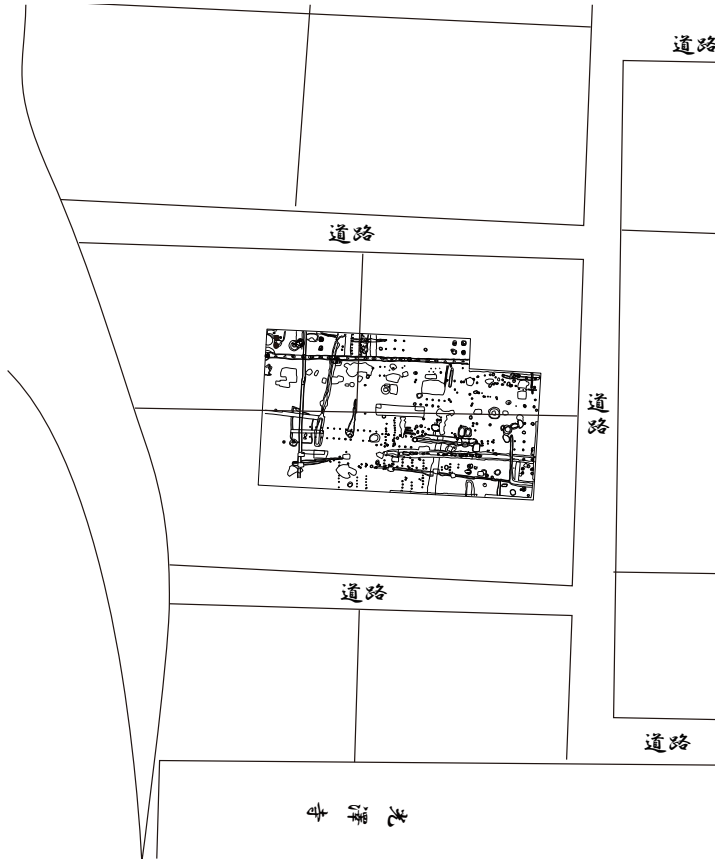
第123図「甲斐府中(『諸国当城之図』)トレース図
(浅野文庫 広島市立図書館)
*一部切抜きトレース



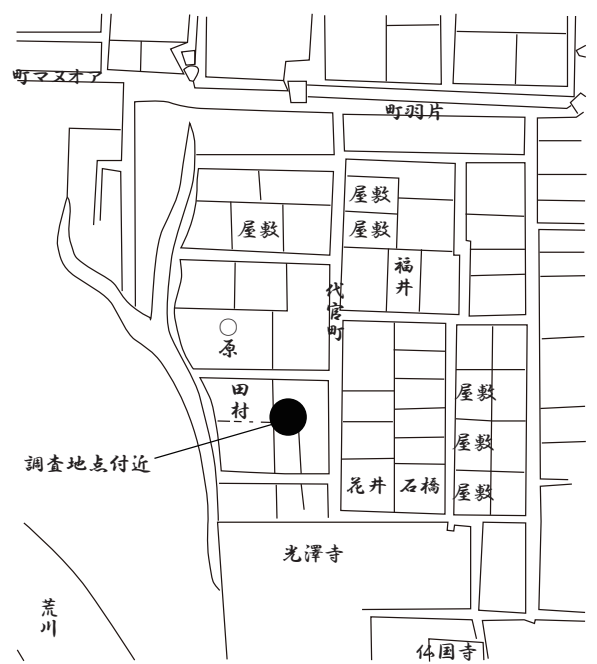
第124図「柳沢期ノ甲府ノ郭内郭外図」トレース図
(宝永7(1710)～享保9(1724)年)
(山梨県立図書館蔵) *一部切抜きトレース

次に勤番期の絵図を紹介する。第125図は「甲府城下絵図」（仮目録番号8012）大和郡山市教育委員会所蔵・提供）をトレースし、第124図と同様調査区を合成した図である。屋敷地として利用されているが、東西1～2区画となり柳沢期と比べると減少している。第126図は「元文三年甲府城下町絵図」のトレース図である。区画は変動しており調査区周辺は空地が目立つ。

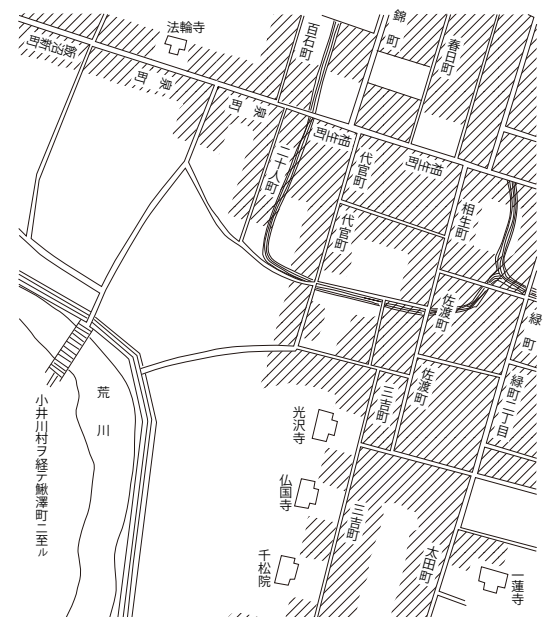
第127図は明治29年の地図をトレースしたものである。中央やや下に光沢寺が位置している。調査地点はその北側の区画内にあたる。



第125図「甲府城下絵図」トレース図（仮目録番号8012）
（大和郡山市教育委員会所蔵・提供）
*一部切抜きトレース



第126図「元文三年甲府城下町絵図」
トレース図
（元文3（1738）年）（坂田家蔵）
*一部切抜きトレース



第127図『改正新刻甲府市街全図』（明治29年）
トレース図
（『甲州文庫』）*一部切抜きトレース

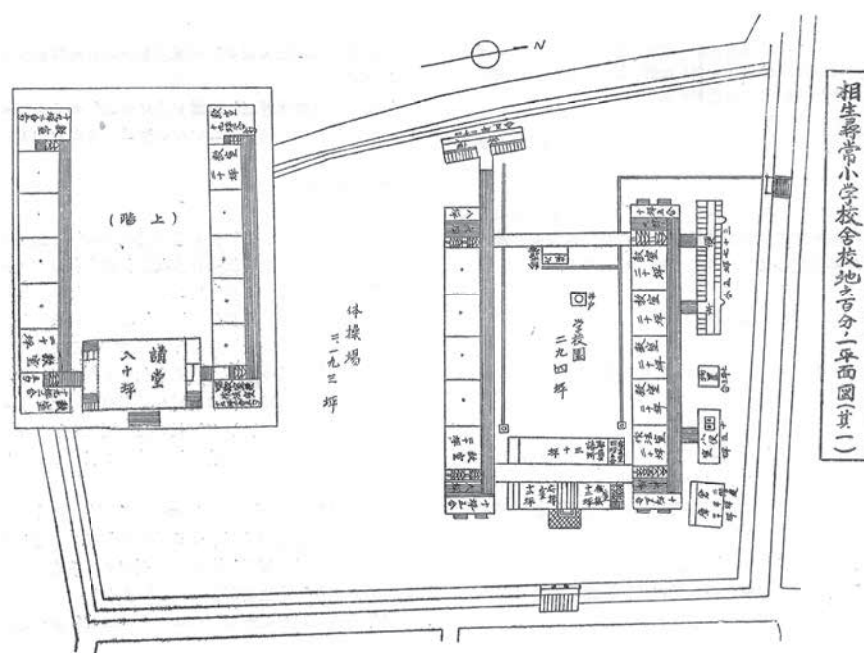
明治 42 年に相生尋常小学校が建設される以前は一面田畑が広がっている状況であったが、同年、現在の地に相生尋常小学校として開校された。第 128 図は落成記念の絵はがきで正面玄関に対して南東方向から撮影されたものと思われる。写真左側がグラウンドに当たる。第 129 図の平面図は当時の校舎の様子である。敷地は四千坪の広さがあった。

第 130 図は大正 2 年の写真で西から撮影されたもので、映っている校舎の南側がまさしく今回の調査区域にあたる。校舎は昭和 20(1945) 年の空襲によって失われたが、昭和 22(1947) 年、竜王村所在の田中航空機計器の軍需工場の建物が現在地に移築された。昭和 25(1950) 年には念願の新校舎が建設された。



第 128 図「相生尋常小学校落成記念」絵はがき (明治 42(1909) 年)

出展「山梨デジタルアーカイブ (山梨県立図書館)」



第 129 図「相生尋常小学校校舎地六百分ノ一平面図 (其一)」

(出展「相生小百年のあゆみ」相生小百周年記念行事実行委員会)

今回の調査では校舎の基礎が検出されたが、図 131 は昭和 16 年の図面に今回の調査区を合成したものである。東西の方向がほぼ一致している事からこの時期の校舎の基礎と考えると良いと思われる。

相生子守学校

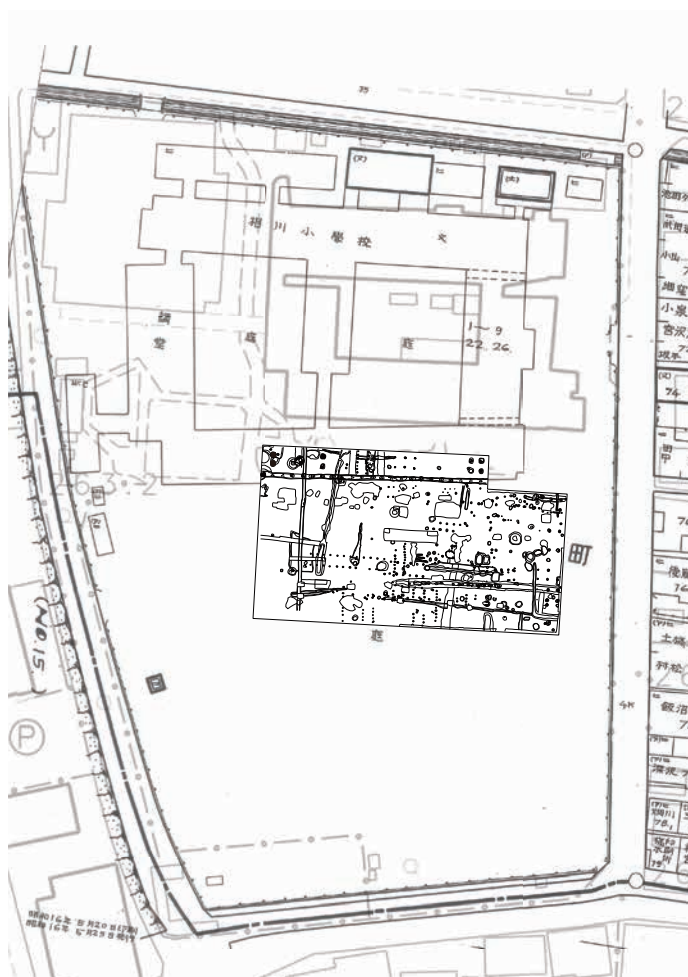
大正貳年九月十九日寫



遊
戯
風
景

第 130 図「相生子守学校 遊戯風景」(写真) (大正貳年九月十九日寫)

出展「相生小百年のあゆみ」(相生小百周年記念行事実行委員会)



第 131 図「商都甲府市家屋図」(昭和 16 年) と調査区合成図

ピット列では、その遺構の配置から、ピット列3がS B 2、ピット列6・7がS B 4と同時期に機能していたと考えられた。時期は、それぞれ近代とみられる。

溝状遺構では、S D 4・10は軸方向が異なるものの、それぞれ江戸時代後半の遺物が出土した。S D 5・6は、軸方向が同一で、出土遺物からは埋没したのは近代であることが分かる。S D 22は、遺構の詳細な性格は不明であるが、底面で礫が検出され、その面が硬く締まっていることから道や堤の基礎とも考えられた。軸方向ではS D 10と同一である。

出土遺物では、近世・近代がほとんどであるが、わずかに土師器高坏や須恵器甕など古墳時代の遺物が出土している。

最後に、遺構間接合遺物、土壌分析による古植生（第6章）、本文中で記載してきた切り合いや遺構の軸方向などから旧相生小学校地点で検出した遺構の時期変遷を概観したい。遺構間で接合した遺物のうち、報告書内で図示したものについて列挙する。なお、第132図で図示している出土位置は、概ねの位置であり正確な位置を示したものではない。

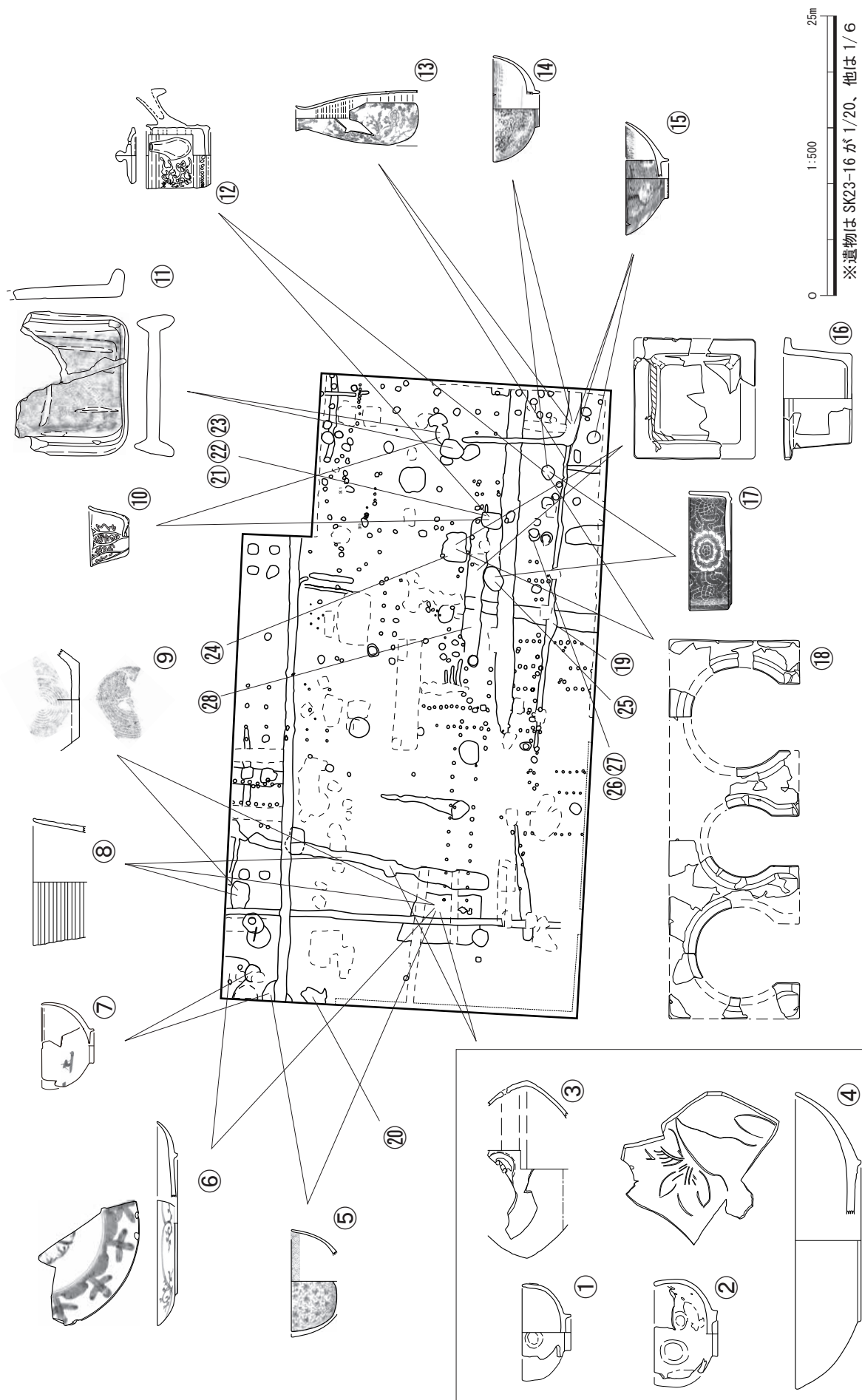
番号	接合関係にある遺構番号	報告書遺物No.	器種	備考
①	S X 1・S D 10	SX1-145	陶器碗	拳骨形
②	S X 1・S D 10	SX1-146	陶器碗	拳骨形
③	S X 1・S D 10	SX1-201	陶器土瓶	
④	S X 1・S D 10	SD10-5	陶器皿	
⑤	S X 1・S K 55	SK55-2	磁器碗	
⑥	S X 1・S K 52	SK52-13	磁器皿	
⑦	S K 51・S K 55	SK51-2	磁器碗	
⑧	S X 1・S K 47・S D 10	SK47-3	陶器碗	
⑨	S K 47・S X 1	SK47-6	陶器掃鉢	
⑩	S K 2・S K 18	SK2-2	陶器碗	蓮月焼
⑪	S K 2・S K 3	SK3-4	土器甕	
⑫	S K 23・S K 18	SK23-7	陶器急須	
⑬	S D 2・S D 6	SD6-7	磁器徳利	
⑭	S K 23・S D 2	SD2-2	磁器碗	型紙摺り
⑮	S D 2・S K 13	SD2-4	磁器碗	型紙摺り
⑯	S K 19・S D 5	SK19-12	炬形土器	
⑰	S K 23・S K 26	SK23-6	磁器段重	
⑱	S K 19・S K 23	SK23-26	置き甕	

次に接合関係にはないが、遺物の性格や特徴が限定的で、廃棄または埋没時期の同時性が高いと考えられる遺物を以下に示す。

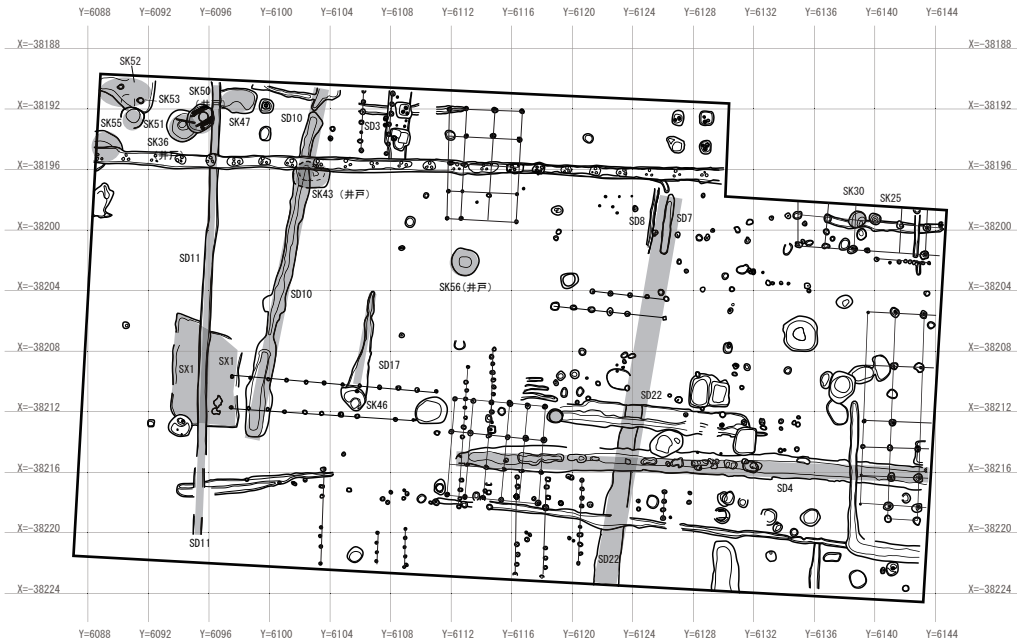
番号	器種	報告書遺物No.	備考
⑩	陶器碗（蓮月焼）	SK2-2	上記表中⑩と同一。煎茶器。
⑲	陶器碗（蓮月焼）	SD6-8	煎茶器。⑩と同型品。
⑳	陶器鉢（蓮月焼）	SK48-4	煎茶器。
㉑	陶器碗形容器	SK18-13	金属の熔融物の付着する容器。
㉒	陶器碗形容器	SK18-15	金属の熔融物の付着する容器。
㉓	陶器碗形容器	SK18-16	金属の熔融物の付着する容器。
㉔	陶器碗形容器	SK19-8	金属の熔融物の付着する容器。
㉕	陶器碗形容器	SK26-1	金属の熔融物の付着する容器。
㉖	陶器碗形容器	SK40-1	金属の熔融物の付着する容器。
㉗	陶器碗形容器	SK41-1	金属の熔融物の付着する容器。
㉘	陶器碗形容器	SK41-2	金属の熔融物の付着する容器。
㉙	陶器碗形容器	SD5-4	金属の熔融物の付着する容器。
㉚	陶器碗形容器	SD5-5	金属の熔融物の付着する容器。

土壌試料の古植生復元では、S K 25・36・43・56ではスギ属とコナラ属コナラ亜属が優占し、S D 4・S D 10・S K 33・S K 35でマツ属複雑管束亜属が優占する。前者の方が古く、その画期は19世紀である可能性が指摘されている。

以上の点とそれぞれの遺構の出土遺物や切り合い関係、軸方向などを検討して作成したのが第133図である。江戸時代前半に位置づけられる遺構はない。江戸時代後半の甲府勤番期の時期では、S X 1やS K 36・43・47・52・56とS D 10・22などがより古い時期にあり、軸方向が延長線上で直角に交わるS D 4・S D 11の時期が続くとみられる。幕末から近代または近代まで存続したみられる遺構群は主に調査区の東側に位置しており、S D 5・6およびS B 3・4の軸方向の時期と、現在の区割りの軸方向に近いS D 2およびS B 1・2の時期がある。



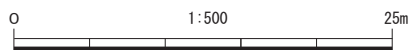
第132図 遺構間接合遺物・蓮月焼・碗形容器出土位置



江戸時代後半（甲府勤番期）



幕末～近代



第133図 遺構の時期変遷

引用・参考文献

- 江戸遺跡研究会編 2001『図説 江戸考古学研究辞典』柏書房
- 九州近世陶磁学会 2000『九州陶磁の編年』
- 郷土出版社 1990『目で見る 甲府の100年』
- 黒岩俊郎 1991『金属の文化史』技術文化ブックス
- 甲府市役所 1918『甲府略史』
- 甲府市教育委員会 2001『甲府城下町遺跡Ⅰ』（甲府市文化財調査報告15）
- 甲府市教育委員会 2002『甲府城下町遺跡Ⅱ』（甲府市文化財調査報告19）
- 甲府市教育委員会 2006『甲府城下町遺跡Ⅲ』（甲府市文化財調査報告33）
- 甲府市教育委員会 2007『甲府城下町遺跡Ⅳ』（甲府市文化財調査報告39）
- 甲府市教育委員会 2009d『甲府城下町遺跡Ⅴ』（甲府市文化財調査報告52）
- 甲府市教育委員会 2013『甲府城下町遺跡Ⅸ』（甲府市文化財調査報告64）
- 甲府市教育委員会 2013『甲府城下町遺跡Ⅹ』（甲府市文化財調査報告66）
- 甲府市教育委員会 2014『甲府城下町遺跡Ⅺ』（甲府市文化財調査報告69）
- 甲府市教育委員会 2001b『秋山氏館跡』（甲府市文化財調査報告16）
- 甲府市教育委員会 2004『甲府市内遺跡Ⅰ－昭和61年度～平成5年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告26）
- 甲府市教育委員会 2005『甲府市内遺跡Ⅱ－平成6年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告29）
- 甲府市教育委員会 2006『甲府市内遺跡Ⅲ－平成7・8年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告31）
- 甲府市教育委員会 2007『甲府市内遺跡Ⅳ－平成9～10年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告35）
- 甲府市教育委員会 2008『甲府市内遺跡Ⅴ－平成11～12年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告38）
- 甲府市教育委員会 2009『甲府市内遺跡Ⅵ－平成13～14年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告41）
- 甲府市教育委員会 2010『甲府市内遺跡Ⅶ－平成15～16年度市内遺跡試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告49）
- 甲府市教育委員会 2011『甲府市内遺跡Ⅷ－平成17～18年度試掘調査報告書－』（甲府市文化財調査報告59）
- 甲府市教育委員会 2013『甲府市内遺跡Ⅸ－平成19～20年度試掘確認調査報告書－』（甲府市文化財調査報告63）
- 甲府市教育委員会 2014『甲府市内遺跡Ⅹ－平成21・22年度試掘確認調査報告書－』（甲府市文化財調査報告68）
- 甲府市市史編纂委員会 1987『甲府市史 史料編 第3巻 近世Ⅱ（町方2）』
- 甲府市市史編纂委員会 1987『甲府市史 史料編 第4巻 近世Ⅲ（町方3）』
- 児玉幸多 1972「甲府道中宿村大概帳 六」『近世交通史料集六 日光・奥州・甲州 道中宿村大概帳』吉川弘文館
- 新宿区内藤町遺跡調査会 1992『内藤町遺跡』
- 新宿区内藤町遺跡調査会 1993『江戸のやきものとくらし』
- 桜井準也 2006『ガラス瓶の考古学』六一書房
- 外山秀一 2004「甲府盆地の地形環境の変化と人間の活動」『山梨県史研究 第12号』
- 西田宏子・大橋康二 1988『日本のこころ63 古伊万里』別冊太陽
- 山梨県教育委員会 1995『甲府城下町遺跡』
- 山梨県教育委員会 1998『鵜沢河岸跡－明神白子地区埋蔵文化財発掘調査－』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第148集）
- 山梨県教育委員会 2000『宮沢中村遺跡』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第181集）
- 山梨県教育委員会 2004a『甲府城下町遺跡－甲府駅周辺土地地区画整理事業地内43街区埋蔵文化財発掘調査報告書－』
- 山梨県教育委員会 2004『甲府城下町遺跡（日向町遺跡第2地点）』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第220集）
- 山梨県教育委員会 2005『県指定史跡甲府城（上巻）（下巻）』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第222集）
- 山梨県教育委員会 2008『甲府城下町遺跡（北口県有地）』（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第258集）

第6章 自然科学分析

第1節 土壌分析

(1) 甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）の花粉分析と寄生虫卵分析

森 将志（パレオ・ラボ）

1. はじめに

山梨県甲府市に所在する甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）では江戸後期～近代の遺物・遺構が出土しており、その中にはトイレ遺構の可能性が疑われる甕や桶もある。発掘調査に際して、遺跡周辺の古植生を検討する目的で堆積物が、トイレ遺構の可能性を探るため甕や桶などの遺物内堆積物が採取された。以下では花粉分析と寄生虫卵分析の結果を示し、遺跡周辺の古植生やトイレ遺構の可能性について検討した。

2. 試料と分析方法

分析試料は、土坑や溝から採取された計8点である（表1）。花粉分析については全ての試料を対象とした。寄生虫卵分析については、SK25（埋甕）とSK33（埋桶）、SK35（埋桶）を分析に供した。これらの試料について、以下の手順に従って分析を行った。

表1 分析試料一覧表

No.	遺構	出土地点	備考	花粉	寄生虫卵
土2	SK25	境内	埋甕	○	○
土4	SK33	②層上	埋桶	○	○
土8	SK35	③層	埋桶	○	○
土10	SK36	検出面④-1.0m	井戸	○	-
土25	SK43	⑦層	井戸。上層部分。木製の轆状の物で挟んだ刃物出土。	○	-
土26	SK56	検出面④-1.5m	井戸。井戸側の上位は石積。下位は桶が3段。サンプルは桶の上面付近で採取したもの。	○	-
土27	SD10	②層	区画溝か、江戸時代後半の遺物が出土。南北方向に走る。	○	-
土33	SD4	P17	区画溝か、東西方向に走る。江戸時代後半の遺物が出土。	○	-

2-1. 花粉分析

試料（湿重量約3g）を遠沈管にとり、10%の水酸化カリウム溶液を加え10分間湯煎する。水洗後、46%のフッ化水素酸を加え1時間放置する。水洗後、比重分離（比重2.1に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。その後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理（無水酢酸9：濃硫酸1の割合の混酸を加え20分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを加え保存用とする。検鏡はこの残渣より適宜プレパラートを作製して行った。プレパラートは樹木花粉が200を超えるまで検鏡し、その間に現れる草本花粉・胞子を全て数えた。また、保存状態の良好な花粉を選んで単体標本（PLC. 1462～1472）を作製し、写真を図版に載せた。

2-2. 寄生虫卵分析

計量した試料に、花粉分析と同様の処理を施す。処理後得られた残渣に適容量のグリセリンを加えて計量した。この残渣からプレパラートを作製し、プレパラート全面に渡り検鏡した。また、保存状態の良好な花粉を選んで単体標本（PLC. 1471, 1472）を作製し、写真を図版に載せた。なお、試料1g中の寄生虫卵含有数は、次式で求める。

$$X = BD/AC$$

X：試料1g中の寄生虫卵含有数、A：分析に用いた試料の重量(g)、B：濃縮試料+グリセリンの重量(g)、C：濃縮試料+グリセリンのうち、封入に用いた重量(g)、D：プレパラート中の寄生虫卵数

表3 寄生虫卵分析に用いた試料の計量値と寄生虫卵数

	SK25	SK33	SK35
分析に用いた試料(g)	6.6002	4.789	6.0318
残渣+グリセリン(g)	0.5945	0.9395	0.7598
封入に用いた量(g)	0.0684	0.057	0.1478
試料の密度 (g/cm ³)	2.04	1.77	1.77
回虫卵	0	0	3
(試料1g当たりの個数)	0	0	3
肝吸虫卵	0	3	0
(試料1g当たりの個数)	0	10	0
横川吸虫卵	1	1	0
(試料1g当たりの個数)	1	3	0
不明	2	3	1
(試料1g当たりの個数)	3	10	1
計	3	7	4
(試料1g当たりの個数)	4	24	3
(試料1cm ³ 当たりの個数)	8	43	6

表2 産出花粉孢子一覧表

学名	和名	SD10	SD4	SK33	SK35	SK36	SK43	SK56	SK25
樹木									
<i>Abies</i>	モミ属	-	3	9	3	5	5	5	2
<i>Tsuga</i>	ツガ属	13	17	26	17	25	15	21	27
<i>Picea</i>	トウヒ属	-	1	-	-	1	1	2	1
<i>Pinus</i> subgen. <i>Diploxylon</i>	マツ属複雑管束亜属	112	101	81	101	11	2	17	19
<i>Sciadopitys</i>	コウヤマキ属	-	-	-	-	1	2	-	-
<i>Cryptomeria</i>	スギ属	14	36	29	41	58	62	27	35
Taxaceae—Cephalotaxaceae—Cupressaceae	イチイ科—イヌガヤ科—ヒノキ科	-	1	-	-	1	3	1	2
<i>Myrica</i>	ヤマモモ属	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pterocarya—Juglans</i>	サワグルミ属—クルミ属	2	2	-	1	3	4	7	-
<i>Carpinus—Ostrya</i>	クマシデ属—アサダ属	5	5	6	3	7	10	12	6
<i>Betula</i>	カバノキ属	5	4	8	4	6	5	11	11
<i>Alnus</i>	ハンノキ属	7	7	11	4	3	5	5	13
<i>Fagus</i>	ブナ属	2	2	5	-	-	4	1	6
<i>Quercus</i> subgen. <i>Lepidobalanus</i>	コナラ属コナラ亜属	38	29	11	11	72	66	57	49
<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>	コナラ属アカガシ亜属	1	4	2	1	6	13	5	5
<i>Castanea</i>	クリ属	2	4	4	8	6	1	4	6
<i>Castanopsis—Pasania</i>	シイノキ属—マテバシイ属	-	-	1	2	1	5	5	4
<i>Ulmus—Zelkova</i>	ニレ属—ケヤキ属	4	2	6	2	2	12	13	3
<i>Celtis—Aphananthe</i>	エノキ属—ムクノキ属	-	-	2	-	-	-	1	-
<i>Mallotus</i>	アカメガシワ属	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Rhus—Toxicodendron</i>	ヌルデ属—ウルシ属	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Acer</i>	カエデ属	-	2	-	-	-	-	-	-
<i>Aesculus</i>	トチノキ属	-	-	-	1	1	1	3	2
Rhamnaceae	クロウメモドキ科	-	-	-	1	-	-	-	-
<i>Vitis</i>	ブドウ属	-	-	1	-	-	-	-	-
<i>Tilia</i>	シナノキ属	-	-	-	-	-	-	1	-
<i>Elaeagnus</i>	グミ属	-	-	-	1	-	-	1	-
<i>Lagerstroemia</i>	サルスベリ属	-	-	-	-	-	-	-	2
Araliaceae	ウコギ科	-	-	-	-	-	1	-	-
<i>Cornus</i>	ミズキ属	-	-	-	-	-	-	1	1
Ericaceae	ツツジ科	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Diospyros</i>	カキノキ属	-	-	1	-	-	-	-	-
<i>Ligustrum</i>	イボタノキ属	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fraxinus</i>	トネリコ属	1	-	-	-	-	7	5	-
<i>Trachelospermum</i>	テイカカズラ属	-	-	1	-	-	-	-	-
草本									
<i>Typha</i>	ガマ属	-	-	-	-	-	10	-	5
Gramineae	イネ科	247	327	376	213	303	176	208	196
Cyperaceae	カヤツリグサ科	-	7	2	2	18	38	8	10
<i>Monochoria</i>	ミズアオイ属	-	-	-	-	-	-	1	-
Moraceae	クワ科	-	-	-	-	1	-	1	-
<i>Polygonum</i> sect. <i>Persicaria—Echinocaulon</i>	サナエタデ節—ウナギツカミ節	-	5	-	-	-	1	2	-
<i>Polygonum</i> sect. <i>Reynoutria</i>	イタドリ節	1	-	3	-	-	-	1	-
<i>Fagopyrum</i>	ソバ属	6	2	3	-	1	-	-	1
Chenopodiaceae—Amaranthaceae	アカザ科—ヒユ科	75	91	57	19	6	1	9	16
<i>Portulaca</i>	スベリヒユ属	-	6	1	1	-	-	-	-
Caryophyllaceae	ナデシコ科	8	6	-	1	-	1	3	1
<i>Thalictrum</i>	カラマツソウ属	-	-	-	-	-	-	-	1
Brassicaceae	アブラナ科	-	15	1	3	2	-	2	10
Rosaceae	バラ科	-	-	2	-	-	-	-	-
<i>Impatiens</i>	ツリフネソウ属	-	-	-	-	-	-	-	3
Malvaceae	アオイ科	-	1	-	-	-	-	-	-
<i>Rotala</i>	キサシグサ属	-	-	-	-	1	1	2	7
Apiaceae	セリ科	2	-	-	-	-	-	1	-
<i>Calystegia</i>	ヒルガオ属	-	-	-	-	-	1	-	-
<i>Solanum</i>	ナス属	1	2	-	-	-	-	-	1
<i>Sesamum</i>	ゴマ属	-	-	-	2	-	-	-	-
<i>Galium</i>	ヤエムグラ属	-	3	-	-	-	-	-	-
<i>Patrinia</i>	オミナエシ属	-	-	-	-	-	-	1	-
<i>Artemisia</i>	ヨモギ属	1	2	1	1	7	8	22	7
Tubuliflorae	キク亜科	2	1	1	-	-	1	3	1
Liguliflorae	タンポポ亜科	2	3	-	1	7	1	3	10
シダ植物									
<i>Salvinia</i>	サンショウモ属	-	-	2	-	-	-	-	-
monolete type spore	単条溝孢子	14	2	5	2	14	5	21	20
trilete type spore	三条溝孢子	10	1	5	3	8	4	10	17
Arboreal pollen	樹木花粉	209	220	204	201	209	224	205	196
Nonarboreal pollen	草本花粉	345	471	447	243	346	239	267	269
Spores	シダ植物孢子	24	3	12	5	22	9	31	37
Total Pollen & Spores	花粉・孢子総数	578	694	663	449	577	472	503	502
unknown	不明	3	5	-	-	3	6	4	2

3. 分析結果

3-1. 花粉分析

8 試料の検鏡を行った結果、検出できたのは樹木花粉 35、草本花粉 26、シダ植物孢子 3 の計 64 である。産出花粉・シダ植物孢子の一覧を表 2 に、分布図を図 1 に示す。分布図の樹木花粉は樹木花粉総数を、草本花粉・シダ植物孢子は全花粉孢子総数を基数とした百分率で示した。また、図表においてハイフン (-) で結んだ分類群は、それらの分類群間の区別が困難なものを示す。

8 試料から得られた花粉化石群集は、2 つに分けることができる。1 つは SD10 と SD4、SK33、SK35 から産出した花粉化石群集で、マツ属複維管束亜属が優勢な花粉組成を示す。マツ属複維管束亜属の産出率は 40~54% である。もう 1 つは SK36 と SK43、SK56、SK25 から産出した花粉化石群集で、スギ属とコナラ属コナラ亜属を主体とする花粉化石群集である。スギ属は 13~28%、コナラ属コナラ亜属は 25~34% の産出率を示す。両花粉化石群集において草本花粉ではイネ科が優占しており、37~57% の産出率を示す。スギ属とコナラ属コナラ亜属が優占する花粉化石群集 (SK36、SK43、SK56、SK25) ではイネ科花粉とともに水田雑草を含む分類群であるミズアオイ属やキカシグサ属も伴っている。その他では栽培植物のゴマ属 (SK35) やソバ属 (SK36、SD10、SD4、SK25、SK33) なども産出している。

3-2. 寄生虫卵分析

計量し、検鏡した結果を表 3 に示す。3 試料からは回虫卵と肝吸虫卵、横川吸虫卵の 3 種類が検出できた。SK25 では横川吸虫卵が試料 1g 当たり 1 個検出できた。SK33 では肝吸虫卵が試料 1g 当たり 10 個、横川吸虫卵が試料 1g 当たり 3 個検出できた。SK35 では回虫卵が試料 1g 当たり 3 個検出できた。また、試料 1cm³ 当たりでは、SK25 が 8 個、SK33 が 43 個、SK35 が 6 個の寄生虫卵が産出している。

4. 考察

4-1. 古植生について

今回の分析試料では、2 つの花粉化石群集が見出された。1 つはスギ属とコナラ属コナラ亜属が優占する群集で、もう 1 つがマツ属複維管束亜属の優占する群集である。ここで、甲府城下町遺跡紅梅地区で行われた花粉分析の結果を見ると、近世(19 世紀)においてスギ属とコナラ属コナラ亜属優勢の花粉組成からマツ属複維管束亜属が優占する花粉組成に変化する層準が見出されている(鈴木, 2009)。今回の分析試料から得られた 2 つの花粉化石群集は、紅梅地区で得られた 2 つの花粉化石群集とほぼ同様な花粉組成を示すため、異なった 2 つの時期を反映した花粉組成であるといえる。すなわち、スギ属とコナラ属コナラ亜属が優占する花粉化石群集 (SK36 と SK43、SK56、SK25) の方がより古い時期で、マツ属複維管束亜属が優占する花粉化石群集 (SD10 と SD4、SK33、SK35) の方がより新しい時期であると思われる。以下では、各花粉化石群集から推察される古植生について記す。

まず、SK36 と SK43、SK56、SK25 が示すスギ属とコナラ属コナラ亜属優勢の花粉組成から古植生を推測すると、遺跡周辺にはスギを中心としてモミ属やツガ属が生育するような温帯性針葉樹林が成立していたと思われる。また、コナラ属コナラ亜属を主体としてサワグルミ属-クルミ属やクマシデ属-アサダ属、ニレ属-ケヤキ属などが混じる落葉広葉樹林も分布を広げていたであろう。草本花粉ではイネ科の産出が目立ち、遺跡周辺の草本植生はイネ科植物が中心となっていた可能性がある。または、水田雑草を含む分類群であるミズアオイ属やキカシグサ属を伴っているため、遺跡周辺において水田

稲作が営まれていた可能性も考えられる。さらには SK36 においてソバ属花粉も検出されており、遺跡周辺では稲作とともにソバ栽培が行われていた可能性がある。

次に、SD10 と SD4、SK33、SK35 が示すマツ属複維管束亜属優占の花粉組成であるが、スギを中心とした温帯性針葉樹林やコナラ亜属を中心とした落葉広葉樹林は存在していたと考えられる。しかしながら、SK36 と SK43、SK56、SK25 に比べると産出量が少ないため、その分布は狭かったと思われる。代ってニヨウマツ類などの二次林が遺跡周辺に分布を広げていたであろう。草本花粉ではイネ科やアカザ科-ヒユ科の産出が目立ち、これらの草本類が遺跡周辺に分布していたと考えられる。この花粉化石群集では、ミズアオイ属やキカシグサ属などの水田雑草を含む分類群の産出が見られないため、この時期においては水田稲作の規模を縮小していたか、行っていなかった可能性がある。紅梅地区の花粉分析結果においても 19 世紀から近代とされる時期にマツ属複維管束亜属が優占する花粉組成が見られるが、イネ科花粉の減少や水田雑草を含む分類群が産出しないことから水田稲作の縮小化が指摘されている（鈴木 2009）。ただし、SD10 や SD4、SK33 ではソバ属花粉の産出が見られ、ソバ栽培は行っていた様である。また、ゴマ属花粉（SK35）が産出しており、遺跡周辺においてゴマ栽培が行われていた状況も推測できる。

4-2. トイレ遺構について

トイレ遺構の可能性が疑われる SK25 と SK33、SK35 の寄生虫卵分析の結果、全ての試料から寄生虫卵が検出された。寄生虫卵数については、試料 1 cm³中に 1,000 個以上あれば糞便の可能性があると考えられている（金原, 1997）。この寄生虫卵数に照らし合わせて考えると、いずれの試料においても産出数が少なく、糞便が混じりこんでいた可能性は低いと思われる。また、他の試料（SK36、SK43、SK56、SD10、SD4）の花粉分析の検鏡の際にも寄生虫卵が見出されるため、甕や桶内堆積物に限って寄生虫卵が産出するわけではない。さらに、トイレ遺構では食用や薬用となる植物の花粉が多産する例が知られているが、トイレ遺構の可能性が疑われる試料とその他の試料の花粉組成を比べても、特徴的な花粉組成を示している傾向は見られない。よって、寄生虫卵分析や花粉分析の結果から考えると、SK25 や SK33、SK35 がトイレ遺構であった可能性は低いように思われる。

引用文献

- 金原正明（1997）自然科学的研究からみたトイレ文化．大田区立郷土博物館編「トイレの考古学」：197-216，東京美術．
- 鈴木 茂（2009）甲府城下町遺跡（紅梅地区再開発地点）の花粉化石．甲府市教育委員会編「甲府城下町遺跡Ⅴ」：52-62，甲府市教育委員会．

草本花粉・胞子

樹木花粉

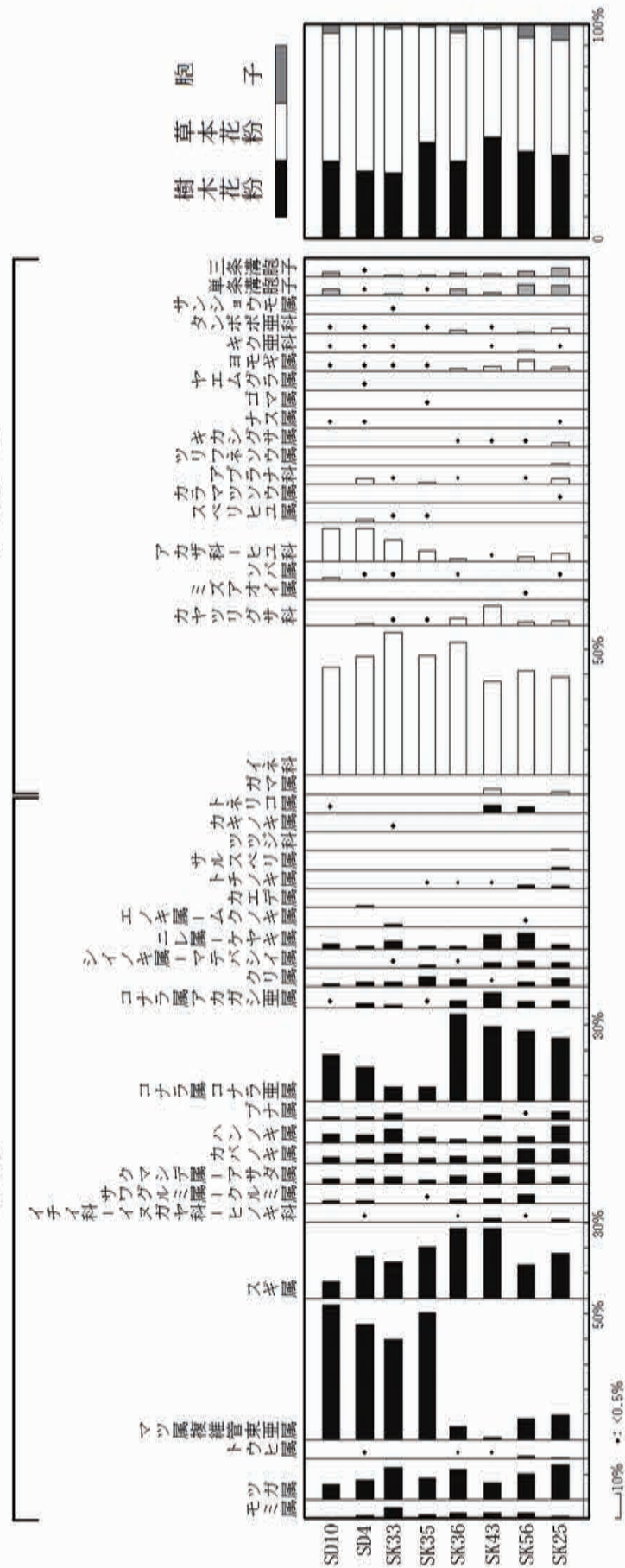
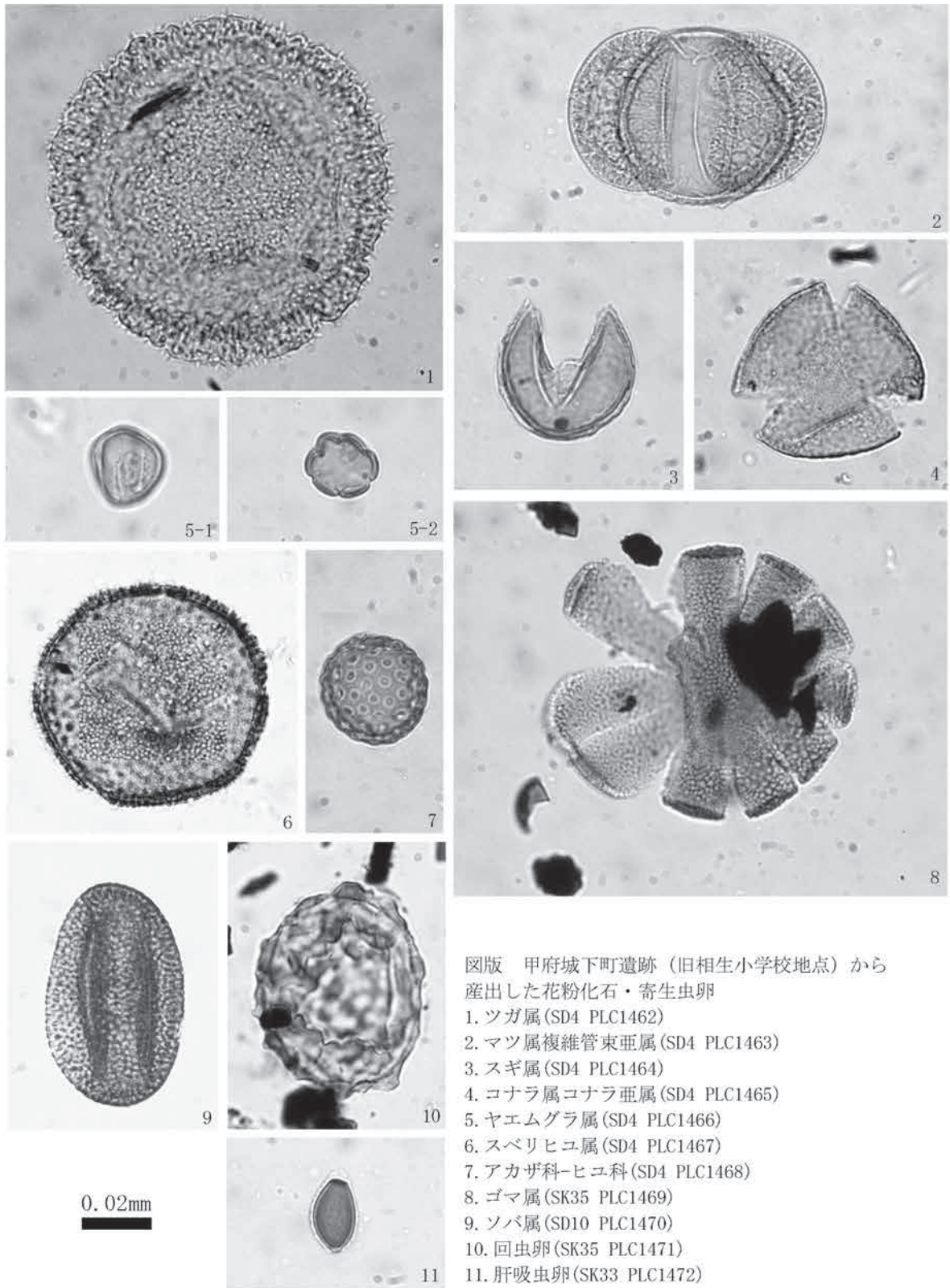


図1 甲府城下町遺跡 (旧相生小学校地点) における花粉分布図



図版 甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）から
産出した花粉化石・寄生虫卵

1. ツガ属 (SD4 PLC1462)
2. マツ属複維管束亜属 (SD4 PLC1463)
3. スギ属 (SD4 PLC1464)
4. コナラ属コナラ亜属 (SD4 PLC1465)
5. ヤエムグラ属 (SD4 PLC1466)
6. スベリヒコ属 (SD4 PLC1467)
7. アカザ科-ヒコ科 (SD4 PLC1468)
8. ゴマ属 (SK35 PLC1469)
9. ソバ属 (SD10 PLC1470)
10. 回虫卵 (SK35 PLC1471)
11. 肝吸虫卵 (SK33 PLC1472)

第2節 微細物分析

(1) 甲府城下町遺跡(旧相生小学校地点)出土の大型植物遺体

佐々木由香・バンダリ スダルシャン (パレオ・ラボ)

1. はじめに

甲府城下町遺跡(旧相生小学校跡地)は、近世においては武家地にあたり、甲府城二ノ堀の南側、旧代官町通りに面した場所に位置する。ここでは、江戸時代後半の遺物集中地点から出土した大型植物遺体の同定結果を報告する。

2. 試料と方法

試料は、調査区西側から検出された遺物集中地点である SX1 の堆積物である。SX1 からは、陶磁器の破片や木製品の残欠、貝や獣骨の食べ滓などが多くの礫に混じって出土した。

堆積物は昭和測量株式会社によって採取された。このうち、300cc について最小 0.5mm 目の篩を用いて水洗した。大型植物遺体を抽出して、同定の対象とした。同定は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。計数の方法は、完形または一部が破損しても 1 個体とみなせるものは完形として数え、1 個体に満たないものは破片とした。試料は、甲府市教育委員会に保管されている。

3. 結果

同定の結果、SX1 からは、木本植物ではモモ核の 1 分類群、草本植物ではスベリヒユ属種子とヤブヘビイチゴ果実、オオムギ種子の 3 分類群の、計 4 分類群が得られた(表1)。スベリヒユ属がやや多く、モモとヤブヘビイチゴ、オオムギはわずかであった。

次に、大型植物遺体の記載を行い、図版に写真を示して同定の根拠とする。

表1 甲府城下町遺跡から出土した大型植物遺体

分類群	遺構番号	SX1
	メモ番号	土31
	水洗量(cc)	300
モモ	核	(2)
スベリヒユ属	種子	34 (8)
ヤブヘビイチゴ	果実	1
オオムギ	炭化種子	1

括弧内は破片数

(1)モモ *Amygdalus persica* L. 核 バラ科

茶褐色で、完形ならば上面観は両凸レンズ形、側面観は楕円形で先が尖る。下端に大きな着点がある。表面に不規則な深い皺がある。片側側面には縫合線に沿って深い溝が入る。残存長 10.7mm、残存幅 8.8mm。

(2)スベリヒユ属 *Portulaca* spp. 種子 スベリヒユ科

黒褐色で、上面観は扁平、側面観はいびつな円形。全体にいぼ状の突起がある。「の」の字状になり、先端に着点がある。長さ 0.8mm、幅 0.8mm。

(3)ヤブヘビイチゴ *Potentilla indica* (Andrews) Th. Wolf 果実 バラ科

褐色で腎形。果皮は質厚で透明感がない。表面は平滑で隆線はない。長さ 1.2mm、幅 0.8mm。

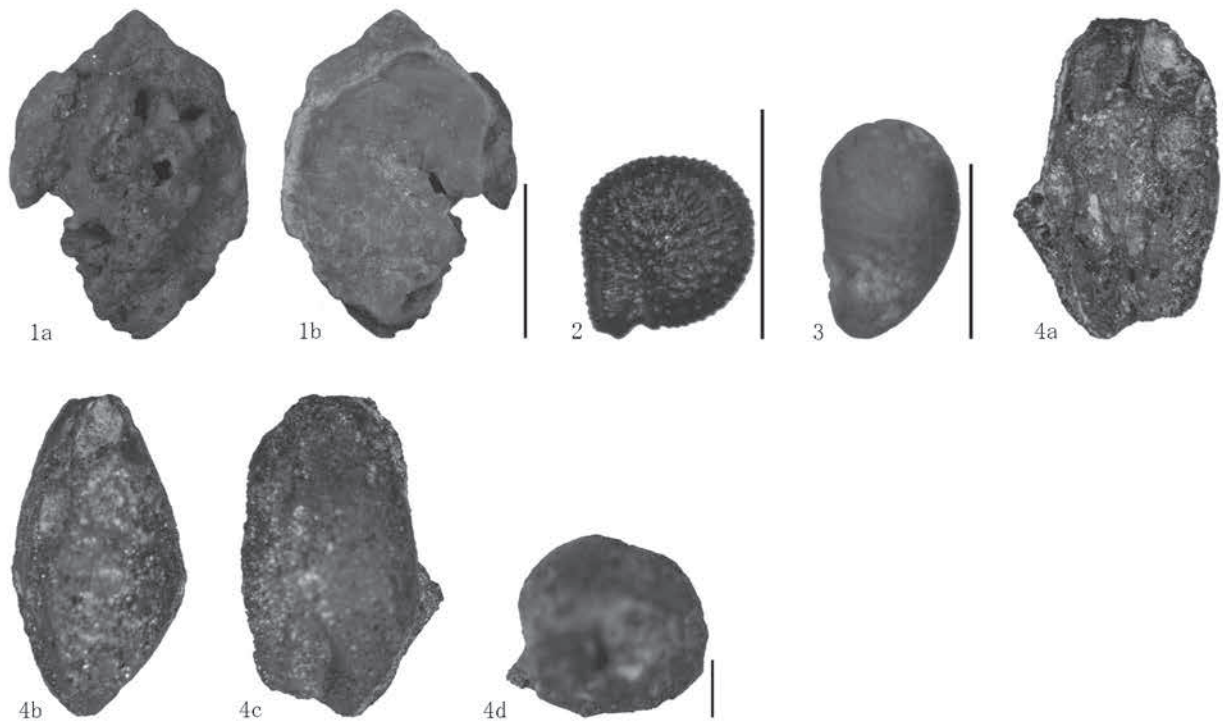
(4)オオムギ *Hordeum vulgare* L. 炭化種子(穎果) イネ科

変形により状態は悪いが、側面観は長楕円形、腹面中央部には上下に走る 1 本の溝がある。背面の下端中央部には三角形の胚がある。最大幅は長軸のほぼ中央。断面はいびつな円形となる。長さ 4.9mm、幅 3.2mm、厚さ 3.2mm。

4. 考察

SX1 からは、栽培植物のモモとオオムギが得られた。遺構内からは碗や皿、灯明皿、焙烙、播鉢、土瓶、焜炉の類や木製品、貝、獣骨など多くの遺物が出土しており、主に日常生活で生じたゴミが投棄されたと考えられている。種実についても食用にする過程で不要になったモモの核や、調理もしくは加工中に炭化したオオムギの種子が捨てられた可能性などが考えられる。

発掘調査時の所見によれば、SX1 の西側では明確な掘方が検出できなかったため、出土遺物は自然地形の落ち込みまたは湿地や池のような場所の肩部から投棄されたと推定されている。食用にならないスベリヒユ属やヤブヘビイチゴは遺構周辺に生育していたと考えられるが、これらは乾いた草地や土手の上、畑地などに生育する種類である。検討した試料からは、湿地や池のような環境を示す指標種は検出されなかった。



スケール 1:5mm, 2-4:1mm

図版1 甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）のSX1から出土した大型植物遺体

1. モモ核、2. スベリヒユ属種子、3. ヤブヘビイチゴ果実、4. オオムギ炭化種子

(2) 甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）SX1 出土の貝類

中村賢太郎（パレオ・ラボ）

1. はじめに

甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）の平成 25 年度発掘調査では、江戸時代後期のゴミ捨て場と想定される SX1 内の土壌を対象として、微細な遺物の回収と同定が行われた。ここでは、同定された試料のうち、貝類について報告する。

2. 試料と方法

試料は、SX1 内のシジミが多く混じる土壌である。土壌を水洗し、0.5 mmメッシュで貝類を回収した。貝類の同定は肉眼で現生標本との比較により行った。殻頂が残る個体について、左右に分け、それぞれ計数した。また、最小と最大の個体について、ノギスを用いて殻長と殻高を計測した。

3. 結果

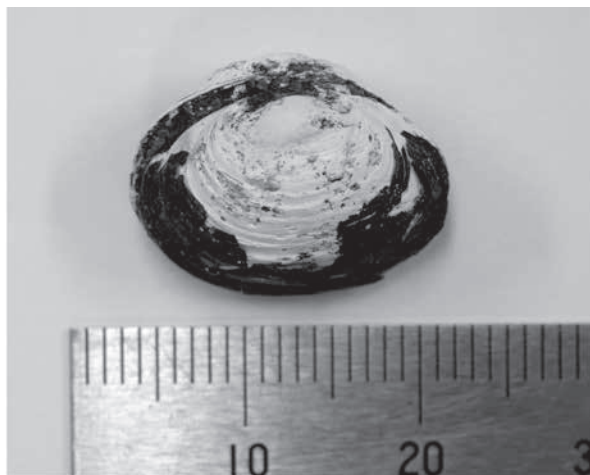
貝類の同定を行った結果、シジミ科のマシジミ (*Corbicula leana*) の 1 分類群が確認された。殻皮は黒褐色で、殻はやや薄く、規則的な輪肋があるといった特徴からマシジミと同定した。殻長は 11.0 ~ 22.6 mm、殻高は 8.5 ~ 18.0 mm。左殻 79 点、右殻 83 点、左右合弁 1 点で、最小個体数は 84 点である。

4. 考察

マシジミは、北海道を除く日本全土に分布し、河川の上流域や中流域の砂礫底に生息する。成貝は殻長 3.5 cm 程度になる。食用として一般的。

甲府城下町周辺の河川で採取されたマシジミが、食用として消費され、SX1 に廃棄されたと考えられる。

SX1 出土のマシジミは、ややサイズが小さいため、採取されたマシジミの中でも小さいものが相生小学校地点で消費された可能性も考えられる。今後、甲府城下町内の他地点のマシジミとサイズ比較を行えば有効な情報が得られるであろう。



図版1 SX1出土のマシジミ（左右合弁）

第3節 元素マッピング分析

甲府城下町遺跡（旧相生小学校地点）出土埴塼の元素マッピング分析

竹原弘展（パレオ・ラボ）

1. はじめに

甲府城下町遺跡旧相生小地点より出土した埴塼について元素マッピング分析を行い、加工されていた金属の組成について検討した。

2. 試料と方法

分析対象は、SK18より出土した陶器碗1点（試料番号UZ92）である。SK18は、火災ゴミを片付けたゴミ穴とみられ、同様の遺構がSK18以外にも数基検出されている。陶器碗には、若干光沢の鈍い金粒や緑青など錆が析出した金属とみられる物質や、ガラス質の融着物等の付着が肉眼的に認められ、埴塼と考えられる。遺構からは同様の碗が10数点とフイゴの羽口なども出土している。時期は、幕末～明治時代とみられている。

分析装置は、エネルギー分散型蛍光X線分析装置である（株）堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000Type IIを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV、1.00mAのロジウム（Rh）ターゲット、X線ビーム径が100 μ mまたは10 μ m、検出器は高純度Si検出器で、検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）である。また本装置では、試料ステージを走査させながら測定する元素マッピング分析も可能である。

分析は、最初に元素マッピング分析を行った。さらに、銅（Cu）などの金属元素のマッピング図を基に輝度が高い箇所を選び、ポイント分析を行った。測定条件は、元素マッピング分析が50kV、1.00mA、ビーム径100 μ m、測定時間20000sを1回走査、ポイント分析が50kV、0.12～1.00mA（自動設定）、ビーム径100 μ m、測定時間1500sに設定し、土器の接合を外した状態で並べて測定した。定量分析は、標準試料を用いないファンダメンタル・パラメータ法（以下FP法）による半定量分析を装置付属ソフトで行った。蛍光X線分析は、表面分析であり、均一とは限らない製品の正確な組成比を必ずしも示しているとはいえないが、おおよその組成、含まれている微量元素を知る上では非常に有効な手法である。測定は、埴塼内面について実施した。

3. 結果

元素マッピング分析により得られたケイ素（Si）、鉄（Fe）、銅（Cu）、亜鉛（Zn）、ヒ素（As）、銀（Ag）、スズ（Sn）、鉛（Pb）のマッピング図を図版1に示す。また、各マッピング図に示されたa～eのポイント分析により得られた半定量値の一覧を表1に示す。アルミニウム（Al₂O₃）、ケイ素（SiO₂）、リン（P₂O₅）、硫黄（SO₃）、カリウム（K₂O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO₂）、マンガン（MnO）、鉄

表1 埴塼の半定量分析結果（mass%）

分析箇所	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	SO ₃	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	SrO	ZrO ₂	Cu	Zn	As	Sn	Sb	Pb	Bi
a	—	2.46	—	3.67	—	0.37	—	0.04	0.58	—	—	83.00	5.24	0.16	2.68	0.41	1.26	0.13
b	—	3.03	—	4.22	—	0.79	0.43	—	2.64	—	—	73.74	8.23	0.18	3.00	0.33	3.40	—
c	—	13.33	1.30	1.51	1.03	2.91	0.14	0.63	6.20	—	—	45.88	19.65	0.23	2.21	0.38	4.48	0.12
d	5.78	25.05	—	2.55	3.52	3.06	1.06	0.11	8.08	0.08	0.23	0.92	43.02	—	0.97	0.28	5.30	—
e	—	2.03	—	4.02	—	2.18	—	0.16	5.31	0.07	0.19	6.67	3.46	—	19.30	1.16	55.07	0.37

(Fe₂O₃)、ストロンチウム (SrO)、ジルコニウム (ZrO₂) といった土器胎土に比較的多く含まれると考えられる元素のほかに、銅 (Cu)、亜鉛 (Zn)、ヒ素 (As)、スズ (Sn)、アンチモン (Sb)、鉛 (Pb)、ビスマス (Bi) が検出された。

4. 考察

埴埜に付着する金属およびガラス質滓は、銅、亜鉛、スズ、鉛を中心とする組成であった。マッピング図や半定量分析値では銅や亜鉛が目立つが、スズや鉛も一定量検出される箇所が確認される。以上から、Cu-Zn-Sn-Pb の銅合金の溶解等に利用されたと考えられる。ほかに、真鍮 (Cu-Zn(-Pb)) や青銅 (Cu-Sn(-Pb)) など複数種類の銅合金の溶解等に併用されていた可能性も考えられる。なお、香取 (1986) では鑄金に使われる金属材料の一種として、「銅と亜鉛に少量の鉛と錫を合金したもの」を唐金の名で紹介しており、今回分析した付着物の組成はこの内容に近い。

ほかにヒ素 (As) やアンチモン (Sb)、ビスマス (Bi) といった元素が微量に検出されたが、これらは合金中の不純物由来である可能性のほかに、白目と呼ばれる合金材料に由来し、意識的に微量添加されている可能性がある。

また、一般に銅鉱石中には銀が微量に含まれることが多く、いわゆる南蛮吹きと呼ばれる、銅中の銀などの分離抽出技術が日本に導入されたのは、16世紀末～17世紀初め頃といわれている。今回分析した埴埜からは、銀がほとんど検出されておらず、銅中の銀を分離する工程を経た材料が使用されていたと考えられる。

5. おわりに

甲府城下町遺跡旧相生小地点出土埴埜について元素マッピング分析を行った結果、銅、亜鉛、スズ、鉛といった金属が主に検出された。これら金属を使用した合金の溶解等に利用されていたと考えられる。

引用・参考文献

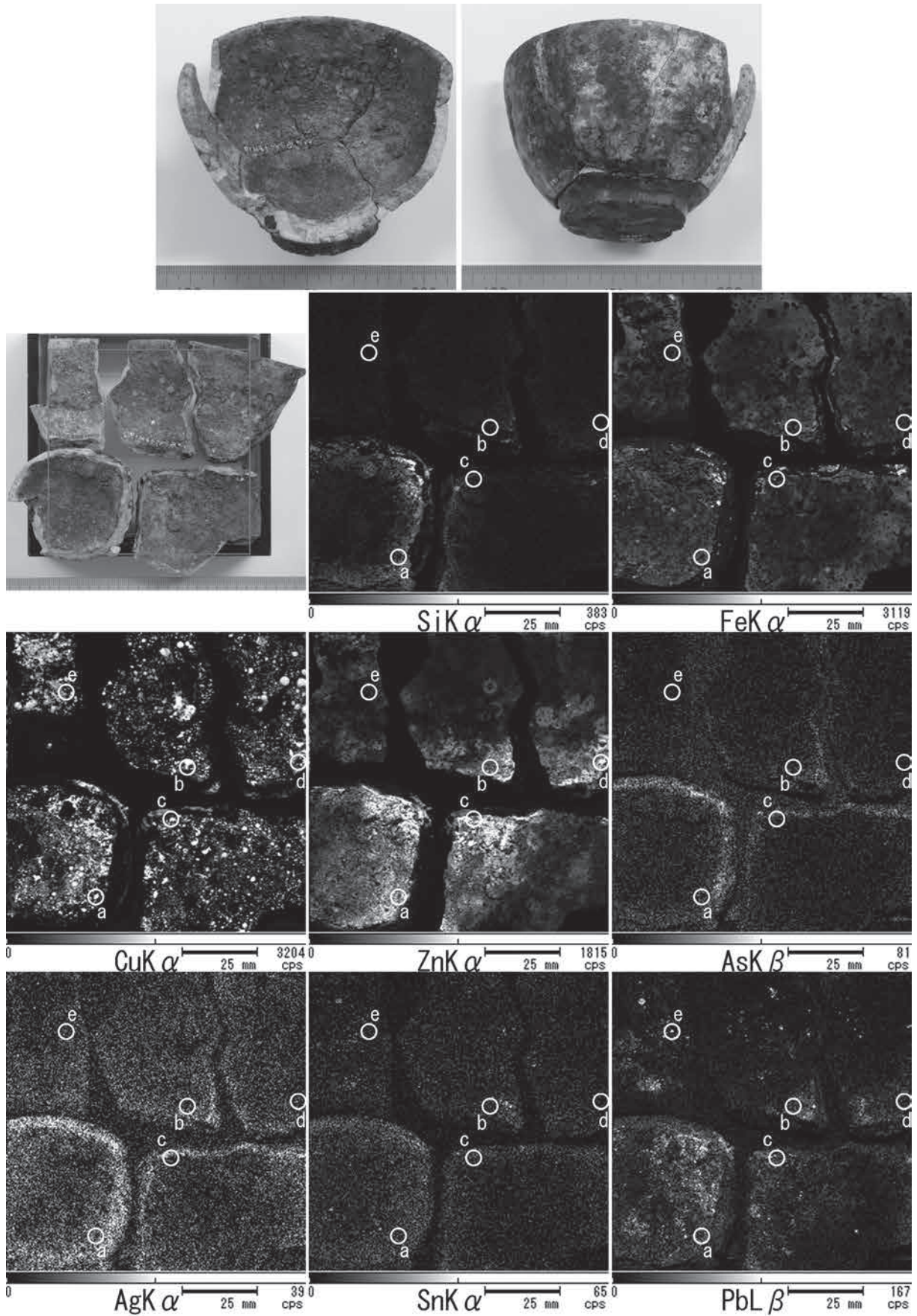
香取正彦 (1986) 鑄金の伝統技法. 香取正彦・井尾敏雄・井伏圭介「金工の伝統技法」: 2-1-2-95, 理工学社.

桐山太志 (2008) 近代日本の伸銅業—水車から生まれた金属加工—. 356p, 産業新聞社.

村上 隆 (2003) 金工技術. 日本の美術, 443, 98p, 至文堂.

中井 泉編 (2005) 蛍光 X 線分析の実際. 242p, 朝倉書店.

大阪市文化財協会編 (1998) 住友銅吹所跡発掘調査報告. 608p, 大阪市文化財協会.



図版1 埴塙の元素マッピング図

Si: ケイ素 Fe: 鉄 Cu: 銅 Zn: 亜鉛 As: ヒ素 Ag: 銀 Sn: スズ Pb: 鉛



調査区全景（南から）



調査区全景（南から）

図版 2



調査区全景（北から）



調査区全景（北西から）



調査区全景（西から）



調査区近景（北西から）



調査区近景（北東から）



基本層序（南から）



旧校舎基礎検出（西から）



旧校舎基礎検出（東から）



旧校舎基礎 セクション面（南から）



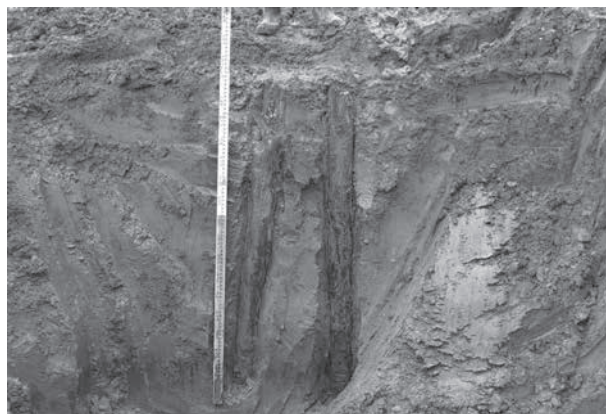
旧校舎基礎 杭検出（西から）



旧校舎基礎 杭検出（東から）

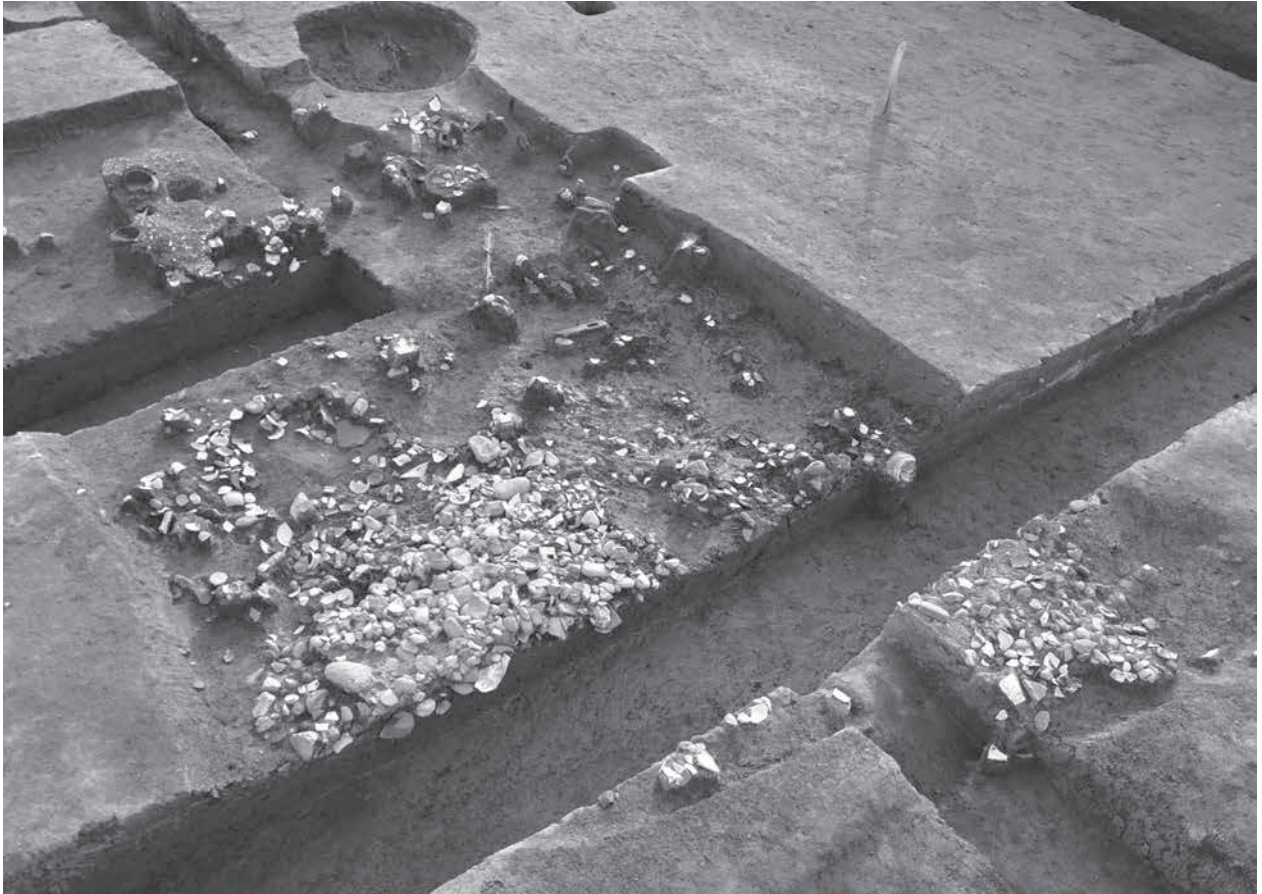


旧校舎基礎 杭検出（西から）



旧校舎基礎 杭セクション面（西から）

図版 4



SX1 遺物出土状況（北東から）



SX1 遺物出土状況（南東から）



SX1 遺物出土状況（東から）



SX1 遺物出土状況（南東から）



SX1 遺物・貝層出土状況（北西から）



SB1 検出 (北から)



SB1 検出 (南から)



SB1 SP24 (左) 地鎮具 (右) (西から)



SB1 地鎮具 (西から)



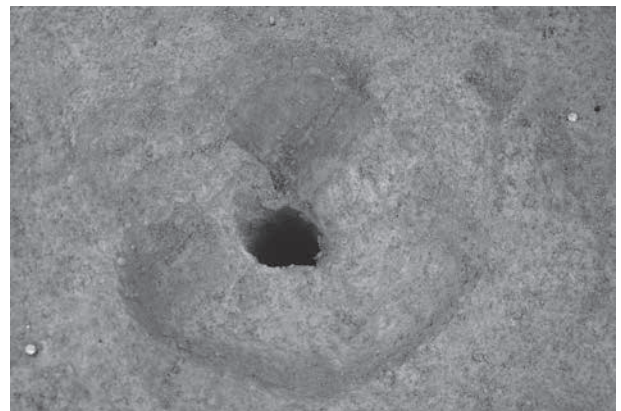
SB1 地鎮具 内容物 (西から)



SB1 SP22 1 (南東から)

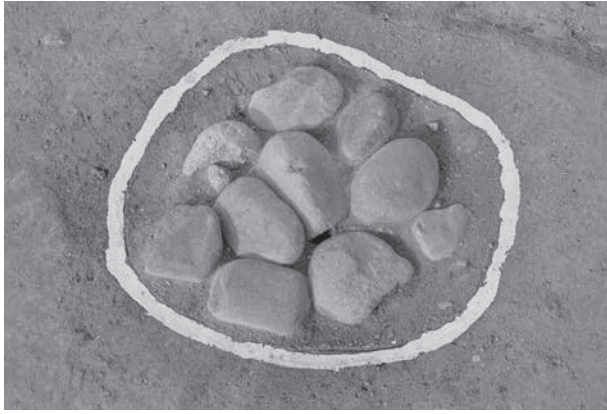


SB1 SP22 2 (南から)

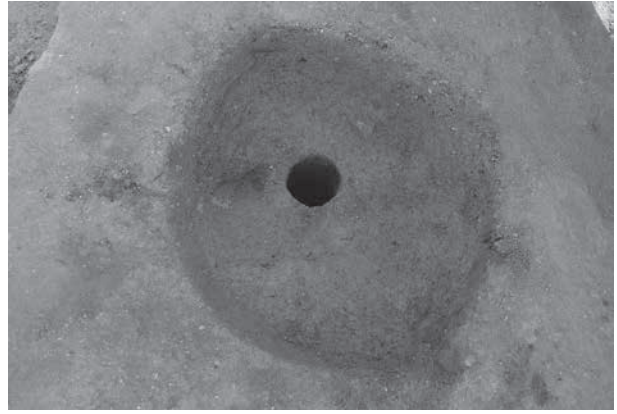


SB1 SP22 3 (南西から)

図版 6



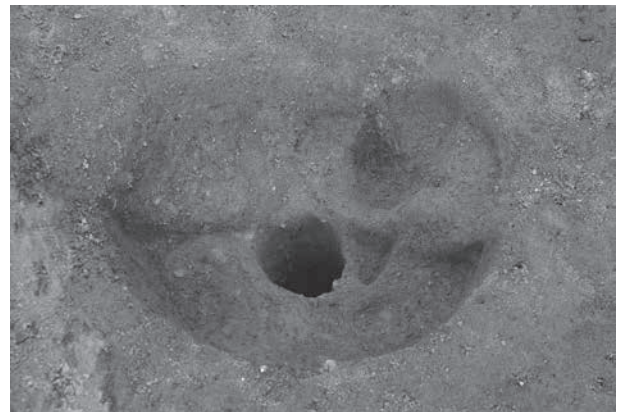
SB1 SP29 1 (南から)



SB1 SP29 2 (西から)



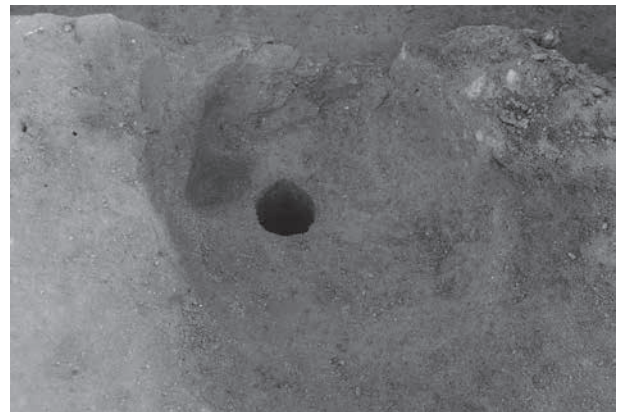
SB1 SP23 1 (南から)



SB1 SP23 2 (南から)



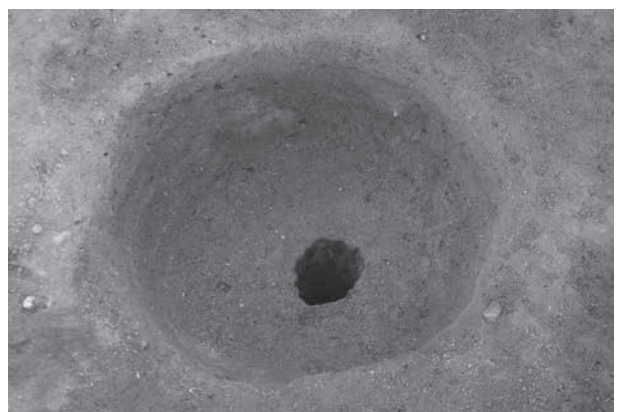
SB1 SP30 1 (南西から)



SB1 SP30 2 (西から)



SB1 SP27 1 (西から)



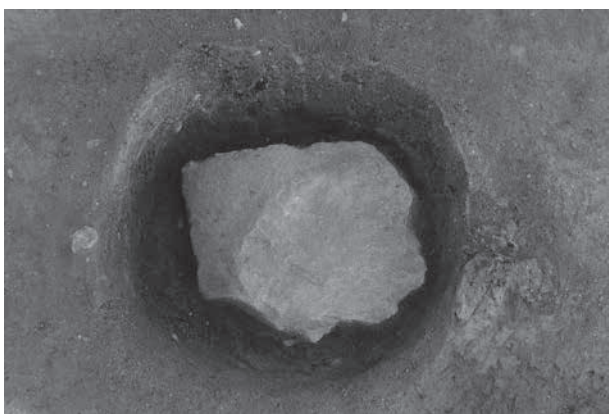
SB1 SP27 2 (南から)



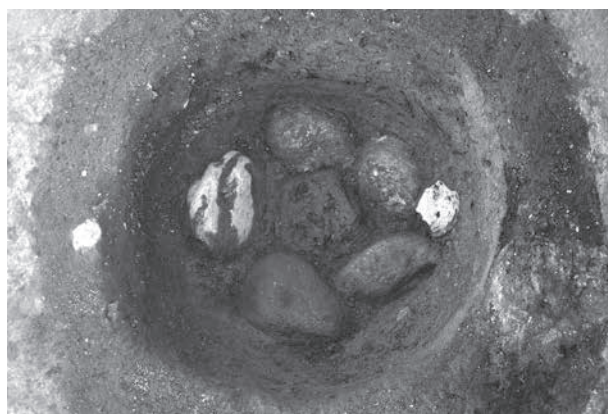
SB2 検出 (東から)



SB2 SP19 1 (南西から)



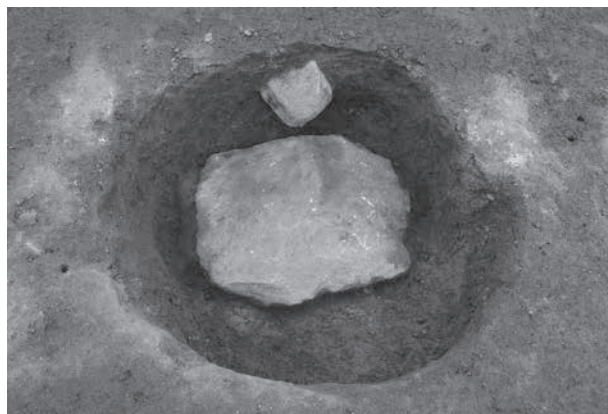
SB2 SP19 2 (西から)



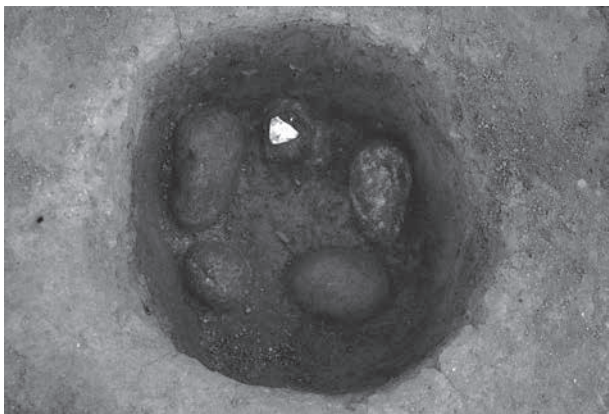
SB2 SP19 3 (西から)



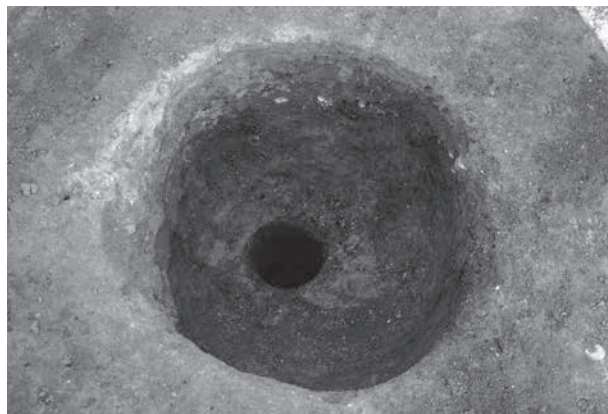
SB2 SP20 1 (南から)



SB2 SP20 2 (西から)



SB2 SP20 3 (西から)



SB2 SP20 4 (西から)

図版 8



SB2 P218 遺物出土状況（南から）



SB2 P218 完掘（東から）



SB3 検出（東から）



SB3 SP136（東から）



SB3 SP138（西から）



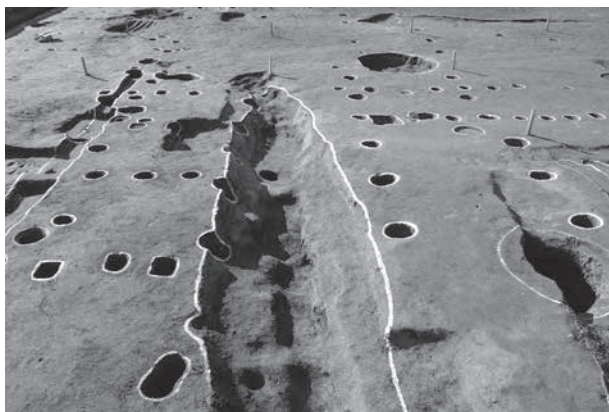
SB3 SP248（南から）



SB3 SP250（南から）



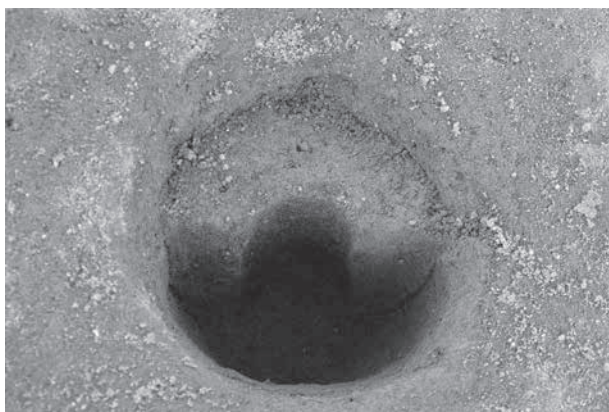
SB3 SP251（南から）



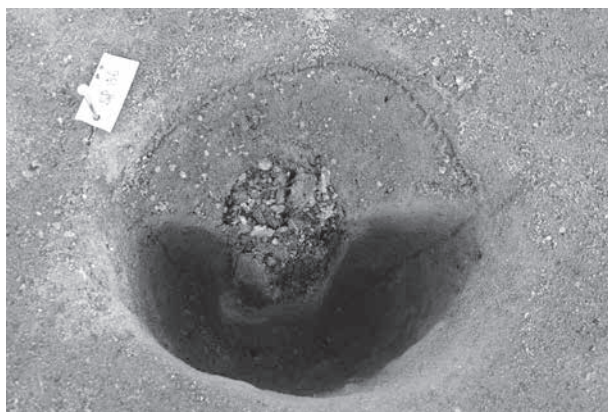
SB4 検出 (東から)



SB4 SP146 (東から)



SB4 SP154 (西から)



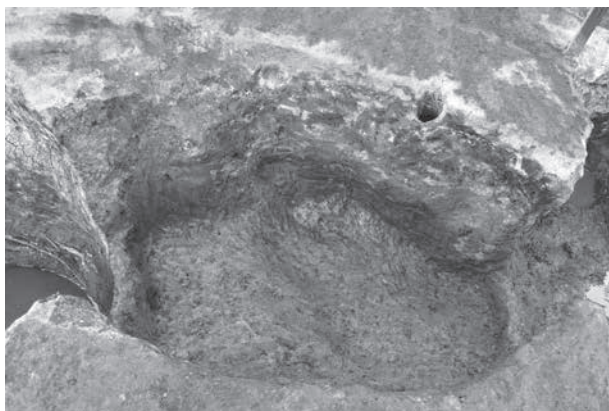
SB4 SP156 (西から)



SB4 SP178 (西から)



SB4 SP179 (西から)

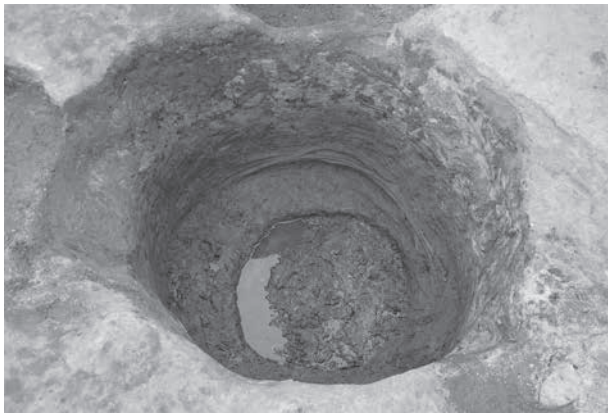


SK2 完掘 (南から)

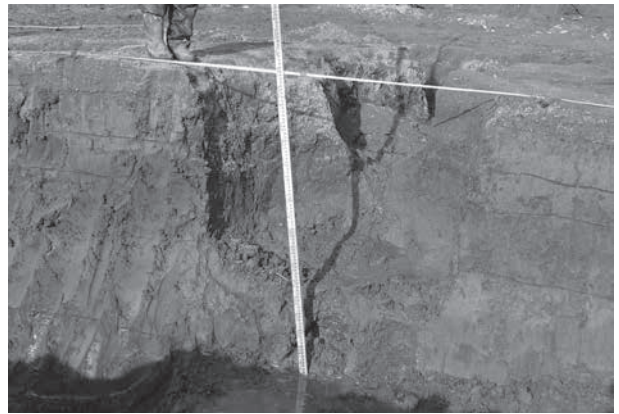


SK3 (井戸) セクション面 (東から)

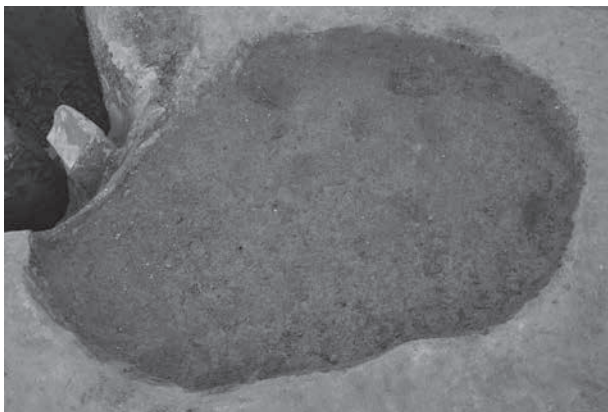
図版 10



SK3 (井戸) 遺物出土状況 (東から)



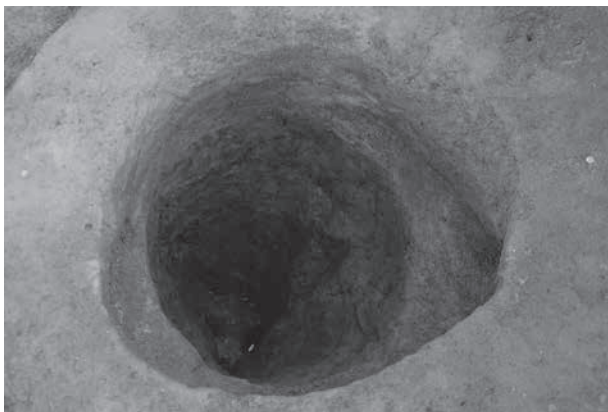
SK3 (井戸) 断割状況 (南から)



SK4 完掘 (南西から)



SK5 遺物出土状況 (西から)



SK7 完掘 (南から)



SK8 セクション面 (南東から)



SK9 セクション面 (南から)



SK10 セクション面 (南から)



SK10 完掘 (南から)



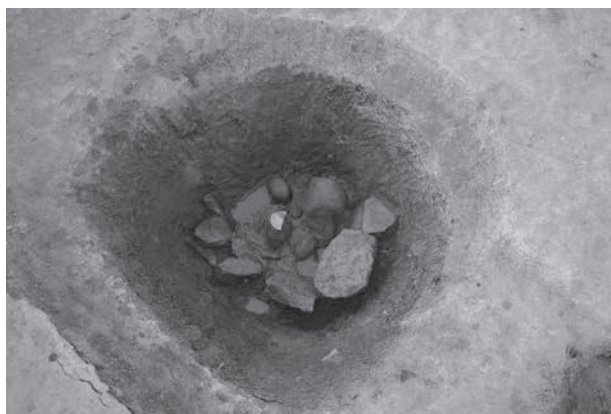
SK11 (井戸) セクション面 (南から)



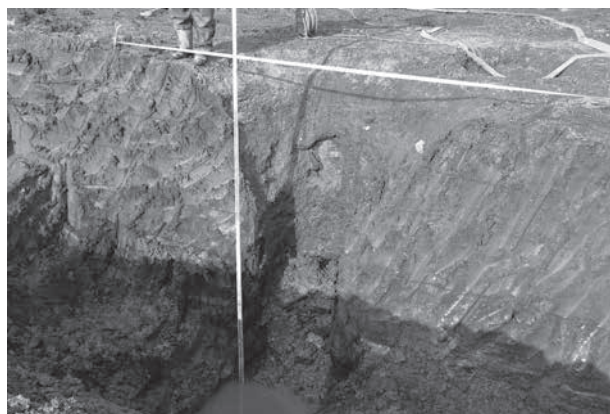
SK11 (井戸) 上層遺物出土状況 (南から)



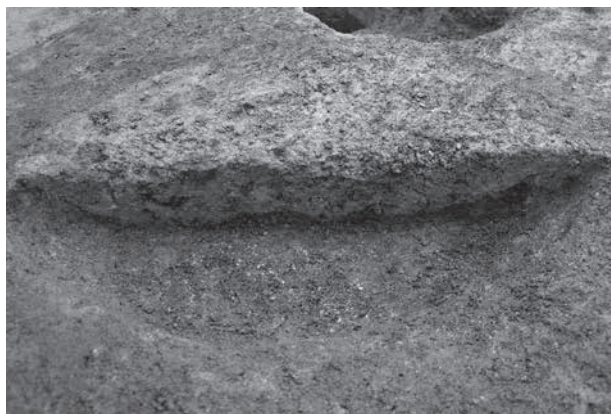
SK11 (井戸) 中層遺物出土状況 (南東から)



SK11 (井戸) 下層遺物出土状況 (東から)



SK11 (井戸) 断割状況 (南から)



SK12 セクション面 (西から)

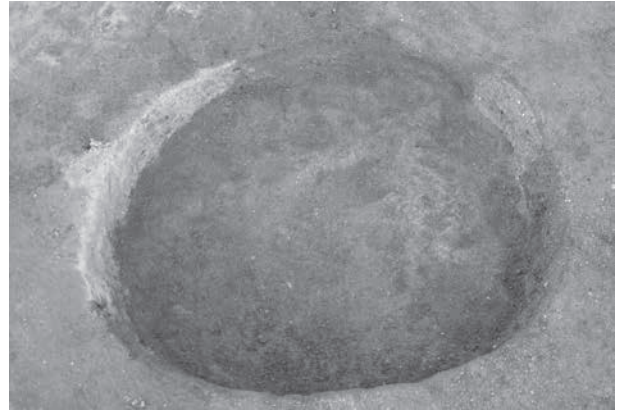


SK13 セクション面 (西から)

図版 12



SK13 遺物出土状況（北東から）



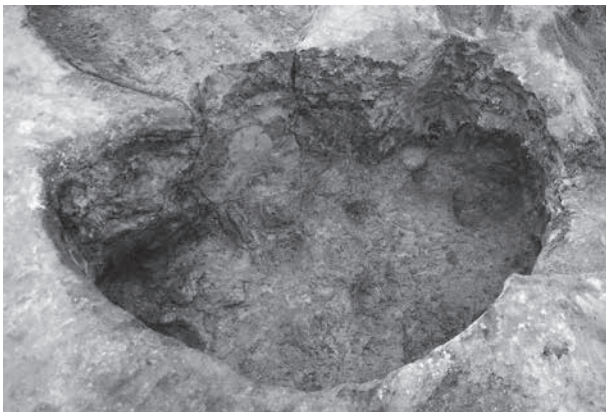
SK13 完掘（南西から）



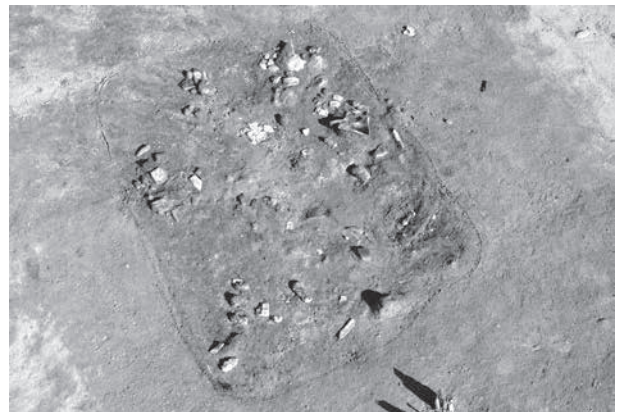
SK16 セクション面（西から）



SK17 遺物出土状況（東から）



SK17 完掘（東から）



SK18 検出（南から）



SK18 上層遺物出土状況（東から）



SK18 上層遺物出土状況（東から）



SK18 下層遺物出土状況（南東から）



SK18 完掘（西から）



SK19 セクション面（南から）



SK19 遺物出土状況（南から）



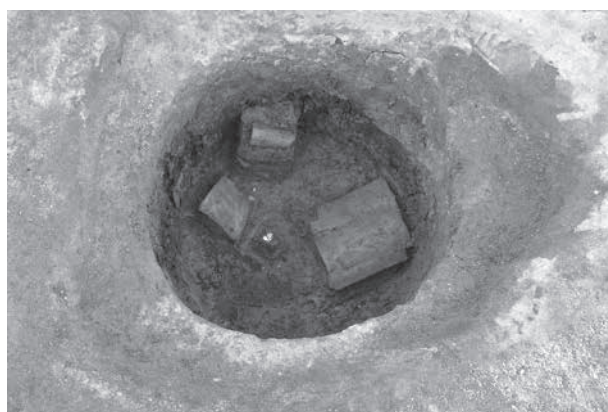
SK19 遺物出土状況（南から）



SK19 完掘（南東から）



SK22（埋桶）上層遺物出土状況（南から）



SK22（埋桶）下層遺物出土状況（南から）

図版 14



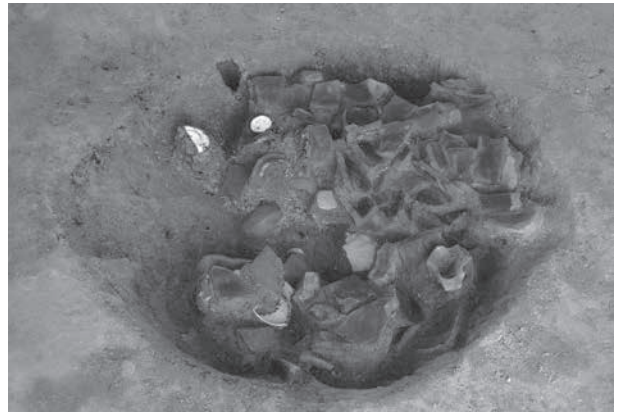
SK22 (埋桶) 完掘 (南から)



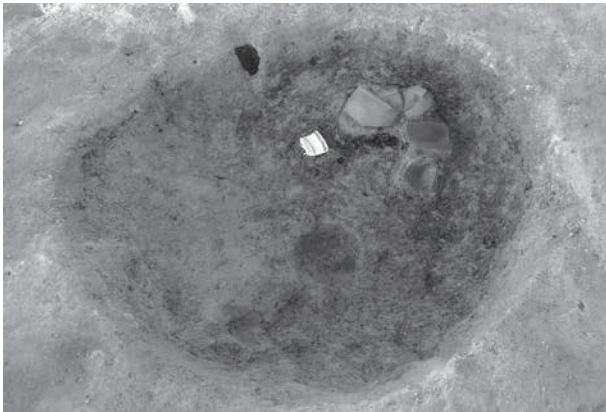
SK22 (埋桶) 断割状況 (北から)



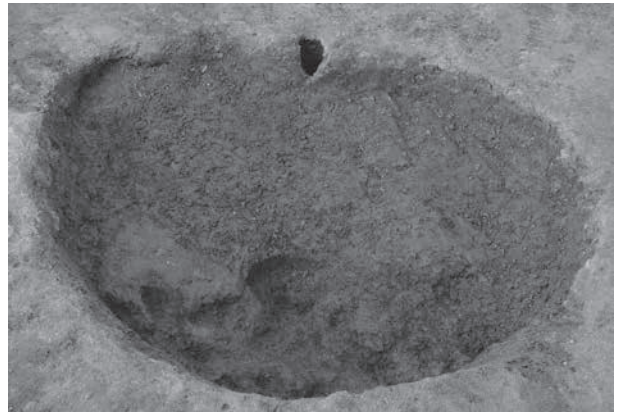
SK23 セクション面 (南から)



SK23 上層遺物出土状況 (南から)



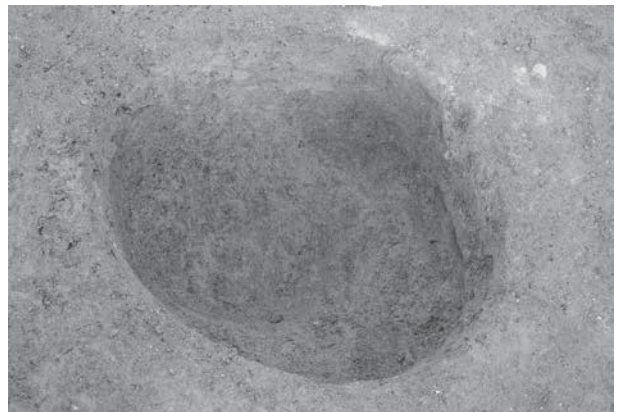
SK23 下層遺物出土状況 (南から)



SK23 完掘 (南から)



SK24 セクション面 (南から)



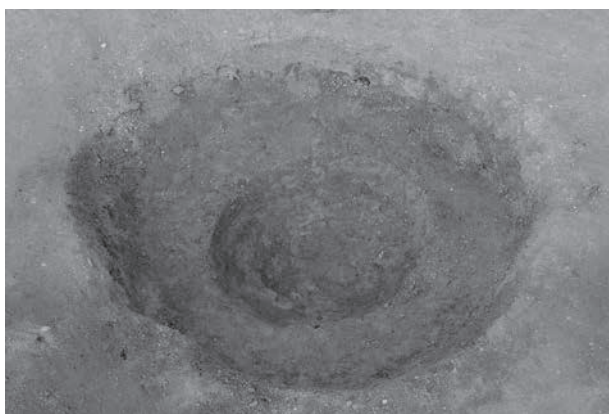
SK24 完掘 (西から)



SK25 (埋甕) セクション面 (西から)



SK25 (埋甕) (南から)



SK25 (埋甕) 完掘 (南から)



SK26 セクション面 (東から)



SK26 遺物出土状況 (南から)



SK26 完掘 (東から)



SK27 セクション面 (南から)

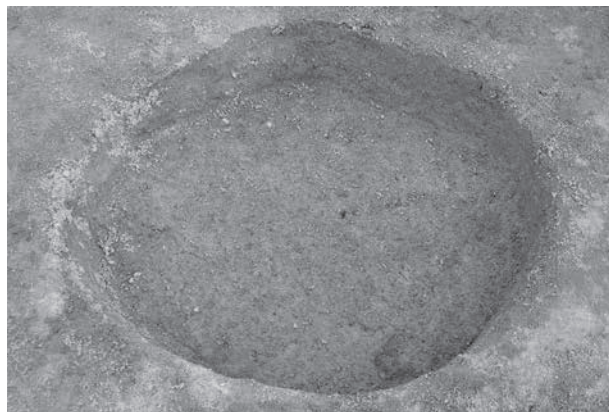


SK27 完掘 (南から)

図版 16



SK28 セクション面（西から）



SK28 完掘（西から）



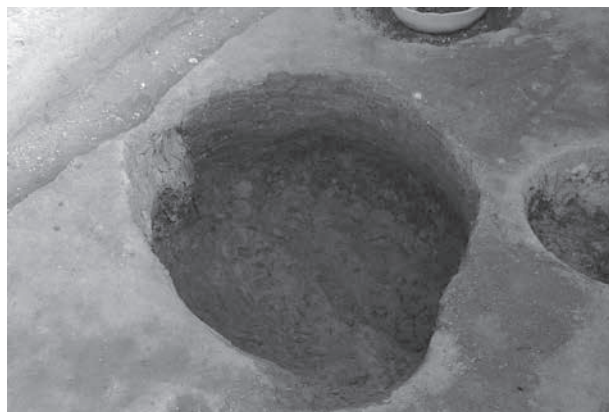
SK30 セクション面（西から）



SK30 遺物出土状況（西から）



SK30（西から）



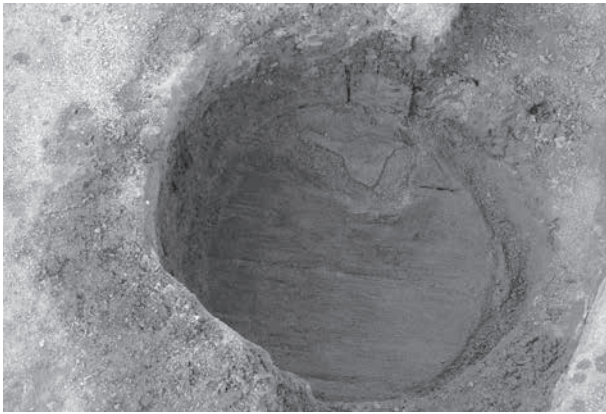
SK30 完掘（西から）



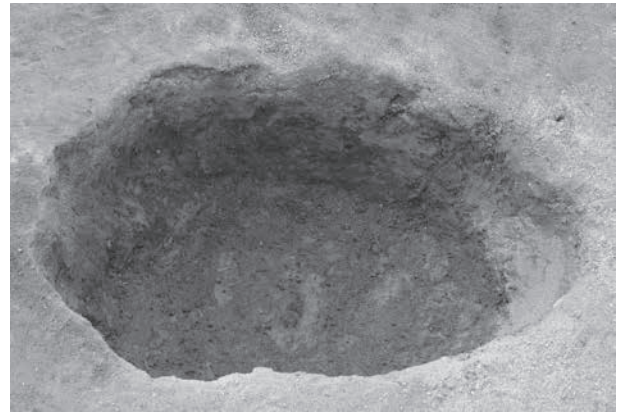
SK33（埋桶）セクション面（東から）



SK33（埋桶）遺物出土状況（南から）



SK33 (埋桶) 遺物出土状況 (南から)



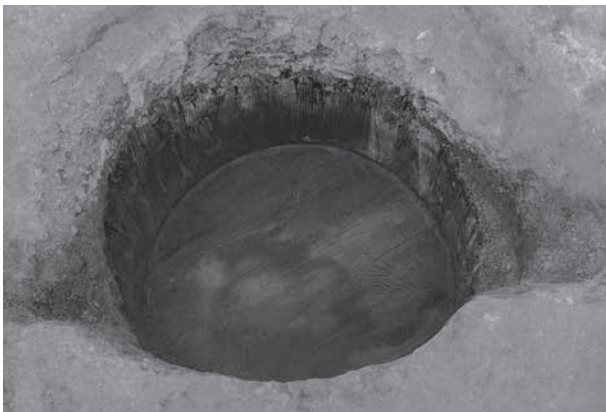
SK33 (埋桶) 完掘 (東から)



SK35 (埋桶) セクション面 (北から)



SK35 (埋桶) 遺物出土状況 (北から)



SK35 (埋桶) 完掘 (南から)



SK35 (埋桶) 断割状況 (北から)



SK36 (井戸) 遺物出土状況 (東から)



SK36 (井戸) 掘削状況 (東から)

図版 18



SK36 (井戸) セクション面 (南から)



SK36 (井戸) 掘り方セクション面 (南から)



SK36 (井戸) 完掘 (南西から)



SK36 (井戸) 断割状況 (南から)



SK37 セクション面 (南から)



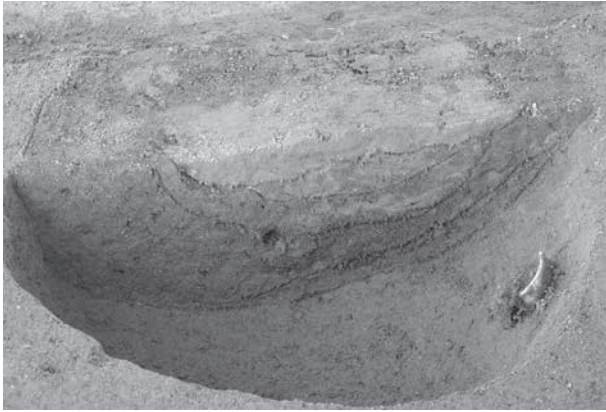
SK37 完掘 (南から)



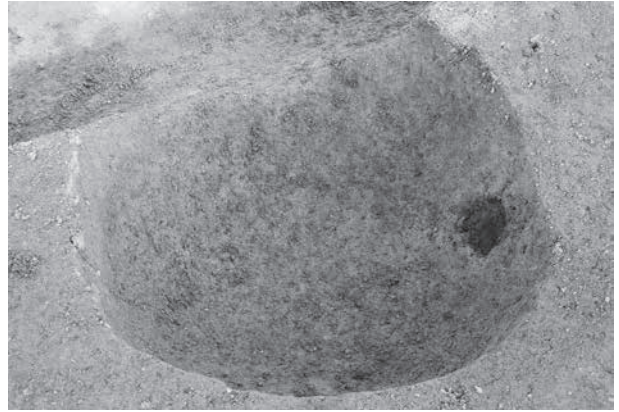
SK38 セクション面 (南から)



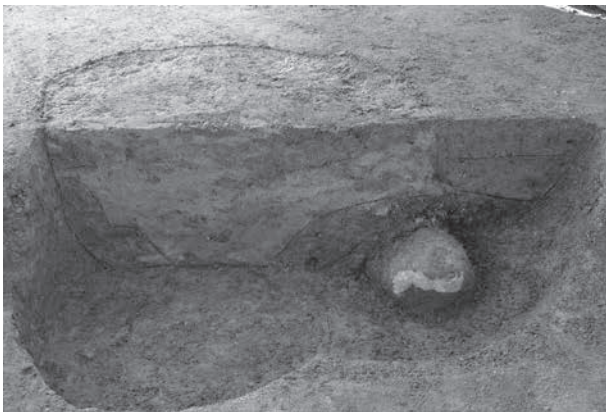
SK38 完掘 (東から)



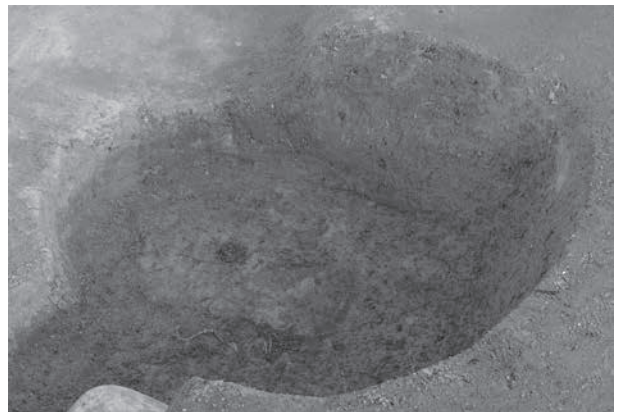
SK39 セクション面 (南から)



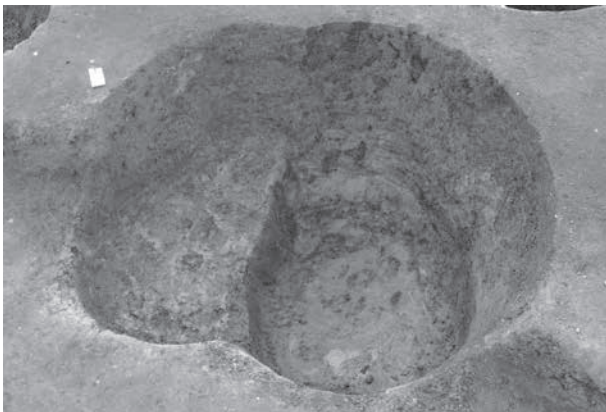
SK39 完掘 (南から)



SK40・41 セクション面 (北から)



SK40 完掘 (西から)



SK40・41 完掘 (北から)



SK43 (井戸) セクション面 (西から)

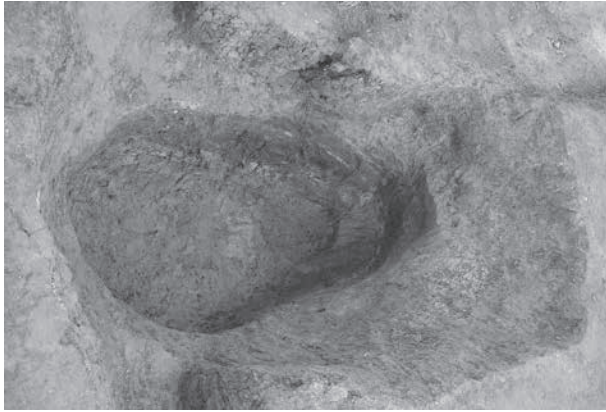


SK43 (井戸) 遺物出土状況 (東から)



SK43 (井戸) 礫出土状況 (西から)

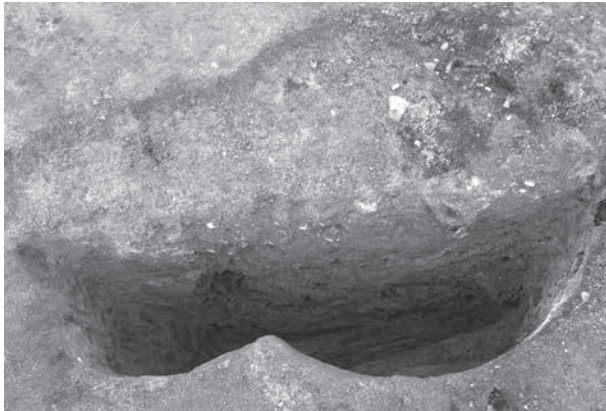
図版 20



SK43 (井戸) 完掘 (南から)



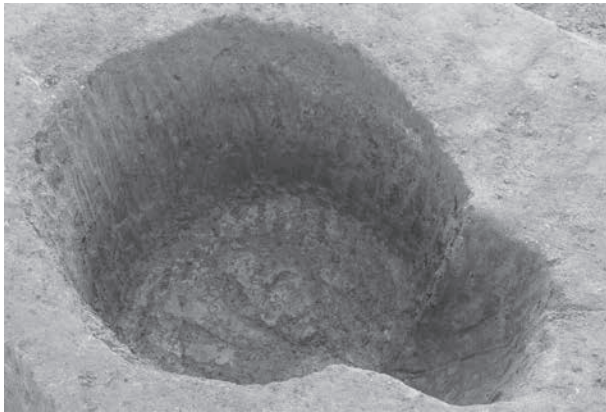
SK43 (井戸) 断割状況 (南から)



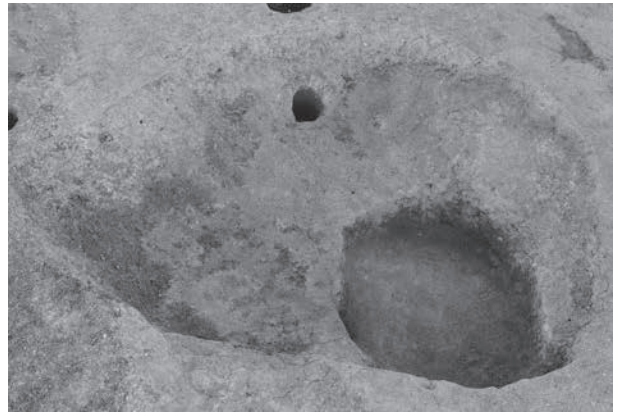
SK45 (埋桶) セクション面 (南から)



SK45 (埋桶) 桶出土状況 (南から)



SK45 (埋桶) 完掘 (北西から)



SK46 完掘 (南から)



SK47 セクション面 (南から)



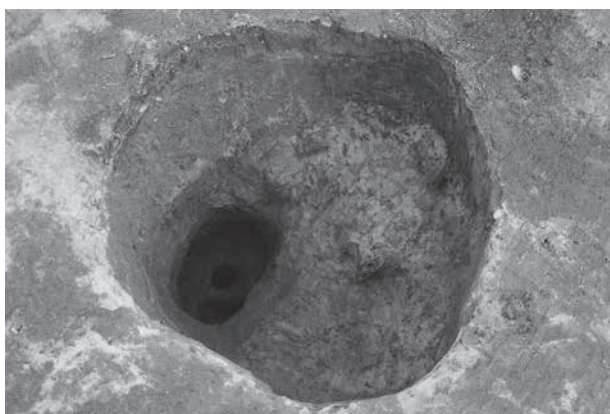
SK47 遺物出土状況 (北から)



SK48 遺物出土状況（南から）



SK49 セクション面（西から）



SK49 完掘（西から）



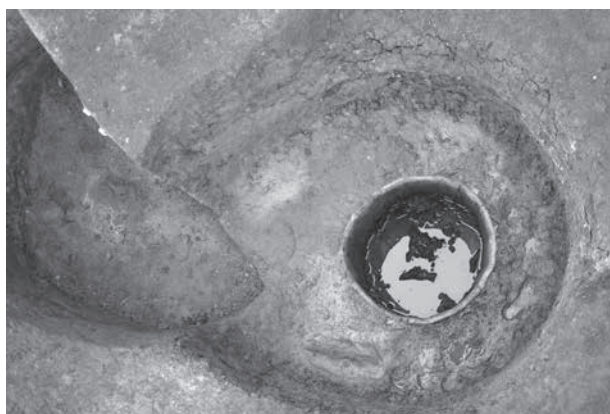
SK50（井戸）セクション面（西から）



SK50（井戸）桶1段目破片（東から）



SK50（井戸）桶出土状況（北から）



SK50（井戸）桶出土状況（南から）



SK50（井戸）桶出土状況（西から）

図版 22



SK50 (井戸) 井戸側基部出土状況 (北西から)



SK50 (井戸) 井戸側基部出土状況 (北西から)



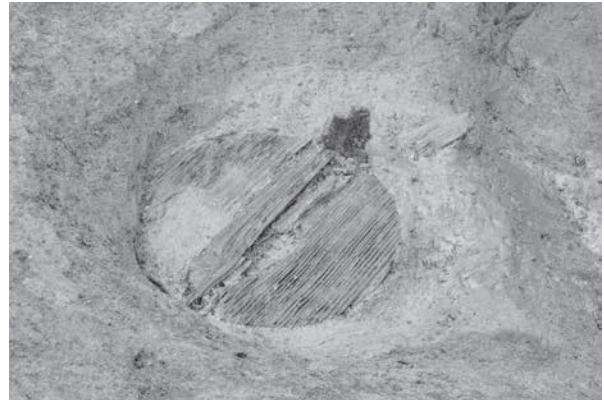
SK50 (井戸) 断割状況 (南から)



SK51 セクション面 (南から)



SK51 完掘 (南西から)



SK53 (埋桶) 桶出土状況 (東から)



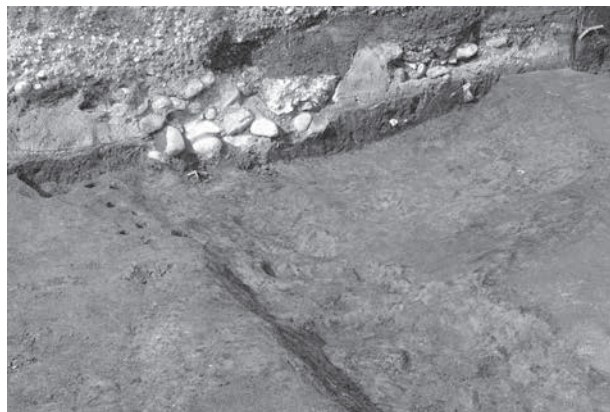
SK53 (埋桶) 完掘 (東から)



SK54 完掘 (北から)



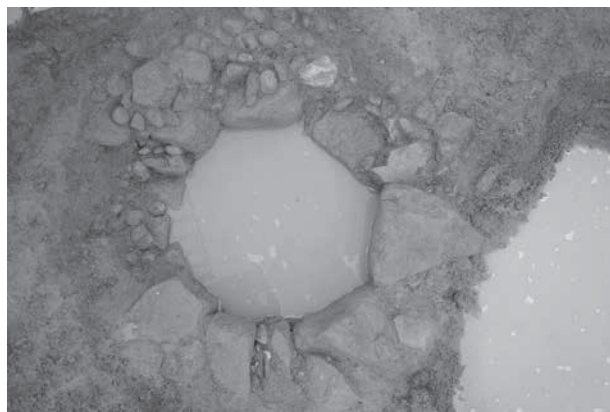
SK55 遺物出土状況（南から）



SK55 完掘（東から）



SK56（井戸）検出状況（西から）



SK56（井戸）検出状況（南から）



SK56（井戸）断割状況（西から）



SK56（井戸）断割状況（西から）



ピット列1・2 完掘（北から）

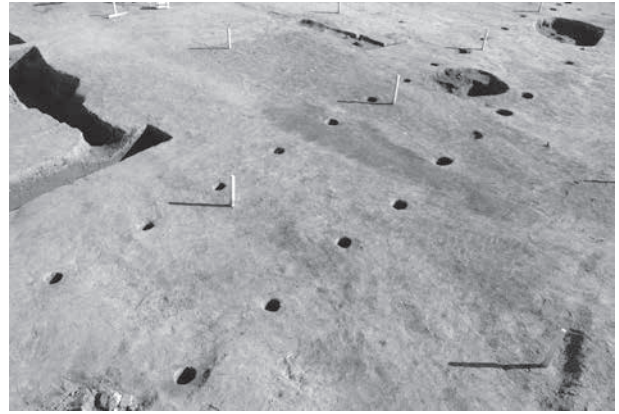


ピット列4・5 検出（東から）

図版 24



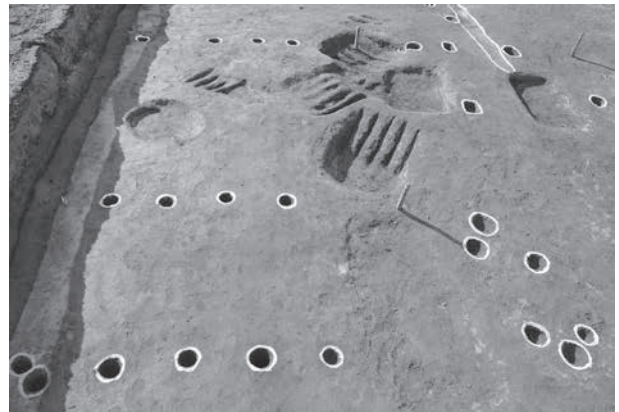
ピット列 4・5 完掘 (西から)



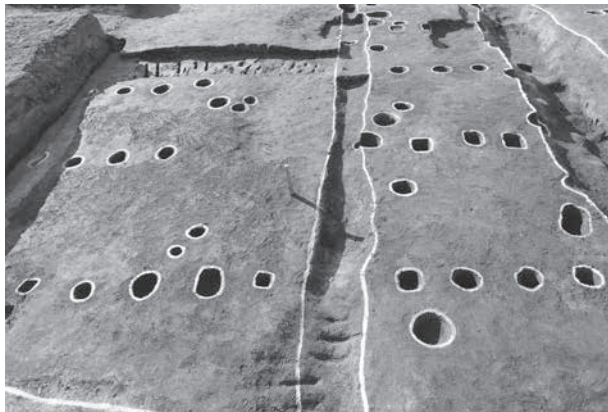
ピット列 6・7 完掘 (南西から)



ピット列 8・9 完掘 (南から)



ピット列 10・11・12 完掘 (東から)



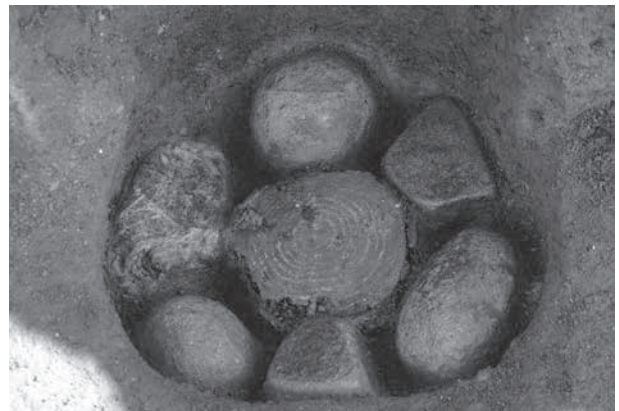
ピット列 13・14・15 完掘 (東から)



ピット列 16 完掘 (東から)



SP52 1 (南西から)



SP52 2 (西から)



SD2 セクション面（西から）



SD2 遺物出土状況（南西から）



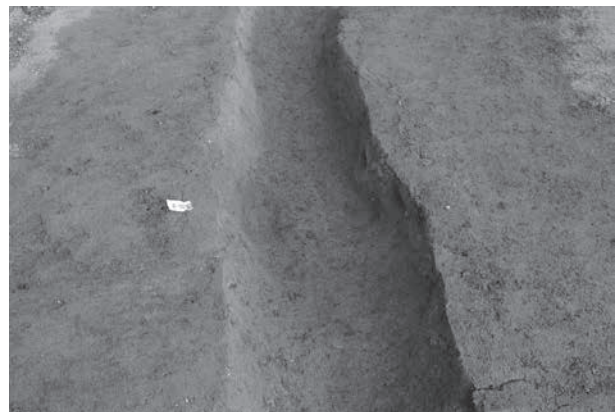
SD2 完掘（南西から）



SD3 セクション面（西から）



SD3 遺物出土状況（西から）



SD3 完掘（西から）



SD4 セクション面（東から）



SD4 遺物出土状況（南東から）

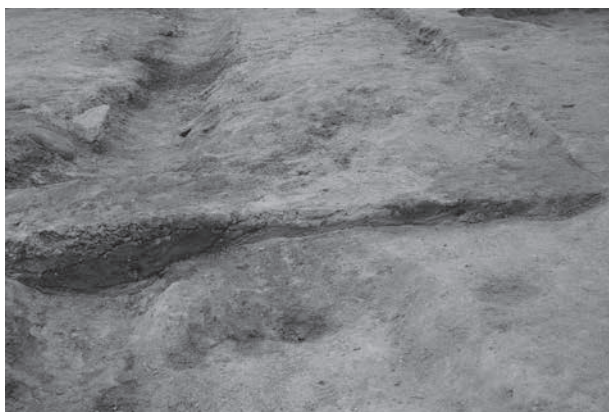
図版 26



SD4 遺物出土状況（東から）



SD4 完掘（東から）



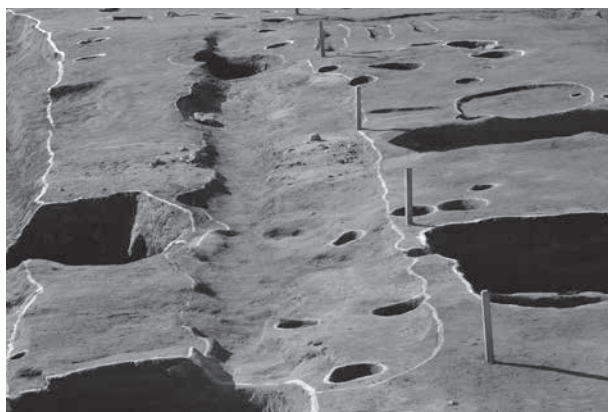
SD5 セクション面（東から）



SD5 遺物出土状況（南東から）



SD5 遺物出土状況（東から）



SD5 完掘（東から）



SD6 セクション面（東から）



SD6 遺物出土状況（南から）



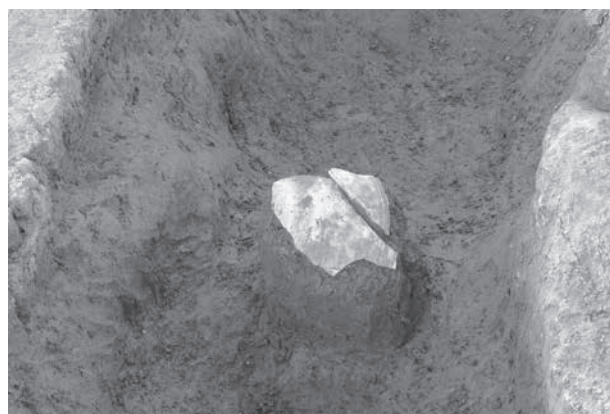
SD6 完掘（東から）



SD9 完掘（南から）



SD10 セクション面（南から）



SD10 遺物出土状況（南から）



SD10 遺物出土状況（北から）



SD10 完掘（北から）



SD11 セクション面（南から）



SD11 遺物出土状況（北から）

図版 28



SD15 セクション面（西から）



SD15 完掘（北から）



SD16 完掘（東から）



SD17 完掘（北西から）



SD21 完掘（南から）



SD22 完掘（南東から）



SD22 完掘（北から）



SD23 完掘（西から）



調査前風景（北西から）



調査風景（北西から）



調査風景（北西から）



調査後風景（北西から）



調査風景（南から）



調査風景（東から）



調査風景（東から）

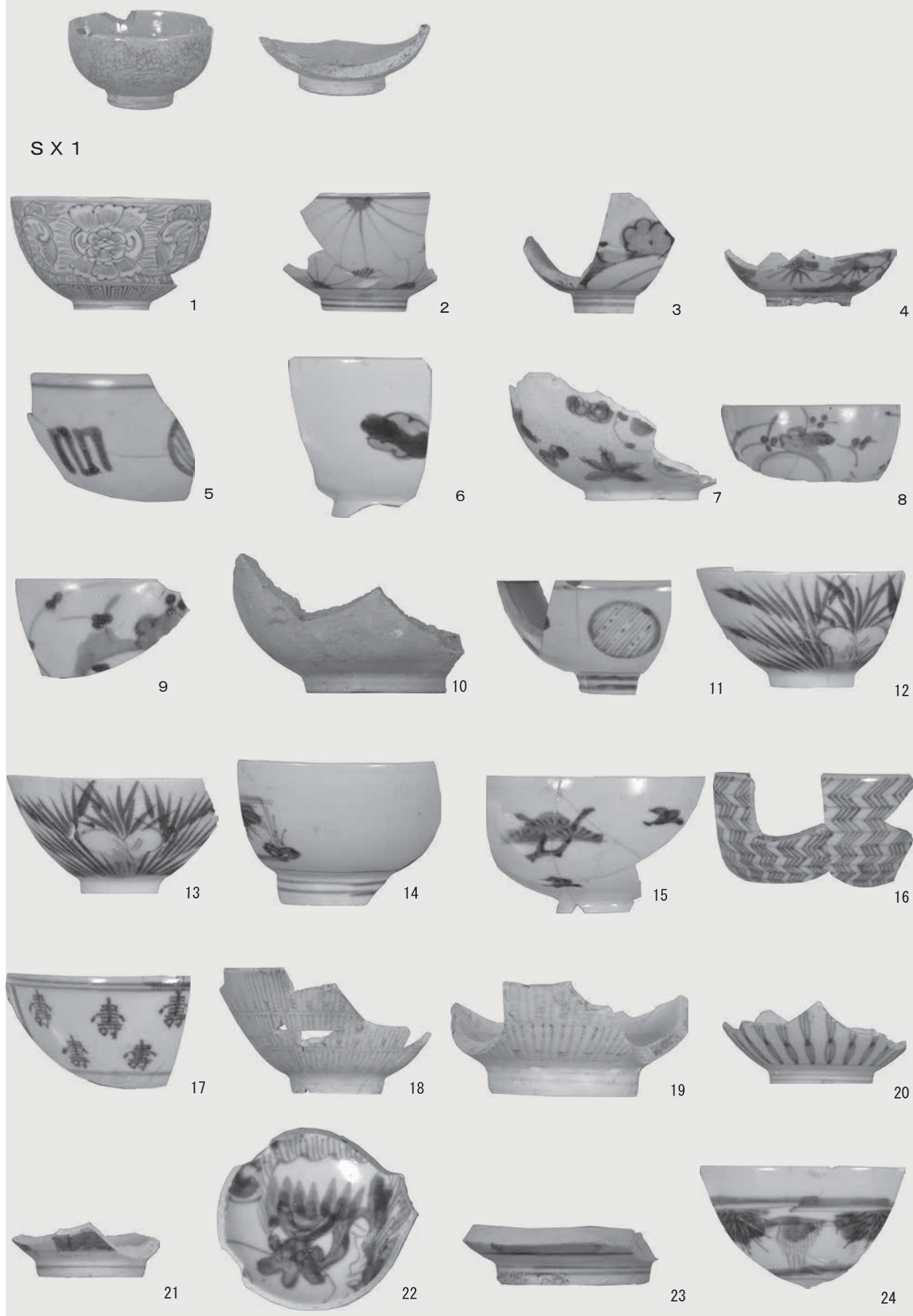


調査風景（南から）

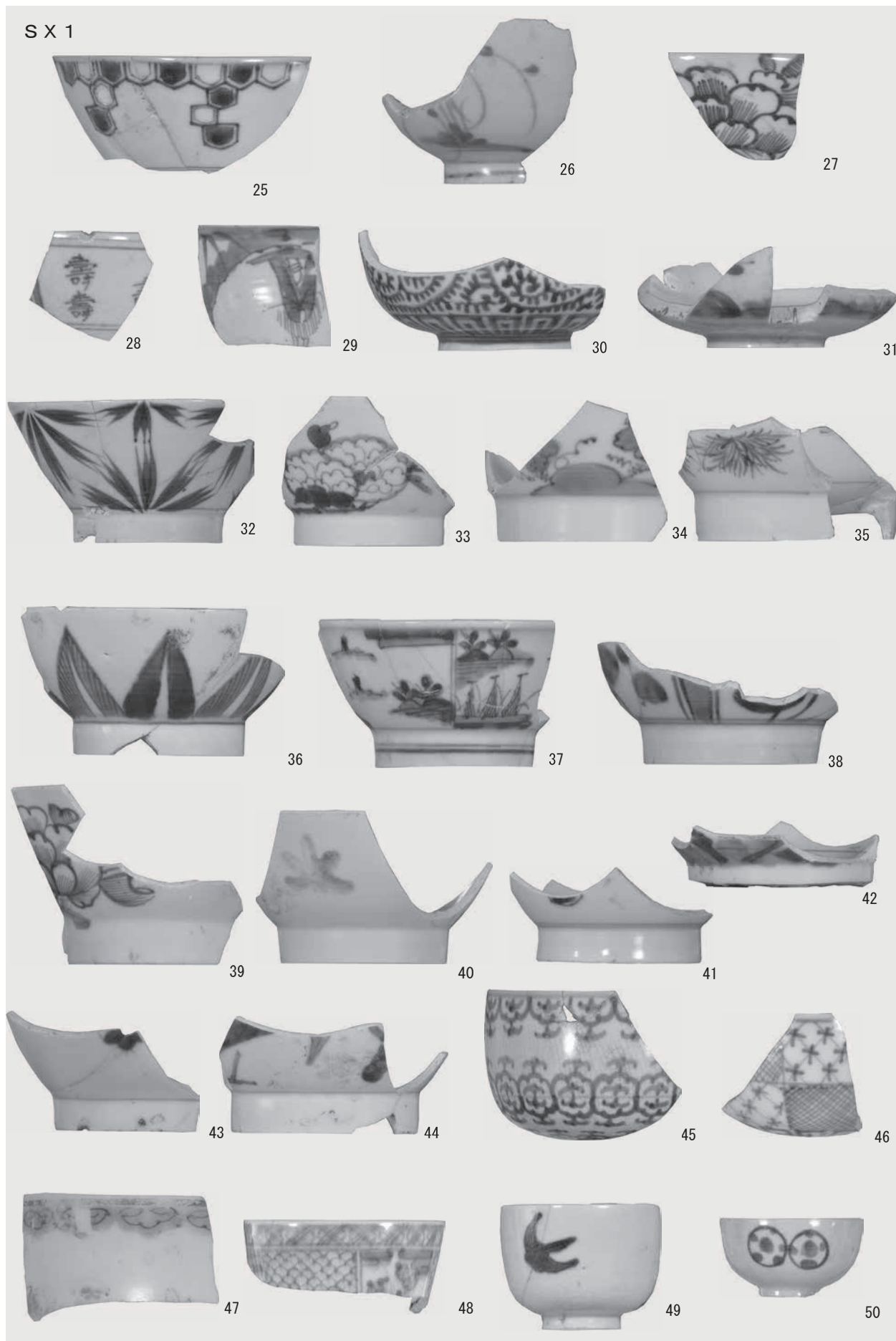
图版 30

旧校舍基础

S X 1



S X 1



图版 32

S X 1



51



52



53



54



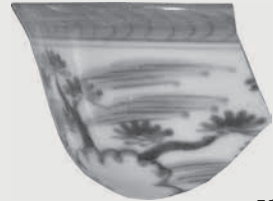
55



56



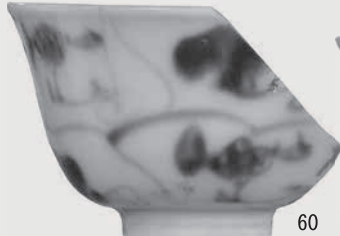
57



58



59



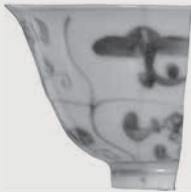
60



61



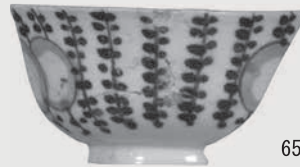
62



63



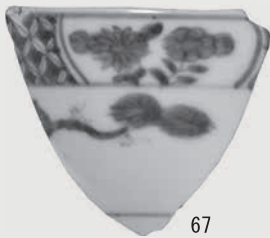
64



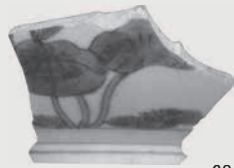
65



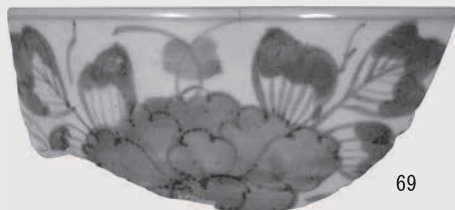
66



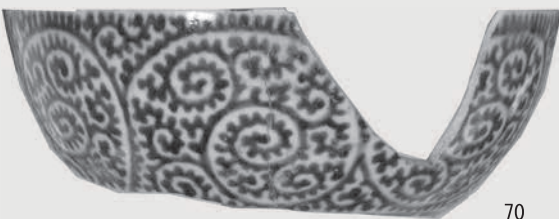
67



68



69

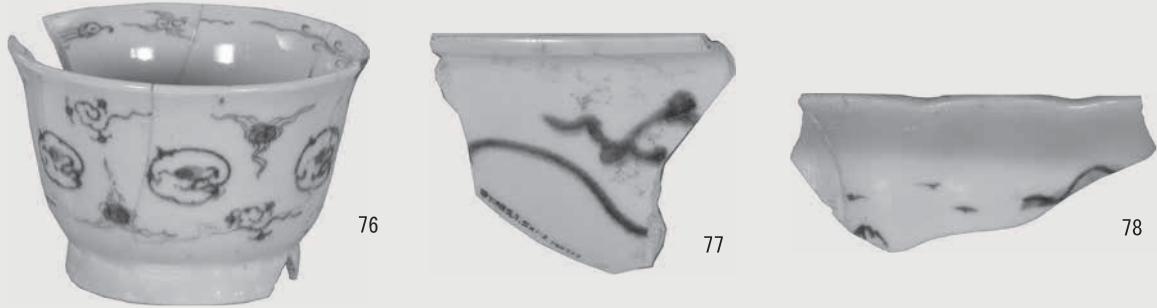
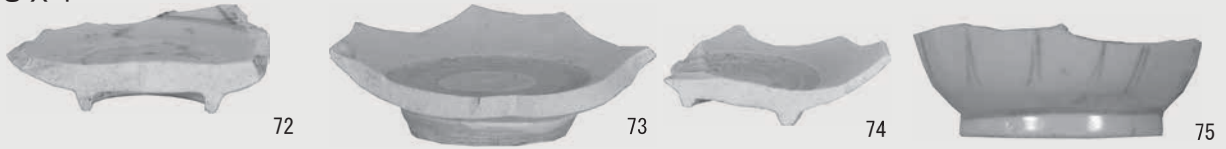


70

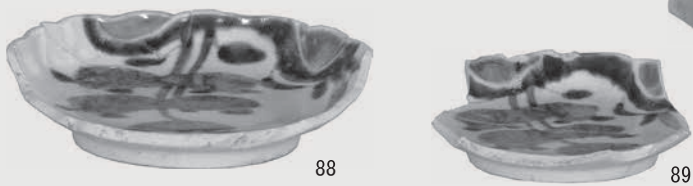
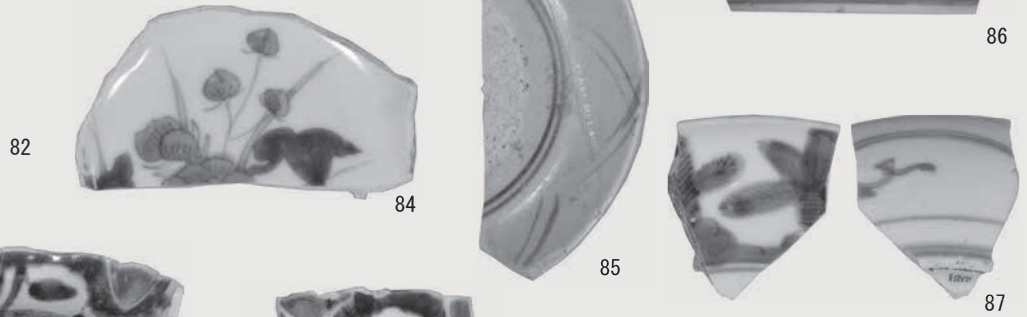
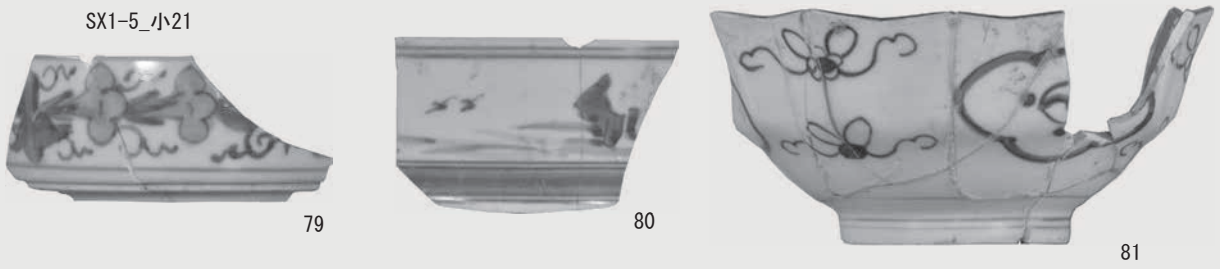


71

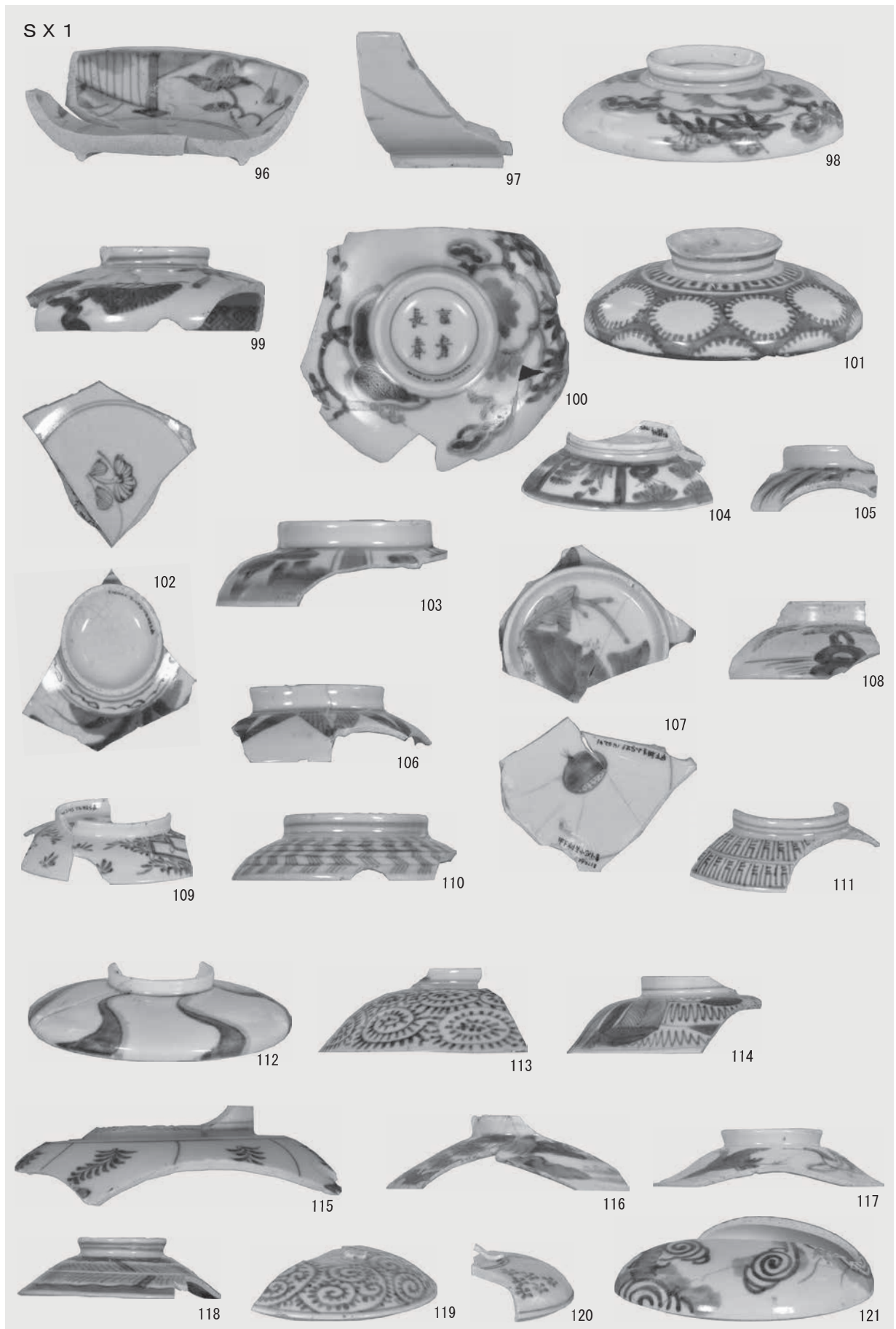
S X 1



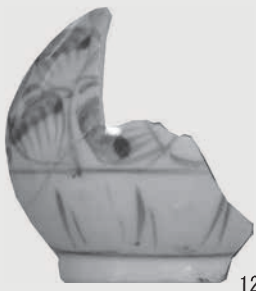
SX1-5_小21



图版 34



S X 1



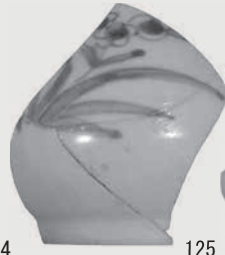
122



123



124



125



126



127



128



129



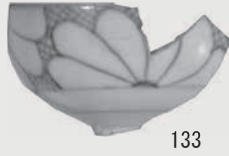
130



131



132



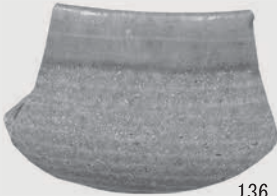
133



134



135



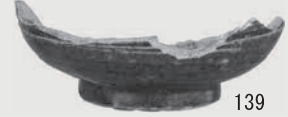
136



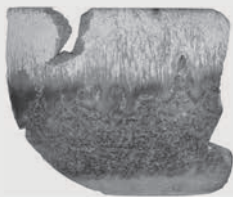
137



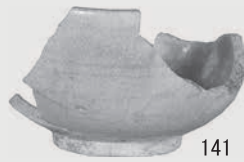
138



139



140



141



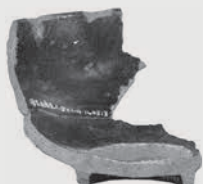
142



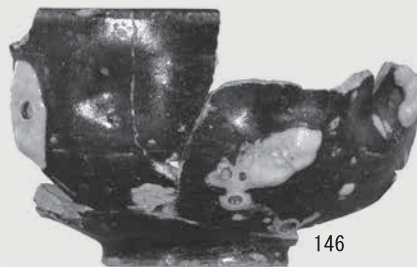
143



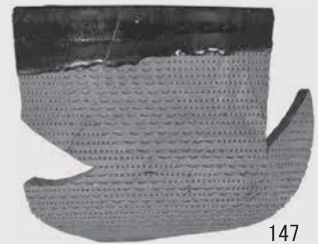
144



145

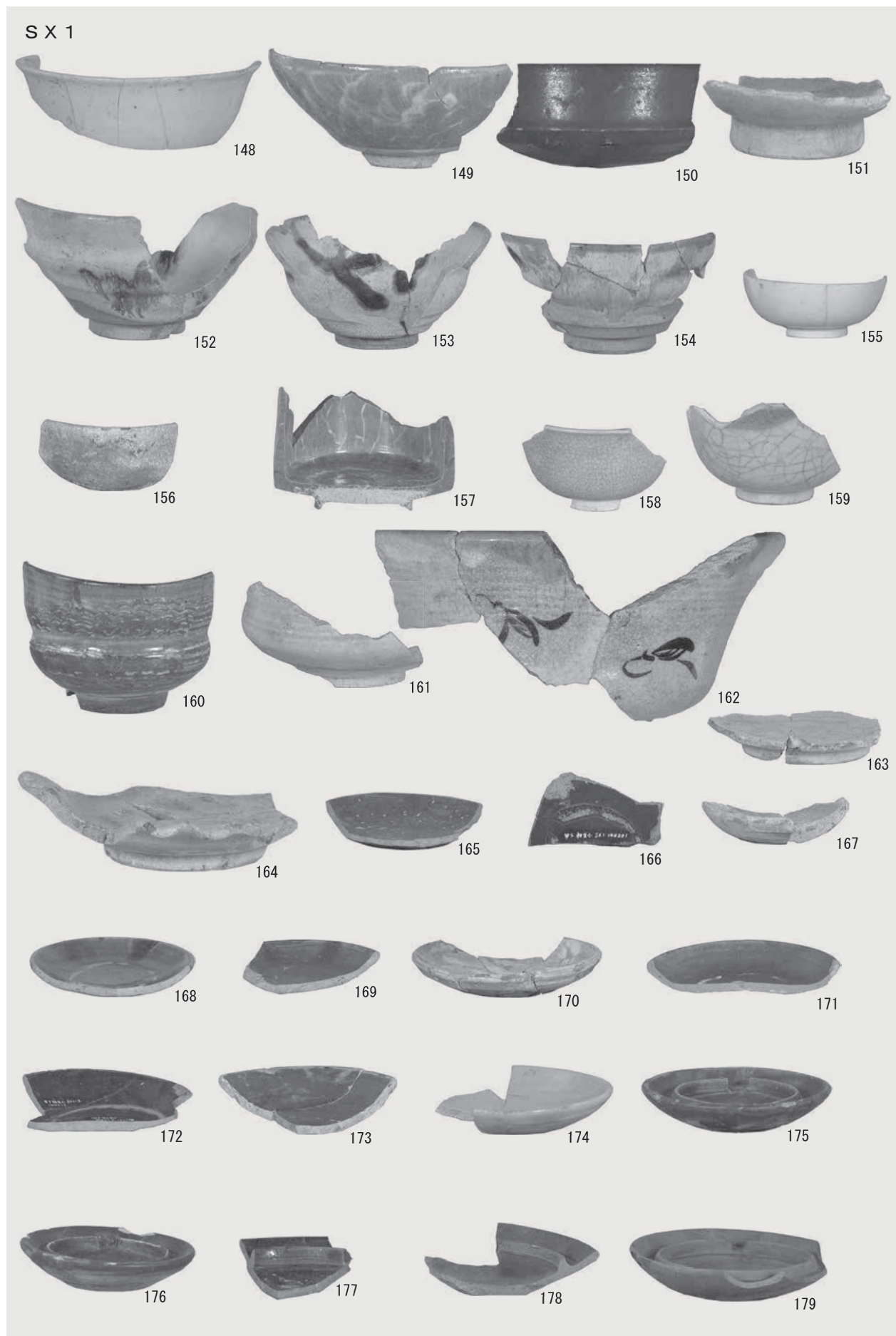


146



147

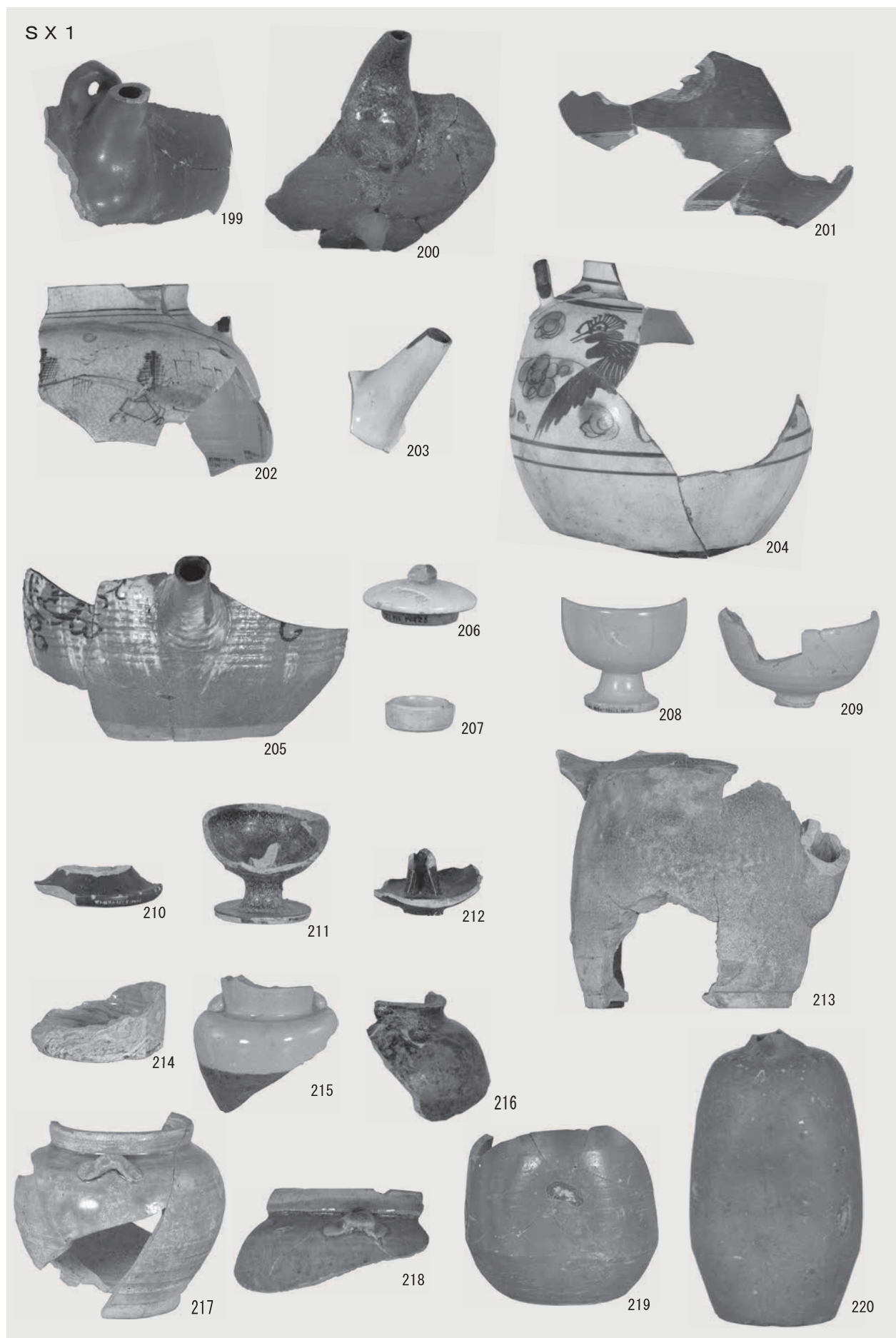
图版 36



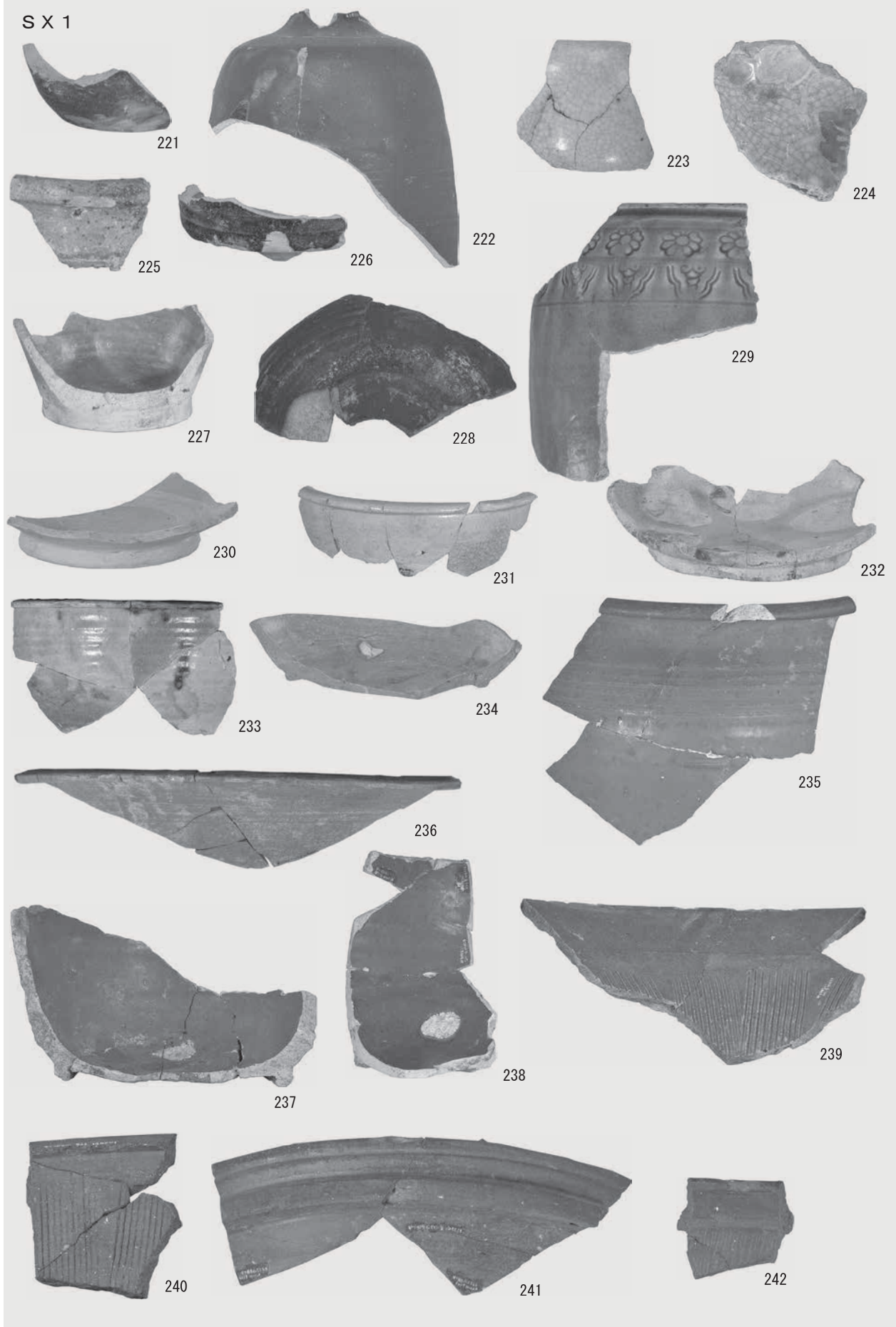
S X 1



S X 1

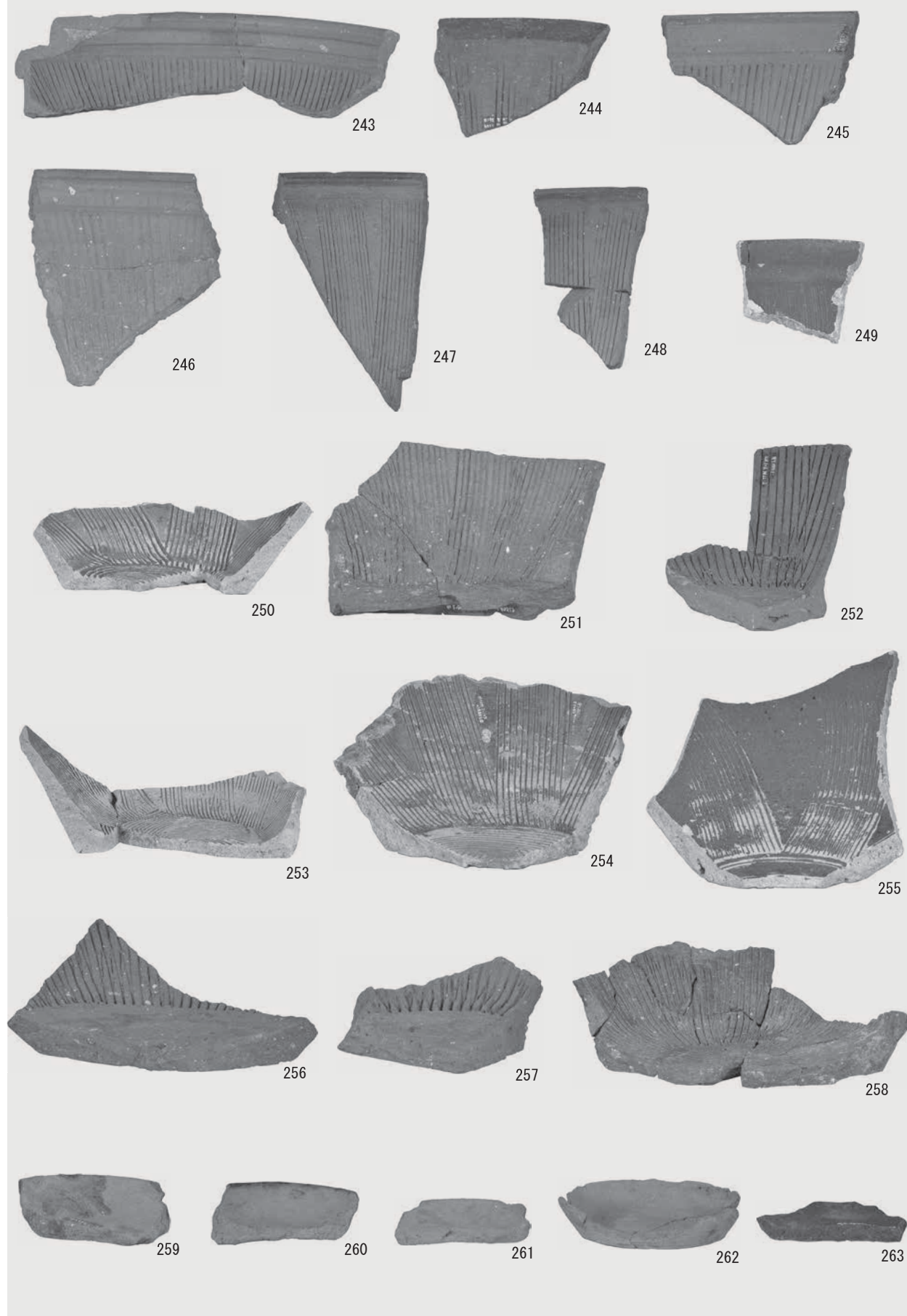


S X 1



图版 40

S X 1



S X 1



264



265



266



267



268



269



270



271



272



273



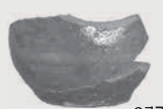
274



275



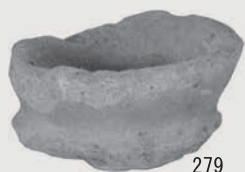
276



277



278



279



280



281



282



283



284



285



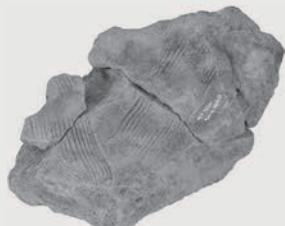
286



287



288



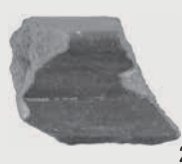
289



290



291



292

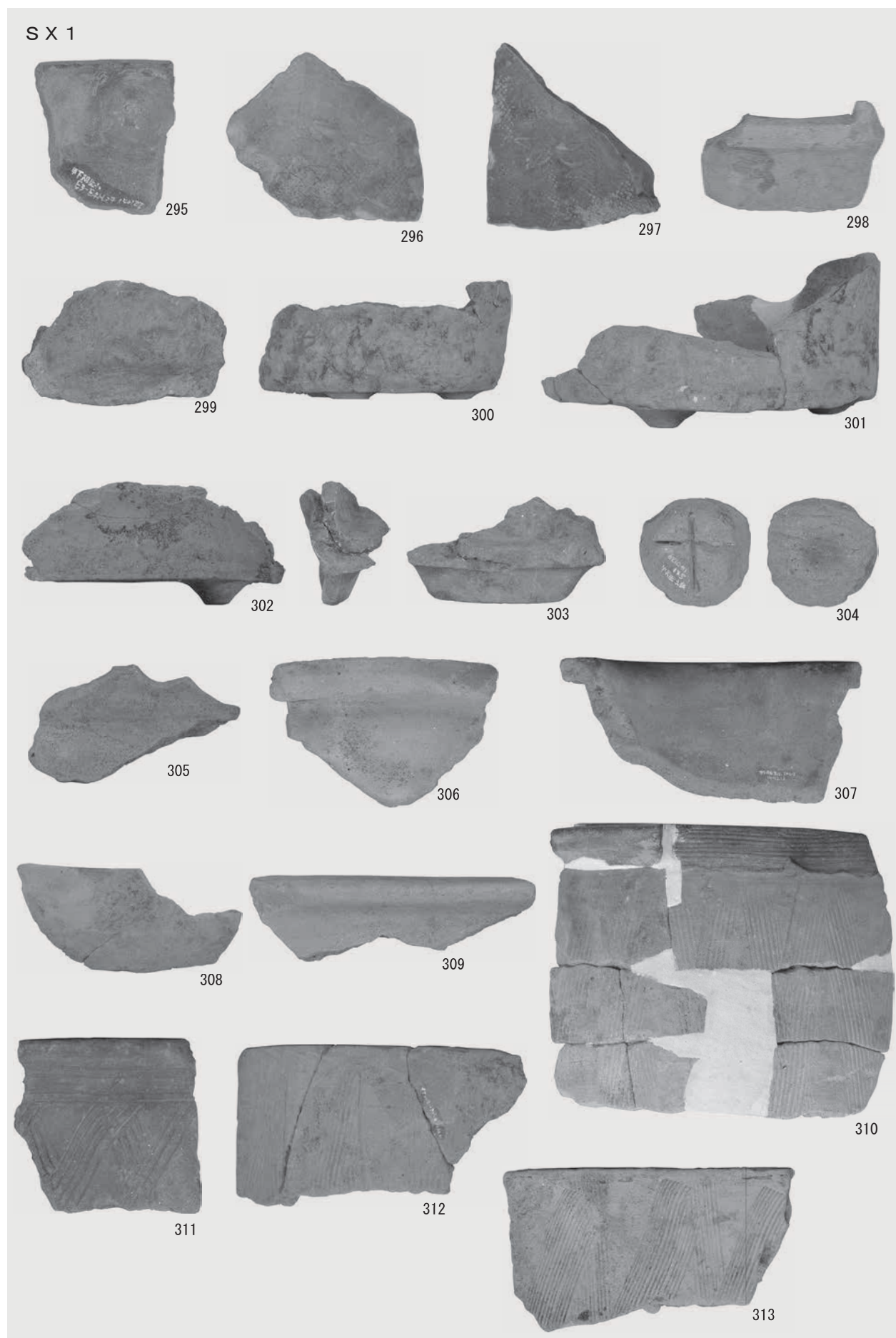


293



294

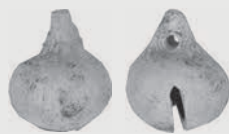
S X 1



S X 1



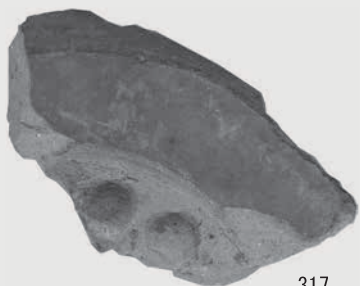
314



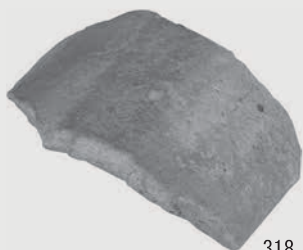
315



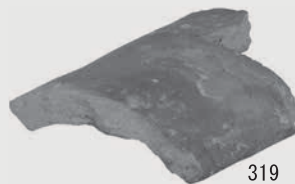
316



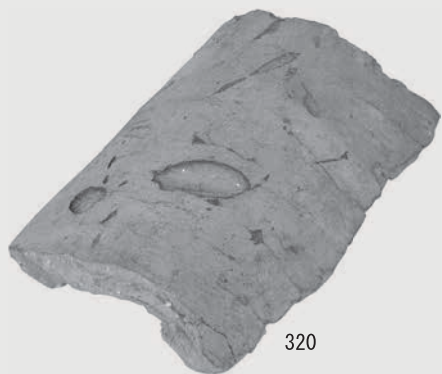
317



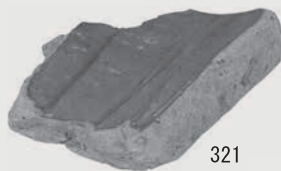
318



319



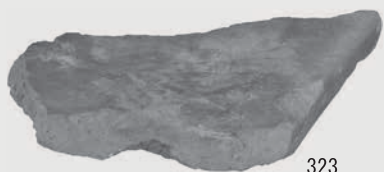
320



321



322



323



325



326



327



324



328



329

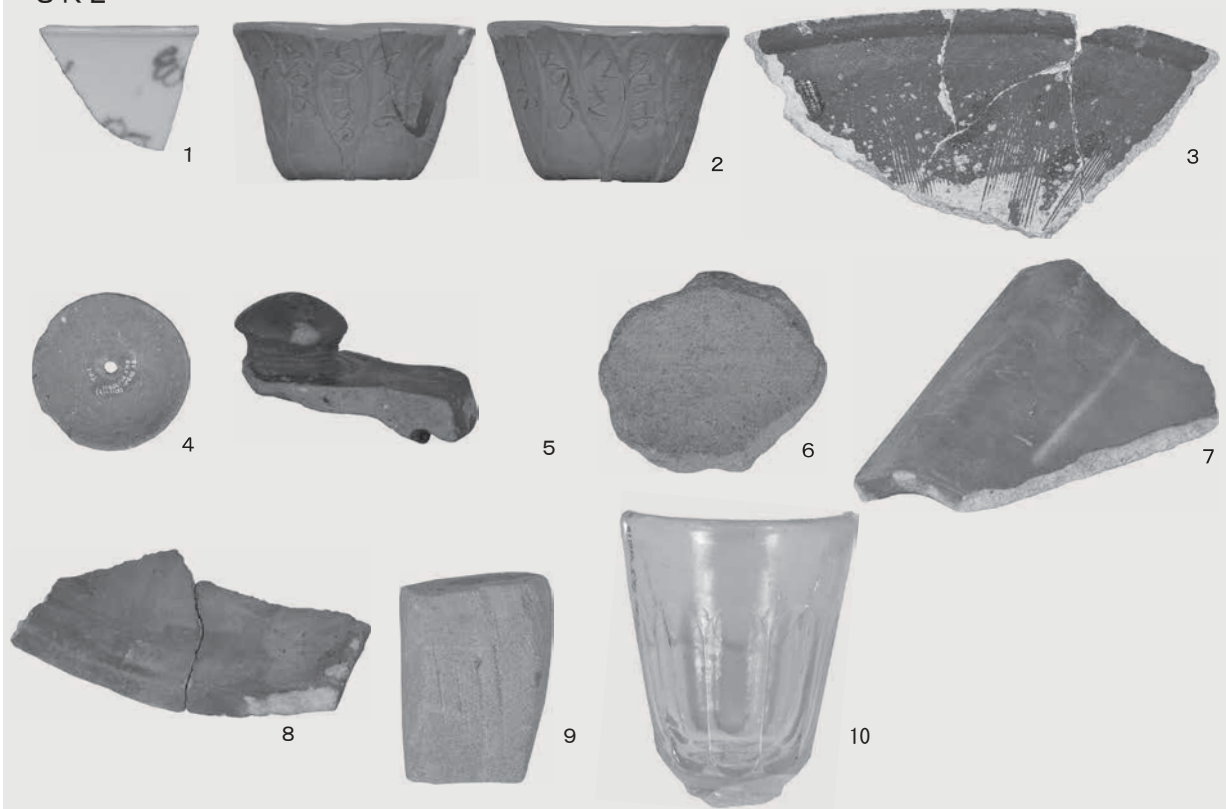
图版 44



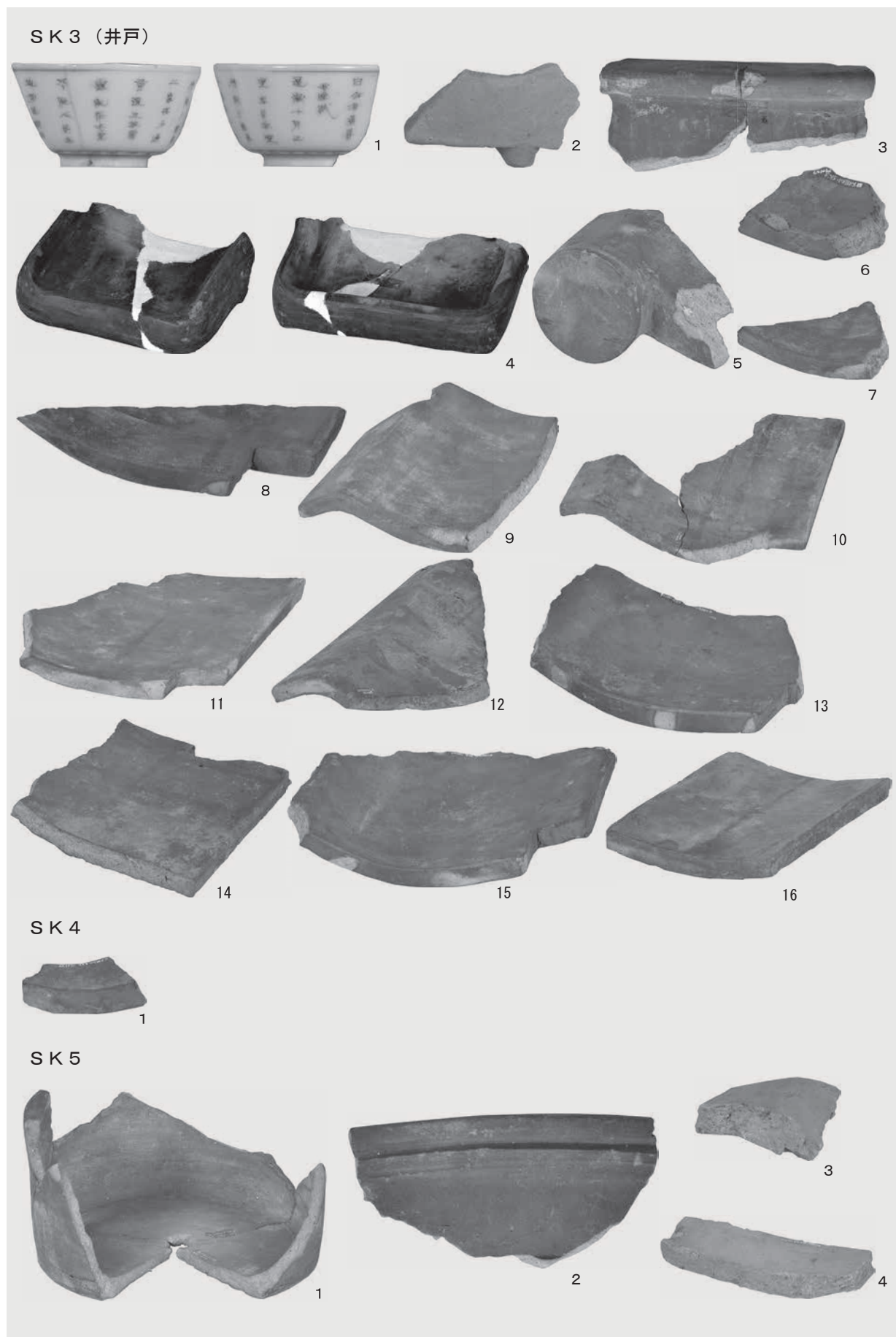
SK 1



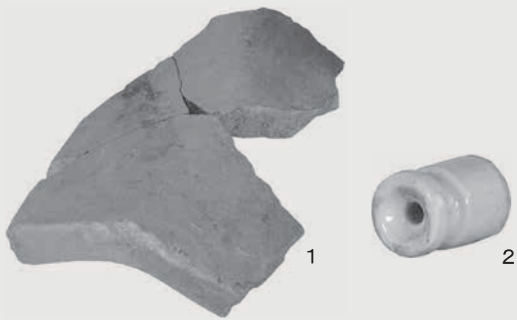
SK 2



图版 46



SK 6



SK 8

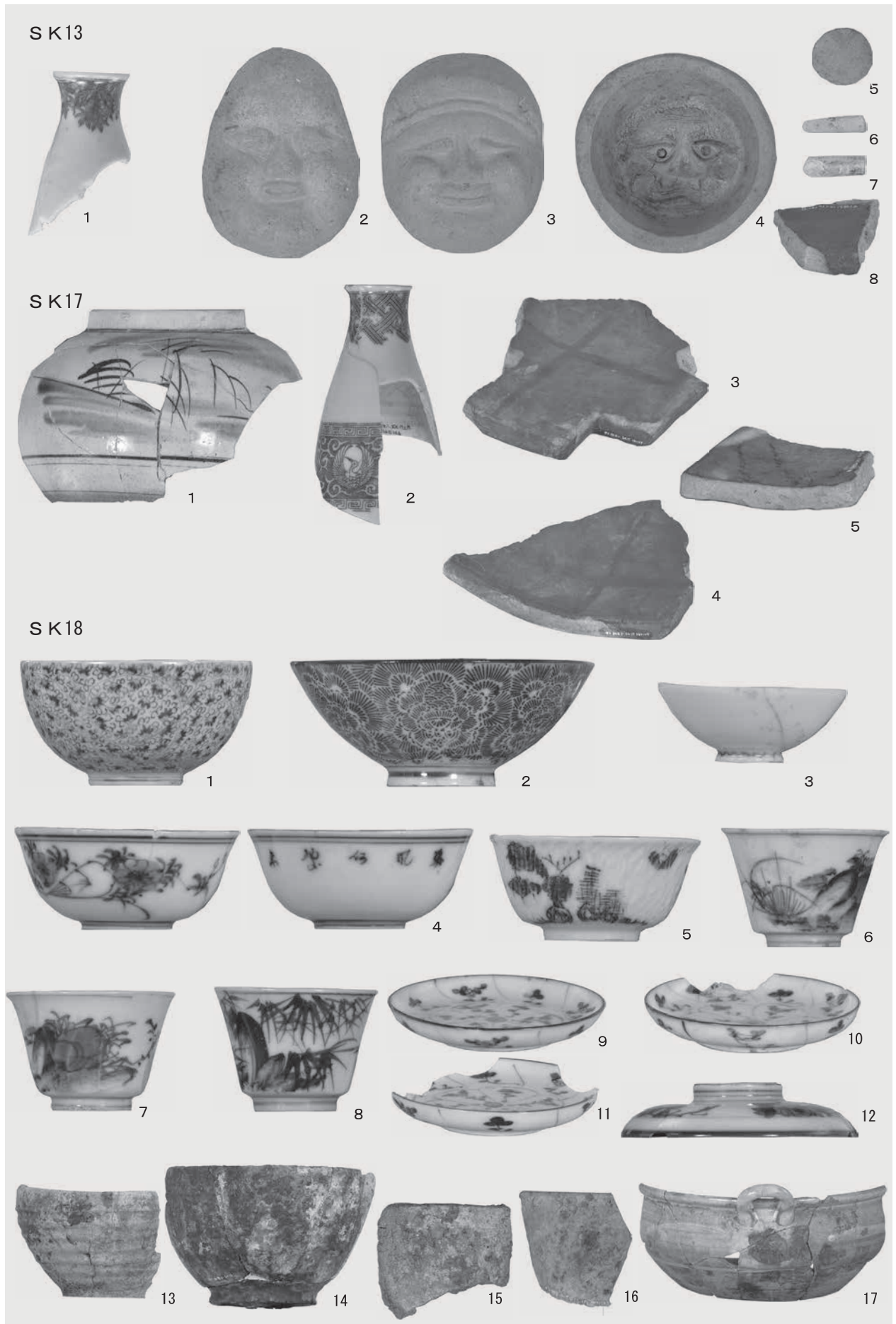


SK11 (井戸)

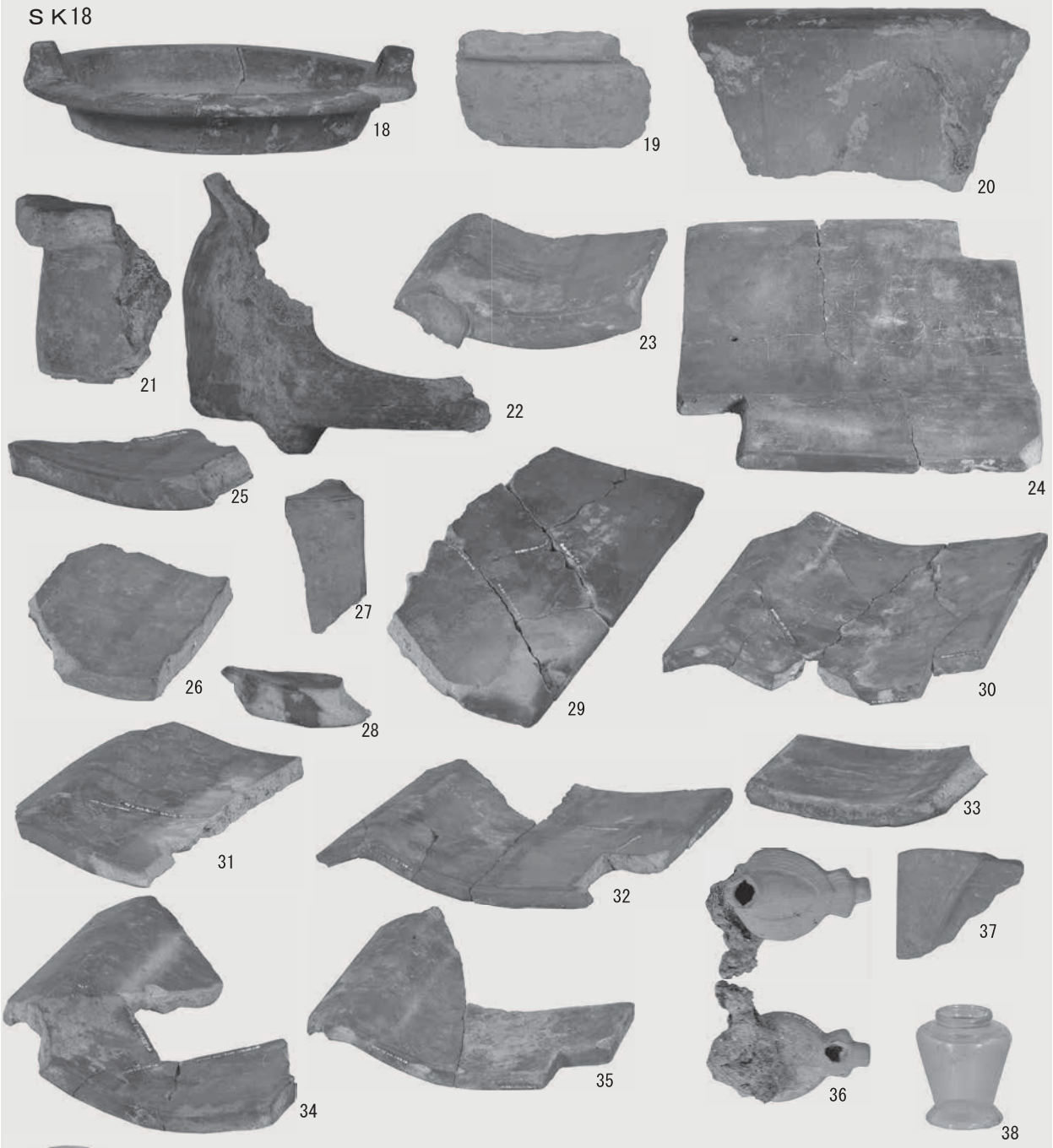


SK12





S K 18



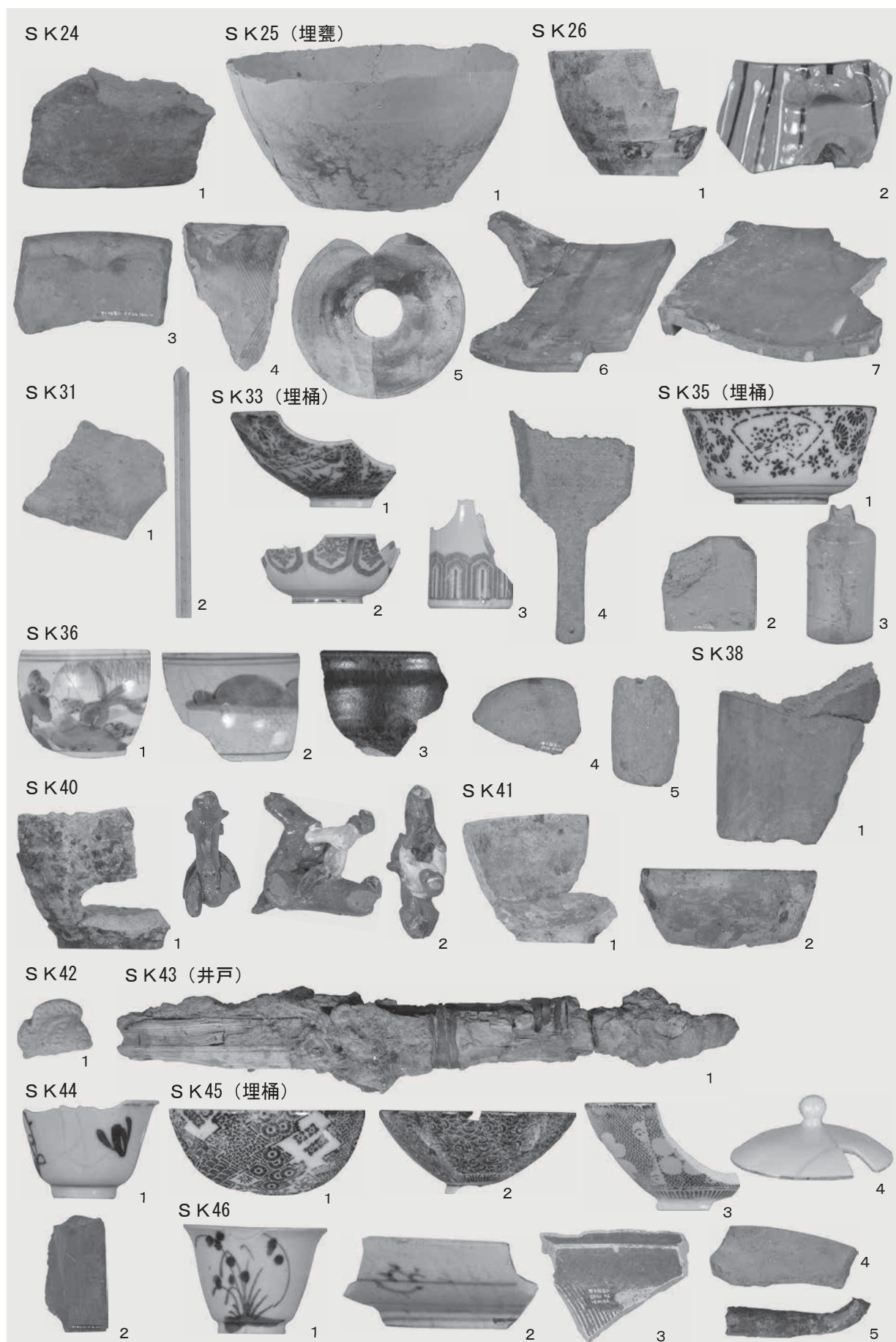
S K 19



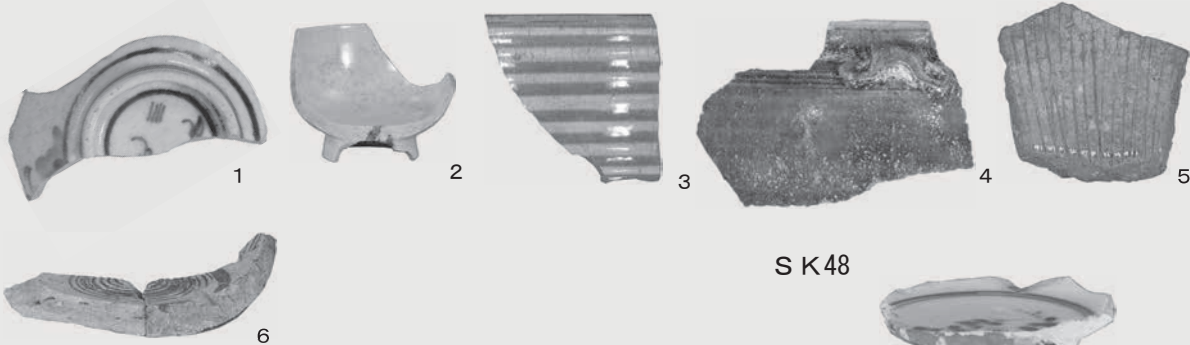
图版 50



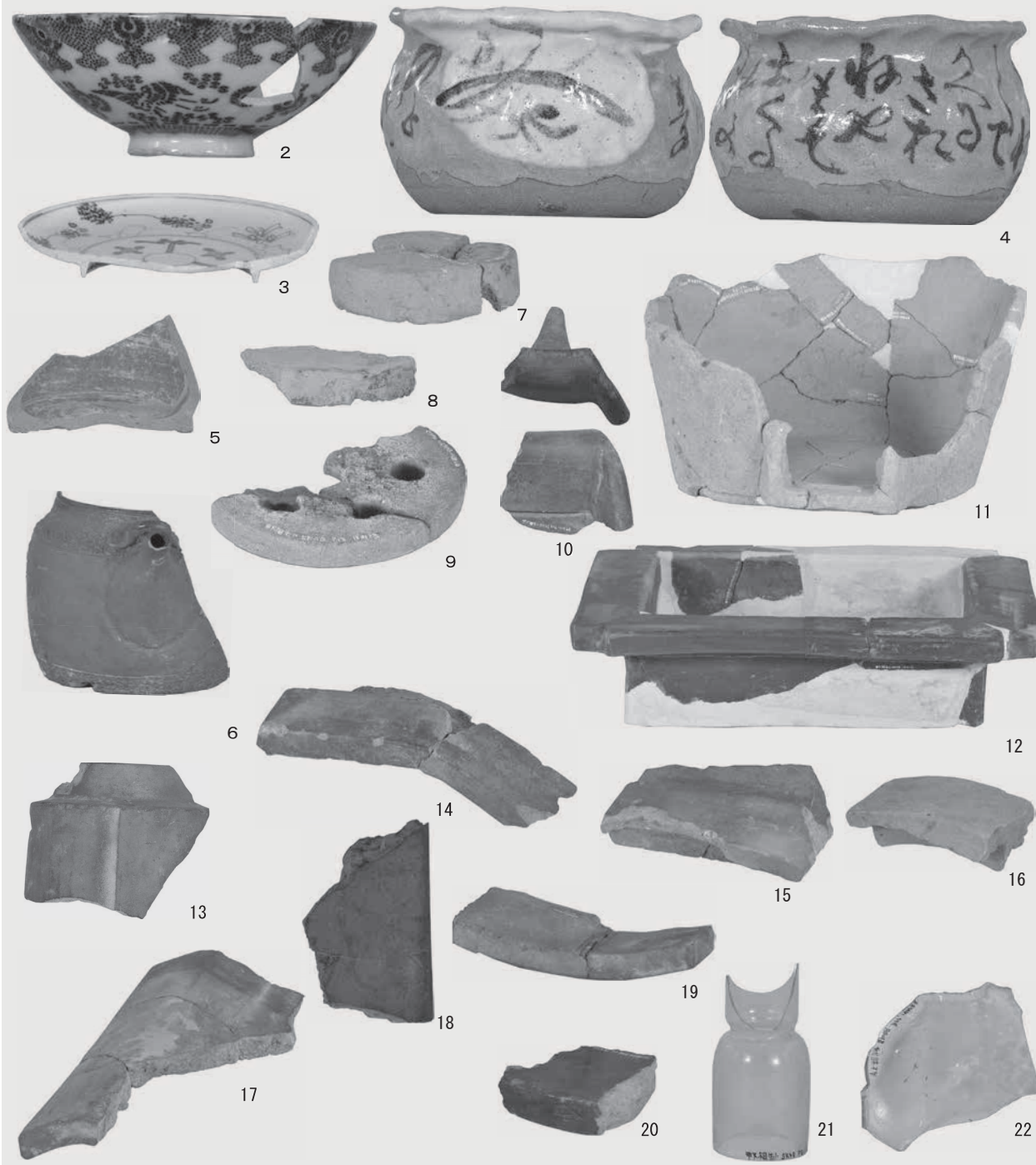




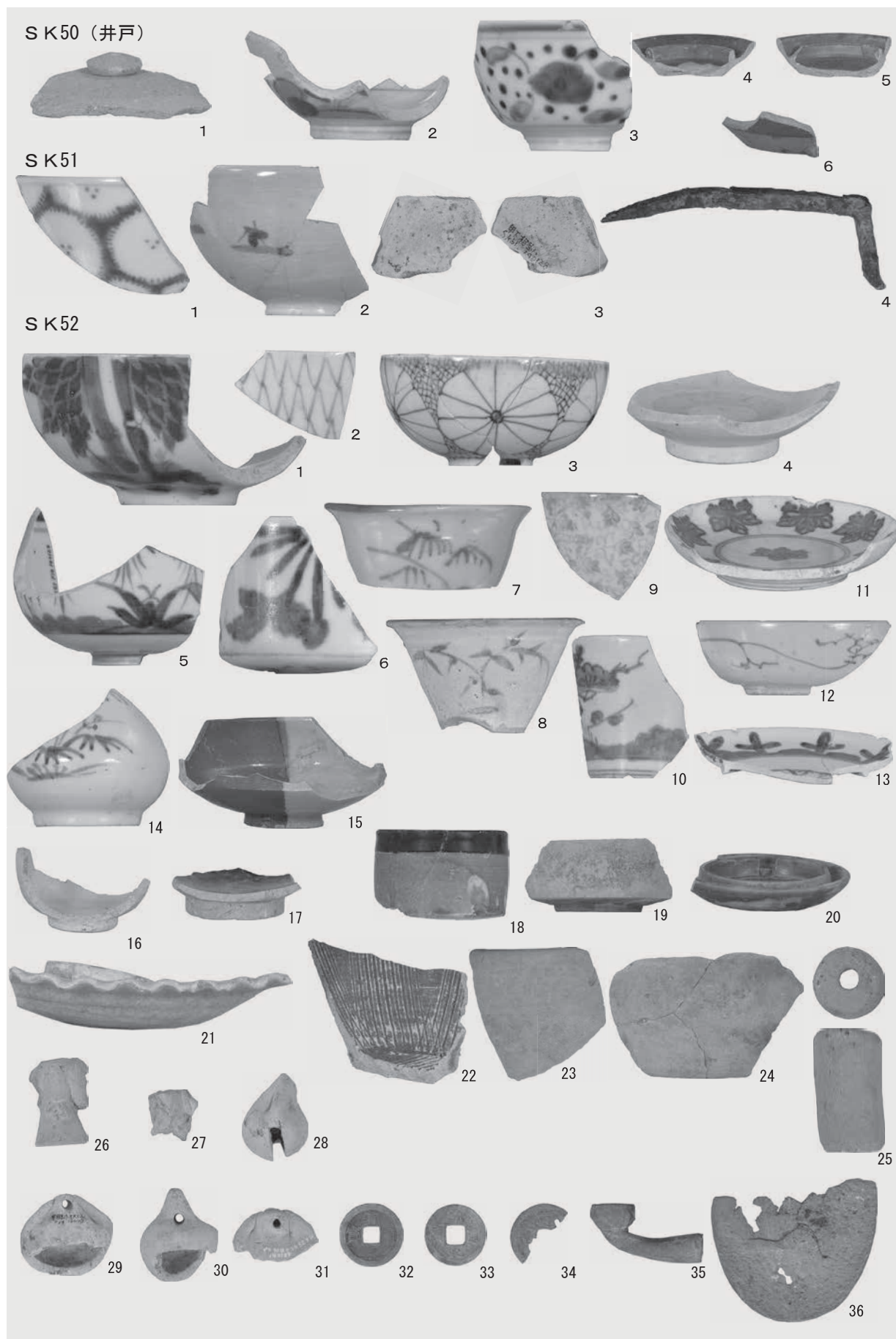
SK47

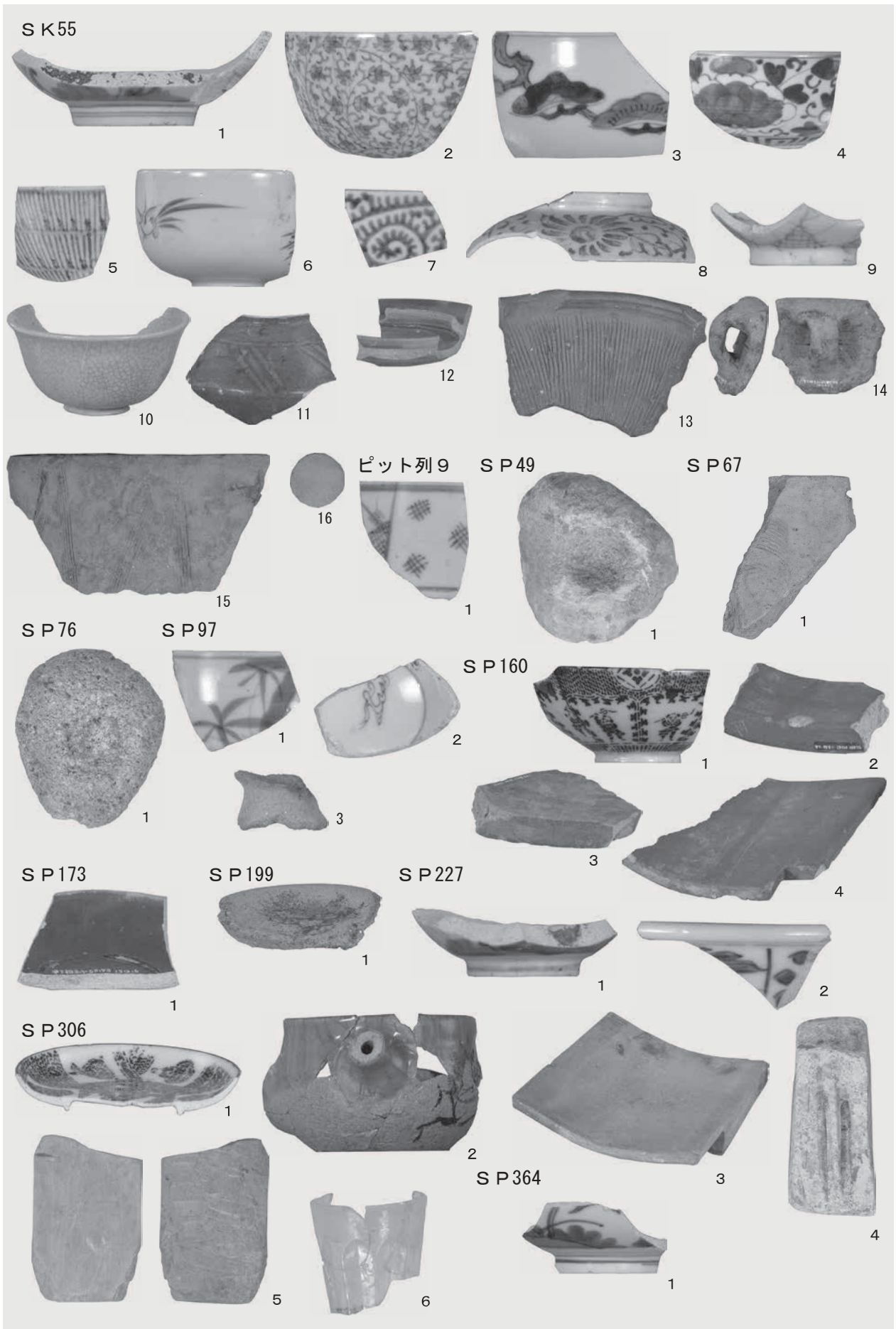


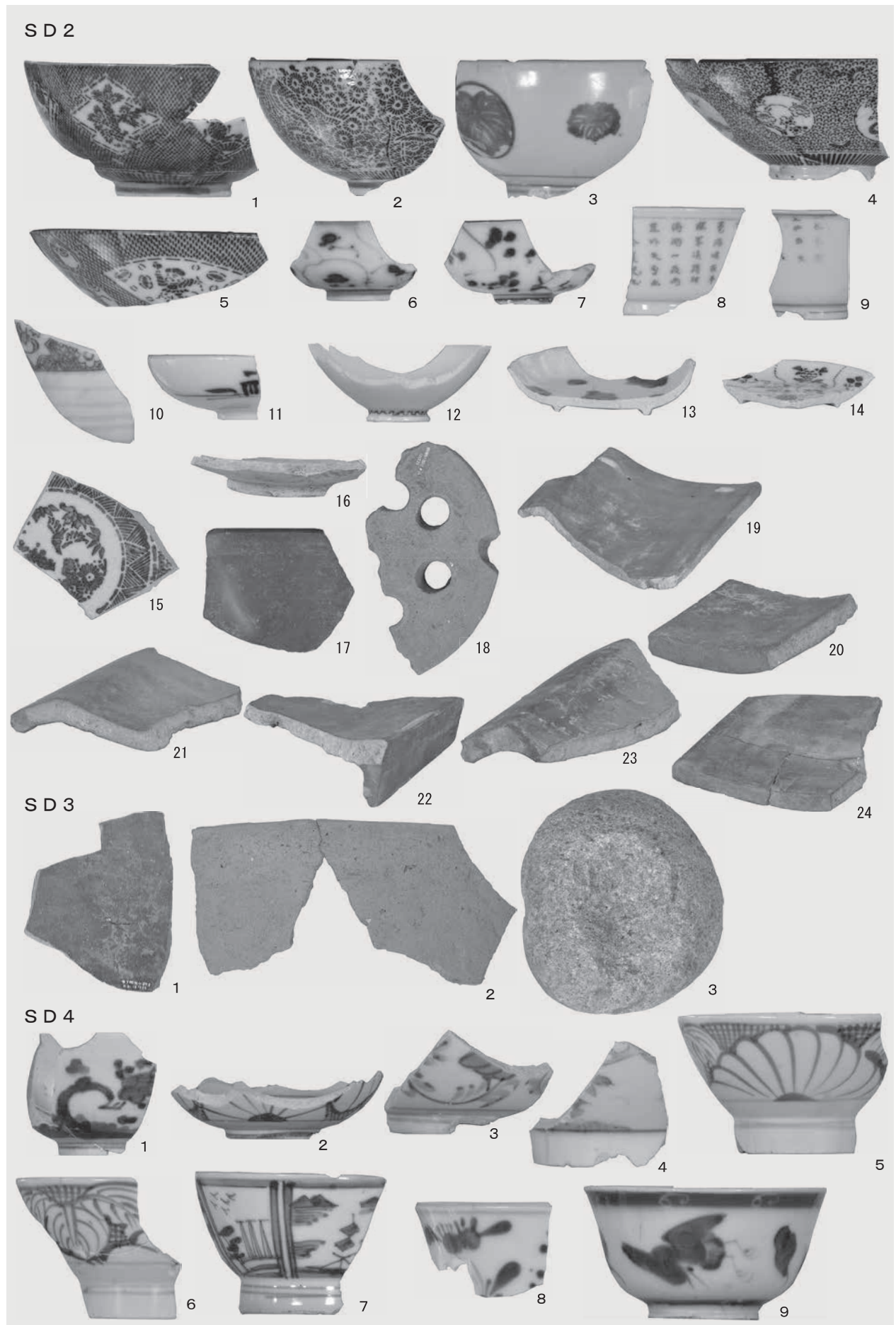
SK48



图版 54

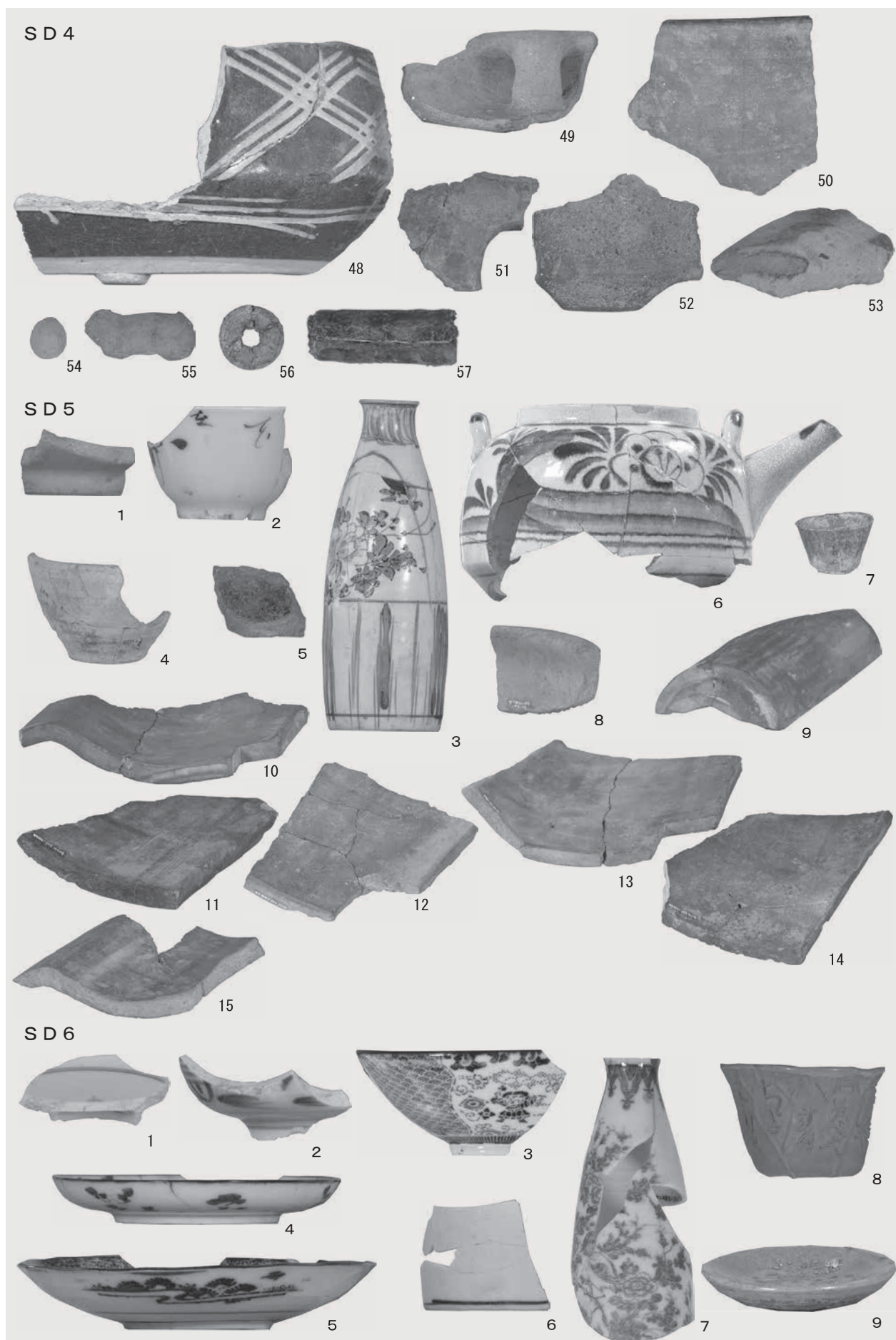


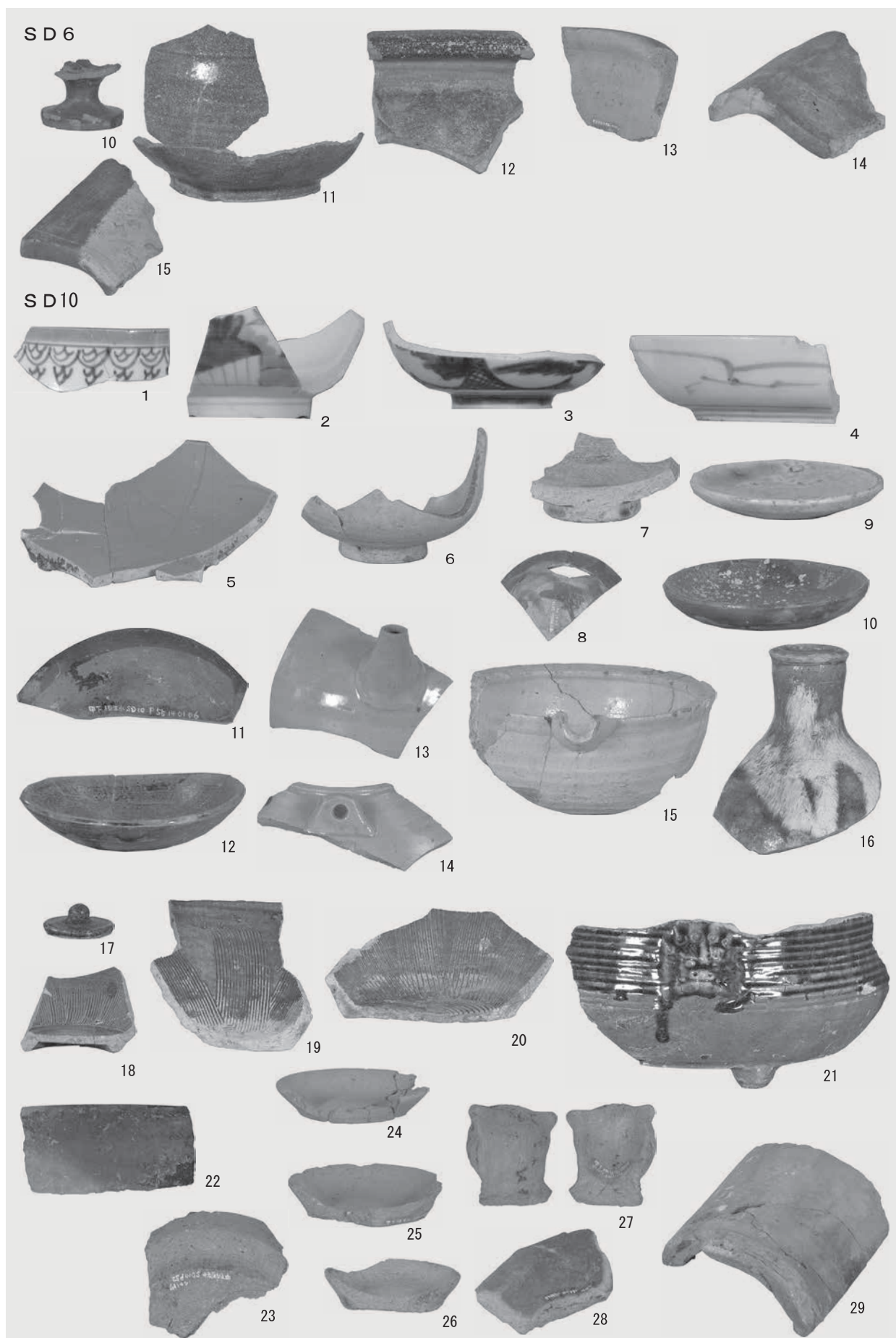




SD 4







图版 60



遺構外

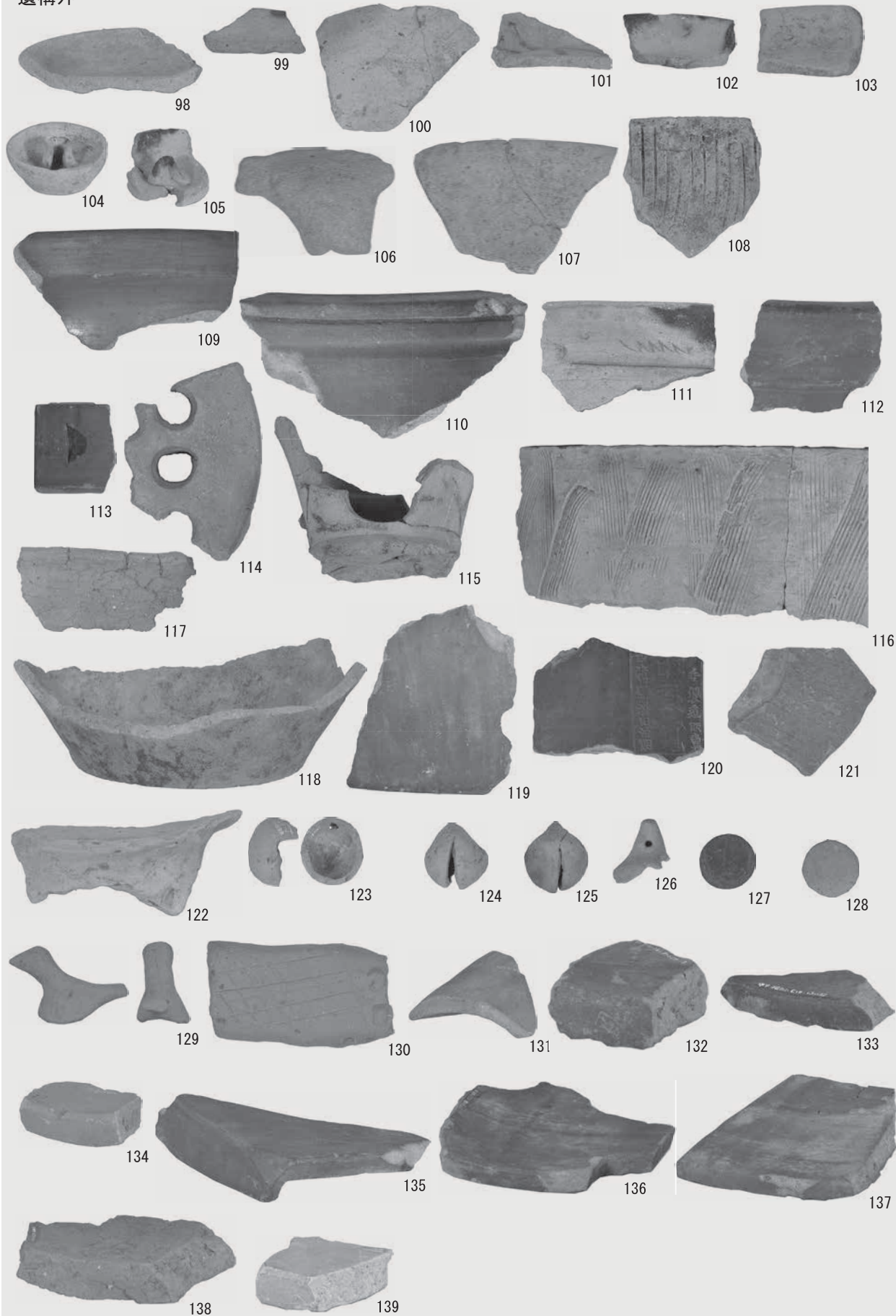


图版 62

遺構外



遺構外



图版 64

遺構外



S X 1



S K 3 (井戸)



S K 18



S K 18



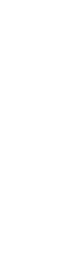
S K 19



S K 21



S K 22 (埋桶)

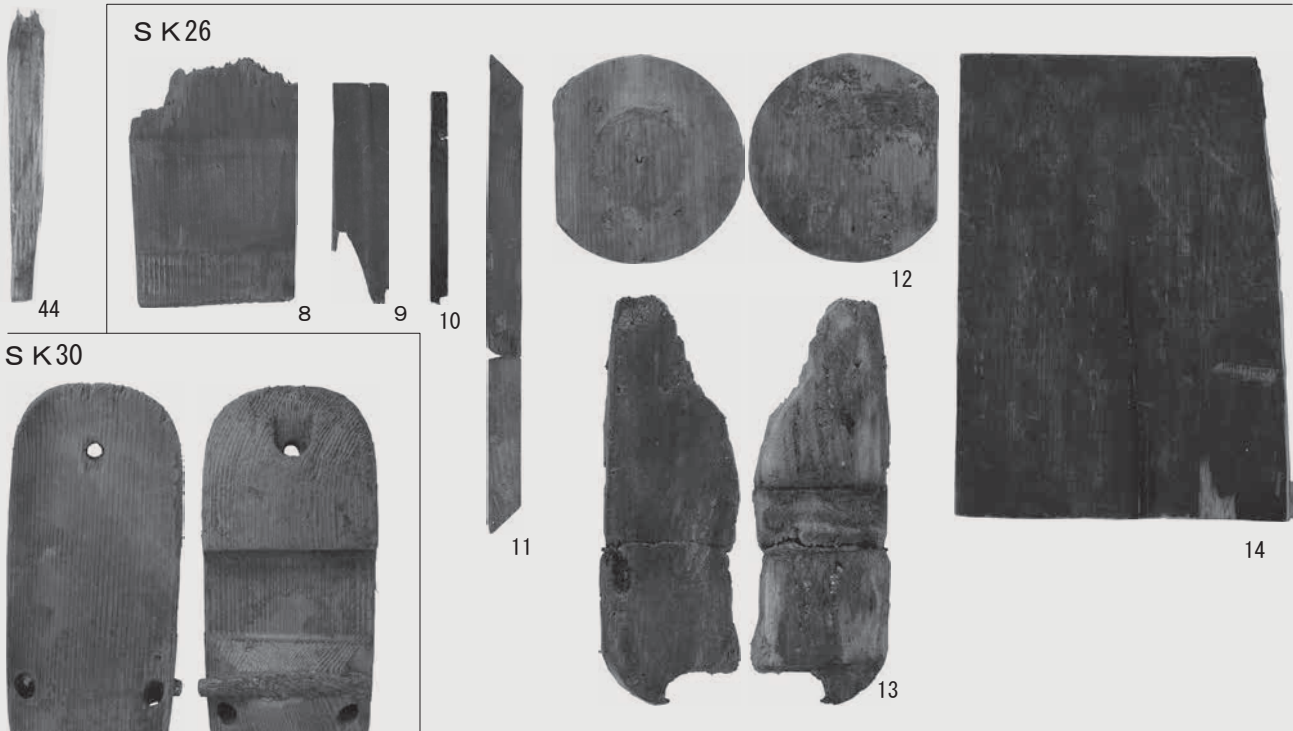


図版 66

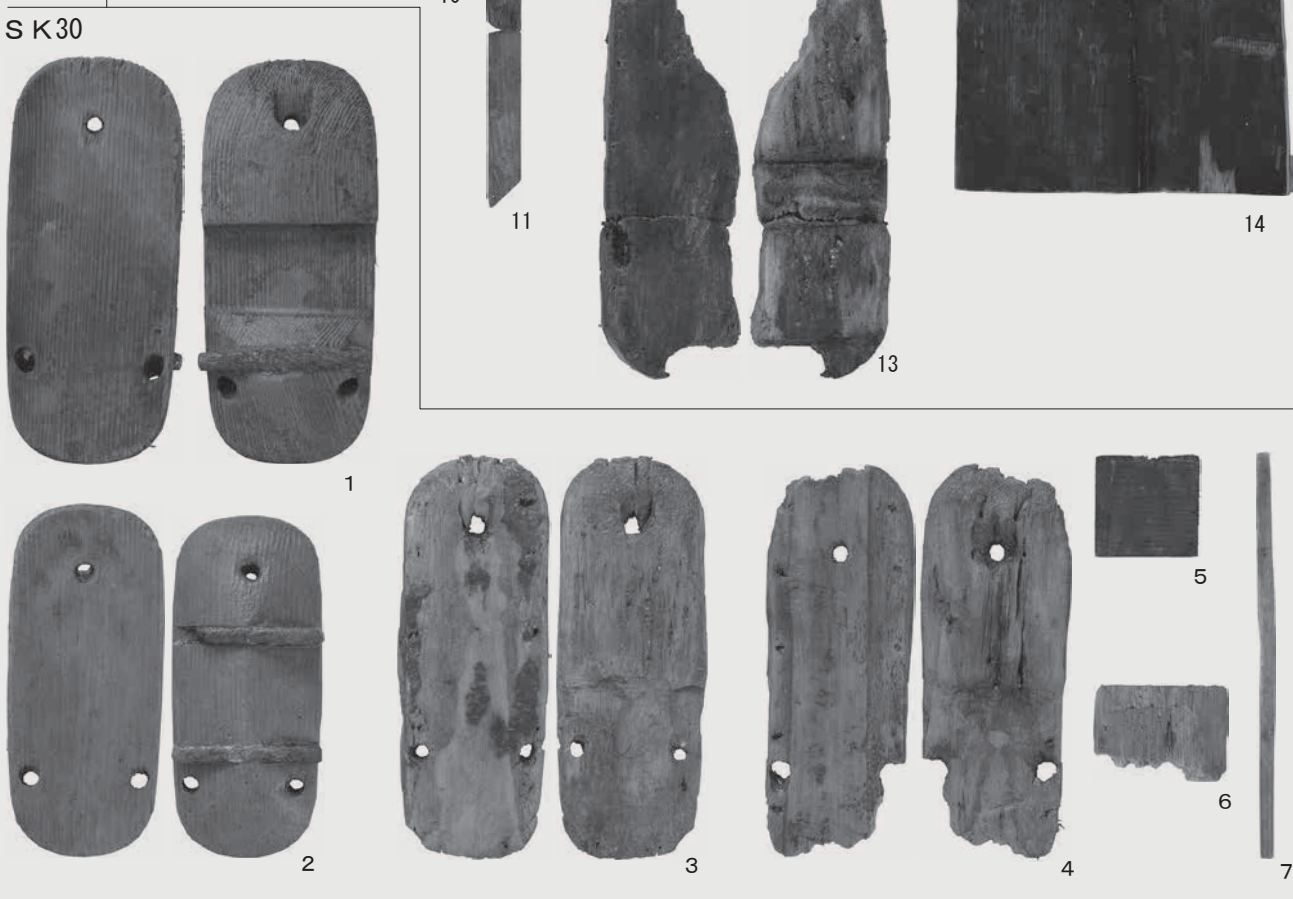
S K 22 (埋桶)



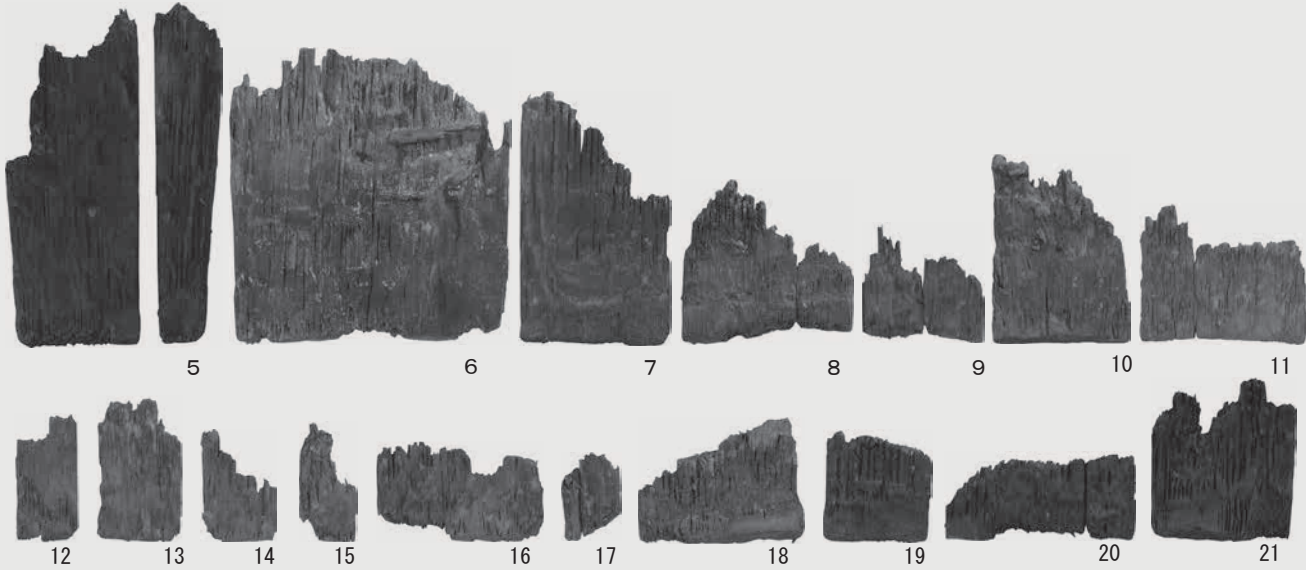
S K 26



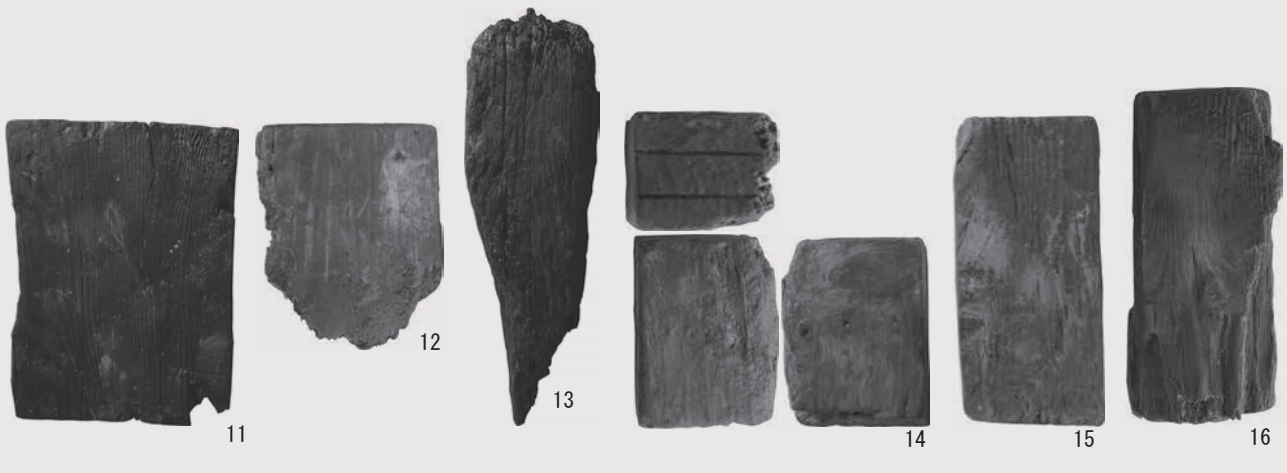
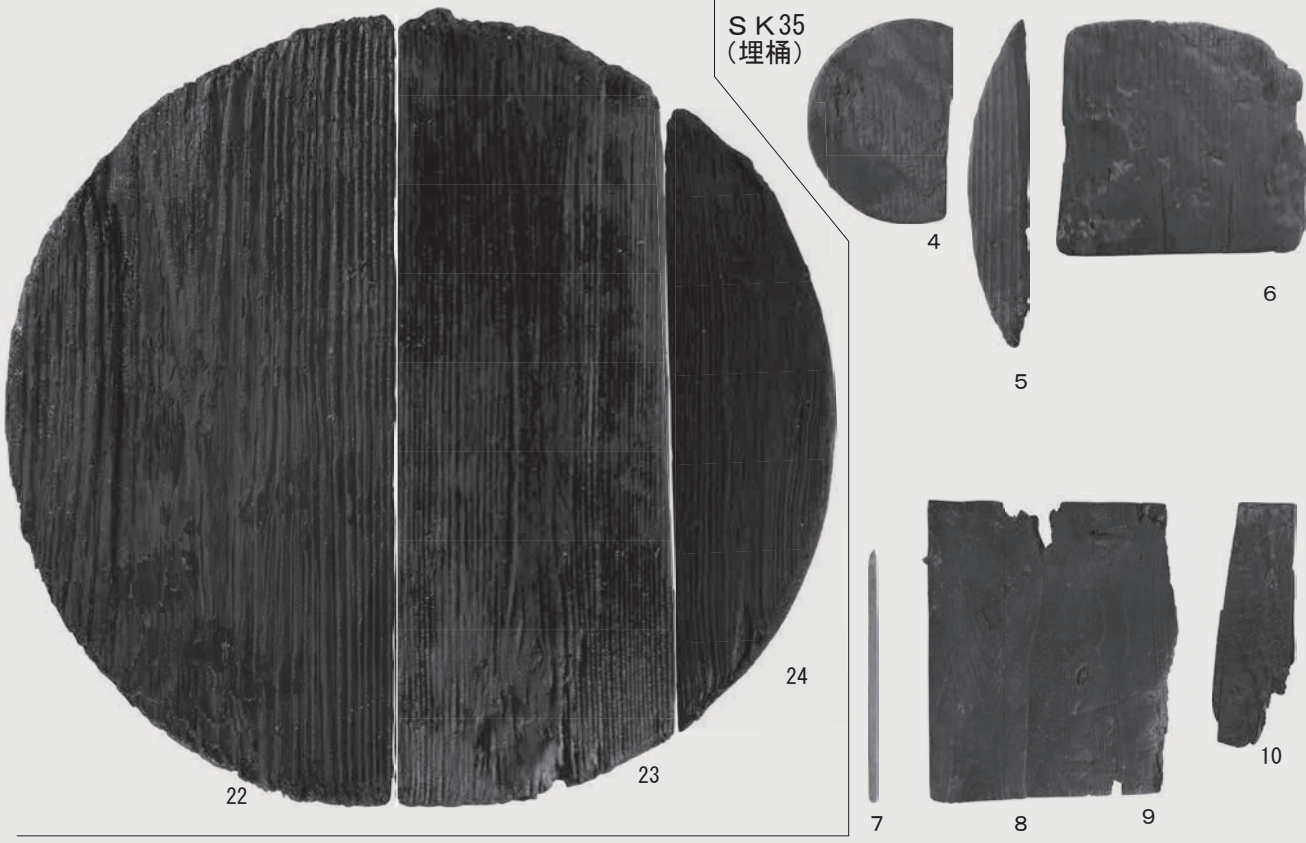
S K 30



S K33 (埋桶)

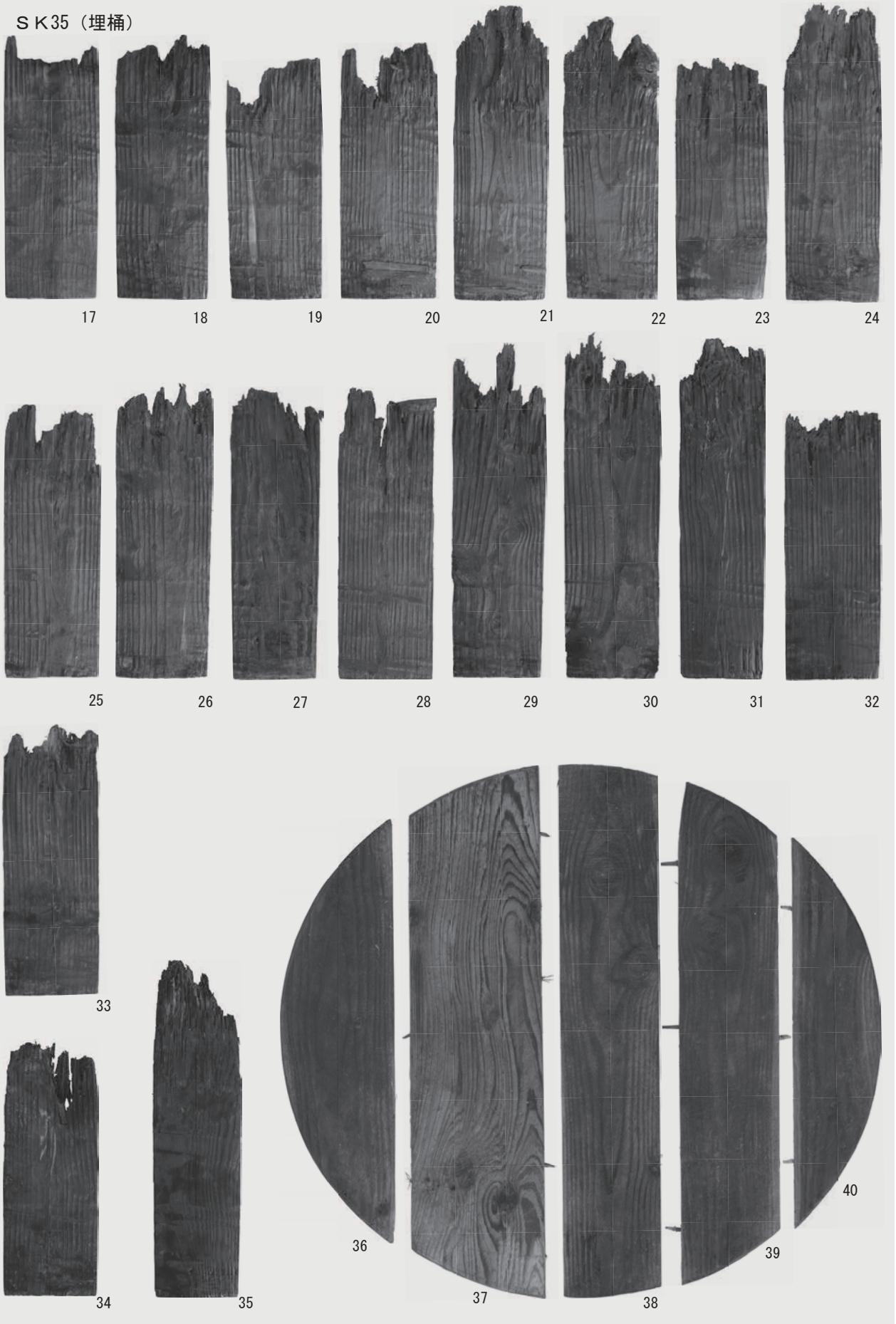


S K35 (埋桶)



图版 68

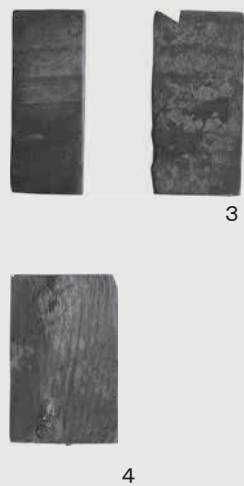
S K35 (埋桶)



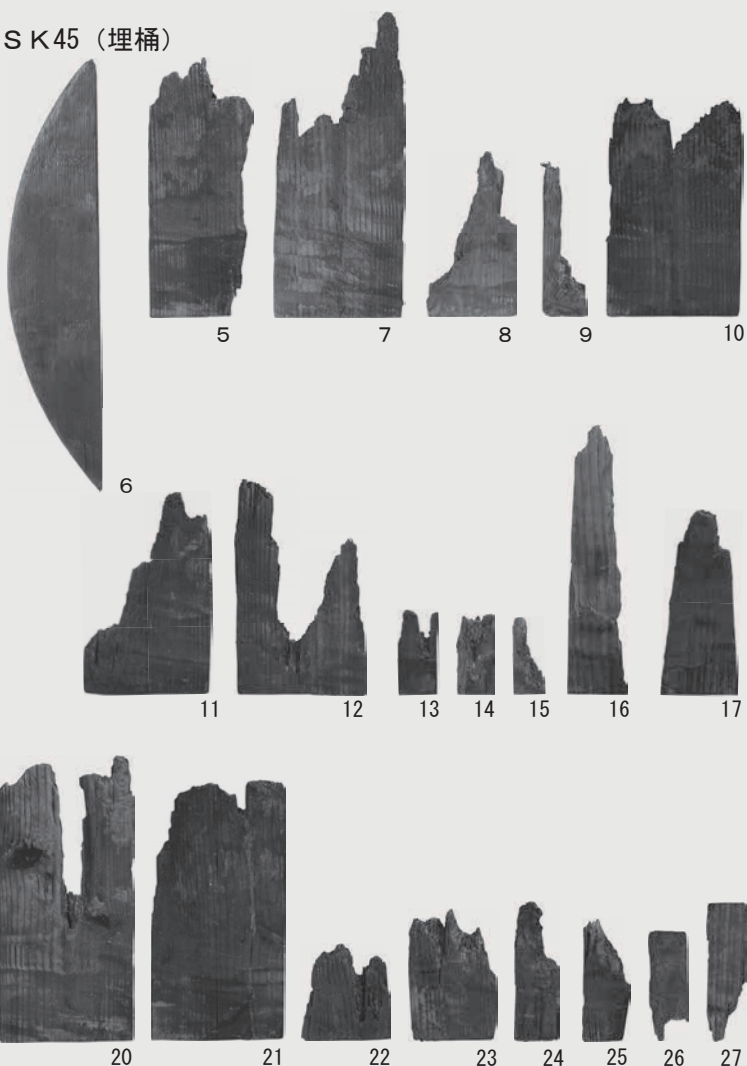
SK36
(井戸)



SK41



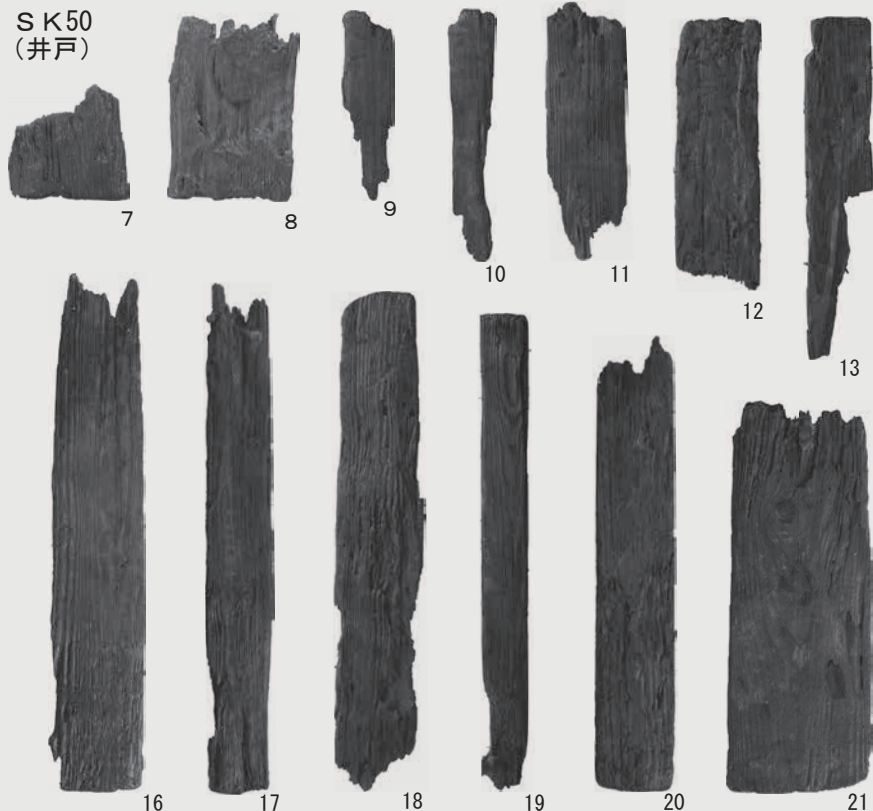
SK45 (埋桶)



SK49



SK50
(井戸)



图版 70

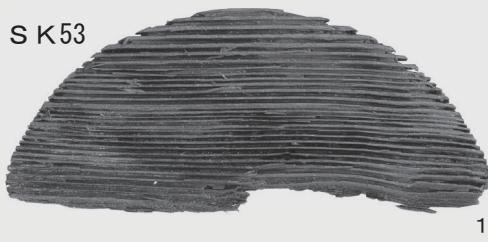
S K 50 (井戸)



S K 50
(井戸)



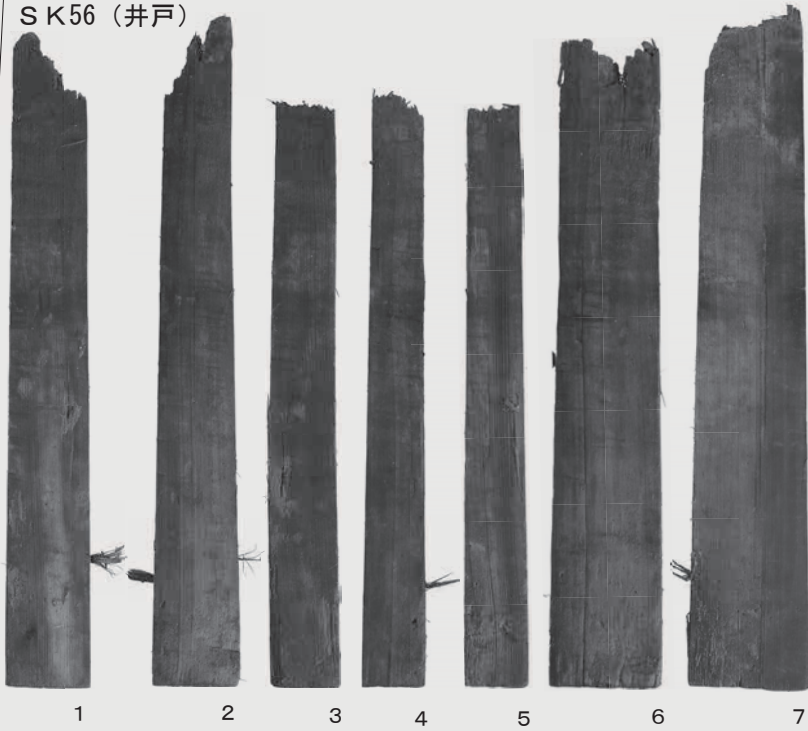
S K 53



S P 97



S K 56 (井戸)



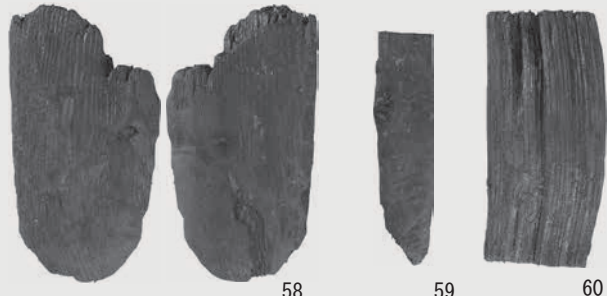
S P 275



S P 276



S D 4



S D 5



S D 11



報告書抄録

ふりがな	こうふじょうかまちいせき							
書名	甲府城下町遺跡XIV							
副書名	甲府市相生2丁目226番地他 公共福祉施設建設に伴う旧相生小学校地点発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	甲府市文化財調査報告 75							
シリーズ番号	75							
著者名	志村憲一・泉 英樹・小谷亮二							
編集機関	甲府市教育委員会							
所在地	〒400-8585 山梨県甲府市丸の内1丁目18番1号 TEL055-223-7324							
発行年月日	平成27(2015)年 3月13日							
ふりがな	ふりがな	コード		世界測地系		調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	北緯	東経			
甲府城下町遺跡	山梨県甲府市相生2丁目226番地他	19201	253	35	138	試掘調査 2013.8.21～8.23 本調査 2013.11.11～2014.3.20	1,760	保健福祉センター建設
				65	56			
				56	75			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
甲府城下町遺跡	城下町	近世近代	遺物集中地点・建物跡・井戸・埋桶・土坑・ピット列・溝状遺構		磁器・陶器・土器・瓦・土製品・木製品・石製品・金属製品・骨角製品		地鎮具・鍛冶関連遺物が出土	
要約	本遺跡は、甲府市相生2丁目226番地他に所在し、甲府城下町遺跡の二の堀の外の武家屋敷地に該当する。発掘調査では、建物跡や井戸、埋桶などの遺構が検出され、江戸時代後半から近代にかけての遺物が出土した。地鎮具とみられる灯明受皿と水晶のセットや金属加工に使用されたと見られる陶器の碗形容器、フイゴ羽口などの鍛冶関連遺物も出土している。							

甲府市文化財調査報告 75

甲府城下町遺跡XIV

(甲府市相生2丁目226番地他)

—公共福祉施設建設に伴う旧相生小学校地点発掘調査報告書—

平成27年3月13日

発行 甲府市

甲府市教育委員会

〒400-8585 山梨県甲府市丸の内1丁目18番1号

TEL055(223)7324 FAX055(233)7331

編集 甲府市教育委員会

昭和測量株式会社

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目11番27号

TEL055(235)4448 FAX055(235)5665

印刷 株式会社 内田印刷所

〒400-0032 山梨県甲府市中央2丁目10番18号

TEL055(233)0188 FAX055(233)0180